# 令和7年度　七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事設計図

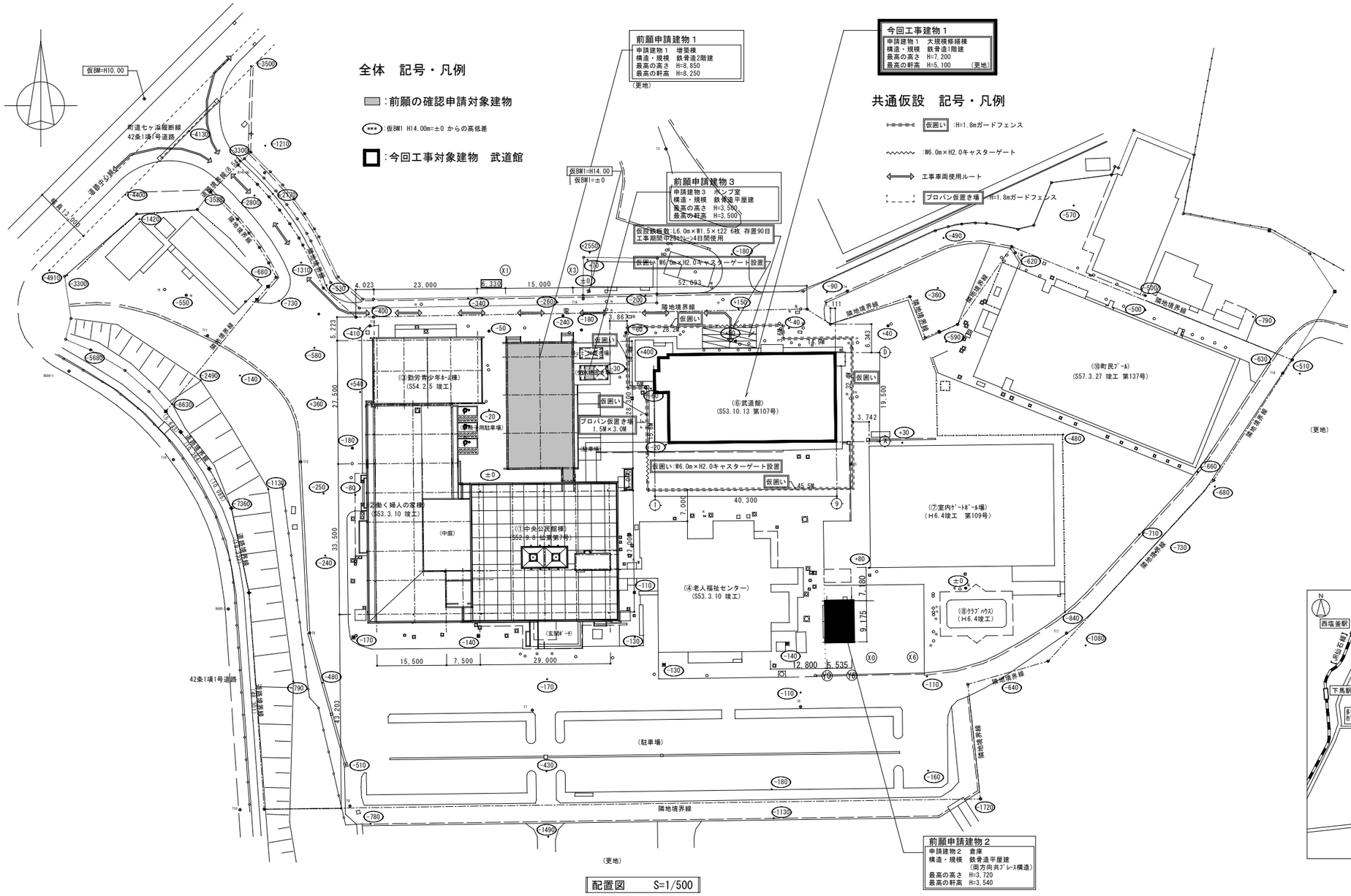
## 図　面　リ　ス　ト

| 意匠図 | | | 意匠図 | | | 構造図 | | | 電気設備図 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 |
| A－ 00 | **表紙・図面リスト** | － | A－ 36 | 武道場展開図【改修後】 | 1:50 | S－ 01 | 溶接基準図 | － | E－ 01 | 電気設備改修工事特記仕様書 | － |
| A－ 01 | **案内・配置図・共通仮設図** | 1:500 | A－ 37 | 建具キープラン【改修前】 | 1:100 | S－ 02 | 基礎・基礎梁伏図【改修前】 | 1:100 | E－ 02 | 照明器具他機器姿図・盤図【改修後】 | － |
| A－ 02 | 建築工事改修特記仕様書(1)(令和6年版) | － | A－ 38 | 建具キープラン【改修後】 | 1:100 | S－ 03 | 基礎・基礎梁伏図【改修後】 | 1:100 | E－ 03 | 幹線・コンセント設備 平面図【改修後】 | 1:100 |
| A－ 03 | 建築工事改修特記仕様書(2)(令和6年版) | － | A－ 39 | 建具表(1)【改修前・後】 | 1:50 | S－ 04 | 屋根伏図【改修前】 | 1:100 | E－ 04 | 電灯設備 平面図【改修後】 | 1:100 |
| A－ 04 | 建築工事改修特記仕様書(3)(令和6年版) | － | A－ 40 | 建具表(2)【改修前・後】 | 1:50 | S－ 05 | 屋根伏図【改修後】 | 1:100 | E－ 05 | 弱電設備 平面図【改修後】 | 1:100 |
| A－ 05 | 建築工事改修特記仕様書(4)(令和6年版) | － | A－ 41 | 建具表(3)【改修前・後】 | 1:50 | S－ 06 | 軸組図(1)【改修前・改修後】 | 1:100 | E－ 06 | 火災報知設備 平面図【改修後】 | 1:100 |
| A－ 06 | 建築工事改修特記仕様書(5)(令和6年版) | － | A－ 42 | 部分詳細図(1) | 1:50,10 | S－ 07 | **軸組図(2)【改修前・改修後】** | 1:100 | E－ 07 | 照明器具姿図・盤図【改修前】 | － |
| A－ 07 | 建築工事改修特記仕様書(6)(令和6年版) | － | A－ 43 | 部分詳細図(2) | 1:10,5 | S－ 08 | 軸組図(3)【改修前】 | 1:100 | E－ 08 | 幹線・コンセント設備 平面図【改修前】 | 1:100 |
| A－ 08 | 建築工事改修特記仕様書(7)(令和6年版) | － | A－ 44 | 部分詳細図(3) | 1:10,5,1 | S－ 09 | 軸組図(4)【改修前】 | 1:100 | E－ 09 | 電灯設備 平面図【改修前】 | 1:100 |
| A－ 09 | 建築工事改修特記仕様書(8)(令和6年版) | － | A－ 45 | 部分詳細図(4) | 1:20,10,3,1 | S－ 10 | 軸組図(5)【改修前】 | 1:100 | E－ 10 | 弱電設備 平面図【改修前】 | 1:100 |
| A－ 10 | 建築工事改修特記仕様書(9)(令和6年版) | － | A－ 46 | 新設トロフィーケース詳細図【改修後】 | 1:20,5 | S－ 11 | **A通り4～5間ﾌﾞﾚｰｽ補強詳細図** | 1:30.20 | E－ 11 | 火災報知設備 平面図【改修前】 | 1:100 |
| A－ 11 | 建築工事改修特記仕様書(10)(令和6年版) | － | A－ 47 | 新設ミニキッチン詳細図【改修後】 | 1:50,10 | S－ 12 | **A通り7～8間ﾌﾞﾚｰｽ補強詳細図** | 1:30.20 | E－ 12 | 空調他改修　構内配電線路図【改修後】 | 1:200 |
| A－ 12 | 仕上表(1) | － | A－ 48 | 新設スロープ断面詳細図【改修後】 | 1:20 | S－ 13 | **C通り3～4間ﾌﾞﾚｰｽ補強詳細図** | 1:30.20 | E－ 13 | **空調他改修　受変電設備図　単線結線図・盤姿図【改修後】** | － |
| A－ 13 | 仕上表(2) | － | A－ 49 | 新設サッシ廻り詳細図【改修後】 | 1:5,1 | S－ 14 | **C通り7～8間ﾌﾞﾚｰｽ補強詳細図** | 1:30.20 | E－ 14 | 空調他改修　分電盤結線図【改修後】 | － |
| A－ 14 | 平面図〔撤去図〕【改修前】 | 1:100 | A－ 50 | A通り補強図【補強前】 | 1:30 | S－ 15 | **部材リスト(昭和53年新築部)** | 1:30 | E－ 15 | 空調他改修　動力設備　平面図【改修後】 | 1:100 |
| A－ 15 | 平面図〔改修図〕【改修後】 | 1:100 | A－ 51 | A通り補強図【補強後】 | 1:30 | S－ 16 | 部材リスト(平成3年増築部) | 1:30 | | | |
| A－ 16 | 屋根伏図【改修前・後】 | 1:100 | A－ 52 | C通り補強図【補強前】 | 1:30 | | | | | | |
| A－ 17 | 立面図【改修前】 | 1:100 | A－ 53 | C通り補強図【補強後】 | 1:30 | | | | 機械設備図 | | |
| A－ 18 | 立面図【改修後】 | 1:100 | A－ 54 | C通り出入口改修図【改修前・後】 | 1:30 | | | | 図面番号 | 図面名称 | 縮尺 |
| A－ 19 | 矩計図(1)【改修前・後】 | 1:20,5 | A－ 55 | 直接仮設図(参考図) | 1:100 | | | | M－ 01 | 機械設備改修工事特記仕様書(1) | － |
| A－ 20 | 矩計図(2)【改修前・後】 | 1:20,5 | A－ 56 | **屋根(2)軒先詳細図(1)** | 1:2 | | | | M－ 02 | 機械設備改修工事特記仕様書(1) | － |
| A－ 21 | 天井伏図【改修前・後】 | 1:100 | A－ 57 | **屋根(2)軒先詳細図(2)** | 1:2 | | | | M－ 03 | 空調換気設備 機器表 | － |
| A－ 22 | 平面詳細図(1)【改修前】 | 1:50 | A－ 58 | 空調室内機取付架台詳細図 | 1:5 | | | | M－ 04 | 空調換気設備 平面図(1)【改修後】 | 1:100 |
| A－ 23 | 平面詳細図(1)【改修後】 | 1:50.20.5.3 | | | | | | | M－ 05 | 空調換気設備 平面図【改修前】 | 1:100 |
| A－ 24 | 平面詳細図(2)【改修前】 | 1:50 | | | | | | | M－ 06 | 給排水衛生設備 機器表・器具表 | － |
| A－ 25 | 平面詳細図(2)【改修後】 | 1:50 | | | | | | | M－ 07 | 給排水衛生設備 配置図【改修後】 | 1:100 |
| A－ 26 | ポーチ(1)平面詳細図【改修前・後】 | 1:50 | | | | | | | M－ 08 | 給排水衛生設備 配置図【改修前】 | 1:100 |
| A－ 27 | **玄関・ホール・廊下展開図【改修前】** | 1:50 | | | | | | | M－ 09 | ガス設備図 | 1:50 |
| A－ 28 | **廊下・事務室・器具室・ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ展開図【改修前】** | 1:50 | | | | | | | M－ 10 | 給排水衛生設備 平面詳細図【改修後】 | 1:30 |
| A－ 29 | **師範室・器具庫・更衣室・シャワー室展開図【改修前】** | 1:50 | | | | | | | M－ 11 | 給排水衛生設備 平面詳細図【改修前】 | 1:30 |
| A－ 30 | 便所・化粧室展開図【改修前】 | 1:50 | | | | | | | M－ 12 | 空調換気設備 平面図(2)【改修後】 | 1:100 |
| A－ 31 | 武道場展開図【改修前】 | 1:50 | | | | | | | M－ 13 | 空調換気設備 立面図・展開図【改修後】 | 1:100・50 |
| A－ 32 | **玄関・ホール・廊下展開図【改修後】** | 1:50 | | | | | | | | | |
| A－ 33 | **廊下・ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ展開図【改修後】** | 1:50 | | | | | | | | | |
| A－ 34 | 更衣室・倉庫展開図【改修後】 | 1:50 | | | | | | | | | |
| A－ 35 | 便所展開図【改修後】 | 1:50 | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事図 | 図面名<br>表紙・図面リスト<br>縮尺　S=1:･･･(A3版 50%縮小) | 図面種別<br>A<br>図面番号<br>00 |

| ①中央公民館 | ②働く婦人の家 | ③勤労青年ホーム | ④老人福祉センター | ⑤機械室（解体撤去） | ⑥武道館 | ⑦室内ゲートボール場 | ⑧クラブハウス | ⑨受水槽・ポンプ室（解体撤去） | ⑩町民プール |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 建築面積 812.60㎡ | 建築面積 541.45㎡ | 建築面積 563.20㎡ | 建築面積 746.94㎡ | 建築面積 112.35㎡ | 建築面積 827.258㎡ | 建築面積 1,444.56㎡ | 建築面積 113.74㎡ | 建築面積 9.90㎡ | 建築面積 1,258.985㎡ |
| １階 783.00㎡ | １階 456.50㎡ | １階 544.00㎡ | １階 694.39㎡ | １階 110.25㎡ | １階 760.385㎡ | １階 1,100.21㎡ | １階 79.86㎡ | １階 9.90㎡ | １階 1,258.985㎡ |
| ２階 738.00㎡ | ２階 441.50㎡ | ２階 221.00㎡ | ２階 －㎡ | ２階 －㎡ | ２階 －㎡ | ２階 －㎡ | ２階 －㎡ | ２階 －㎡ | ２階 －㎡ |
| PH階 27.8269㎡ | PH階 －㎡ | PH階 －㎡ | PH階 －㎡ | PH階 －㎡ | PH階 －㎡ | PH階 －㎡ | PH階 －㎡ | PH階 －㎡ | PH階 －㎡ |
| 合計 1,548.8269㎡ | 合計 891.00㎡ | 合計 765.00㎡ | 合計 694.39㎡ | 合計 110.25㎡ | 合計 760.385㎡ | 合計 1,100.21㎡ | 合計 79.86㎡ | 合計 9.90㎡ | 合計 1,258.985㎡ |
| 屋根:RCｽﾗﾌﾞ厚120mm A防水-2工法 | 屋根:RCｽﾗﾌﾞ厚120mm | 屋根:RCｽﾗﾌﾞ厚120mm | 屋根:ﾄﾞﾘﾌﾞﾙ板厚30mm | 屋根:RCｽﾗﾌﾞ厚120mm露出ｱｽﾌｧﾙﾄ防水 | 屋根:長尺カラー鉄板28＃ | 屋根:折版F-80 厚0.8mm | 屋根:折版F-80 厚0.8mm | 屋根: | 屋根:ｶﾗｰ鉄板 厚0.8mm |
| の上豆砂利ｺﾝｸﾘｰﾄ厚60金ｺﾃ | の上露出ｼｰﾄ防水 | の上露出ｼｰﾄ防水 | の上ｴｱﾌｧﾌｧﾄﾝｼﾝｸﾞﾙ葺き | 外壁:RC壁厚120mm吹付ﾀｲﾙ | 屋根下地:木毛セメント板貼り | | | | 屋根:断熱屋根ﾊﾟﾈﾙ 厚0.6mm+0.4mm |
| 外壁:RC壁厚120mm吹付ﾀｲﾙ | 一部ALC版厚150ｱｽﾌｧﾙﾄ (D-1) 露出防水 | 一部ALC版厚150ｱｽﾌｧﾙﾄ (D-1) 露出防水 | 外壁:ALC版厚100mm吹付ﾀｲﾙ | 軒裏:RC造リシン吹付 | 外壁:硬質木片セメント板厚20mm吹付ﾀｲﾙ | 外壁:ｱﾙﾐｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ厚0.5mm | 外壁:ｱﾙﾐｻｲﾃﾞｨﾝｸﾞ厚0.5mm | 外壁: | 屋根:RCｽﾗﾌﾞｱｽﾌｧﾙﾄ露出防水 |
| 外壁:ALC壁厚100mm吹付ﾀｲﾙ | 外壁:RC壁厚120mm吹付ﾀｲﾙ | 外壁:RC壁厚120mm吹付ﾀｲﾙ | 外壁:一部RC壁厚100mm吹付ﾀｲﾙ | 建具:ｱﾙﾐｻｯｼｭ | 〔ｾﾝﾁｭﾘｰﾎﾞｰﾄﾞ〕 | | | | 外壁:ALCﾊﾟﾈﾙ厚100mm吹付ﾀｲﾙ |
| 軒裏:RC造 | 軒裏:RC造 | 軒裏:RC造 | 軒裏:石綿大平版厚5mm | 基礎:直接基礎 | 軒裏:特殊石綿セメント板厚12mmリシン吹付 | 軒裏:ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ厚1.5mm | 軒裏:ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ厚1.5mm | 軒裏: | 軒裏:ｱﾙﾐｽﾊﾟﾝﾄﾞﾚﾙ厚1.5mm |
| 建具:ｱﾙﾐｻｯｼｭ | 建具:ｱﾙﾐｻｯｼｭ | 建具:ｱﾙﾐｻｯｼｭ | 建具:ｱﾙﾐｻｯｼｭ | 最高の高さ:4.95m | 建具:ｱﾙﾐｻｯｼｭ | 建具:ｱﾙﾐｻｯｼｭ | 建具:ｱﾙﾐｻｯｼｭ | 建具: | 建具:ｱﾙﾐｻｯｼｭ |
| 基礎:直接基礎 | 基礎:直接基礎 | 基礎:直接基礎 | 基礎:直接基礎 | 最高の軒高さ:4.30m | 基礎:直接基礎 | 基礎:直接基礎 | 基礎:直接基礎 | 基礎: | 基礎:直接基礎 |
| 最高の高さ:9.25m | 最高の高さ:9.25m | 最高の高さ:10.00m | 最高の高さ:6.80m | 構造:RC造平屋建 耐火建築物 | 最高の高さ:7.20m | 最高の高さ:7.65m | 最高の高さ:5.40m | 最高の高さ: | 最高の高さ:10.715m |
| 最高の軒高さ:8.25m | 最高の軒高さ:8.25m | 最高の軒高さ:9.05m | 最高の軒高さ:4.15m | | 最高の軒高さ:5.10m | 最高の軒高さ:4.80m | 最高の軒高さ:2.75m | 最高の軒高さ: | 最高の軒高さ:4.45m |
| 構造:RC造地上2階建 耐火建築物 | 構造:RC造地上2階建 耐火建築物 | 構造:RC造地上2階建 耐火建築物 | 構造:鉄骨造平屋建 耐火建築物 | | 構造:鉄骨造平屋建 耐火要求なし | 構造:鉄骨造平屋建 耐火要求なし | 構造:鉄骨造平屋建 耐火要求なし | 構造: | 構造:鉄骨造平屋建 耐火要求なし |

敷地面積 22,500.79 ㎡




配置図 S=1/500

【工事概要】

◎耐震化工事及び大規模改修工事

A 内部改修工事

1)武道場:床・壁・小屋伏せ鉄骨部の塗装改修
2)武道場:入り口建具段差解消工事
3)玄関・ミーティングルーム・便所・更衣室・倉庫・廊下
:床・壁・天井の全面改修
4)武道場:空調室内機取付架台新設

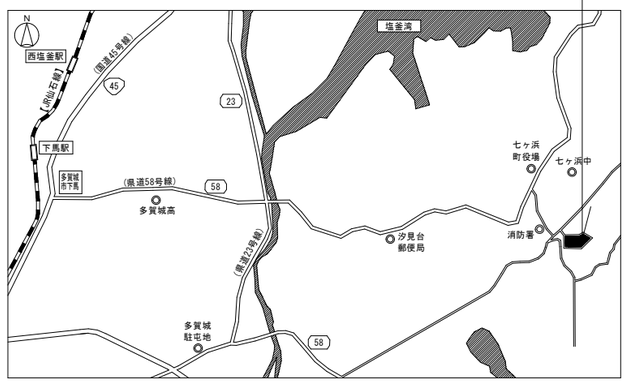
B 外部改修工事

1)大屋根:一文字葺き屋根鉄板及び雨水排水設備更新
2)鉄部新品交換及び既存防錆・塗装改修
3)下屋:折版葺き屋根鉄板の塗装改修及び雨水排水設備更新
4)外壁:ｸﾗｯｸ・破損部補修及び全面塗装改修・ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法
5)電気設備工事後アスファルト及びｺﾝｸﾘｰﾄ舗装復旧工事

C 耐震補強改修工事

1)内部:鉄骨ブレースによる耐震補強及び付帯改修
2)外部:鉄骨ブレースによる耐震補強及び付帯改修
※上記A・B・C 建築改修工事に伴う電気設備工事一式、機械設備工事一式

計画地：宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山5-9 地内
施設名：七ヶ浜町武道館




配置図

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 案内図・配置図・共通仮設図 / 縮尺 S=1:500(A3版 S=1:1000) / 図面種別 A / 図面番号 01 |

# 建築改修工事特記仕様書 【令和６年４月版】

## Ⅰ 工事概要

１ 工事番号・名称　令和7年度 七ヶ浜武道館耐震化工事及び大規模改修工事

２ 工事場所　宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山5−9地内

３ 用途地域等
都市計画区域（⊙ 内 ・ 外） 用途地域（市街化調整区域）
防火地域等（・ 防火 ・ 準防火 ⊙ 指定なし ⊙ ２２条 ）
その他の地域・地区（ ）

４ 主要用途　武道館(スポーツ施設)

５ 敷地面積　　㎡

６ 工事の概要　耐震化工事及び大規模改修工事

A, 内部改修工事
1)武道場:床・壁・小屋伏せ鉄骨部の塗装改修
2)玄関・ミーティング*ルーム・便所・更衣室・倉庫・廊下:
:床・壁・天井の全面改修
3)建具：武道場入り口建具段差解消工事
B, 外部改修工事
1)大屋根：一文字葺き屋根鉄板及び雨水排水設備の更新
2)鉄部新品交換及び既存防錆・塗装改修
3)下屋：折版葺き屋根鉄板の塗装改修及び雨水排水設備の更新
4)外壁：クラック・破損部補修及び全面塗装改修・シーリング再充填工法
C, 耐震補強改修工事
1)内部:鉄骨ブレースによる耐震補強及び付帯改修

※上記A,B,C,建築改修工事に伴う電気設備、機械設備工事一式

７ 別途工事

８ その他　本工事は、週休２日促進工事の対象工事とする。

９ 特記仕様書の範囲
特記仕様書は、本特記仕様書のほか以下の○印もので構成する。
⊙ 構造特記仕様書 ・ 外構工事特記仕様書 ・ 植栽工事特記仕様書
・ 解体工事特記仕様書 ⊙ 電気設備工事特記仕様書 ⊙ 機械設備工事特記仕様書

## Ⅱ 建築工事仕様

１．共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書(令和４年版)」（以下、「改修標準仕様書」という。）による。ただし、「改修標準仕様書」に記載されていない事項は、「公共建築工事標準仕様書（令和４年版）」(以下「標準仕様書」という。）及び「建築物解体工事共通仕様書(令和４年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。
なお、施工条件明示書は特記仕様書に含める。

２．特記仕様
１）項目は、番号に○印のついたものを適用する。
２）特記事項は、・印のついたものを適用する。・印のつかない場合は※印のついたものを適用する。 ○印と※印のついた場合は、共に適用する。
３）特記事項に記載の< >、〈 〉、（ ）及び［ ］内の表示番号は、それぞれ「改修標準仕様書」「標準仕様書」及び「解体共通仕様書」の当該項目、当該図又は当該表を示す。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| ①一般共通事項 | 1. 一般事項 | ⊙ 工事施工中に予期せぬ事態や疑義が生じた場合には、監督職員に報告の上、指示に従うこと。<br>⊙ 受注者は、監督職員と随時打合せを行い、工程の確認・調整及び工事の円滑な進捗をはかること。<br>⊙ 施工体系図を現場に掲示すること。<br>・ 工事着手前及び完成時に、以下に示す調査範囲の近隣家屋等の内外の状況（地盤、擁壁、内外壁、床、建具等）を調査・記録し、報告書を監督職員に提出すること。<br>※工事に伴う環境調査要領 平成28年4月（東京都建設局編集）による<br>※調査に先立って調査計画書を作成し監督職員の確認を受けること<br>調査範囲 ※ 図示 |
| | 2. 適用基準等 | ⊙ 建設工事執行規則(昭和39年3月宮城県規則第9号)<br>⊙ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱<br>⊙ 建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和４年版）<br>⊙ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部 令和5年版）及び工事写真撮影ガイドブック（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修 令和5年版） |
| | 3. 概成工期 | 工事工期より　日前　〈1.2.1〉 |
| | 4. 工事実績情報(CORINS)の登録 | ※ 適用する（請負精算額が500万円以上の場合）　〈1.1.4〉<br>受注時、変更時及び工事完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、契約締結後及び工事完成後の10日以内に登録手続きを行い、工事カルテの受領書を、監督職員に提出すること。<br>・ 適用しない |
| | 5. 発生材の処理等 | 発生材の処理　〈1.3.12〉<br>・ 引渡しを要するもの（ ）<br>・ 特別管理産業廃棄物（ ）<br>受入れ施設名・所在地(km)<br>・ 現場において再利用を図るもの（ ）<br>・ 再生資源化を図るもの |

| 種類 | 受入施設名 | 所在地（Km） | 備考 |
|---|---|---|---|
| ○ コンクリート塊 | 宮城りんかいアスコン | 多賀城市栄(3.0) | |
| ○ アスファルトコンクリート塊 | 宮城りんかいアスコン | 多賀城市栄(3.0) | |
| ○ 建設発生木材 | 奥羽木工所 | 仙台市宮城野区港(4.9) | |
| ○ コンクリートから成る建設資材 | 宮城りんかいアスコン | 多賀城市栄(3.0) | |
| | | | |

・その他の廃棄物（安定型）

| 種類 | 受入施設名 | 所在地（Km） | 備考 |
|---|---|---|---|
| ⊙ モルタルくず | 安部工業 | 黒川郡大和町松坂平(25.8) | |
| ⊙ ガラスくず | 東洋環境開発 | 仙台市青葉区小田原(16.5) | |
| ⊙ 混合廃棄物 | 矢本クリーンセンター | 東松島市大塩字天神堂(27.2) | |

・その他の廃棄物（管理型）

| 種類 | 受入施設名 | 所在地（Km） | 備考 |
|---|---|---|---|
| | | | |
| | | | |
| | | | |

上記の処理、処分は設計積算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。なお、上記によらない場合は、監督職員と協議すること。
また、処理、処分に先立ち処分場等の受入の可否を確認すること

PCB（ポリ塩化ビフェニール）含有機器・ 有（数量は図示） [5.4.1]
・ 無

PCB含有シーリング材 ・ 有（施工範囲は図示）[5.4.1]
・ 無

PCBを含有する機器等については、飛散、流失等がないように適切な容器に納め、適切な場所に保管し、工事完了後、監督職員に引き渡す。

アスベストの処理
吹き付けアスベスト除去工事 ⊙有〈図示 ） ・無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト含有保温材除去工事 ・有〈図示 ） ・無
受け入れ施設名・所在地(km)
アスベスト成形板除去工事 ・有〈図示 ） ・無
受け入れ施設名・所在地(km)

ヒ素又はカドミウム含有石膏ボードの処理
ヒ素又はカドミウムボード ・有〈図示 ） ・無
次に該当する場合は、指定する場所に処分すること。
<対象となる石膏ボード>
小名浜吉野石膏（株） いわき工場 昭和48年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
日東石膏ボード（株） 八戸工場 平成4年10月～平成9年4月の間に製造されたもの
指定する処分場
【名称： 所在地(km) 】

⑤ 電気保安 ・ 適用する ※ 適用しない 〈1.3.3〉

⑦ 事故報告 〈1.3.10〉
工事の施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、監督職員から指示があった場合は「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。

⑧ 建築材料等 材料の品質等 〈1.4.2〉
※ 本工事に使用する材料は、設計図書に定める品質及び性能を有するものとし、その材料にJIS又はJASのマークの表示のある場合を除いて監督職員の承諾を受ける。
特定のものが特記された場合は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等のものとする。ただし、同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。

環境への配慮 〈1.4.1〉
※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。

※ ホルムアルデヒド仕様
使用する材料のホルムアルデヒド仕様は以下のとおりとする。
ホルムアルデヒド放散量 規制対象外 の場合の建築材料
１）ＪＩＳ及びＪＡＳのＦ☆☆☆☆品
２）建築基準法施行令第２０条の７第４項による国土交通大臣認定品
３）次の表示のあるＪＡＳ適合品
a．非ホルムアルデヒド系接着剤使用
b．接着剤等不使用
c．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用
d．ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
e．非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用

⑨ 室内の空気中の化学物質濃度の測定 ※ ホルムアルデヒド及び揮発性有機化合物の測定 (1.5.9)〈1.7.9〉
試料採取及び測定は、厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」の新築住宅の例に準拠するほか、拡散方式ではサンプラー製造所の定める仕様により行う。
測定対象物質
①※ ホルムアルテ゛ヒト゛（濃度指針値 100μg/m3 ・ 0.08ppm）
②※ スチレン （濃度指針値 220μg/m3 ・ 0.05ppm）
③※ トルエン （濃度指針値 260μg/m3 ・ 0.07ppm）
④※ エチルヘ゛ンセ゛ン （濃度指針値 3,800μg/m3 ・ 0.88ppm）
⑤※ キシレン （濃度指針値 200μg/m3 ・ 0.05ppm）

測定する室等：（1階武道場(室面積が広い為2検体とする)、ミーティング*ルーム、女子更衣室 ）

採取方法：吸引方式又は拡散方式とし、拡散方式では８時間採取する。

測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を１部提出する。
a 測定結果
b 試料採取時の状況（気温・湿度（室外・室内）、天候、風の状況、日射進入状況、測定年月日・時間、窓の開閉状況、機械換気量、工事完成時から測定日までの日数）
c 試料採取方法、測定方法、使用した測定機器

測定対象物質が指針値を超える濃度で検出された場合は、引渡は受けない。

・ 総揮発性有機化合物の測定
測定方法、測定物質及び測定か所等については、この仕様書の末尾に定める総揮発性有機化合物測定仕様書による。

※ 室内ＶＯＣ濃度の測定結果に関する書面の当該施設への提示については、施設管理者に依頼する。

10. 特別な材料の工法 「改修標準仕様書」及び「標準仕様書」に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法とする。

① 一般共通事項

10. 建築基準法による風圧力等の指定 〈3,5,4〉〈3,9,3〉〈5,11〜13,2〉〈5,14,5〉〈13,2,3〉〈13,3,3〉

| 適用工事 | 建築基準法の指定 |
|---|---|
| ・ 合成高分子系ルーフィングシート | 風速(V0) ※30 |
| ・ アルミニウム笠木・金属板屋根葺 | 地表面粗度区分 ・Ⅱ ・Ⅲ |
| ・ 折板屋根葺 ・ ガラスブロック | 多雪地域の指定 ・有 ・無 |
| ・ 重量シャッター・軽量シャッター | |
| ・ オーバーヘッドドア ・ 屋上緑化 | |

12. 設計GL ※ 図示 ・ 現状平均地盤高

13. 施工調査 施工数量調査 〈1.6.2〉

| 調査項目 | 調査範囲 | 調査方法 | 成果品 |
|---|---|---|---|
| 損傷調査 | 下屋鉄板 | 目視、打診 | |
| 損傷調査 | 下屋雨水排水溝 | 目視、打診 | |
| 損傷調査 | 下屋下地鋼材全般 | 目視、打診 | |
| 損傷調査 | 外壁、他外部全般 | 目視、打診 | |

・既存部分の破壊を行った場合の補修方法は、図示による。 〈1.6.3〉

14. 技能士 ・下表で技能士を適用することとした職種に、１級又は 〈1.7.2〉
単一級技能士を配置する。
※下表で技能士を適用することとした職種に、１級、２級又は単一級技能士を配置する。
※下表で技能士を適用しないとした職種でも、技能士の配置に努めること

| 工事種目 | 技能検定職種（技能検定作業） |
|---|---|
| 以下の該当工事 | ⊙該当する作業がある以下の職種（作業）の全て |
| 仮設工事 | ⊙とび（とび作業） |
| 防水改修工事 | ⊙防水施工（・アスファルト防水工事作業<br>・ウレタンゴム系塗膜防水工事作業<br>・アクリルゴム系塗膜防水工事作業<br>・合成ゴム系シート防水工事作業<br>・塩化ビニル系シート防水工事作業<br>・セメント系防水工事作業<br>○ ・シーリング防水工事作業<br>・改質アスファルトシートトーチ防水工事作業<br>・ＦＲＰ防水工事作業 ） |
| 外壁改修工事 | ⊙左官(左官作業) ・タイル張り(タイル張り作業)<br>⊙樹脂接着剤注入施工(樹脂接着剤注入工事作業)<br>⊙塗装(建築塗装作業) |
| 建具改修工事 | ⊙サッシ施工（ビル用サッシ施工作業）<br>⊙ガラス施工（ガラス工事作業）<br>・自動ドア施工（自動ドア施工作業） |
| 内装改修工事 | ⊙内装仕上施工（・プラスチック系床仕上工事作業<br>・カーペット系床仕上作業<br>○ ・木質系床仕上工事作業<br>○ ・ボード仕上工事作業<br>○ ・調整下地工事作業 ）<br>⊙表装（壁装作業） ⊙建築大工（大工工事作業） |
| 塗装改修工事 | ⊙塗装（建築塗装作業） |
| 耐震改修工事 | ⊙鉄筋施工(鉄筋組立作業)<br>⊙型枠施工(型枠工事作業) ・とび(とび作業)<br>⊙コンクリート圧送施工(コンクリート圧送工事作業) |
| ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ・ALCﾊﾟﾈﾙ・押出成形セメント板工事 | ・ブロック建築（コンクリートブロック工事作業）<br>・ＡＬＣパネル施工（ＡＬＣパネル工事作業） |
| 石工事 | ・石材施工（石張り作業） |
| 排水工事 | ・配管（建築配管作業） |
| 舗装工事 | ・路面標示施工（・溶融ﾍﾟｲﾝﾄﾊﾝﾄ゛ﾏｰｶｰ工事作業<br>・加熱ﾍﾟｲﾝﾄﾏｼﾝﾏｰｶｰ作業 ） |
| 植栽工事 | ・造園（造園工事作業） |
| 屋根及びとい工事 | ⊙建築板金（内外装板金作業）<br>・スレート施工（スレート工事作業） |

15. 完成図等
営繕工事完成引渡要領（令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課）により作成する。
※ 白焼Ａ４版折製本（黒表紙金文字入） 1部
※ 白焼縮小（Ａ３版）２つ折製本 1部
※ 完成図面 JWW形式又はDXF形式のCADデータ
及びPDFデータ DVD-R等2部

16. 完成写真 ※ 作成する ・ 作成しない
営繕工事写真撮影要領により、完成届に添付する完成写真とは別に次のものを原本（電子媒体）とともに監督職員に提出する。
なお、原本は、DVD-R等で提出すること。

| 分類 | サイズ | 撮影箇所数 | 部数 | 提出様式 |
|---|---|---|---|---|
| ※カラー<br>・白黒 | ※Ｌ<br>・２Ｌ<br>・六切り | ※営繕工事写真撮影要領の完成写真程度<br>・ 箇所 枚 | ※１部<br>・ 部 | ※工事用アルバムＡ４版<br>ポケット式程度<br>・フリーアルバム<br>（台紙寸法323×270程度） |

アルバムは、監督職員との協議により紙媒体又は電子媒体とする。

17. 設備工事との取合い 施工範囲 各工事の区分表による。
施工図 設備機器の位置、取り合い等が検討できる施工図を提出して監督職員の承諾を受ける。

18. 火災保険等 工事目的物及び工事材料等について、次により保険に付す。
保険の種類 ※ 火災保険 ※ 建設工事保険
保険期間 ※ 工事着手から工事目的物引き渡しまで

② 仮設工事
①仮囲い ※ 設ける ・ 設けない
仮囲いの位置及び延長は図示による。
⊙キャスターゲート（H=2.0、W=6.0）× 2 箇所
・シートゲート（H= 、W= ）× 箇所
②交通誘導員 ⊙ 配置する（ 48日 × 1 人 = 48 人日） ※ 配置しない
③揚重機械器具 ・ トラッククレーン（ t吊り）× 日
⊙ ラフテレーン（ 25t吊り） × 4 日

② 仮設工事
④工事表示板 ※ 設置する ・設置しない
営繕工事における工事及びコスト表示要領（令和6年4月1日宮城県土木部営繕課・設備課制定）による。
⑤．足場等 外部足場 ⊙設置する （設置範囲 ・工事に必要な範囲 〈2.2.1〉
⊙図示 )〈表2.2.1〉
・設置しない
防護シート ⊙設置する （設置範囲 ・工事に必要な範囲
・ )
・設置しない
内部足場 ⊙設置する （⊙枠組み棚足場 ㊙脚立、足場板等）
・設置しない
⊙材料、搬去材等の運搬方法
種別（・Ａ種 ・Ｂ種 ・Ｃ種 ⊙Ｄ種 ・Ｅ種）
Ｃ種：利用可能なエレベーター （ ）
Ｄ種：利用可能な階段 （ ）
足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月策定）」によるものとし、設置については「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」及び「働きやすい安心感のある足場に関する基準」によること。
⑥．養生 家具及び設備の移動 ・ 行う〈図示） ・ 行わない 〈2.3.1〉
既存ブラインド・カーテン等の養生及び保管
⊙ 行う ・ 行わない
養生の方法 ⊙取り外してビニール袋に保管(再取り付け)
保管場所 ⊙敷地内生涯学習センター倉庫
７．仮設囲仕切り ・ 設ける〈図示） 〈2.3.2〉〈表2.3.1〉
・ Ａ種 ・ Ｂ種 ※ Ｃ種
⑧監督職員事務所 ※ 設けない（請負者事務所に打合せ会議室を確保する） 〈2.4.1〉
・ 設ける（規模 ㎡程度 請負者事務所と同棟 ・可 ・否）
備品（
⑨工事用水 構内既存の施設 ⊙ 利用できる（※有償 ・無償） ※ 利用できない
⑩工事用電力 構内既存の施設 ⊙ 利用できる（※有償 ・無償） ※ 利用できない
※ 溶接などの消費電力の大きな機器を除く
⑪工事用通路 ※ 指定しない ⊙ 指定する（図示）

③ 防水改修工事
①雨等に対する養生(とい共) ※改修標準仕様書3.1.3(5)〈ア〉〜〈ウ〉による 〈3.1.3〉
・
2.既存防水の処理 既存保護層の撤去 〈3.2.3〜4〉〈3.2.6〉
・行う（範囲 ・図示による ・ ）
・行わない
既存防水層の撤去
・行う（範囲 ・図示による ・ ）
・行わない
露出防水層表面の仕上げ塗装除去
・行う（ ・M4AS ・M4ASI ・M4C ・M4DI ・L4X ）
・行わない
3．既存下地の処理 補修箇所の形状、長さ、数量等 〈3.2.6〉
※図示による ・
POS工法及びPOSI工法（機械的固定方法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処置
※改修標準仕様書3.2.6(4)〈ウ〉(g)①〜③による
設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ回り、手すり・丸環の取付け部、塔屋取付出入口部等の欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
※監督職員と協議する
・図示による
4．アスファルト防水 屋根保護防水（既存） 〈3.1.4〉〈3.3.2〜5〉〈表3.1.1〉〈表3.3.3〜10〉
新設防水層の種別

| 改修工法 | 新設種別 | 施工箇所 | 絶縁用シート | 断熱材 |
|---|---|---|---|---|
| ・P2A | ・A-1 | | ※ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上又はフラットヤーンクロス70g/㎡程度 | |
| | ・A-2 | | | |
| | ・A-3 | | | |
| ・P1B | ・B-1 | | | |
| | ・B-2 | | | |
| ・P2AI | ・AI-1 | | ※フラットヤーンクロス70g/㎡程度 | ※JISA9521に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA（スキン層付き）厚さ ・ |
| | ・AI-2 | | | |
| | ・AI-3 | | | |
| ・P1BI | ・BI-1 | | | |
| | ・BI-2 | | | |

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料による区分 ※R種
厚さ（ )mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.3.3及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分 ・
材料による区分 ※R種
厚さ（ )mm以上
平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ ※水下 80mm以上 ・
床タイル張り ※水下 60mm以上 ・
立上り部の保護方法
・乾式保護材（品質・性能、試験方法は別表による）
窯業系パネルⅠ類（厚さ (mm) 幅 (mm)）
・れんが押え（※JIS R 1250 ・ ）
・コンクリート押え
・モルタル押え（屋内）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 建築工事改修特記仕様書(1)(令和6年版)<br>縮尺 S=1:・・・(A3版 50%縮小) |

| 図面種別 | A |
|---|---|
| 図面番号 | 02 |

③ 防水改修工事

屋根露出防水（既存）
新設防水層の種別

| 改修工法 | 新設種別 | 施工箇所 | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用量 | 断熱材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・M4C | ・C-1<br>・C-2<br>・C-3<br>・C-4 | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | | |
| ・M3D<br>・P0D | ・D-1<br>・D-2<br>・D-3<br>・D-4 | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | | 脱気装置<br>・有　・無<br>改修用ﾄﾞﾚﾝ<br>・有　・無 |
| ・P0DI<br>・M3DI<br>・M4DI | ・DI-1<br>・DI-2 | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | ※3.3.2(9)<br>種類<br>・<br>厚さ<br>・ | 脱気装置<br>・有　・無<br>改修用ﾄﾞﾚﾝ<br>・有　・無 |

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.3.8及び表3.3.9による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
絶縁断熱工法のルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
※図示による　・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　（個）

屋根防水
防水層の種別

| 改修工法 | 種別 | 施工箇所 |
|---|---|---|
| ・P1E | ・E-1 | |
| ・P2E | ・E-2 | |

保護層　・設ける（※図示による　・　）
・設けない
E-1の工程3を行う部位
※貯水槽、浴室等常時水に接する部位
・
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
屋上排水溝
※図示による　・

5．改質アスファルトシート防水

屋根露出防水（既存）　<3.4.2、3>
新設防水層の種別

| 改修工法 | 新設種別 | 施工箇所 | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用量 | 断熱材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・M4AS | ・AS-T1<br>・AS-T2<br>・AS-J2 | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | | |
| ・M3AS | ・AS-T3<br>・AS-T4<br>・AS-J1 | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | | 脱気装置<br>・有　・無<br>改修用ﾄﾞﾚﾝ<br>・有　・無 |
| ・P0AS | ・AS-T3<br>・AS-T4<br>・AS-J1<br>・AS-J3 | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | | 脱気装置<br>・有　・無<br>改修用ﾄﾞﾚﾝ<br>・有　・無 |
| ・M3ASI<br>・M4ASI<br>・P0ASI | ・ASI-TI | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | 3.4.2(3)ｳ<br>種類<br>・<br>厚さ<br>・ | 脱気装置<br>・有　・無<br>改修用ﾄﾞﾚﾝ<br>・有　・無 |
| | ・ASI-JI | | | | | 防湿層<br>・有　・無 |

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による
・JIS A 6013に基づく種類及び厚さ
用途による区分　・
材料による区分　※R種
厚さ（　　）mm以上
立上り部の押え金物の材質、形状及び寸法
※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
・
絶縁工法及び絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
設置数量　※アスファルトルーフィング類の製造所の指定
・　（個）

③ 防水改修工事

6．合成高分子系ルーフィングシート防水

絶縁断熱工法の防湿用シート
・設置する　・設置しない

<3.5.2～4><表3.5.1～3>
新設防水層の種別

| 改修工法 | 新設種別 | 施工箇所 | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用量 | 断熱材 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・P0S<br>・S4S | ・S-F1 | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | | 脱気装置<br>・有　・無<br>改修用ﾄﾞﾚﾝ<br>・有　・無 |
| | ・S-F2 | | | | | |
| | ・S-M1 | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | | |
| | ・S-M2 | | | | | |
| ・S3S | ・S-F1 | ・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地<br>・ | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | | 脱気装置<br>・有　・無 |
| | ・S-F2 | ・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地<br>・ | | | | |
| ・M4S | ・S-M1 | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | | 脱気装置<br>・有　・無 |
| | ・S-M2 | | | | | |
| ・P0SI<br>・S3SI<br>・S4SI<br>・M4SI | ・S-F1 | ・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地<br>・ | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | 3.5.2(3)(ｲ)(b)<br>種類<br>・<br>厚さ(mm)<br>・25　・50<br>・ | 脱気装置<br>・有　・無<br>改修用ﾄﾞﾚﾝ<br>・有　・無 |
| | ・S-F2 | ・ﾌﾟﾚｷｬｽﾄｺﾝｸﾘｰﾄ下地<br>・ | | | | |
| | ・S-M1 | | ・製造所の仕様<br>・ | ※製造所の仕様<br>・ | 3.5.2(3)(ｲ)(a)<br>種類<br>・<br>厚さ(mm)<br>・25　・50<br>・ | |
| | ・S-M2 | | | | | |

S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様
※非歩行仕様
・軽歩行仕様
S1-M1及びS1-M2における防湿用フィルム
・設置する　・設置しない

屋内防水
防水層の種別

| 種別 | 種別 | 施工箇所 | 保護層 平場の保護モルタル塗厚 | 保護層 立上り部の保護モルタル塗厚 |
|---|---|---|---|---|
| ・P1S | ・S-C1 | | ・ | ※7mm以下<br>・ |

平場の保護モルタル床塗りにおける目地の目地割及び種類
目地割
※目地割2㎡程度、最大目地間隔3m程度
・
目地の種類
※押し目地
・
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
※改修標準仕様書表3.5.1から表3.5.3による
・JIS A 6008に基づく種類及び厚さ
種類　・
厚さ　・　mm以上
絶縁用シートの材質
※発泡ポリエチレンシート
・
固定金具の材質、形状及び寸法
※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの鋼板の片面若しくは両面に樹脂を積層加工したもの
・
接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
種類
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・
設置数量
※ルーフィングシートの製造所の仕様
・（　）個
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
・行う（・図示による　・　）
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り（種別S-F1、S-F1の場合）
・行う（・図示による　・　）
・行わない

7．塗膜防水

新設防水層の種別　<3.6.2、3>

| 改修工法 | 新設種別 | 施工箇所 | 仕上塗料 種類 | 仕上塗料 使用量 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・P0X | ※X-1<br>・X-2<br>・X-1H<br>・X-2H<br>・ | | ・主材料の製造所の仕様<br>・ | ※主材料の製造所の仕様<br>・ | 脱気装置<br>・有　・無<br>改修用ﾄﾞﾚﾝ<br>・有　・無 |
| ・L4X | ・X-1<br>※X-2<br>・X-1H<br>・X-2H<br>・ | | ・主材料の製造所の仕様<br>・ | ※主材料の製造所の仕様<br>・ | 脱気装置<br>・有　・無 |

ウレタンゴム系塗膜防水X-1の脱気装置の種類及び設置数量
種類　※主材料の製造所の仕様
・
設置数量　※主材料の製造所の仕様
・　（個）

⑧ シーリング

新設防水層の種別

| 改修工法 | 新設種別 | 施工箇所 | 工程数及び各工程の使用量 | 保護層 |
|---|---|---|---|---|
| ・P1Y | ※Y-2<br>・ | | ※主材料の製造所の仕様<br>・ | ・設ける<br>・設けない |
| ・P2Y | ※Y-2<br>・ | | ※主材料の製造所の仕様<br>・ | ・設ける<br>・設けない |

シーリング改修工法の種類　<3.1.4><3.7.2、3、7、8>
・シーリング充填工法
⊙シーリング再充填工法
⊙鉄骨造特有のﾃﾞｨﾃｰﾙで構成された建築物であるため重要な止水は全てｼｰﾘﾝｸﾞのみで完結されています。従って、既存ｼｰﾘﾝｸﾞは全て再充填工法とし、その他監督員が指示する部分全てにｼｰﾘﾝｸﾞを充填する事。

⊙外壁継ぎ目地及びサッシュ廻り
⊙ポリサルファイド系10以上×10以上が基本、その他図示に従う事

シーリング材の種類、施工箇所
下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による。

| 施工箇所 | シーリング材の種類（記号） |
|---|---|
| ⊙　AW廻り、外壁継ぎ目地、その他 | ポリサルファイド系 |
| ⊙　金属部分はｼﾘｺｰﾝ系20×20、その他図示に従うこと | |
| ⊙　屋根折版ﾎﾞﾙﾄ頭は変性ｼﾘｺｰﾝ系20×20、その他図示に従うこと | |

仕上げを行わない施工箇所
・図示による　・
シーリング材の目地寸法
※改修標準仕様書3.7.3(1)による
・図示による　・

接着性試験
※簡易接着性試験
・引張接着性試験

⑨．とい

といその他の材種　<3.8.2、3>
・配管用鋼管
⊙硬質ポリ塩化ビニル管(VP)
・ルーフドレン
・表面処理鋼板（表面及び裏面の塗膜の種類　・　）
・
とい受金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品（とい径100以下）
※25×4.5以上（とい径100を超えるもの）
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
足金物
材種
※改修標準仕様書3.8.2による（溶融亜鉛めっきを行ったもの）
・
形状
※市販品
・
取付け間隔
※改修標準仕様書3.8.2による
・
多雪地域
・適用する　・適用しない
防露材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法
・図示による　・
鋼管製といの防露巻き
※改修標準仕様書表3.8.4による
・

ルーフドレンの種類及び呼び

| 種別 | | 呼び | 施工箇所 |
|---|---|---|---|
| ・ろく屋根用たて形Ⅰ型 | ※ねじ込み式 | ・80　・100　・125　・150 | |
| ・ろく屋根用横形Ⅰ型 | ※ねじ込み式 | ・80　・100　・125　・150 | |
| ・バルコニー中継用 | ※ねじ込み式 | ・50　・80　・100 | |
| | ・差し込み式 | ・50　・75　・100 | |
| ・バルコニー用 | ※ねじ込み式 | ・50　・80　・100 | |
| | ・差し込み式 | ・50　・75　・100 | |

たてどい受金物の取付け
※図示による
ルーフドレンの取付け
※水はけよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
・

10．アルミニウム製笠木

種類　<3.9.2、3>
・オーブン形式（・押出250形　・押出300形　・押出350形）
・板材折曲げ形（・オーブン形式　・シール形式）
本体幅（　　）mm　板厚（※2.0mm　・　　mm）
表面処理
種別（　　）種
色合等　・標準色（　　）　・特注色（　　）
既存笠木等の撤去
・行う（範囲　・図示による　・　　）
・行わない
下地補修の工法
※図示による　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法
※図示による　・

11．防水保証

アスファルト防水、改質アスファルトシート防水及び合成高分子系ルーフィングシート防水の保証期間は、引渡しの日から10年間とし、メーカー・施工業者との連名の上、保証書を提出する。
塗膜防水及びケイ酸質系塗布防水については、メーカー・施工業者が通常定めている期間とし、保証書を作成し提出する。

4-1 外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁

1．ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　<4.1.4><4.3.5、6、7、8>

| 工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 注入口間隔(mm) | 注入量(mL/m) | 延べ長さ(m) |
|---|---|---|---|---|
| ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 | 0.2以上～1.0未満 | ※200～300<br>・ | ・130<br>・ | |
| ・手動式エポキシ樹脂注入工法 | 0.2以上～0.3未満 | ・50～100<br>・ | ・40<br>・ | |
| ・機械式エポキシ樹脂注入工法 | 0.3以上～0.5未満 | ・100～200<br>・ | ・70<br>・ | |
| | 0.5以上～1.0未満 | ・150～250<br>・ | ・130<br>・ | |
| | | | | |

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による　・

・Uカットシール材充填工法

| 工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 延べ長さ(m) |
|---|---|---|
| ・可とう性エポキシ樹脂 | 0.2以上～0.3 未満 | |
| | 0.3以上～0.5 未満 | |
| | 0.5以上～1.0 未満 | |
| | 1.0 超過 | |
| ・シーリング材 | 1.0超過～1.5 未満 | |
| | 1.5以上～2.0 未満 | |
| | 以上～未満 | |

・シーリング材
充填材料の種類
※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
・
・行う　・行わない
シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

| 工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 延べ長さ(m) |
|---|---|---|
| ・パテ状エポキシ樹脂<br>・可とう性エポキシ樹脂 | 0.2未満 | |

2．欠損部改修工法

・充填工法　<4.1.4><4.2.4,7>

| 材料 | 平均深さ(mm) | 平均広さ(㎡) | 延べ箇所数 |
|---|---|---|---|
| ・ポリマーセメントモルタル | 5～10未満 | | |
| | 10～15未満 | | |
| | 15～20未満 | | |
| | 20～25未満 | | |
| | 25～30未満 | | |
| ・エポキシ樹脂モルタル | 30～35未満 | | |
| | 35～40未満 | | |

④-2 外壁改修工事 モルタル塗り仕上げ外壁

1．ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　<4.1.4><4.3.5、6、7、8>

| 工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 注入口間隔(mm) | 注入量(mL/m) | 延べ長さ(m) |
|---|---|---|---|---|
| ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 | 0.2以上～1.0 未満 | ※200～300<br>・ | ・130<br>・ | |
| ・手動式エポキシ樹脂注入工法 | 0.2以上～0.3 未満 | ・50～100<br>・ | ・40<br>・ | |
| ・機械式エポキシ樹脂注入工法 | 0.3以上～0.5 未満 | ・100～200<br>・ | ・70<br>・ | |
| | 0.5以上～1.0 未満 | ・150～250<br>・ | ・130<br>・ | |
| | | | | |

注入状況の確認方法
※コアの抜取りを行う
抜取り個数
※長さ500mごと及びその端数につき1個
・
抜取り部の補修方法
※図示による　・

・Uカットシール材充填工法

| 工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 延べ長さ(m) |
|---|---|---|
| ・可とう性エポキシ樹脂 | 0.2以上～0.3 未満 | |
| | 0.3以上～0.5 未満 | |
| | 0.5以上～1.0 未満 | |
| | 1.0 超過 | |
| ・シーリング材 | 1.0超過～1.5 未満 | |
| | 1.5以上～2.0 未満 | |
| | 以上～未満 | |

令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

図面名　建築工事改修特記仕様書(2)（令和6年版）
縮尺　S=1:・・・(A3版 50%縮小)
図面種別　A
図面番号　03

## ④-2 外壁改修工事　モルタル塗り仕上げ外壁

・シーリング材
　充填材料の種類
　　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
　　・
　シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルの充填　.
　　・行う　　・行わない
　シーリング材の試験は改修標準仕様書3章　防水改修工事による。
・可とう性エポキシ樹脂

⊙シール工法 ⊙硬質木片セメント版目透かし仕上げ:外壁

| 工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 延べ長さ(m) |
|---|---|---|
| ⊙パテ状エポキシ樹脂<br>・可とう性エポキシ樹脂 | 0.2未満 | 10m |

### ②. 欠損部改修工法

⊙充填工法 ⊙硬質木片セメント版目透かし仕上げ:外壁　<4.1.4><4.3.9、10>

| 材料 | 平均深さ(mm) | 平均広さ(㎡) | 延べ箇所数 |
|---|---|---|---|
| ・ポリマーセメントモルタル | 5～10未満 | | |
| | 10～15未満 | | |
| | 15～20未満 | | |
| | 20～25未満 | | |
| | 25～30未満 | | |
| ⊙エポキシ樹脂モルタル | 30～35未満 | | |
| | 35～40未満 | 0.1m×0.1m×100箇所=1.0㎡ | |

・モルタル塗替え工法

| 材料 | 平均深さ(mm) | 平均広さ(㎡) | 延べ箇所数 |
|---|---|---|---|
| ・現場調合材料 | | | |
| ・既調合材料 | | | |

・現場調合材料
（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
・既調合材料（　　）

既製目地材
　・使用する（形状　・図示による　　・　　）
仕上げ厚又は全塗厚が25㎜を超える場合の措置
　※図示による　　・

### ③. 浮き部改修工法

⊙モルタル塗り仕上げ:外部幅木　<4.1.4><4.3.11～16>

| 工法の種類 | ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ本数(本/㎡) 一般部 | ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ本数(本/㎡) 指定部 | 注入口箇所数(箇所/㎡) 一般部 | 注入口箇所数(箇所/㎡) 指定部 | 注入量(mL/箇所) | 延べ広さ(㎡) 一般部 | 延べ広さ(㎡) 指定部 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ・アンカーピンニング<br>部分エポキシ樹脂注入工法 | ※16<br>・ | ※25<br>・ | ― | ― | ※25<br>・ | | |
| ・アンカーピンニング<br>全面エポキシ樹脂注入工法 | ※13<br>・ | ※20<br>・ | ※12<br>・ | ※20<br>・ | ※25<br>・ | | |
| ・アンカーピンニング<br>全面ポリマーセメント<br>スラリー注入工法 | ※13<br>・ | ※20<br>・ | ※12<br>・ | ※20<br>・ | ※50<br>・ | | |
| ・注入口付アンカーピンニング<br>部分エポキシ樹脂注入工法 | ※9<br>・ | ※16<br>・ | ― | ― | ※25<br>・ | | |
| ・注入口付アンカーピンニング<br>全面エポキシ樹脂注入工法 | ※9<br>・ | ※16<br>・ | ※9<br>・ | ※16<br>・ | ※25<br>・ | | |
| ・注入口付アンカー<br>ピンニング全面ポリマー<br>セメントスラリー注入工法 | ※9<br>・ | ※16<br>・ | ※9<br>・ | ※16<br>・ | ※50<br>・ | | |
| ・充填工法 | ― | ― | ― | ― | ― | | |
| ⊙モルタル塗替え工法 | ― | ― | ― | ― | 外部幅木 | 2.0㎡ | |

アンカーピンの材質
　※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
　・
注入口付アンカーピンの材質
　※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
　・
注入工法用材料
　・ポリマーセメントスラリー

| 広がり速度(cm/s) | 長さ変化量(収縮)(%) | 引張接着性(材齢28日)(N/mm2) | 曲げ性能(材齢28日)(N/mm2) | 吸水性(72時間)(%) | 耐久性(劣化曲げ強さ)(N/mm2) |
|---|---|---|---|---|---|
| 3以上 | 3以下 | 0.5以上 | 5.0以上 | 15以下 | 5.0以上 |

　保水係数　0.35～0.55
　粘調係数　0.50～1.00

充填工法用材料
　・エポキシ樹脂モルタル
　・ポリマーセメントモルタル
モルタル塗替え工法用材料
　・現場調合材料
　（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）
　・既調合材料（　　）
　既製目地材
　　・使用する（形状　・図示による　　・　　）
　仕上げ厚又は全塗厚が25㎜を超える場合の措置
　　※図示による　　・

## 4-3 外壁改修工事　タイル張り仕上げ外壁

### 1. タイルの形状寸法等

タイルの形状、寸法等　<4.4.5、8>

| 施工箇所 | 形状/寸法(mm) | 吸水率による区分 Ⅰ類 | Ⅱ類 | Ⅲ類 | うわぐすり 施ゆう | 無ゆう | 役物 有 | 無 | 色 標準 | 特注 | 耐凍害性 有 | 無 | 耐滑り性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

標準的な曲がりの役物は一体成形とする。
見本焼き
　・行う(施工箇所：　　)　　・行わない
試験張り
　・行う(範囲、仕様等は図示による)　　・行わない

### 2. ひび割れ部改修工法

・樹脂注入工法　<4.1.4><4.4.5、6>

| 工法の種類 | ひび割れ幅(mm) | 注入口間隔(mm) | 注入量(mL/m) | 延べ長さ(m) |
|---|---|---|---|---|
| ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 | 0.2以上～1.0未満 | ※200～300<br>・ | ・130<br>・ | |
| ・手動式エポキシ樹脂注入工法 | 0.2以上～0.3未満 | ・50～100<br>・ | ・40<br>・ | |
| ・機械式エポキシ樹脂注入工法 | 0.3以上～0.5未満 | ・100～200<br>・ | ・70<br>・ | |
| | 0.5以上～1.0未満 | ・150～250<br>・ | ・130<br>・ | |
| | | | | |

注入状況の確認方法
　※コアの抜取りを行う
　抜取り個数
　　※長さ500mごと及びその端数につき1個
　　・
　抜取り部の補修方法
　　※図示による　　・

### 3. 欠損部改修工法

・タイル部分張替え工法　<4.1.4><4.4.5、7、8>
　接着剤の種類
　　・ポリマーセメントモルタル
　　・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　施工数量：　平均広さ（　　）㎡　　延べ箇所数（　　）箇所

・タイル張替え工法
　張替え用材料
　　・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　　・張付けモルタル　（・現場調合材料　　・既調合モルタル）
　伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
　　※改修標準仕様書表4.4.2による
　　・図示による
　外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
　　・行う　　・行わない
　施工数量：　平均広さ（　　）㎡　　延べ箇所数（　　）箇所
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
　下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
　　・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
　　・
　タイル張りの工法
　　・外装タイル
　　　・密着張り　　・改良圧着張り
　　・ユニットタイル
　　　・マスク張り　　・モザイクタイル張り

　シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
　モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理
　　・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
　　・
　シーリング材の種類
　　打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
　　※ポリウレタン系
　　・
　伸縮調整目地その他の目地
　　※変成シリコーン系
　　・

　シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

### 4. 浮き部改修工法

<4.1.4><4.4.5、9～15><4.5.9～15>

| 工法の種類 | ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ本数(本/㎡) 一般部 | ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ本数(本/㎡) 指定部 | 注入口箇所数(箇所/㎡) 一般部 | 注入口箇所数(箇所/㎡) 指定部 | 注入量(mL/箇所) | 延べ広さ(㎡) 一般部 | 延べ広さ(㎡) 指定部 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ・アンカーピンニング<br>部分エポキシ樹脂注入工法 | ※16<br>・ | ※25<br>・ | ― | ― | ※25<br>・ | | |
| ・アンカーピンニング<br>全面エポキシ樹脂注入工法 | ※13<br>・ | ※20<br>・ | ※12<br>・ | ※20<br>・ | ※25<br>・ | | |
| ・アンカーピンニング<br>全面ポリマーセメント<br>スラリー注入工法 | ※13<br>・ | ※20<br>・ | ※12<br>・ | ※20<br>・ | ※50<br>・ | | |
| ・注入口付アンカーピンニング<br>部分エポキシ樹脂注入工法 | ※9<br>・ | ※16<br>・ | ― | ― | ※25<br>・ | | |
| ・注入口付アンカーピンニング<br>全面エポキシ樹脂注入工法 | ※9<br>・ | ※16<br>・ | ※9<br>・ | ※16<br>・ | ※25<br>・ | | |
| ・注入口付アンカー<br>ピンニング全面ポリマー<br>セメントスラリー注入工法 | ※9<br>・ | ※16<br>・ | ※9<br>・ | ※16<br>・ | ※50<br>・ | | |
| ・注入口付アンカーピンニング<br>エポキシ樹脂注入タイル<br>固定工法 | ・ | ・ | ― | ― | ※25<br>・ | | |
| ・タイル部分張り替え工法 | ― | ― | ― | ― | ― | | |
| ・タイル張り替え工法 | ― | ― | ― | ― | ― | | |

アンカーピンの材質
　※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの
　・
注入口付アンカーピンの材質
　※ ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度
　・

・タイル部分張替え工法
　接着剤の種類
　　・ポリマーセメントモルタル
　　・JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　施工数量：　平均広さ（　　）㎡　　延べ箇所数（　　）箇所

・タイル張替え工法
　張替え用材料
　　・接着剤JIS A 5557に基づく一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系
　　・張付けモルタル　（・現場調合材料　　・既調合モルタル）
　伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置
　　※改修標準仕様書表4.5.1による
　　・図示による
　外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験
　　・行う　　・行わない
　施工数量：　平均広さ（　　）㎡　　延べ箇所数（　　）箇所

・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
　下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
　　・目荒し工法（改修標準仕様書4.3.10(3)による）
　　・
　タイル張りの工法
　　・外装タイル
　　　・密着張り　　・改良圧着張り
　　・ユニットタイル
　　　・マスク張り　　・モザイクタイル張り

　シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
　モルタル塗りを行うコンクリート素地面の下地処理
　　・目荒し工法（改修標準仕様書4.4.9(3)による）
　　・
　シーリング材の種類
　　打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地
　　※ポリウレタン系
　　・
　伸縮調整目地その他の目地
　　※変成シリコーン系
　　・
　シーリングのその他事項は、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

### 5. 目地改修工法

<4.1.4><4.4.5、16>

・目地ひび割れ部改修工法
・伸縮調整目地改修工法
　伸縮調整目地の位置及び寸法
　　・図示による　　・
シーリングは、改修特記仕様書第3章　防水改修工事による。

## ④-4 外壁改修工事　塗り仕上げ外壁

### ①. 既存塗膜等の除去・下地処理及び下地調整

⊙硬質木片セメント版目透かし仕上げ　<4.5.4>

| 工法 | 処理範囲 | 下地面の補修 |
|---|---|---|
| ・サンダー工法 | ※既存仕上げ面全体<br>・図示による | ⊙ひび割れ部改修工法<br>・浮き部改修工法<br>⊙欠損部改修工法 |
| ⊙高圧水洗工法 | ※既存仕上げ面全体<br>・図示による | |
| ・塗膜はく離剤工法 | ※既存仕上げ面全体<br>・図示による | |
| ・水洗い工法 | ※サンダー工法、高圧水洗工法、塗膜はく離剤工法の処理範囲以外の既存仕上面全面<br>・図示による | |

### ②. 下地調整塗材

※下地調整塗材　<4.5.2>
・ポリマーセメントモルタル

### ③. 仕上塗材仕上げ

新規仕上塗材の種類　<4.1.5><4.5.2><表4.5.1>
・薄付け仕上塗材　⊙硬質木片セメント版目透かし仕上げ

| 種類（呼び名） | 仕上げの形状 | 工法 | 防火材料 |
|---|---|---|---|
| ・外装薄塗材S | ・砂壁状<br>・ゆず肌状 | ・吹付け | ・ |
| | ・ゆず肌状<br>・さざ波状 | ・ローラー塗り | |
| ・可とう形外装塗材S | ・砂壁状<br>・ゆず肌状 | ・吹付け | ・ |
| | ・ゆず肌状<br>・さざ波状 | ・ローラー塗り | |
| ⊙外装薄塗材E | ⊙砂壁状<br>・ゆず肌状 | ⊙吹付け | ⊙MN-8572不燃 |
| | ・平たん状<br>・凹凸状 | ・こて塗り | |
| | ・ゆず肌状<br>・さざ波状 | ・ローラー塗り | |
| | ・着色骨材砂壁状 | ・吹付け<br>・こて塗り | |
| ・可とう形外装塗材E | ・砂壁状<br>・ゆず肌状 | ・吹付け | ・ |
| | ・平たん状<br>・凹凸状 | ・こて塗り | |
| | ・ゆず肌状<br>・さざ波状 | ・ローラー塗り | |
| ・防水形外装薄塗材E | ・ゆず肌状<br>・さざ波状 | ・ローラー塗り | ・ |
| | ・凹凸状 | ・吹付け | |
| ・外装薄塗材S | ・砂壁状 | ・吹付け | ・ |

・厚付け仕上塗材

| 種類（呼び名） | 仕上げの形状 | 工法 | 上塗り | 防火材料 |
|---|---|---|---|---|
| ・外装厚塗材C | ・吹放し<br>・凸部処理 | ・吹付け | ・適用する | ・ |
| | ・平たん状<br>・凹凸状<br>・ひき起こし<br>・かき落とし | ・こて塗り | | |
| ・外装厚塗材S<br>・外装厚塗材E | ・吹放し<br>・凸部処理 | ・吹付け | ・適用する | ・ |
| | ・平たん状<br>・凹凸状<br>・ひき起こし | ・こて塗り<br>・ローラー塗り | | |

・複層仕上塗材

| 種類（呼び名） | 仕上げの形状 | 工法 | 上塗材の種類 | 耐候性 | 防火材料 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・複層塗材CE<br>・複層塗材RE<br>・複層塗材Si<br>※複層塗材E | ・凸部処理<br>・凹凸状 | ・吹付け | 樹脂<br>※ｱｸﾘﾙ系<br>・<br>外観<br>※つやあり<br>・ﾒﾀﾘｯｸ<br>・<br>溶媒<br>※水系<br>・ | ※耐候形3種<br>・ | ・ |
| | ・ゆず肌状 | ・ローラー塗り | | | |
| ・可とう形複層塗材CE | ・凸部処理<br>・凹凸状 | ・吹付け | 樹脂<br>※ｱｸﾘﾙ系<br>・<br>外観<br>※つやあり<br>・ﾒﾀﾘｯｸ<br>・<br>溶媒<br>※水系<br>・ | ※耐候形3種<br>・ | ・ |
| | ・ゆず肌状 | ・ローラー塗り | | | |
| ・防水形複層塗材CE<br>・防水型複層塗材RE<br>・防水形複層塗材E | ・凸部処理<br>・凹凸状 | ・吹付け | 樹脂<br>※ｱｸﾘﾙ系<br>・<br>外観<br>※つやあり<br>・ﾒﾀﾘｯｸ<br>・<br>溶媒<br>※水系<br>・ | ※耐候形3種<br>・ | ・ |
| | ・ゆず肌状 | ・ローラー塗り | | | |

・可とう形改修用仕上塗材

| 種類（呼び名） | 仕上げの形状 | 工法 | 上塗材の種類 | 耐候性 | 防火材料 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・可とう形改修塗材E | ・平たん状 | ・ローラー塗り | 樹脂<br>・<br>外観<br>・<br>溶媒<br>・ | ・耐候形1種<br>・耐候形2種<br>・耐候形3種 | ・ |
| ・可とう形改修塗材RE | ・さざ波状 | ・ローラー塗り | | | |
| ・可とう形改修塗材CE | ・ゆず肌状 | ・吹付け | | | |

### 4. マスチック塗材塗り

種別　<4.1.5><4.6.2><表4.6.1>
　・A種　　・B種

### 5. 外壁用塗膜防水材塗り

仕上げの形状　<4.1.5><4.7.2、3><表4.7.1>
　・
工法
　・
仕上塗料の耐候性
　・
下地挙動緩衝材の適用
　・適用する
　・適用しない
　　コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修）による。
　　モルタル面のひび割れ部、欠損部及び浮き部の処理は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（モルタル塗り仕上げ外壁改修）による。
吹付け工法の模様材の種類
　・　　（・所要量　　(kg/㎡)）
外壁用仕上塗料の種類
　・　　（・所要量　　(kg/㎡)）
既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修特記仕様書4章　外壁改修工事（塗仕上げ外壁等改修）による。

## ⑤ 建具改修工事

### ①. 改修工法

<5.1.3>

| 建具の種類 | かぶせ工法 | 撤去工法 | 適用箇所 |
|---|---|---|---|
| ⊙アルミニウム製建具 | ・ | ⊙ | ⊙建具表による　・ |
| ・樹脂製建具 | ― | ・ | ・建具表による　・ |
| ・鋼製建具　・外部 | ・ | ・ | ・建具表による　・ |
| ・鋼製建具　・内部 | ・ | ・ | ・建具表による　・ |
| ⊙鋼製軽量建具 | ・ | ・ | ⊙建具表による　・ |
| ・ステンレス製建具 | ・ | ・ | ・建具表による　・ |
| ⊙木製建具 | ・ | ・ | ⊙建具表による　・ |

新規に建具を設ける場合
　壁部分の開口の開け方
　　※図示による　　・
　新規建具周囲の補修工法及び範囲
　　※図示による　　・
建具周囲のシーリングは、改修特記仕様書3章　防水改修工事による。

### 2. 防火戸

・指定する　適用箇所（・建具表による　　・　　）　<5.1.4>
・指定しない
防火戸の自動閉鎖機構及び防火戸とヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
　・連動させる　適用箇所（・建具表による　　・　　）
　・連動させない

### 3. 見本の製作等

建具見本の製作　・行う（建具符号：　　）　<5.1.5>
　※行わない
建具見本製作の目的等：（　　）
特殊な建具の仮組　・行う（建具符号：　　）
　※行わない

### 4. 防犯建物部品

・適用する（・建具表による　　・　　）　<5.1.7>
※適用しない

---

令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

図面名：建築工事改修特記仕様書(3)（令和6年版）
縮尺：S=1:・・・(A3版 50%縮小)
図面種別：A
図面番号：04

⑤ 建具改修工事

### ⑤ アルミニウム製建具

性能値等 <5.2.2～5><表 5.2.2>
耐風圧性の等級（⊙S-4 ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
気密性の等級 （⊙A-3 ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
水密性の等級 （⊙W-40 ）
（建具符号 ・建具表による ・ ）
外部に面する建具の種別
⊙A種（建具符号 ⊙建具表による ⊙アルマイト色 ）
・B種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・C種（建具符号 ・建具表による ・ ）
枠の見込み寸法
（⊙建具表による ⊙70 ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面処理
外部に面する建具
種別
※BB-1 ・BB-2 （改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色 ・特注色
屋内の建具
種別
※BC-1 ・BC-2 （改修標準仕様書表5.2.2）
着色
・標準色 ・特注色
結露水の処理方法
・水貯め式 ・排水式
工法
水切り板、ぜん板
※図示による ・

### ⑥ 網戸等

<5.2.3、5.3.3>

| 種類 | 材質 | 線径 | 網目 |
|---|---|---|---|
| ⊙防虫網 | ※合成樹脂製<br>⊙ガラス繊維入り合成樹脂製<br>・ステンレス(SUS316)製 | ※0.25mm以上<br>・ | ※16～18メッシュ<br>・ |
| ・防鳥網 | ステンレス(SUS304)線材 | 1.5mm | 網目寸法15mm |

### 7. 樹脂製建具

性能値等 <5.2.2><5.3.2～5>
耐風圧性の等級（ ）
気密性の等級 （ ）
水密性の等級 （ ）
外部に面する建具の種別
・A種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・B種（建具符号 ・建具表による ・ ）
・C種（建具符号 ・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・T-1 ・T-2 ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・H-4 ・H-5 ・H-6 ・H-7 ・H-8）
（建具符号：・建具表による ・ ）
外部に面する建具の日射熱取得性の等級
・
枠の見込み寸法
・建具表による
・
材料
ガラス
※複層ガラス
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面色
・標準色 ・特注色
工法
水切り板、ぜん板
※図示による ・

### 8. 鋼製建具

性能値等 <5.2.2><5.4.2～4><表5.4.2>
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）

材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.4.2による
・ mm 使用箇所（ ）
標準型鋼製建具の形式及び寸法
※建具表による
・

### ⑨ 鋼製軽量建具

性能値等 <5.2.2><5.5.2～4>
簡易気密型ドアセット
※適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）

材料
鋼板
・亜鉛めっき鋼板
⊙ビニル被覆鋼板(木目調シート張り) ⊙ 枠:亜鉛メッキ鋼板焼付塗装
・カラー鋼板
・ステンレス鋼板
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
召合わせ、縦小口包み板の性質
※鋼板
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・

形状及び仕上げ
鋼板類の厚さ
※改修標準仕様書表5.5.1による
・ mm 使用箇所（ ）
標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法
※建具表による
・

### 10. ステンレス製建具

性能値等 <5.2.2><5.4.2><5.6.2～5>
簡易気密型ドアセット
・適用する
（建具符号：・建具表による ・ ）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性
耐風圧性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
防音ドア・防音サッシ
遮音性の等級（・ ）
（建具符号：・建具表による ・ ）
断熱ドア・断熱サッシ
断熱性の等級（・ ）
耐震性能
建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による
材料
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・
ステンレス製のくつずりの仕上げ
※HL
・
形状及び仕上げ
表面仕上げ
※HL
・鏡面仕上げ
工法
ステンレス鋼板の曲げ加工
※普通曲げ
・角出し曲げ

### ⑪ 木製建具

建具材の加工、組立時の含水率
※A種 <5.7.2～4>
・
建物内部の木製建具に使用する接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆
・
⊙フラッシュ戸
表面材のホルムアルデヒド放散量等
※改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)による
⊙建具表による ⊙仕上げ:EP-G塗装
表面材の合板の種類

| 合板の種類 | 規格等 | 備考 |
|---|---|---|
| ⊙普通合板 | 表面の樹種⊙シナ合板t4.0mm～t6.0mm<br>板面の品質（※広葉樹1等 ・ ）<br>接着の程度（・1類 ・2類 ） | |
| ・天然木化粧合板 | 樹種名（ ）<br>接着の程度（・1類 ・2類 ） | |
| ・特殊加工化粧合板 | 化粧加工の方法<br>※プリント<br>・ポリエステル化粧合板<br>・メラミン化粧合板<br>・<br>接着の程度（・1類 ・2類 ） | |
| ・MDF | | |

表面板の厚さ
※改修標準仕様書表5.7.6による
・
引戸の召合せかまちのいんろう付きの適用
・適用しない ・適用する
⊙かまち戸
かまち樹種（ ） 鏡板樹種（ ）
見込み寸法
※36mm ⊙建具表による⊙既存建具改修(図示によるWD-5)
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型 ・Ⅱ型）
上張り（押入等の裏側以外）
・鳥の子 ※新鳥の子又はビニル紙程度
縁仕上げ
・塗り縁 ・生地縁（素地） ・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法
※19.5mm ・建具表による ・
・戸ぶすま
表面板の仕上 ・建具表による ・
見込み寸法
※30mm ・建具表による ・
・紙張り障子
見込み寸法
※30mm ・建具表による ・
枠、くつずりの材料
⊙建具表による ⊙ 詳細図による

### ⑫ 建具用金物

金物の種類及び見え掛り部の材質等 <5.8.1～3>
※改修標準仕様書表5.8.1により適用は建具表による
・
金属製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.2による
・建具表による
樹脂製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.3による
・建具表による
木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書表5.8.4による
・建具表による
木製建具に使用する戸車及びレール
※改修標準仕様書表5.8.5による
⊙建具表による ⊙詳細図による
握り玉、レバーハンドル、押板類、クレセントの取付け位置
・建具表による
・

### ⑬ 鍵

マスターキー <5.8.4>
・製作する
・製作しない
⊙既存のマスターキーに合わせる
その他の鍵の製作本数
※各室3本1組（室名札付き）
・
鍵箱
・無し ⊙有り

### 14. 自動ドア開閉装置

戸の開閉方式 <5.9.2、3>
・建具表による ・
・引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.1による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
種類・開閉方式 （ ）
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・車椅子使用者用便房出入口引き戸用駆動装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.2による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
温度上昇 （ ）
耐久性（サイクル） （ ）
防錆 （ ）
電源 （ ）
・引き戸用検出装置
性能値
※改修標準仕様書表5.9.3による （防錆 ・適用する ・適用しない）
・以下による
耐電圧 （ ）
防錆 （ ）
防滴 （ ）
電源 （ ）
引き戸用検出装置の種類及び必要性能項目
・建具表による
・
タッチスイッチの種類
・無線式タッチスイッチ ・光線式タッチスイッチ
車椅子使用者用便房スイッチの種類
・大形押しボタンスイッチ
・非接触スイッチ
凍結防止措置
・行う ※行わない

### ⑮ 自閉式上吊り引戸装置

性能値等 ⊙建具表による LSD-2 LSD-3 <5.10.3>
※改修標準仕様書表5.10.1
⊙以下による(メーカー基準による)
手動開き力 （ ）
手動閉じ力 （ ）
閉じ速度の調整 （ ）
制動区間 （ ）
開閉繰返し （ ）
耐衝撃性 （ ）

### 16. 重量シャッター

シャッターの種類 <5.11.2、3>
・管理用シャッター
・外壁用防火シャッター
・屋内用防火シャッター
・防煙シャッター
外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度 （ ）Pa
開閉方式の種類
※電動式（手動併用）
・手動式
安全装置
電動式シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
電動式シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
管理用シャッターのシャッターケース
※設ける ・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類
※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯）
めっきの付着量
※Z12又はF12
・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
ステンレス鋼板
※SUS304、SUS430JIL、又はSUS443JI
・

### 17. 軽量シャッター

開閉方式の種類 <5.12.2～4>
※手動式
・電動式（手動併用）
耐風圧強度 （ ）Pa
安全装置
電動シャッターの障害物感知装置
（設置箇所 ・建具表による ・ ）
スラットの材質の種類
※JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※Z06又はF06 ・ ）
・JIS G 3322（塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯）
めっきの付着量（※AZ90 ・ ）
スラットの形状
・インターロッキング形
・オーバーラッピング形

### 18. オーバーヘッドドア

<5.13.2、3>

| セクション材料による区分 | 耐風圧性能区分 | 開閉方式による区分 | 収納形式による区分 |
|---|---|---|---|
| ※スチールタイプ<br>・アルミニウムタイプ<br>・ファイバーグラスタイプ | ・50<br>・75<br>・100<br>・125 | ※バランス式<br>・チェーン式<br>・電動式 | ※スタンダード形<br>・ローヘッド形<br>・ハイリフト形<br>・バーチカル形 |

ガイドレールの材料
※溶融亜鉛めっき鋼板
・ステンレス鋼板
電動式オーバーヘッドドアの障害物感知装置
（設置箇所 ※建具表による ・ ）

### 19. ガラス

⊙フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類 <3.7><5.14.2～4>
※建具表による
・
⊙型板ガラスの厚さによる種類
※建具表による
・
⊙網入板又は線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
※建具表による
・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
※建具表による
・
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ-1類 ・Ⅱ-2類 ・Ⅲ類
⊙強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称
※建具表による
・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類
※建具表による
・
性能による種類
・1種 ・2種

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 建築工事改修特記仕様書(4)(令和6年版) | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:・・・(A3版 50%縮小) | 図面番号 05 |

## ⑤ 建具改修工事

・複層ガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
　　・建具表による
　　・
　断熱性による区分
　　・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
　日射取得性、日射遮蔽性による区分
　　・G　・S
　乾燥気体の種類
　　・空気　・アルゴン　・
・熱線反射ガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
　　・建具表による
　　・
　日射熱遮へい性による区分
　　・1種　・2種　・3種
　耐久性による区分（日射熱遮へい性が2種の場合）
　　・A類　・B類
⊙倍強度ガラス
　材料板ガラスの種類及び厚さによる種類
　　⊙詳細図による　Ⅱ-2類
　　・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

| 建具の種類 | ガラス留め材 | ガラス溝の大きさ(mm) |
|---|---|---|
| アルミニウム製 | ⊙シーリング材<br>⊙グレイジングガスケット<br>・ | ※建具の製造所の仕様による<br>・図示による<br>・ |
| 鋼製及び鋼製軽量 | ⊙シーリング材<br>・ | ※建具の製造所の仕様による<br>・図示による<br>・ |
| ステンレス製 | ・シーリング材<br>・ | ※建具の製造所の仕様による<br>・図示による<br>・ |
| 樹脂製 | ・グレイジングガスケット<br>・ | ※建具の製造所の仕様による<br>・図示による<br>・ |

⊙製造所:三協アルミ社同等品以上。

### 20. ガラスブロック積み　〈5.14.5〉

| 呼び寸法(mm) | 厚さ(mm) | 色調 | 目地幅(mm) | 伸縮調整目地位置(mm) | 防火性能 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・160×160 | ・95<br>・ | | | | |
| ・200×200 | ・95<br>・ | | | | |
| | | | | | |

壁用金属枠及び補強材
　※図示による　・
力骨
　材質
　　※ステンレス鋼(SUS304)
　　・
　寸法
　　※径5.5mm　・
　形状
　　※はしご形状複筋及び単筋
　　・
化粧目地モルタルの色（・白　・グレー）
シーリングの種類　（・SR-1　・PS-1）
金属製化粧カバー
　材質
　　・ステンレス製
　　・アルミニウム製
　寸法
　　※図示による　・
　形状
　　※図示による　・
目地部の横力骨の納まり
　※ガラスブロック製造所の仕様による
　・図示による
　・

### ㉑. ガラス用フィルム

| 種類 | 記号 内貼り用 | 記号 外貼り用 | その他性能等 |
|---|---|---|---|
| ・日射調整フィルム | ・SC-1 | ・SC-2 | |
| ・低放射フィルム | ・LE | | |
| ⊙衝撃破壊対応ガラス飛散防止フィルム | ⊙GI-1 | ・GI-2 | |
| ・相関変位破壊対応ガラス飛散防止フィルム | ・GD-1 | ・GD-1 | |
| ・ガラス貫通防止フィルム | ・SF | | |

品質は、JIS A 5759による。

## ⑥ 内装改修工事

### ① 改修範囲　〈6.1.3〉

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
　※壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
　⊙図示による
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井の改修範囲
　※壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う
　⊙図示による
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
　※既存のまま
　・図示による

### ②. 既存床の撤去及び下地補修　〈6.2.2〉

ビニル床シート等の除去
　※仕上材のみ（接着剤とも）
　・下地モルタルとも（・図示による　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法
　・機械的除去工法
　・目荒し工法
既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による。

改修後の床の清掃範囲
　※図示による　⊙ 改修の施工範囲全て

### ③. 既存壁の撤去及び下地補修　〈6.3.2〉

間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
　※改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り
　（全塗厚が25mmを超える場合の処置　※図示による）
　・

### ④. 施工一般　〈6.5.2〉

材料のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(ｲ)(b)による

### ⑤. 製材　〈6.5.2〉

⊙JAS 1083-5　製材 - 第5部に基づく下地用製材

| 施工箇所 | 寸法(mm) | 等級 | 含水率 | 保存処理 |
|---|---|---|---|---|
| ⊙図示 | ⊙図示 | ※2級<br>・ | ※A種　・B種　・ | |
| | | ※2級<br>・ | ※A種　・B種　・ | |

⊙JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

| 施工箇所 | 寸法(mm) | 等級 | 含水率 | 保存処理 |
|---|---|---|---|---|
| 見え掛り面 | | ※上小節<br>・ | ※A種　・B種　・ | |
| 見え掛り面以外 | | ※小節以上<br>・ | ※A種　・B種　・ | |

⊙JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

| 施工箇所 | 寸法(mm) | 等級 | 含水率 | 保存処理 |
|---|---|---|---|---|
| ⊙図示 | ⊙図示 | ※1等<br>・ | ※10%以下<br>・A種　・B種 | |
| | | ※1等<br>・ | ※10%以下<br>・A種　・B種 | |

・JAS 1083（製材）以外の製材

| 施工箇所 | 寸法(mm) | 材面の品質 | 防虫処理 | 含水率 |
|---|---|---|---|---|
| | ・ | （　）<br>造作材の場合<br>（※A種　・B種） | ・適用する<br>・適用しない | ※A種<br>・B種<br>・ |
| | | （　）<br>造作材の場合<br>（※A種　・B種） | ・適用する<br>・適用しない | ※A種<br>・B種<br>・ |

### ⑥. 造作用集成材

・「集成材の日本農林規格」による造作用集成材　〈6.5.2〉

| 施工箇所 | 品名 | 樹種名 | 寸法(mm) | 見付け材面 | 見付け材面の品質 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙図示 | ⊙図示 | ⊙図示 | ⊙図示 | ⊙図示 | ※1等　・2等 |
| | | | | | ※1等　・2等 |

・「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

| 施工箇所 | 品名 | 材種名 | 寸法(mm) | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面 | 見付け材面の品質 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 化粧薄板：<br>芯材： | | | ※1等<br>・2等 | |
| | | 化粧薄板：<br>芯材： | | | ※1等<br>・2等 | |

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

| 施工箇所 | 材種名 | 寸法(mm) | 見付け材面の品質 | 含水率 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | ※15%以下<br>・ |
| | | | | ※15%以下<br>・ |

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

| 施工箇所 | 材種名 | 寸法(mm) | 化粧薄板の厚さ(mm) | 見付け材面の品質 | 含水率 |
|---|---|---|---|---|---|
| | 化粧薄板：<br>芯材： | | | | ※15%以下<br>・ |
| | 化粧薄板：<br>芯材： | | | | ※15%以下<br>・ |

### ⑦. 造作用単板積層材

・JAS 0701 に基づく造作用単板積層材　〈6.5.2〉

| 施工箇所 | 品名 | 寸法(mm) | 表面の品質 | 防虫処理 |
|---|---|---|---|---|
| | | | | ・適用する<br>・適用しない |
| | | | | ・適用する<br>・適用しない |

・JAS 0701 以外の造作用単板積層材

| 施工箇所 | 寸法(mm) | 表面の品質 | 含水率 | 防虫処理 |
|---|---|---|---|---|
| | | | ※14%以下<br>・ | ・適用する<br>・適用しない |
| | | | ※14%以下<br>・ | ・適用する<br>・適用しない |

・JAS 3079 に基づく直交集成板

| 施工箇所 | 品名 | 強度等級 | 種別 | 接着性能（使用環境） | 樹種名 | 寸法(mm) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | | |
| | | | | | | |

### ⑧. 合板等

・「合板の日本農林規格」による普通合板　〈6.5.2〉

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 防虫処理 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙各所内装壁 | ※5.5<br>・ | | ※1類<br>・2類 | 広葉樹<br>※2等以上<br>・1等<br>針葉樹<br>※C-D以上<br>・ | ⊙適用する<br>・適用しない |

⊙シナ合板練付目透かし貼t5.5mm～t6.0mm

⊙「合板の日本農林規格」による構造用合板

| 施工箇所 | 等級 | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 板面の品質 | 厚さ(mm) | 防虫処理 | 強度等級 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⊙男子・女子便所床 | ※2級以上<br>・1級 | | ※1類<br>・特類 | ※C-D以上<br>・ | ※12<br>⊙15 | ⊙適用する<br>・適用しない | ・適用する<br>（　）<br>・適用しない |

⊙床:構造用合板t15の上耐水ﾗﾜﾝ合板t12(転ばし根太下地)

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 単板の樹種名 | 接着の程度 | 防虫処理 |
|---|---|---|---|---|
| | | | ・1類　・特類 | ・適用する<br>・適用しない |
| | | | | |

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板

| 施工箇所 | 化粧板に使用する単板の樹種名 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 防虫処理 |
|---|---|---|---|---|
| | | | ・1類　・2類 | ・適用する<br>・適用しない |
| | | | | |

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 接着の程度 | 単板の樹種名 | 化粧加工の方法 | 防虫処理 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | ・1類　・2類 | | | ・適用する<br>・適用しない |
| | | | | | |

・パーティクルボード ⊙外壁:硬質木片セメント板t12.0(耐震改修部分新設)

| 施工箇所 | 表裏面の状態による区分 | 曲げ強さによる区分 | 耐水性による区分 | 難燃性による区分 | 厚さ(mm) |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙外壁改修部分 | | ※13タイプ<br>・ | ※P又はM<br>・ | | ※15<br>⊙12mm |

・JAS 0360 に基づく構造用パネル

| 施工箇所 | 寸法(mm) |
|---|---|
| | |
| | |

・MDF

| 施工箇所 | 厚さ(mm) | 表裏面の状態による区分 | 曲げ強さによる区分 | 接着剤による区分 | 難燃性による区分 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | | | |
| | | | | | |

### ⑨. 接合具等　〈6.5.3〉

造作材の化粧面の釘打ち
　※隠し釘打ち
　・釘頭埋め木
　・つぶし頭釘打ち
　・釘頭現し
諸金物
　※かすがい、座金、箱金物、短冊金物
　（改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品　表8.20.1のF種程度）
　・　（形状：　寸法：　材質：　）

### ⑩. 接着剤　〈6.5.3、4〉

接着剤のホルムアルデヒド放散量
　※F☆☆☆☆
　・

### ⑪. 防腐・防蟻処理　〈6.5.5〉

・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

| 適用部材 | 保存処理性能区分 |
|---|---|
| | ・K2　・K3　・K4 |
| | ・K2　・K3　・K4 |
| | ・K2　・K3　・K4 |

⊙適用箇所:外部既存下屋の　柱、張り、方杖にｷｼﾗﾃﾞｺｰﾙ塗布

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

| 適用部材 | 処理の方法 | 薬剤の種類 |
|---|---|---|
| | ※薬剤の製造所の仕様による<br>・ | ※JIS K 1571に適合又は同等品 |
| | ・ | |

・薬剤の接着材への混入による防腐、防蟻処理
　適用部位（　）
・合板等の加圧注入処理の適用
　適用部位（　）

### ⑫. 内部間仕切軸組及び床組み

・間仕切軸組に用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）　〈6.5.6〉
　※杉又は松　・
・床組みに用いる木材の樹種名（製材を用いる場合）
　※杉又は松　・

### ⑬. 窓、出入口その他

・窓、出入口その他に用いる木材の樹種名(製材を用いる場合)　〈6.5.7〉
　※吊元枠、水掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉
　・

### ⑭. 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類　〈6.6.2～4〉
　屋外
　　※25形　・19形
　屋内
　　※19形 ⊙改修する全室
屋外の形式及び寸法
　野縁受、つりボルト及びインサートの間隔
　　⊙図示による　⊙ 平面図通り番号①～②Ⓑ～Ⓓ 間及び
　周辺部の端からの間隔　②～⑨Ⓒ～Ⓓ 間の天井吊りﾎﾞﾙﾄ及びﾁｬﾝﾈﾙを新設する。
　　⊙図示による 150mm以下　（天井伏図参照）
　野縁の間隔
　　⊙図示による　・
既存の埋込みインサート
　・使用する　⊙使用しない
あと施工アンカーの施工後の確認試験
　・行う
　　試験箇所数　※屋内の場合、当該階において3箇所
　　・（　）箇所
　　引張試験にて確認する強度
　　※吊りボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
　　・（　）N
　※行わない
・つりボルトの間隔が900mmを超える場合
　（補強方法　※図示による　・　）
・天井のふところが3.0mを超える場合
　（補強方法　※図示による　・　）
・天井下地材における耐震性を考慮した補強

　（補強方法　※図示による　・　）

### ⑮. 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類　〈6.7.3、4〉〈表6.7.1〉
　※改修標準仕様書表6.7.1によるスタッドの高さによる区分に応じた種類
　・図示による
　・
スタッドの高さが5.0mを超える場合
　※図示による　・
出入口及びこれに準ずる開口部の補強
　※改修標準仕様書6.7.4(5)による
　・

### ⑯. ビニル床シート

〈6.8.2、3〉

| 種類の記号 | 色柄 | 厚さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|
| ※FS(複層ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ)<br>・ | ※無地<br>⊙マーブル柄<br>⊙柄物(廊下:木目調) | ※2.0<br>・ | ⊙施工後ﾜｯｸｽ仕上<br>⊙JIS-A-5705 |

接合部の処理
　※熱溶接工法　・

### ⑰. ビニル床タイル

〈6.8.2〉

| 種類の記号 | 色柄 | 寸法(mm) | 厚さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ※KT（ｺﾝﾎﾟｼﾞｼｮﾝﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） | ・無地<br>・柄物 | ※300×300<br>・450×450<br>・ | ※2.0<br>・3.0 | |
| ・TT（単層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） | ・無地<br>・柄物 | ・300×300<br>・450×450<br>・ | ・2.0<br>・ | |
| ・FT（複層ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） | ・無地<br>・柄物 | ・300×300<br>・450×450<br>・ | ・2.0<br>・2.5<br>・3.0 | |
| ・FOA（置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） | ・無地<br>・柄物 | ・500×500<br>・ | ・4.0<br>・ | |
| ・FOB（薄型置敷きﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ） | ・無地<br>・柄物 | ・ | ・ | |

### 18. 特殊機能床材　〈6.8.2〉

・帯電防止床シート
　種類　（　）
　性能　（　）
　厚さ(mm)（　）
・帯電防止床タイル
　種類　（　）
　性能　（　）
　寸法(mm)（　）×（　）
　厚さ(mm)（　）
・視覚障害者用床タイル
　ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による。
　種類　（　）
　形状　（　）
・耐動荷重性床シート
　種類　（　）
　厚さ(mm)（　）

---

令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

図面名：建築工事改修特記仕様書(5)(令和6年版)

縮尺：S=1:･･･(A3版 50%縮小)

図面種別：A

図面番号：06

## ⑥ 内装改修工事

⊙防滑性床シート
種類　（ JIS 5705 ）
厚さ(mm)（ t2.0mm ）
・防滑性床タイル
種類　（　　）
寸法(mm)（　　）×（　　）
厚さ(mm)（　　）

19. ビニル幅木　〈6.8.2〉
材質の種類
※軟質　・硬質
高さ(mm)
※60　・75　・100
厚さ(mm)
※1.5以上　・

20. ゴム床タイル　〈6.8.2〉
種類
・単層品　・積層品
色柄　（　　）
厚さ(mm)
・3.0　・4.5　・6.0　・9.0
寸法(mm)（　　）×（　　）

21. カーペット敷き
・織じゅうたん　〈6.9.2、3〉〈表6.9.1〉

| 織り方 | パイル形状 | 備考 |
|---|---|---|
| ・ウィルトンカーペット | ・カットパイル | |
| ・ダブルフェースカーペット | ・ループパイル | |
| ・アキスミンスターカーペット | ・カット/ループパイル | |

色柄
※模様のない無地
・
パイル糸の繊維種等
※無地の織りじゅうたんの種別（・A種　・B種　・C種）
・
帯電性
・適用する　・適用しない
織じゅうたんの接合方法
※ヒートボンド工法
・つづり縫い
下敷き材
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第2種1号　呼び厚さ 8mm
・

・タフテッドカーペット

| パイル形状 | ﾊﾟｲﾙ長さ(mm) | 工法 | 帯電性 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・カットパイル | ・5～7　・ | ※全面接着工法 | ・適用 | |
| ・ループパイル | ・4～6　・ | ・ｸﾞﾘｯﾊﾟｰ工法 | ・非適用 | |
| ・カット、ループ併用 | ・ | | | |

下敷き材(グリッパー工法の場合)
※反毛フェルト（JIS L 3204）の第212号　呼び厚さ 8mm
・
タフテッドカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

・タイルカーペット

| パイルの形状 | 種類 | 施工箇所 | 寸法(mm) | 総厚さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※ループパイル | ※第一種<br>・第二種 | | ※500×500<br>・ | ※6.5<br>・ | |
| ・カットパイル | ・第一種<br>・第二種 | | ※500×500<br>・ | ※6.5<br>・ | |
| ・カット・ループ併用 | ・第一種<br>・第二種 | | ※500×500<br>・ | ※6.5<br>・ | |

タイルカーペット用接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
タイルカーペットの敷き方
平場
※市松敷き
・模様流し
・
階段部分
※模様流し
・市松敷き
・
見切り、押え金物
材質（　　）
種類（　　）
形状等
※図示による　・

22. 合成樹脂塗床　〈6.10.2、3〉

| 種別 | 施工箇所 | 工法 | 仕上げの種類 |
|---|---|---|---|
| ・厚膜型塗床材<br>弾性ｳﾚﾀﾝ樹脂系塗床 | | | ※平滑仕上げ<br>・防滑仕上げ<br>・つや消し仕上げ |
| ・厚膜型塗床材<br>ｴﾎﾟｷｼ樹脂系塗床 | | ・薄膜流しのべ工法<br>・厚膜流しのべ工法<br>・樹脂ﾓﾙﾀﾙ工法 | ・平滑仕上げ<br>・防滑仕上げ |
| ・薄膜型塗床材 | | | ※平滑仕上げ |

塗床材のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

23. フローリング張り
フローリングのホルムアルデヒドの放散量等　〈6.11.2～6〉
※改修標準仕様書6.11.2(2)による
・
各工法に使用する接着剤のホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆　・

⊙単層フローリング　（フローリングボード1等）
工法
⊙釘留め工法（⊙根太張り　⊙直張り）
⊙接着工法
樹種
※なら　・
・単層フローリング　（フローリングブロック1等）
樹種
・
厚さ（mm）
・
大きさ
・
・複合フローリング
工法
・釘留め工法（・根太張り　・直張り）
・接着工法
樹種
※なら　・
種別
・A種　・B種　・C種
接着工法の場合の不陸緩和材
※合成樹脂発泡シート
・
・現場塗装仕上げ
※ウレタン樹脂ワニス塗り
・オイルステインの上、ワックス塗り
・生地のままワックス塗り

24. 畳敷き　〈6.12.2〉
種別
・A種　・B種　※C種　・D種（畳床：・KT-Ⅰ・KT-Ⅱ・KT-Ⅲ・KT-K・KT-N）
下地の種類
・標準仕様書12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン　）
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。
衝撃緩和型畳（畳表：・C1　・C2）

25. せっこうﾎﾞｰﾄﾞその他のﾎﾞｰﾄﾞ及び合板張り
MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量　〈6.13.2、3〉
※F☆☆☆☆　・
合板のホルムアルデヒド放散量
※改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか
・
接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
表面への化粧張り等の加工
※図示による　・

| 種類等 | 厚さ(mm)、規格等 |
|---|---|
| 木質系セメント板 | |
| ・木毛セメント板<br>・硬質(HW)　・中質(MW)　・普通(NW) | ※図示による<br>・15　・20　・25 |
| ⊙木片セメント板<br>⊙硬質(HF)　・普通(NF) | ※図示による<br>⊙12　・15　・18　・21　・30 |
| 繊維強化セメント板 | |
| ⊙けい酸カルシウム板(タイプ2)<br>普通ボード 0.8FK | ※図示による　⊙4　⊙6 |
| 火山性ガラス質複層板 | |
| ・火山性ガラス質複層板<br>種類　※図示による　・ | ※図示による　・ |
| ⊙厚12mmｾﾝﾁｭﾘｰﾎﾞｰﾄﾞ建基法22条、23条使用可品(同等品以上) | |
| 繊維板 | |
| ・ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ(MDF) | ※図示による<br>・3　・7　・9　・12　・ |
| ・ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ<br>・ｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（無処理）<br>・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ<br>・未研磨板（RN）<br>・研磨板（RS）<br>・内装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DI）<br>・ﾃﾝﾊﾟｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（処理）<br>・素地ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ<br>・未研磨板（RN）<br>・研磨板（RS）<br>・外装用化粧ﾊｰﾄﾞﾎﾞｰﾄﾞ（DE） | ※図示による<br>・2.5　・3.5　・5　・7　・ |
| ・ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ<br>・A級ｲﾝｼｭﾚｰｼｮﾝﾎﾞｰﾄﾞ（A-IB）<br>・天井仕上げ材<br>・内装仕上げ材 | ※図示による<br>・9　・12　・15　・18 |
| ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ | |
| ・単板張りﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ<br>・無研磨板（VN）<br>・研磨板（VS） | ※図示による<br>・10　・12　・15　・18　・ |
| ・化粧ﾊﾟｰﾃｨｸﾙﾎﾞｰﾄﾞ<br>・単板ｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DV）<br>・ﾌﾟﾗｽﾃｨｯｸｵｰﾊﾞｰﾚｲ（DO）<br>・塗装（DC） | ※図示による<br>・10（難燃）　・12（難燃）<br>・ |
| 吸音材料 | |
| ・ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板（DR）<br>・ﾌﾗｯﾄﾀｲﾌﾟ<br>・凹凸ﾀｲﾌﾟ | ・9　（不燃）　・12（不燃）<br>・12（不燃）　・15（不燃） |
| ・ﾛｯｸｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（1号） | ※図示による　・25　・ |
| ・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音ﾎﾞｰﾄﾞ（32K） | ・25（ｶﾞﾗｽｸﾛｽ包み）　・ |

せっこうﾎﾞｰﾄﾞ

| | |
|---|---|
| ⊙せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R） | ※12.5(不燃)　・15(不燃)　・ |
| ⊙ｼｰｼﾞﾝｸﾞせっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-S） | ⊙12.5(⊙不燃　・準不燃) |
| ・強化せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-F） | ・12.5(不燃)　・15(不燃) |
| ・せっこうﾗｽﾎﾞｰﾄﾞ（GB-L） | ・9.5 |
| ⊙不燃積層せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-NC）<br>・化粧無し（下地張り用）<br>⊙化粧有り（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様） | ⊙9.5（不燃） |

⊙　廊下壁せっこうﾎﾞｰﾄﾞ（GB-R）は、3尺×8尺使用
合板類

| | |
|---|---|
| ・普通合板<br>表板の樹種名：<br>板面品質：<br>防虫処理<br>・行う　・行わない | ※図示による<br>・ |
| ・天然木化粧合板<br>化粧板の樹種名：<br>防虫処理<br>・行う　・行わない | ※図示による<br>・ |
| ・特殊加工化粧合板<br>化粧加工の方法<br>・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装<br>表面性能<br>・<br>防虫処理<br>・行う　・行わない | ※図示による<br>・ |

天井のボード類(ロックウール吸音板を除く)の重ね張りを行う場合
※図示による　・
合板類の張付け
・A種　・B種　・
せっこうボードの目地工法等
目地工法の種類
※仕上表による
突付け工法及び目透し工法のエッジの種類
・ベベルエッジ　・スクェアエッジ
化粧加工の方法（・ｵｰﾊﾞｰﾚｲ　・ﾌﾟﾘﾝﾄ　・塗装　・　）

26. 壁紙張り
ホルムアルデヒド放散量　〈6.14.2、3〉
※F☆☆☆☆　・

| 施工箇所 | 壁紙の種類 紙 | 繊維 | 塩化ﾋﾞﾆﾙﾁｯｸ | ﾌﾗｽ | 無機質 | その他 | 防火性能 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ⊙廊下壁 | ・ | ・ | ・ | ・ | ⊙ | ・ | ⊙不燃　・準不燃　・難燃 | ⊙木目調中級上 |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃　・準不燃　・難燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃　・準不燃　・難燃 | |
| | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・不燃　・準不燃　・難燃 | |

モルタル及びせっこうプラスター面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
コンクリート面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種
せっこうボード面及びその他のボード面の素地ごしらえの種別
※B種　・A種

27. モルタル塗り
モルタル　〈6.15.3、5、6〉
・現場調合材料
・既調合材料
既製目地材
・設ける
施工箇所（　　）　形状（※図示による　・　　）
・設けない
床の目地
・設ける
目地割り
※2㎡程度（最大目地間隔3m程度）
・
目地の種類
※押し目地
・
・設けない
壁面の仕上げ厚又は全塗り厚が25mmを超える場合の下地処理
・図示による　・

28. タイル張り
伸縮目地の位置　〈6.16.2～4〉
床タイル
※縦、横とも4m以内ごと
・図示による
・
床タイル以外
・図示による
・
伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
見本焼き
・行う（施工箇所：　　）　・行わない
試験張り
・行う（範囲、仕様等は図示による）　・行わない
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

| 施工箇所 | 種類 | 形状/寸法(mm) | 再生材料の適用 | 吸水率 Ⅰ類 | Ⅱ類 | Ⅲ類 | うわぐすり 施ゆう | 無ゆう | 役物 有 | 無 | 色 標準 | 特注 | 耐凍害性 有 | 無 | 耐滑り性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

備考欄

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

⊙ゴムチップタイル:外部
⊙　厚10mm　〔製造所:四国化成工業㈱：ﾁｯﾌﾟﾛｰﾄﾞｼﾘｰｽﾞ同等品以上〕
階段段鼻はﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ形状とする

壁タイル張りの工法
内装タイル
・密着張り　・改良圧着張り
内装タイル以外のユニットタイル
・マスク張り　・モザイクタイル張り
・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

| 施工箇所 | 種類 | 形状/寸法(mm) | 再生材料の適用 | 吸水率 Ⅰ類 | Ⅱ類 | Ⅲ類 | うわぐすり 施ゆう | 無ゆう | 役物 有 | 無 | 色 標準 | 特注 | 耐凍害性 有 | 無 | 耐滑り性 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| | | | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

備考欄

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

内装タイル接着剤張りの接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・

29. ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ材塗り
塗厚（mm）　〈6.17.2、3〉
・

## ⑦ 塗装改修工事

1. 材料
屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　〈7.1.3〉
※F☆☆☆☆　・
防火材料
※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

② 下地調整
塗替えRB種の場合の既存塗膜の除去範囲　〈7.2.1～7〉
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す
・図示による
・
既存錆止め塗料の鉛含有量調査
・行う（　　箇所）
⊙行わない
下地調整

| 下地面の種類 | 下地調整の種別 塗替え | ひび割れ部の補修 |
|---|---|---|
| 木部 | ※不透明塗料塗りの場合はRB種<br>・ | — |
| 鉄鋼面 | ※RB種　・ | — |
| 亜鉛めっき鋼面 | ※RB種　・ | — |
| 亜鉛めっき鋼面（鋼製建具等） | ※RB種　・ | — |
| モルタル面及びせっこうプラスター面 | ※RB種　・ | ⊙行う<br>・行わない |
| コンクリート面(DP以外)ALCパネル面 | ※RB種　・ | ・行う<br>・行わない |
| 押出成形セメント板面 | ・RA種　・RB種<br>・RC種 | ・行う<br>・行わない |
| コンクリート面（DP） | ・RB種　・RC種 | ⊙行う<br>・行わない |
| せっこうボード面及びその他ボード面 | ※RB種　・ | — |

③. 素地ごしらえ　〈7.3.2～7〉

| 下地面等 | | 種別 |
|---|---|---|
| 木部 | 不透明塗料塗りの場合 | ※A種　・B種 |
| | 透明塗料塗りの場合 | ※B種　・A種 |
| 鉄鋼面（DP以外） | | ※C種　・A種　・B種 |
| 鉄鋼面（DP） | | ※B種　・A種　・C種 |
| 亜鉛めっき鋼面 | | ・A種　・B種 |
| モルタル面及びせっこうプラスター面 | | ※B種　・A種 |
| コンクリート面（DP以外）及びALCパネル面 | | ※B種　・A種 |
| 押出成形セメント板面及びコンクリート面（DP） | | ・A種　・B種 |
| コンクリート面（DPのみ） | | ※B種　・A種 |
| せっこうボード面及び | 目地：継目処理工法 | ※A種　・B種 |
| その他ボード面 | 目地：継目処理工法以外 | ※B種　・A種 |

④. 錆止め塗料塗り　〈7.4.2、3〉

| 素地面 | 塗装の種類 | | 塗料の種別 | 工程の種別 |
|---|---|---|---|---|
| 鉄鋼面 | SOP（工程の種別は表7.4.3） | 塗替え | A種　・ | ※C種　・ |
| | | 新規見え掛り | A種　・ | ※A種　・ |
| | | 新規見え隠れ | A種　・ | ※B種　・ |
| | EP-G（工程の種別は表7.4.3） | 塗替え | ※B種　・A種 | ※C種　・ |
| | | 新規見え掛り | ※B種　・A種 | ※A種　・ |
| | | 新規見え隠れ | ※B種　・A種 | ※B種　・ |
| | DP（工程の種別は表7.4.4） | 塗替え | 7.4.2(1)(イ)(b)による。 | ・B種(下地調整RB種)<br>・C種(下地調整RC種) |
| | | 新規 | 7.4.2(1)(イ)(a)による。 | ・A種 |
| 亜鉛めっき鋼面 | SOP（工程の種別は表7.4.5） | 塗替え | ※A種　・B種 | ※C種　・ |
| | | 新規 鋼製建具等 | ※A種　・B種 | ※A種　・ |
| | | 新規 その他 | ※B種　・ | ※B種　・ |
| | EP-G（工程の種別は表7.4.5） | 塗替え | C種　・ | ※C種　・ |
| | | 新規 鋼製建具等 | C種　・ | ※A種　・ |
| | | 新規 その他 | C種　・ | ※B種　・ |
| | DP（工程の種別は表7.4.6） | 塗替え | B種　・ | — |
| | | 新規 | B種　・ | — |

令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

図面名　建築工事改修特記仕様書(6)(令和6年版)
縮尺　S=1:･･･(A3版 50%縮小)
図面種別　A
図面番号　07

## ⑦ 塗装改修工事

### ⑤ 塗装

<7.5.2～7.12.2>

| 塗装の種類 | 塗装面 | 工程 塗替え | 工程 新規 |
|---|---|---|---|
| ・合成樹脂調合ペイント塗り(SOP) 種類 ※1種 ・2種 | 木部屋外 | ※B種 ・ | ※A種 ・ |
| | 木部屋内 | ※B種 ・ | ※B種 ・ |
| | 鉄鋼面 | ※B種 ・ | ※B種 ・A種 |
| | 亜鉛めっき鋼面（鋼製建具） | ※A種 ・ | ※B種 ・ |
| | 亜鉛ﾒｯｷ鋼面(鋼製建具以外) | ※B種 ・ | ※B種 ・ |
| ・クリヤラッカー塗り(CL) | | ※B種 ・A種 種類： | ※B種 ・A種 種類： |
| ・アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り(NAD) | | ※B種 ・A種 | ※B種 ・A種 |
| ・耐候性塗料塗り(DP) | 鉄鋼面 上塗り等級（ ）級 | ・ | ― |
| | 亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（ ）級 | ・ | ― |
| | コンクリート面及び押出成形セメント板面 | ・ | ・A-1種 ・ ・B-1種 ・ ・C-1種 ・ |
| ・つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP-G) | コンクリート面等 | ※B種 ・ | ※B種 ・A種 |
| | 屋内の木部 | ※B種 ・ | ※A種 ・ |
| | 屋内の鉄鋼面 | ※B種 ・ | ※B種 ・A種 |
| | 屋内の亜鉛めっき面 | ※A種 ・ | ※A種 ・B種 |
| ・合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り(EP) | | ※B種 ・ | ※B種 ・A種 |
| ・合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料塗り(EP-T) | | ※B種 ・ | ・A種 ・B種 |
| ・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC) | | ※B種 ・ | ※B種 ・A種 |
| ・ステイン塗り | | ・ピグメントステイン塗り ・オイルステイン塗り(OS) | |
| ・木材保護塗料塗り(WP) | | ※B種 ・A種 | ※B種 ・A種 |

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（ｺﾝｸﾘｰﾄ面、ﾓﾙﾀﾙ面、せっこうﾌﾞﾗｽﾀｰ面、せっこうﾎﾞｰﾄﾞ面、その他ﾎﾞｰﾄﾞ面）の塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
・
合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※B種又はC種の場合は、改修標準仕様書表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めｼｰﾗｰとする
・

クリヤラッカー塗りＡ種の工程2の適用
・適用しない
・適用する(着色剤：・溶剤系着色剤 ・油性染料着色剤)
ウレタン樹脂ワニス塗りの工程1の着色の適用
・適用する
・適用しない
オイルステイン塗りの工程等
・

## ⑧ 耐震改修工事 共通事項

### ① 適用範囲

・改修標準仕様書 ８章 耐震改修工事
・改修標準仕様書において８章耐震改修工事以外の改修工事で８章を引用している部分
・

工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
・鉄骨ブレースの設置工事
・柱補強工事 (溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法)
・柱補強工事 (鋼板巻き工法又は帯板巻き付け工法)
・連続繊維補強工事
・耐震スリット新設工事
・免震改修工事
・制振改修工事
・土工事及び地業工事
・

### ② 既存部分の処理等

<8.21.2、3><8.22.2、3><8.23.2、3><8.24.4><8.25.2><8.28.2>

既存構造体の撤去
撤去範囲
・図示による（ ） ・
はつり出した鉄筋及び鉄骨の処置
・図示による（ ） ・
既存構造体コンクリート面の目荒らしの程度
・既存柱、梁面
・打継ぎ面等の15～30%程度に、平均深さ 2～5㎜（最大7㎜）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
・既存壁
・打継ぎ面の10～15%程度に、平均深さ 2～5㎜（最大7㎜）程度の凹凸を、全体にわたってつける。
・
既存杭の撤去等
・撤去範囲及び撤去方法
・図示による( ) ・

### ① 鉄筋

鉄筋の種類等 <8.2.1>

| 種類の記号 | 呼び径（㎜） | 備考 |
|---|---|---|
| ※SD295 | | |
| ※SD345 | | |
| ・ | | |
| ・ | | |

## ⑧-1 鉄筋工事

### ２．溶接金網

鉄線の形状等 <8.2.2>

| 種類 | 種類の記号 | 鉄線の形状、網目寸法、鉄線の径（㎜） | 使用部位 |
|---|---|---|---|
| ・溶接金網 | | | |
| ・鉄筋格子 | | | |

### ③ 鉄筋の継手

鉄筋の継手の方法等 <8.3.4><8.4.2、3>

| 部位 | 継手方法 | 呼び径（㎜） |
|---|---|---|
| 柱、梁の主筋 | ※ガス圧接 ・機械式継手 ・溶接継手 | |
| 耐力壁の鉄筋 | ・重ね継手 ・ | |
| その他の鉄筋（ ・図示 ） | ・重ね継手 ・ | D16以下 |

継手位置
・図示による ・新築標準仕様書に準じ監督員と協議
・
柱及び梁主筋の重ね継手の長さ
・図示による ・ 新築標準仕様書に準じ監督員と協議
耐力壁の重ね継手の長さ
・図示による ・

### ④ 鉄筋の定着

鉄筋の定着長さ <8.3.4>
・図示による ・ 新築標準仕様書に準じ監督員と協議
機械式定着工法 ・ 接着系アンカーは図示による
・適用する
適用箇所
・図示による（ ）
・
種類
・摩擦圧接接合 ・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定 ・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
必要定着長さ
※評定等の評価内容による
補強筋形状
※評定等の評価内容による
かぶり厚さ
※評定等の評価内容による
品質確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による

### ⑤ 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む）

<8.3.5>
最小かぶり厚さ
・図示による ・ 最小かぶりプラス10㎜
軽量コンクリートを適用する場合
・あり 適用箇所( )
・最小かぶり厚さに加える厚さ （ ）㎜ ・
耐久性上不利な箇所がある場合(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・あり 適用箇所( )
・最小かぶり厚さに加える厚さ （ ）㎜ ・

### ６．圧接完了後の試験

超音波探傷試験 <8.3.8>
※行う（全圧接部）

### ７．機械式継手

適用箇所 <8.4.2>
※図示による( )
・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級 ・
種類
・ねじ式鉄筋継手
充填方式
・無機グラウト方式 ・有機グラウト方式 ・
・端部ねじ加工継手
・モルタル充填式継手
・
工法
※第三者機関の評定等を取得している工法とする
鉄筋相互のあき
※評定等の評価内容による
品質の確認
※評定等の評価内容による
検査
※評定等の評価内容による
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った継手箇所で、最大200箇所程度にする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（ ）箇所
・全数
試験項目
※挿入長さ
試験方法
※JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入長さの超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

### ８．溶接継手

適用箇所 <8.4.3>
・図示による( ) ・
H12建告第1463号に適合する性能
・A級 ・
溶接継手の工法
・図示による( )
施工完了後の継手部の試験
・外観試験
試験対象
※全数
試験項目
・評定等の評価内容による ・
試験方法
・評定等の評価内容による ・
・超音波探傷試験
試験対象
・抜取り
ロット
・1組の作業班が1日に行った溶接箇所で、最大200箇所程度にする。
・
試験の箇所数
1ロットに対して（ ）箇所
・全数
試験項目
※内部欠陥の検出
試験方法
※JIS Z 3063（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波測定方法及び判定基準）による
不合格となった場合の措置
・

### ９．割裂補強筋

<8.21.6><8.22.7>
形状
・スパイラル筋
・
種類の記号
・SR235またはSWM-P
・
呼び径、曲げ直径、ピッチ
・図示による
・

## ⑧-2 コンクリート工事

### ① コンクリートの種類

コンクリートの類別 <8.1.3>
※Ⅰ類（JIS A 5308への適合を認証されたコンクリート）
・Ⅱ類（JIS A 5308に適合したコンクリート）

### ② コンクリートの気乾単位容積質量による種類及び強度

・普通コンクリート <8.1.3><8.1.4><8.2.5><8.9.2>

| 設計基準強度（N/㎟） | スランプ（cm） | 気乾単位容積質量（t/㎥） | 適用箇所 |
|---|---|---|---|
| ・24 | ・ | ・2.3程度 | |
| ・21 | ・15 | ・2.3程度 | ・図示 基礎梁と土間ｺﾝｸﾘｰﾄ |

構造体強度補正値 ※改修標準仕様書表8.2.4による ・

・軽量コンクリート

| 設計基準強度（N/㎟） | スランプ（cm） | 気乾単位容積質量（t/㎥） | 種類 | 適用箇所 |
|---|---|---|---|---|
| ・ | ※21 ・ | ・ | ・1種 ・2種 | |
| ・ | ・ | ・ | | |

構造体強度補正値 ※改修標準仕様書表8.2.4による ・

### ③ セメント

<8.2.5>
種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種(普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210に示された)規定の他、水和熱が7日目で352Ｊ／ｇ 以下、かつ28日目402Ｊ／ｇ 以下のものとする)
適用箇所( )
・高炉セメントB種 適用箇所( )
・フライアッシュセメントB種 適用箇所( )
・

### ④ 骨材

アルカリシリカ反応性による区分 <8.2.5>
※A ・B

### ⑤ 混和材料

<8.2.5>
・混和剤
混和剤の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(a)による ・
・混和材
混和材の種類
※改修標準仕様書 8.2.5(4)(b)による ・

### ⑥ 構造体用モルタル

・構造体用無収縮モルタル ・Fm=30N/mm2 <8.2.6>
圧縮強度( )
フロー値( )

### ⑥-2 グラウト材

無収縮グラウト材は、製造所で調合された材料を使用する。
圧縮強度(N/mm2) ：３０以上
コンシステンシーJ14 ロート値(秒) ６～１０
乾燥収縮(×１０$^{-4}$) ：０

### ７．暑中コンクリート

構造体強度補正値 <8.10.2>
※6N/㎟ ・

### ８．マスコンクリート

適用箇所 (6.13.1)(6.13.2)
・図示による( ) ・
セメントの種類
・普通ポルトランドセメント
・中庸熱ポルトランドセメント
・低熱ポルトランドセメント
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
・シリカセメント
・
混和材料
・混和剤
混和剤の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(7)による ・
・混和材
混和材の種類
※標準仕様書6.13.2(2)(4)による ・
スランプ
※15cm ・
構造体強度補正値 ※標準仕様書表6.13.1による ・

### ９．無筋コンクリート

<8.11.1>
コンクリートの種類
※普通コンクリート ・
設計基準強度
※18N/㎟ ・
スランプ
※15cm又は18cm ・
セメントの種類
※普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種
・高炉セメントB種
・フライアッシュセメントB種
適用箇所
・図示による( ) ・

### 10. 流動化コンクリート

(6.15.1)
適用箇所
・図示による( ) ・

### ⑪ 打継ぎの位置、ひび割れ誘発目地、打継目地

打継ぎの位置 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)<3.7.3>
・図示による( ) ・
目地寸法
・標準仕様書 9.7.3(1)(7)による ・図示による( )
ひび割れ誘発目地の位置・形状・寸法
・図示による( ) ・

### ⑫ 構造体コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ <8.1.4>

| 種別 | 適用箇所 |
|---|---|
| ・A種 | |
| ・B種 | |
| ・C種 | |

コンクリートの仕上りの平たんさ（柱・梁・壁）

| 種別 | 適用箇所 |
|---|---|
| ・a種 | 化粧打ち放しコンクリート、塗装仕上げ、壁紙張り、接着剤による陶磁器質タイル張り |
| ・b種 | 仕上塗材塗り |
| ・c種 | セメントモルタルによる陶磁器質タイル張り、モルタル塗り 胴縁下地 |

コンクリートの仕上りの平たんさ（床）

| 種別 | 適用箇所 |
|---|---|
| ・a種 | 合成樹脂塗床、ビニル系床材張り、コンクリート直均し仕上げ、フリーアクセスフロア（置敷式） |
| ・b種 | カーペット張り、防水下地、セルフレベリング材塗り |
| ・c種 | タイル張り、モルタル塗り、二重床 |

### ⑬ 打増し厚さ（打放し仕上部）

<8.7.8>
・打放し仕上げの打増し厚さ(外部に面する部分に限る)
・20㎜ ・
・打放し仕上げの打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・10㎜ ・20㎜ ・

### ⑭ 型枠

(6.8.2)<8.2.7>
せき板の材料及び厚さ
・合板(※12㎜ ・ ) ・
・断熱材を兼用した型枠材
使用箇所
・図示による( ) ・
・ＭＣＲ工法用シート
適用箇所
・図示による( ) ・
打増し厚さ ・20㎜ ・
打増し範囲 ・図示による( ) ・
スリーブの材種・規格等
・図示による( ) ・

### ⑮ 型枠の加工及び組立

<8.7.8>
シアコネクタをセパレーターとして使用
使用箇所
・図示による（ ） ・



令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

図面名 建築工事改修特記仕様書(7)（令和6年版）
縮尺 S=1:・・・(A3版 50%縮小)
図面種別 A
図面番号 08

### ⑯ コンクリートの打込み工法等

<8.21.8><8.23.5～7>

コンクリートの打設工法の種類

| 補強工法 | 打設工法 | 部位 |
|---|---|---|
| ・現場打ちコンクリート梁の増設工事 | ・工法指定なし | ・全ての増設壁<br>・図示による（　　） |
| | ・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2) | ・全ての増設壁<br>・図示による（　　） |
| | ・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3) | ・全ての増設壁<br>・図示による（　　） |
| | ・ | ・図示による（　　）<br>・ |
| ・柱補強工事（溶接金網巻き及び溶接封鎖閉鎖フープ巻き工法） | ・工法指定なし | ・全ての柱補強部分<br>・図示による（　　） |
| | ・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2) | ・全ての柱補強部分<br>・図示による（　　） |
| | ・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3) | ・全ての柱補強部分<br>・図示による（　　） |
| | ・ | ・図示による（　　）<br>・ |
| ・ | ・工法指定なし | |
| | ・流込み工法 8.21.8(1)(ｱ),(2) | |
| | ・圧入工法　8.21.8(1)(ｲ),(3) | |

鋼板巻き工法及び帯板巻き付け工法での型枠等
柱頭及び柱脚の隙間の寸法
・図示による（　　）　・
柱頭及び柱脚の隙間部間の型枠
・発泡プラスチック保温材等を埋込む
・
既存柱外周部あと打ちコンクリート又は構造体用モルタルの厚さ
・図示による（　　）　・
補強後の仕上げ
・図示による（　　）　・

## 8-3 鉄骨工事

### ① 鉄骨製作工場

<8.1.5>

鉄骨製作工場の加工能力
※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から構造方法等の認定を取得している鉄骨製作工場又は同等以上の能力のある工場
（　R　）グレード以上
・監督職員の承認する工場

### ② 鉄骨製作工場における施工管理技術者

<8.1.6>

※配置する

### ③ 鋼材

種類等　<8.2.8>

| 種類の記号 | 適用箇所（主要な部分） | 規格 |
|---|---|---|
| ・SS400 | ・図示 | ・JISによる　・ |
| | | ・JISによる　・ |
| | | ・JISによる　・ |
| | | ・JISによる　・ |
| | | ・JISによる　・ |
| | | ・JISによる　・ |

### ④ 高力ボルト

<8.2.9><8.13.2><8.14.2>

高力ボルトの種類
※トルシア形高力ボルト
・JIS形高力ボルト
・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（　　）　・
摩擦面の処理方法
・改修標準仕様書8.14.2(1)による。
・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験　　・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.14.2(1)(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

### 5．普通ボルト

<8.13.2>(7.2.3)

ボルト及びナットの材料
・標準仕様書 表7.2.3(JIS附属書品)又は次による
ボルトの規格は、JIS B 1180とする。
ボルトの種類は、呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルトとし、材料は鋼とする。
ボルトの強度区分は、4.6又は4.8とする。なお、呼び径六角ボルトの最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。
ナットの規格は、JIS B 1181とする。
ナットの種類は、六角ナット−Cとし、材料は鋼とする。
・
座金
※JIS B 1256による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（　　）　・
母屋又は胴縁の取付けに使用するボルトの孔径
※ねじの呼び径+1.0mm　・

### 6．溶融亜鉛めっき高力ボルト

<8.13.2><8.14.2><8.20.5>

ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による（　　）　・
摩擦面の処理方法
・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)
・りん酸塩処理
・
・すべり試験の実施
・すべり係数試験　　・すべり耐力試験
すべり試験を実施する場合、改修標準仕様書8.20.5(1)(ｱ)又は(ｲ)による摩擦面の確認は、本試験で作成した対比試験片で行うこと。

### 7．アンカーボルト

(7.2.4)(7.3.2)

・構造用アンカーボルト
種類
・ABR400　・ABR490　・
・建方用アンカーボルト
種類
・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による　・
・標準仕様書7.2.4以外のアンカーボルト
適用箇所
・図示による（　　）　・
種類
・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書 表7.2.3による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による
・

### ⑧ 溶接材料

溶接材料　<8.2.10>
・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による
・

### 9．スタッド

種類等　<8.2.11>

| 呼び名 | 呼び長さ（mm） | 適用箇所 |
|---|---|---|
| ・16 | | |
| ・19 | | |
| ・22 | | |

### 10．製作精度

<8.13.3>

鉄骨の製作精度は、JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］に加えて、次による
通しダイアフラムの突合せ継手の食い違いの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(2)による
・
アンダーカットの寸法
※H12建告第1464号第二号イ(3)による
・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

### 11．仮組

仮組を行う範囲　<8.13.10>
・図示による（　　）　・

### ⑫ 溶接作業を行う技能資格者技量付加試験

試験の要領　<8.15.3>
・図示による（　　）　・

### ⑬ 溶接接合

開先の形状　<8.15.4><8.15.7>
・図示による（　　）　・
・鋼製エンドタブ の切断する部分
切断する箇所
・図示による（　　）　・
切断範囲
・鋼製エンドタブ、裏当て金等は、梁フランジの端から5mm以下を残して直線状に切断する。
なお、切断線が交差する場合は、交差部をアール状に加工する。
・
切断面の仕上げ
・改修標準仕様書8.15.7(1)(ｶ)(b)②による
・
スカラップの形状
・図示による（　　）　・

### 14．入熱、パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件　<8.15.7><8.15.10>
・図示による（　　）　・
適用箇所
・図示による（　　）
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

### 15．溶接部の試験

<8.15.12>

平12建告第1464号第二号に関する外観試験方法等
・「突合せ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」3.5.2
受入検査による
・抜き取り検査①
※抜き取り検査②
JASS 6 付則 6［鉄骨精度検査基準］の付表3「溶接」に関する試験方法等
・JASS 6 10.4[受入検査]e.溶接部の外観検査(1)から(5)までによる。ただし、完全溶込み溶接部の外観検査の抜取箇所は、超音波探傷試験の抜取箇所と同一とする。外観試験の不合格箇所は、すべて標準仕様書7.6.13による補修を行い、再試験する。
完全溶込み溶接部の超音波探傷試験
・工場溶接の場合
※全数
・工場現場溶接の場合
※全数

### ⑯ 錆止め塗装

<7.3.3><8.17.2、4>

塗料の範囲
耐火被覆材の接着する面の塗装範囲
・図示による（　　）　・
耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲
※改修標準仕様書8.17.2(1)による
・図示による（　　）　・
塗料の種別
・下記以外の鉄鋼面は、7章[塗装改修工事]による
・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別
※A種　・
・耐火被覆材が接着する面の塗料の種別
・

### 17．耐火被覆

<8.18.2>～<8.18.8>

種類、材料、工法等

| 種類 | 材料・工法 | 性能(耐火時間) | 適用箇所(部位・部分) |
|---|---|---|---|
| ・耐火材吹付け | ・乾式吹付けロックウール | | |
| | ・半乾式吹付けロックウール | | |
| | ・湿式ロックウール | | |
| | ・ | | |
| | ・ | | |
| ・耐火板張り | ・繊維混入けい酸カルシウム板 | | |
| | ・ | | |
| ・耐火材巻付け | ・高断熱ロックウール | | |
| | ・ | | |
| ・ラス張りモルタル塗り | − | | |
| ・耐火塗料 | ・ | | |

### 18．アンカーボルト等の設置等

(7.10.3)

構造用アンカーボルトの形状及び寸法
・図示による（　　）　・
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
・図示による（　　）　・
建方用アンカーボルトの形状及び寸法
・図示による（　　）　・
建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
種別
・A種　・B種
柱底均しモルタル厚さ及び工法の種別
厚さ
・
種別
※A種　・B種

### ⑲ 鉄骨ブレース設置後の仕上げ

<8.22.9>

・図示による（　　）　・

## 8-4 あと施工アンカー工事

### ① あと施工アンカー

材料等　<8.2.4>
・金属系アンカー
・引張耐力　・　kN　・図示による（　　）
・せん断耐力　・　kN　・図示による（　　）
アンカー本体の径及び埋込み長さ
・図示による（　　）　・
セット方式　※本体打込み式改良型　・
接合筋の種類、径、長さ
・図示による（　　）　・
・性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による（　　）　・

※接着系アンカー
・引張耐力　・　41.6kN　・図示による（　　）
・せん断耐力　・　67.4kN　・図示による（　　）
アンカーの種類　※カプセル方式回転打撃式　・
接着剤の品質
※有機系　・無機系
アンカー筋の径及び埋込み長さ
・図示による（　　）　・
アンカー筋の種類
・
アンカー筋の新設梁内への定着の長さ
・図示による（　　）　・
・性能確認試験
試験方法及び試験数
・図示による（　　）　・

### ② 穿孔

埋込み配管等の探査方法　<8.12.4>
・鉄筋探知器(金属探知器)より探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする。
・はつり出しによる
・ハンマードリル

### ③ 施工確認試験

試験方法　<8.12.7>
※引張試験機による引張試験
確認強度
・図示による(耐震補強共通図)　・　28kN
・

### ④ あと施工アンカー穿孔工法

<8.12.1>

※改修標準仕様書8.12.1 (2) による。
・耐震改修部位に使用するD13以上のあと施工アンカーは、ケーシング又はダイヤモンドビット等を用いた低騒音工法を採用する。

## 8-5 グラウト工事

### ① 柱底均しモルタル及びグラウト材

・柱底均しモルタル　<8.2.12>
※無収縮モルタル
・
・グラウト材
無収縮グラウト材の材質等

| | |
|---|---|
| 混和材 | セメント系（酸化カルシウム及びカルシウム・サルフォ・アルミネート等によって膨張する性質を利用するもの）とする。 |
| セメント | JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または早強ポルトランドセメントとする。 |
| 砂 | 土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。<br>ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態は、規定しない。 |

無収縮グラウト材の品質及び試験方法

| | |
|---|---|
| コンシステンシー | J ロートによる流下時間<br>練混ぜ完了から3分以内の値　：　8±2秒 |
| ブリージング | 練り混ぜ2時間後のブリージング率　：　2.0%以下 |
| 凝結時間 | 凝結開始時間　：　1時間以上<br>終結時間　：　10時間以内 |
| 無収縮性 | 材齢　7日　収縮しない |
| 圧縮強度 | 材齢　3日　20.0 N/mm²以上<br>材齢　28日　40.0 N/mm²以上 |
| 塩化物量 | 0.30kg/m³ 以下 |
| 試験方法 | 1)NEXCO試験方法　試験法312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。プレミックス形と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はプレミックス形のみとする。<br>2)塩化物量の試験は、JIS A 1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。 |

## 8-6 連続繊維補強工事

### 1．連続繊維シート

連続繊維の材料　<8.2.13><8.24.6>
・炭素繊維
・アラミド繊維
・
引張強度（含浸硬化後）
・（　　）N/mm²　・
ヤング係数（含浸硬化後）
・（　　）N/mm²　・
・下地処理
・ひび割れ部改修
範囲
・図示による（　　）　・
工法の種類
・
・柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ
・図示による（　　）　・

連続繊維補強材の強度試験
・引張強度試験
※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法）による
・
試験数量
・図示による（　　）　・
・付着強度試験
※JIS A 6909（建築用仕上塗材）による
・
試験数量
・図示による（　　）　・

### 2．仕上げ

補強工事後の仕上げ　<8.24.7>
・図示による（　　）　・

## 8-7 耐震スリット新設工事

### 1．耐震スリットの方式、幅及び深さ

方式　<8.25.2>
・完全　・部分
幅及び深さ
・図示による（　　）　・
設置箇所
・図示による（　　）　・

### 2．耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査

<8.12.4>

既存撤去部の埋込み配管等の探査方法
・鉄筋探査機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しする
・はつりだしによる

### 3．耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等

<8.25.2>

・耐火材
使用箇所及び仕様
・図示による（　　）　・
・遮音材
使用箇所及び仕様
・図示による（　　）　・
撤去部の補修
※撤去材と同一材で補修
・

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 建築工事改修特記仕様書(8)(令和6年版) | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:･･･(A3版 50%縮小) | 図面番号 09 |

## ⑧-8 土工事及び地業工事

### ①. 埋戻し及び盛土

材料及び工法 <8.28.3>
・⊙材料(　　)　工法(　　)
※改修標準仕様書表8.28.1による
・A種　適用場所(　　)
・B種　適用場所(耐震補強基礎下)
・C種　適用場所(　　)
土質(　　)　受渡場所(　　)
・D種　適用場所(　　)
(品質　細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)

### ２．杭地業

<8.2.15><8.28.4><4.3.8>
支持層の位置及び土質（基礎ぐいの先端位置含む）
・図示による(　　)　・
杭の材料、工法、寸法、施工方法等
・図示による(　　)　・
・試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法
・図示による(　　)　・
・杭の継手の箇所数、材料、工法等
・図示による(　　)　・
・杭の溶接継手
技能資格者の技量　・図示による(　　)　・
溶接部の確認　・図示による(　　)　・
・杭頭の処理
・処理しない
・処理する
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による(　　)　・
・杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・
杭の精度
水平方法の位置ずれ
・杭径の1/4かつ100㎜以下　・評定等の評価内容による
・
建て込み時の杭の鉛直度
・1/100以内　・評定等の評価内容による
・
記録する施工状況等
・図示による(　　)　・

### ③. 砂利地業

<8.2.15><8.28.4>
材料
※再生クラッシャラン　・切込砂利又は切込砕石
砂利厚さ

| 厚　さ | 適 用 箇 所 |
|---|---|
| ※60㎜ | ⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下、土間コンクリート下 |
| ・ | ・ |

### ④. 捨コンクリート地業

<8.2.15><8.28.4>
捨コンクリートの厚さ

| 厚　さ | 適 用 箇 所 |
|---|---|
| ※50㎜ | ⊙基礎下、基礎梁下、土間スラブ下　・ |
| ・ | ・ |

コンクリートの種類
・　※普通コンクリート
設計基準強度
※18N/㎟　・
スランプ
※15cm又は18cm　・

## ⑨ 環境配慮改修工事

### ①. 石綿含有建材の除去工事

⊗封じ込め工法

施工調査 <9.1.3～6>
⊗石綿含有建材の事前調査
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無を調査する。
調査範囲 ⊙作業場所　・図示　)
⊙除去面積は実測値とする。(図示記載面積は平面積であり実測値ではないため現場実測の上、石綿全てを封じ込める事)
⊙石綿粉じん濃度測定
測定時期、場所及び測定点　(JIS K 3850-1他　「1L 10本以下」)

| 適用 | 測定名称 | 測定時期 | 測定場所 | 測定箇所数(各施工箇所ごと) |
|---|---|---|---|---|
| ・ | 測定 1 | 処理作業前 | 処理作業室内 | ・計　点 |
| ⊙ | 測定 2 | | 調査対象室外部の付近 | ⊙計　4点 |
| ・ | 測定 3 | 処理作業中 | 処理作業室内 | ・計　点 |
| ・ | 測定 4 | | セキュリティーゾーン入口 | ・計　点 |
| ・ | 測定 5 | | 集じん・排気装置の排出口(処理作業室外の場合) | 出口吹出し風速1m/s以下の位置<br>・計　点 |
| ・ | 測定 6 | | 処理作業室内<br>・施工区画周辺<br>・敷地境界 | ・計　点 |
| ・ | 測定 7 | 処理作業後(シート養生中) | 処理作業室内 | ・計　点 |
| ・ | 測定 8 | 処理作業後(シート撤去後1週間以降) | 処理作業室内 | ・計　点 |
| ⊙ | 測定 9 | | 調査対象室外部の付近 | ⊙計　4点 |

測定方法　⊗測定方法は監督員と協議の上決定する
・自動測定器による測定

| 測定名称 | 測定方法 |
|---|---|
| ・測定 4<br>・測定 5 | 粉じん相対濃度計(デジタル粉じん計)、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器(リアルタイムファイバーモニター)等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定 |

⊙JIS K 3850-1に基づいた測定

| 測定名称 | メンブレンフィルタ直径(㎜) | 試料の吸引流量(L/min) | 試料の吸引時間(min) |
|---|---|---|---|
| ⊙測定 4<br>・測定 5 | 25 | 5 | 30 |
| ・測定<br>・ | 47 | 10 | 120 |
| ・測定<br>・ | 47 | 10 | 240 |
| ・測定<br>・ | | | |
| | | | |
| | | | |

石綿含有建材の処理
・石綿含有吹付け材の除去
除去対象範囲
・図示による　・
除去工法
※改修標準仕様書9.1.3 (2) (ｱ)による
・
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付け材等の処分
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

⊙石綿含有吹付け材の封じ込め (ﾌｧｲﾊﾞｰﾍﾟｽﾄ吹付材:A-21図参照)
⊙封じ込め対象範囲 ⊙図示による
⊙封じ込め工法(液体により固形化する工法)

⊙石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種）の除去
除去対象範囲
⊙図示による　・
隔離養生（負圧不要）方法
⊙図示による　・
足場
・図示による　・
除去した石綿含有けい酸カルシウム板第一種の処分
⊙埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）
・

・石綿含有成形板（石綿含有けい酸カルシウム板第一種以外）の除去
除去対象範囲
・図示による　・
除去した石綿含有成形板の処分
・石綿含有せっこうボード
※埋立処分(管理型最終処分場)
・石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板
・埋立処分(安定型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形板（下地調整材）の除去
除去対象範囲
・図示による　・
除去工法
・
養生方法
・
除去した石綿含有仕上塗材の処分
・埋立処分(安定型最終処分場)
・埋立処分(管理型最終処分場)
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

石綿含有建材除去後の仕上げ工事
・図示による　・

### ２．断熱ｱｽﾌｧﾙﾄ防水改修工事

改修特記仕様書3章による。 <9.2.2～3>

### ３．外断熱改修工事

断熱材 <9.2.1～4>
断熱材の種類
・
断熱材の厚さ(㎜)
・
施工箇所
・図示による　・
ホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
外装材

| 種類 | 防火性能 | 備考 |
|---|---|---|
| ・ | | |

鋼材
改修特記仕様書第8章　8-3　鉄骨工事　・鋼材による
笠木
改修特記仕様書第3章　・アルミニウム製笠木による
既存外壁の処置
既存外壁仕上材の撤去
・行う　・行わない
下地面の清掃
・行う　・行わない
欠損部の改修工法
・改修特記仕様書第4章　外壁改修工事による
・
不陸等の下地調整
・
断熱材の施工
・断熱材製造所の仕様による　・
外装材の施工
・外装材製造所の仕様による　・
通気層の有無
・有(　　㎜)　・無
外装材の外壁への取付け
・図示による　・
笠木の施工
・改修特記仕様書第3章　アルミニウム製笠木による
・

### ④. 断熱・防露改修工事

<9.3.2～4>
フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
開口部等補修のための張付け用の接着剤のホルムアルデヒド放散量
※F☆☆☆☆　・
工法
・断熱材打込み工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類　・
厚さ(㎜)　・
施工場所　・
⊙断熱材現場発泡(不燃ウレタン)工法
断熱材の種類
・A種1　⊙A種1H　・
吹付け厚さ(㎜)
・25　⊙30　・
施工箇所
・図示による　・
・断熱材後張り工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスチック断熱材
種類　・
厚さ(㎜)　・
・断熱材にせっこうボード等を張り付けたパネル
材質　・
厚さ　・　(㎜)
・張り付け工法
断熱材の張り付け工法　・
断熱材へのボードの張付け工法　・

## ⑩ ユニット及びその他の工事

### １．フリーアクセスフロア

(20.2.2)

| 施工箇所 | 構法 | 寸法（㎜） | 高さ(㎜) | 耐震性能 | 所定荷重 | 表面仕上材 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | ・置敷式<br>・支柱調整式 | ・500×500<br>・ | | ・1.0G<br>・0.6G | ・3,000N<br>・5,000N<br>・ | ・帯電防止床ﾀｲﾙ<br>・ﾀｲﾙｶｰﾍﾟｯﾄ<br>・ |
| | | | | | | |

寸法精度
※標準仕様書20.2.2(2)(ｵ)(a)～(c)による
・以下による
パネルの長さの寸法精度
(　　)
パネルの平面形状（角度）の寸法精度
(　　)
フリーアクセスフロアの高さの寸法精度
(　　)
帯電防止性能
・評価値 (U) ≧0.6以上
・評価値 (U) ≧1.2以上
感電防止性能
漏えい抵抗 (R) ≧$1\times10^6\Omega$

### ２．可動間仕切

(20.2.3)

| 構造形式による種類 | 構成基材の種類 スﾀｯﾄﾞ | 構成基材の種類 ﾊﾟﾈﾙ | パネル表面仕上げ | 遮音性(dB/500Hz) | 防火性能 |
|---|---|---|---|---|---|
| ・スタッド式(内蔵)<br>・スタッド式(露出)<br>・スタッドパネル式<br>・パネル式 | | | ・ﾒﾗﾐﾝ樹脂焼付又はｱｸﾘﾙ樹脂焼付<br>・壁紙張り<br>・ | ・0<br>・12<br>・20<br>・28<br>・36 | ・不燃 |

パネル内に取付ける建具
・有り（※図示による　・　）
・無し
パネル内に取り付ける建具のドアクローザー、丁番、錠前、上げ落とし は、標準仕様書16章8節の建具用金物に対応する材質とする。
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。
パネル材料のホルムアルデヒド放出量
※F☆☆☆☆　・

### ３．移動間仕切

(20.2.4)

| 走行方向 | 操作方法による種類 | パネル圧接装置の操作方法 | 総厚さ(㎜) | パネル表面材 材質 | パネル表面材 仕上げ | 遮音性(dB/500Hz) |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・平行方向移動式<br>・二方向移動式 | ・手動式<br>・電動式<br>・部分電動式 | ・ﾌﾟｯｼｭ式<br>・ﾊﾝﾄﾞﾙ式<br>・ | | ・鋼板<br>・ | ・焼付塗装<br>・壁紙張り<br>・ | ・36未満<br>※36以上 |

パネル表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する
・図示による
パネルをランナーに取り付ける部品
※ランナーに加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの
・
ハンガーレール及びランナー
※パネル重量の5倍の荷重を、パネル１枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの
・

### ④. トイレブース

(20.2.5)

| 表面材の材料 | 脚部 種類 | ドアエッジ 材質 |
|---|---|---|
| ⊙メラミン樹脂系化粧板<br>・ポリエステル樹脂系化粧板<br>⊙木目調 | ※幅木タイプ<br>・ | ※製造所の仕様による<br>⊙アルミニウム製<br>・ステンレス製 |

### ⑤. 手すり

材料の種類及び仕上げ (20.2.6)
・SUS304　表面処理　※HL程度
・鋼製　表面処理　溶融亜鉛めっき
(※標準仕様書表14.2.2による種別(　　)種)
・アルミニウム 表面処理
(※標準仕様書表14.2.1による種別(　　)種)
色合い　・標準色(　　)　・特注色(　　)

手すりの握り部分

| 材種 | 表面仕上げ | 直径(㎜) | 取付箇所 | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・集成材(材種：　　) | ・クリアラッカー<br>・ | ・35程度<br>・45程度<br>・ | | |
| ・ビニル製 | | ・35程度<br>・45程度<br>・ | | |

### ６．階段滑り止め

材種 (20.2.7)
※ステンレス製
・黄銅製押出型材
・アルミニウム製押出型材
・
形状
※タイヤ型(タイヤの材質：ゴム又は合成樹脂合等)
・タイヤレス型
寸法(幅)
・35㎜程度　・40㎜程度　・50㎜程度

取付け工法
※接着工法
・埋込み工法

令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

図面名 建築工事改修特記仕様書(9)(令和6年版)
縮尺 S=1:・・・(A3版 50%縮小)
図面種別 A
図面番号 10

7．黒板及びホワイトボード
・黒板 (20.2.9)
区分
※焼き付け ・
種類
※鋼製黒板
・ほうろう黒板
色
※緑
・ホワイトボード

⑧．鏡
取付け箇所（ ） (20.2.10)
寸法（mm）
・図示による ・
厚さ（mm）
※5 ・

⑨．表示
衝突防止表示 (20.2.11)
・設置する （設置場所：※図示による ・ ）
形状・寸法（ ・30φ ・ ）
材質 （ ※ステンレス製 ・ ）
・設置しない
誘導標識、非常用進入口等の表示
※消防法に適合する市販品
室名札、ピクトグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等
（案内用図記号はJIS Z 8210による）
取付箇所
※図示による

10．タラップ
材質及び仕上げ (20.2.12)
・SUS304（スリップ止め加工 ※あり ・なし ）
・鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき
（※標準仕様書表14.2.2による種別（※C種 ・ 種））

11．煙突ライニング（削除） (20.2.13)（削除）

⑪．点字誘導ブロック
⊙塩ビシート製品(バリフリー法に適合する製品)300×300
直進誘導表示及び曲り位置表示の２種類(外部仕様・内部仕様)

12．ブラインド (20.2.14)

| 形式 | 操作方法 | 操作方法の種類 | スラットの種類 | スラット幅 | ﾎﾞｯｸｽ・ﾚｰﾙの材種 | 幅・高さ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・横形 | ・手動 | ※ギヤ式<br>・コード式<br>・操作棒式 | ※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 | ※25 | ※鋼製 | ・図示による |
| | ・電動 | － | | | | |
| ・縦形 | ・手動 | ※2本操作コード式<br>・1本操作コード式 | ・ｱﾙﾐﾆｽﾗｯﾄ<br>・ｸﾛｽｽﾗｯﾄ | ・80<br>・100 | ※ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金製 | ・図示による |
| | ・電動 | － | | | | |

⊙横形ロールブラインド 男女便所・多目的トイレ
縦型ブラインドのスラットの材質
・アルミスラット 焼付け塗装仕上げ
・クロススラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

13．ロールスクリーン (20.2.15)

| 操作方法 | スクリーンの材種 | その他の材料 | 幅・高さ取付箇所 | 品質等 |
|---|---|---|---|---|
| ・スプリング式<br>・コード式<br>・電動式 | ・ガラス繊維製<br>・合成・天然繊維製<br>・木製 | ※製造所の仕様 | ・図示による | |

スクリーンの仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの

14．カーテン (20.2.16)

| 形式 | 開閉操作 | ひだの種類 | 生地の種別、品質、特殊加工等 | 取付け箇所 |
|---|---|---|---|---|
| ・ｼﾝｸﾞﾙ ・片引き<br>・ﾀﾞﾌﾞﾙ ・引分け | ・手引き<br>・ひも引き<br>・電動 | ・つまみひだ<br>・箱ひだ、片ひだ<br>・ﾌﾟﾚｰﾝひだ | | ・図示による |
| | | | | |

生地の仕様
消防法で定める防炎性能の表示があるもの
暗幕用カーテンの両端、上部及び召合せの重なり
※300mm以上

15．カーテンレール 材料による区分 (20.2.16)
・アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
※ステンレス製
強さによる区分
※10-90 ・
仕上げ
※アルマイト ・
形状
※角形 ・

16．ブラインドボックス及びカーテンボックス
材種
・集成材（仕上げ： ）
※アルミニウム製 押出し型材（市販品）
標準仕様書表14.2.1による種別
※BC-1種 ・BC-2種
色合い
・標準色（ ） ・特注色（ ）
・鋼製（仕上げ： ）

17．天井点検口

| 材種 | 寸法 | 形式 | | 外枠 | 内枠 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※アルミニウム製 | ※450×450<br>・600×600 | ・一般形 | ・屋内外用<br>・屋内用 | ・額縁タイプ<br>※目地タイプ | ・額縁タイプ<br>※目地タイプ |
| | | ・気密形 | | | |



18．床点検口

| 材種 | 寸法 | 形式 | | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ※アルミニウム製<br>・ステンレス製<br>・鋼製 | ・450×450<br>※600×600 | ※一般形<br>・密閉形 | ・屋内外用<br>・屋内用 | ・鍵付き |

密閉形とは、ボルト、ナット等メカニカル構造にパッキンを装着したものとする。

19．くつふきマット

| 材種 | 受け枠 | 備考 |
|---|---|---|
| ※塩化ビニル又はゴム製<br>・硬質アルミニウム合金製<br>・ステンレス鋼（SUS304）製 | ※ステンレス鋼（SUS304）<br>・硬質アルミニウム合金 | |

20．流し台ユニット

| 材種 | 寸法（mm） W | D | H | 備考 |
|---|---|---|---|---|
| ・流し台 | ・1200<br>・1500<br>・1800 | ・550<br>・600<br>・650 | ・800<br>・850 | 市販品<br>トラップ付き<br>天板ステンレス製 |
| ・コンロ台 | ・600 | ・550<br>・600<br>・650 | ・620<br>・670 | 市販品<br>バックガード有り<br>天板ステンレス製 |
| ・つり戸棚 | ・1200<br>・900 | ・450 | ・500<br>・700 | 市販品 |
| ・水切り | ・1200<br>・900<br>・600 | － | － | 市販品<br>ステンレス製<br>・1段式 ・ |

形状
※図示によるミニキッチンセット

21．旗竿

| 材種 | 形式 | 高さ(m) | 操作方法 | 固定方法 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|
| ※アルミニウム合金製 | ※テーパー式<br>・同一断面式 | | ※ハンドル式<br>・ロープ式 | ・埋込式<br>・ベース式<br>・バンド式 | |

22．旗竿受金物
材種
・ステンレス製（SUS 304）

23．車止めさく

| 形式 | 材種 | 柱径、肉厚(mm) | 高さ(mm) |
|---|---|---|---|
| ・上下式鎖内蔵式 ・横準品<br>・スプリング式 | ・ステンレス製 | | |
| | | | |

24．フェンス
フェンスの種類
・ビニル被覆エキスパンドフェンス
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス
高さ
・図示による ・

25．囲知石及びコンクリート囲知ブロック積み (20.4.2、3)

| 材種 | 種類 | 質量区分 | 備考 |
|---|---|---|---|
| ・囲知石 | ・花こう岩<br>・凝灰岩 | － | － | |
| ・コンクリート囲知ブロック | － | | ・A<br>・B | |

積み方
※谷積み ・布積み
目塗り
・図示による
伸縮調整目地
材種
・図示による ・
厚さ
・図示による ・

26．鋼製書架及び物品棚

| 種類 | 規格等 | JISによる種類 |
|---|---|---|
| ・鋼製書架<br>・鋼製物品棚 | JIS S 1039 の規格による | ・1種 ・2種 ・3種<br>・4種 ・5種 ・6種 |

27．屋内掲示板
枠の材質
※アルミニウム製
表面の材質
※塩ビ発泡シート張り

28．洗面カウンター
材種
・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材）
⊙人工大理石
奥行き(mm)
⊙約450 ・約600

29．防煙垂れ壁
・固定式

| 材質 | 厚さ(mm) | 高さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|
| ※ 網入り磨き板ガラス<br>・ 線入り磨き板ガラス | ※6.8 | ※500 | アルミ製枠付き |

・可動式

| 種類 | 材質 | 高さ(mm) | 備考 |
|---|---|---|---|
| ・垂直降下式（巻取り型） | ※不燃布（不燃認定品） | ※500<br>・800 | ガイドレール<br>※固定式（壁埋込型）<br>・可動式（天井収納型） |
| ・回転降下式 | 鋼板製又はアルミ製 | ※500<br>・800 | 表面仕上げ<br>※天井材張り |

降下機構
煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）



30．屋外掲示板
照明器具
・有り ・無し
施錠
・有り ・無し
製造所

31．収納家具
合板類、MDF 及びパーティクルボードのホルムアルデヒドの放散量
※F☆☆☆☆ ・
材質、形状、寸法
※図示による ・

32．ﾄﾛﾌｨｰｹｰｽ
⊙トロフィーケースで使用する金物:A-46図参照 ⊙施工個所:ホール(1)
製造所:大阪産業、杉田エース同等品以上

33．その他
⊙衝立て:スキ゛タエース㈱246-405レインスタント゛30S ⊙施工個所:玄関(1)(備品とする)
⊙スノコ:A-23図参照 ⊙施工個所:玄関(1)(備品とする)
⊙下駄箱:A-23図参照 ⊙施工個所:玄関(1)
⊙帽子掛け、棚受金物、棚板:A-39図参照 ⊙施工個所:SK
⊙お垂れタイルt6.0:ToTo同等品以上 ⊙施工個所:男子トイレ床
⊙ミニキッチン:A-47図参照 ⊙施工個所:ミーティング゛ルーム
⊙スロープ゛:A-48図参照 下記の製品同等品 ⊙施工個所:外構
⊙手スリ:ナカ工業㈱ テスリ子:ロング゛スハ゛ンリステ フ゛ラケット:42.7φ用ステンレス#400
⊙テスリ:ナカ工業㈱ 笠木:ヒ゛ニレーン32×40 屋金:専用部材使用
⊙テスリ:ナカ工業㈱ テスリ子固定:支柱埋込み接着固定
⊙武道場サイン:A-33図参照 ⊙施工個所:C通り廊下の壁上部
①切文字:ヘ゛ルヒ゛アンシート BCシリーズ゛
②製造所:タキロンシーアイ㈱同等品以上
③銘様:木製モールテ゛インク゛材 A236AYアユース材
④製造所:みはし㈱同等品以上
⊙武道場館名板:A-49図参照 ⊙施工個所:①通りフロントサッシュ上部
①切文字:ヘ゛ルヒ゛アンシート BCシリーズ゛
②ベース:アクリル板t10
③ベース:ヘ゛ルヒ゛アンシート EWシリーズ゛
④製造所:タキロンシーアイ㈱同等品以上
⑤銘様:木製モールテ゛インク゛材 A236AYアユース材
⑥製造所:みはし㈱同等品以上
⊙外壁:アルミ木目調縦格子 A-23図参照 ⊙施工個所:①通り外壁
①目隠しルーハ゛ー:アースウット゛ カオス 50mmタイプ゛KD5050 固定:アルミ専用胴縁共
②目隠しルーハ゛ー:固定:アルミ専用胴縁 L-90×50×4 @1500程度
③製造所:㈱ABC商会同等品以上
⊙ルーフ゛ライント゛:横型 ⊙施工個所:女子便所、多目的トイレ
①製造所:タチカワ゛ライント゛㈱同等品以上
⊙塩ヒ゛見切壁GB-Rt12.5用 F見切 D-3号
製造所:フクヒ゛化学工業㈱同等品以上
⊙壁クロス見切壁GB-Rt12.5用 クロスフリー JF3N(クロスフリー工法)
製造所:フクヒ゛化学工業㈱同等品以上
⊙塩ヒ゛天井廻り縁:t9.5用 F見切 45号
製造所:フクヒ゛化学工業㈱同等品以上
⊙外部軒天廻り縁:アルミ見切 AC型
製造所:フクヒ゛化学工業㈱同等品以上
⊙ホール(1) ハ゛イフ゛手摺:ハ゛イフ゛手すりSK-1 453-319同等品以上
製造所:杉田エース㈱同等品以上
⊙男子、女子便所 大便器用手摺:ハ゛イフ゛手すりSK-8 543-390
製造所:杉田エース㈱同等品以上
⊙男子・女子便所:カ゛ラスハ゛ーテーション 製造所:小松ウォール
フロートカ゛ラス厚10 飛付き飛散防止フィルム張
マティ-G FRAME・PLS同等品以上
⊙ホール(1) :木製引き出し付き椅子 A-32図参照
製造所:㈱吉田産業弘前支店 同等品以上
⊙屋根(1)(2)改修工事 :金属屋根工事全般
製造所:㈱カワムラ、宮城サクマ、元旦ヒ゛ューティー宮城 同等品以上
⊙男子トイレ面台 :内装工事 メラミンポストフォームt20化粧板
製造所:㈱アイカ 同等品以上

34．その他
①．施工数量
⊙施工数量の確認においては、室番号毎に施工写真100％撮影し，写真には図面に記載されている番号を記載し、施工場所の特定が出来る様に記載すること。及び、施工数量集計表も同時に作成し、添付すること。
加えて、施工数量が設計数量以上であることを明示する資料を作成すること。

②．会計検査資料
⊙会計検査資料の作成について、工事完了引渡し時には会計検査に必要な書類を作成し提出すること。提出書類の詳細は工事契約締結後、監督員より明示された内容とする。



1．一般事項
試料採取および測定は，厚生労働省の「室内空気中化学物質の採取方法と測定方法」（以下「厚労省の測定方法」という。）の新築住宅の例に準拠して行う。

2．測定対象化学物質
測定対象化学物質は，下記4 1)，2)の区分に従い，
表の①から⑤の６物質とする。

3．測定方法
1） クロマトグラム上で「n－ヘキサン」から「n－ヘキサデカン」までの部分に検出される物質のピーク値を「トルエン」に換算した値をＴＶＯＣ濃度とする。
2） トルエン換算で 2.0μg/m３ 未満のピークは測定の対象としない。
3） 上位１０ピークについて物質を特定して濃度の測定を行う。

表 測定対象化学物質及び室内濃度指針値

| 化学物質名 | 室内濃度指針値 | | | |
|---|---|---|---|---|
| ①ホルムアルデヒド | 100 | μg/m3 | 0.08 | ppm |
| ②トルエン | 260 | μg/m3 | 0.07 | ppm |
| ③キシレン | 200 | μg/m3 | 0.05 | ppm |
| ④エチルベンゼン | 3,800 | μg/m3 | 0.88 | ppm |
| ⑤スチレン | 220 | μg/m3 | 0.05 | ppm |
| ⑥パラジクロロベンゼン | 240 | μg/m3 | 0.04 | ppm |
| ⑦テトラデカン | 330 | μg/m3 | 0.04 | ppm |
| ⑧アセトアルデヒド | 48 | μg/m3 | 0.03 | ppm |
| ⑨ノナナール | (暫定)41 | μg/m3 | 0.007 | ppm |
| ⑩フタル酸ジ－n－ブチル | 17 | μg/m3 | 0.0015 | ppm |
| ⑪フタル酸ジ－2－エチルヘキシル | 100 | μg/m3 | 0.0063 | ppm |
| ⑫クロルピリホス | 1 | μg/m3 | 0.00007 | ppm |
| ⑬ダイアジノン | 0.29 | μg/m3 | 0.00002 | ppm |
| ⑭フェノブカルブ | 33 | μg/m3 | 0.0038 | ppm |
| ⑮総揮発性有機化合物（ＴＶＯＣ） | 400 | μg/m3 | （暫定目標値） | |

4．測定する室
2） ９物質及びＴＶＯＣ濃度を測定する室
・ 室名：
・ 屋外（周囲の建物から離れた場所１か所）

5．測定結果等報告書の提出
次の事項を記載した報告書を２部提出する。
1） 測定結果（アセトアルデヒドについては，試料採取時の気温が20℃に満たない場合には，「厚労省の測定方法」に定める計算式で20℃，湿度50％に，ホルムアルデヒドについては25℃，湿度50％に補正した濃度を報告すること。）
2） 試料採取時の状況（気温・湿度（屋外，室内），天候、風の状況、日射進入状況，採取年月日・時間，窓の開閉状況，機械換気量，工事完成から試料採取までの日数）
3） 試料採取方法，測定方法，使用した測定機器
4） ＴＶＯＣ濃度の算出に使用したクロマトグラムの写し

6．その他
表の化学物質①から⑤のうち，いずれかの物質の濃度が室内濃度指針値を超える場合は，工事目的物の引渡しを受けない。
ＴＶＯＣの測定の結果，暫定目標値を超える場合は，発生原因の究明及び汚染物質の発生を低減するための対策について，協議を行うこと。

■外部仕上表

★ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材・レベル3(全て撤去)を示す　※1【玄関ﾎﾞｰﾁ(1)及びA通り掃出両開ドア2か所】A-13図〔1通り+1500矩計図〕ﾎﾞｰﾁ(1)床仕上げとする。又、階段段鼻形状は、ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟﾉﾝｽﾘｯﾌﾟ形状とする。

| 部位 | | 改修前 | 改修後 |
|---|---|---|---|
| 屋根 | 屋根(1) | 亜鉛ﾒｯｷ長尺ｶﾗｰ鋼板 28# 一文字葺 【撤去】 | ガルバリウム鋼板製厚0.4 一文字葺 【新設】 |
| | | ｱｽﾌｧﾙﾄﾙﾌｪﾙﾄ 17kg + ラワン合板 t 12 + 【存置】 | ｱｽﾌｧﾙﾄﾙﾌｪﾙﾄ 17kg 【新設】 |
| | | 木毛ｾﾒﾝﾄ板 t 20 + 白ｾﾒﾝﾄ吹付 SUSｼﾞｮｲﾅｰ付 【存置】 | |
| | 屋根(2) | 折版 V600 t 0.8 片面ｶﾗｰﾎﾞﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ t 4 裏貼 【存置】 | 高圧洗浄15MPa水洗い清掃　欠損部ｼｰﾘﾝｸﾞ防水処理 【塗装改修】 |
| | | | 既存鉄部はRB種ｹﾚﾝ後 錆止塗装3回塗　DP仕上塗装2回塗【塗装改修】 |
| 軒天 | | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★t 4 目透し VP 【撤去】 | 無石綿ｹｲ酸カルシウム板厚4.0目透貼　EP(外部仕様)塗装 |
| | | LGS下地 【撤去】 | LGS下地は標準仕様書による外部仕様とする 【新設】 |
| 外壁 | 外壁(1) | 硬質木片ｾﾒﾝﾄ板(ｾﾝﾁｭﾘｰﾎﾞｰﾄﾞ目止板) t 12 ｱｸﾘﾙﾘﾝｸﾞ吹付【一部撤去】 | 既存ｱｸﾘﾙﾘﾝｸﾞはRA種ｳﾚﾝ　高圧洗浄15MPa水洗い清掃　欠損部ｼｰﾘﾝｸﾞ防水処理　外装薄塗材E吹付 |
| | 外壁(2)(巾木) | ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 目地切 ｱｸﾘﾙﾘﾝｸﾞ吹付、水切:特殊鋼板 28# 【存置】 | 高圧洗浄15MPa水洗い清掃　欠損部ｼｰﾘﾝｸﾞ防水処理　外装薄塗り材E吹付 |
| 柱 | | 鉄骨表し MOP 【存置】 | 鉄部:A種ケレン処理後　錆止塗装　DP塗装 |
| 巾木 | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 【存置】 | C-2コテ塗りの上、外装薄塗材E吹付 |
| | 鉄部 | MOP 【存置】 | 鉄部:RA種ケレン処理後　錆止塗装　DP塗装 |

| 部位 | | 改修前 | 改修後 |
|---|---|---|---|
| 樋 | 軒樋 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋 W105 【撤去】 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋 W105 【新設】 |
| | 竪樋 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞφ85・ドレーン共 【撤去】 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞφ100・ドレーン共 【新設】 |
| 内樋 | 外側 | 鋼板 t 2.3 加工 MOP 【撤去】 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋 W105 【新設】 |
| | 内側 | 鋼板 t 2.3 加工 ｺｰﾙﾀｰﾙ塗、排水口:SUS製 防塵網付【撤去】 | |
| 建具 | ｱﾙﾐ | 見込70 鉄骨用ｱﾙﾐｻｯｼ 【存置】 | |
| | | 見込70 ｼｮｯﾌﾟﾌﾛﾝﾄ 【指示箇所のみ撤去】 | 【玄関1】見込70 ｼｮｯﾌﾟﾌﾛﾝﾄ 引き分けドア付き嵌殺窓 【新設】 |
| ポーチ | | 焼器質ﾀｲﾙ 150角 【指示箇所のみ撤去】 | ※1【玄関ﾎﾞｰﾁ(1)及びA通り掃出両開ドア2か所】 【新設】 |
| | | ｺﾝｸﾘｰﾄ 【指示箇所のみ撤去】 | 【玄関及びA通り掃出両開ドア2か所】 ﾎﾞｰﾁ(1):ﾓﾙﾀﾙ下地ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟﾀｲﾙt10 ロ-300貼 【新設】 |
| 犬走り | | ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞ 金ｺﾃ 目地切(押目地) 【指示箇所のみ撤去】 | 【玄関及びA通り掃出両開ドア2か所】 A通り:炉器質ﾀｲﾙ ロ-150貼 【新設】 |
| 足洗場 | | 床:人造石研出し 腰壁:ｺﾝｸﾘｰﾄ打放し 化粧目地切、人造石研出し【撤去】 | 北側外壁沿③～④通り間に新設(平面図・A-36図参照)【新設】 |
| ｼｰﾘﾝｸﾞ | | ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系ｼｰﾘﾝｸﾞ 【撤去】 | ﾎﾞﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系ｼｰﾘﾝｸﾞ再充填工法【基本寸法10×10】 【新設】 |
| その他 | | 館銘板【撤去】　雪止め【撤去】 | 館名板【新設】　雪止め(屋根工事に含む) 【新設】 |

◆略称凡例

| 符号 | 材料名 |
|---|---|
| GB-R | 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ |
| GB-F | 強化石膏ﾎﾞｰﾄﾞ |
| GB-R-H | 普通硬質石膏ﾎﾞｰﾄﾞ (比重：1.2) |
| GB-S | 耐水石膏ﾎﾞｰﾄﾞ |
| GB-NC | 不燃積層石膏ﾎﾞｰﾄﾞ ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ t9.5 |
| DR | 岩綿吸音板 |
| SOP | 合成樹脂調合ﾍﾟｲﾝﾄ塗り |
| VP | 塩化ﾋﾞﾆﾙ系樹脂ﾍﾟｲﾝﾄ塗り |
| EP | 合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り |
| EP-G | つや有合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝﾍﾟｲﾝﾄ塗り |
| CL | ｸﾘﾔﾗｯｶｰ塗り |

◆防火認定

| 材料 | 不燃種別 | 認定番号 |
|---|---|---|
| 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R) t=9.5 | 準不燃 | QM-9828 |
| 石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-R) t=12.5 | 不　燃 | NM-8619 |
| 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-D) t=9.5 | 準不燃 | QM-0524 |
| EP(基材同等) | 準不燃 | QM-9816 |
| 不燃積層石膏ﾎﾞｰﾄﾞ(GB-NC) ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ t9.5 | 不　燃 | NM-0441 |
| 化粧ｹｲ酸板t=6 | 不　燃 | NM-4227 |
| ｹｲ酸板t=5～12 | 不　燃 | NM-2773 |
| ﾒﾗﾐﾝ不燃化粧板 t=3.0 | 不　燃 | NM-2183 |

■内部仕上表(1)

★ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

| 階 | 室名 | 改修前後 | 床 仕上 下地 | 床 仕上ﾚﾍﾞﾙ ｽﾗﾌﾞﾚﾍﾞﾙ | 巾木 仕上 | 巾木 H | 腰壁 仕上 下地 | 腰壁 H | 壁 仕上 下地 | 天井 仕上 下地 | 天井 CH | 天井 廻り縁 | 天井 ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ | 備考 | 室名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 玄関(1) | 改修前 | 焼器質ﾀｲﾙ 150角 目租し(約30%) 【半解体】 | -65 | 人造石研出し 【撤去】 | 65 | ｱﾙﾐｻｯｼ 【撤去】 | 2565 | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP 【撤去】 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】 | 2,565 | 塩ﾋﾞ製 | ー | 上り框:人造石研出し W30【撤去】 | 玄関(1) |
| | | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ 【存置】 | -95 | | | | | ○型鋼下地(外壁面)硬質木片ｾﾒﾝﾄ板(ｾﾝﾁｭﾘｰﾎﾞｰﾄﾞ目止板) t 12 ｱｸﾘﾙﾘﾝｸﾞ吹付【撤去】 | LGS (撤去) | | 【撤去】 | | 下足入れ:(既製品)[備品]、傘立て:鋼製(既製品)[備品]【撤去】 | |
| | 玄関(1) | 改修後 | ｺﾞﾑﾁｯﾌﾟｼｰﾄ厚10貼 【新設】 | ±0 | (ｱﾙﾐｻｯｼ立上り)【新設】 | 100 | ｱﾙﾐｻｯｼ　70枠(ﾌﾛﾝﾄﾀｲﾌﾟ) 【新設】 | 2400 | ｱﾙﾐｻｯｼ　70枠(ﾌﾛﾝﾄﾀｲﾌﾟ) 【新設】 | GB-NC t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【新設】 | 2,500 | 塩ﾋﾞ製 | | 見切金物:SUS W=40t(床ﾓﾙﾀﾙ下地埋込固定)【新設】　建具:ｱﾙﾐ70枠ﾌﾛﾝﾄｻｯｼ【新設】 | 玄関(1) |
| | | | 見切金物:SUS W=40t(床ﾓﾙﾀﾙ下地埋込固定) 【新設】 | | | | | | | LGS(新規吊りﾎﾞﾙﾄ受け用ﾘｯﾌﾟ溝型鋼C-60×30×10×2.3@900程度) | | 【新設】 | | 下足入れ:[造付・本工事][新設]、 傘立て:鋼製(既製品)[備品]　すのこ:木製[備品] | |
| | | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地　厚55　溶接金網 φ4 150×150 【新設】 | | | | | | | 【新設】 | | | | 床:外部側・排水側溝W=150(細溝ﾀｲﾌﾟ)【新設】 ｱﾙﾐ天井点検口:450角内外枠共額縁　1箇所 新設 | |
| | | | ※今回工事にて一部増築あり | | | | | | | | | | | 天井廻縁ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ(耐震ﾀｲﾌﾟ)(耐震ﾜｲﾔｰ4本/m)L=3.0m2か所【新設】 | |
| | 玄関(2) | 改修前 | 焼器質ﾀｲﾙ 150角 【存置】 | -80 | 人造石研出し 【存置】 | 80 | ー | ー | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP 【存置】 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】 | 2,580 | 塩ﾋﾞ製 | ー | 上り框:人造石研出し W30【存置】 | 玄関(2) |
| | | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -110 | | | | | 木組(間仕切) (存置) | LGS (撤去) | | 【撤去】 | | 下足入れ:(既製品)[備品]、傘立て:鋼製(既製品)[備品]【存置】 | |
| | | | | | | | | | LGS(外壁面) (存置) | | | | | すのこ:木製[備品]【存置】 | |
| | 玄関(2) | 改修後 | | | | | | | 既存木組(間仕切)既存ｼﾅ合板の上にGB12.5不燃ｸﾛｽ貼 【新設】 | GB-NC t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【新設】 | 2,580 | 塩ﾋﾞ製 | | | 玄関(2) |
| | | | | | | | | | ※GB小ロ4面にはｸﾛｽ剥がれ防止塩ﾋﾞ製型材使用(ﾌｸﾋﾞ製同等品)(ｸﾛｽﾌﾘｰ工法) | LGS(新規吊りﾎﾞﾙﾄ受け用ﾘｯﾌﾟ溝型鋼C-60×30×10×2.3@900程度) | | 【新設】 | | 天井廻縁ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ(耐震ﾀｲﾌﾟ)(耐震ﾜｲﾔｰ4本/m)L=3.0m2か所【新設】 | |
| | | | | | | | | | ※不燃ｸﾛｽは木目調(中級品) | 【新設】 | | | | | |
| | 玄関(3) | 改修前 | 焼器質ﾀｲﾙ 150角 【存置】 | -80 | 人造石研出し 【撤去】 | 80 | ー | ー | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP 【存置】 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】 | 2,580 | 塩ﾋﾞ製 | ー | 上り框:人造石研出し W30【撤去】 | 玄関(3) |
| | | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -110 | | | | | 木組(間仕切) 【存置】 | LGS (撤去) | | 【撤去】 | | | |
| | | | | | | | | | LGS(外壁面) (存置) | | | | | | |
| | 玄関(3) | 改修後 | 見切金物:SUS W=40t(床ﾓﾙﾀﾙ下地埋込固定) 【新設】 | ±0 | | | | | 既存木組(間仕切)既存ｼﾅ合板の上にGB12.5不燃ｸﾛｽ貼 【新設】 | GB-NC t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【新設】 | 2,580 | 塩ﾋﾞ製 | | | 玄関(3) |
| | | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ下地　厚55　溶接金網 φ4 150×150 【新設】 | | | | | | ※GB小ロ4面にはｸﾛｽ剥がれ防止塩ﾋﾞ製型材使用(ﾌｸﾋﾞ製同等品)(ｸﾛｽﾌﾘｰ工法) | LGS(新規吊りﾎﾞﾙﾄ受け用ﾘｯﾌﾟ溝型鋼C-60×30×10×2.3@900程度) | | 【撤去】 | | | |
| | | | | | | | | | ※不燃ｸﾛｽは木目調(中級品) | 【新設】 | | | | | |
| | ホール(1) | 改修前 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙt2.0mm 【撤去】 | ±0 | 木製 OP 【撤去】 | 50 | ー | ー | 木組(間仕切)　ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP Ⓓ通り壁 【撤去】 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】 | 2,500 | 塩ﾋﾞ製 | ー | 造付ﾄﾛﾌｨｰﾁｪｰｽ(木製ｶﾞﾗｽ引戸付) 【撤去】 | ホール(1) |
| | | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -30 | 残置対象巾木は既存のまま | | | | 木下地ｼﾅ合板t6練付目透しOP LGS(外壁面)Ⓓ通り壁 (存置) | LGS (撤去) | | 【撤去】 | | ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ 【取外】 | |
| | | | | | | | | | 木下地ｼﾅ合板t6練付目透しOP LGS(外壁面)Ⓒ通り壁 (存置) | | | | | | |
| | ホール(1) | 改修後 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0mmJIS A 5705 【新設】 | | 木製t15 EP-G 【新設】 | 100 | | | GB12.5不燃ｸﾛｽ貼 【新設】 | GB-NC t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | 2,500 | 塩ﾋﾞ製 | | 天井廻縁ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ(耐震ﾜｲﾔｰ4本/m)【新設】 | ホール(1) |
| | | | | | 既存巾木の上、木製t15 EP-G 【新設】 | 50 | | | LGS65型@300 【新設】 | LGS(新規吊りﾎﾞﾙﾄ受け用ﾘｯﾌﾟ溝型鋼C-60×30×10×2.3@900程度) | | 【新設】 | | 造付ﾄﾛﾌｨｰﾁｪｰｽ(木製ｶﾞﾗｽ引戸付)【新設】 | |
| | | | | | | | | | ※GB小ロ4面にはｸﾛｽ剥がれ防止塩ﾋﾞ製型材使用(ﾌｸﾋﾞ製同等品)(ｸﾛｽﾌﾘｰ工法) | 【新設】 | | | | ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ 【再取付】 | |
| | | | | | | | | | ※不燃ｸﾛｽは木目調(中級品) | | | | | アルミ天井点検口:450角内外枠共額縁　1箇所 新設 | |
| | ホール(2) | 改修前 | 【撤去】 | ±0 | 木製 OP 【撤去】 | 50 | ー | ー | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP (6通り) 【存置】 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】 | 2,500 | 塩ﾋﾞ製 | ー | | ホール(2) |
| | | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -30 | 残置対象巾木は既存のまま | 50 | | | 木組(間仕切) (存置) | LGS (撤去) | | 【撤去】 | | | |
| | | | | | | | | | LGS(外壁面) (存置) | | | | | | |
| | ホール(2) | 改修後 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0mmJIS A 5705 【新設】 | | 木製t15 EP-G 【新設】 | 100 | | | GB12.5不燃ｸﾛｽ貼(GBは既存品合板に直貼とする) 【新設】 | GB-NC t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | 2,500 | 塩ﾋﾞ製 | | 天井廻縁ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ(耐震ﾀｲﾌﾟ)(耐震ﾜｲﾔｰ4本/m)【新設】 | ホール(2) |
| | | | | | 既存巾木の上、木製t15 EP-G | 100 | | | ※GB小ロ4面にはｸﾛｽ剥がれ防止塩ﾋﾞ製型材使用(ﾌｸﾋﾞ製同等品)(ｸﾛｽﾌﾘｰ工法) | LGS(新規吊りﾎﾞﾙﾄ受け用ﾘｯﾌﾟ溝型鋼C-60×30×10×2.3@900程度) | | 【新設】 | | | |
| | | | | | 【新設】 | | | | ※不燃ｸﾛｽは木目調(中級品) | 【新設】 | | | | | |
| | | | | | | | | | ※注意:展開図参照のこと(一部壁増し貼部分有り) | | | | | | |
| | 廊下 | 改修前 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ 【撤去】 | ±0 | 木製 OP 【撤去】 | 50 | ー | ー | Ⓒ～Ⓑ通り・①～⑨通り間の間仕切壁全面撤去解体処分 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】 | 2,500 | 塩ﾋﾞ製 | ー | 室名札 | 廊下 |
| | | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -30 | 残置対象巾木は既存のまま | 50 | | | (　ⓓⓓ　通り)構造的に存置が必要な柱及び部材は撤去しない(監理者確認) | LGS (撤去) | | 【撤去】 | | | |
| | | | | | | | | | (上記、但しⒸ通り上及び7-8間のみ存置) | | | | | | |
| | 廊下 | 改修後 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0mmJIS A 5705 【新設】 | | 木製t15 EP-G 【新設】 | 100 | | | (C通り:6-7間壁撤去、7-8間の建具取外再取付、) | GB-NC t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | 2,500 | 塩ﾋﾞ製 | | 天井廻縁ﾋﾟｸﾁｬｰﾚｰﾙ(耐震ﾀｲﾌﾟ)(耐震ﾜｲﾔｰ4本/m)【新設】Ⓒ 通り　①～⑤間 | 廊下 |
| | | | Ⓒ通り耐震補強部位は耐震補強図による | | 既存巾木の上、木製t15 EP-G | 100 | | | 撤去した間仕切壁下地はLGSを使用 ﾒﾝﾊﾞｰはA-23.25図参照 | | | 【新設】 | | | |
| | | | 範囲:③通り④通り間及び⑦通り⑧通り間 | | 【新設】 | | | | ※各室仕上げは仕上表及び展開図参照 | | | | | | |
| | | | | | | | | | GB12.5不燃ｸﾛｽ貼(GBは既存ｼﾅ合板に直貼とする) 【新設】 | | | | | | |
| | | | | | | | | | ※GB小ロ4面にはｸﾛｽ剥がれ防止塩ﾋﾞ製型材使用(ﾌｸﾋﾞ製同等品)(ｸﾛｽﾌﾘｰ工法) | LGS(新規吊りﾎﾞﾙﾄ受け用ﾘｯﾌﾟ溝型鋼C-60×30×10×2.3@900程度) | | | | | |
| | | | | | | | | | ※不燃ｸﾛｽは木目調(中級品)　室名札部分のｸﾛｽの模様替え有り | | | | | | |
| | | | | | | | | | ※耐震補強に係る工事数量は大規模改修工事とは別計上ﾄｽﾙ | | | | | | |
| | 武道場 | 改修前 | ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t 15 ｳﾚﾝ(1液)3回塗　ｻﾝﾀﾞｰ掛け既存塗膜全面撤去 | ±0 | 木製 OP 【存置】 | 50 | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透 OP (存置) | | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP 【撤去】 | 白ｾﾒﾝﾄ吹付 (存置) / 鉄骨小屋組 MOP (存置) | 直天 | ー | 木製 | 姿見 W1300xH1760 t 36 枠扉共SOP塗装 | 武道場 |
| | | | ｺﾝﾊﾟﾈ t 12 (存置) | -600 | | | ﾗﾜﾝ合板 t 9 + 木組(間仕切) (存置) | | 木組(間仕切) (存置) | 木毛ｾﾒﾝﾄ板 t 25 SUS製ｼﾞｮｲﾅｰ付 (存置) | | | | 床ー巾木間:EXPｺﾞﾑ 15x20 既存撤去後更新　畳:1820×910厚55 縁48枚 黄色50枚【移設存置】 | |
| | | | 根太 + 大引 + 鋼製束(ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ付) (存置) | | | | ﾗﾜﾝ合板 t 9 + LGS(外壁面) (存置) | | LGS(外壁面) (存置) | | | | | 暖房器具受材:[-150x75x6.5x10 RB種ｹﾚﾝ下地処理DP塗装 | |
| | | | 置畳 t 55(工事中は場内に移設仮置) (存置) | | | | | | FL+3668 W915h432とh632の2か所　A-31図参照 【撤去】 | | | | | 覗き窓:木製引違ｶﾞﾗｽ窓　W870×h600枠厚20　障子・枠共 RB種ｹﾚﾝ下地処理SOP塗装 | |
| | 武道場 | 改修後 | ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t 15 ｳﾚﾝ(1液)3回塗 特殊張 畳は所定位置へ戻す | | 既存木製 SOP塗装改修 | 50 | | | ｼﾅ合板 t 6練付目透貼　下地調整 SOP | 既存の上ｳﾚﾝ系現場発泡不燃断熱材t30(木毛ｾﾒﾝﾄ版全面)【新設】 | | | | 暖房器具:取外再取付(機械設備工事) Ⓒ通り⑤～⑧間　Ⓐ通り④～⑦間 | 武道場 |
| | | | 木製畳押えはﾋﾞｽ固定を行う:下地処理後OSCL塗装 A-25図参照 | | 下地処理:RB種ｹﾚﾝ | | | | Ⓒ通り　③通りと⑦通りと | | | | | 神棚:w2400×h750×D400 枠底板共SOP塗装 天井EP塗装　空調室内機取付架台新設 | |
| | | | ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞは木部ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾜﾆｽ(1液形)3回塗後ﾗｲﾝ引き 【新設】 | | | | ｼﾅ合板 t 6練付目透貼　下地調整 SOP | | 耐震補強工事完了後復旧FL+3668 W915h432とh632の2か所 | | | | | 見え掛かり構造部材全てRB種ｹﾚﾝ下地処理DP塗装(柱・大梁・小梁・母屋・受材) | |
| | | | | | | | | | 木組(間仕切)ｼﾅ合板 t 6練付目透貼　SOP A-31図参照 | | | | | 室名札【新設】　主出入口:木製引分け戸は既存を改修して使用　A-54図参照 | |
| | 事務室(室名変更) | 改修前 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ 【撤去】 | ±0 | 木製 OP 【存置】 | 50 | ー | ー | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★t 5 練付 目透し VP 【撤去】 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【存置】 | 2,500 | 塩ﾋﾞ製【撤去】 | 木製【存置】 | 受付ｶｳﾝﾀｰ、流し台、ｺﾝﾛ台 【撤去】　行事予定表 【取外再取付】 | 事務室(室名変更) |
| | | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -30 | | | | | 木組(間仕切) (存置) | LGS (存置) | | | 下地調整RA種 | FF用ｽﾘｰﾌﾞ 【存置】 遠赤外線暖房機盤は取外し再取り付け 【機械設備工事】 | |
| | | | | | | | | | LGS(外壁面) (存置) | | | | | 室名札【撤去】 | |
| | (新)ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ | 改修後 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0mmJIS A 5705 【新設】 | | 木製t9 EP-G塗装 | 100 | | | 無石綿ｹｲｶﾙ板 t6目透し貼りEP-G(下地は既存利用)【新設】 | GB-NC t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【新設】 | 2,500 | 塩ﾋﾞ製【新設】 | 木製【存置】 | 造作ﾐﾆｷｯﾁﾝW1200(流し、水切棚、LED照明、ｺﾝｾﾝﾄ付) 【新設】 | (新)ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ |
| | | | | | ※既存の上から接着+隠し釘固定 | | | | | LGS下地新設 | | | EP-G塗装 | 室名札【新設】 | |
| | | | | | | | | | | | | | | ※神棚壁は、既存塗装をRB種ｹﾚﾝの上EP-G塗装 | |
| | 器具室(室名消失) | 改修前 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ 【撤去】 | ±0 | 木製 OP 【存置】 | 50 | ー | ー | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP 【存置】 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】 | 2,400 | 塩ﾋﾞ製【撤去】 | ー | 防具棚等全て:木製 OP【撤去】 | 器具室(室名消失) |
| | | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -30 | | | | | 木組(間仕切) (存置) | LGS (撤去) | | | | | |
| | | | | | | | | | LGS(外壁面) (存置) | | | | | | |
| | ※器具室は解体され室が無くなります | | | | | | | | | | | | | ※器具室は解体され室が無くなります | |

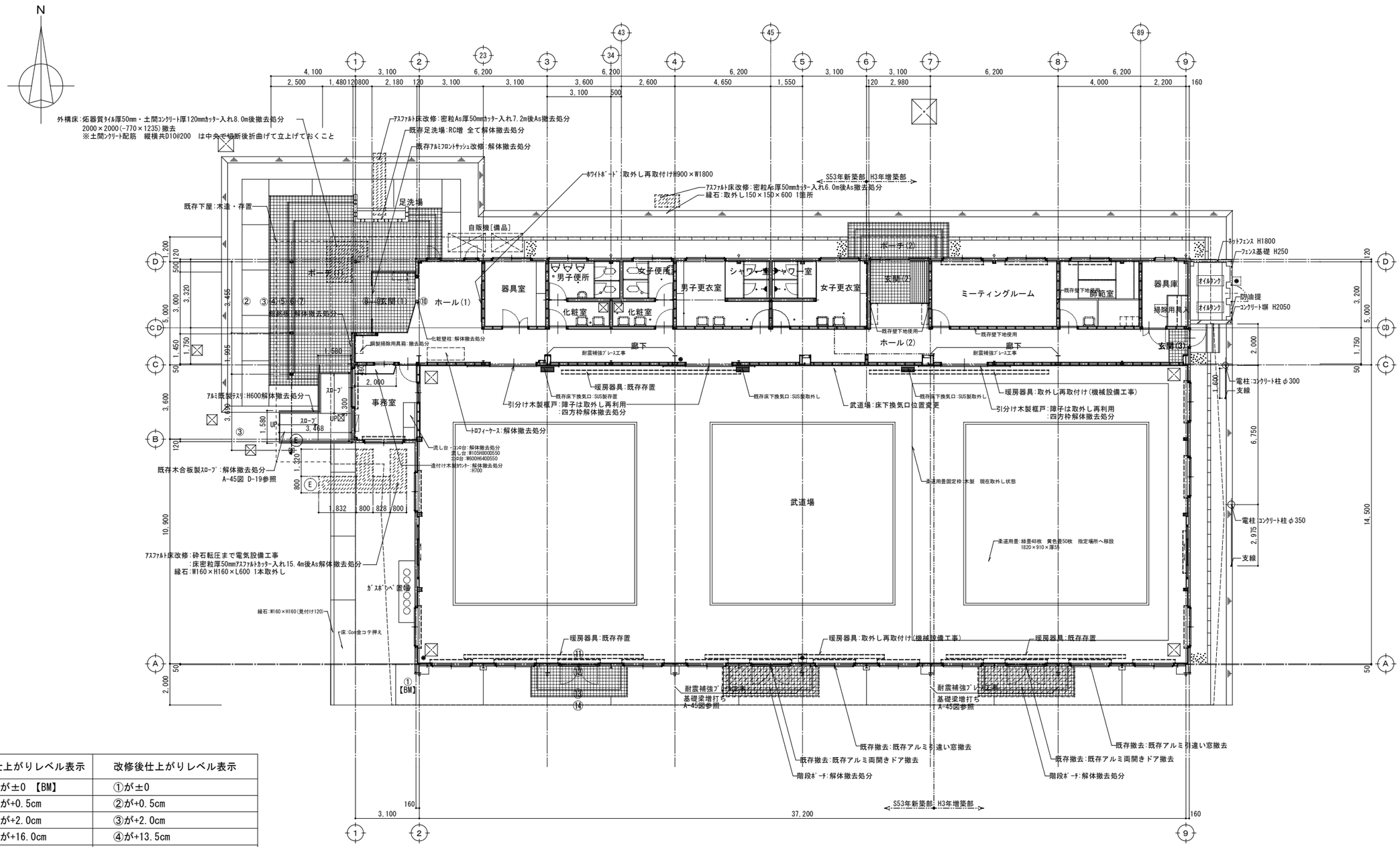
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 仕上表(1) | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=N.S(A3版 50%縮小) | 図面番号 12 |

■内部仕上表(2)　★ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

| 階 | 室名 | 改修前後 | 床 仕上 下地 | 床 仕上ﾚﾍﾞﾙ ｽﾗﾌﾞﾚﾍﾞﾙ | 巾木 仕上 | 巾木 H | 腰壁 仕上 下地 | 腰壁 H | 壁 仕上 | 天井 仕上 下地 | 天井 CH | 天井 廻り縁 | 天井 ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ | 備考 | 室名 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | ミーティングルーム(室名変更) | 改修前 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ 【撤去】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | ±0<br>-30 | 木製 OP 【存置】 | 50 | ― | ― | ｼﾅ合板ｔ6 練付 目透し OP 【存置】<br>木組(間仕切) (存置)<br>LGS(外壁面) (存置) | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】<br>LGS (存置) | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | 木製 | | ミーティングルーム |
| | 倉庫(1) | 改修後 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0mmJIS A 5705 【新設】<br>※既存の上から接着+隠し釘固定 | ±0 | 木製t15 EP-G塗装 【新設】 | 50 | | | GB-Rt12.5 EP塗装 【新設】<br>※既存仕上げ材の上に直貼 | GB-NC t9.5(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄) 【新設】<br>LGS下地新設 | 2,400 | 塩ﾋﾞ製【新設】 | 木製【存置】<br>EP-G塗装<br>塗装下地処理 | 室名札【新設】<br>木製造付け棚 新設<br>アルミ天井点検口:450角内外枠共額縁 1箇所 新設 | 倉庫(1) |
| | | | | | | | 下 地 | | | | | | | | |
| | 師範室(室名変更) | 改修前 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞﾀｲﾙ【撤去】 ﾀﾀﾐｔ55 【撤去】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) ﾈﾀﾞﾌｫｰﾑｔ95(撤去) | ±0 +150<br>-30 | 木製 OP 【撤去】 | 50 | ― | ― | ｼﾅ合板ｔ6 練付 目透し OP 【存置】<br>木組(間仕切) (存置)<br>LGS(外壁面) (存置) | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】<br>LGS (撤去) | 2,400 2,250 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | 木製 | | 師範室(室名変更) |
| | 倉庫(2) | 改修後 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0mmJIS A 5705 【新設】<br>※既存仕上げ材の上に直貼 | ±0 | 木製t15 EP-G塗装 【新設】 | 50 | | | GB-Rt12.5 EP塗装 【新設】<br>※既存仕上げ材の上に直貼 | GB-NC t9.5(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄) 【新設】<br>LGS下地新設 | 2,400 | 塩ﾋﾞ製【新設】 | 木製【存置】<br>EP-G塗装<br>塗装下地処理 | 室名札【新設】<br>木製造付け棚 新設 | 倉庫(2) |
| | 器具庫(室名変更) | 改修前 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ 【撤去】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | ±0<br>-30 | 木製 OP 【撤去】 | 50 | ― | ― | ｼﾅ合板ｔ6 練付 目透し OP 【存置】<br>木組(間仕切) (存置)<br>LGS(外壁面) (存置) | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】<br>LGS (存置) | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | ― | 棚:木製 OP | 器具庫(室名変更) |
| | 倉庫(2) | 改修後 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0mmJIS A 5705 【新設】<br>※既存仕上げ材の上に直貼 | ±0 | 木製t15 EP-G塗装 【新設】 | 50 | | | GB-Rt12.5 EP塗装 【新設】<br>※既存仕上げ材の上に直貼 | GB-NC t9.5(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄) 【新設】<br>LGS下地新設 | 2,400 | 塩ﾋﾞ製【新設】 | 木製【存置】<br>EP-G塗装<br>塗装下地処理 | | 倉庫(2) |
| | 掃除用具入(室名変更) | 改修前 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ 【撤去】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | ±0<br>-30 | 木製 OP 【存置 】 | 50 | ― | ― | ｼﾅ合板ｔ6 練付 目透し OP 【存置】<br>木組(間仕切) (存置)<br>LGS(外壁面) (存置) | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】<br>LGS (撤去) | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | ― | 棚:木製 OP 【撤去】<br>ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ:SUS製 Sｶﾝ 10個 【撤去】 | 掃除用具入(室名変更) |
| | SK | 改修後 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0mmJIS A 5705 【新設】<br>既存下地調整 | ±0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 | 60 | | | 化粧ｹｲｶﾙ板t6貼(専用ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾝﾄ使用) 【新設】<br>GB-Rt12.5 【新設】<br>LGS 【新設】 | GB-NC t9.5(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄) 【新設】<br>LGS 【新設】 | 2,400 | 塩ﾋﾞ製 | | ライニング:LGS下地の上壁仕上げ同材新設 天板:ﾒﾗﾐﾝﾎﾟｽﾄﾌｫｰﾑt20 新設<br>木製棚:両面ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ合板ﾊﾟﾈﾙt20 W=400 2枚 W=200 2枚<br>棚受け:(ｽｷﾞﾀｴｰｽ同等品以上)<br>帽子掛け 1台 (ｽｷﾞﾀｴｰｽ同等品) | SK |
| | 化粧室(男子女子便所)(室名消失) | 改修前 | 磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ 【存置】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -100<br>-130 | ― | ― | ― | ― | 陶器質ﾀｲﾙ(一部ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ)100角 (撤去)<br>木組(間仕切) (存置) | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】<br>LGS (撤去) | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | ― | 床下点検口 600角:蓋の仕上げを新設する | 化粧室(男子女子便所)(室名消失) |
| | ※器具室は解体され室が無くなります | 改修後 | | | | | | | | | | | | ※化粧室は解体され室が無くなります | |
| | 男子便所 | 改修前 | 磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ 【存置】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -100<br>-130 | ― | ― | ― | ― | 陶器質ﾀｲﾙ(一部ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ)100角 (撤去)<br>木組(間仕切) (撤去)<br>LGS(外壁面) (存置) | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】<br>LGS (撤去) | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | ― | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 【撤去】<br>ﾗｲﾆﾝｸﾞ 【撤去】<br>床下点検口 600角 (存置) | 男子便所 |
| | 男子便所 | 改修後 | JIS A 5705 防滑防汚ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 【新設】<br>木軸上げ床組:耐水ﾗﾜﾝ合板t12+構造用合板t15<br>:転ばし根太 桐40×30@300高さ調整ﾓﾙﾀﾙ | ±0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 | 60 | | | 化粧ｹｲｶﾙ板t6貼(専用ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾝﾄ使用) 【新設】<br>GB-Rt12.5 【新設】<br>LGS 【新設】 | GB-NC t9.5(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄) 【新設】<br>LGS 【新設】 | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | | 室名札【新設】 アルミ天井点検口:450角内外枠共額縁 1箇所 新設<br>小便器下の床には御重石ﾀｲﾙt6.0敷<br>床下点検口 600角(防水・防臭タイプ):蓋の仕上げ共を新設する<br>大便器用手摺 1箇所【新設】 | 男子便所 |
| | (新室名) | | 磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ 【存置】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | | ― | ― | ― | ― | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★ｔ5 練付 目透し VP (撤去)<br>木組(間仕切) (存置)<br>LGS(外壁面) | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】<br>LGS (撤去) | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | ― | | (新室名) |
| | 多目的ﾄｲﾚ | 改修後 | JIS A 5705 防滑防汚ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 【新設】<br>下地調整 | ±0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 | 60 | | | 化粧ｹｲｶﾙ板t6貼(専用ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾝﾄ使用) 【新設】<br>GB-Rt12.5 【新設】<br>LGS | GB-NC t9.5(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄) 【新設】<br>LGS 【新設】 | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【新設】 | | ロールブラインド新設(ﾋﾞﾆｰﾙ系)<br>軽量鋼製建具新設 | 多目的ﾄｲﾚ |
| | 女子便所 | 改修前 | 磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ 【存置】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -100<br>-130 | ― | ― | ― | ― | 陶器質ﾀｲﾙ(一部ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ)100角 (撤去)<br>木組(間仕切) (撤去)<br>LGS(外壁面) (存置) | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) 【撤去】<br>LGS (撤去) | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | ― | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 【撤去】<br>床下点検口 600角 (存置) | 女子便所 |
| | 女子便所 | 改修後 | JIS A 5705 防滑防汚ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 【新設】<br>木軸上げ床組:耐水ﾗﾜﾝ合板t12+構造用合板t15<br>:転ばし根太 桐40×30@300高さ調整ﾓﾙﾀﾙ | ±0 | ﾋﾞﾆﾙ幅木 | 60 | | | 化粧ｹｲｶﾙ板t6貼(専用ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾝﾄ使用) 【新設】<br>GB-Rt12.5 【新設】<br>LGS 【新設】 | GB-NC t9.5(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄) 【新設】<br>LGS 【新設】 | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【新設】 | | 室名札【新設】 ロールブラインド新設(ﾋﾞﾆｰﾙ系)<br>アルミ天井点検口:450角内外枠共額縁 1箇所 新設<br>床下点検口 600角(防水・防臭タイプ):蓋の仕上げ共を新設する<br>大便器用手摺 2箇所【新設】 椅子型ﾊﾞｲﾌﾞｼｬﾌﾄ:天板:杉集成材t20UC | 女子便所 |
| | 男子更衣室 | 改修前 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄｔ2.3 【撤去】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | ±0<br>-30 | 木製 OSV 【撤去】 | 50 | ― | ― | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★ｔ5 練付 目透し VP 【撤去】<br>木組(間仕切) (存置)<br>LGS(外壁面) (存置) | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★ｔ4 目透し VP 【撤去】<br>LGS (存置) | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | ― | 脱衣棚:木製 OSV<br>竪枠・壁見切:木製 OSCL | 男子更衣室 |
| | | 改修後 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0mmJIS A 5705 【新設】 | ±0 | 木製t15 EP-G塗装 【新設】 | 50 | | | GB-Rt12.5 EP-G塗装 【新設】 | GB-NC t9.5(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄) 【新設】<br>LGS下地新設 | 2,400 | 塩ﾋﾞ製【新設】 | 木製【存置】<br>EP-G塗装<br>塗装下地処理 | 室名札【新設】<br>木製造付け棚 新設<br>アルミ天井点検口:450角内外枠共額縁 1箇所 新設 | 男子更衣室 |
| | 女子更衣室 | 改修前 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄｔ2.3 【撤去】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | ±0<br>-30 | 木製 OSV 【撤去】 | 50 | ― | ― | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★ｔ5 練付 目透し VP 【撤去】<br>木組(間仕切) (存置)<br>LGS(外壁面) (存置) | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★ｔ4 目透し VP 【撤去】<br>LGS (存置) | 2,400 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | ― | 脱衣棚:木製 OSV<br>竪枠・壁見切:木製 OSCL | 女子更衣室 |
| | | 改修後 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0mmJIS A 5705 【新設】 | ±0 | 木製t15 EP-G塗装 【新設】 | 50 | | | GB-Rt12.5 EP-G塗装 【新設】 | GB-NC t9.5(ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ柄) 【新設】<br>LGS下地新設 | 2,400 | 塩ﾋﾞ製【新設】 | 木製【存置】<br>EP-G塗装<br>塗装下地処理 | 室名札【新設】<br>木製造付け棚 新設<br>アルミ天井点検口:450角内外枠共額縁 1箇所 新設 | |
| | シャワー室(室名消失) | 改修前 | 磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ 【撤去】<br>ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (存置) | -100<br>-130 | ― | ― | ― | ― | 陶器質ﾀｲﾙ(一部ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ)100角 【撤去】<br>木組(間仕切) (撤去)<br>LGS(外壁面) (存置) | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★ｔ4 目透し VP 【撤去】<br>LGS (撤去) | 2,500 | 塩ﾋﾞ製<br>【撤去】 | ― | 上り框:人造石研出し W30 【撤去】<br>ｽｸﾘｰﾝ:ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ 【撤去】<br>ﾗｲﾆﾝｸﾞ 【撤去】 | シャワー室(室名消失) |
| | ※シャワー室は解体され室が無くなります | 改修後 | | | | | | | | | | | | ※シャワー室は解体され室が無くなります | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 仕上表(2) | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=N.S(A3版 50%縮小) | 図面番号 13 |

改修前




| 現況仕上がりレベル表示 | 改修後仕上がりレベル表示 |
|---|---|
| ①が±0 【BM】 | ①が±0 |
| ②が+0.5cm | ②が+0.5cm |
| ③が+2.0cm | ③が+2.0cm |
| ④が+16.0cm | ④が+13.5cm |
| ⑤が+16.5cm | ⑤が+26.0cm |
| ⑥が+29.0cm | ⑥が+38.5cm |
| ⑦が+43.5cm | ⑦が+51.0cm |
| **⑧が+44.5cm** | ⑧が+51.0cm |
| ⑨が+45.5cm | ⑨が+52.0cm |
| ⑩が+52.0cm | ⑩が+52.0cm |
| ⑪が+53.5cm | ⑪が+53.5cm |
| ⑫が+38.0cm | ⑫が+38.0cm |
| ⑬が+19.0cm | ⑬が+19.0cm |
| ⑭が+0.5cm | ⑭が+0.5cm |
| | |

平面図　S=1:100

※電柱ｺﾝｸﾘｰﾄ柱 φ300:電線防護管設置工事(本工事に含む)
その他　:工事請負契約締結後、直ちに東北電力と協議を実施し、工事工程への影響を、発注者・監理者へと報告すること。

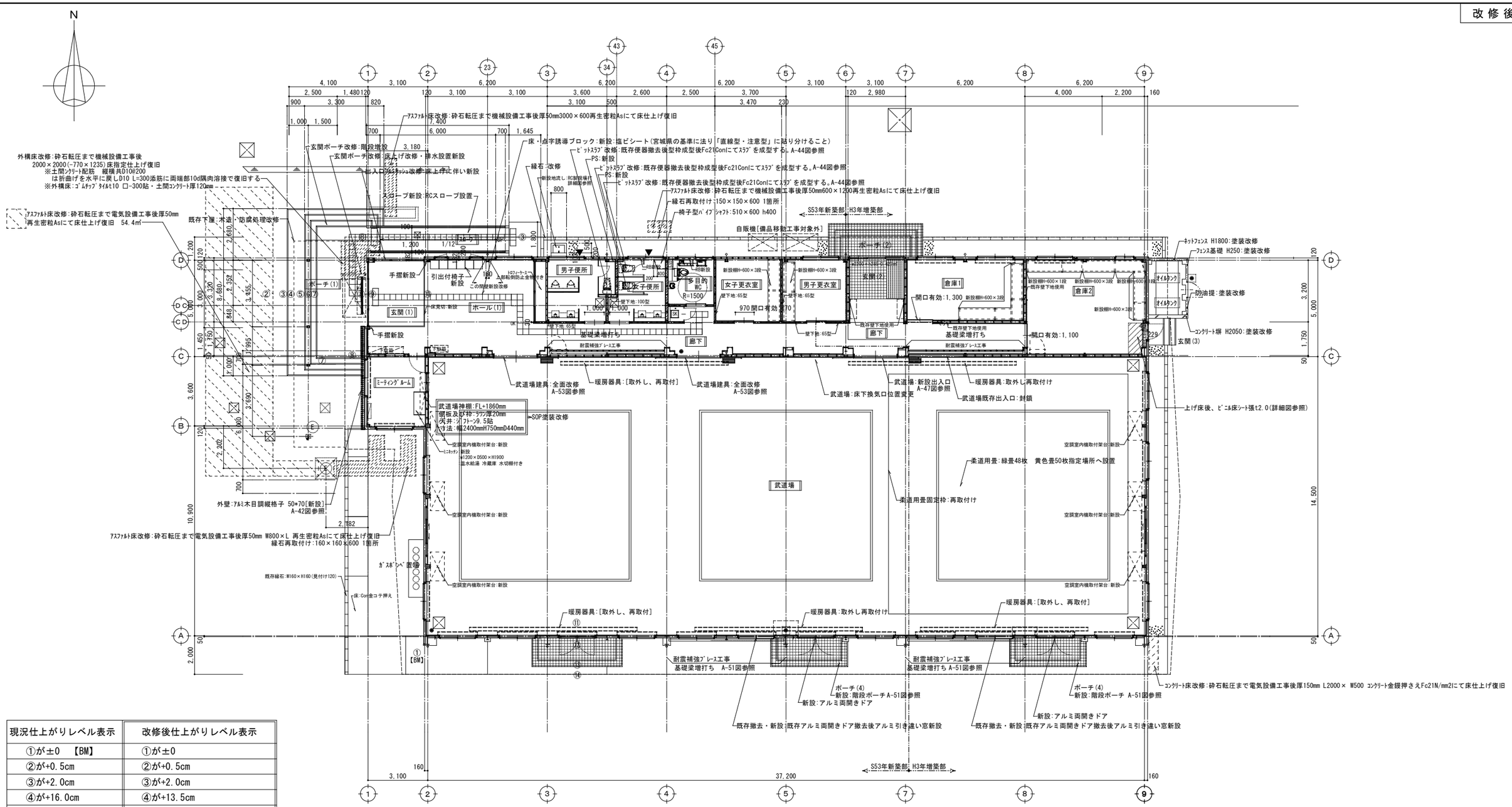
| | |
|---|---|
| ● | 消火器(粉末ABC 10型) 4ヶ所【既存】 |

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

図面名　平面図〔撤去図〕　【改修前】
縮尺　S=1:100(A3版 50%縮小)

図面種別　A
図面番号　14

改修後




| 現況仕上がりレベル表示 | 改修後仕上がりレベル表示 |
|---|---|
| ①が±0　【BM】 | ①が±0 |
| ②が+0.5cm | ②が+0.5cm |
| ③が+2.0cm | ③が+2.0cm |
| ④が+16.0cm | ④が+13.5cm |
| ⑤が+16.5cm | ⑤が+26.0cm |
| ⑥が+29.0cm | ⑥が+38.5cm |
| ⑦が+43.5cm | ⑦が+51.0cm |
| **⑧が+44.5cm** | ⑧が+51.0cm |
| ⑨が+45.5cm | ⑨が+52.0cm |
| ⑩が+52.0cm | ⑩が+52.0cm |
| ⑪が+53.5cm | ⑪が+53.5cm |
| ⑫が+38.0cm | ⑫が+38.0cm |
| ⑬が+19.0cm | ⑬が+19.0cm |
| ⑭が+0.5cm | ⑭が+0.5cm |
| | |

**主要改修項目**

**武道場**

1. 照明器具・既存撤去・新設:場内全ての照明器具をLEDに更新
2. 鉄骨製小屋組部材及び柱の見え掛かり部分全て改修:既存RB種研磨の上錆止め塗装+DP塗装
3. 屋根下地断熱改修:発泡ウレタンt=30吹付
4. 遠赤外線暖房器具:取り外し再取り付け
5. 壁合板改修:既存壁合板の塗装面及び幅木塗装面はRA種研磨後SOP塗装
6. 窓額縁改修:塗装改修
7. 廊下からの出入り口段差改修:既存引き分け木製ドア取り外し後引き分けﾊﾝｶﾞｰ式木製ドアに改修　計3か所　塗装はRA種研磨の上SOP塗装
   ※ガラスは既存再利用
8. 耐震補強ブレース設置後廊下からの出入り口位置変更
9. 床フローリング改修:既存フローリング全面研磨の上ウレタン塗装・ライン引き
10. 耐震補強ブレース設置後南側外部からの出入り口位置変更:既存引き違い窓及び外壁撤去後アルミ両開きドア新設　2か所

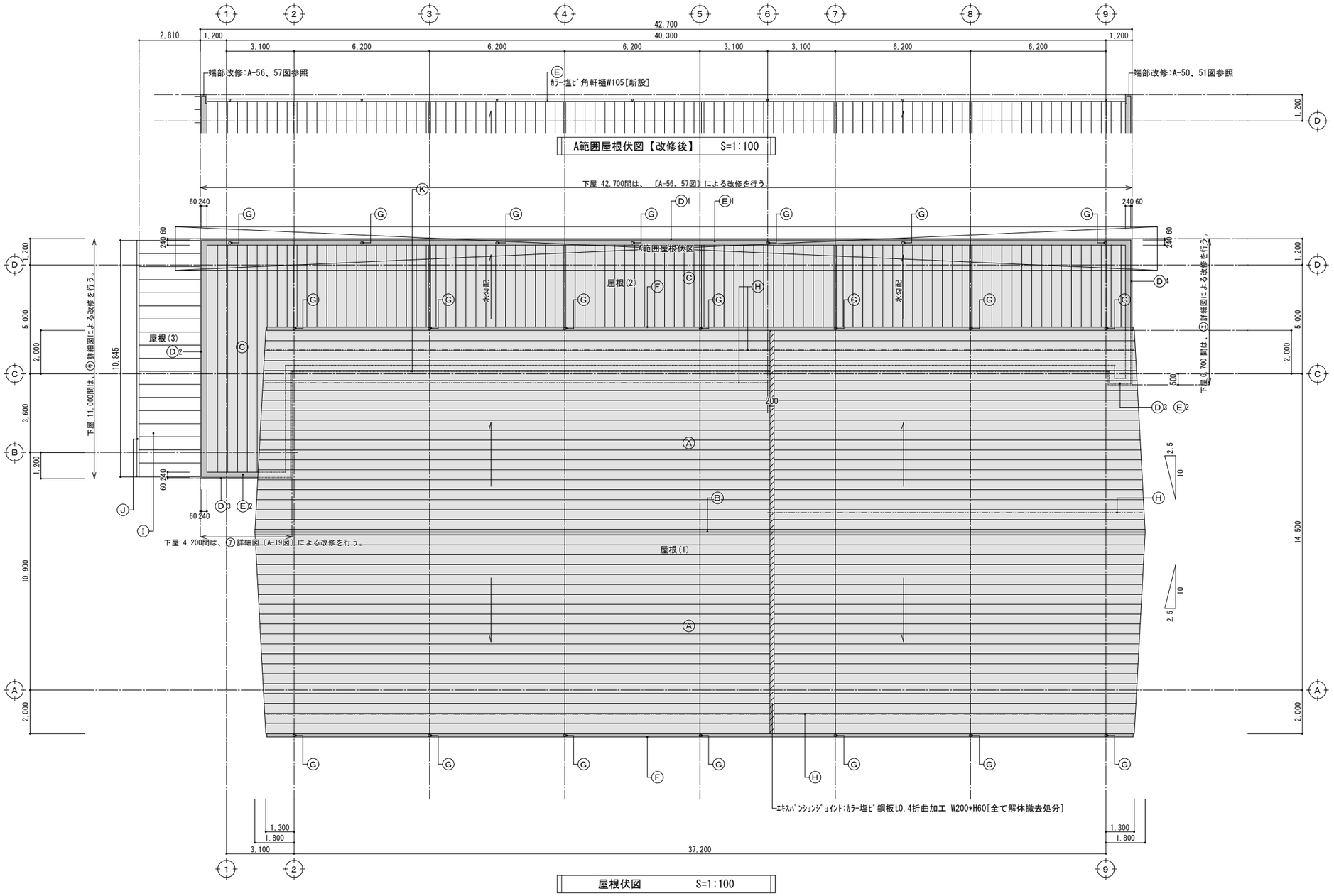
平面図　S=1:100

**記号・凡例**

| 記号 | 内　容 |
|---|---|
| ▨ | 指定のLGS下地及びｸﾞﾗｽｳｰﾙﾛｰﾙ25K品充填 |
| ● | 消火器(粉末ABC 10型) 4ヶ所【既存】 |
| ▼ | 水抜き栓マーク |
| RB | ロールブラインド新設 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 平面図〔改修図〕【改修後】 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) |

| 図面種別 | A |
|---|---|
| 図面番号 | 15 |



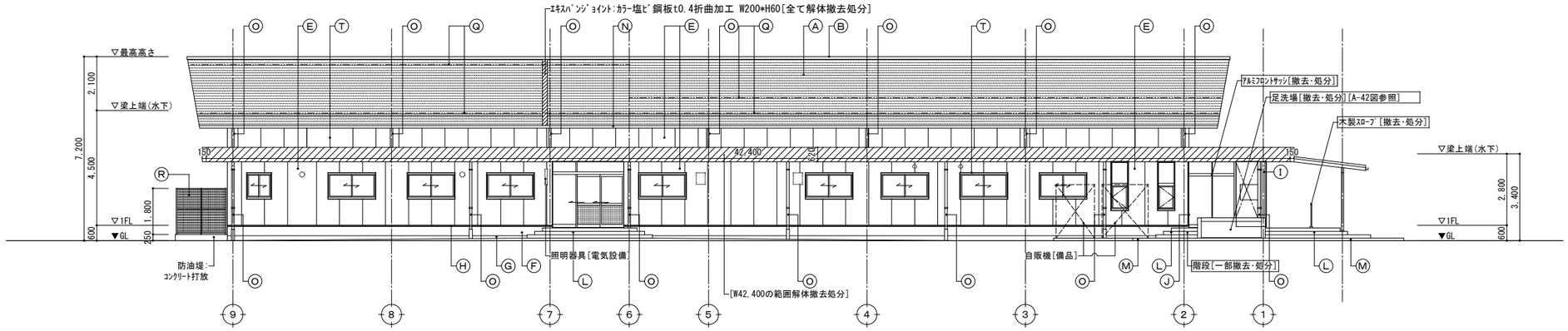

N

| 記号 | 部 位 | 【 改 修 前 】 | |
|---|---|---|---|
| Ⓐ | 屋根(1) | 亜鉛ﾒｯｷ長尺ｶﾗｰ鋼板 28＃ 一文字葺、ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｪﾙﾄ17kg<br>ﾗﾜﾝ合板t12、木毛ｾﾒﾝﾄ板張t20 SUSｼﾞｮｲﾅｰ付 | (全て撤去処分)<br>(存置) |
| Ⓑ | 棟 | 亜鉛ﾒｯｷ長尺ｶﾗｰ鋼板 28＃ | (全て撤去処分) |
| Ⓒ | 屋根(2) | 折版 V600ｔ0.8 片面ｶﾗｰﾎﾞﾘｴﾚﾝﾌｫｰﾑｔ4 裏貼 | (存置) |
| Ⓓ | 笠木 | 鋼板ｔ2.3 加工 MOP[全て撤去処分]但し図示⑦詳細図部位は既存存置とする | (全て撤去処分) |
| Ⓔ | 内樋 | SUSt1.0 折曲げ加工(下地ｱﾝｸﾞﾙ共) | (全て撤去処分) |
| Ⓕ | 軒樋・竪樋 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋 W105、竪樋 塩ﾋﾞ管φ85 | (全て撤去処分) |
| Ⓖ | 排水口 | 防塵網:SUS製 | (全て撤去処分) |
| Ⓗ | 雪止め | 亜鉛ﾒｯｷ L-50x50x4 | (全て撤去処分) |
| Ⓘ | 屋根(3) | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ鋼板t0.4 瓦棒葺き | (存置) |
| Ⓙ | 軒樋 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋 W105 | (存置) |

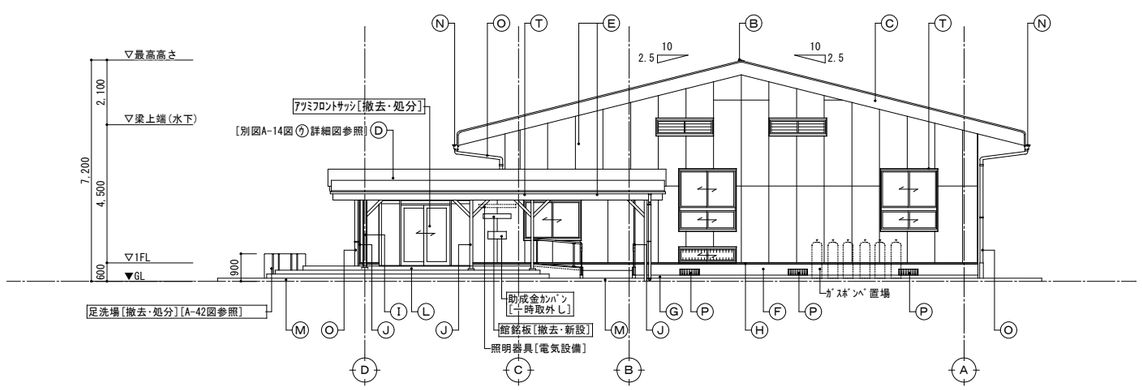
| 記号 | 部 位 | 【 改 修 後 】 | |
|---|---|---|---|
| Ⓐ | 屋根(1) | ｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板厚0.4 一文字横葺き専用雪止め付、ｱｽﾌｧﾙﾄﾌｪﾙﾄ17kg<br>ﾗﾜﾝ合板t12、木毛ｾﾒﾝﾄ板張t20 SUSｼﾞｮｲﾅｰ付 | (新設)<br>(既存) |
| Ⓑ | 棟 | 屋根同材 | (新設) |
| Ⓒ | 屋根(2) | 工程RB種ｹﾚﾝ、錆止め塗装の上DP塗装（ｶﾞﾙﾄ類は下地処理後、DP塗装の上変性ｼﾘｺｰﾝ20*20） | (塗装改修) |
| Ⓓ | 笠木 | 鋼板t2.3加工、錆止め塗装の上DP塗装<br>（⑦Ⓓ3、Ⓔ1 A-56、57図参照） | (新設) |
| Ⓔ | 内樋 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋W105 | (新設)<br>(新設) |
| Ⓕ | 軒樋・竪樋 | 既存同型同材の新品設置 | (新設) |
| Ⓖ | 排水口 | 既存同型同材の新品設置 | (新設) |
| Ⓗ | 雪止め | 屋根専用雪止め材 | (新設) |
| Ⓘ | 屋根(3) | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ鋼板t0.4 瓦棒葺き | (存置) |
| Ⓙ | 軒樋 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋 W105 | (存置) |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 屋根伏図 【改修前・後】<br>縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) |

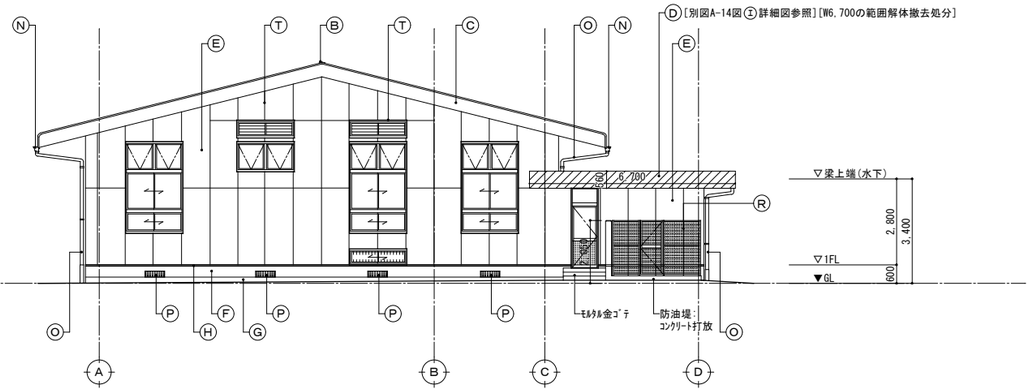
| 図面種別 |
|---|
| A |
| 図面番号 |
| 16 |



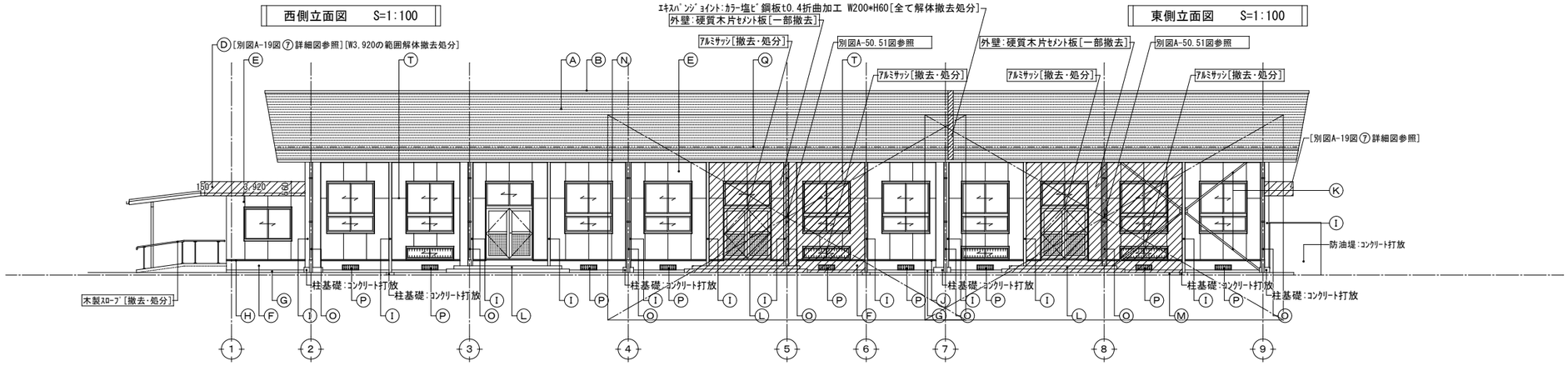

北側立面図　S=1:100




西側立面図　S=1:100




東側立面図　S=1:100




南側立面図　S=1:100

【凡例】

| | |
|---|---|
| ▨ | 解体撤去処分範囲を示す。 |

★ アスベスト含有建材(全て撤去)を示す

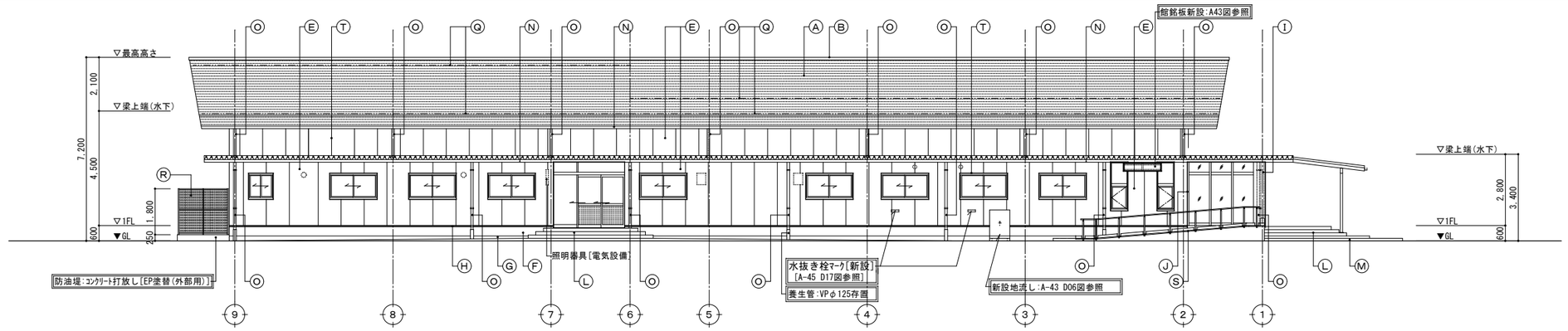
| 記号 | 部位 | 【改修前】 | | 【改修後】 | |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⓐ | 屋根(1) | 亜鉛ﾒｯｷ長尺ｶﾗｰ鋼板 28# 一文字葺 | (解体撤去処分) | ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 葺き替え(裏張有り) | (新設) |
| Ⓑ | 棟 | 亜鉛ﾒｯｷ長尺ｶﾗｰ鋼板 28# | (解体撤去処分) | ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 | (新設) |
| Ⓒ | 破風 | 亜鉛ﾒｯｷ長尺ｶﾗｰ鋼板 28# | (解体撤去処分) | ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 | (新設) |
| Ⓓ | 鼻隠し | 鋼板 t2.3 加工 MOP | (解体撤去処分) | ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 | (新設) |
| Ⓔ | 外壁(1) | 硬質木片ｾﾒﾝﾄ板(ｾﾝﾁﾘｰﾎﾞｰﾄﾞ目止板) t12 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 | (存置) | 高圧水清掃30MPa、外装薄塗材E(ｽﾀｯｺ)吹付 | (塗装塗替) |
| Ⓕ | 外壁(2) | ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 目地切 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 | (存置) | 高圧水清掃30MPa、外装薄塗材E(ｽﾀｯｺ)吹付<br>欠損部補修:ｼｰﾘﾝｸﾞ補修 PU-2 | (塗装塗替)<br>(欠損部補修) |
| Ⓖ | 巾木 | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ | (存置) | C-2 ｺﾃ塗の上、外装薄塗材E吹付 | (新規塗装) |

| 記号 | 部位 | 【改修前】 | | 【改修後】 | |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⓗ | 水切 | 特殊鋼板 28# | (存置) | 工程RB種、錆止め塗装の上DP塗装仕上げ | (塗装塗替) |
| Ⓘ | 柱 | 鉄骨表し MOP | (存置) | 工程RB種、錆止め塗装の上DP塗装仕上げ | (塗装塗替) |
| Ⓙ | 見切縁 | 鋼製PL-1.6 加工 MOP | (存置) | 工程RB種、錆止め塗装の上DP塗装仕上げ | (塗装塗替) |
| Ⓚ | ブレース | 鋼製 MOP | (存置) | 撤去後、切断面は同上の塗装仕上げとする | |
| Ⓛ | ポーチ | 炻器質ﾀｲﾙ 150角 | (存置) | 平面図に示す範囲の改修を行う | (部分改修) |
| Ⓜ | 土間 | ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞ金ｺﾞﾃ 目地切(押目地) | (存置) | 平面図に示す範囲の改修を行う | (部分改修) |
| Ⓝ | 軒樋 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋 W105 | (解体撤去処分) | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋W105 | (新設) |

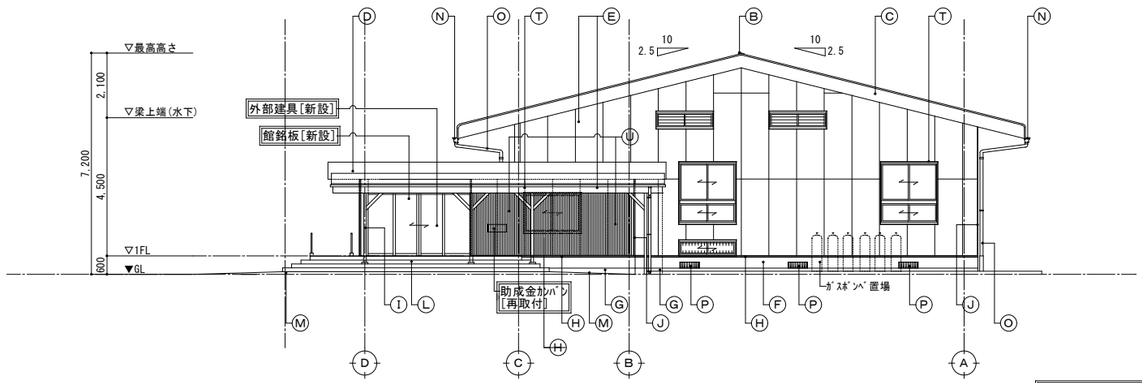
| 記号 | 部位 | 【改修前】 | | 【改修後】 | |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⓞ | 竪樋・呼樋 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞφ85 | (解体撤去処分) | ｶﾗｰ塩ﾋﾞφ85 ﾌｶﾐ金物(SUS)共 | (新設) |
| Ⓟ | 床下換気口 | W400/H200 枠:L-30x30x3 OP 格子φ9 @100<br>内側金網張 W600/H200 | (存置) | 別図A-44図参照 | |
| Ⓠ | 雪止め | 亜鉛ﾒｯｷ L-50x50x4 | (解体撤去処分) | 屋根材料専用部材にて、新設 | (新設) |
| Ⓡ | ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ | 鋼製 H1800 ﾈｯﾄ:#10x56 | (存置) | 工程RB種、錆止め塗装の上DP塗装仕上げ | (塗装塗替) |
| Ⓢ | ｽﾛｰﾌﾟ | | | 新設ｽﾛｰﾌﾟ 別図A-48図参照 | (新設) |
| Ⓣ | PS-2 | ｼｰﾘﾝｸﾞ(ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系) | | ｼｰﾘﾝｸﾞ(ﾎﾟﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系)打替え工法10×10 | (ｼｰﾘﾝｸﾞ打替) |
| Ⓤ | 外壁ﾙｰﾊﾞｰ | | | 新設木材ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ再生複合材50×70@100 (縦型)<br>固定金物:ｱﾙﾐ専用型材L90*50*4 壁固定金物 L65*65*100@900 | (新設) |

※外壁改修工事着手前には、施工計画書として損傷調査を実施し、監督員へ報告書を提出する事。
又、監督員の指示に従い、補修箇所及び補修方法を決定し、工事を実施する事。

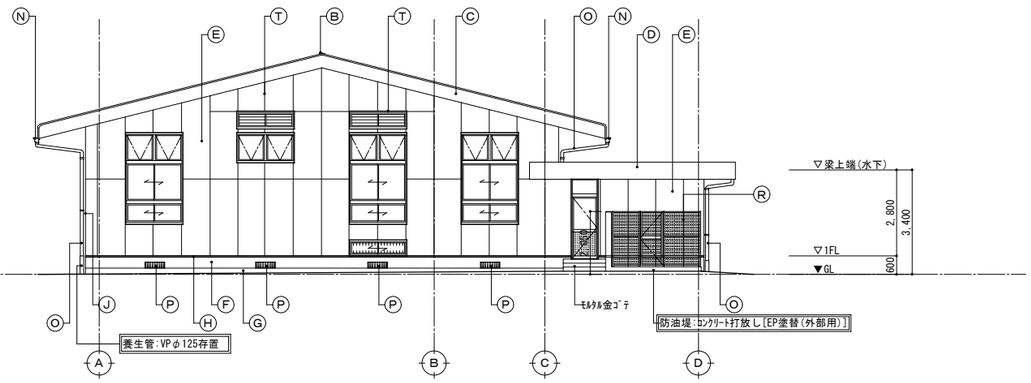
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 立面図 【改修前】<br>縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面種別 A<br>図面番号 17 |



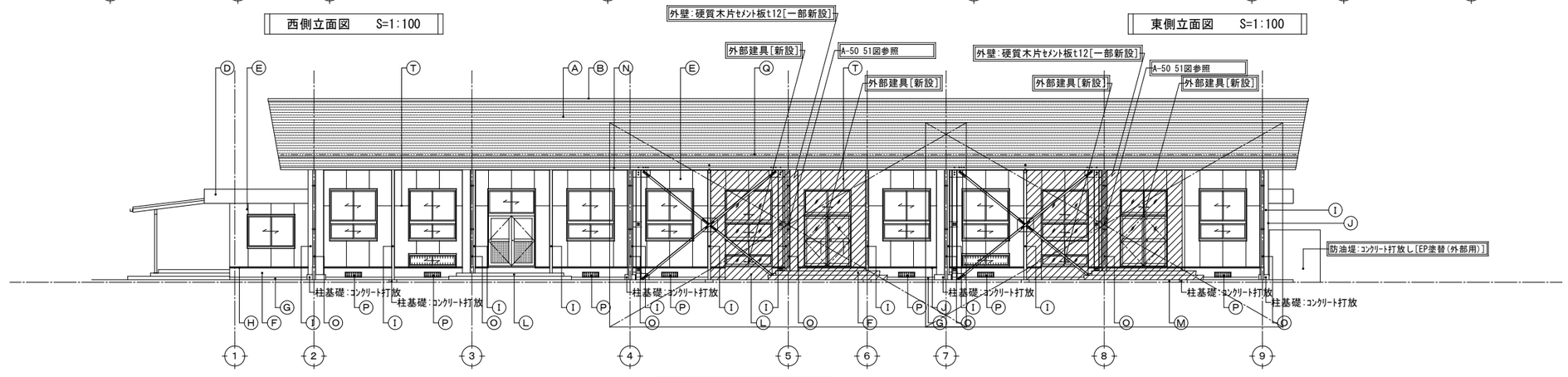

北側立面図　S=1:100




西側立面図　S=1:100




東側立面図　S=1:100




南側立面図　S=1:100

図面特記

1. Ⓣのシーリング工事範囲については、図示による他、図面上で隠れている目地ｼｰﾘﾝｸﾞ及び建具周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ等、現状建物に使用されているｼｰﾘﾝｸﾞ全てを再充填工法で改修するため入札時現場説明会等において現場確認を行うこと。

★ アスベスト含有建材(全て撤去)を示す

| 記号 | 部位 | 【改修前】 | | 【改修後】 | |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⓐ | 屋根(1) | 亜鉛ﾒｯｷ長尺ｶﾗｰ鋼板 28# 一文字葺 | (解体撤去処分) | ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 葺き替え(裏張有り) | (新設) |
| Ⓑ | 棟 | 亜鉛ﾒｯｷ長尺ｶﾗｰ鋼板 28# | (解体撤去処分) | ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 | (新設) |
| Ⓒ | 破風 | 亜鉛ﾒｯｷ長尺ｶﾗｰ鋼板 28# | (解体撤去処分) | ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 | (新設) |
| Ⓓ | 鼻隠し | 鋼板 t2.3 加工 MOP | (解体撤去処分) | ｶﾗｰｶﾞﾙﾊﾞﾘｳﾑ鋼板t0.4 | (新設) |
| Ⓔ | 外壁(1) | 硬質木片ｾﾒﾝﾄ板(ｾﾝﾁｭﾘｰﾎﾞｰﾄﾞ目止板) t12 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 | (存置) | 高圧水清掃15MPa、外装薄塗材E(ｽｷﾝ)吹付 | (塗装塗替) |
| Ⓕ | 外壁(2) | ﾓﾙﾀﾙ刷毛引 目地切 ｱｸﾘﾙﾘｼﾝ吹付 | (存置) | 高圧水清掃15MPa、外装薄塗材E(ｽｷﾝ)吹付<br>欠損部補修:ｼｰﾘﾝｸﾞ補修 PU-2 | (塗装塗替)<br>(欠損部補修) |
| Ⓖ | 巾木 | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (存置) | C-2 ｺﾃ塗の上、外装薄塗材E吹付 | (新規塗装) |

| 記号 | 部位 | 【改修前】 | | 【改修後】 | |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⓗ | 水切 | 特殊鋼板 28# | **(存置)** | 工程RB種、錆止め塗装の上DP塗装仕上げ | (塗装塗替) |
| Ⓘ | 柱 | 鉄骨表し MOP | (存置) | 工程RB種、錆止め塗装の上DP塗装仕上げ | (塗装塗替) |
| Ⓙ | 見切縁 | 鋼製PL-1.6 加工 MOP | (存置) | 工程RB種、錆止め塗装の上DP塗装仕上げ | (塗装塗替) |
| Ⓚ | ブレース | 鋼製 MOP | (存置) | 撤去後、切断面は同上の塗装仕上げとする | |
| Ⓛ | ポーチ | 炻器質ﾀｲﾙ 150角 | (存置) | 平面図に示す範囲の改修を行う | (部分改修) |
| Ⓜ | 土間 | ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞ金ｺﾃ 目地切(押目地) | (存置) | 平面図に示す範囲の改修を行う | (部分改修) |
| Ⓝ | 軒樋 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋 W105 | (解体撤去処分) | ｶﾗｰ塩ﾋﾞ角軒樋W105 | (新設) |

| 記号 | 部位 | 【改修前】 | | 【改修後】 | |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⓞ | 竪樋・呼樋 | ｶﾗｰ塩ﾋﾞφ100 [養生管は存置] | (解体撤去処分) | ｶﾗｰ塩ﾋﾞφ100 ﾜｶﾐ金物@1200(SUS)共 | (新設) |
| Ⓟ | 床下換気口 | W400/H200 枠:L-30x30x3 OP 格子φ9 @100<br>内側金網張 W600/H200 | (存置) | 別図A-44図参照 | (改修) |
| Ⓠ | 雪止め | 亜鉛ﾒｯｷ L-50x50x4 | (解体撤去処分) | 屋根材料専用部材にて、新設 | (新設) |
| Ⓡ | ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ | 鋼製 H1800 ﾈｯﾄ:#10x56 | (存置) | 工程RB種、錆止め塗装の上DP塗装仕上げ | (塗装塗替) |
| Ⓢ | ｽﾛｰﾌﾟ | | | 新設ｽﾛｰﾌﾟ:別図A-48図参照 | (新設) |
| Ⓣ | PS-2 | ｼｰﾘﾝｸﾞ(ｶﾞﾗｽﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系) | | ｼｰﾘﾝｸﾞ(ｶﾞﾗｽﾘｻﾙﾌｧｲﾄﾞ系)再充填工法10×10 | (ｼｰﾘﾝｸﾞ打替) |
| Ⓤ | 外壁ﾙｰﾊﾞｰ | | | 新設木材ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ再生複合材50×70@100 (縦型)<br>固定金物:ｱﾙﾐ専用型材L90*50*4 壁固定金物:L65*65*100@900 | (新設) |

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

図面名: 立面図　【改修後】

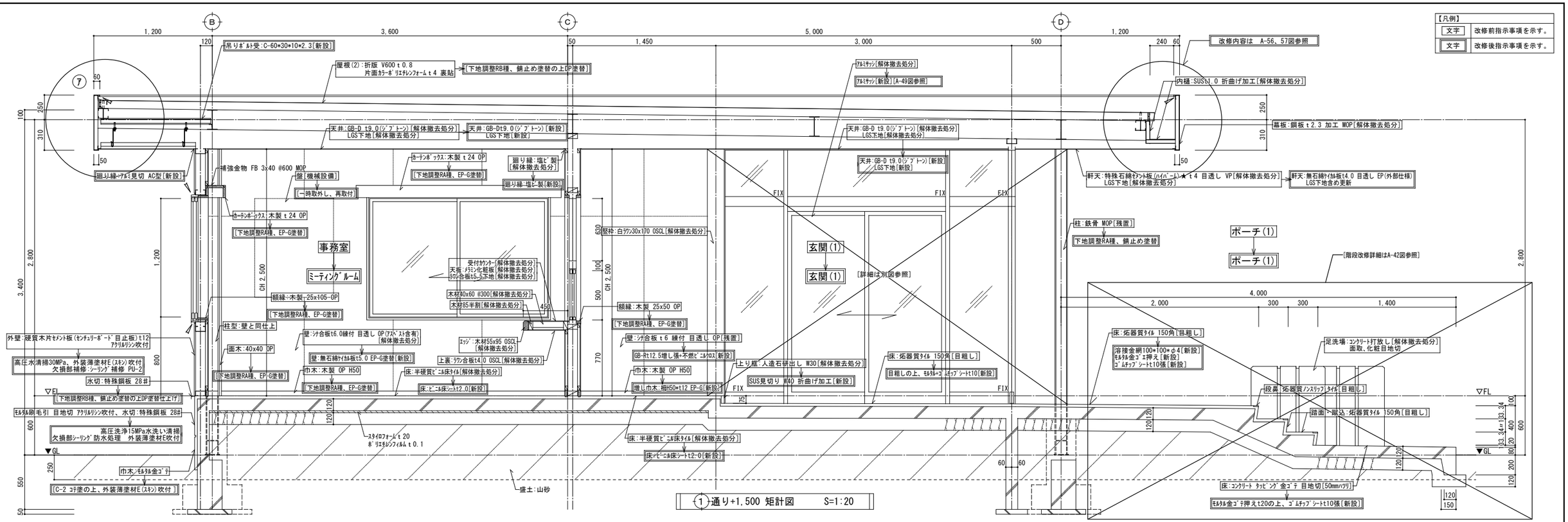
縮尺: S=1:100(A3版 50%縮小)

図面種別: A

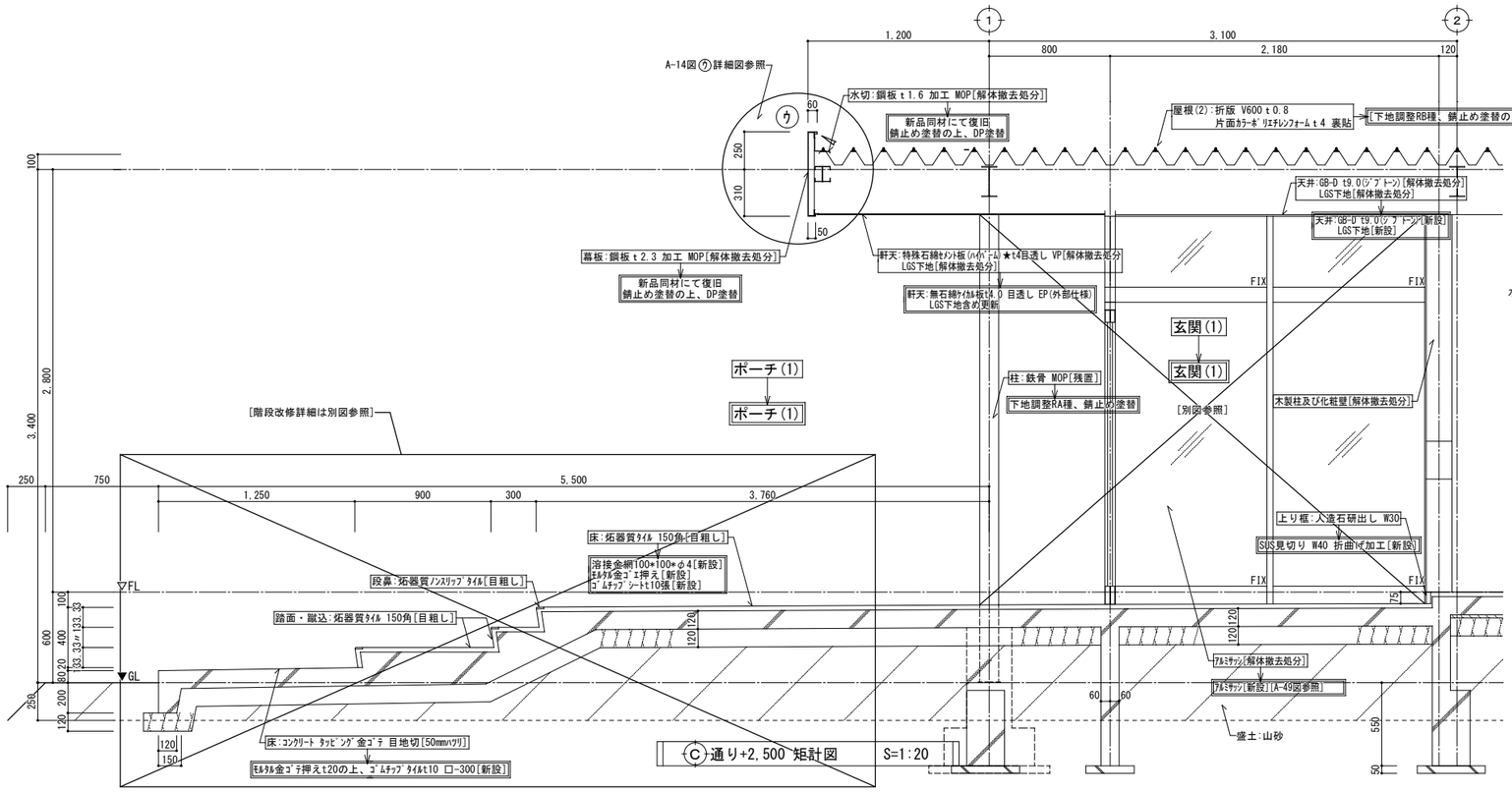
図面番号: 18

【凡例】

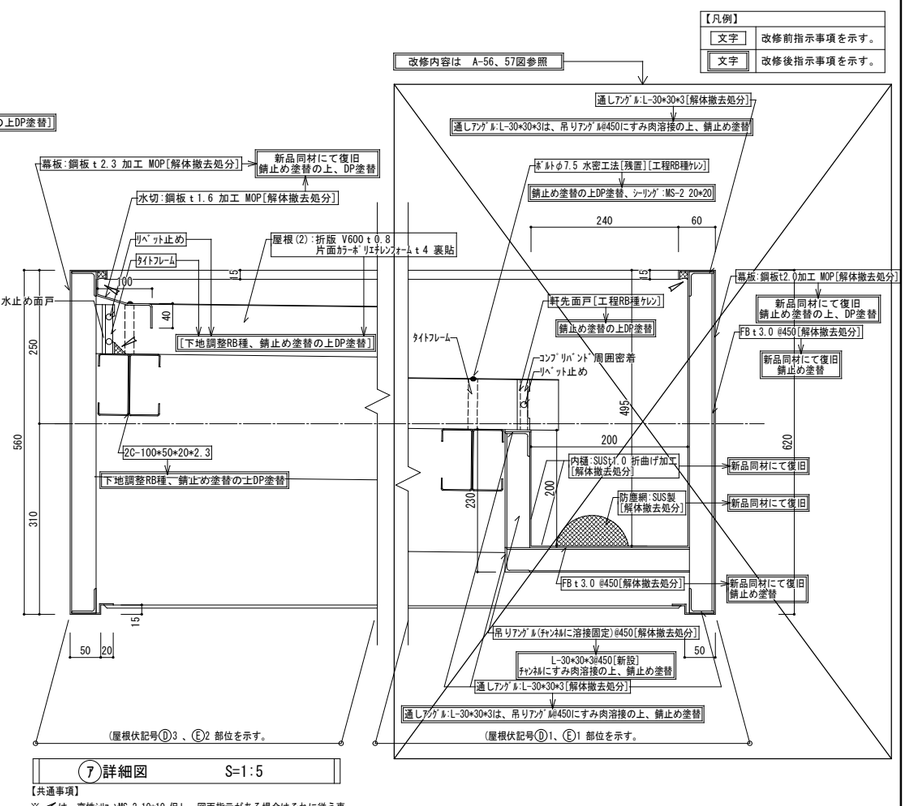
| | |
|---|---|
| 文字 | 改修前指示事項を示す。 |
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |




① 通り+1,500 矩計図 S=1:20




Ⓒ 通り+2,500 矩計図 S=1:20




⑦ 詳細図 S=1:5

【凡例】

| | |
|---|---|
| 文字 | 改修前指示事項を示す。 |
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

【共通事項】
※ は、変性ｼﾘｺｰﾝMS-2 10*10 但し、図面指示がある場合はそれに従う事。

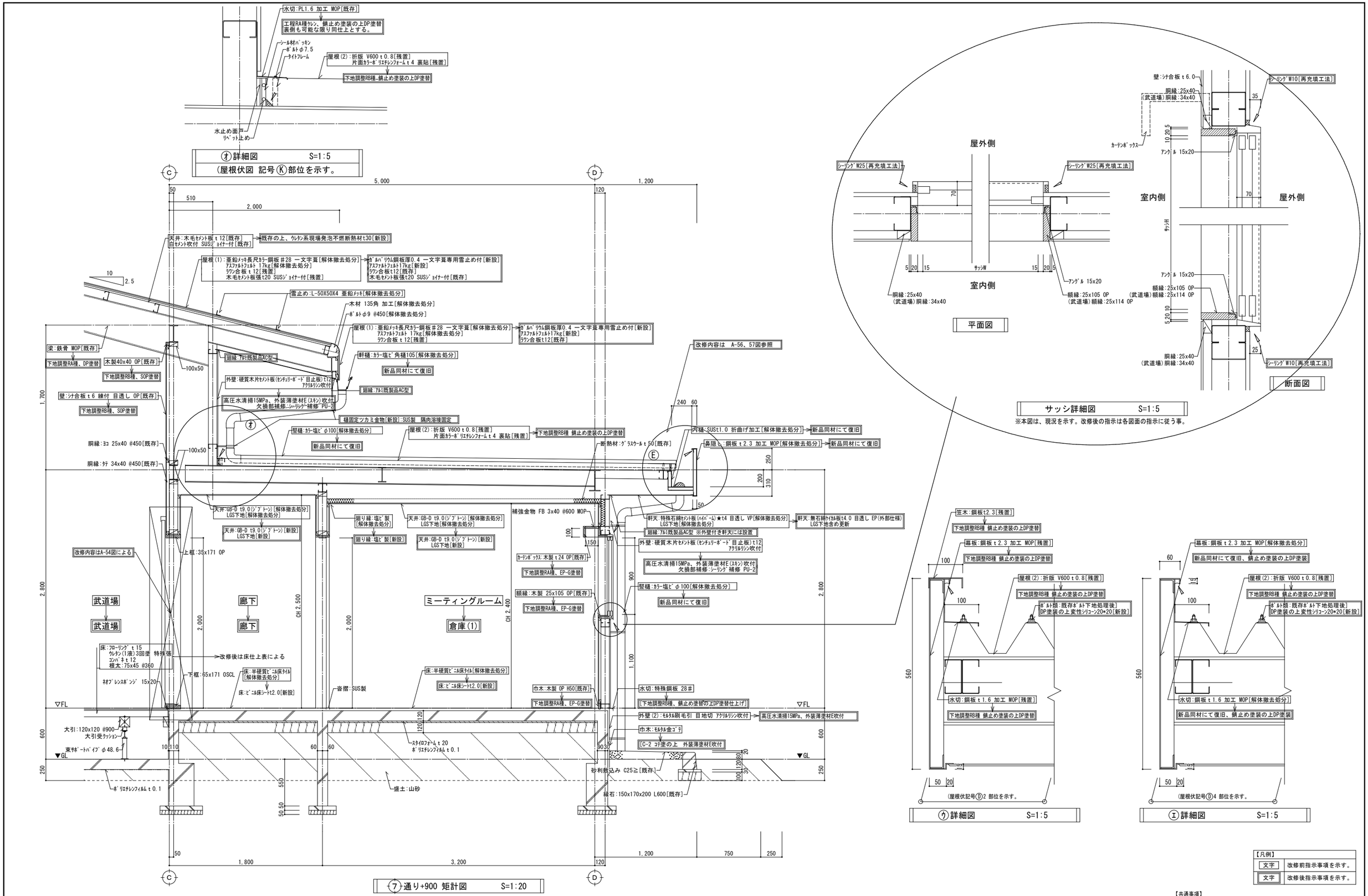
令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

図面名: 矩計図(1) 【改修前・後】

縮尺: S=1:20、5(A3版 50%縮小)

図面種別: A

図面番号: 19




【凡例】

| | |
|---|---|
| 文字 | 改修前指示事項を示す。 |
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

【共通事項】

※✓は、変性ｼﾘｺｰﾝMS-2 10*10 但し、図面指示がある場合はそれに従う事。

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

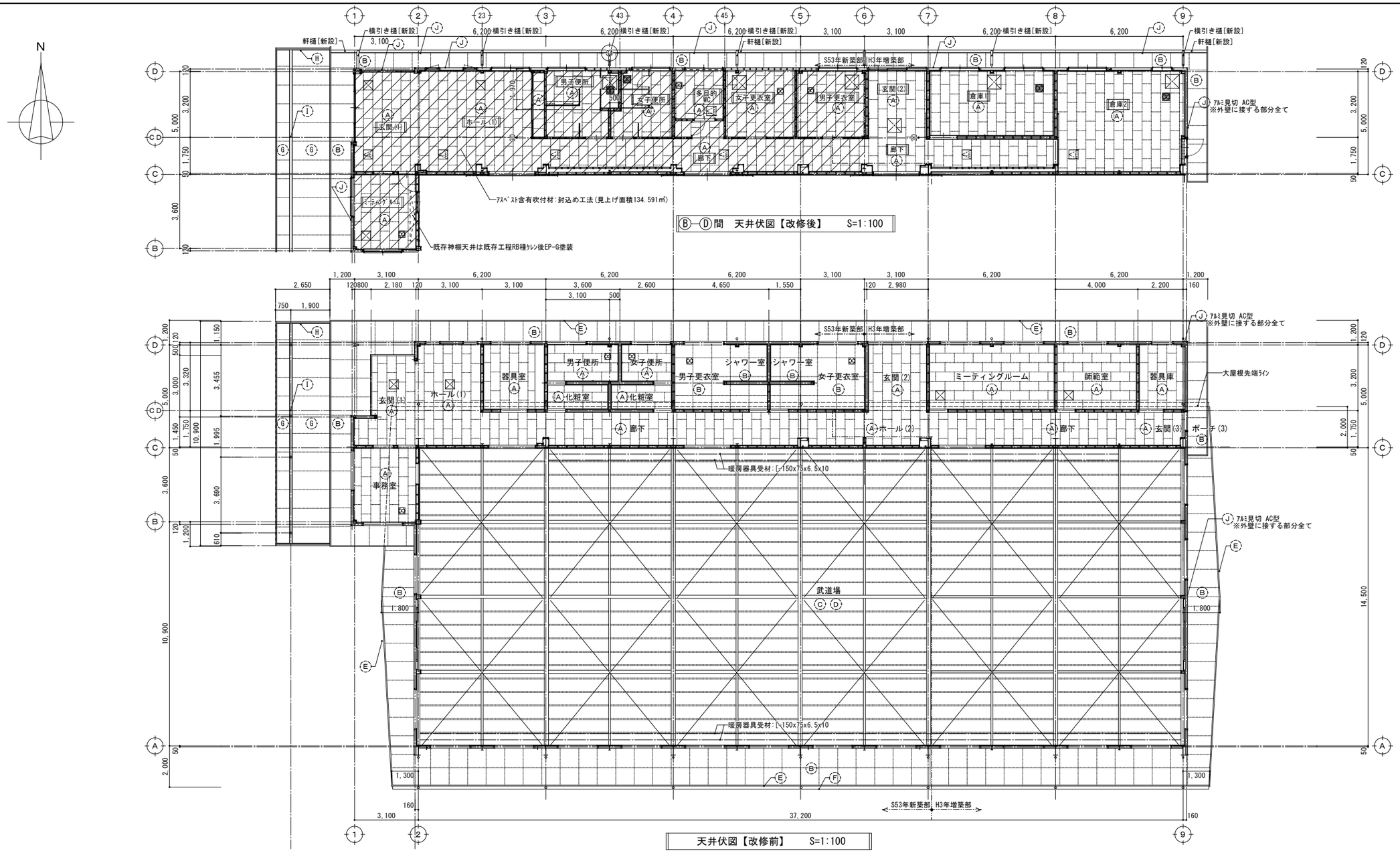
図面名: 矩計図(2) 【改修前・後】

縮尺: S=1:20、5(A3版 50%縮小)

図面種別: A

図面番号: 20

改修前後




図面特記

【改修前】(1)天井範囲①～② B ～ D 間及び ②～⑨ C ～ D 間の 既存天井材・天井下地は全て解体撤去処分とする。その際天井ボルトは吊元の折版下端100mm程度で切り落とす。
（既存折版頂部に取り付けられた固定ボルトは存置する。存置したボルトは工程RB種ケレンの上錆止め塗装後DP塗装+ポリサルファイド系シーリング20×20で止水する。）

【改修後】(2)天井範囲①～② B ～ D 間及び ②～⑨ C ～ D 間の LGS天井下地吊りボルトは新設するC-100×50×20×2.3@900(程度)に緊結する。緊結方法は、チャンネルの下部開口(φ10程度)にナット固定又は専用掛け金物を使用すること。
（緊結方法は、地震による揺れに対し、外れ防止タイプを採用すること。）
（前記(1)の既存折版頂部に取り付けられた固定ボルトは工程RB種ケレンの上錆止め塗装後DP塗装+ポリサルファイド系シーリング20×20で止水する。）
【改修後】(3)上記(2)で指示された、新設C-100×50×20×2.3@900(程度)の設置位置は、構造図S-05図に示す通りとする。

【改修後】(4)武道場小屋梁・垂木チャンネル等〔鋼材全て〕塗装改修とする。鋼材全て見え掛かり部分について、工程RB種ケレンの上錆止め塗装後DP塗装とする。部材メンバーは構造図参照〔S-5,S-15図〕

【改修後】(5)天井(下地共)撤去後、範囲①～② B ～ D 間及び ②～⑥ C ～ D 間の折版裏・梁等吹付断熱材の封じ込め工事を実施すること。
（見上げ面積134.591㎡、封じ込め作業量は242.28㎡程度であるが、現場全量を封じ込め範囲とする ）
工事仕様はA-10 特記仕様書(9)9-1による。(諸官庁への届け出等が発生する場合は、工事請負者の責において確実に実施すること。)
※施工範囲:屋根折版裏及び取り付く大梁・小梁部分含む。その他、監督員と協議の事。

図面記号 凡例

- 電気設備工事用天井点検口 アルミ枠 450角
- 天井点検口 アルミ枠 450 角
- 機械設備工事天井換気扇 アルミ枠 310角
- 機械設備工事天井換気扇 アルミ枠 370角
- 折版裏や梁等に吹付けられた石綿含有断熱材の封じ込め工事範囲を示す。

| 符号 | 天井仕上名称【改修前】 | | 符号 | 天井仕上名称【改修後】 | |
|---|---|---|---|---|---|
| Ⓐ | LGS下地<br>GB-D t 9(ジプトン) | (全て解体撤去処分)<br>(全て解体撤去処分) | Ⓐ | LGS下地<br>GB-D t 9.5(ジプトン) | (全て新設)<br>(全て新設) |
| Ⓑ | LGS下地<br>特殊石綿セメント板(ハイパーム)★ t 4 目透し VP | (全て解体撤去処分)<br>(全て解体撤去処分) | Ⓑ | LGS下地<br>無石綿ケイサンカルシウム板 t 4 目透し EP〔外部仕様〕 | (全て新設)<br>(全て新設) |
| Ⓒ | 木毛セメント板 t 25 SUS製ジョイナー付<br>白セメント吹付 | (全て存置)<br>(全て存置) | Ⓒ | ウレタン系現場発泡不燃断熱材 厚30mm (新設) | |
| Ⓓ | 鉄骨小屋組 MOP | (全て存置) | Ⓓ | 工程RB種ケレン 錆止塗装後DP〔耐候性塗料〕塗装 | |
| Ⓔ | 鋼製軒先見切 MOP | (全て解体撤去処分) | Ⓔ | 形状寸法材料は全て既存同様の新品に錆止め塗装後DP〔耐候性塗料〕塗装 | (全て新設) |
| Ⓕ | 軒樋(塩ビ製) | (全て解体撤去処分) | Ⓕ | 形状寸法材料は全て既存同様の新品設置 | (全て新設) |
| Ⓖ | 無石綿ケイ酸カルシウム板t4目透し貼 | (全て存置) | Ⓖ | | |
| Ⓗ | 天井廻り縁(塩ビ既製品) | (全て存置) | Ⓗ | | |
| Ⓘ | 桁梁120×h300 | (全て存置) | Ⓘ | | |
| Ⓙ | 天井廻り縁(アルミ既製品) | (全て解体撤去処分) | Ⓙ | 天井アルミ製廻り縁詳細図参照 | (全て新設) |
| | | | | | |

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

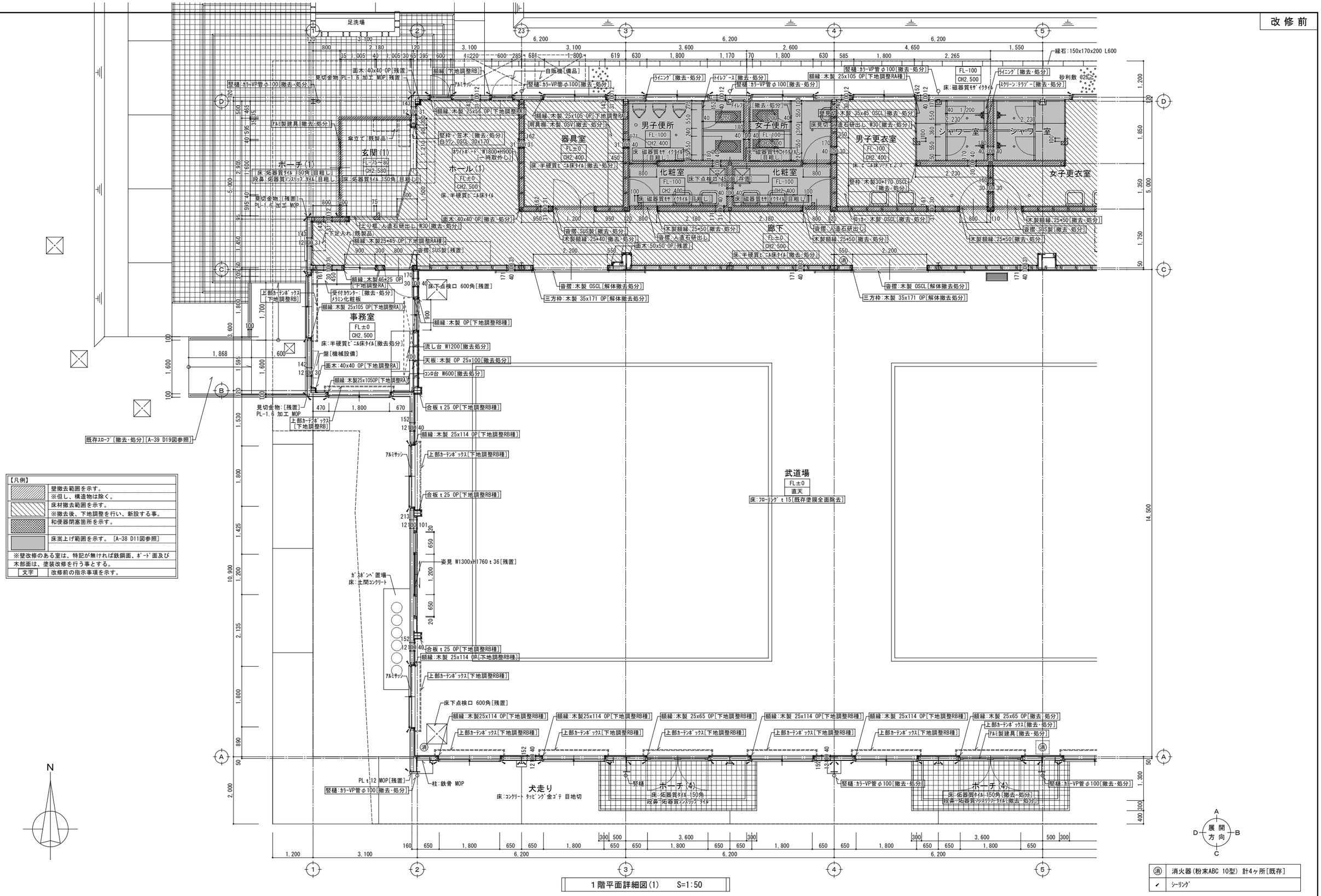
図面名：天井伏図 【改修前・後】

縮尺：S=1:100(A3版 50%縮小)

図面種別：A

図面番号：21

改修前




【凡例】

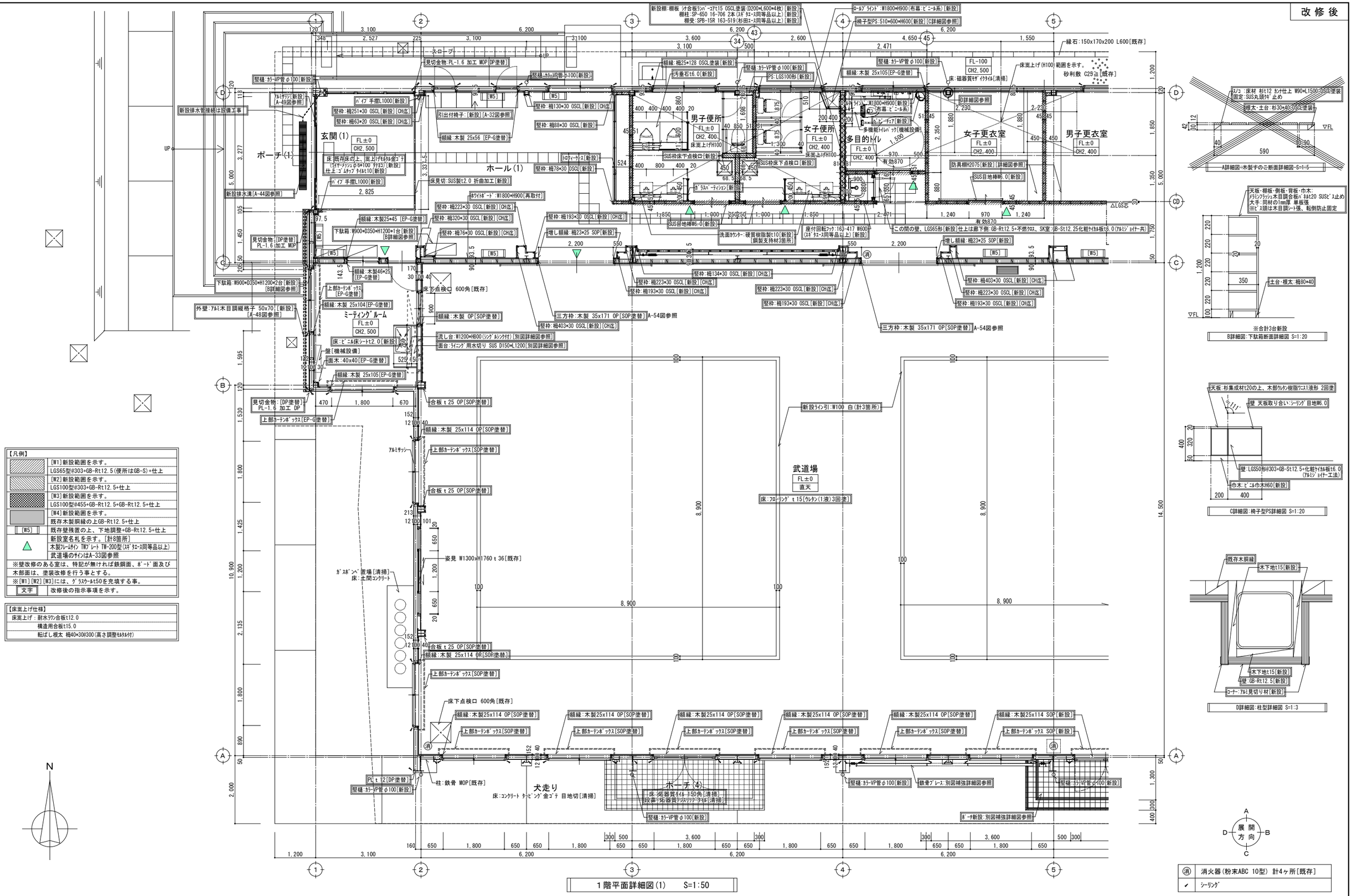
| | |
|---|---|
| | 壁撤去範囲を示す。<br>※但し、構造物は除く。 |
| | 床材撤去範囲を示す。<br>※撤去後、下地調整を行い、新設する事。 |
| | 和便器閉塞箇所を示す。 |
| | 床嵩上げ範囲を示す。 [A-38 D11図参照] |
| ※壁改修のある室は、特記が無ければ鉄鋼面、ﾎﾞｰﾄﾞ面及び木部面は、塗装改修を行う事とする。 | |
| 文字 | 改修前の指示事項を示す。 |

| | |
|---|---|
| 消 | 消火器(粉末ABC 10型) 計4ヶ所[既存] |
| ✔ | シーリング |

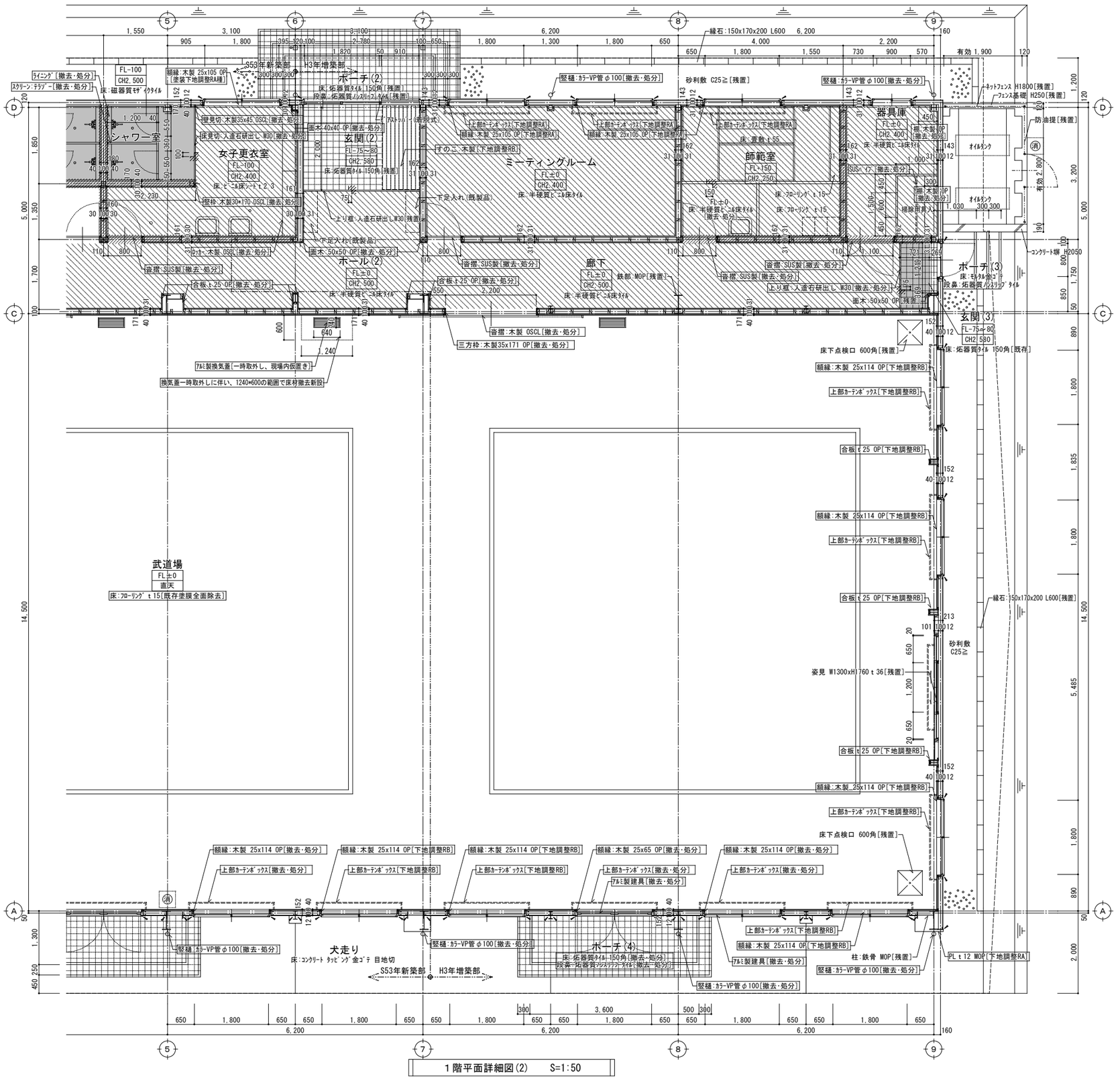
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 平面詳細図(1) 【改修前】<br>縮尺 S=1: 50(A3版 50%縮小) |

| 図面種別 | 図面番号 |
|---|---|
| A | 22 |

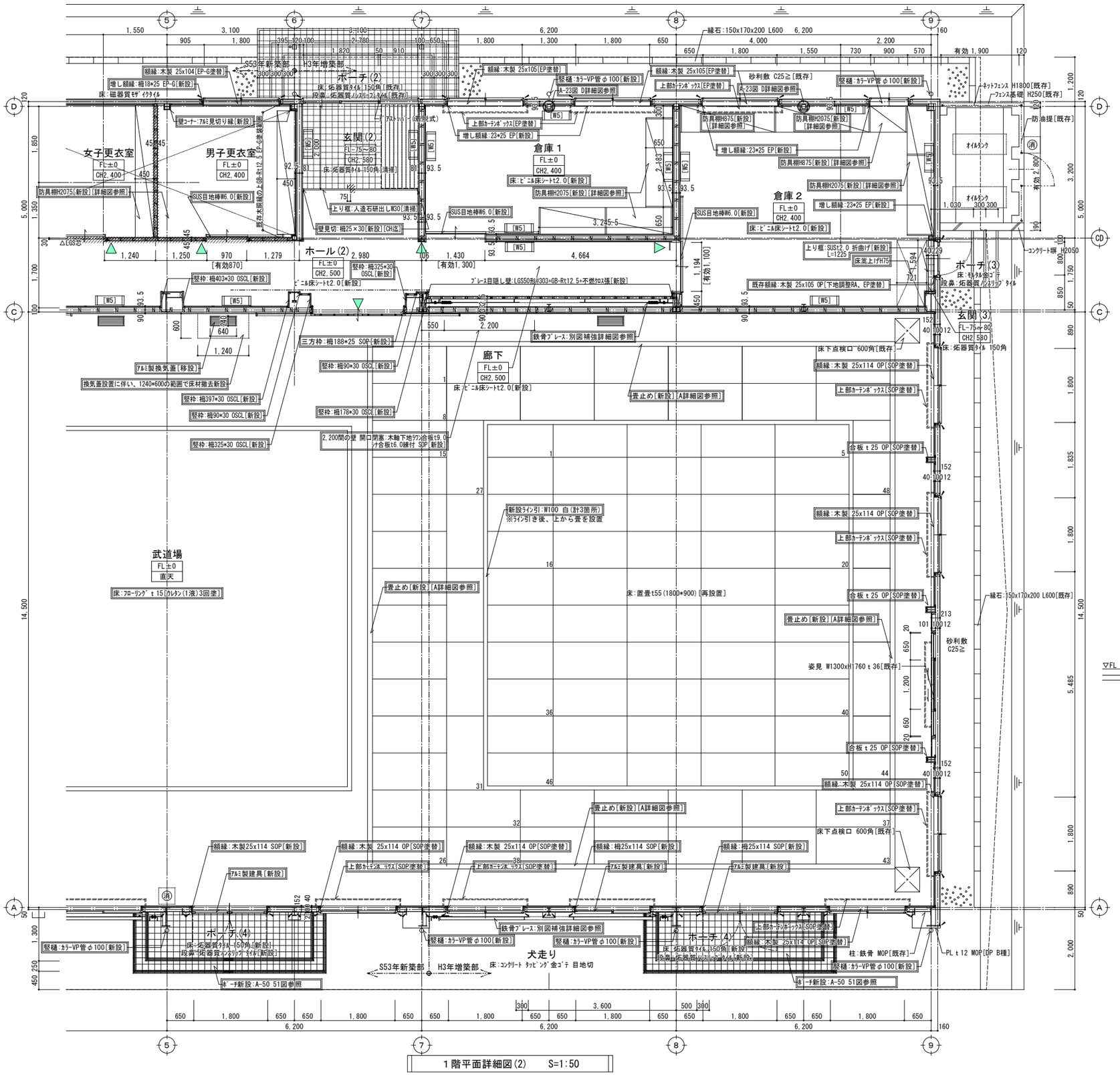
改修後

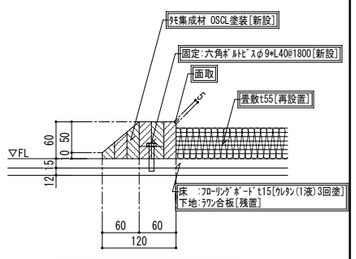

新設棚:棚板 ｿﾅ合板ﾗﾐﾊﾟｰﾈｰﾄt15 OSCL塗装(D200×L600=4枚)[新設]
棚柱:SP-650 16-706 2本(ｽｶﾞ ｸﾛｰｽﾞ同等品以上)[新設]
棚受:SPB-15R 163-519(杉田ｴｰｽ同等品以上)[新設]
ロールブラインド:W1800×H900(布幕:ビニール系)[新設]
椅子型PS:510×600×H600[新設] [詳細図参照]
緑石:150x170x200 L600[既存]
スロープ
見切金物:PL-1.6 加工 MOP[DP塗替]
竪樋:カラーVP管φ100[新設]
竪樋:カラーVP管φ100[新設]
汚垂石t6.0[新設]
PS:LGS100形[新設]
額縁:木製 25x105[EP-G塗替]
床:磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ[清掃]
床嵩上げ(H100)範囲を示す。
砂利敷 C25会[既存]
FL-100
CH2.500
D詳細図参照
2,230
2-230
ﾊﾝｶﾞｰﾁｪｱ[新設]
多機能トイレﾊﾟｯｸ[機械設備]
1,500
970
500
有効870
1,240
970
1,240
有効870
防具棚H2075[新設] [詳細図参照]
SUS目地棒W6.0[新設]
SUS枠床下点検口[新設]
SUS枠床下点検口[新設]
ﾗﾗｽﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ[新設]
洗面ｶｳﾝﾀｰ:硬質樹脂製t10[新設]
[鋼製支持材3箇所]
座付回転ﾌｯｸ:163-417 W600
(ｽｶﾞｸﾛｰｽﾞ同等品以上)[新設]
この間の壁、LGS65形[新設]仕上は磨下倒:GB-Rt12.5+不燃ｸﾛｽ、SK室:GB-St12.25化粧ｹｲｶﾙ板t6.0(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ共)
増し額縁:棚23×25 SOP[新設]
男子便所
女子便所
多目的ﾄｲﾚ
女子更衣室
男子更衣室
FL±0
CH2.400
床嵩上げH100
玄関(1)
FL±0
CH2.500
ポーチ(1)
ホール(1)
床:既存床の上、嵩上げﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ
ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ φ9×100 ﾋﾀｴﾏｽ[新設]
仕上:ｺﾞﾑﾀｯﾌﾟﾀｲﾙt10[新設]
ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ L1000[新設]
新設排水溝[A-44図参照]
新設排水管接続は設備工事
ｱﾙﾐﾃﾗｽﾝ[新設]
[A-49図参照]
ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ 手摺L1000[新設]
竪枠:棚251×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚63×20 OSCL[新設][CH迄]
引出付椅子:[新設][A-32図参照]
額縁:木製 25x56 [EP-G塗替]
竪枠:棚130×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚88×30 OSCL[新設]
ﾄﾛﾃｨｰﾃｽ[新設]
竪枠:棚78×30 OSCL[新設]
床見切:SUS製t2.0 折曲加工[新設]
ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ:W1800×H900[再取付]
竪枠:棚223×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚320×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚76×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚193×30 OSCL[新設][CH迄]
増し額縁:棚23×25 SOP[新設]
竪枠:棚134×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚223×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚193×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚223×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚193×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚403×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚223×30 OSCL[新設][CH迄]
竪枠:棚193×30 OSCL[新設][CH迄]
三方枠:木製 35x171 OP[SOP塗替]A-54図参照
三方枠:木製 35x171 OP[SOP塗替]A-54図参照
額縁:木製25x114 OP[SOP塗替]
額縁:木製25x114 OP[SOP塗替]
額縁:木製25x114 OP[SOP塗替]
額縁:木製25x114 OP[SOP塗替]
額縁:木製25x114 OP[SOP塗替]
額縁:木製25x114 SOP[新設]
上部ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ[SOP塗替]
上部ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ[SOP塗替]
上部ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ[SOP塗替]
上部ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ[SOP塗替]
上部ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ[SOP塗替]
上部ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ SOP[新設]
ﾎﾜｲﾄﾎﾞｰﾄﾞ:W1800×H900[新設]
布幕:ビニール系
額縁:棚25×128 OSCL塗装[新設]
竪樋:カラーVP管φ100[新設]
竪樋:カラーVP管φ100[新設]
ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ L1000[新設]
ﾊﾝﾄﾞﾚｰﾙ 手摺L1000[新設]
額縁:木製25x105[EP-G塗替]
額縁:木製25x105[EP-G塗替]
額縁:木製25x105[EP-G塗替

改修前


S53年新築部
H3年増築部
ポーチ(2)
玄関(2)
女子更衣室
シャワー室
ミーティングルーム
師範室
器具庫
ホール(2)
廊下
武道場
ポーチ(3)
玄関(3)
ポーチ(4)
犬走り
額縁:木製 25x114 OP[下地調整RB]
上部ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ[下地調整RB]
合板ｔ25 OP[下地調整RB]
額縁:木製 25x114 OP[撤去・処分]
上部ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ[撤去・処分]
額縁:木製 25x65 OP[撤去・処分]
ｱﾙﾐ製建具[撤去・処分]
竪樋:ｶﾗｰVP管φ100[撤去・処分]
床下点検口 600角[残置]
柱:鉄骨 MOP[残置]
PL t12 MOP[下地調整RA]
縁石:150x170x200 L600[残置]
姿見 W1300xH1760 t36[残置]
砂利敷 C25≧
ﾈｯﾄﾌｪﾝｽ H1800[残置]
ﾌｪﾝｽ基礎 H250[残置]
防油提[残置]
ｺﾝｸﾘｰﾄ塀 H2050
換気塞一時取外しに伴い、1240×600の範囲で床材撤去新設
三方枠:木製35x171 OP[撤去・処分]
下足入れ(既製品)
すのこ 木製[下地調整RB]
面木:50x50 OP[撤去・処分]
面木:40x40 OP[撤去・処分]
上り框:人造石研出し W30[撤去・処分]
上り框:人造石研出し W30[残置]
床:ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t15[既存塗膜全面除去]
床:ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t15
床:半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ
床:ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t2.3
床:磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ
床:ｶｰﾍﾟｯﾄ
床:ｺﾝｸﾘｰﾄ ﾀｯﾋﾟﾝｸﾞ金ｺﾃ 目地切
床:磁器質ﾀｲﾙ 150角[残置]
段鼻:磁器質ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ[撤去・処分]
段鼻:磁器質ﾉﾝｽﾘｯﾌﾟﾀｲﾙ[残置]
床:ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ
床:鉄部 MOP[残置]
ﾏｯﾄ:木製 OSCL[撤去・処分]
音摺:SUS製[撤去・処分]
合板ｔ25 OP[撤去・処分]
ｽｸﾘｰﾝ:ﾃﾗｿﾞｰ[撤去・処分]
ﾗｲﾆﾝｸﾞ[撤去・処分]
額縁:木製 25x105 OP[塗装下地調整RA種]
額縁:木製 25x105 OP[下地調整RA]
上部ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ[下地調整RA]
ｱﾙﾐｻｯｼ(一般型式)
壁見切:木製35x45 OSCL[撤去・処分]
床見切:人造石研出し W30[撤去・処分]
竪枠:木製30x170 OSCL[撤去・処分]
棚:木製 OP[撤去・処分]
ｵｲﾙﾀﾝｸ
ｽｽﾊﾞｲﾔ[撤去・処分]
ﾏｯﾄ:木製 OSCL[撤去・処分]
ｶﾞﾗｽ:木製 OSCL[撤去・処分]
ｶﾞﾗｽ:木製 OSCL[撤去・処分]
ｶﾞﾗｽ

改修後




A詳細図:畳止め詳細図 S=1:5

1階平面詳細図(2)　S=1:50

【凡例】

| | |
|---|---|
| | [W1]新設範囲を示す。 LGS65型@303+GB-Rt12.5(便所はGB-S)+仕上 |
| | [W2]新設範囲を示す。 LGS100型@303+GB-Rt12.5+仕上 |
| | [W3]新設範囲を示す。 LGS100型@455+GB-Rt12.5+GB-Rt12.5+仕上 |
| | [W4]新設範囲を示す。 既存木製胴縁の上GB-Rt12.5+仕上 |
| [W5] | 既存壁残置の上、下地調整+GB-Rt12.5+仕上 |
| △ | 新設室名札を示す。[計8箇所] 木製ﾌﾚｰﾑ付ｻｲﾝ TW-200型(ｽﾀﾃﾞｨｵ2同等品以上) 武道場のｻｲﾝはA-33図参照 |
| ※壁改修のある室は、特記が無ければ鉄鋼面、ﾎﾞｰﾄﾞ面及び木部面は、塗装改修を行う事とする。 | |
| ※[W1][W2][W3]には、ｸﾞﾗｽｳｰﾙ50を充填する事。 | |
| 文字 | 改修後の指示事項を示す。 |

【床嵩上げ仕様】

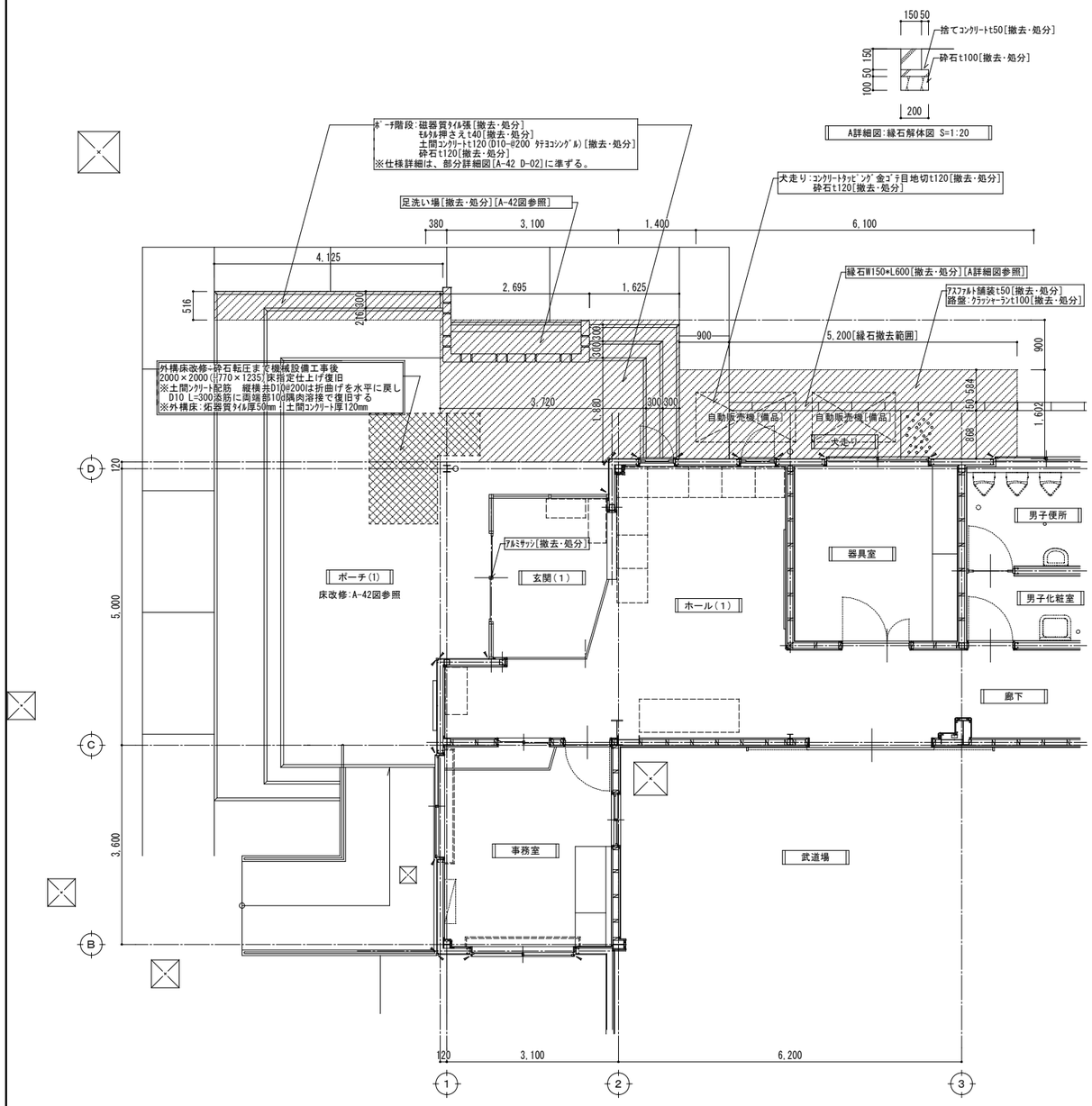
| |
|---|
| 床嵩上げ:耐水ﾗﾜﾝ合板t12.0 |
| 構造用合板t15.0 |
| 転ばし根太 桝40*30@300(高さ調整ﾓﾙﾀﾙ付) |

| | |
|---|---|
| 消 | 消火器(粉末ABC 10型) 計4ヶ所[既存] |
| ✔ | ｼｰﾘﾝｸﾞ |

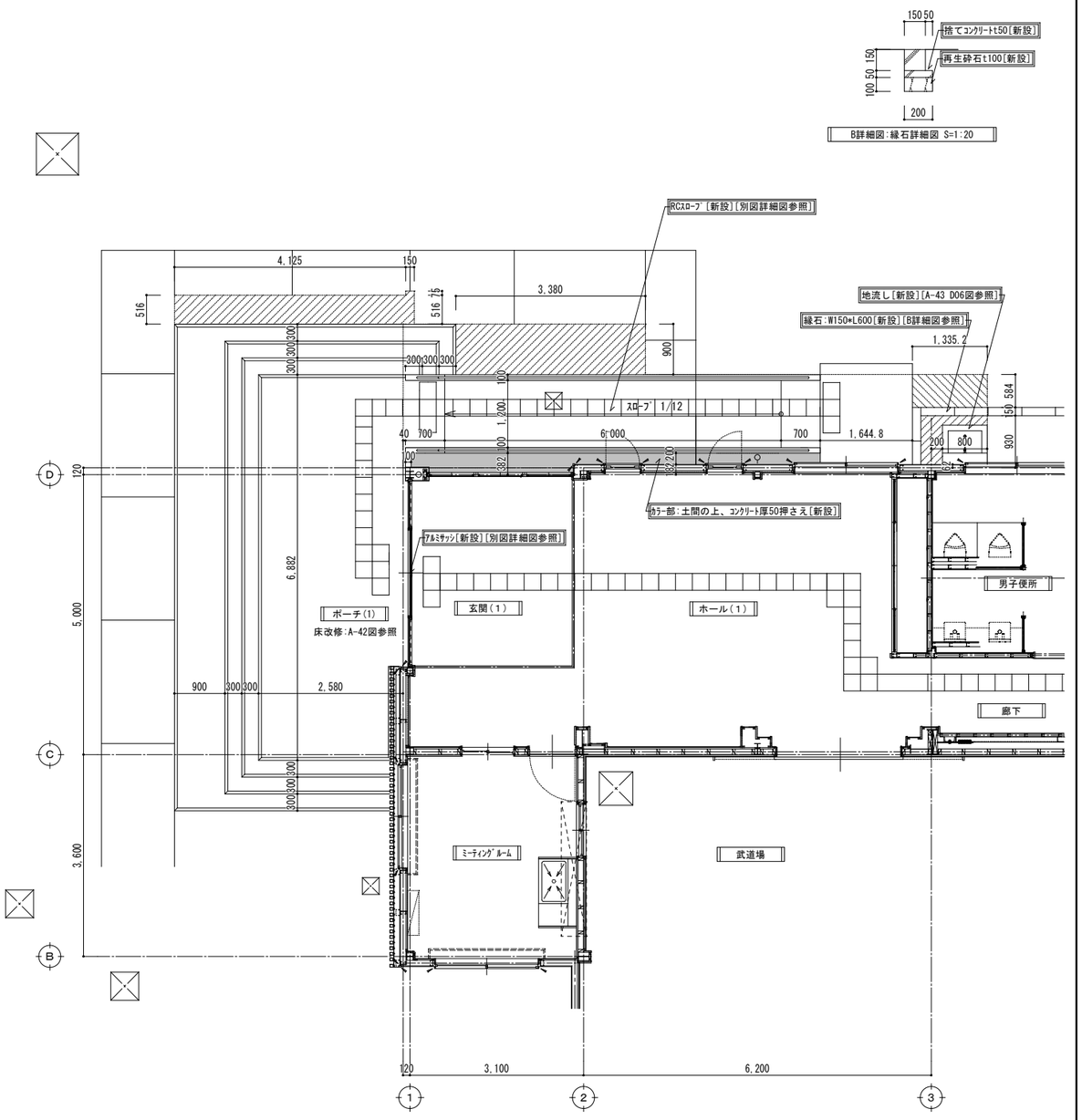
| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 平面詳細図(2) 【改修後】 |
| | | | | 縮尺 S=1: 50(A3版 50%縮小) |

| 図面種別 | A |
|---|---|
| 図面番号 | 25 |

## ポーチ平面詳細図[改修前]　S=1:50




## ポーチ平面詳細図[改修後]　S=1:50




| | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 | ポーチ(1)平面詳細図 【改修前・後】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 | S=1: 50(A3版 50%縮小) | 図面番号 26 |

改修前

## 玄関(1)(2)(3)　★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

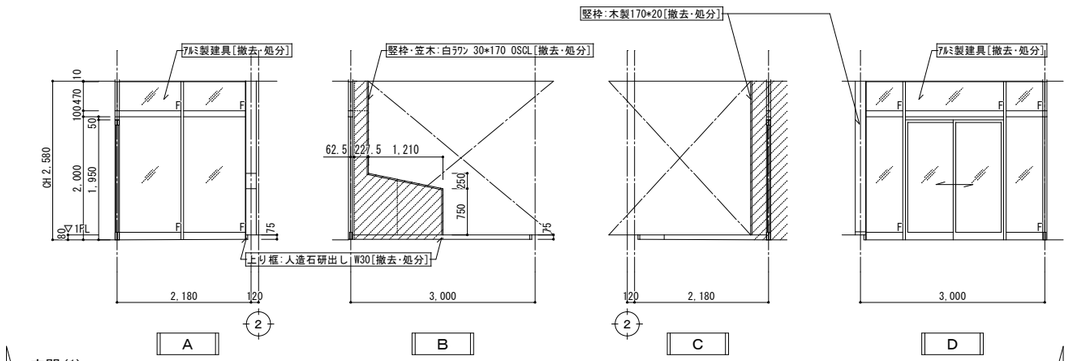
| | | |
|---|---|---|
| 床 | 炻器質ﾀｲﾙ 150角 | (玄関3のみ一部撤去) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (残置) |
| 巾木 | 人造石研出し H80 | (撤去) |
| 壁 | ｼﾅ合板ｔ6 練付 目透し OP | (残置) |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (撤去) |
| | LGS | (撤去) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (撤去) |
| 備考 | 上り框:人造石研出し W30 | (図示の通り) |
| | 下足入れ:(既製品)[備品](玄関(1)(2)) | (一時移設) |
| | 傘立て:鋼製(既製品)[備品](玄関(1)(2)) | (一時移設) |
| | すのこ:木製[備品] | (一時移設) |

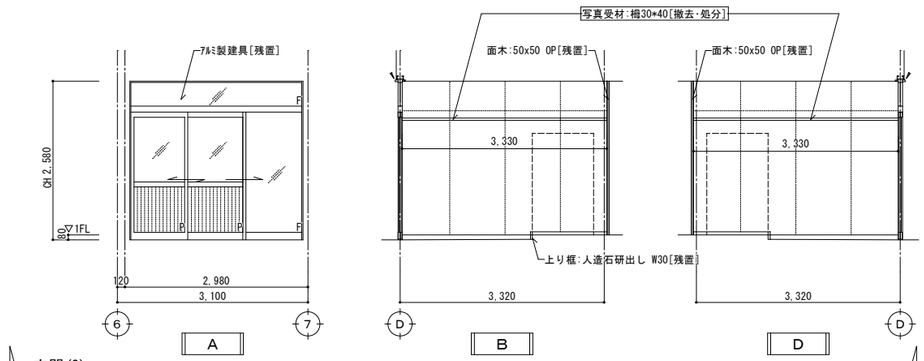
## ホール(1)(2)　★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

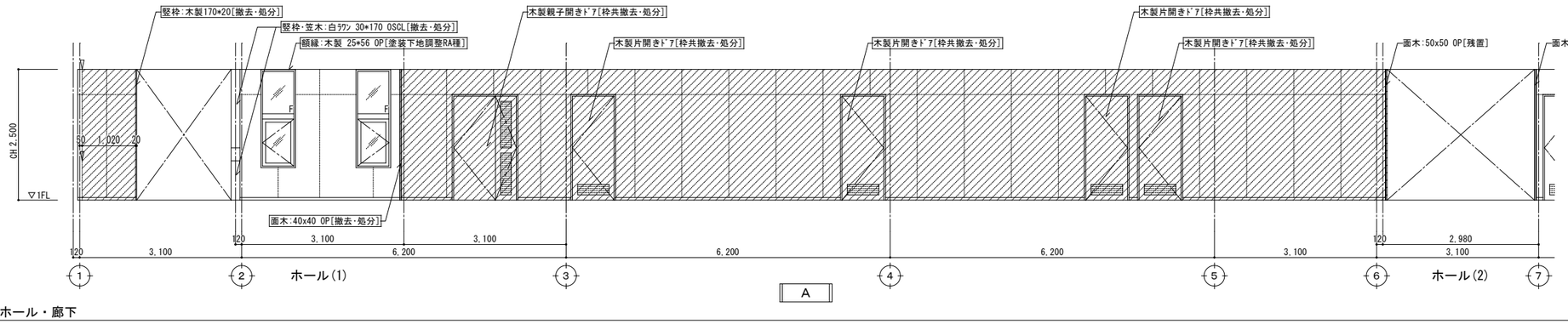
| | | |
|---|---|---|
| 床 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | (撤去) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (残置) |
| 巾木 | 木製 OP H50 | (撤去) |
| 壁 | ｼﾅ合板ｔ6 練付 目透し OP | (残置) |
| | 木組(間仕切) | (図示の通り) |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (撤去) |
| | LGS | (撤去) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (撤去) |
| 備考 | 掲示板 | (撤去) |

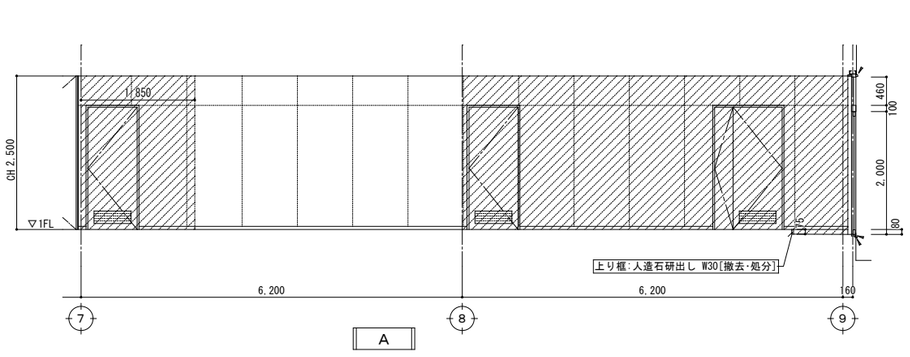
## 廊下　★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

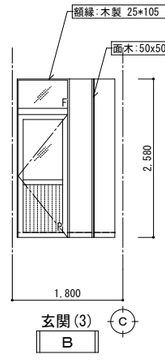
| | | |
|---|---|---|
| 床 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | (撤去) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (残置) |
| 巾木 | 木製 OP H50 | (撤去) |
| 壁 | ｼﾅ合板ｔ6 練付 目透し OP | (残置) |
| | 木組(間仕切) | (図示の通り) |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (撤去) |
| | LGS | (撤去) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (撤去) |
| 備考 | 室名札 | (撤去) |

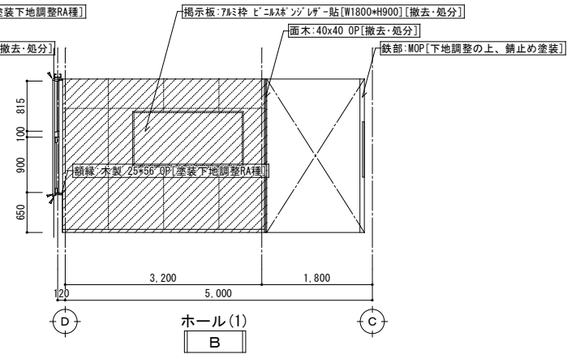


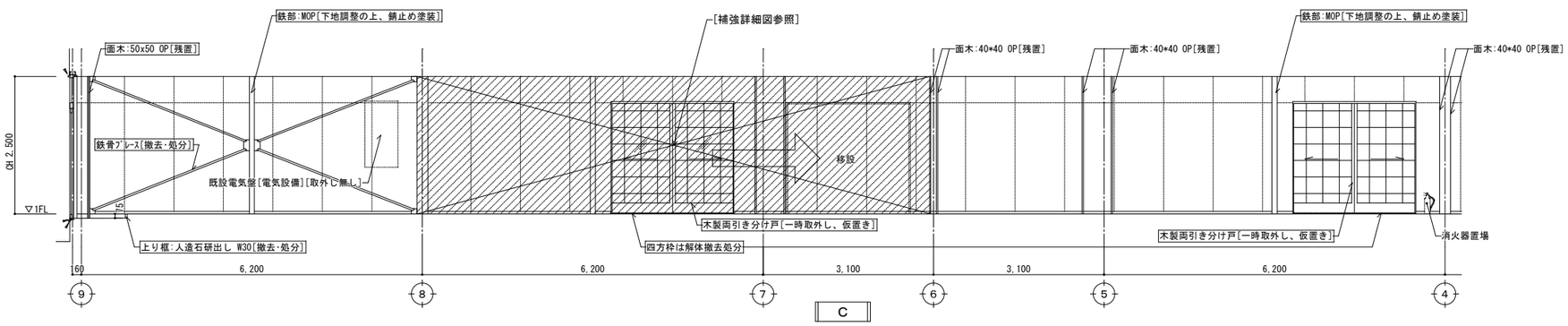




| 凡　例 | |
|---|---|
| 記　号 | |
| ▨ | 壁撤去範囲を示す。 |
| 文字 | 改修前の指示事項を示す。 |
| Δ | ｶｯﾀｰ入れ |
| | |

特記
1.改修内容が明記されていないものは原則、既存のまま

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 玄関・ホール・廊下展開図 【改修前】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1: 50(A3版 50%縮小) | 図面番号 27 |

改修前

## 廊下

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去・処分)を示す

| | | |
|---|---|---|
| 床 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | (撤去・処分) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (残置) |
| 巾木 | 木製 OP H50 | (撤去・処分) |
| 壁 | ｼﾅ合板 t6 練付 目透し OP | (残置) |
| | 木組(間仕切) | (図示の通り) |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (撤去・処分) |
| | LGS | (撤去・処分) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (撤去・処分) |
| 備考 | 室名札 | (撤去・処分) |
| | 既存額縁 | (塗装改修) |

## 事務室

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去・処分)を示す

| | | |
|---|---|---|
| 床 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | (撤去・処分) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (存置) |
| 巾木 | 木製 OP H50 | (存置) |
| 壁 | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★ t5 練付 目透し VP | (撤去・処分) |
| | 木組(間仕切) | (残置) |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (撤去・処分) |
| | LGS | (撤去・処分) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (存置) |
| 備考 | 受付ｶｳﾝﾀｰ、行事予定表、流し台、ｺﾝﾛ台 | (図示) |
| | FF用ｽﾘｰﾌﾞ | (周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ撤去・処分) |
| | 既存額縁・ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ | (塗装改修) |

## 器具室

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去・処分)を示す

| | | |
|---|---|---|
| 床 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | (撤去・処分) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (残置) |
| 巾木 | 木製 OP H50 | (撤去・処分) |
| 壁 | ｼﾅ合板 t6 練付 目透し OP | (残置) |
| | 木組(間仕切) | (図示の通り) |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (撤去・処分) |
| | LGS | (撤去・処分) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (撤去・処分) |
| 備考 | 防具棚:木製 OP | (撤去・処分) |

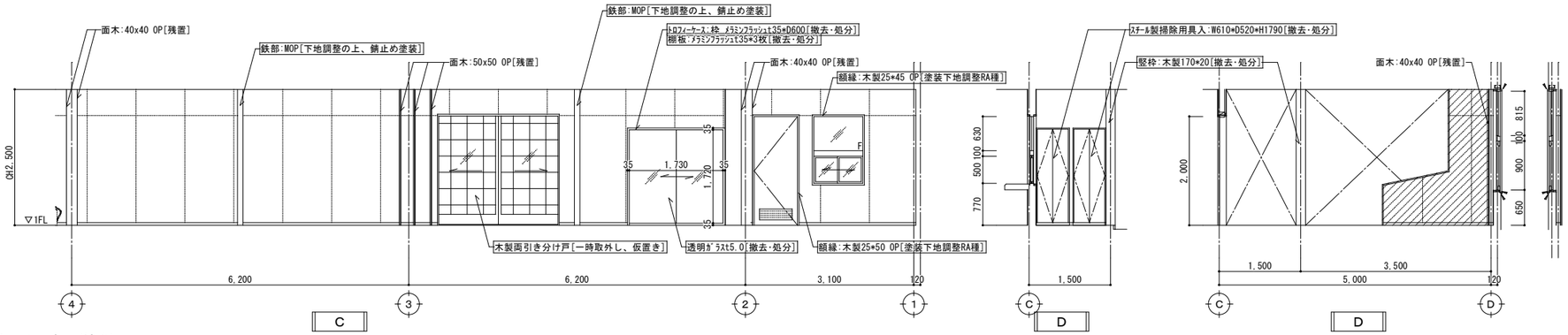
## ミーティングルーム

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去・処分)を示す

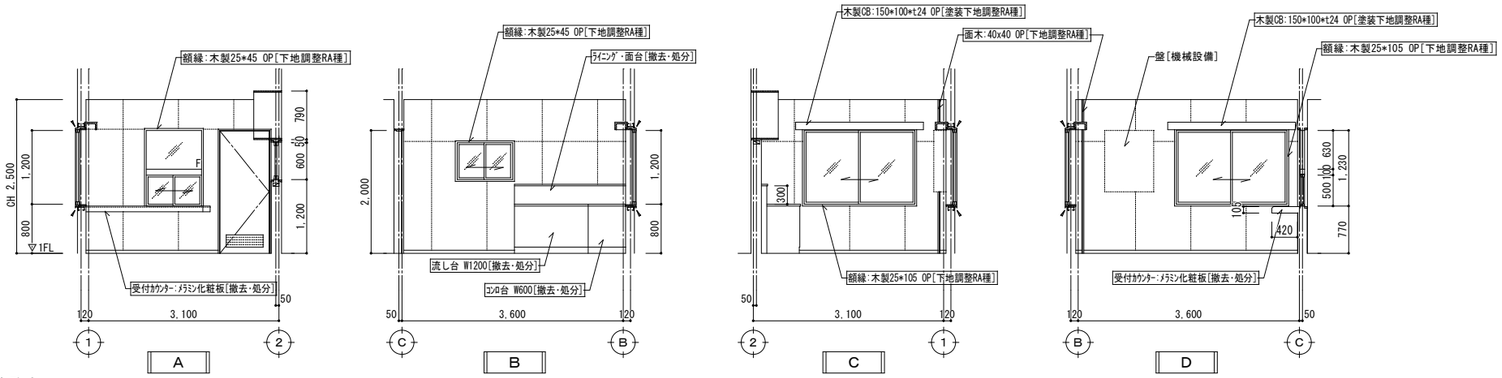
| | | |
|---|---|---|
| 床 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ | (撤去・処分) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (残置) |
| 巾木 | 木製 OP H50 | (撤去・処分) |
| 壁 | ｼﾅ合板 t6 練付 目透し OP | (残置) |
| | 木組(間仕切) | (図示の通り) |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (撤去・処分) |
| | LGS | (撤去・処分) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (撤去・処分) |
| 備考 | 既存額縁 | (塗装改修) |

| 凡　例 | |
|---|---|
| 記　号 | |
| ▨ | 壁撤去範囲を示す。 |
| 文字 | 改修前の指示事項を示す。 |
| △ | ｶｯﾀｰ入れ |
| | |

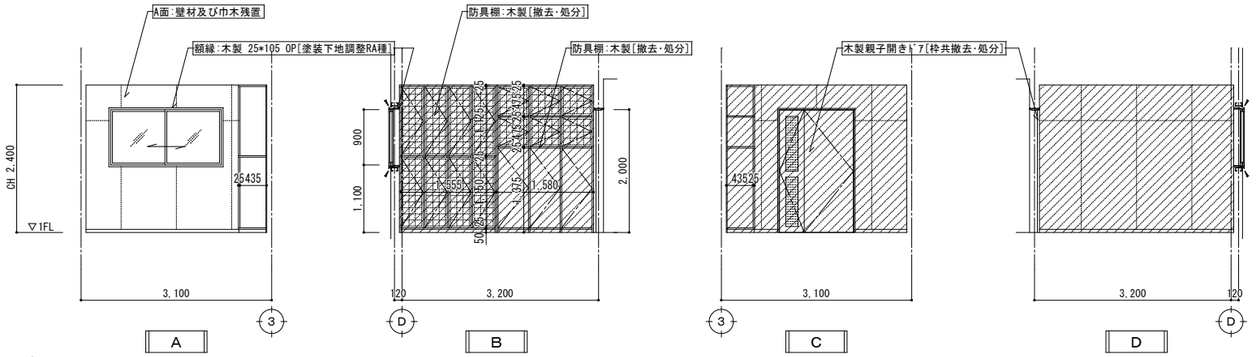
特記
1.改修内容が明記されていないものは原則、既存のまま



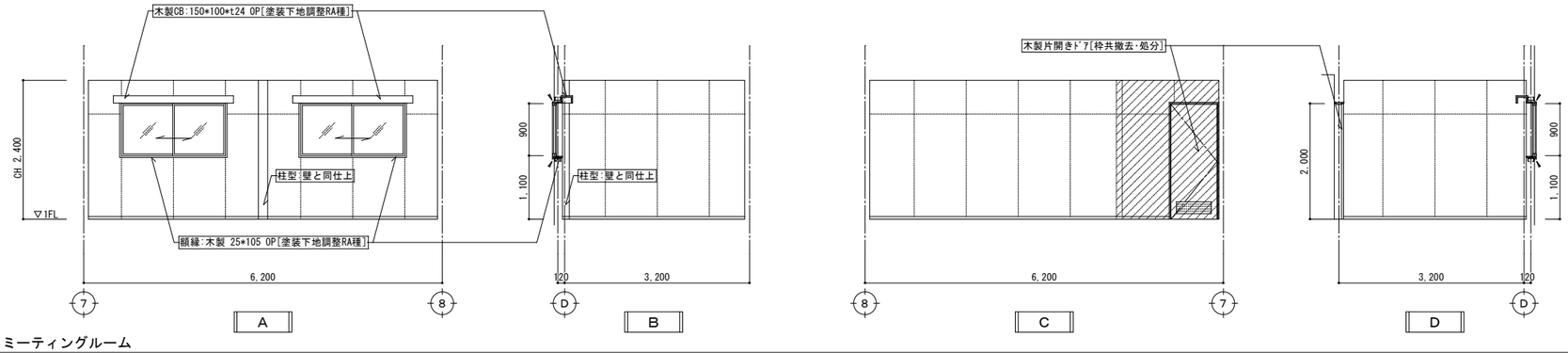

ホール・廊下(続き)




事務室




器具室




ミーティングルーム

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

図面名: 廊下・事務室・器具室・ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ展開図【改修前】

縮尺: S=1: 50(A3版 50%縮小)

図面種別: A

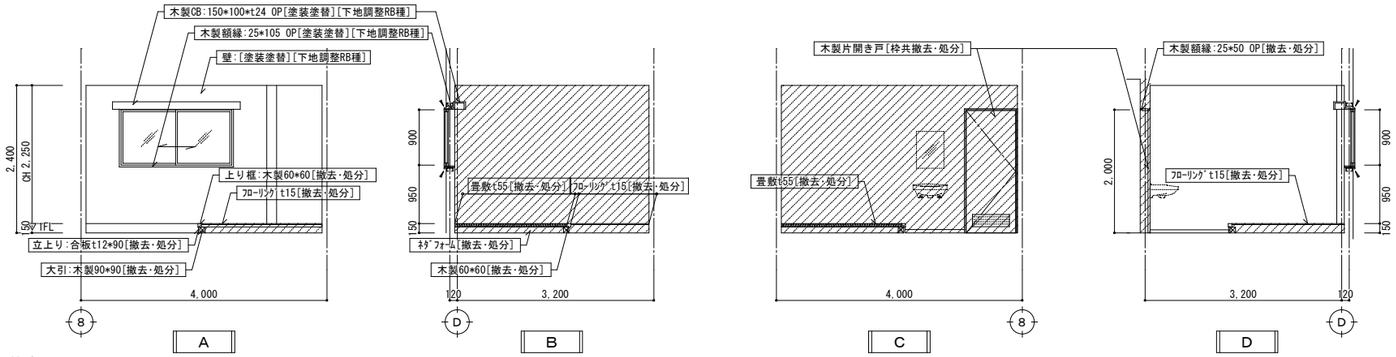
図面番号: 28

改修前

## 師範室

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

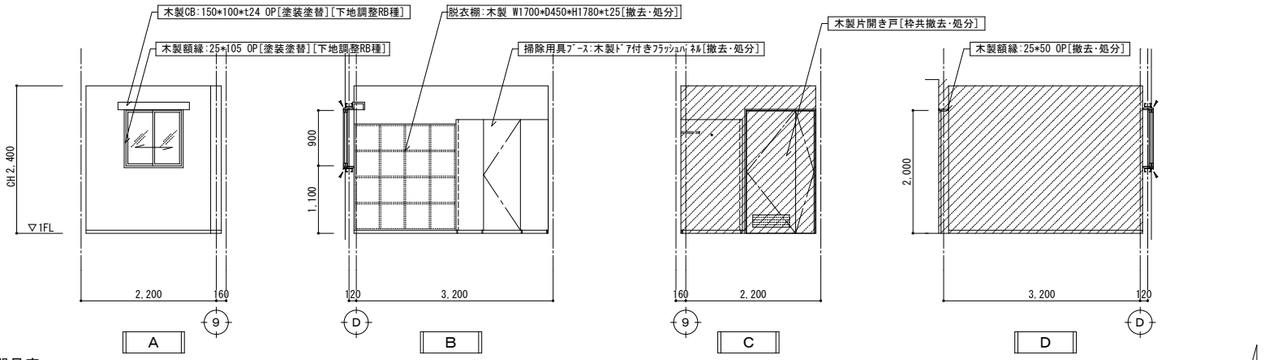
| | | |
|---|---|---|
| 床 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(撤去・処分) | ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15(撤去・処分) / ﾀﾀﾐt55 (撤去・処分) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (下地調整) | ﾈﾀﾞﾌｫｰﾑ95(撤去・処分) |
| 巾木 | 木製 OP H50 (撤去・処分) | 畳寄せ (撤去・処分) / 雑巾摺 (撤去・処分) |
| 壁 | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP (図示) | |
| | 木組(間仕切) (図示) | |
| | 外壁面木製胴縁 (残置) | |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) (撤去・処分) | |
| | LGS (撤去・処分) | |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 (撤去・処分) | |
| 備考 | CB・既存額縁 (塗装改修) | |




## 器具庫

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

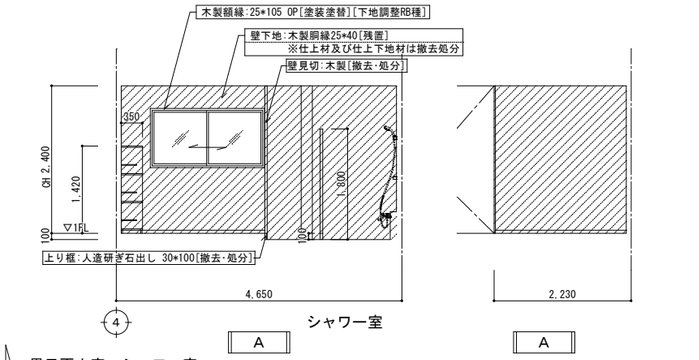
| | | |
|---|---|---|
| 床 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ (撤去・処分) | |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (下地調整) | |
| 巾木 | 木製 OP H50 (撤去・処分) | |
| 壁 | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP (図示) | |
| | 木組(間仕切) (図示) | |
| | 外壁面木製胴縁 (残置) | |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) (撤去・処分) | |
| | LGS | |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 (撤去・処分) | |
| 備考 | 掃除用具入:木製ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ (撤去・処分) | |
| | 棚:木製 OP (撤去・処分) | |
| | ﾊﾝｶﾞｰﾊﾟｲﾌﾟ:SUS製 Sｶﾝ 10個 (撤去・処分) | |
| | CB・既存額縁 (塗装改修) | |




## 男子・女子更衣室

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

| | | |
|---|---|---|
| 床 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ t 2.3 (撤去・処分) | |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (下地調整) | |
| 巾木 | 木製 OSV H50 (撤去・処分) | |
| 壁 | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★ t 5 練付 目透し VP (撤去・処分) | |
| | 木組(間仕切) (図示) | |
| | 外壁面木製胴縁 (残置) | |
| 天井 | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★ t 4 目透し VP (撤去・処分) | |
| | LGS (撤去・処分) | |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 (撤去・処分) | |
| 備考 | 脱衣棚:木製 OSV (撤去・処分) | |
| | 竪枠・壁見切:木製 OSCL (撤去・処分) | |
| | 既存額縁 (塗装改修) | |

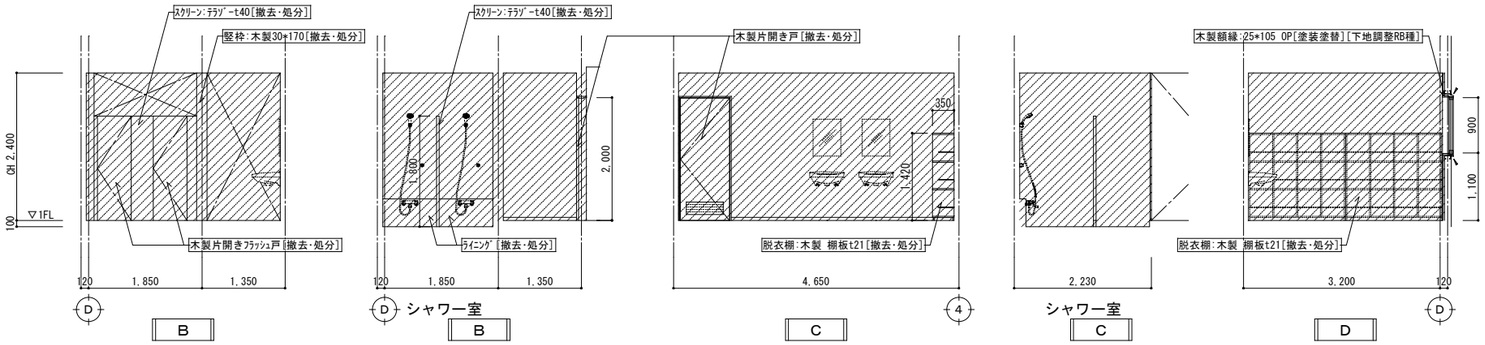



## 男子更衣室・シャワー室

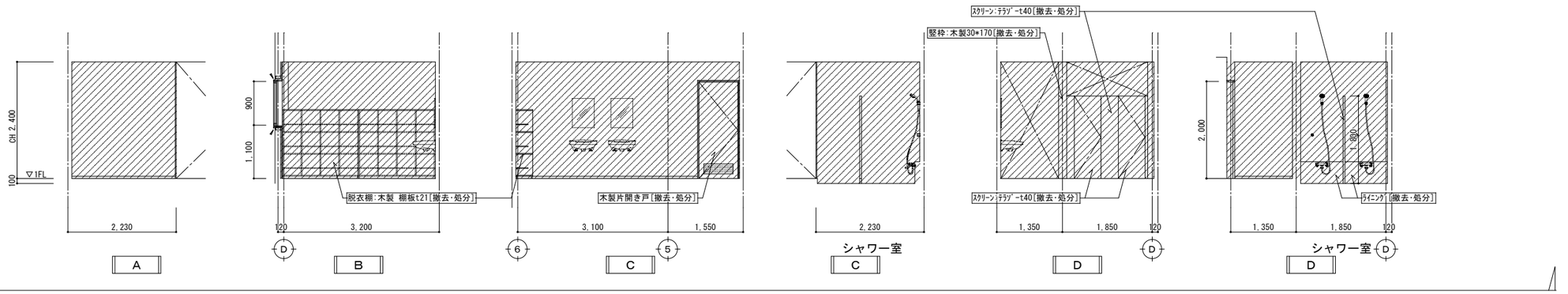
## シャワー室

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

| | | |
|---|---|---|
| 床 | 磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ (残置) | |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ (残置) | |
| 巾木 | — | |
| 壁 | 陶器質ﾀｲﾙ(一部ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ)100角 (撤去・処分) | |
| | 木組(間仕切) (図示) | |
| | 外壁面木製胴縁 (残置) | |
| 天井 | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★ t 4 目透し VP (撤去・処分) | |
| | LGS (撤去・処分) | |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 (撤去・処分) | |
| 備考 | 上り框:人造石研出し W30 (撤去・処分) | |
| | ｽｸﾘｰﾝ:ﾃﾗｿﾞｰﾌﾞﾛｯｸ (撤去・処分) | |
| | ﾗｲﾆﾝｸﾞ (撤去・処分) | |




## 女子更衣室・シャワー室




| 凡例 | |
|---|---|
| 記号 | |
| ▨ | 撤去範囲を示す。 |
| 文字 | 改修前の指示事項を示す。 |
| △ | ｶｯﾀｰ入れ |
| | |

特記
1.改修内容が明記されていないものは原則、既存のまま

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 師範室・器具庫・更衣室・ｼｬﾜｰ室展開図【改修前】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1: 50(A3版 50%縮小) | 図面番号 29 |

改修前

## 化粧室

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

| | | |
|---|---|---|
| 床 | 磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ | (残置) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ | (残置) |
| 巾木 | ― | |
| 壁 | 陶器質ﾀｲﾙ(一部ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ)100角 | (撤去･処分) |
| | 木組(間仕切) | (図示) |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (撤去･処分) |
| | LGS | (撤去･処分) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (撤去･処分) |
| 備考 | 床下点検口 600角 | (撤去･処分) |

## 男子便所

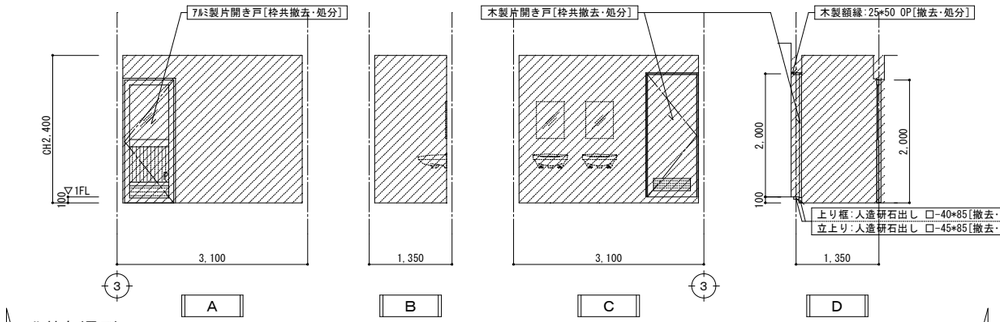
★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

| | | |
|---|---|---|
| 床 | 磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ | (残置) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ | (残置) |
| 巾木 | ― | |
| 壁 | 陶器質ﾀｲﾙ(一部ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ)100角 | (撤去･処分) |
| | 木組(間仕切) | (図示) |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (撤去･処分) |
| | LGS | (撤去･処分) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (撤去･処分) |
| 備考 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ | (撤去･処分) |
| | ﾗｲﾆﾝｸﾞ | (撤去･処分) |

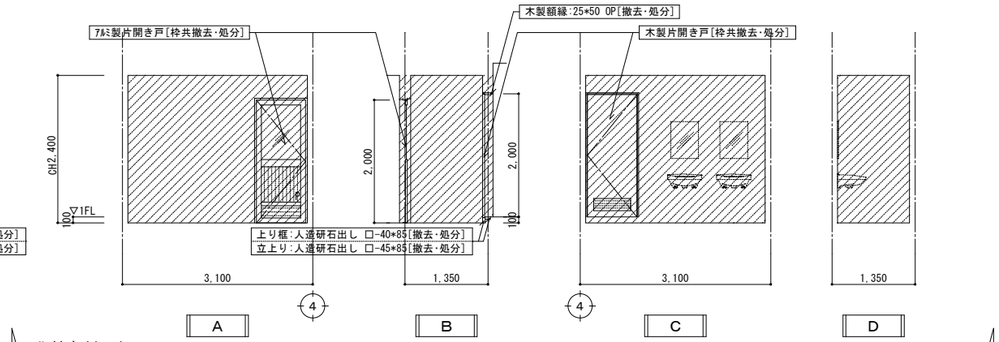
## 女子便所

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

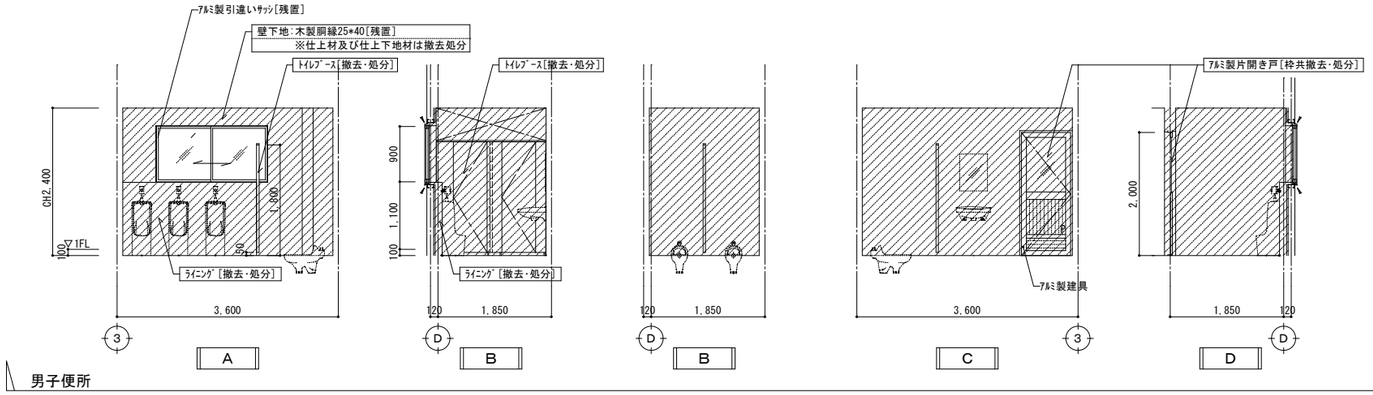
| | | |
|---|---|---|
| 床 | 磁器質ﾓｻﾞｲｸﾀｲﾙ | (残置) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ | (残置) |
| 巾木 | ― | |
| 壁 | 陶器質ﾀｲﾙ(一部ﾃﾞｻﾞｲﾝﾀｲﾙ)100角 | (撤去･処分) |
| | 木組(間仕切) | (図示) |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (撤去･処分) |
| | LGS | (撤去･処分) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (撤去･処分) |
| 備考 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ | (撤去･処分) |



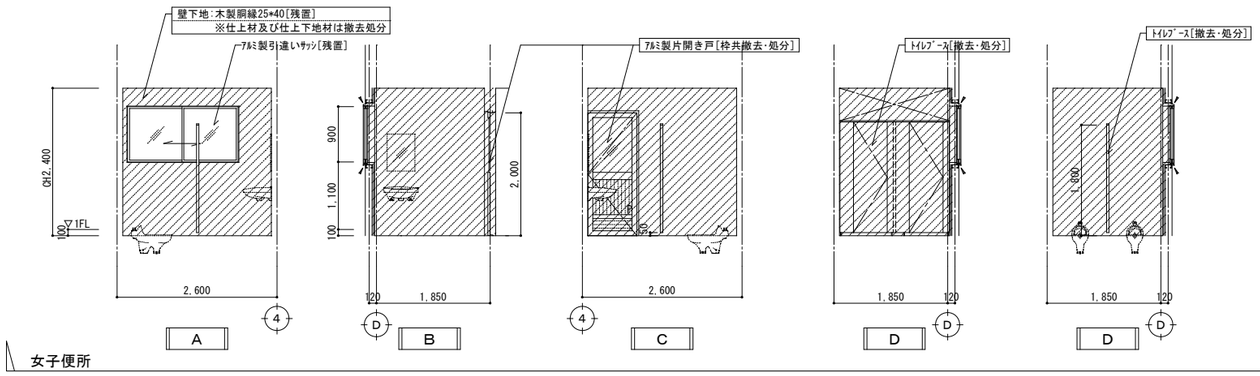

化粧室(男子)




化粧室(女子)




男子便所



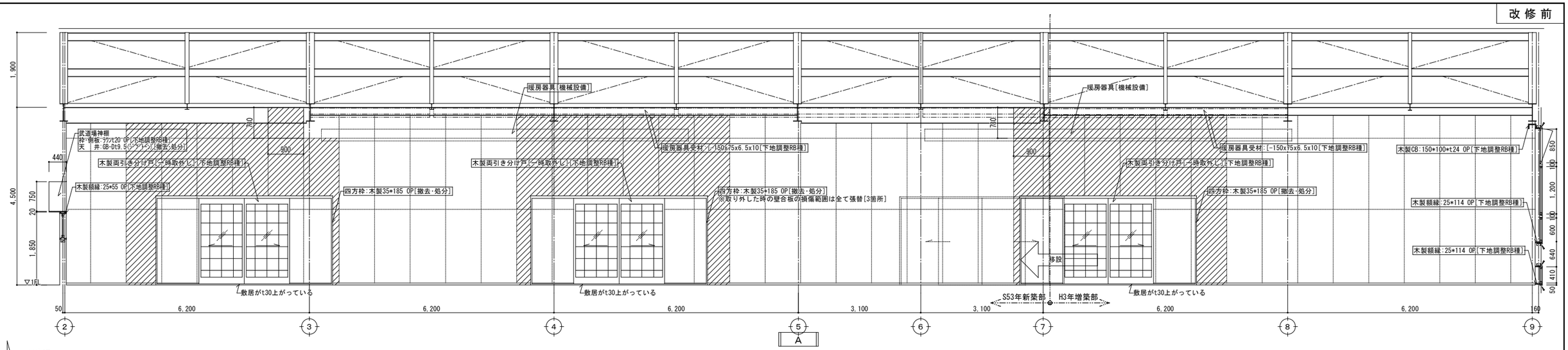

女子便所

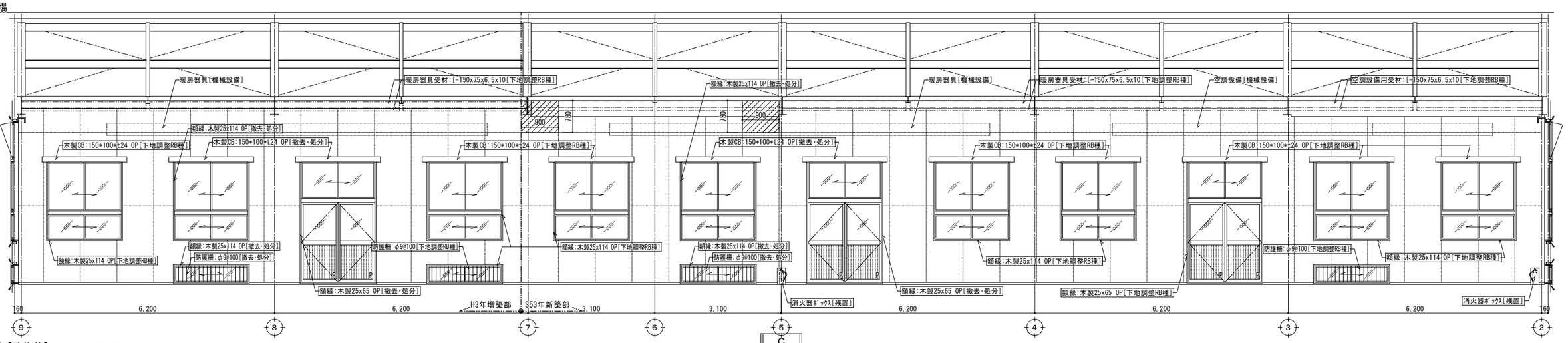
| 凡　例 | |
|---|---|
| 記　号 | |
| ▨ | 壁、巾木撤去範囲を示す。 |
| 文字 | 改修前の指示事項を示す。 |
| ⌓ | ｶｯﾀｰ入れ |
| | |

特記
1.改修内容が明記されていないものは原則、既存のまま

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 便所･化粧室展開図 【改修前】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1: 50(A3版 50%縮小) | 図面番号 30 |

改修前



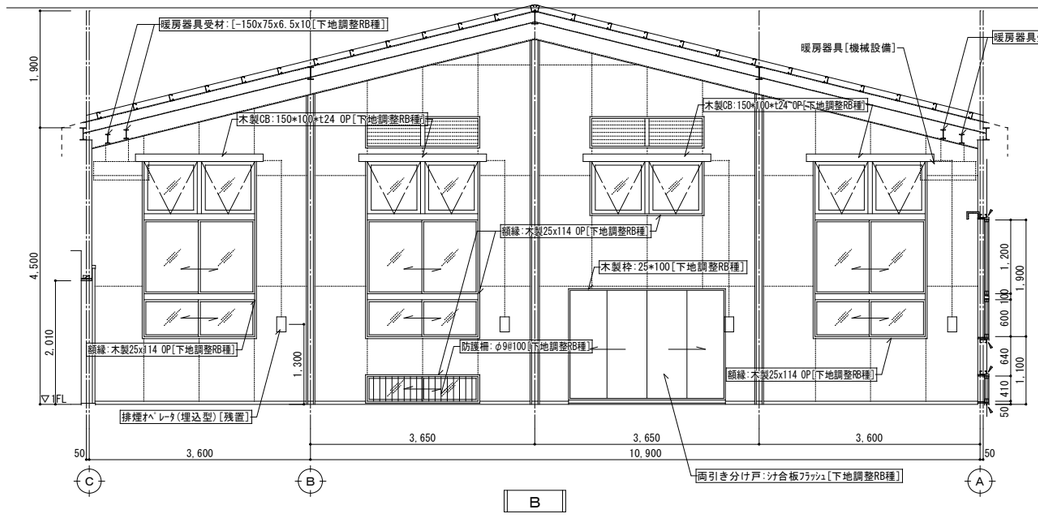

武道場【改修前】　★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

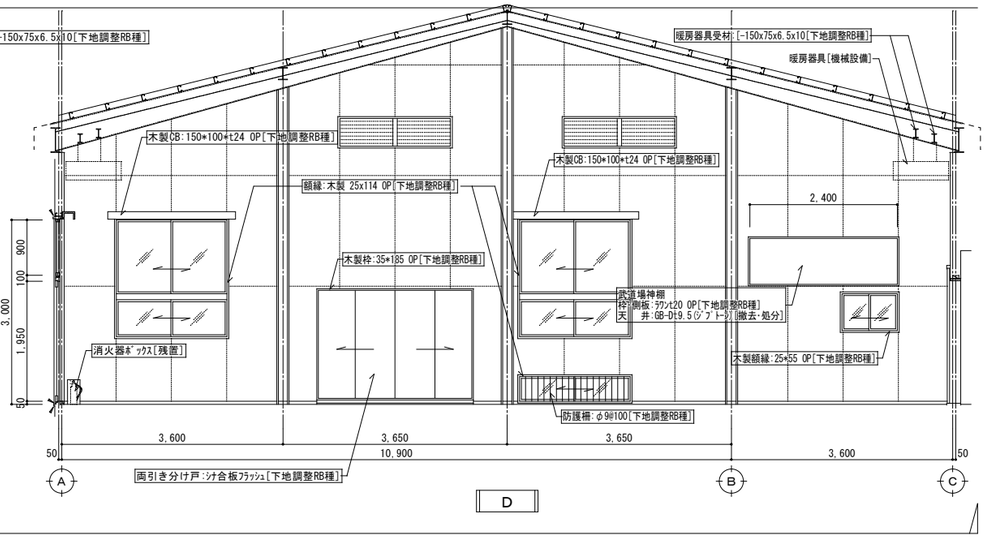
| | | |
|---|---|---|
| 床 | ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t 15 ｳﾚﾀﾝ(1液)3回塗 特殊張 | |
| | (ｻﾝﾀﾞｰ掛け既存塗膜全面除去) | |
| | 根太 + 大引 + 鋼製束(ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ付) + ｺﾝｸﾘｰﾄ t 12 | (存置) |
| 巾木 | 木製 OP H50 | (塗装塗替) |
| 腰壁 H1800 | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP | (塗装塗替) |
| | ﾗﾜﾝ合板 t 9 + 木組(間仕切) | (存置) |
| | ﾗﾜﾝ合板 t 9 + LGS(外壁面) | (存置) |
| 壁 | ｼﾅ合板 t 6 練付 目透し OP | (下地調整RB種) |
| | 木組(間仕切) | (存置) |
| | LGS(外壁面) | (存置) |
| 天井 | 白ｾﾒﾝﾄ吹付 (存置) 鉄骨小屋組 MOP | (存置) |
| | 木毛ｾﾒﾝﾄ板 t 25 SUS製ｼﾞｮｲﾅｰ付 | (存置) |
| 備考 | ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ:木製 OP | (塗装改修) |
| | 姿見 W1300xH1760 t 36､飾り棚 | (存置) |
| | 床ー巾木間:EXPｼﾞｮｲﾅ 15x20 | (存置) |
| | 畳t55 | (場内移設仮置) |

【凡例】

：壁仕上げ材撤去範囲を示す。

文字　：改修前の指示事項を示す。




| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 武道場展開図 【改修前】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1：50(A3版 50%縮小) | 図面番号 31 |

改修後

## 玄関(1)(2)(3)

| | | |
|---|---|---|
| 床 | 炻器質ﾀｲﾙ 150角 | (玄関2及び玄関3は清掃) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (残置) |
| 巾木 | 人造石研出し H80 | (図示) |
| | W5:既存巾木の上、框H100*t15 EP-G塗装 | (新設) |
| 壁 | ｼﾅ合板ｔ6 練付 目透し[EP-G塗替] | (玄関2のみ一部塗替) |
| | 不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(塩ﾋﾞ製ｸﾛｽ用ｼﾞｮｲﾅｲｰ共) | (新設) |
| | 下地は凡例参照 | |
| 天井 | GB-NC t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | 上り框:人造石研出し W30 | (図示の通り) |
| | 下足入れ:(既製品)[備品](玄関(1)(2)) | (再設置) |
| | 傘立て:鋼製(既製品)[備品](玄関(1)(2)) | (再設置) |
| | すのこ:木製[備品] | (再設置) |

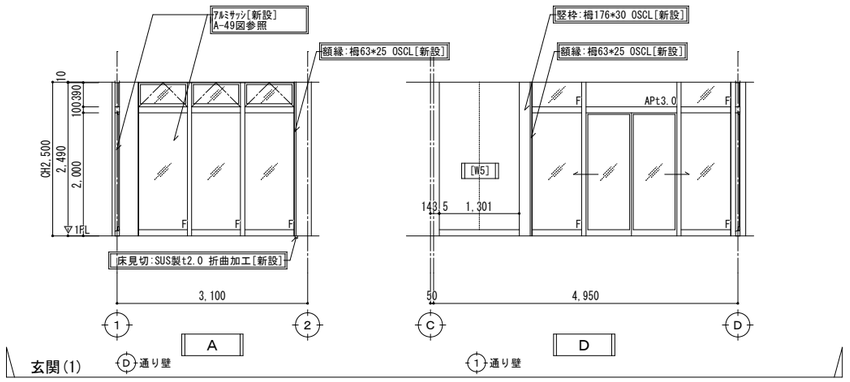
## ホール(1)(2)

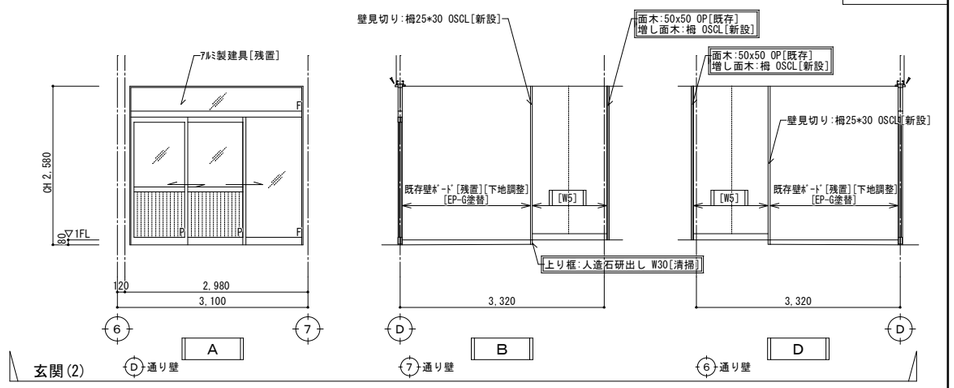
| | | |
|---|---|---|
| 床 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (下地調整) |
| 巾木 | W5:木製 OP H50[既存]の上、框H100*t15 EP-G塗装 | (新設) |
| | W1:框H100*t15 EP-G塗装 | (新設) |
| 壁 | 不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(塩ﾋﾞ製ｸﾛｽ用ｼﾞｮｲﾅｲｰ共) | (新設) |
| | 下地は凡例参照 | |
| 天井 | GB-NC t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | 既存額縁 | (塗装改修) |

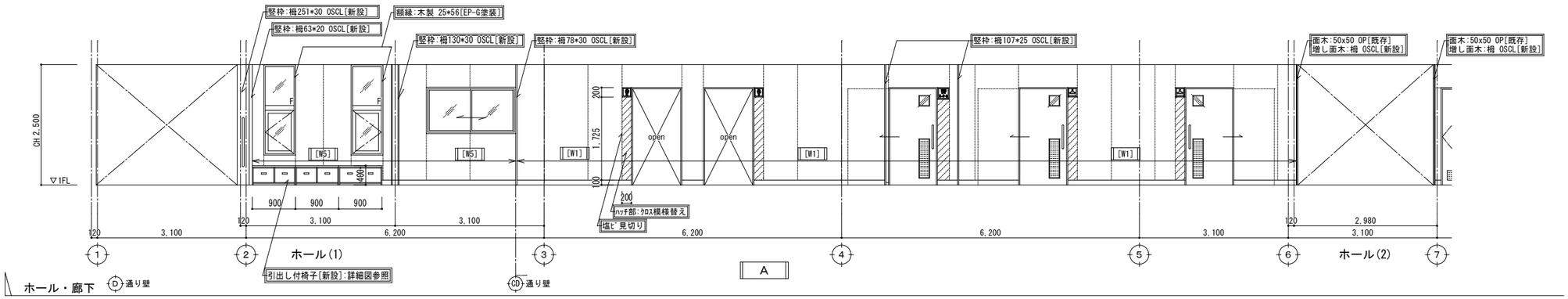
## 廊下

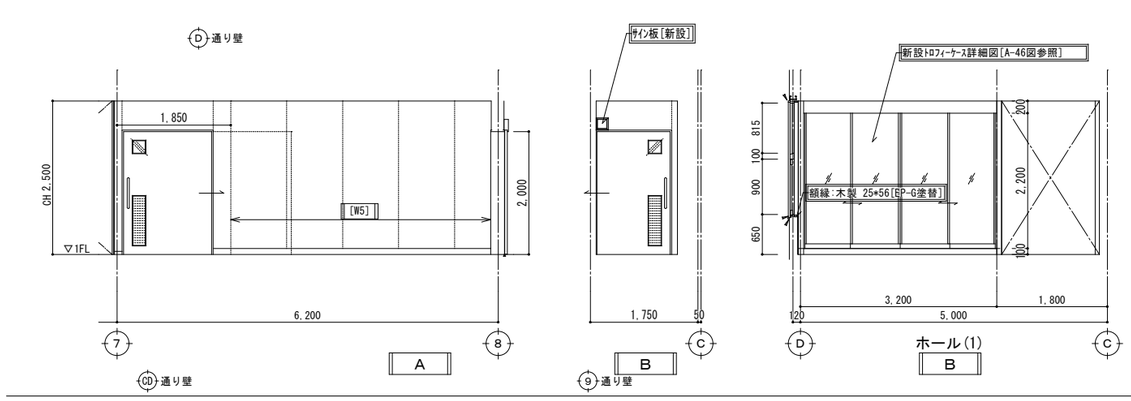
★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す

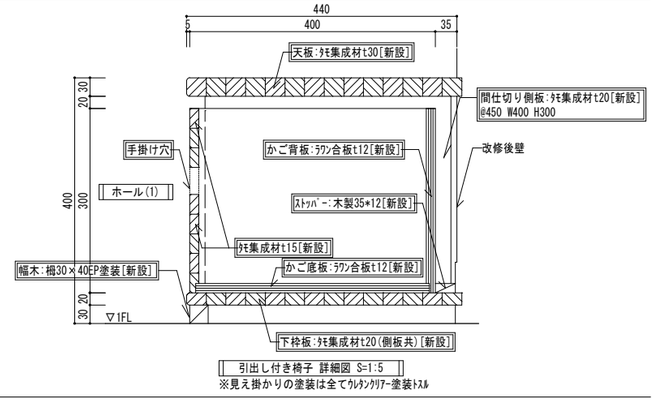
| | | |
|---|---|---|
| 床 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (下地調整) |
| 巾木 | W5:木製 OP H50[既存]の上、框H100*t15 EP-G塗装 | (新設) |
| | W1:框H100*t15 EP-G塗装 | (新設) |
| 壁 | 不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(塩ﾋﾞ製ｸﾛｽ用ｼﾞｮｲﾅｲｰ共) | (新設) |
| | 下地は凡例参照 | |
| 天井 | GB-NC t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | 室名札 | (新設) |
| | 既存額縁 | (塗装改修) |

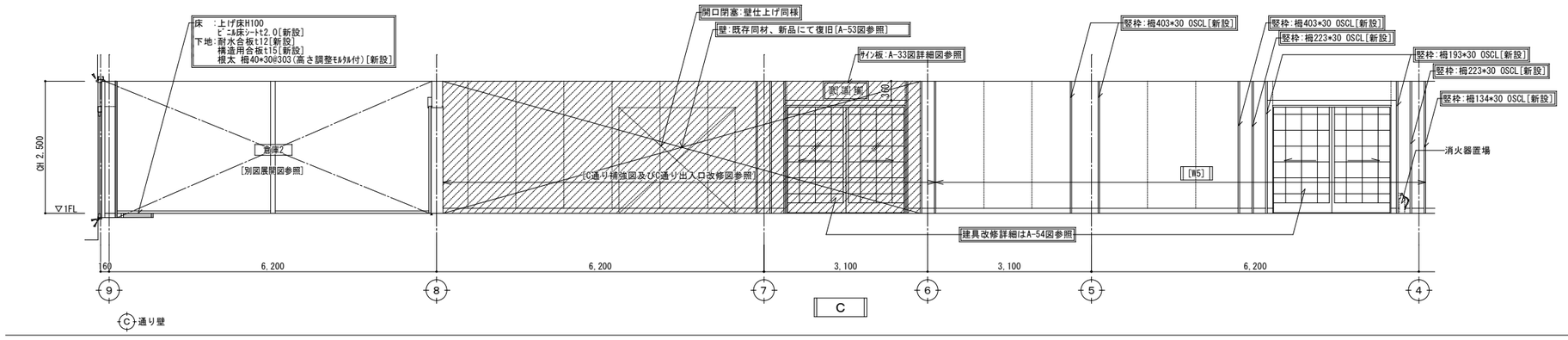



| 【凡例】 | |
|---|---|
| [W1] | LGS65型@303+GB-Rt12.5(便所はGB-S)+仕上 |
| [W2] | LGS100型@303+GB-Rt12.5+仕上 |
| [W3] | LGS100型@455+GB-Rt12.5+GB-Rt12.5+仕上 |
| [W4] | 既存木製胴縁の上GB-Rt12.5+仕上 |
| [W5] | 既存壁残置の上、下地調整、GB-Rt12.5+仕上 |
| ※壁改修のある室は、特記が無ければ鉄鋼面、ﾎﾞｰﾄﾞ面及び木部面は、塗装改修を行う事とする。 | |
| ※[W1][W2][W3]には、ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50を充填する事。 | |
| 文字 | 改修後の指示事項を示す。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 玄関・ホール・廊下展開図 【改修後】 |
| | | | | 縮尺 S=1: 50(A3版 50%縮小) |

| | |
|---|---|
| 図面種別 | A |
| 図面番号 | 32 |

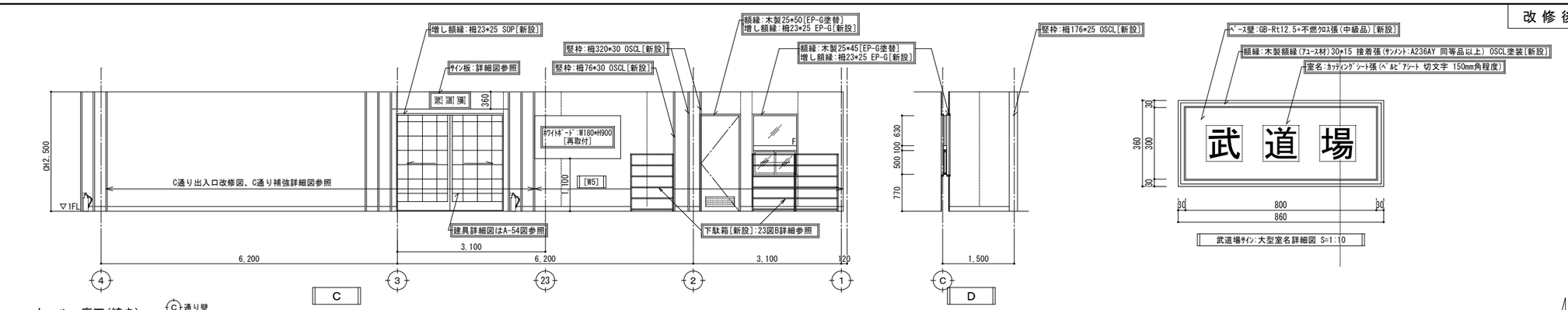
改修後

## 廊下

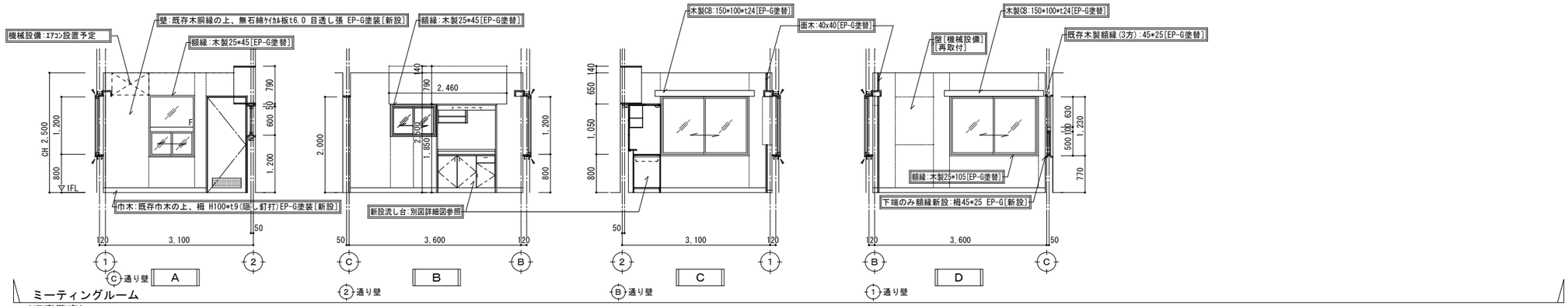
| | | |
|---|---|---|
| 床 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (下地調整) |
| 巾木 | W5:木製 OP H50[既存]の上、框 H100*t15 EP-G塗装 | (新設) |
| | W1:框 H100*t15 EP-G塗装 | (新設) |
| 壁 | 不燃ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ(塩ﾋﾞ製ｸﾛｽ用ｼﾞｮｲﾅｰ共) | (新設) |
| | 下地は凡例参照 | |
| 天井 | GB-NC t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | 室名札 | (新設) |
| | 既存額縁 | (塗装改修) |

## ミーティングルーム

| | | |
|---|---|---|
| 床 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (下地調整) |
| 巾木 | 木製 OP H50[既存]の上、框 H100*t9 EP-G塗装 | (新設) |
| 壁 | 無石綿ｹｲｶﾙ板t6.0 目透し張 EP-G塗装 | (新設) |
| | 木組(間仕切) | (既存) |
| 天井 | GB-NC t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | 受付ｶｳﾝﾀｰ、行事予定表、流し台、ｺﾝﾛ台 | (図示) |
| | FF用ｽﾘｰﾌﾞ | (周囲ｼｰﾘﾝｸﾞ打替) |
| | 既存額縁・ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ | (塗装改修) |




ホール・廊下(続き)




ミーティングルーム
(旧事務室)

【凡例】

| | |
|---|---|
| [W1] | LGS65型@303+GB-Rt12.5(便所はGB-S)+仕上 |
| [W2] | LGS100型@303+GB-Rt12.5+仕上 |
| [W3] | LGS100型@455+GB-Rt12.5+GB-Rt12.5+仕上 |
| [W4] | 既存木製胴縁の上GB-Rt12.5+仕上 |
| [W5] | 既存壁残置の上、下地調整、GB-Rt12.5+仕上 |

※壁改修のある室は、特記が無ければ鉄鋼面、ﾎﾞｰﾄﾞ面及び木部面は、塗装改修を行う事とする。

※[W1][W2][W3]には、ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50を充填する事。

[文字] 改修後の指示事項を示す。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 廊下・ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ展開図 【改修後】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1: 50(A3版 50%縮小) | 図面番号 33 |

改修後

## 倉庫1

| | | |
|---|---|---|
| 床 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (下地調整) |
| 巾木 | 木製 OP H50[既存]の上、框 H50*t15 EP塗装 | (新設) |
| 壁 | EP塗装 | (新設) |
| | 下地は凡例参照(W5:GB-Rt12.5増張) | |
| 天井 | GB-NC t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ | (EP塗装) |

## 倉庫2

| | | |
|---|---|---|
| 床 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (下地調整) |
| 巾木 | 木製 OP H50[既存]の上、框 H50*t15 EP塗装 | (新設) |
| 壁 | EP塗装 | (新設) |
| | 下地は凡例参照(W5:GB-Rt12.5増張) | |
| 天井 | GB-NC t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | 木製棚 | (新設) |

## 男子・女子更衣室

| | | |
|---|---|---|
| 床 | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾃ | (下地調整) |
| 巾木 | W1.W4:框t15.0*H50 EP-G塗装 | (新設) |
| | W5:木製 OP H50[既存]の上、框 H50*t15 EP-G塗装 | (新設) |
| 壁 | EP-G塗装 | (新設) |
| | 下地は凡例参照 | |
| 天井 | GB-NC t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | 木製棚 | (新設) |

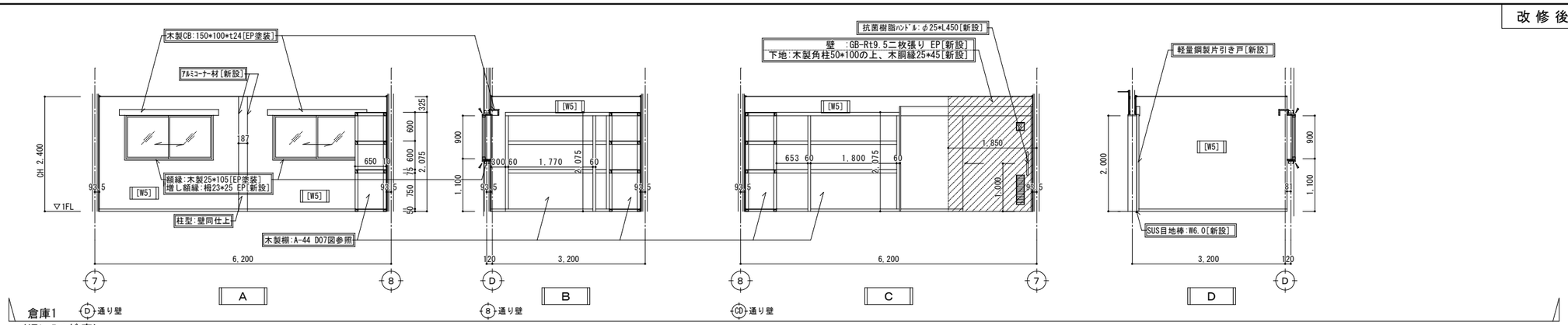
【凡例】

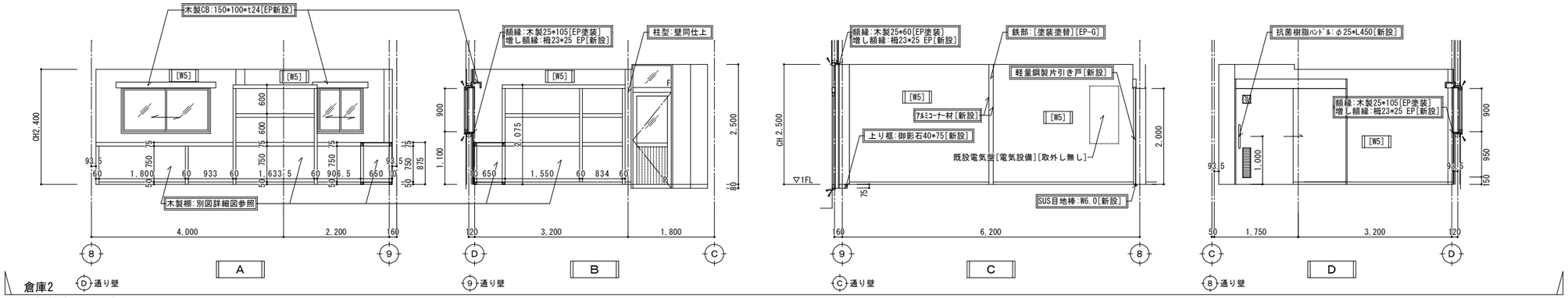
| | |
|---|---|
| [W1] | LGS65型@303+GB-Rt12.5(便所はGB-S)+仕上 |
| [W2] | LGS100型@303+GB-Rt12.5+仕上 |
| [W3] | LGS100型@455+GB-Rt12.5+GB-Rt12.5+仕上 |
| [W4] | 既存木製胴縁の上GB-Rt12.5+仕上 |
| [W5] | 既存壁残置の上、下地調整、GB-Rt12.5+仕上 |

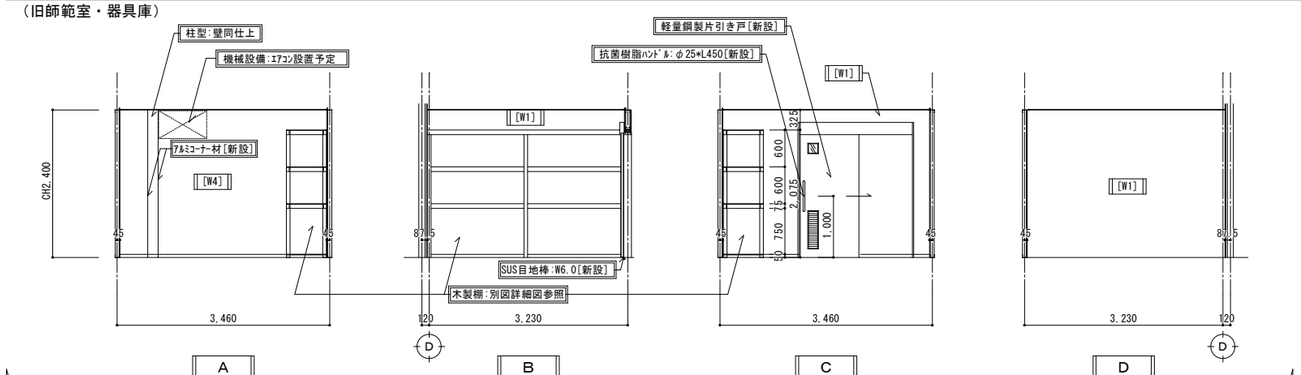
※壁改修のある室は、特記が無ければ鉄鋼面、ﾎﾞｰﾄﾞ面及び木部面は、塗装改修を行う事とする。

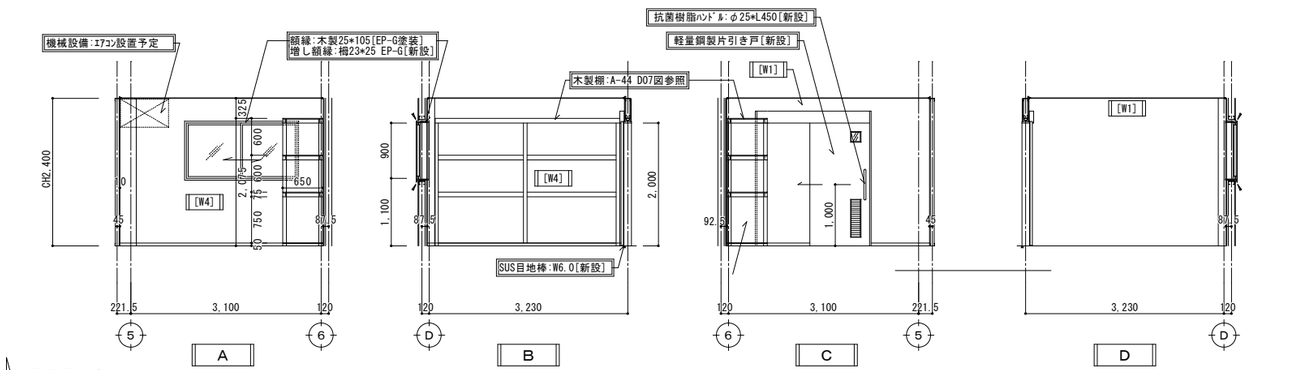
※[W1][W2][W3]には、ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50を充填する事。

文字 改修後の指示事項を示す。




| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 更衣室･倉庫展開図 【改修後】 |
| | | | | 縮尺 S=1: 50(A3版 50%縮小) |

| | |
|---|---|
| 図面種別 | A |
| 図面番号 | 34 |

改修後

## 男子便所

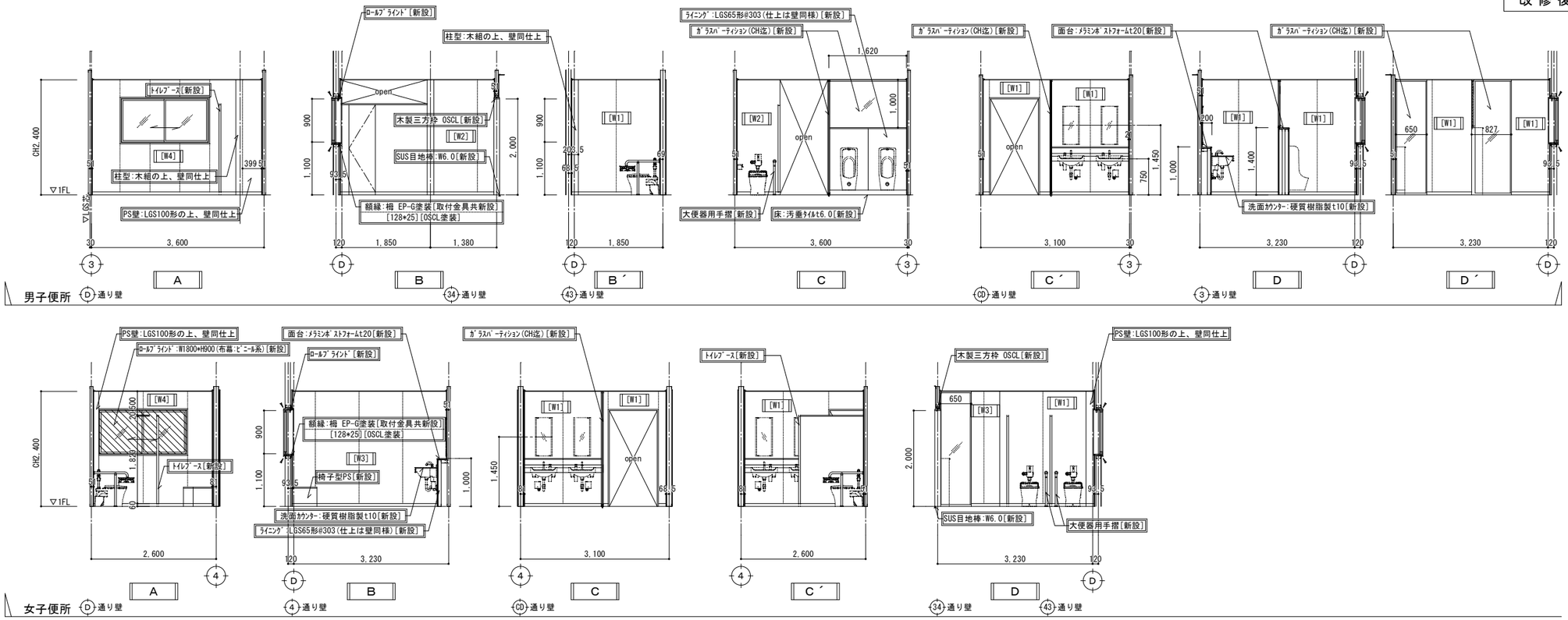
| | | |
|---|---|---|
| 床 | 防滑防汚ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | 床嵩上げ:耐水ﾗﾜﾝ合板t12.0 | (新設) |
| | 構造用合板t15.0 | (新設) |
| | 転ばし根太 柾40*30@300(高さ調整ﾓﾙﾀﾙ付) | (新設) |
| 巾木 | ﾋﾞﾆﾙ巾木H60 | (新設) |
| 壁 | 化粧ｹｲｶﾙ板t6.0(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ工法) | (新設) |
| | 下地は凡例参照 | |
| 天井 | GB-NC t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ | (新設) |
| | ﾗｲﾆﾝｸﾞ | (新設) |

## 女子便所

| | | |
|---|---|---|
| 床 | 防滑防汚ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | 床嵩上げ:耐水ﾗﾜﾝ合板t12.0 | (新設) |
| | 構造用合板t15.0 | (新設) |
| | 転ばし根太 柾40*30@300(高さ調整ﾓﾙﾀﾙ付) | (新設) |
| 巾木 | ﾋﾞﾆﾙ巾木H60 | (新設) |
| 壁 | 化粧ｹｲｶﾙ板t6.0(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ工法) | (新設) |
| | 下地は凡例参照 | |
| 天井 | GB-NC t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ | (新設) |
| | ﾗｲﾆﾝｸﾞ | (新設) |

## 多目的トイレ

| | | |
|---|---|---|
| 床 | 防滑防汚ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | 既存床下地調整 | (新設) |
| 巾木 | SUS巾木(BL仕上) H300 | (新設) |
| 壁 | 化粧ｹｲｶﾙ板t6.0(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ工法) | (新設) |
| | 下地は凡例参照 | (新設) |
| | | (新設) |
| 天井 | GB-NC t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ | (新設) |
| | ﾗｲﾆﾝｸﾞ | (新設) |

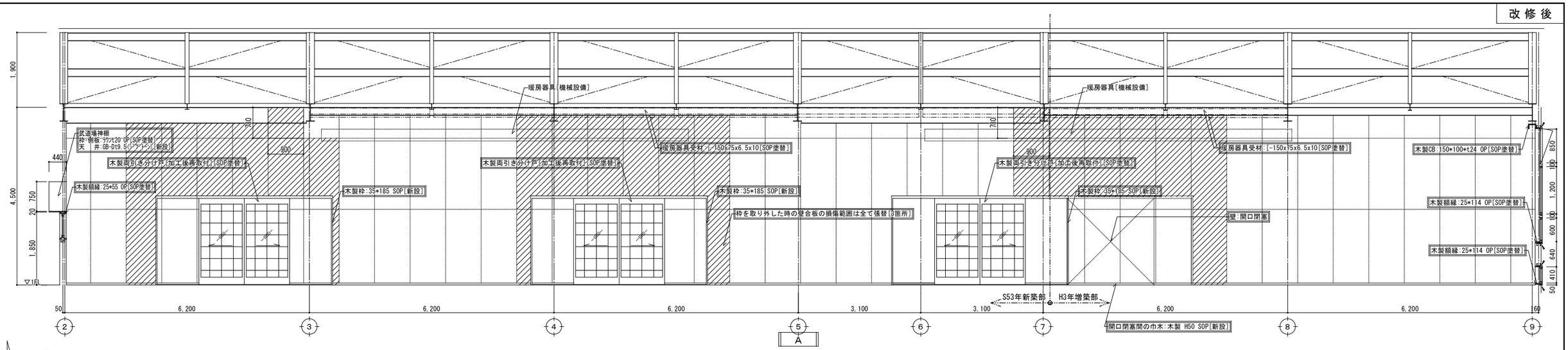



【凡例】

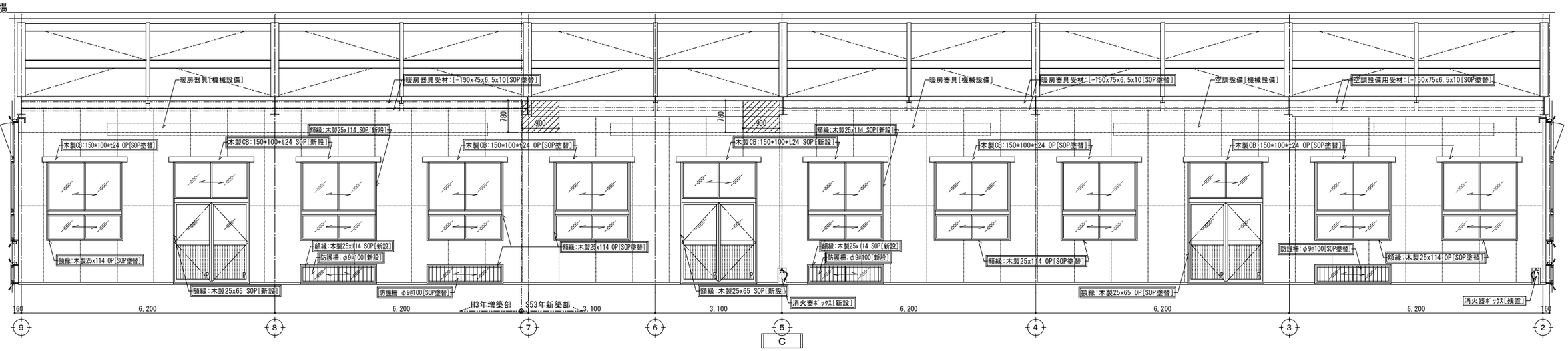
| | |
|---|---|
| [W1] | LGS65型@303+GB-Rt12.5(便所はGB-S)+仕上 |
| [W2] | LGS100型@303+GB-Rt12.5+仕上 |
| [W3] | LGS100型@455+GB-Rt12.5+GB-Rt12.5+仕上 |
| [W4] | 既存木製胴縁の上GB-Rt12.5+仕上 |
| [W5] | 既存壁残置の上、下地調整、GB-Rt12.5+仕上 |
| ※壁改修のある室は、特記が無ければ鉄鋼面、ﾎﾞｰﾄﾞ面及び木部面は、塗装改修を行う事とする。 | |
| ※[W1][W2][W3]には、ｸﾞﾗｽｳｰﾙt50を充填する事。 | |
| 文字 | 改修後の指示事項を示す。 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 便所展開図 【改修後】 縮尺 S=1: 50(A3版 50%縮小) / 図面種別 A / 図面番号 35 |

改修後




武道場



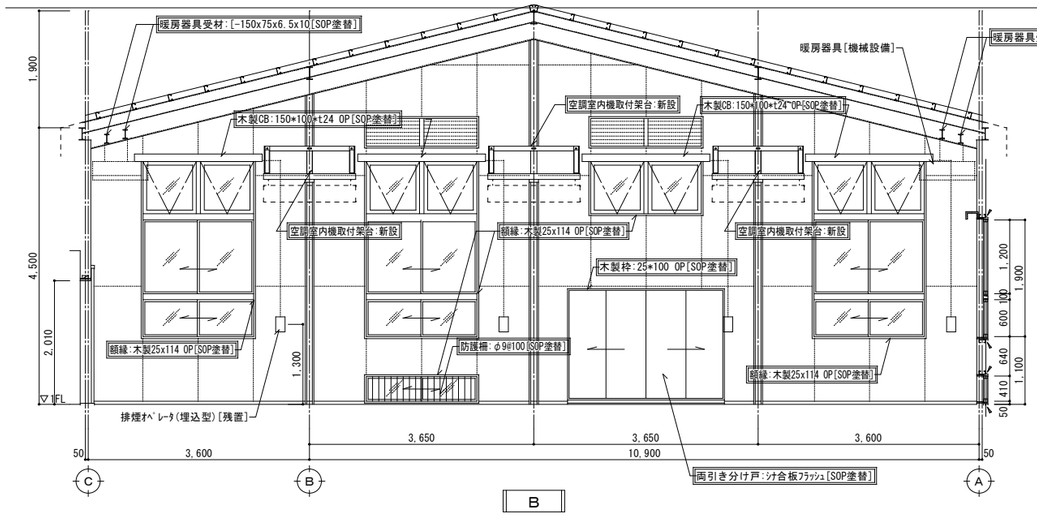

## 武道場【改修後】

| | | |
|---|---|---|
| 床 | ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t15 ｳﾚﾀﾝ(1液)3回塗 特殊張 | (木部ｳﾚﾀﾝ樹脂ﾆｽ 1液性 3回塗後ﾗｲﾝ引) |
| | 根太 + 大引 + 鋼製束(ｽﾌﾟﾘﾝｸﾞ付) + ｺﾝｸﾘｰﾄ t12 | (既存) |
| 巾木 | 木製 OP H50 | (下地調整RB種 SOP塗装) |
| 腰壁 H1800 | ｼﾞｶ合板 t6 練付 目透し OP | (下地調整RB種 SOP塗装) |
| | ﾗﾜﾝ合板 t9 + 木組(間仕切) | (既存) |
| | ﾗﾜﾝ合板 t9 + LGS(外壁面) | (既存) |
| 壁 | ｼﾞｶ合板 t6 練付 目透し OP | (下地調整RB種 SOP塗装) |
| | 木組(間仕切) | (既存) |
| | LGS(外壁面) | (既存) |
| 天井 | 白ｾﾒﾝﾄ吹付 (存置) 鉄骨小屋組 MOP | (存置) |
| | 木毛ｾﾒﾝﾄ板 t25 SUS製ｼﾞｮｲﾅｰ付 | (存置) |
| 備考 | ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ:木製 OP | (塗装改修) |
| | 姿見 W1300xH1760 t36､飾り棚 | (存置) |
| | 床ー巾木間:EXPｺﾞﾑ 15x20 | (存置) |
| | 畳t55 | (所定位置へ戻す) |

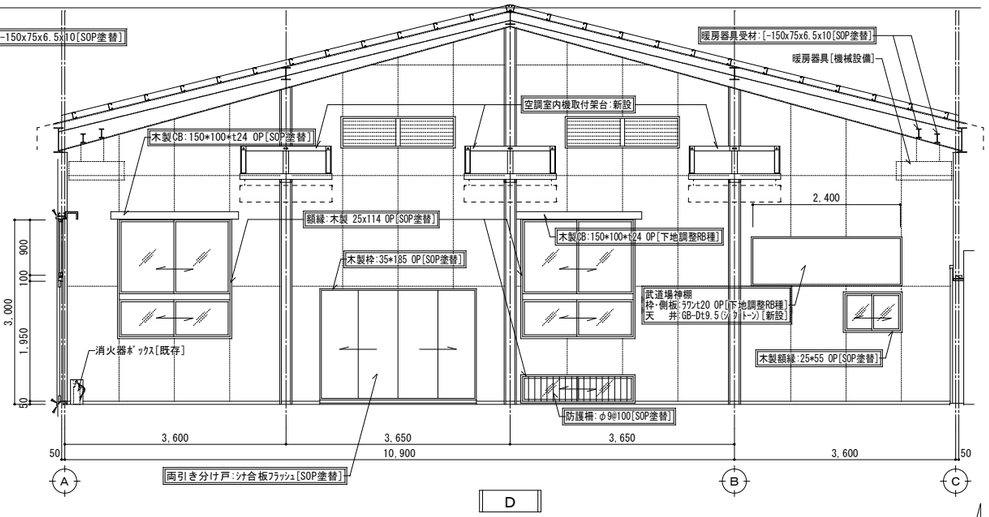
【凡例】

：壁仕上げ材新設範囲を示す。

文字　：改修後の指示事項を示す。




B

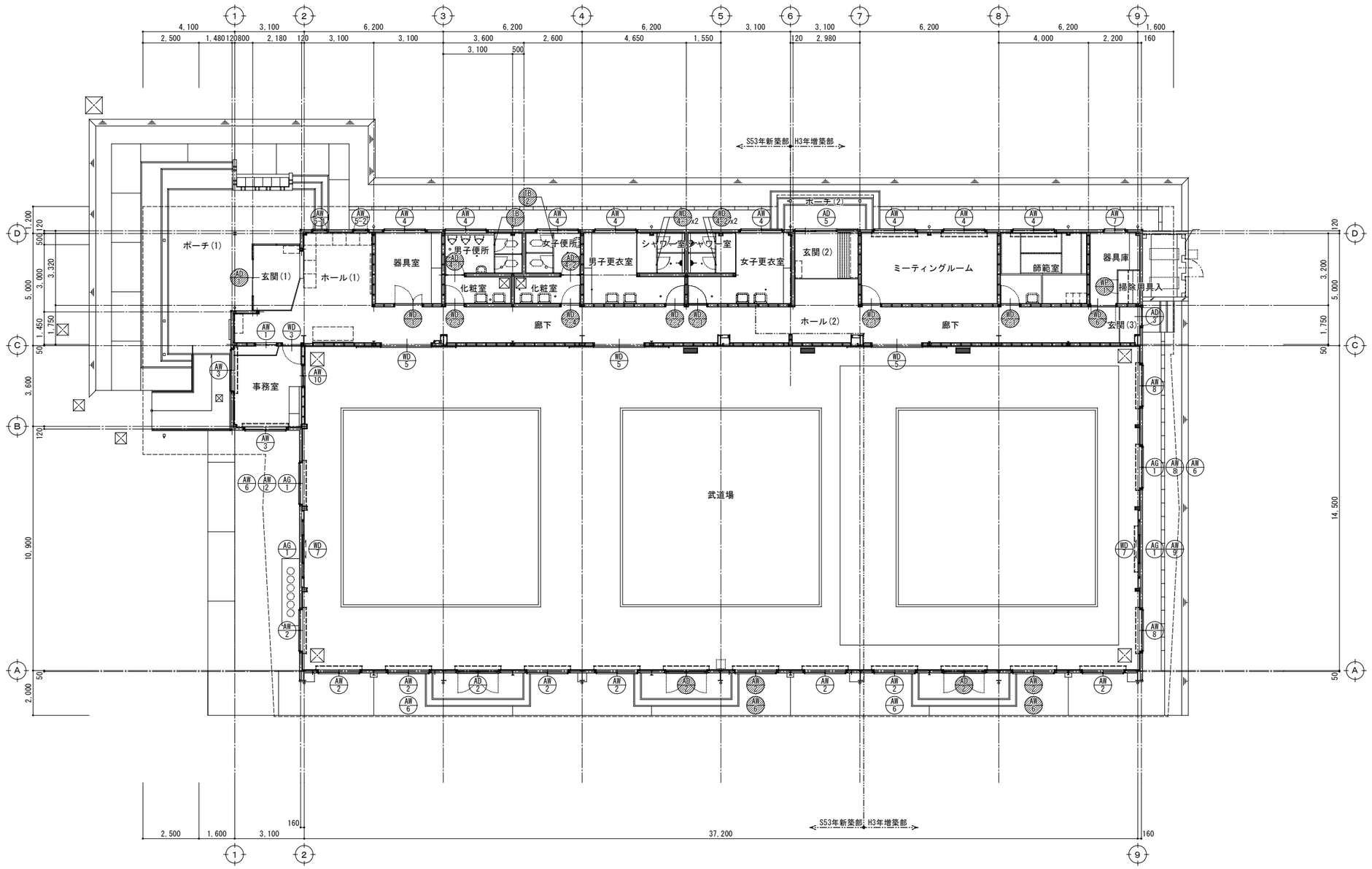



D

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 武道場展開図 【改修後】 |
| | | | | 縮尺 S=1：50(A3版 50%縮小) |

| 図面種別 | A |
|---|---|
| 図面番号 | 36 |

改修前




N

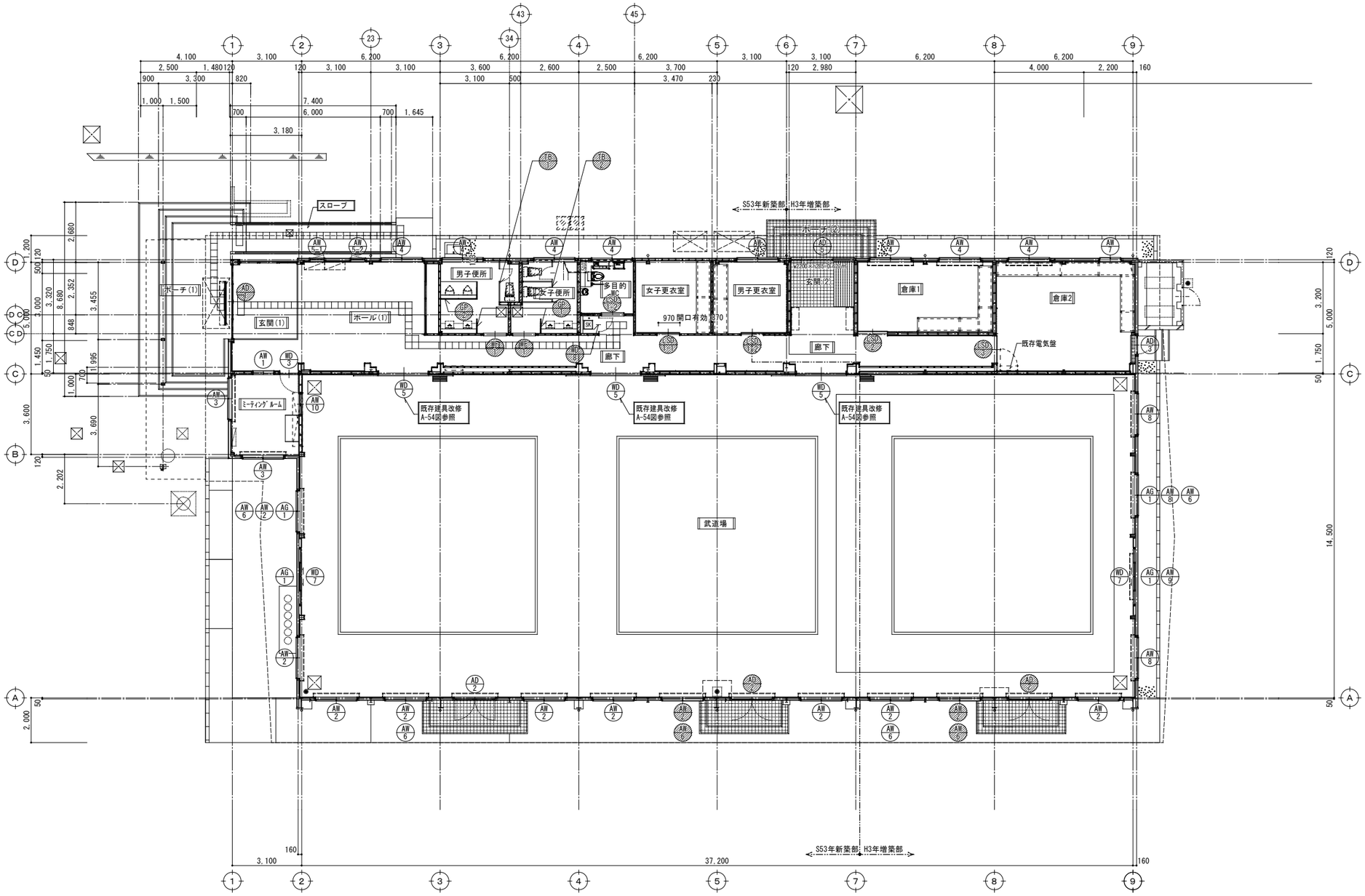
建具キープラン　S=1:100

【凡例】

撤去対象の建具を示す。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 建具キープラン 【改修前】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 37 |

改修後




建具キープラン　S=1:100

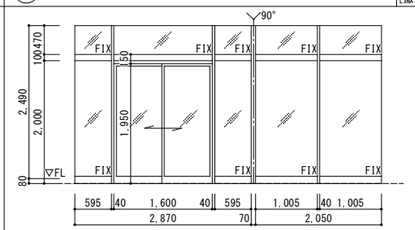
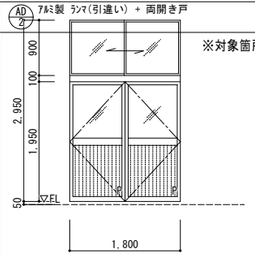
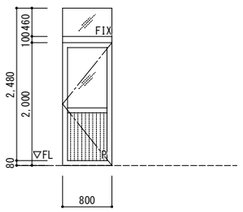
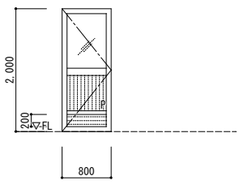
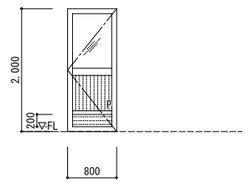
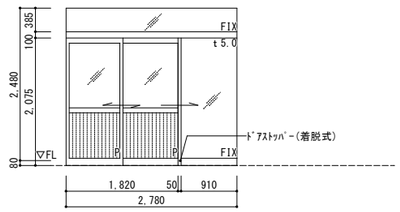
【凡例】

新設対象の建具を示す。

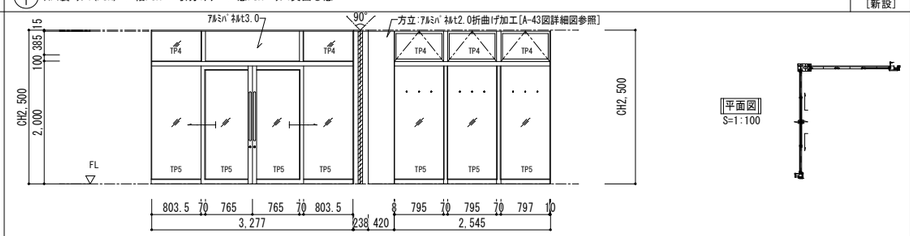
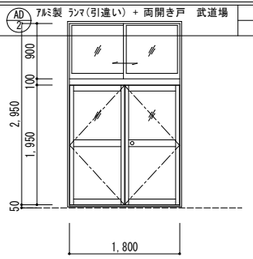
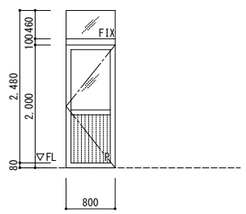
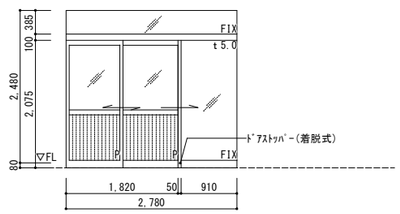
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 建具キープラン 【改修後】 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面種別 A / 図面番号 38 |

# 建具表(1)

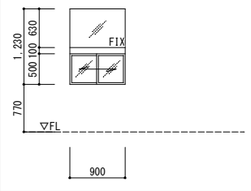
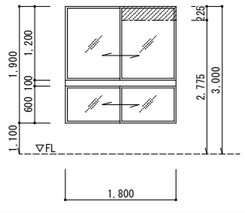
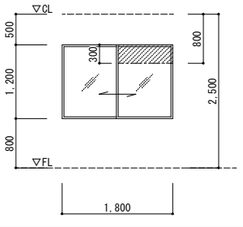
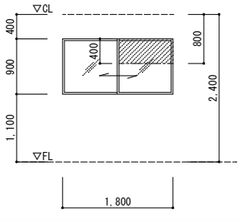
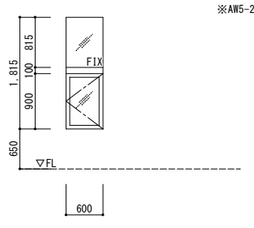
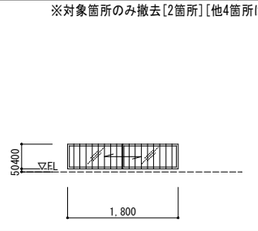
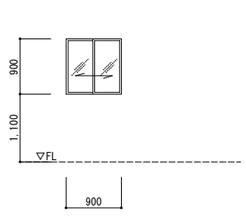
## 改修前

| 記号・形式・数量 | AD-1 アルミ製 ランマ(FIX) + 袖FIX + 引違い戸 玄関(1) 1ケ所 [撤去・処分] | AD-2 アルミ製 ランマ(引違い) + 両開き戸 武道場 3ケ所 [撤去・処分] | AD-3 アルミ製 ランマ(FIX) + 片開き戸 玄関(3) 1ケ所 [残置] | AD-4-1 アルミ製 片開き戸 男子便所 1ケ所 [撤去・処分] | AD-4-2 アルミ製 片開き戸 女子便所 1ケ所 [撤去・処分] | AD-5 アルミ製 ランマ(FIX) + 袖FIX + 引違い引込戸 玄関(2) 1ケ所 [残置] |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  ※対象箇所のみ撤去[2箇所][他1箇所は清掃] |  |  |  |  |
| 見込 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 |
| 材料・仕上 | ｱﾙﾐ(ｼｮｯﾌﾟﾌﾛﾝﾄ用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ | ｱﾙﾐ | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) |
| 硝子 | 透明t5.0 | 透明t3.0 | 透明t3.0 | 型t4.0 | 型t4.0 | 透明t3.0､5.0 |
| 金物 | 引違い戸用錠 | 丁番:SUS製､ﾄﾞｱﾁｪｯｸ､ﾌﾗｼｽ落し､ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠 | 丁番:SUS製､ﾄﾞｱﾁｪｯｸ､ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠 | 丁番:SUS製､ﾄﾞｱﾁｪｯｸ､空錠 | 丁番:SUS製､ﾄﾞｱﾁｪｯｸ､空錠 | 引戸用錠､ﾌﾗｼｽ落し |
| 備考 | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ | 腰:ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt1.5､四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外) | 腰:ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt1.5､四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外) | 腰:ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt1.5､ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ | 腰:ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt1.5､ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ | 腰:ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt1.5､ﾄﾞｱｽﾄｯﾊﾟｰ(着脱式) |

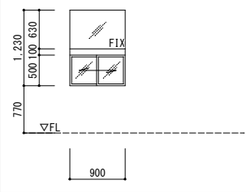
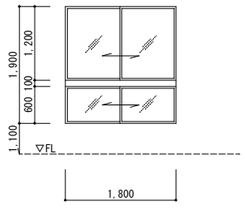
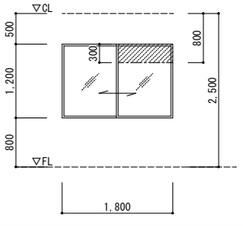
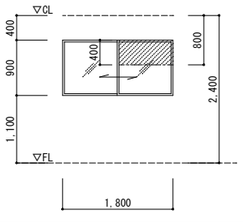
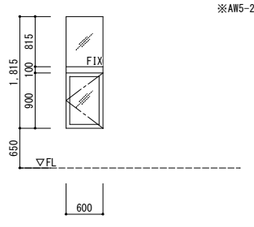
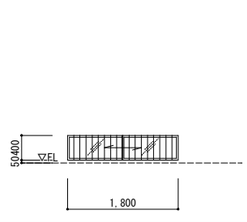
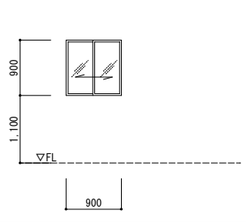
## 改修後

| 記号・形式・数量 | AD-1 アルミ製 ランマ(FIX) + 袖FIX + 引分け戸 + 窓FIX +ランマ突出し窓 1ケ所 [新設] | AD-2 アルミ製 ランマ(引違い) + 両開き戸 武道場 2ケ所 [新設] | AD-3 アルミ製 ランマ(FIX) + 片開き戸 玄関(3) 1ケ所 [清掃] | | AD-5 アルミ製 ランマ(FIX) + 袖FIX + 引違い引込戸 玄関(2) 1ケ所 [清掃] |
|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  | |  |
| 見込 | 70 | 70 | 70 | | 70 |
| 材料・仕上 | ｱﾙﾐ(ｼｮｯﾌﾟﾌﾛﾝﾄ用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) |
| 硝子 | 強化透明t5.0　ﾗﾝﾏは強化透明t4.0及びｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt3.0 | 網入り透明t6.8 | 透明t3.0 | | 透明t3.0､5.0 |
| 金物 | 取手:SUS抗菌性φ27 L=800×2本 ｼﾘﾝﾀﾞｰ・ｻﾑﾀｰﾝ錠錠2個　無目内組込ｽﾗｲﾄﾞ機構　ｱﾙﾐ大型方立　ﾗﾝﾏ突出しｼｮｯｸｱﾌﾞｿﾞｰﾊﾞｰ付き | 丁番:SUS製､ﾄﾞｱﾁｪｯｸ､ﾌﾗｼｽ落し､握り玉ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠ｻﾑﾀｰﾝ付 | 丁番:SUS製､ﾄﾞｱﾁｪｯｸ､ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠 | | 引戸用錠､ﾌﾗｼｽ落し |
| 備考 | 三方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ　沓摺り:SUS製ｶﾞｲﾄﾞﾚｰﾙ　戸当りｺﾞﾑA2個　衝突防止表示付21か所 | 腰:ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt1.5､四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外) | 腰:ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt1.5､四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外) | | 腰:ｱﾙﾐﾊﾟﾈﾙt1.5､ﾄﾞｱｽﾄｯﾊﾟｰ(着脱式) |

## 改修前

| 記号・形式・数量 | AW-1 アルミ製 ランマ(FIX) + 引違い戸 事務室 1ケ所 [残置] | AW-2 アルミ製 引違い段窓 武道場 11ケ所 [撤去・処分] | AW-3 アルミ製 引違い窓 事務室 2ケ所 [残置] | AW-4 アルミ製 引違い窓 器具室、便所、更衣室、ミーティングルーム、師範室 8ケ所 [残置] | AW-5-1 AW-5-2 アルミ製 ランマ(FIX) + 片開き窓 ホール(1) 各1ケ所 [残置] | AW-6 アルミ製 引違い窓 武道場 6ケ所 [撤去・処分] | AW-7 アルミ製 引違い窓 器具庫 1ケ所 [残置] | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  ※対象箇所のみ撤去[2箇所][他9箇所は清掃] |  |  |  ※AW5-2は反転 |  ※対象箇所のみ撤去[2箇所][他4箇所は清掃] |  | |
| 見込 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | |
| 材料・仕上 | ｱﾙﾐ | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | |
| 硝子 | 透明t3.0 | 透明t3.0 | 透明t3.0 | 型t4.0 | 透明t3.0 | 透明t3.0 | 型t4.0 | |
| 金物 | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式 | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式 | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式 | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式 | 丁番:SUS製､ﾗｯﾁ錠､角度調節器 | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式　防護柵[SOP塗替] | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式 | |
| 備考 | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外)､網戸(ｻﾗﾝ)2段 | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外)､網戸(ｻﾗﾝ) | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ(便所はなし)､四方ｱﾙﾐ水切(屋外)､網戸(ｻﾗﾝ) | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外) | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外)､網戸(ｻﾗﾝ)､防護柵 | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外)､網戸(ｻﾗﾝ) | |

## 改修後

| 記号・形式・数量 | AW-1 アルミ製 ランマ(FIX) + 引違い戸 事務室 1ケ所 [清掃] | AW-2 アルミ製 引違い段窓 武道場 2ケ所 [新設] | AW-3 アルミ製 引違い窓 事務室 2ケ所 [清掃] | AW-4 アルミ製 引違い窓 器具室、便所、更衣室、ミーティングルーム、師範室 8ケ所 [清掃] | AW-5-1 AW-5-2 アルミ製 ランマ(FIX) + 片開き窓 ホール(1) 各1ケ所 [清掃] | AW-6 アルミ製 引違い窓 武道場 2ケ所 [新設] | AW-7 アルミ製 引違い窓 器具庫 1ケ所 [清掃] | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  |  |  ※AW5-2は反転 |  |  | |
| 見込 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | 70 | |
| 材料・仕上 | ｱﾙﾐ | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | |
| 硝子 | 透明t3.0 | 網入り透明t6.8 | 透明t3.0 | 型t4.0 | 透明t3.0 | 網入り透明t6.8 | 型t4.0 | |
| 金物 | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式 | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式 | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式 | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式 | 丁番:SUS製､ﾗｯﾁ錠､角度調節器 | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式　防護柵[SOP塗替] | ｸﾚｾﾝﾄ､付属金物一式 | |
| 備考 | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外)､網戸(ｻﾗﾝ)2段 | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外)､網戸(ｻﾗﾝ) | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ(便所はなし)､四方ｱﾙﾐ水切(屋外)､網戸(ｻﾗﾝ) | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外) | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外)､網戸(ｻﾗﾝ) | 四方ｱﾙﾐｱﾝｸﾞﾙ､四方ｱﾙﾐ水切(屋外)､網戸(ｻﾗﾝ) | |

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

図面名: 建具表(1)　【改修前・後】

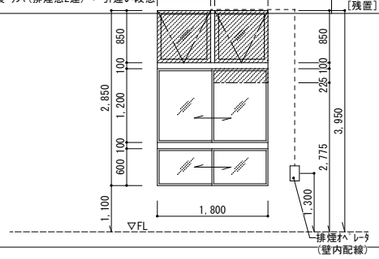
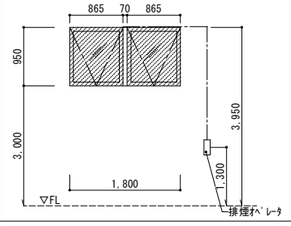
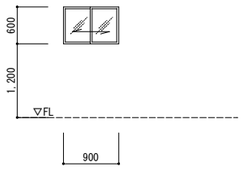
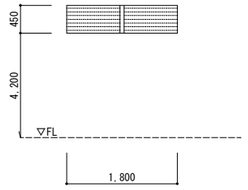
縮尺: S=1: 50(A3版 50%縮小)

図面種別: A

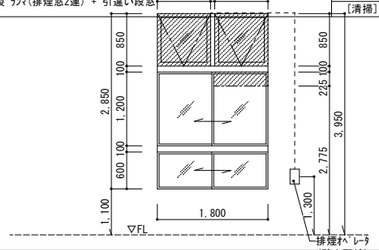
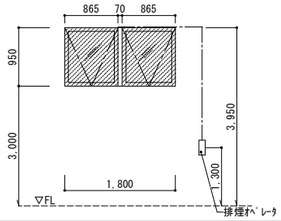
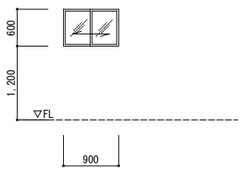
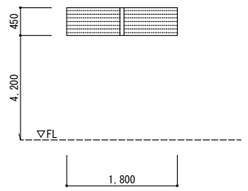
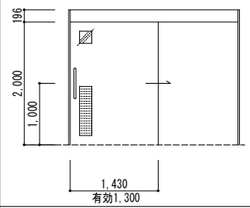
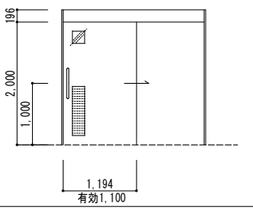
図面番号: 39

# 建 具 表 (2)

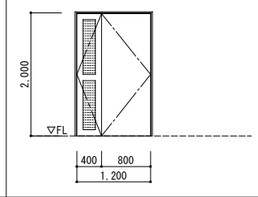
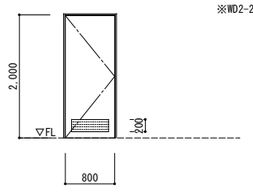
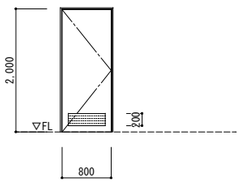
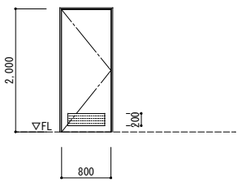
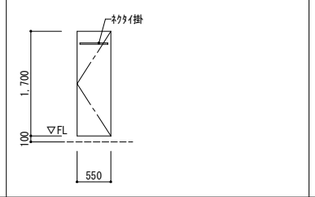
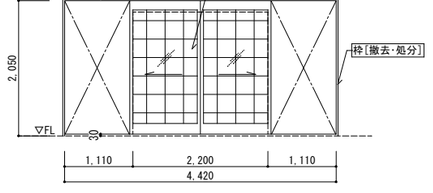
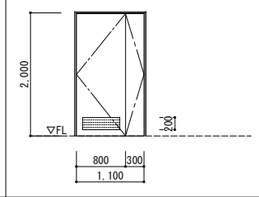
## 改修前

| 記号・形式・数量 | AW-8 ｱﾙﾐ製 ﾗｼﾏ(排煙窓2連) + 引違い段窓 武道場 3ヶ所 [残置] | AW-9 ｱﾙﾐ製 排煙窓2連 武道場 1ヶ所 [残置] | AW-10 ｱﾙﾐ製 引違い窓 事務室 1ヶ所 [残置] | AG-1 ｱﾙﾐ製 ｶﾞﾗﾘ 武道場 4ヶ所 [残置] | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  |  | | |
| 見込 | 70 | 70 | 70 | 70 | | |
| 材料・仕上 | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | | |
| 硝子 | 透明ｔ3.0 | 透明ｔ3.0 | 透明ｔ3.0 | 透明ｔ3.0 | | |
| 金物 | ｸﾚｾﾝﾄ、付属金物一式 | 付属金物一式 | ｸﾚｾﾝﾄ、付属金物一式 | 付属金物一式 | | |
| 備考 | 四方ｱﾙﾐﾏﾝｸﾞﾙ、網戸(ｻﾗｼ)2段、排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀ(埋込型) | 四方ｱﾙﾐﾏﾝｸﾞﾙ、排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀ(埋込式) | | 四方ｱﾙﾐﾏﾝｸﾞﾙ、四方ｱﾙﾐ水切(屋外)、網戸(ｻﾗｼ) | | |

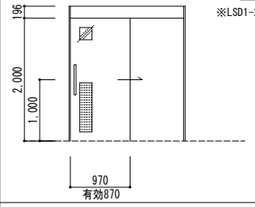
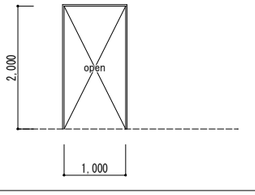
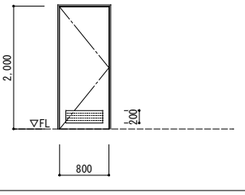
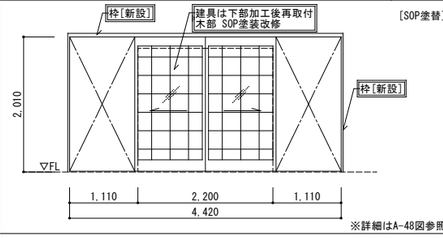
## 改修後

| 記号・形式・数量 | AW-8 ｱﾙﾐ製 ﾗｼﾏ(排煙窓2連) + 引違い段窓 武道場 3ヶ所 [清掃] | AW-9 ｱﾙﾐ製 排煙窓2連 武道場 1ヶ所 [清掃] | AW-10 ｱﾙﾐ製 引違い窓 事務室 1ヶ所 [清掃] | AG-1 ｱﾙﾐ製 ｶﾞﾗﾘ 武道場 4ヶ所 [清掃] | LSD-2 軽量鋼製片引き戸 倉庫1 1ヶ所 [新設] | LSD-3 軽量鋼製片引き戸 倉庫2 1ヶ所 [新設] |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  |  |  |  |  |  |
| 見込 | 70 | 70 | 70 | 70 | 戸:40 枠:226 | 戸:40 枠:207 |
| 材料・仕上 | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | ｱﾙﾐ | ｱﾙﾐ(鉄骨用ｻｯｼ) | 戸:表面 木目調ｼｰﾄ 枠:亜鉛ﾒｯｷ鋼板t1.6 | 戸:表面 木目調ｼｰﾄ 枠:亜鉛ﾒｯｷ鋼板t1.6 |
| 硝子 | 透明ｔ3.0 | 透明ｔ3.0 | 透明ｔ3.0 | 透明ｔ3.0 | 網入り型板ｶﾞﾗｽt6.8 | 網入り型板ｶﾞﾗｽt6.8 |
| 金物 | ｸﾚｾﾝﾄ、付属金物一式 | 付属金物一式 | ｸﾚｾﾝﾄ、付属金物一式 | 付属金物一式 | 樹脂製戸車・ﾍﾞｰｽ板亜鉛ﾒｯｷt2.3(防錆塗装)・ｼﾘﾝﾀﾞｰ・ｻﾑﾀｰﾝ<br>ﾚｰﾙ:ｱﾙﾐ押出形材(ｱﾙﾏｲﾄ)・ｶﾞﾗﾘ:ｱﾙﾐ押出形材(ｱﾙﾏｲﾄ)<br>駆動装置:傾斜ﾚｰﾙ 制御装置ｴｱﾀﾞﾝﾊﾟ・非常時開錠付<br>取っ手:SUS鏡面ﾊﾝﾄﾞﾙ:φ25*L400(握り部は抗菌樹脂製) | 樹脂製戸車・ﾍﾞｰｽ板亜鉛ﾒｯｷt2.3(防錆塗装)・ｼﾘﾝﾀﾞｰ・ｻﾑﾀｰﾝ<br>ﾚｰﾙ:ｱﾙﾐ押出形材(ｱﾙﾏｲﾄ)・ｶﾞﾗﾘ:ｱﾙﾐ押出形材(ｱﾙﾏｲﾄ)<br>駆動装置:傾斜ﾚｰﾙ 制御装置ｴｱﾀﾞﾝﾊﾟ・非常時開錠付<br>取っ手:SUS鏡面ﾊﾝﾄﾞﾙ:φ25*L400(握り部は抗菌樹脂製) |
| 備考 | 四方ｱﾙﾐﾏﾝｸﾞﾙ、網戸(ｻﾗｼ)2段、排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀ(埋込型) | 四方ｱﾙﾐﾏﾝｸﾞﾙ、排煙ｵﾍﾟﾚｰﾀ(埋込式) | | 四方ｱﾙﾐﾏﾝｸﾞﾙ、四方ｱﾙﾐ水切(屋外)、網戸(ｻﾗｼ) | | |

## 改修前

| 記号・形式・数量 | WD-1 木製 親子開きﾌﾗｯｼｭ戸 器具室 1ヶ所 [撤去・処分] | WD-2-1 WD-2-2 木製 片開きﾌﾗｯｼｭ戸 [撤去・処分]<br>2-1 女子更衣室、ミーティングルーム、師範室 3ヶ所<br>2-2 男子更衣室 1ヶ所 | WD-2-3 WD-2-4 木製 片開きﾌﾗｯｼｭ戸 2-3 男子化粧室 1ヶ所<br>2-4 女子化粧室 1ヶ所 | WD-3 木製 片開きﾌﾗｯｼｭ戸 事務室 1ヶ所 [残置] | WD-4-1 WD-4-2 木製 片開きﾌﾗｯｼｭ戸 4-1 男子ｼｬﾜｰ室 2ヶ所<br>4-2 女子ｼｬﾜｰ室 2ヶ所 | WD-5 木製 引分け格子戸 武道場 3ヶ所 [一時取外し] | WD-6 木製 親子開きﾌﾗｯｼｭ戸 器具庫 1ヶ所 [撤去・処分] |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 |  | ※WD2-2は反転<br>  | ※WD2-4は反転 [撤去・処分]<br>  | [塗装下地調整RA種]<br>  | ※WD4-2は反転 [撤去・処分]<br>  | [塗装下地調整RB種]<br>  |  |
| 見込 | 戸:36 枠:162 | 戸:36 枠:161、162 | 戸:36 枠:171 | 戸:36 枠:161[塗装下地調整RA種] | 40 | 戸:40 | 戸:36 枠:162 |
| 材料・仕上 | ｼﾅ合板ｔ4.0 OP | ｼﾅ合板ｔ4.0 OP | ｼﾅ合板ｔ4.0 OP | ｼﾅ合板ｔ4.0 OP[塗装下地調整RA種] | ｼﾅ合板ｔ4.0 OP | 木製 SOP[塗装改修] | ｼﾅ合板ｔ4.0 OP |
| 硝子 | - | - | - | - | - | 透明ｔ5.0[清掃] | - |
| 金物 | 丁番:SUS製、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾌﾗｽｽ落し、ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠 | 丁番:SUS製、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠 | 丁番:SUS製、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、空錠 | 丁番:SUS製、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠[残置] | ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ﾗｯﾁ、ｽﾄﾗｲｸ | 引手、上吊用戸車、上吊用ﾚｰﾙ、下部振止めﾚｰﾙは全て解体撤去処分 | 丁番:SUS製、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ﾌﾗｽｽ落し、ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠 |
| 備考 | ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、吊摺:SUS製 | ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、吊摺:SUS製 | ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、吊摺:人造石研出し | ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、吊摺:SUS製[残置] | ﾈｸﾀｲ掛:SUS製 | | ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、吊摺:SUS製 |

## 改修後

| 記号・形式・数量 | | LSD-1-1 LSD-1-2 軽量鋼製片引き戸 [新設]<br>1-1 女子更衣室 1ヶ所<br>1-2 男子更衣室・多目的トイレ 2ヶ所 | WF-1 木製三方枠 男子便所 女子便所 2ヶ所 [新設] | WD-3 木製 片開きﾌﾗｯｼｭ戸 事務室 1ヶ所 [塗装塗替] | | WD-5 木製 引分け格子戸 武道場 3ヶ所 [加工後再取付] | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 姿図 | | ※LSD1-2は反転<br>  |  | [EP-G塗装 B種]<br>  | | [SOP塗替]<br>  <br>※詳細はA-48図参照 | |
| 見込 | | 戸:40 枠:110 | 116 / 見付25 | 戸:36 枠:161[EP-G塗装 B種] | | 戸:40 | |
| 材料・仕上 | | 戸:表面 木目調ｼｰﾄ 枠:亜鉛ﾒｯｷ鋼板t1.6(焼付塗装) | 木製 OSCL塗装 | ｼﾅ合板ｔ4.0 [EP-G塗装 B種] | | 木製 SOP[塗装改修] | |
| 硝子 | | 網入り型板ｶﾞﾗｽt4.0 | | - | | 透明ｔ5.0[清掃] | |
| 金物 | | 樹脂製戸車・ﾍﾞｰｽ板亜鉛ﾒｯｷt2.3(防錆塗装)・ｼﾘﾝﾀﾞｰ・ｻﾑﾀｰﾝ<br>ﾚｰﾙ:ｱﾙﾐ押出形材(ｱﾙﾏｲﾄ)・ｶﾞﾗﾘ:ｱﾙﾐ押出形材(ｱﾙﾏｲﾄ)<br>駆動装置:傾斜ﾚｰﾙ 制御装置ｴｱﾀﾞﾝﾊﾟ・非常時開錠付<br>取っ手:SUS鏡面ﾊﾝﾄﾞﾙ:φ25*L400(握り部は抗菌樹脂製) | 床見切り:SUS目地棒t6.0 | 丁番:SUS製、ﾄﾞｱﾁｪｯｸ、ｼﾘﾝﾀﾞｰ円筒錠 | | 引手、上吊用戸車、上吊用ﾚｰﾙ、下部振止めﾚｰﾙは全て新設 | |
| 備考 | | | 取付金物一式 | ｱﾙﾐｶﾞﾗﾘ、吊摺:SUS製 | | | |

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

図面名 建具表(2) 【改修前・後】

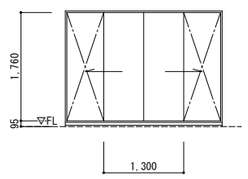
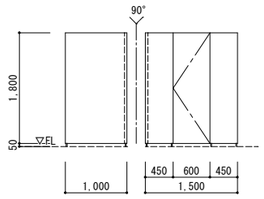
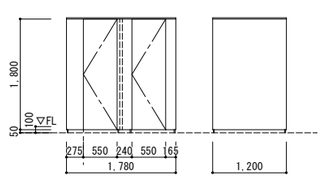
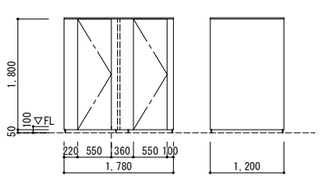
縮尺 S=1: 50(A3版 50%縮小)

図面種別 A

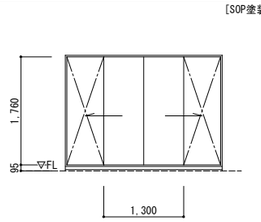
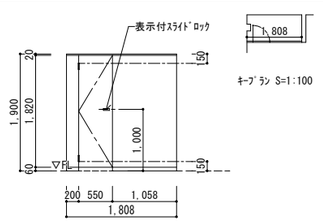
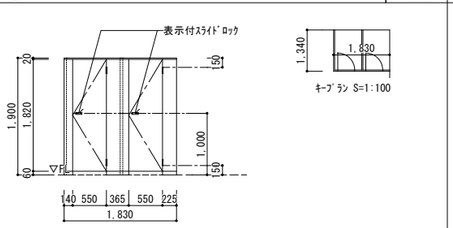
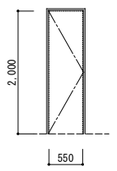
図面番号 40

# 建 具 表 (3)

## 改修前

| 記号・形式・数量 | WD-7 木製 引分けﾌﾗｯｼｭ戸 武道場 2ヶ所 [塗装改修] | WP-1 木製 ﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ 器具庫(掃除用具入) 1ヶ所 [撤去・処分] | TB-1 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 男子便所 1ヶ所 [撤去・処分] | TB-2 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ 女子便所 1ヶ所 [撤去・処分] |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 | [塗装下地調整RB種]   |   |   |   |
| 見込 | 36 | 40 | 40 | 40 |
| 材料・仕上 | ｼﾅ合板ｔ4.0 OP[塗装下地調整RB種] | 木製 SOP | ｼﾅ合板ｔ4.0 OP | ｼﾅ合板ｔ4.0 OP |
| 硝子 | - | - | - | - |
| 金物 | 船底引手:SUS製､ﾚｰﾙ:真ちゅう製､戸車:SUS製 | 丁番、空錠 | ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ﾗｯﾁ、ｽﾄﾗｲｸ | ﾗﾊﾞﾄﾘｰﾋﾝｼﾞ、ﾗｯﾁ、ｽﾄﾗｲｸ |
| 備考 | | SUSﾊﾟｲﾌﾟ φ25､Sｶﾝ 6個 | 帽子掛:SUS製、戸当り | 帽子掛:SUS製、戸当り |

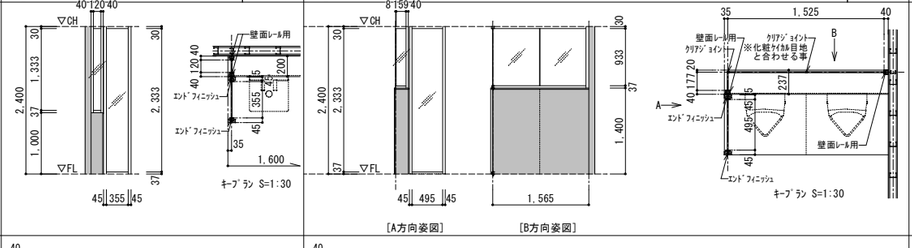
## 改修後

| 記号・形式・数量 | WD-7 木製 引分けﾌﾗｯｼｭ戸 武道場 2ヶ所 [塗装改修] | TB-1 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ[ｽﾃﾝﾚｽﾌﾗｯﾄﾞｴｯｼﾞ型・巾木仕様・丁番吊] 男子便所 1ヶ所 [新設] | TB-2 ﾄｲﾚﾌﾞｰｽ[ｽﾃﾝﾚｽﾌﾗｯﾄﾞｴｯｼﾞ型・巾木仕様・丁番吊] 女子便所 1ヶ所 [新設] | WD-8 木製片開きﾄﾞｱ SK室(掃除用具入れ) 1ヶ所 [新設] |
|---|---|---|---|---|
| 姿図 | [SOP塗装 B種]   |   |   |   |
| 見込 | 36 | 40 | 40 | 扉見込40 / 枠見込116 |
| 材料・仕上 | ｼﾅ合板ｔ4.0 OP[SOP塗装 B種] | 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板 | 高圧ﾒﾗﾐﾝ樹脂化粧板 | 扉:木目調ﾒﾗﾐﾝﾌﾗｯｼｭ合板ﾊﾟﾈﾙ 扉:大手:ｽﾌﾟﾙｰｽ厚4mm OSCL塗装 / 枠:OSCL塗装 |
| 硝子 | - | | | |
| 金物 | 船底引手:SUS製､ﾚｰﾙ:真ちゅう製､戸車:SUS製 | 目板・戸当り・ｺｰﾅｰｶﾊﾞｰ・笠木・壁面ﾚｰﾙ:SUS HL仕上、表示付きｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、内ﾛｯｸ受 | 目板・戸当り・ｺｰﾅｰｶﾊﾞｰ・笠木・壁面ﾚｰﾙ:SUS HL仕上、表示付きｽﾗｲﾄﾞﾛｯｸ、内ﾛｯｸ受 | 丁番・ﾄﾞｱﾁｪｯｸ・ｼﾘﾝﾀﾞｰ錠・ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ空錠・SUS音摺M40・他取付金物一式 |
| 備考 | | 笠木蓋付き | 笠木蓋付き | |

## 改修前

| 記号・形式・数量 | |
|---|---|
| 姿図 | |
| 見込 | |
| 材料・仕上 | |
| 硝子 | |
| 金物 | |
| 備考 | |

## 改修後

| 記号・形式・数量 | GP-1 ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(全面ｶﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ) 男子便所 女子便所 2ヶ所 [新設] | GP-2 ｶﾞﾗｽﾊﾟｰﾃｨｼｮﾝ(全面ｶﾞﾗｽﾀｲﾌﾟ) 男子便所 1ヶ所 [新設] |
|---|---|---|
| 姿図 |   | |
| 見込 | 40 | 40 |
| 材料・仕上 | — | — |
| 硝子 | ﾌﾛｰﾄt12+柄付き飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り付け | ﾌﾛｰﾄt12+柄付き飛散防止ﾌｨﾙﾑ貼り付け |
| 金物 | 壁面ﾚｰﾙ・ｴﾝﾄﾞﾌｨﾆｯｼｭ:冷間圧延鋼板(焼付塗装) 上ﾚｰﾙ・下ﾚｰﾙ:ｱﾙﾐ押出形材(焼付塗装) | 壁面ﾚｰﾙ・ｴﾝﾄﾞﾌｨﾆｯｼｭ:冷間圧延鋼板(焼付塗装) 上ﾚｰﾙ・下ﾚｰﾙ:ｱﾙﾐ押出形材(焼付塗装) |
| 備考 | ｶﾞﾗｽ押さえ:ｼｰﾘﾝｸﾞ | ｶﾞﾗｽ押さえ:ｼｰﾘﾝｸﾞ |

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

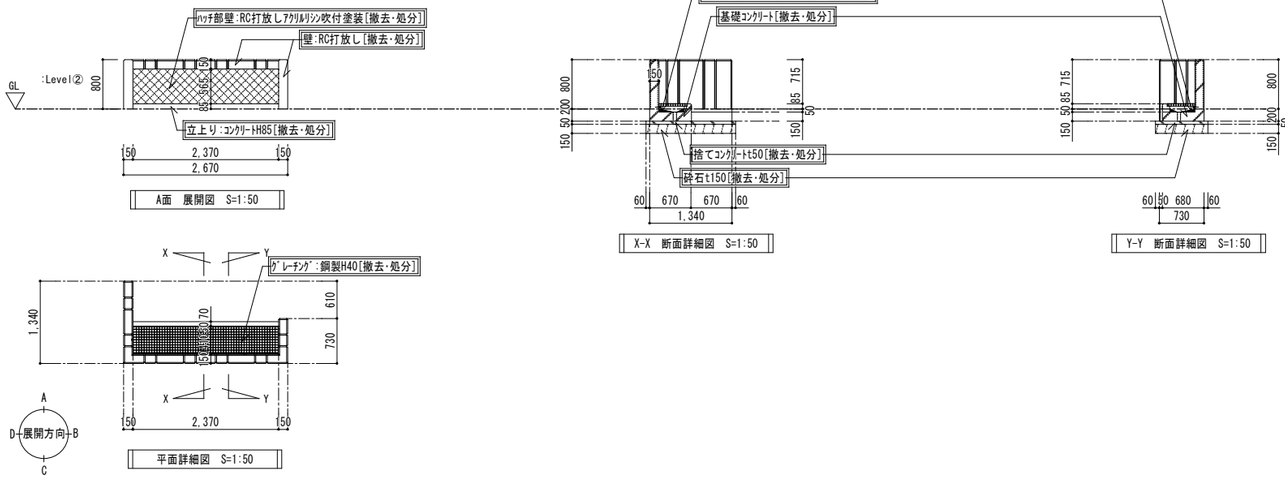
図面名: 建具表(3) 【改修前・後】

縮尺: S=1: 50(A3版 50%縮小)

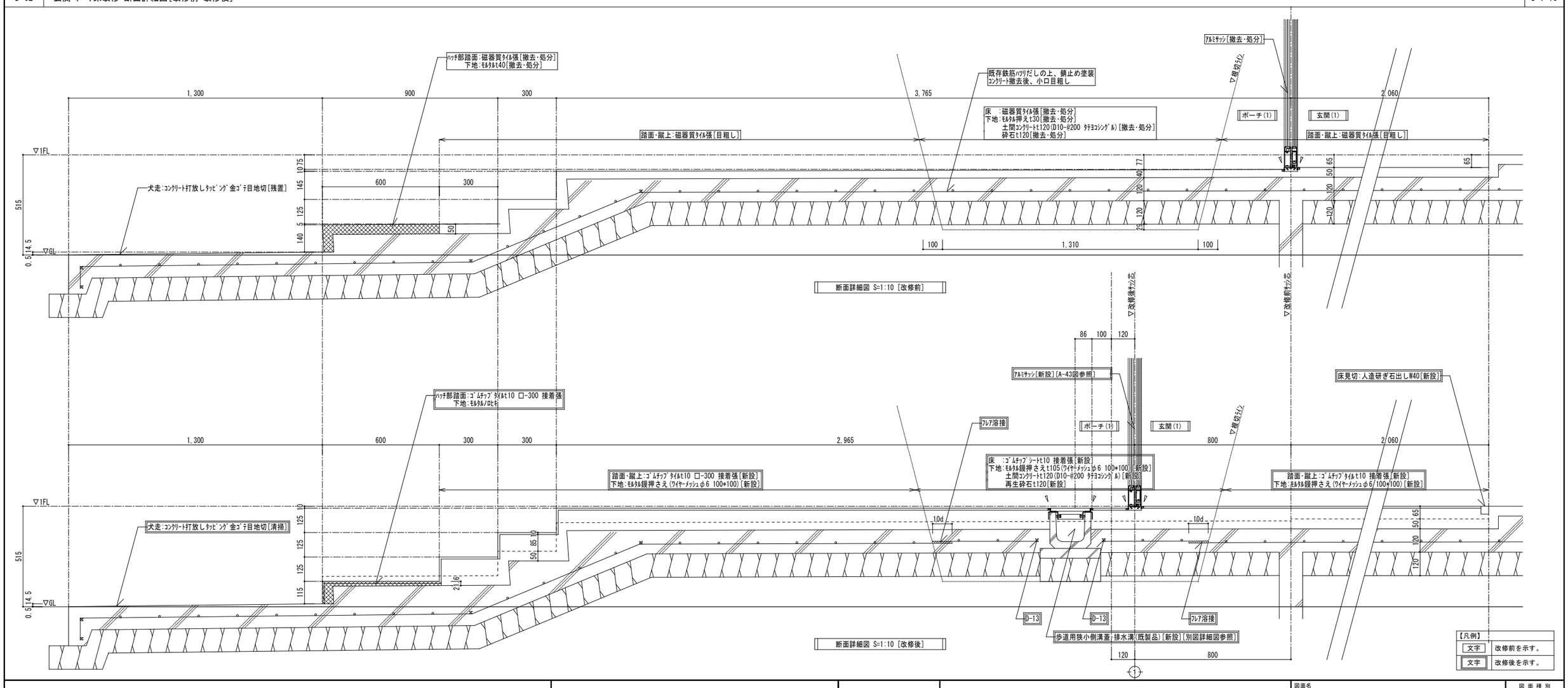
図面種別: A

図面番号: 41

## D-01　足洗い場詳細図[解体図]　S=1:50

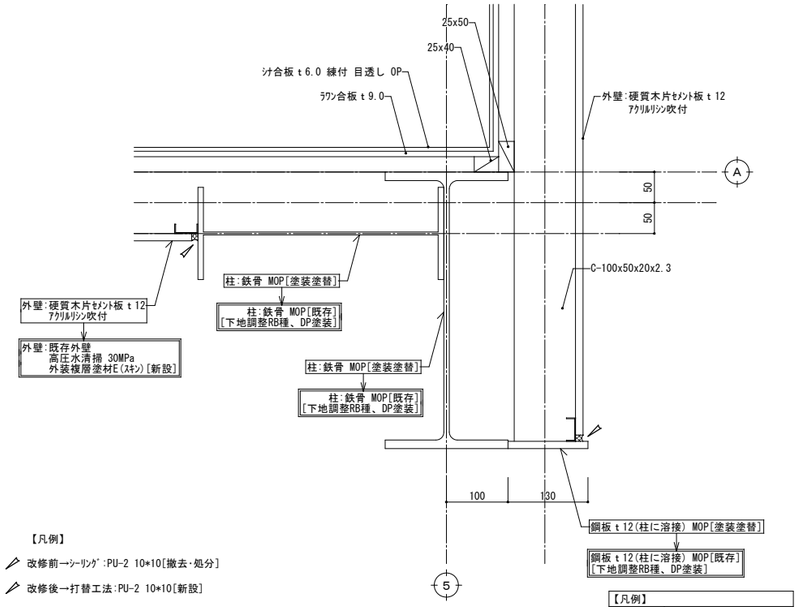



## D-02　玄関・ﾎﾟｰﾁ床改修 断面詳細図[改修前・改修後]　S=1:10



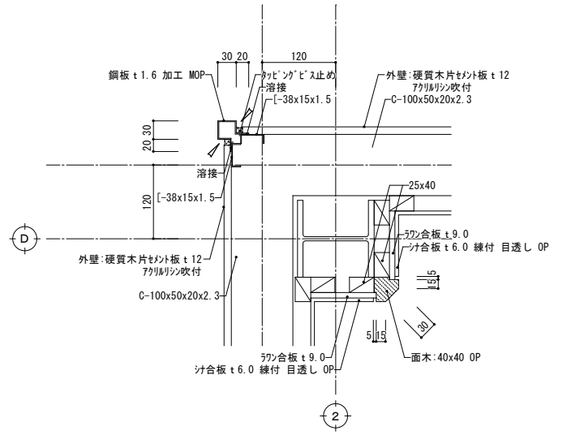

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 部分詳細図(1) | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:50.10(A3版 50%縮小) | 図面番号 42 |

## D-03 現況南面建物角部詳細図[改修前・改修後] S=1:5



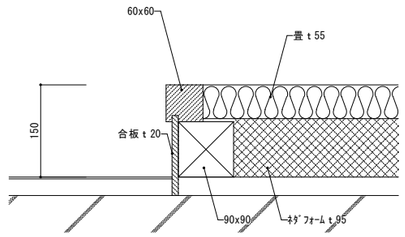

| 【凡例】 | |
|---|---|
| 文字 | 改修前指示事項を示す。 |
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

## D-04 現況内壁見切縁詳細図[解体撤去処分図] S=1:5

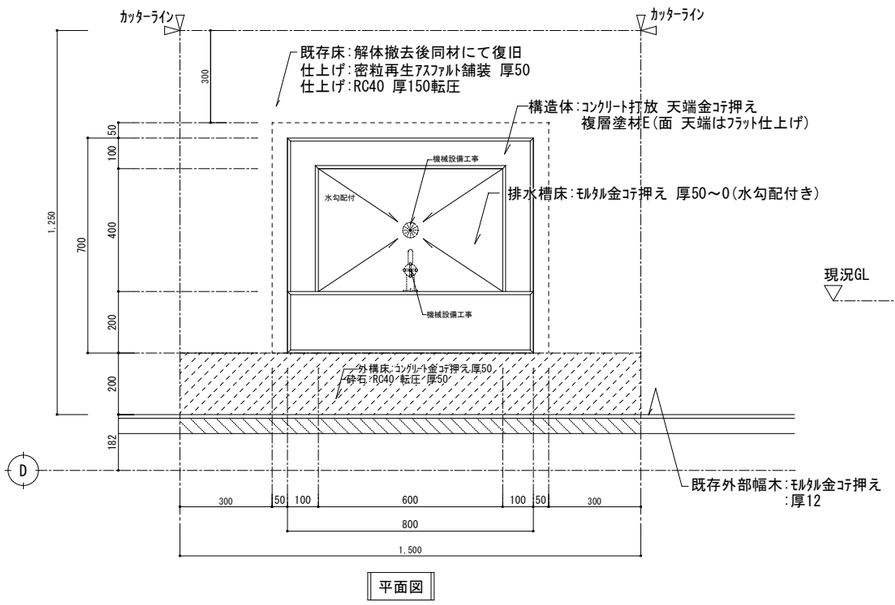



※但し、構造躯体は存置

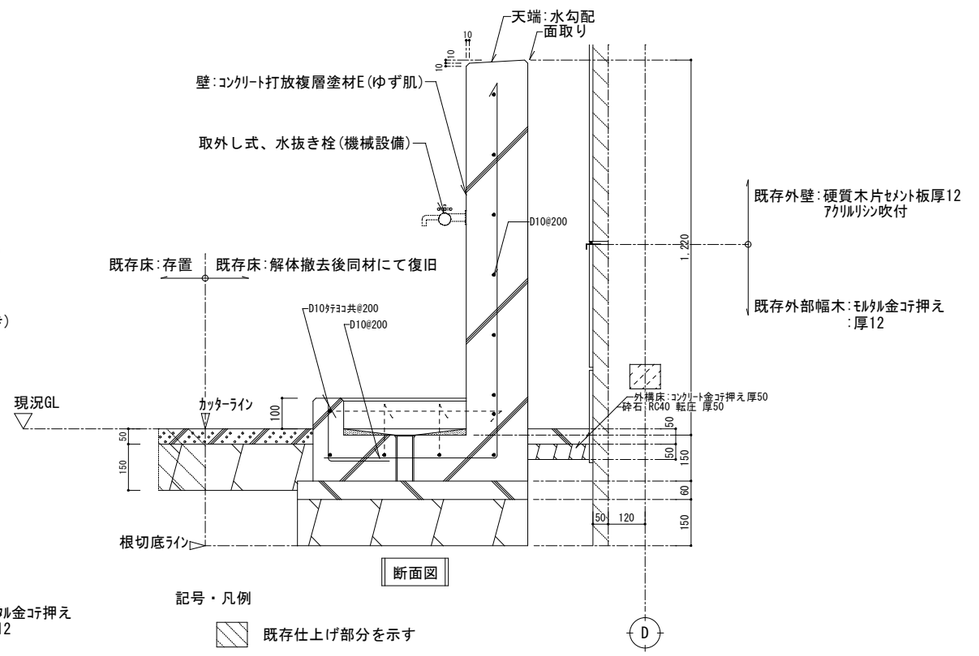
## D-05 師範室床段差部詳細図[解体撤去処分図] S=1:5




## D-06 新設地流し詳細図 S=1:10




平面図




断面図

記号・凡例

既存仕上げ部分を示す

改修後の仕上げ変更部分を示す

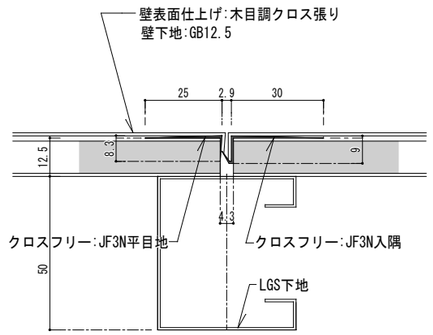
※ｺﾝｸﾘｰﾄ設計基準強度 Fc=21N/mm2 S=18 型枠B種(型枠緊張材は打放し用を使用すること)

## D-20 壁・クロスフリー工法 S=1:1

※壁仕上げGB12.5下地には、小口4面に、クロス剥がれ防止用塩ビ製型材を使用する事

※壁仕上げGB12.5は、高さ2400mm×幅900mm程度の一枚板を使用する事(不燃認定品)
ただし、上下で見切りが良く、クロス剥がれが発生しにくい箇所で監督員が許可した場合を除く

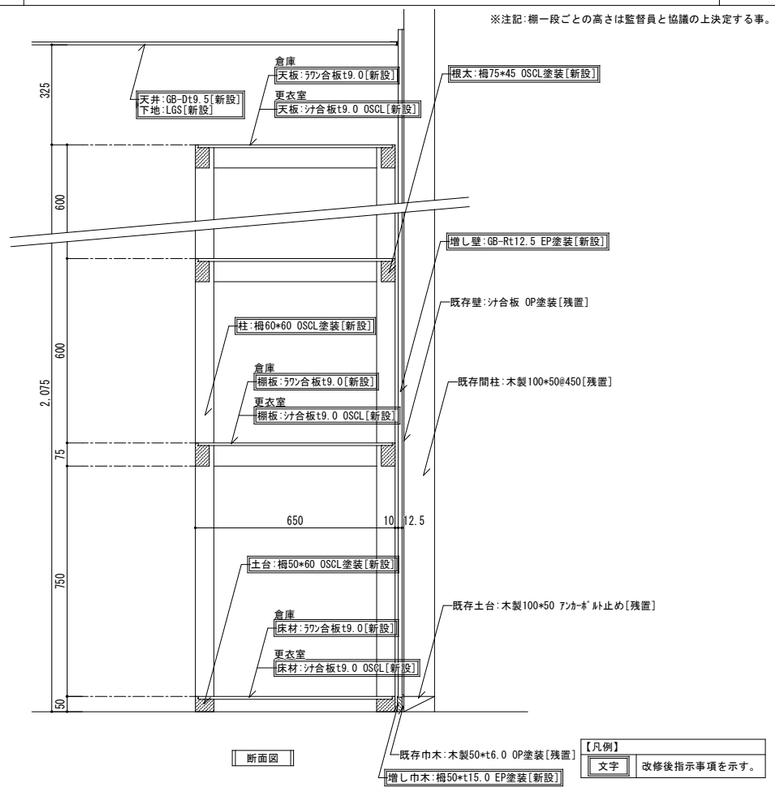
壁施工適用か所・廊下壁:玄関(2)、玄関(3)、ホール(1)、ホール(2)




| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 部分詳細図(2) | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:10.5(A3版 50%縮小) | 図面番号 43 |

## D-07 更衣室･物置(1)･(2):新設家具断面詳細図 S=1:10

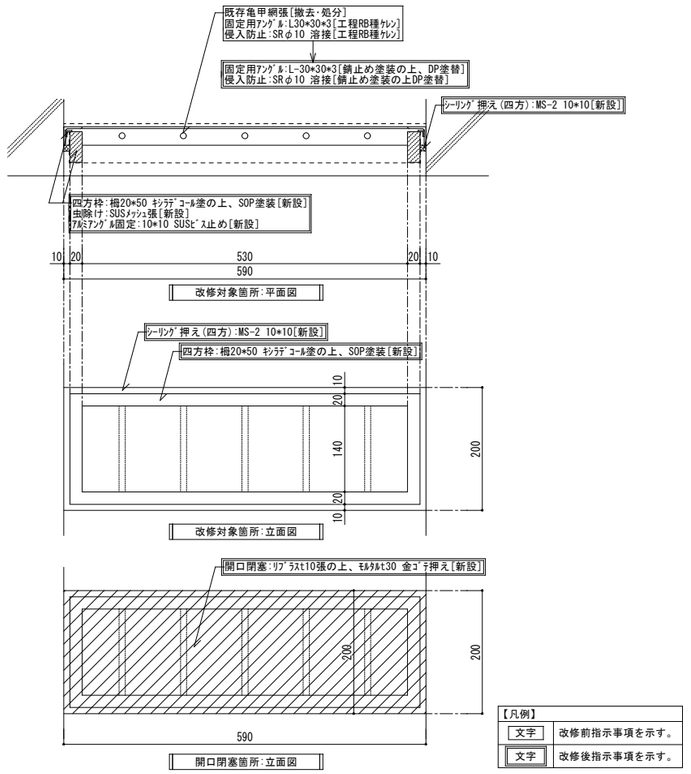
※注記:棚一段ごとの高さは監督員と協議の上決定する事。




断面図

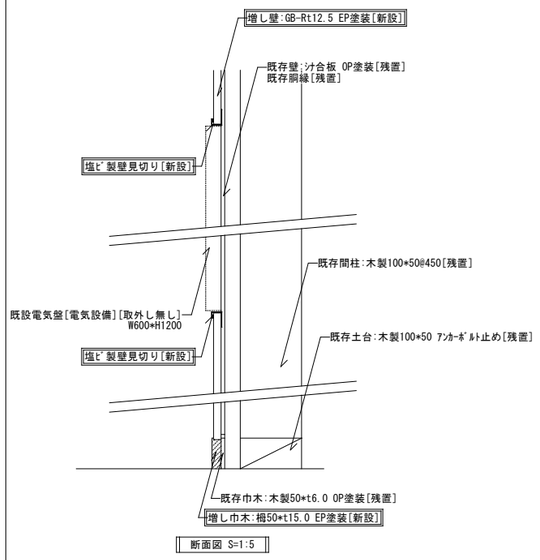
【凡例】
| | |
|---|---|
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

## D-08 換気蓋改修詳細図[改修前･改修後] S=1:5

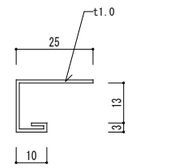



【凡例】
| | |
|---|---|
| 文字 | 改修前指示事項を示す。 |
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

## D-09 [W5]:増し壁部分 建具･額縁及び設備盤廻り共通詳細図[改修後] S=1:5 S=1:1



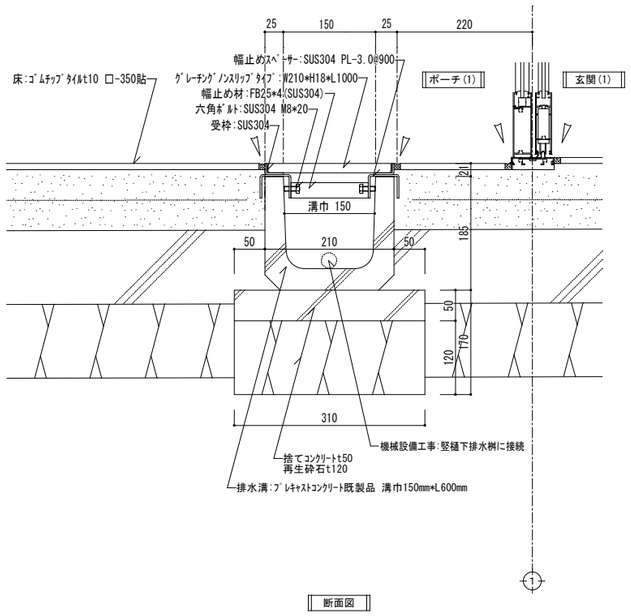

断面図 S=1:5




塩ﾋﾞ製壁見切り詳細図 S=1:1
※ﾌｸﾋﾞ化学工業株式会社:F見切(コの字) D-3号 同等品以上

【凡例】
| | |
|---|---|
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

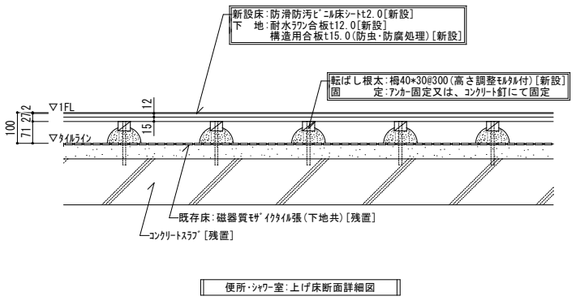
## D-10 ポーチ(1):新設排水溝詳細図(既製品) S=1:5



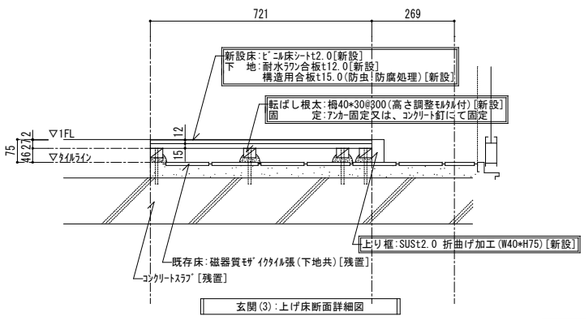

断面図

：ｼｰﾘﾝｸﾞ MS-2[10*10][新設]を示す。

## D-11 上げ床詳細図[改修後] 1:10



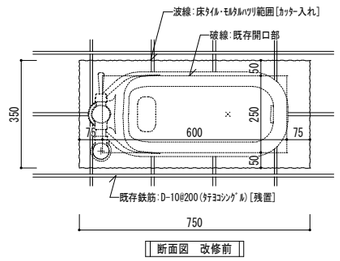

便所･ｼｬﾜｰ室:上げ床断面詳細図



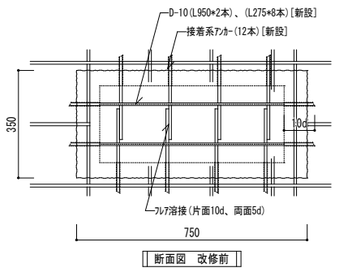

玄関(3):上げ床断面詳細図

【凡例】
| | |
|---|---|
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

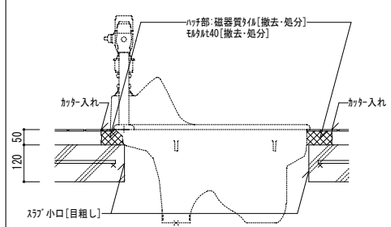
## D-12 和便器閉塞[改修前･改修後] 1:10



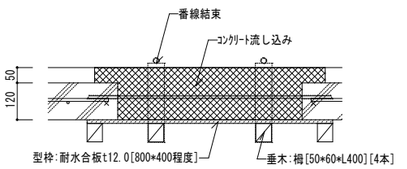

断面図 改修前




断面図 改修前




断面図 改修前




断面図 改修後

【凡例】
| | |
|---|---|
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

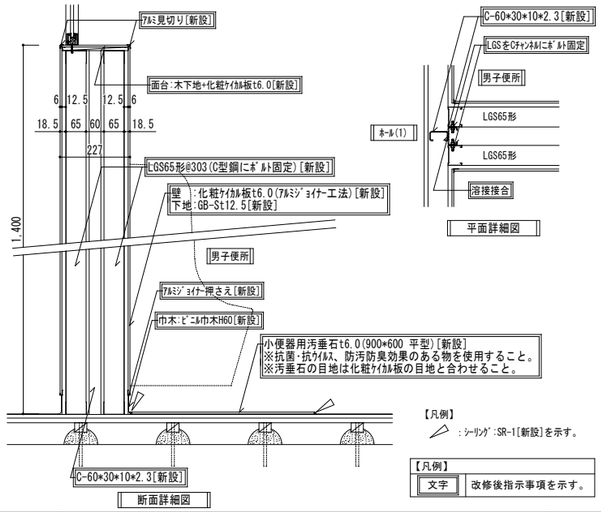
図面名 部分詳細図(3)

縮尺 S=1:10.5.1(A3版 50%縮小)

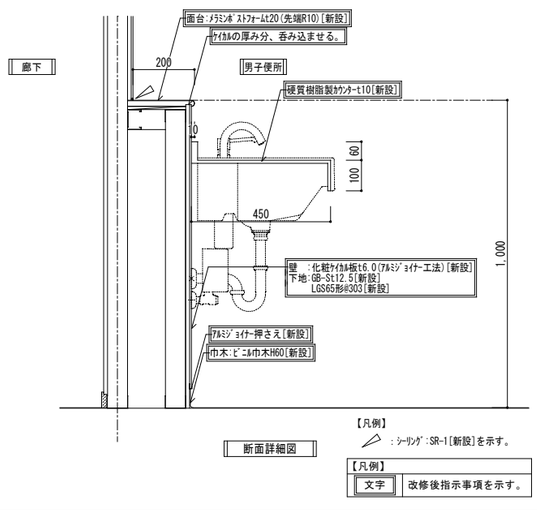
図面種別 A

図面番号 44

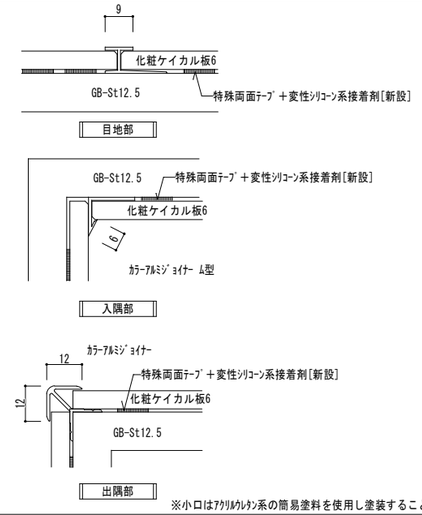
## D-13 男子便所：小便器ﾗｲﾆﾝｸﾞ詳細図[改修後]　S=1:10




## D-14 男子・女子便所：洗面器ﾗｲﾆﾝｸﾞ詳細図[改修後]　S=1:10



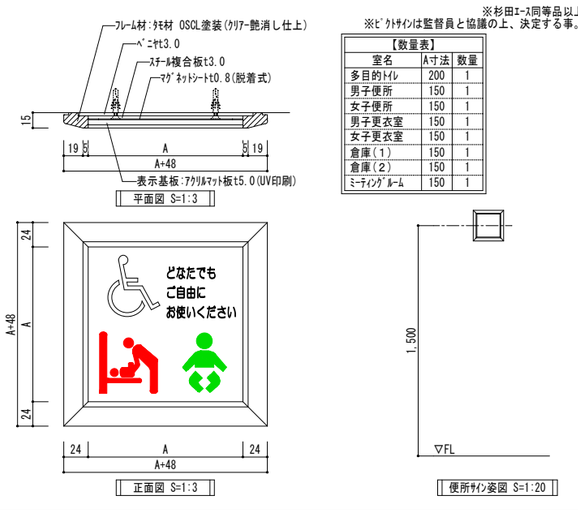

## D-15 便所：化粧ｹｲｶﾙ板t6.0 ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ詳細図[改修後]　S=1:1




※小口はｱｸﾘﾙｳﾚﾀﾝ系の簡易塗料を使用し塗装すること。

## D-16 各室新設ﾋﾟｸﾄｻｲﾝ詳細図[改修後]　S=1:3 S=1:20

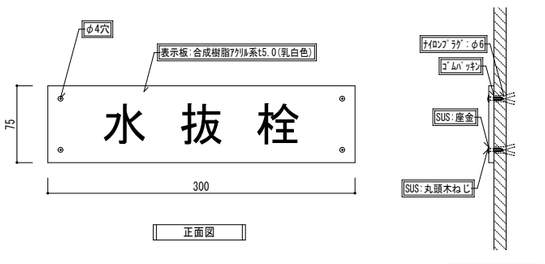
※杉田ｴｰｽ同等品以上
※ﾋﾟｸﾄｻｲﾝは監督員と協議の上、決定する事。




【数量表】

| 室名 | A寸法 | 数量 |
|---|---|---|
| 多目的ﾄｲﾚ | 200 | 1 |
| 男子便所 | 150 | 1 |
| 女子便所 | 150 | 1 |
| 男子更衣室 | 150 | 1 |
| 女子更衣室 | 150 | 1 |
| 倉庫(1) | 150 | 1 |
| 倉庫(2) | 150 | 1 |
| ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ | 150 | 1 |

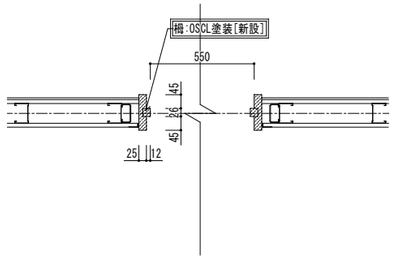
## D-17 外壁：新設水抜き栓ﾏｰｸ詳細図　S=1:3




※杉田ｴｰｽ同等品以上

【凡例】
文字　改修後指示事項を示す。

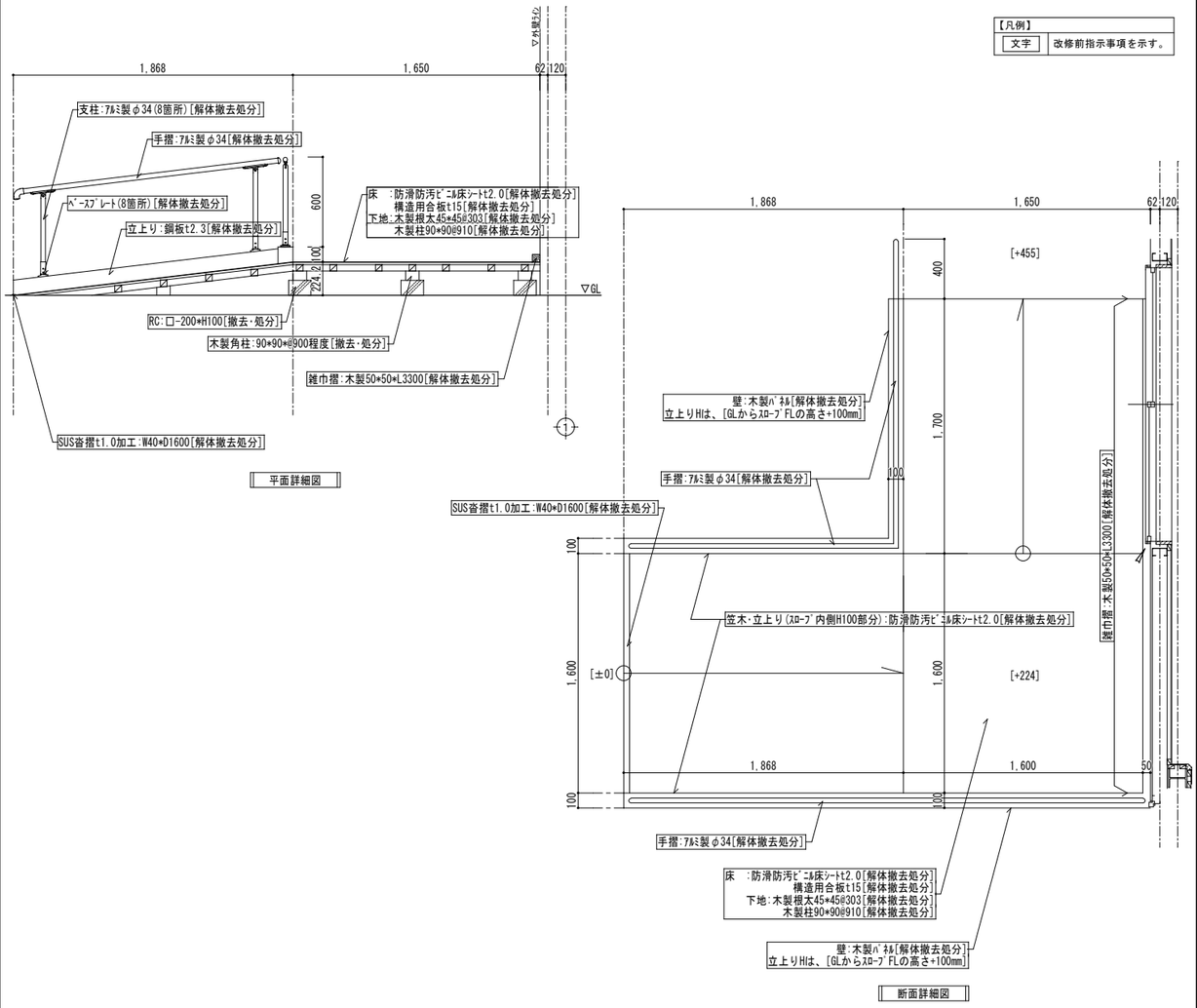
## D-18 建具符号：[WD-8]枠詳細図　S=1:10




【凡例】
文字　改修後指示事項を示す。

## D-19 既存ｽﾛｰﾌﾟ[解体撤去図]　S=1:20

【凡例】
文字　改修前指示事項を示す。

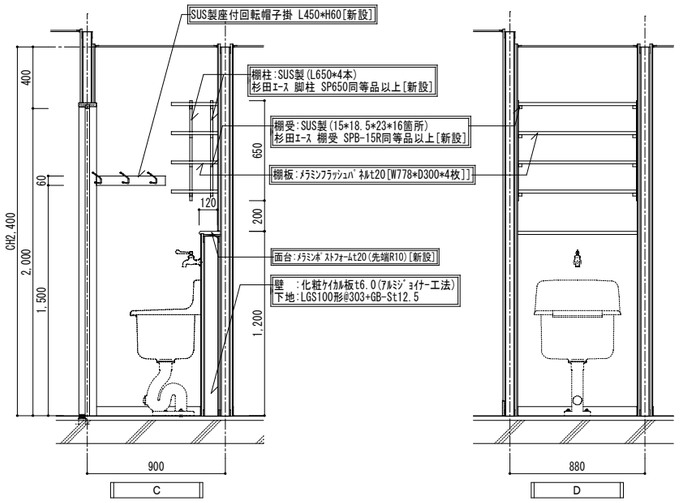



## D-20 掃除用具室：C方向・D方向断面展開図[改修後]　S=1:20

### 掃除用具室

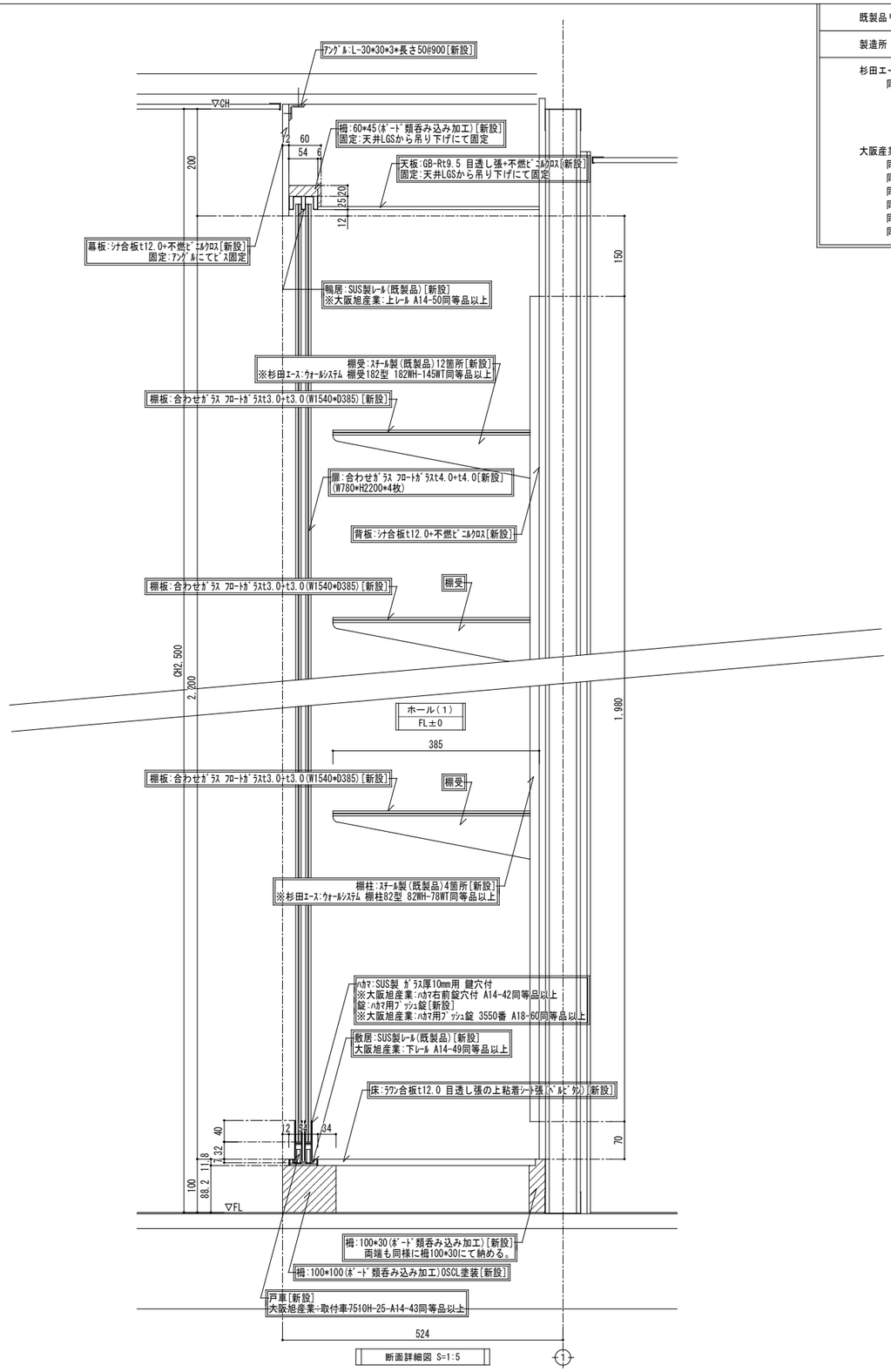
| | | |
|---|---|---|
| 床 | 防滑防汚ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄt2.0 | (新設) |
| | 既存ﾓﾙﾀﾙ下地 | (下地調整) |
| 巾木 | ﾋﾞﾆﾙ巾木H60 | (新設) |
| 壁 | 化粧ｹｲｶﾙ板t6.0(ｱﾙﾐｼﾞｮｲﾅｰ工法) | (新設) |
| | 下地は平面詳細図(1)参照 | |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) | (新設) |
| | LGS | (新設) |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 | (新設) |
| 備考 | ﾗｲﾆﾝｸﾞ・SUS製座付回転帽子掛・棚 | (新設) |

【凡例】
文字　改修後指示事項を示す。



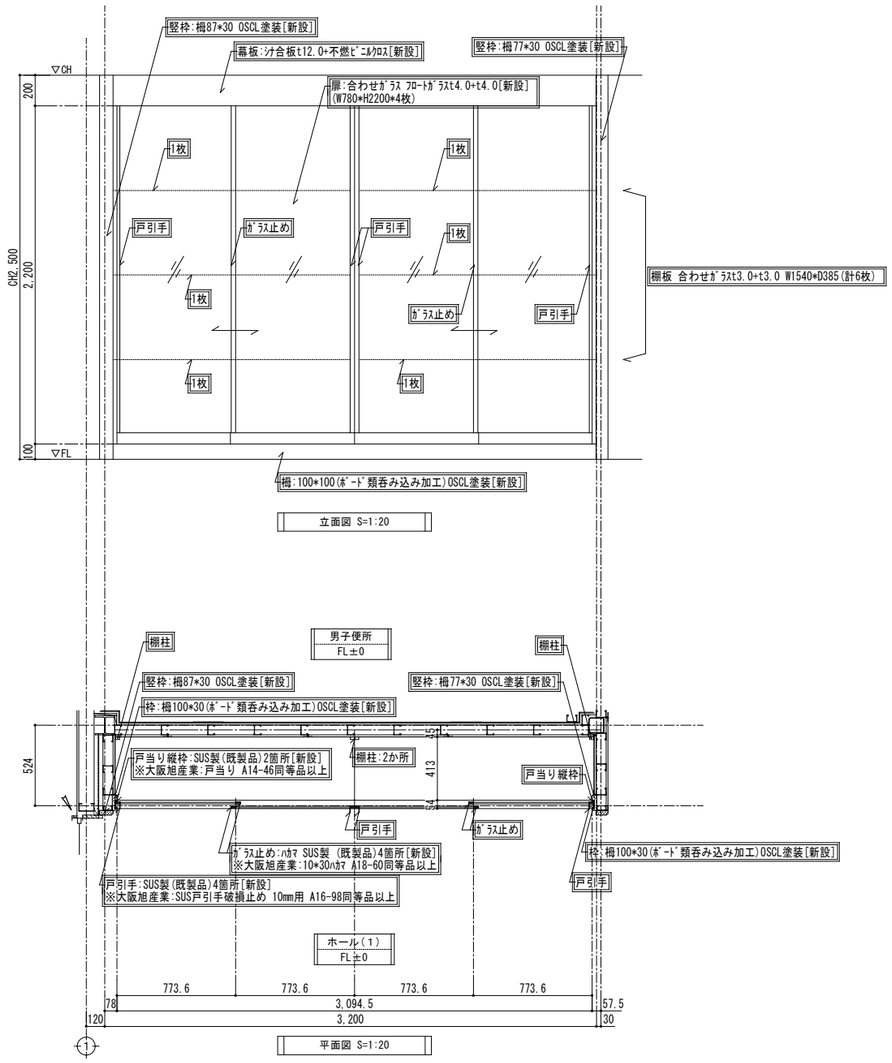

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 部分詳細図(4) | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:20.10.3.1(A3版 50%縮小) | 図面番号 45 |

ホール(1):新設トロフィーケース詳細図[改修後]




既製品リスト

| 製造所 | 製品名・製品番号 | 台数 | 製造所 | 製品名・製品番号 | 台数 |
|---|---|---|---|---|---|
| 杉田エース同等品 | ｳｫｰﾙｼｽﾃﾑ 棚柱 182型 182WH-145WT | 12か所 | 指定なし | 障子 合わせガラス 4mm+4mm H=2200mm W=780 | 4枚 |
| 同上 | ｳｫｰﾙｼｽﾃﾑ 棚柱 82型 82WH- 78WT | 4か所 | 同上 | 棚板 合わせガラス 3mm+3mm L=1540mm W=385 | 6枚 |
| 大阪産業同等品 | ハカマSUS製ガラス厚10mm用 右前錠穴付 A-14-42 | 4か所 | | | |
| 同上 | 取付車 7510H 25 A14-43 | 4か所 | | | |
| 同上 | 上レール A14-50 L=3094.5mm | 1か所 | | | |
| 同上 | 下レール A14-49 L=3094.5mm | 1か所 | | | |
| 同上 | SUS引手破損止 10mm用 A-16-98 L=2120mm | 4箇所 | | | |
| 同上 | ガラス止め SUS製 10×30ハカマ A-18-60 L=2120mm | 4箇所 | | | |
| 同上 | ハカマ用プッシュ錠 3550番 A18-60 | 1箇所 | | | |




【凡例】

| | |
|---|---|
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

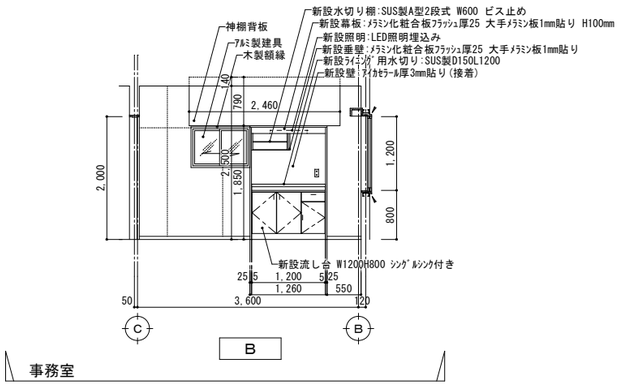
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 新設ﾄﾛﾌｨｰｹｰｽ詳細図 【改修後】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:20.5(A3版 50%縮小) | 図面番号 46 |

改修後

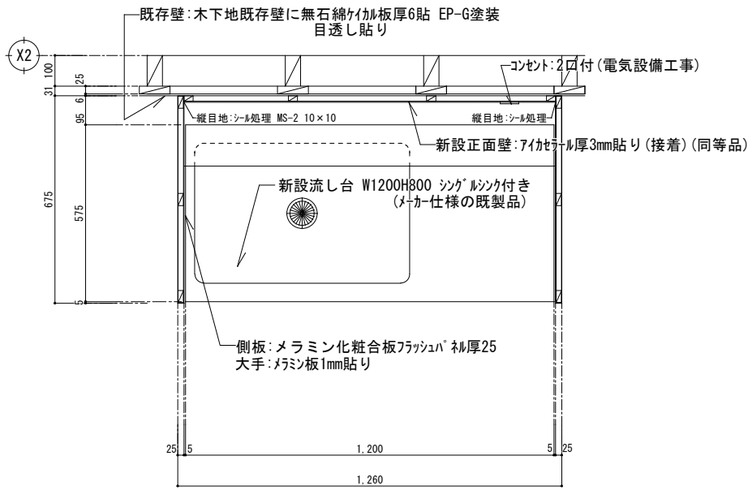
## 事務室(改修前) ⇒ ミーティングルーム(改修後)

| | 事務室(改修前) | | ミーティングルーム(改修後) | |
|---|---|---|---|---|
| 床 | 半硬質ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ (解体撤去処分) | ⇒ | ﾋﾞﾆﾙ床ｼｰﾄ2.0mm JIS A 5705 (改修) | |
| | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ (存置) | | ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ (存置) | |
| 巾木 | 木製 OP H50 (存置) | ⇒ | 既存木製 EP-G H50 (改修) | |
| 壁 | 特殊石綿ｾﾒﾝﾄ板(ﾊｲﾊﾞｰﾑ)★t5 練付 目透し VP (解体撤去処分) | ⇒ | 無石綿ｹｲｶﾙ板t6 目透し EP-G (改修) | |
| | 木組(間仕切) (存置) | | 木組(間仕切) (存置) | |
| | LGS(外壁面) (存置) | | LGS(外壁面) (存置) | |
| 天井 | GB-D t9.0(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) (解体撤去処分) | ⇒ | GB-D t9.5(ｼﾞﾌﾟﾄｰﾝ) (改修) | |
| | LGS (解体撤去処分) | | LGS(吊ボルト共) (改修) | |
| | | | (吊りボルト受けﾁｬﾝﾈﾙは構造図参照) (改修) | |
| 廻り縁 | 塩ﾋﾞ製 (解体撤去処分) | ⇒ | 塩ﾋﾞ製 (改修) | |
| 備考 | 受付ｶｳﾝﾀｰ、流し台、ｺﾝﾛ台 (解体撤去処分) | ⇒ | 新設流し台セット(詳細図参照) (改修) | |
| | FF用ｽﾘｰﾌﾞ (存置) | | | |
| | ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ (存置) | | | |

★ｱｽﾍﾞｽﾄ含有建材(全て撤去)を示す



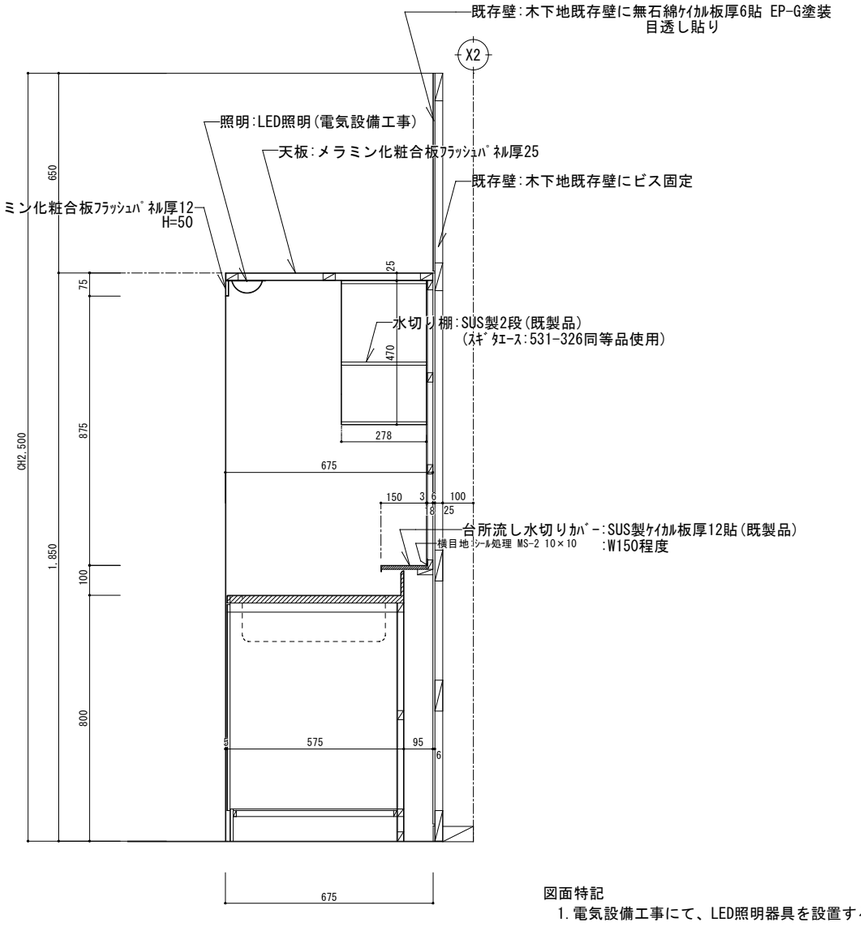

展開図 S=1:50




平面詳細図図 S=1:10




姿 図 S=1:10

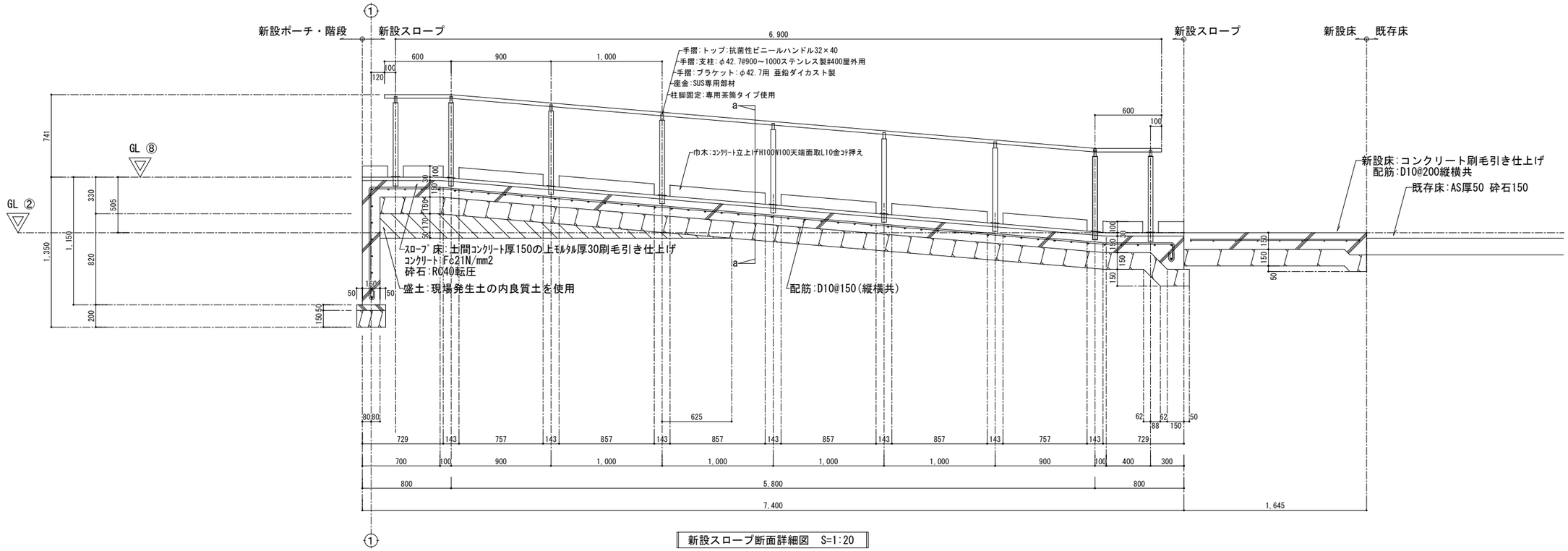



図面特記
1. 電気設備工事にて、LED照明器具を設置する
2. 電気設備工事にて、ｺﾝｾﾝﾄを1箇所設置する

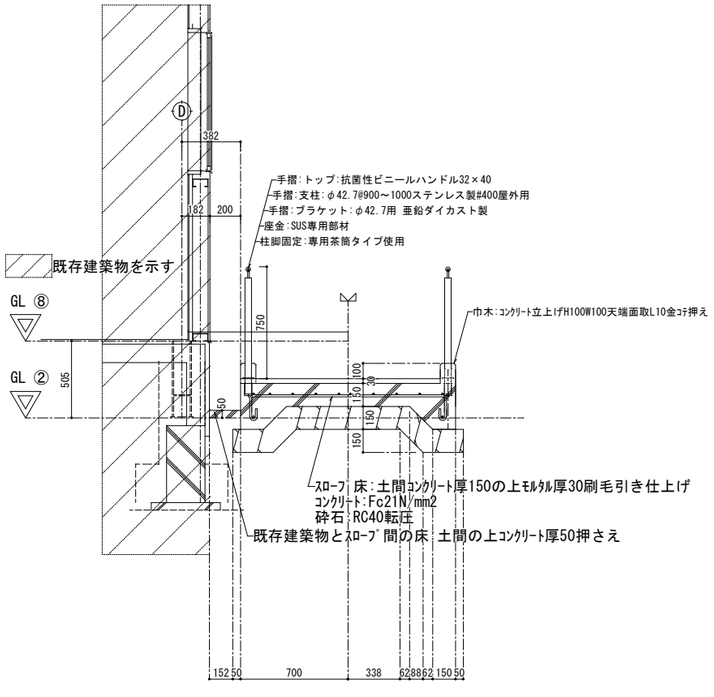
断面詳細図図 S=1:10

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 新設ミニキッチン詳細図 【改修後】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:10 1:50(A3版 50%縮小) | 図面番号 47 |

改修後



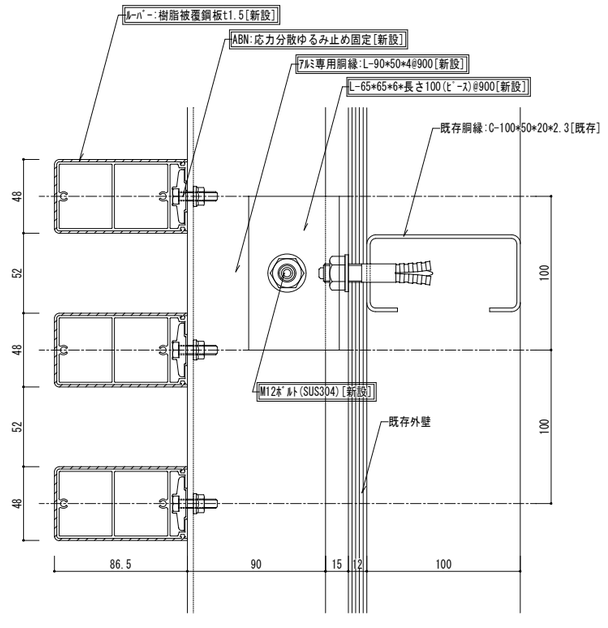

新設スロープ断面詳細図　S=1:20




新設スロープ　a ◿ a 断面詳細図　S=1:20

新設スロープ断面詳細図　S=1:20

### ｱﾙﾐ木目調縦格子　詳細図 S=1:5

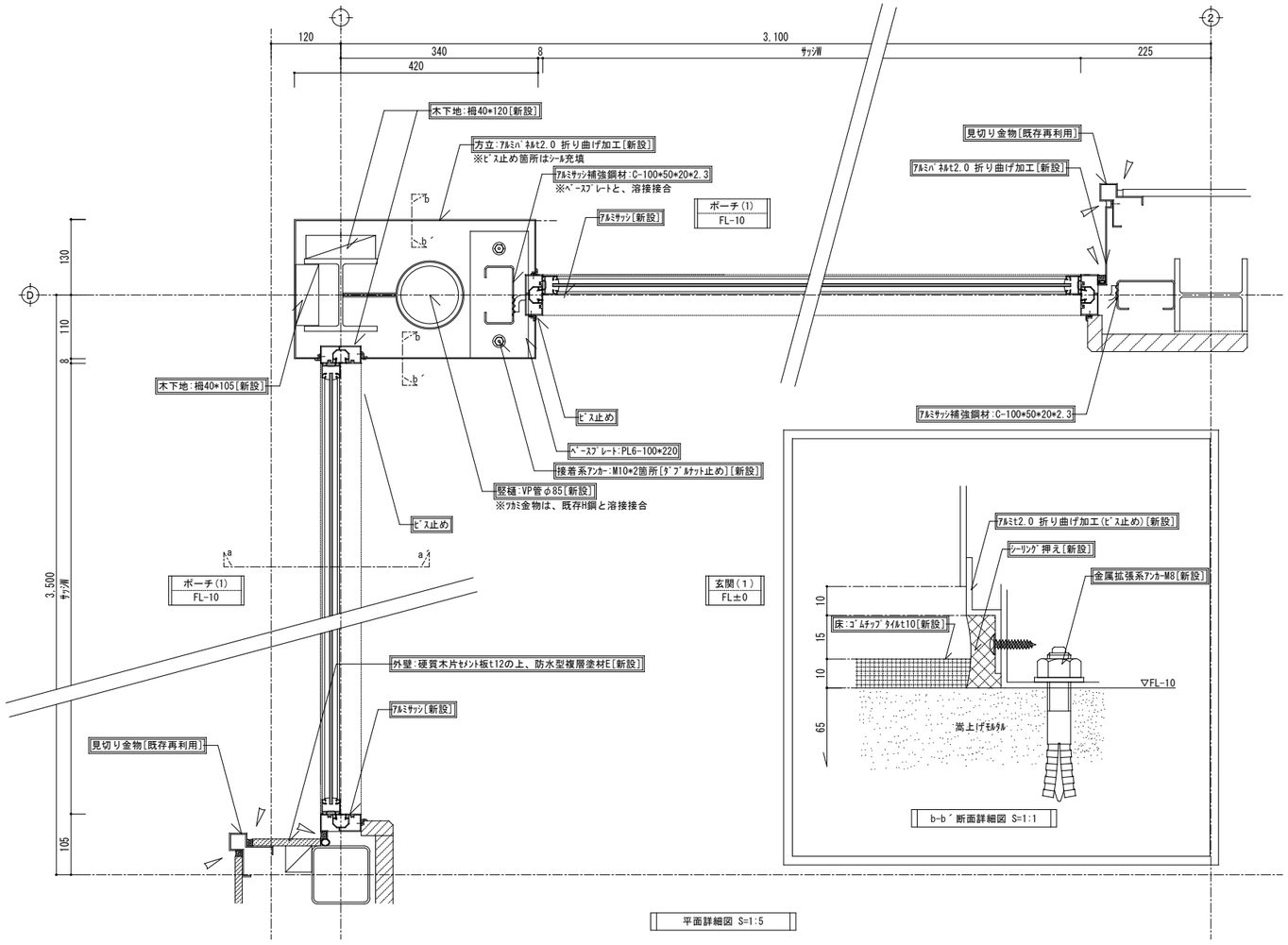



平面詳細図 S=1:5

【凡例】

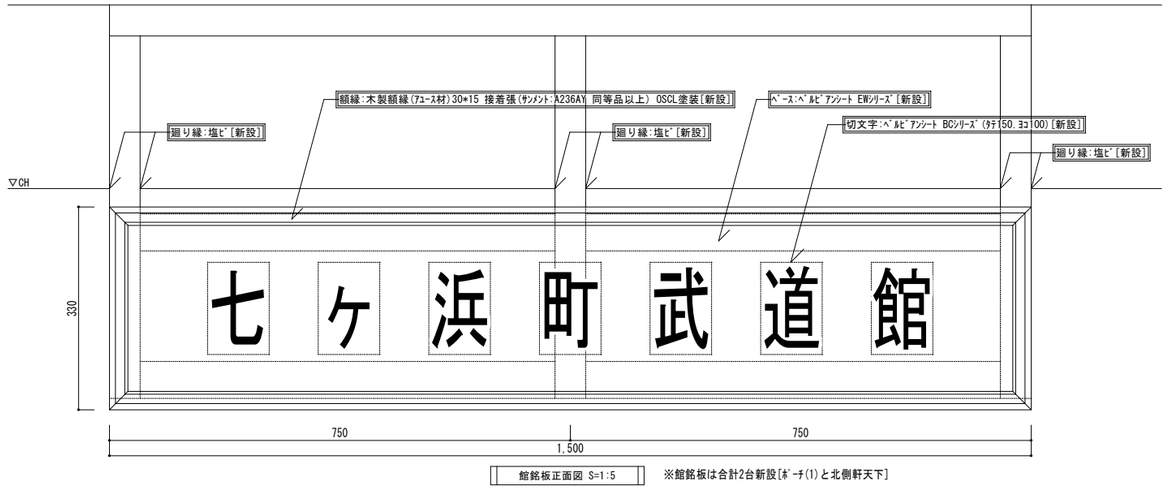
| | |
|---|---|
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 新設スロープ断面詳細図 【改修後】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:20(A3版 50%縮小) | 図面番号 48 |

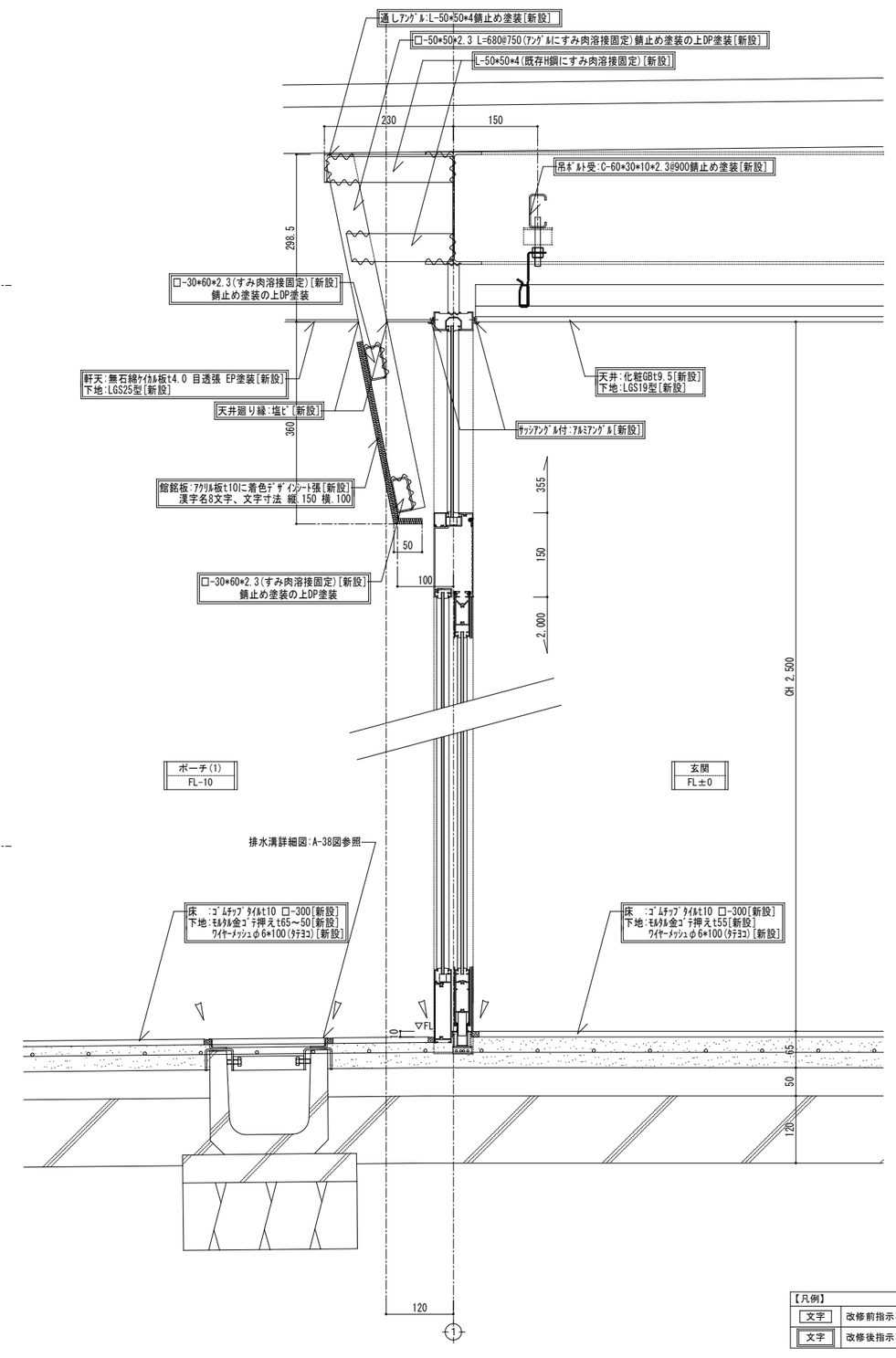









※館銘板は合計2台新設[ﾎﾟｰﾁ(1)と北側軒天下]




【凡例】

| | |
|---|---|
| 文字 | 改修前指示事項を示す。 |
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

【共通事項】

| | |
|---|---|
| | ｼｰﾘﾝｸﾞ:MS-2 10*10[新設]<br>※特記なき限り上記数量 |

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

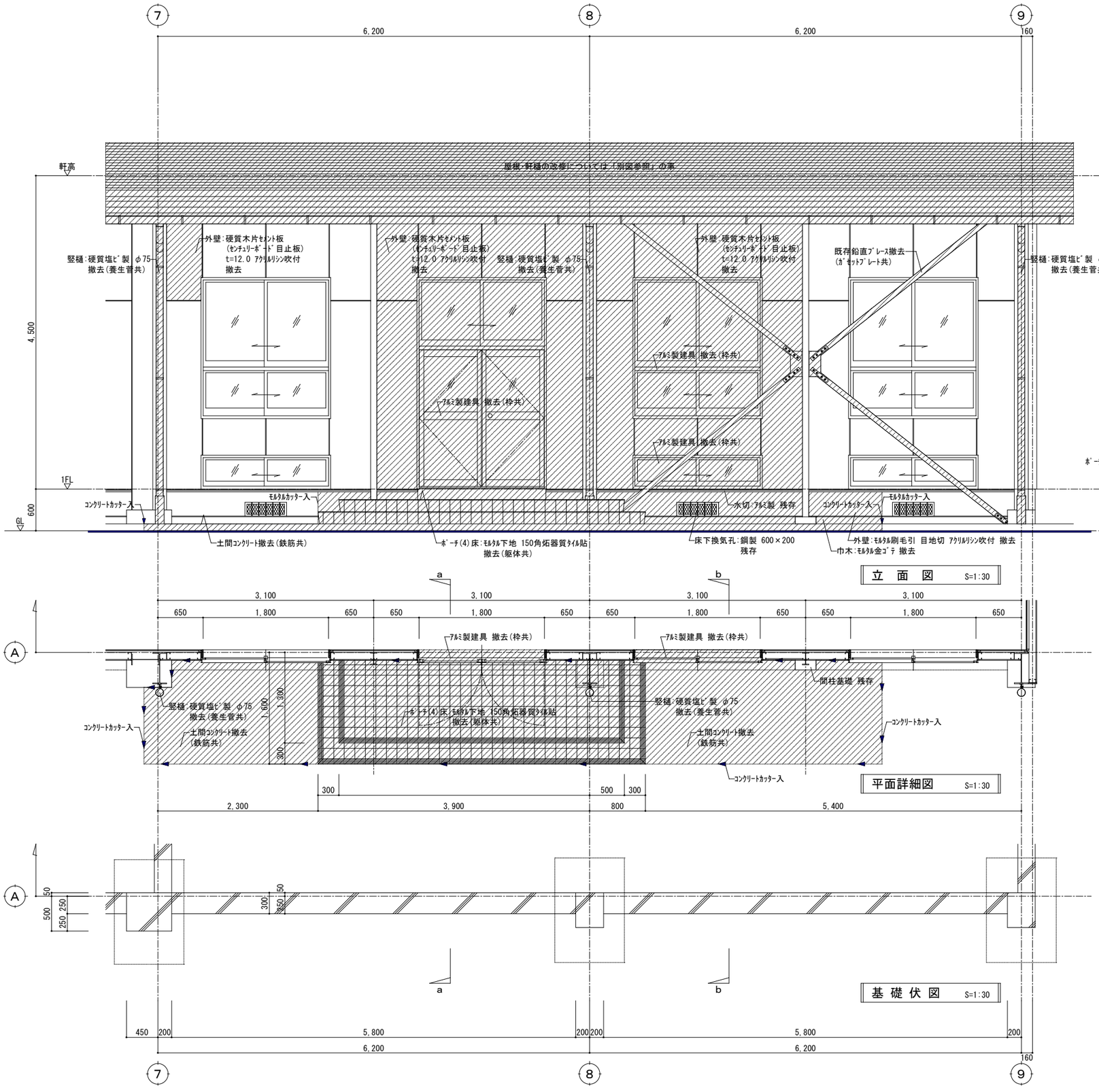
図面名 新設ｻｯｼ廻り詳細図 【改修後】

縮尺 S=1: 5.1(A3版 50%縮小)

図面種別 A

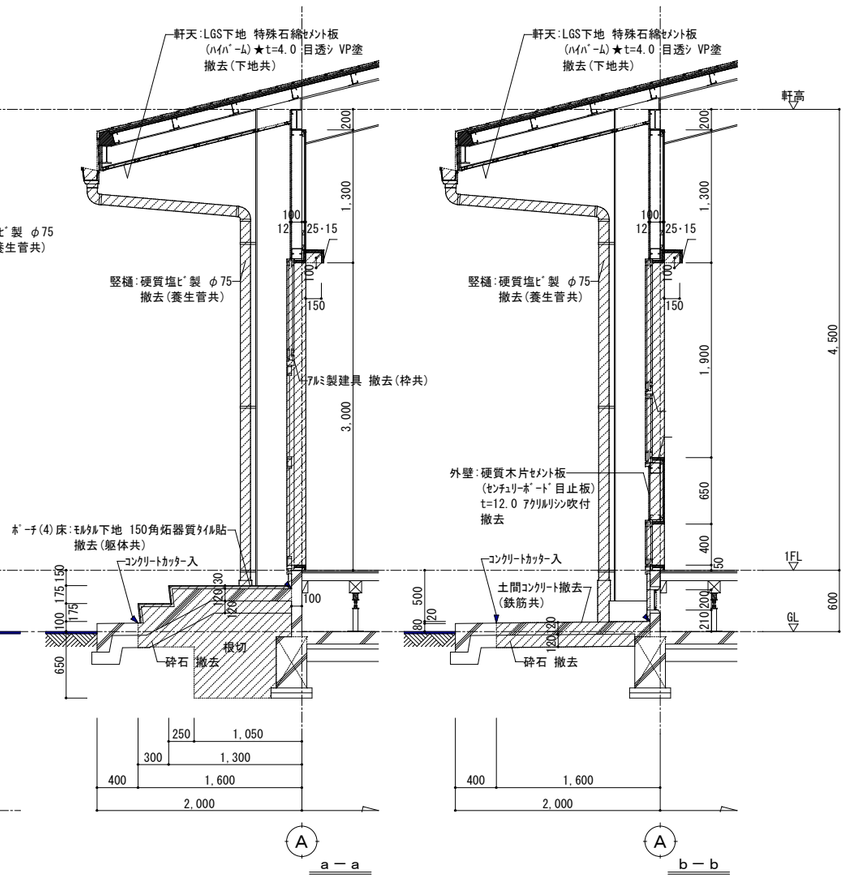
図面番号 49

補 強 前




平面詳細図 S=1:30

基礎伏図 S=1:30




矩 計 図 S=1:30

凡 例

▨ : 撤去範囲

▼ : ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入

※1.「土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去部」及び「ﾎﾟｰﾁ(4)撤去部」の鉄筋撤去については、
継手が発生する範囲は、継手が可能な範囲は「残存」とする。

※2.「既存鉛直ﾌﾞﾚｰｽ切断」の際、既存の柱(間柱)に損傷の無い様に行う事。
また、切断面は出来る限り、鋭角にならない様に努める事。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 A通り補強詳細図 【補強前】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:30(A3版 50%縮小) | 図面番号 50 |

補強後

屋根・軒樋の改修については「A-14図参照」の事

軒高
GL
1FL
4,500
600
竪樋:硬質ｶﾗｰ塩ﾋﾞ製 φ100
柱型(鉄部):ｹﾚﾝ処理 錆止ﾒ塗装 DP塗
養生管:SGP管 φ125 L=500 DP塗
補強ﾌﾞﾚｰｽ:錆止ﾒ塗装後 DP塗 (ｶﾞｾｯﾄﾌﾟﾚｰﾄ・ﾎﾞﾙﾄ共)
外壁(新設部):硬質木片ｾﾒﾝﾄ板 t=12.0 下地処理の上外装薄塗材E吹付
ｱﾙﾐ製建具 新設
既存ﾌﾞﾚｰｽ切断面:錆止ﾒ塗装後 DP塗
間柱(鉄部):ｹﾚﾝ処理 錆止ﾒ塗装 DP塗
外壁(既存部):高圧洗浄(15MPa)水洗い清掃 欠損部ｼｰﾘﾝｸﾞ防水処理の上 下地処理後外装薄塗材E吹付
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ打設 金ｺﾞﾃ仕上 (配筋:D10 @200 溶接継手:10d)
外壁(新設部):ﾓﾙﾀﾙ下地 目地切 C-2ｺﾃ塗りの上外装薄塗材E吹付
巾木(新設部):ﾓﾙﾀﾙ金ｺﾞﾃ下地処理の上外装薄塗材E吹付
ﾎﾟｰﾁ(4)床:ﾓﾙﾀﾙ下地 150角炻器質ﾀｲﾙ貼
換気孔跡:開口塞ｷﾞ(A-38 D08図参照)
巾木(既存部):C-2ｺﾃ塗りのうえ下地処理後外装薄塗材E吹付

立 面 図 S=1:30

3,100 × 4 = 12,400
650 / 1,800 / 650 / 650 / 1,800 / 650 / 650 / 1,800 / 650 / 650 / 1,800 / 650

間柱基礎 新設
間柱(鉄部):ｹﾚﾝ処理 錆止ﾒ塗装 DP塗
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ t=120 打設 金ｺﾞﾃ仕上 (配筋:D10 @200 溶接継手:10d)
600
1,200
300

300 / 500 / 3,600 / 300 = 4,700
5,400 / 800 / 3,900 / 2,300 = 12,400

平面詳細図 S=1:30

50 / 250 / 250
300 / 300 / 50
基礎梁増打(別図参照)
ｺﾝｸﾘｰﾄ目荒ｼ

基礎伏図 S=1:30

450 / 200 / 5,800 / 200 / 200 / 5,800 / 200 = 12,400
6,200 / 6,200 (160)

軒天:LGS下地 無石綿ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=4.0 目透ｼ貼 EP塗
100 / 125 / 15
ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ:木製 SOP塗
200 / 1,300 / 1,900 / 650 / 400
つかみ金物[新設]:SUS製@1200
ｱﾙﾐ製建具 新設
額縁:木製 SOP塗
外壁(新設部):硬質木片ｾﾒﾝﾄ板 t=12.0 下地処理後外装薄塗材E吹付
50 / 100 / 150
500 / 120 / 380 / 120 / 650
土間ｺﾝｸﾘｰﾄ打設 金ｺﾞﾃ仕上
再生砕石(RC-40)
埋戻ｼ:現場発生土使用

600 / 200 / 250 = 1,050
550 / 1,050 = 1,600
400 / 1,600 = 2,000

A－A

軒天:LGS下地 無石綿ｹｲ酸ｶﾙｼｳﾑ板 t=4.0 目透ｼ貼 EP塗
100 / 125 / 15
ｶｰﾃﾝﾎﾞｯｸｽ:木製 SOP塗
200 / 1,300 / 3,000
つかみ金物[新設]:SUS製@1200
ｱﾙﾐ製建具 新設
100 / 175 / 150 / 175 / 100
120 / 30 / 120
ﾎﾟｰﾁ(4)床:ﾓﾙﾀﾙ下地 150角炻器質ﾀｲﾙ貼
埋戻ｼ:現場発生土使用
再生砕石(RC-40)

300 / 1,300 = 1,600
400 / 1,600 = 2,000

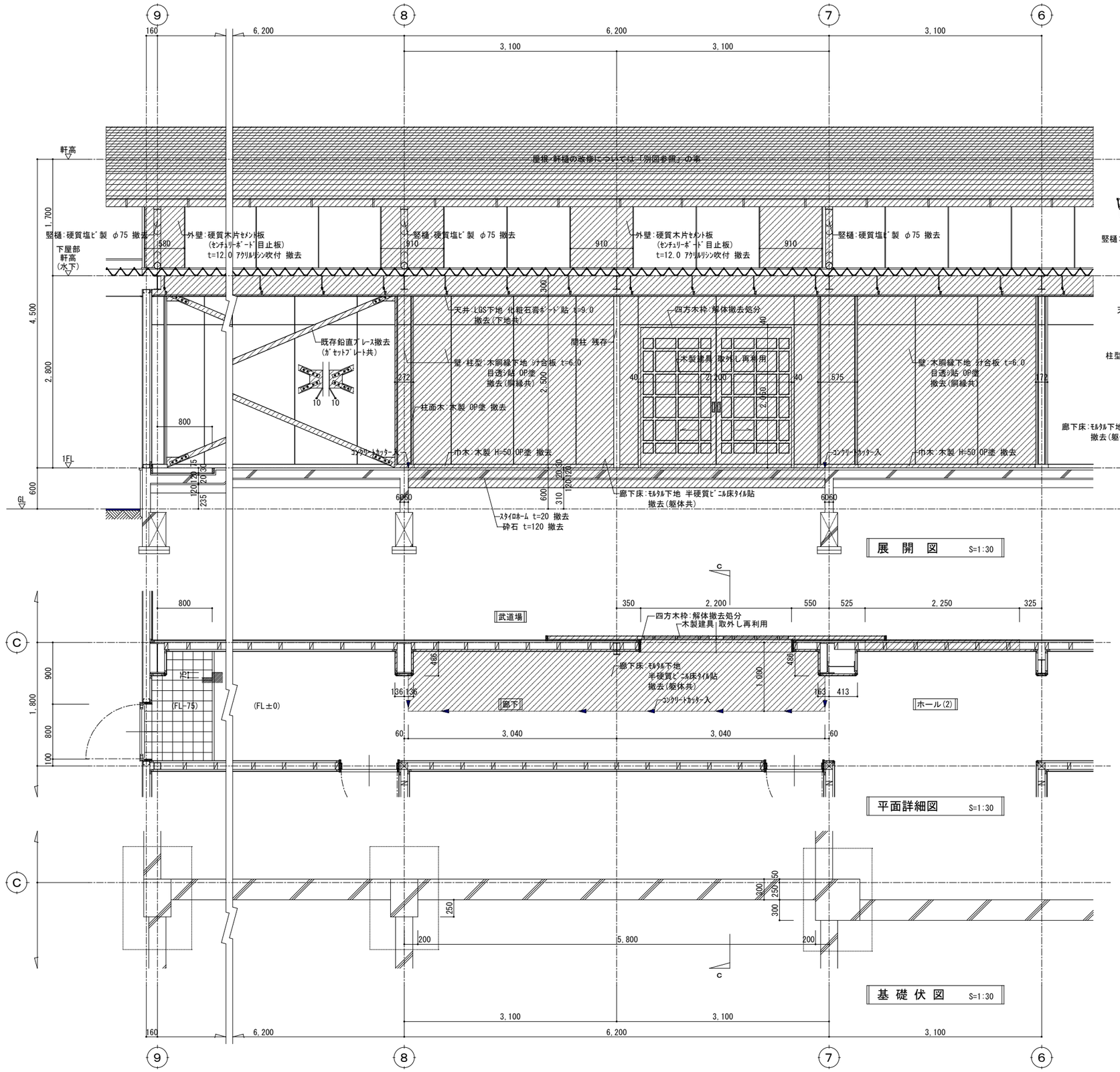
B－B

矩 計 図 S=1:30

凡 例
: 新設範囲
: 既存のｺﾝｸﾘｰﾄ躯体
: 新設のｺﾝｸﾘｰﾄ躯体

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 A通り補強詳細図 【補強後】 縮尺 S=1:30(A3版 50%縮小) | 図面種別 A / 図面番号 51 |

補強前




凡 例

▨ : 撤去範囲

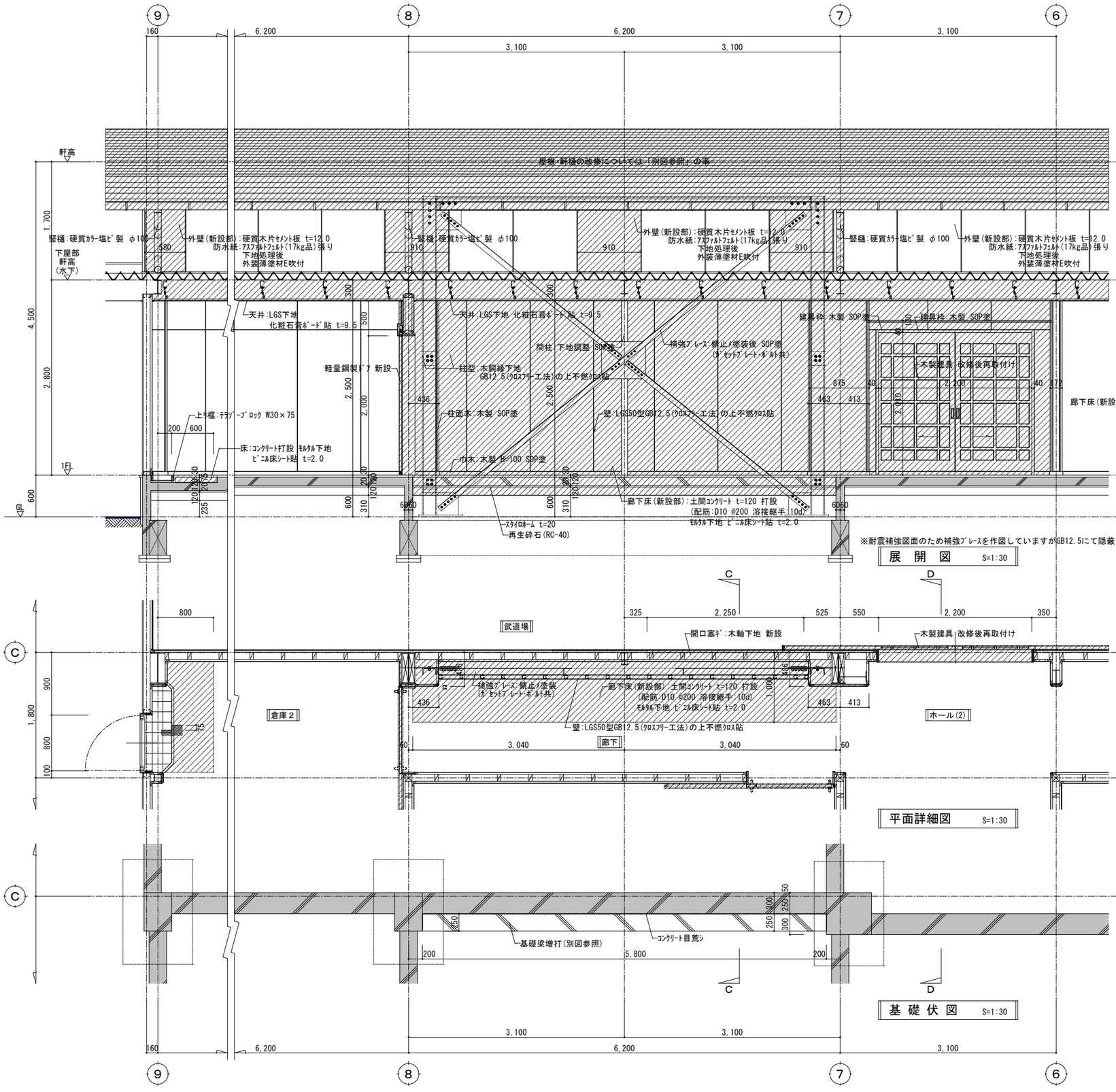
▼ : ｺﾝｸﾘｰﾄｶｯﾀｰ入

※1.「土間ｺﾝｸﾘｰﾄ撤去部」の鉄筋撤去については、
継手が発生する範囲は、継手が可能な範囲は「残存」とする。

※2.「既存鉛直ﾌﾞﾚｰｽ切断」の際、既存の柱(間柱)に損傷の無い様に行う事。
また、切断面は出来る限り、鋭角にならない様に努める事。

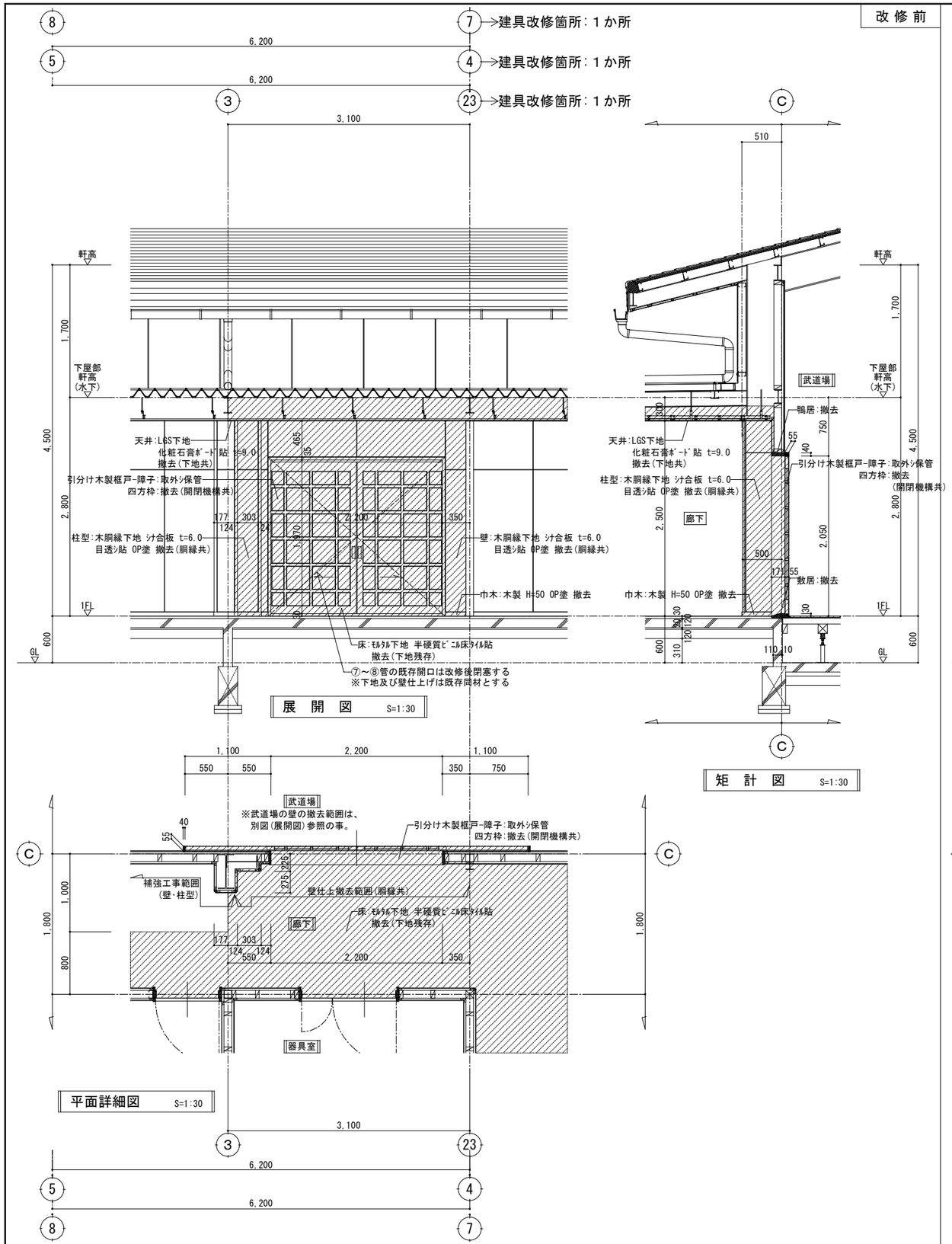
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 C通り補強詳細図 【補強前】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:30(A3版 50%縮小) | 図面番号 52 |

補強後

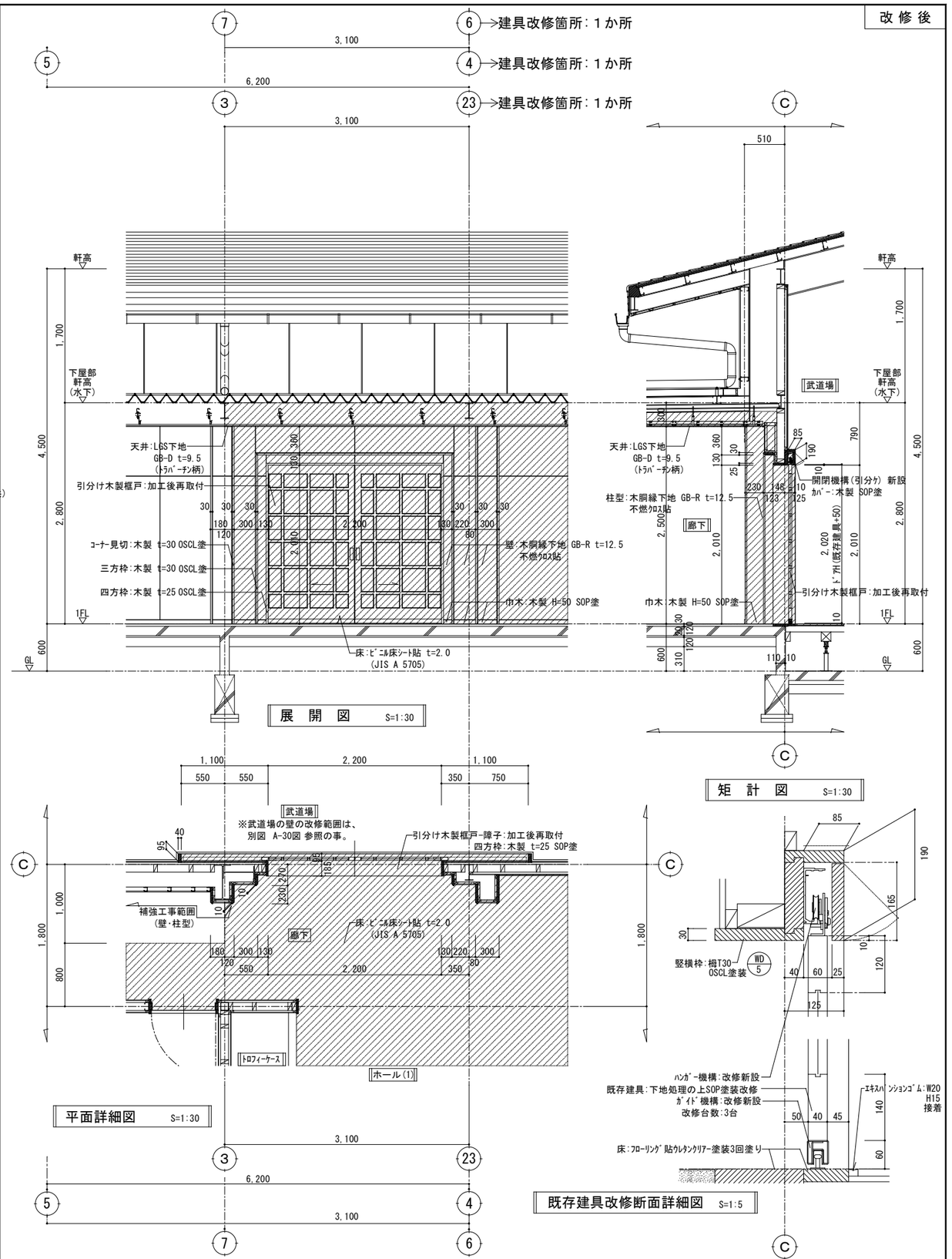



| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 C通り補強詳細図 【補強後】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:30(A3版 50%縮小) | 図面番号 53 |

改修前




改修後




| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 C通り出入口改修図 【改修前・後】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:30 1:5 (A3版 50%縮小) | 図面番号 54 |

## 記号・凡例

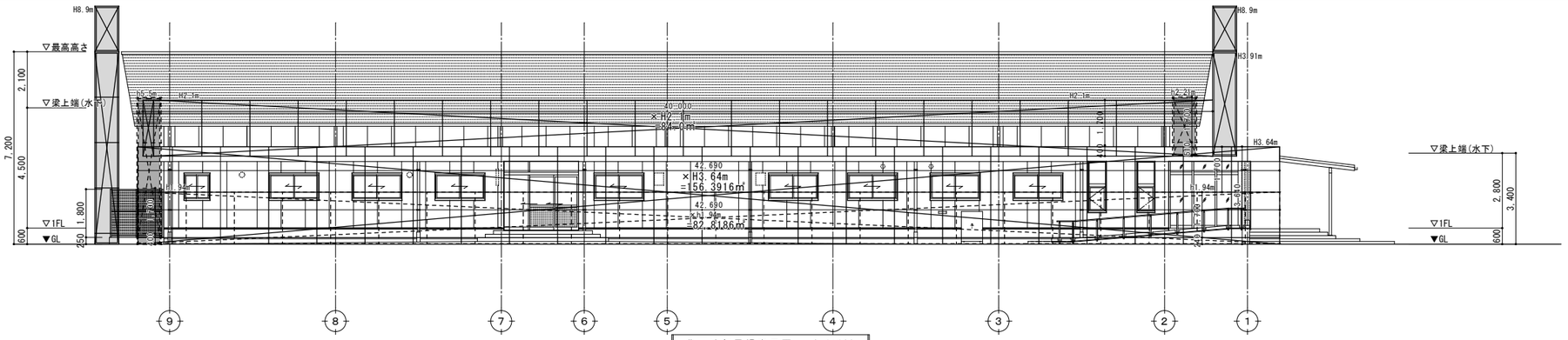
外足場（高さ：H表示）

内足場（高さ：h表示）

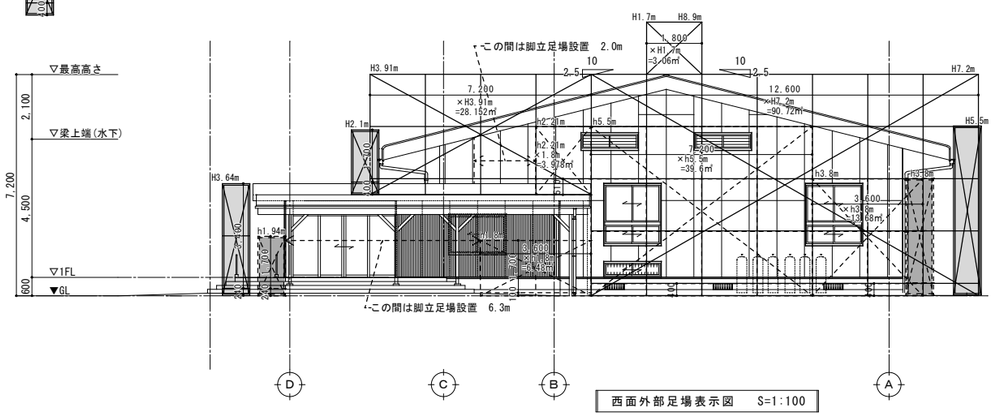
耐震補強用足場

軒下外壁用足場

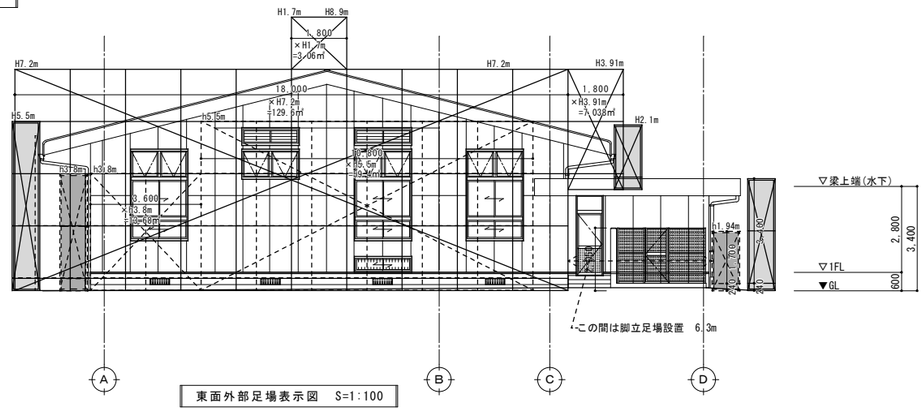
屋根ケラバ・軒先用足場



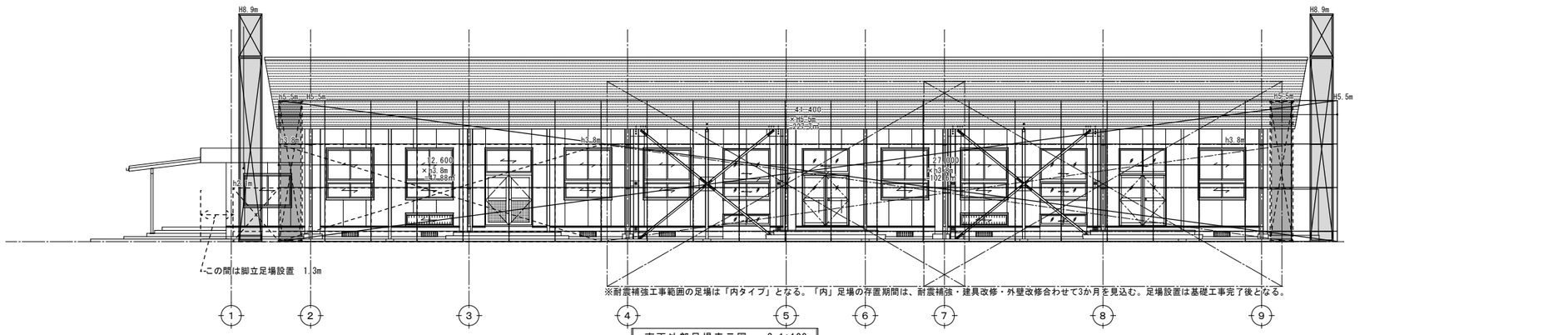

北面外部足場表示図　S=1:100



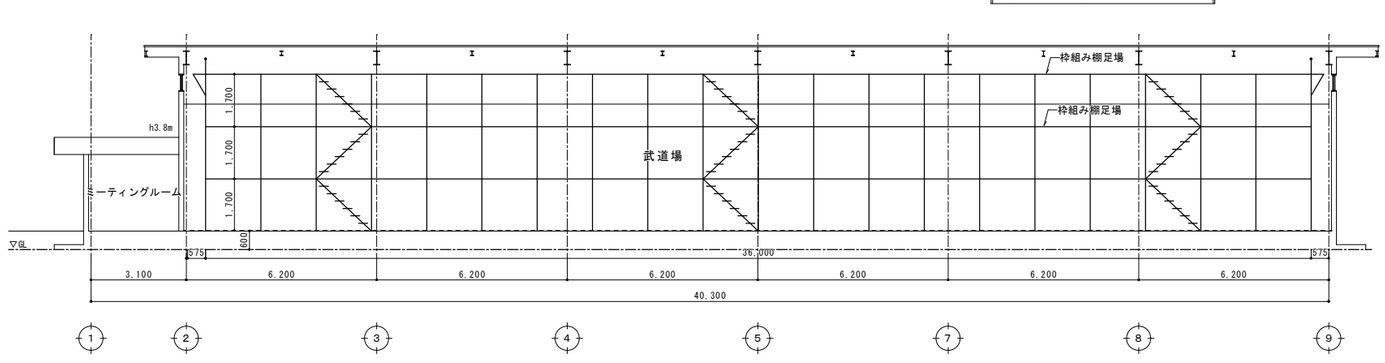

西面外部足場表示図　S=1:100



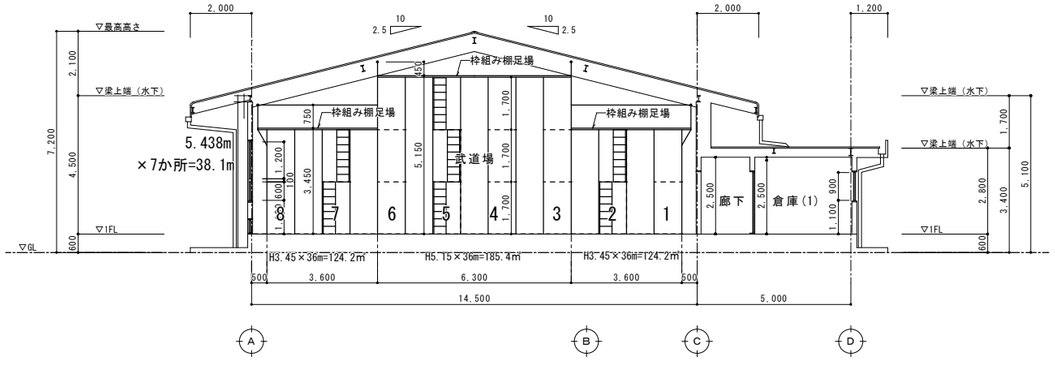

東面外部足場表示図　S=1:100




南面外部足場表示図　S=1:100

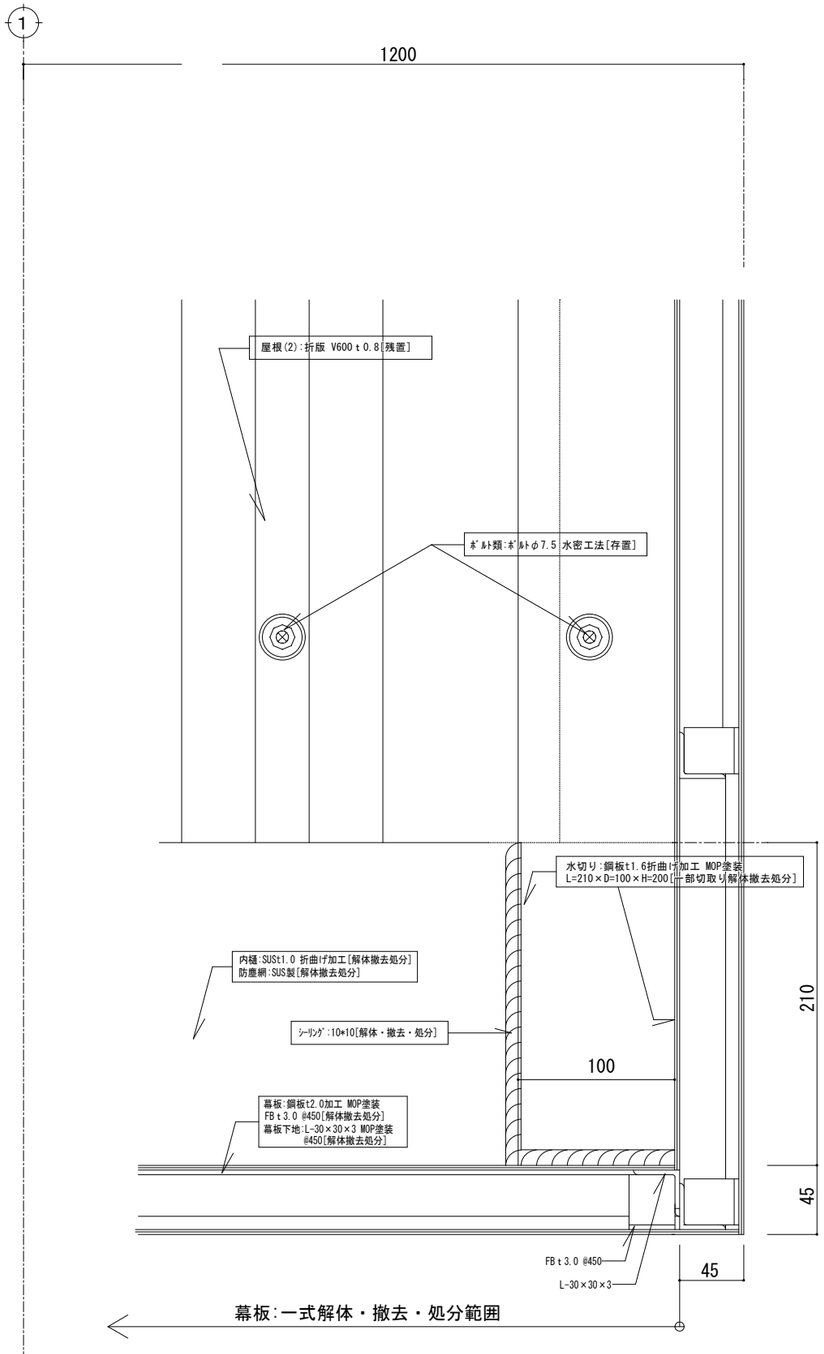



内部足場表示図　S=1:100




内部足場表示図　S=1:100

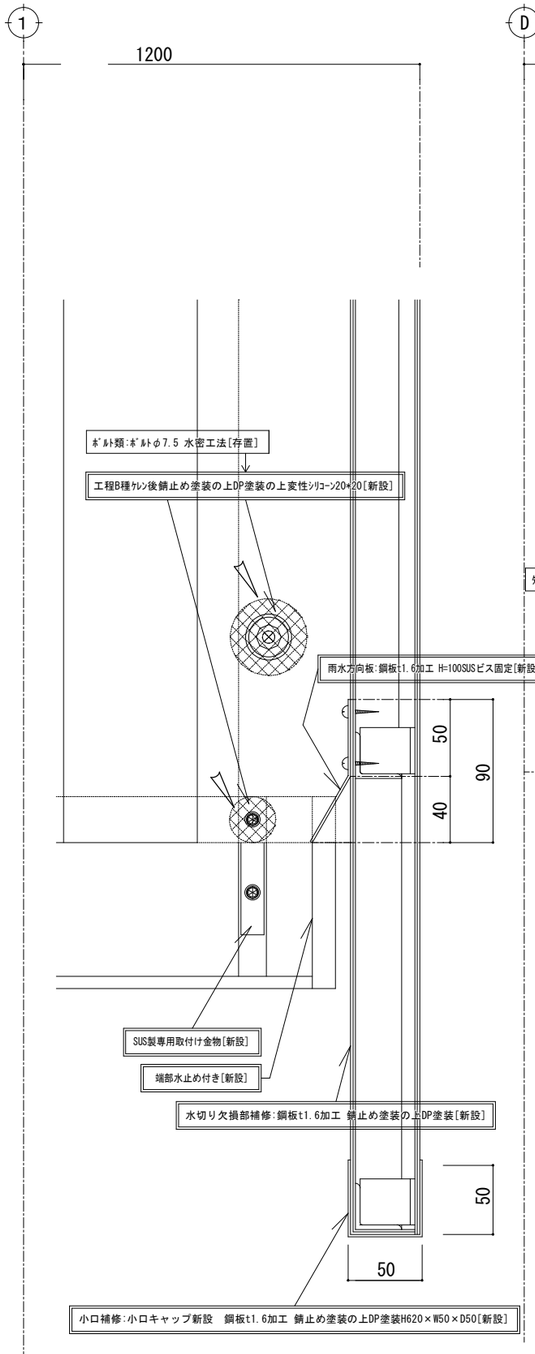
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度　七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 共通仮設図（参考図） | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 55 |




記号・凡例

:変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10

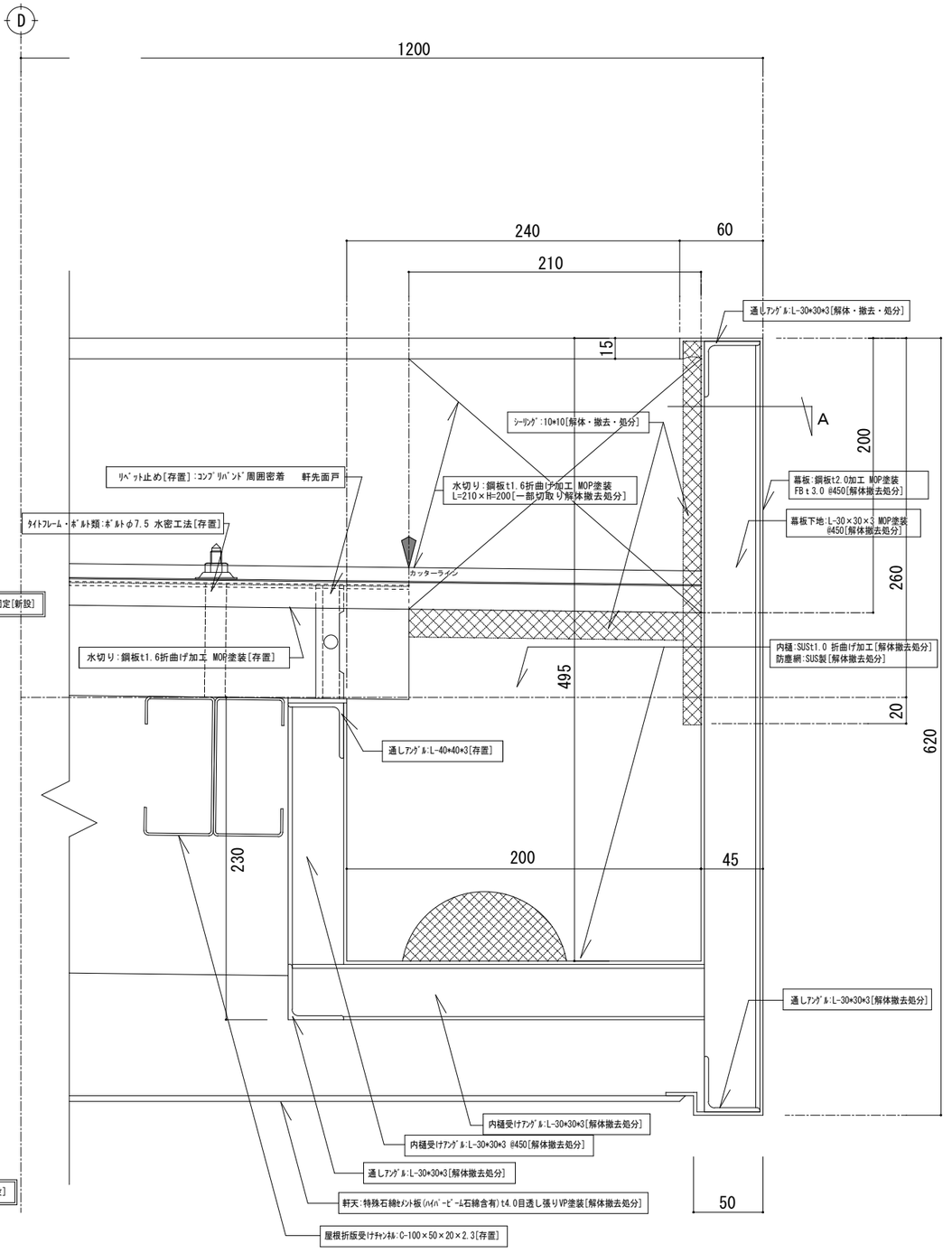
A 軒先雨樋納まり平面詳細図 S=1:2 【改修前】




記号・凡例

:変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10・20×20

A 軒先雨樋納まり平面詳細図 S=1:2 【改修後】




記号・凡例

:変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10

軒先雨樋納まり断面詳細図 S=1:2 【改修前】

【凡例】

| | |
|---|---|
| 文字 | 改修前指示事項を示す。 |
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

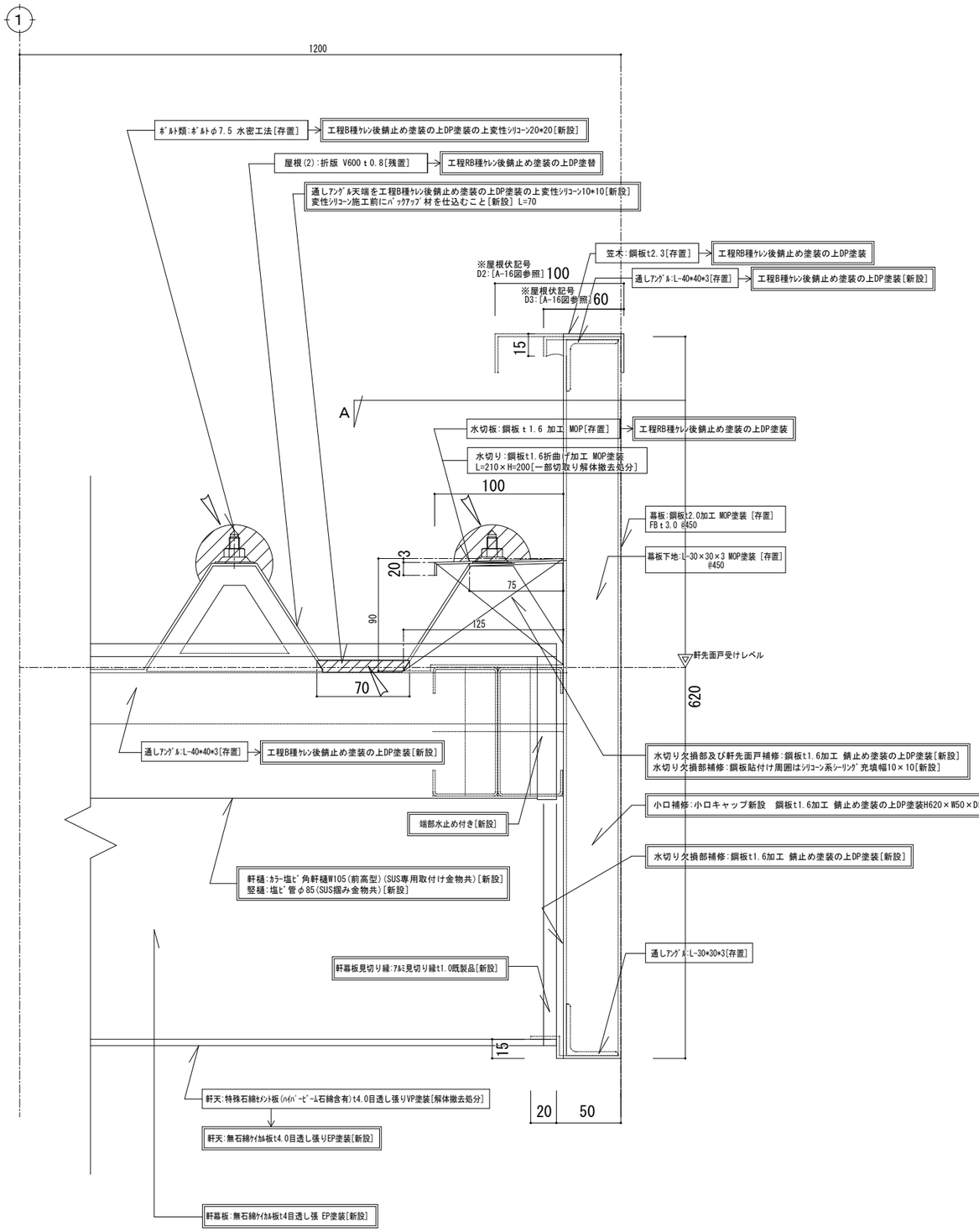
令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

図面名 屋根(2) 軒先詳細図(1) 【改修前・後】

縮尺 S=1:2(A3版 50%縮小)

図面種別 A

図面番号 56

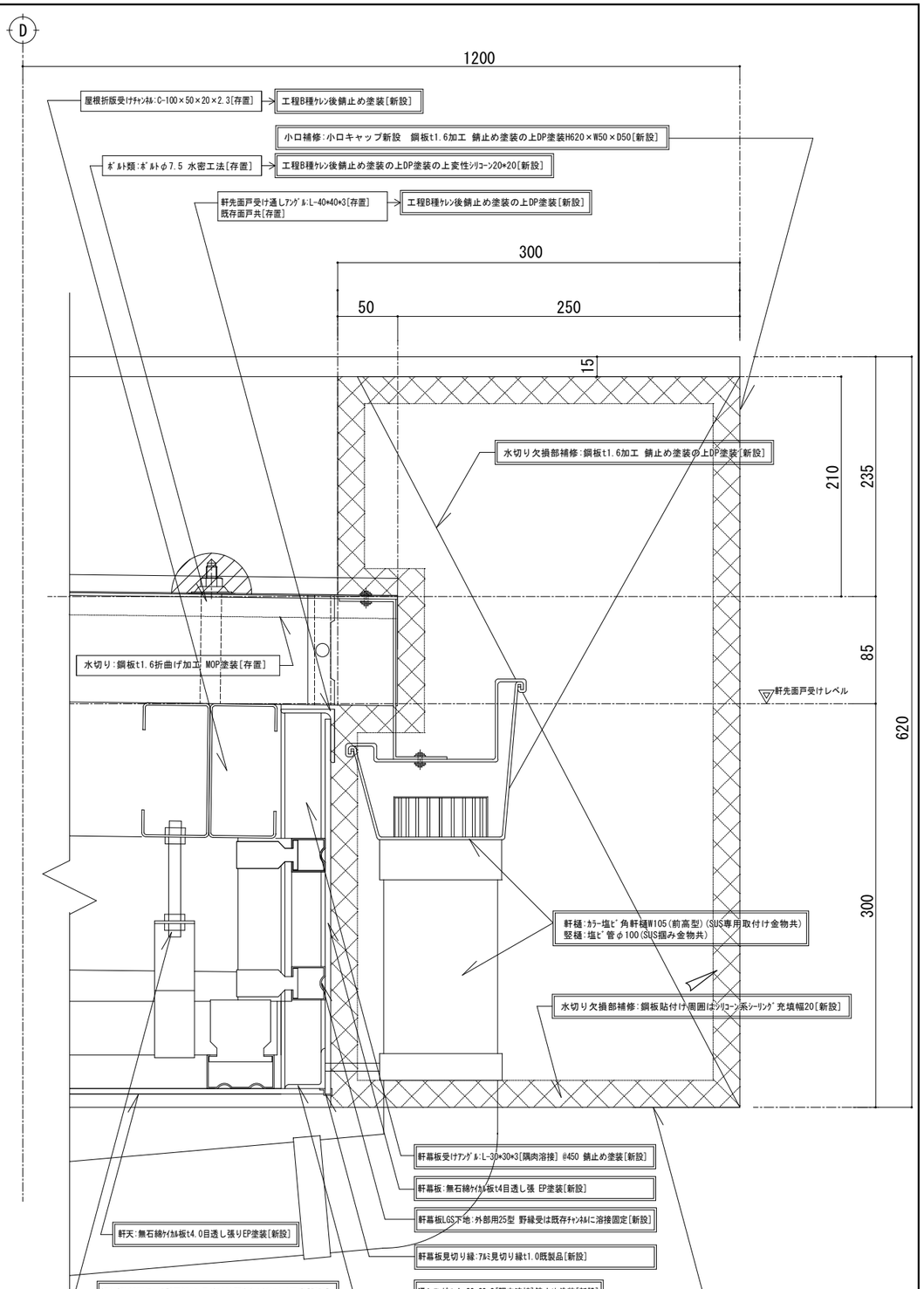



記号・凡例

:変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10・20×20

軒先雨樋納まり断面詳細図 S=1:2

※屋根伏記号 D2 部位を示す。




記号・凡例

:変成ｼﾘｺｰﾝ系10×10・20×20

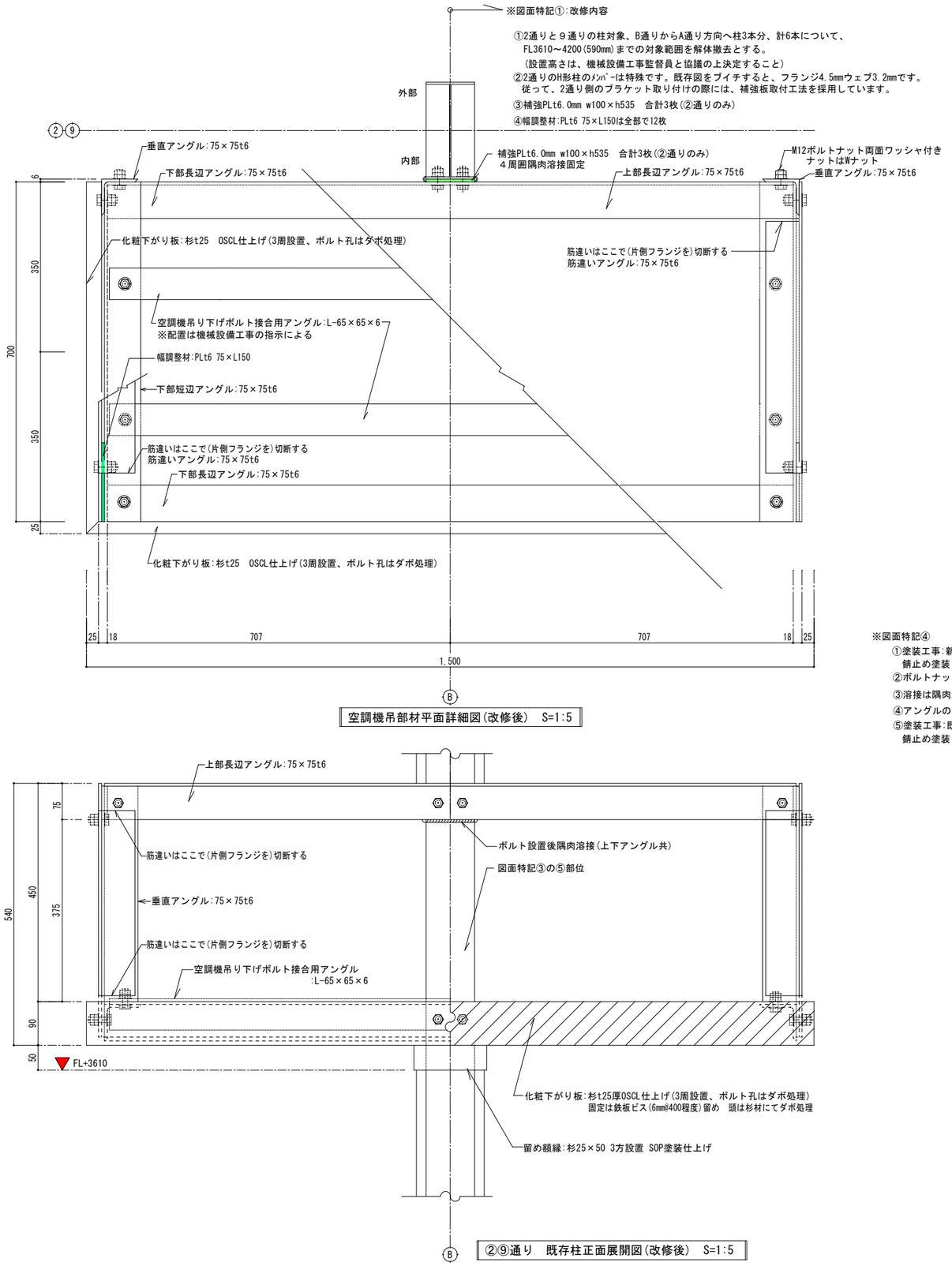
軒先雨樋納まり断面詳細図 S=1:2 E: 屋根伏記号[A-16図参照]

※屋根伏記号 D1[A-16図参照] 部位を示す。

【凡例】

| | |
|---|---|
| 文字 | 改修前指示事項を示す。 |
| 文字 | 改修後指示事項を示す。 |

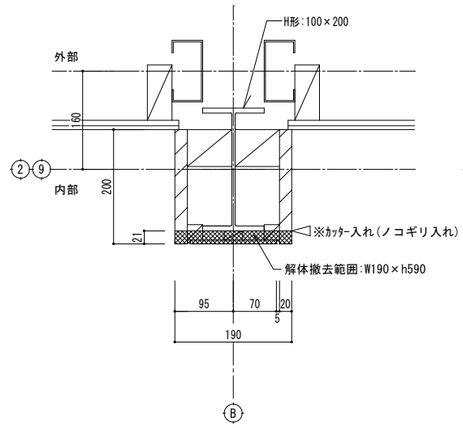
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 屋根(2) 軒先詳細図(2) 【改修後】 | 図面種別 A |
| | | | | 縮尺 S=1:2(A3版 50%縮小) | 図面番号 57 |



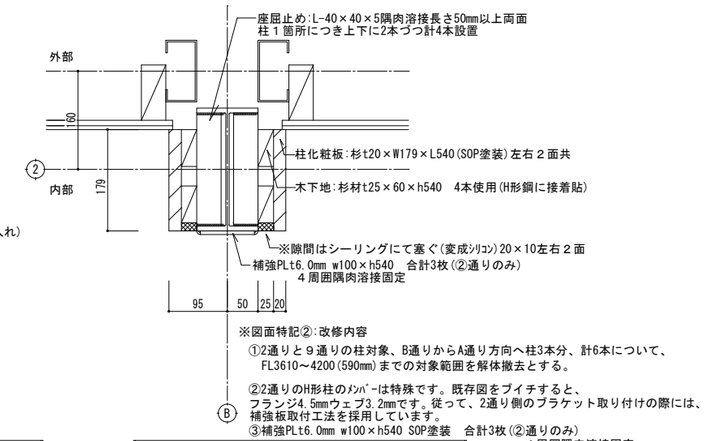

空調機吊部材平面詳細図(改修後)　S=1:5




②⑨通り　既存柱正面展開図(改修後)　S=1:5

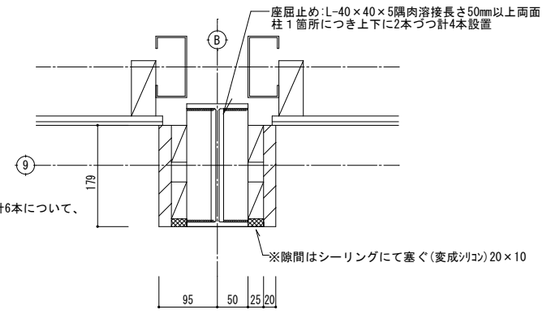



②⑨通り　既存柱平面詳細図(改修前)　S=1:5




※図面特記②:改修内容
①2通りと９通りの柱対象、B通りからA通り方向へ柱3本分、計6本について、
FL3610～4200(590mm)までの対象範囲を解体撤去とする。
②2通りのH形柱のﾒﾝﾊﾞｰは特殊です。既存図をブイチすると、
フランジ4.5mmウェブ3.2mmです。従って、2通り側のブラケット取り付けの際には、
補強板取付工法を採用しています。
③補強PLt6.0mm w100×h540 SOP塗装　合計3枚(②通りのみ)
４周囲隅肉溶接固定

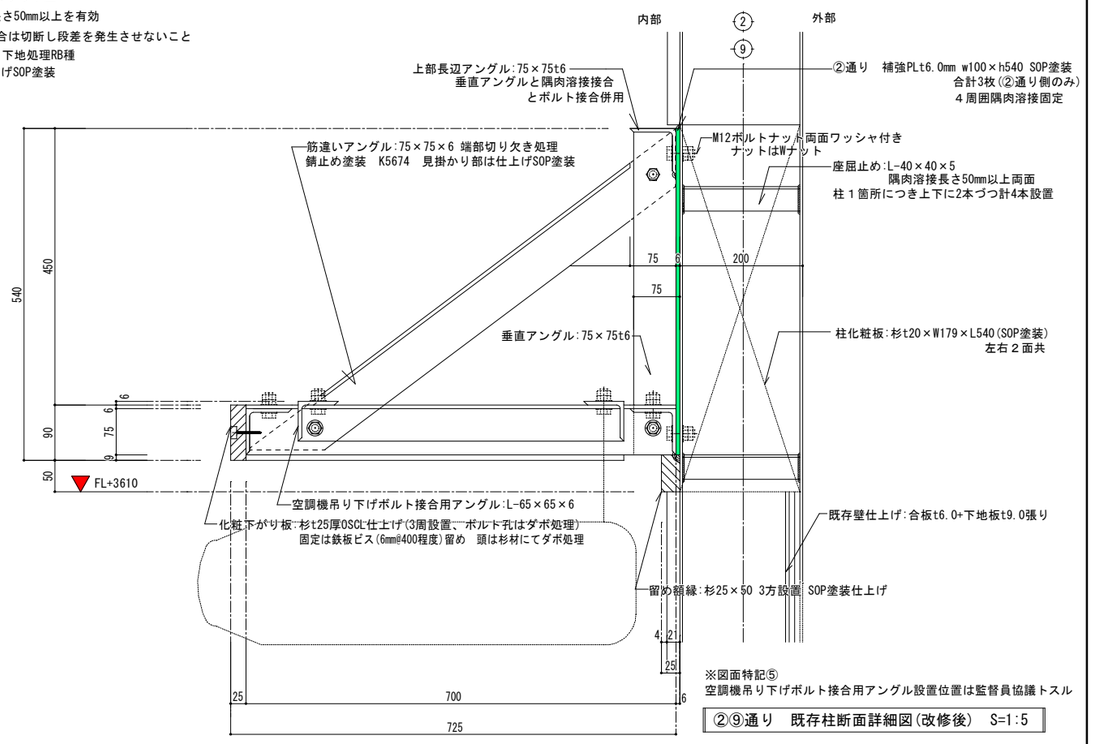
②通り　既存柱平面詳細図(改修後)　S=1:5




⑨通り　既存柱平面詳細図(改修後)　S=1:5

※図面特記③:改修内容
①2通りと９通りの柱対象、B通りからA通り方向へ柱3本分、計6本について、
FL3610～4200(590mm)までの対象範囲を解体撤去とする。
②9通りのH型柱のﾒﾝﾊﾞｰは、フランジ8.0mmウェブ5.5mmです。

※図面特記④
①塗装工事:新設鉄部は、下地処理RA種
錆止め塗装　K5674　見掛かり部は仕上げSOP塗装
②ボルトナット:M12ワッシャー及びダブルナット止
③溶接は隅肉溶接のど厚6mm　連続溶接長さ50mm以上を有効
④アングルの重ね部分で段差が生じる場合は切断し段差を発生させないこと
⑤塗装工事:既存鉄部が露出する部分は、下地処理RB種
錆止め塗装　K5674　見掛かり部は仕上げSOP塗装




※図面特記⑤
空調機吊り下げボルト接合用アングル設置位置は監督員協議トスル

②⑨通り　既存柱断面詳細図(改修後)　S=1:5

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館空調設備設計業務委託 | 設計図 | 図面名: 空調室内機取付架台新設詳細図【改修前・後】 |
| | | | | 縮尺 | S=1: 5(A3版 50%縮小) |

| 図面種別 | A |
|---|---|
| 図面番号 | 58 |

# 溶接基準図

## １．一般事項

### （１） 材料及び検査

（ａ） 構造特記仕様書による

（ｂ） 適用範囲は、鋼材を用いる工事に適用し、かつ鋼材の厚さが原則として４０㎜以下のものとする

（ｃ） 社内検査結果の検査報告書には、鉄骨の寸法、精度及びその他の結果を添付する

### （２） 工作一般

（ａ） 鉄骨製作及び施工に先立って「鉄骨工事施工要領書」を提出し工事管理者の承認を得る

（ｂ） 鋼管部材の分岐継手部の相貫切断は、鋼管自動切断機による

（ｃ） 高張力鋼のひずみきょう正は、冷間きょう正とする

### （３） 高力ボルト接合

（ａ） 本締めに使用するボルトと、仮締めボルトの併用はしてはならない

### （４） 溶接接合

（ａ） 溶接技能者

溶接技能者は施工する溶接に適応するＪＩＳ Ｚ３８０１（手溶接）又はＪＩＳ Ｚ３８４１（半自動溶接）の溶接技術検定試験に合格し引続き、半年以上溶接に従事している者とする

（ｂ） 特記なき開先形状等は、ＪＡＳＳ６を標準とし、製作に先立って工作図に表し、係員の承諾を得ること

（ｃ） 溶接部は、鋼材の種類や板厚に応じて余熱を行う

（ｄ） 溶接機器

（イ） 交流アーク溶接機 ３００Ａ～５００Ａ

（ロ） アークエアーガウジング機（直流）

（ハ） サブマージアーク溶接機１式

（ニ） 炭素ガスアーク半自動溶接機

（ホ） 溶接電流を測定する電流計

（ヘ） 溶接棒乾燥器

（ｅ） 溶接方法

アーク手溶接（ＭＣ）

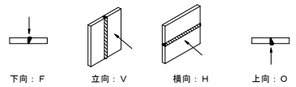
セルフ（ノンガス）シールドアーク半自動溶接機（ＮＧＣ）

アークエアーガウジング（ＡＡＧ）

ガスシールドアーク半自動溶接（ＧＣ）

サブマージアーク自動溶接（ＳＡＷ）

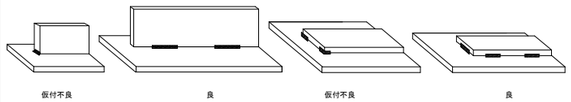
（ｆ） 溶接姿勢



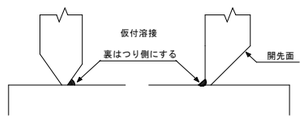

（ｇ） 組立て溶接技能者は、原則として本工事に従事する者が行う

（イ） 仮付位置

組立て溶接は溶接の始、終端、隅角部など強度上、工作上、問題となり易い箇所は避ける




（ロ） 完全溶込み溶接部の仮付溶接は必ず裏はつり側に施工する




（ｉ） 溶接施工

（イ） エンドタブ

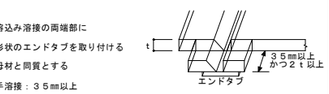
Ⅰ） 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の両端部に母材と同厚で手動開先形状のエンドタブを取り付ける

Ⅱ） エンドタブの材質は、母材と同質とする

Ⅲ） エンドタブの長さは、手溶接：３５㎜以上

半自動溶接：４０㎜以上、自動溶接：７０㎜以上とし特記のない場合は、溶接終了後、母材より１０㎜程度残し切断して、グラインダー仕上げとする

Ⅳ） プレス鋼板タブ、固形タブ使用については、資料を提出して設計者又は工事監理者の承認を得る




（ロ） 裏あて金

材質は母材と同質材料とし厚さは手溶接で６㎜以上、半自動溶接で９㎜以上、自動溶接で１２㎜以上とする

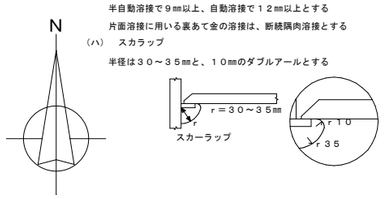
片面溶接に用いる裏あて金の溶接は、断続隅肉溶接とする

溶接のサイズ 単位（㎜）

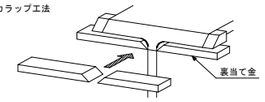
| 裏あて金の厚さ | S |
|---|---|
| t≦９ | 5 |
| t＞９ | 9 |

（ハ） スカラップ

半径は３０～３５㎜と、１０㎜のダブルアールとする




（ニ） ノンスカラップ工法




（ホ） 裏はつり

規準図の溶接においてＡＡＧと記載のある部分は全て、溶接監理者の確認を励行し、部材に確認マークをつける

突合わせ溶接における両面溶接は、原則として裏はつりを行なう。裏はつりで健全な溶接部分が現れるまではつり取った後、裏溶接を行う。ただし、自動溶接において安全溶込みが得られたことが超音波探傷試験等で確認できる場合は、裏はつりを省略することができる

（ヘ） 余盛

突合わせ継手、角継手、隅肉溶接及びフレア溶接の溶接部には、余盛を行う

その高さの限度は、下表による

余盛の限度 単位（㎜）

| 溶接継手 | 溶接工法 | 余盛の限界 |
|---|---|---|
| 突合わせ継手 角継手 | 手溶接 | ３以下 |
| | 半自動溶接 | ４以下 |
| | 自動溶接 | ４以下 |
| 隅肉溶接 | 手溶接 | ４以下 |
| | 半自動溶接 | |
| | 自動溶接 | |

（ト） 補強隅肉溶接

Ｔ形継手、角継手及び部分溶込み溶接の場合には、補強隅肉を付加し、そのサイズは、突合わせる板厚の１／４以上かつ１０㎜以下とする。 材の厚さが４０㎜を超える場合は１０㎜とする

（チ） 現場溶接の開先面には、溶接に支障のない防錆材を塗布する。又、開先部をいためない様に、養生を行なう

### （５） 塗装

コンクリートに埋め込まれる部分及びコンクリートとの接触面で、コンクリートと一体とする設計仕様になっている部分は、塗装をしない

## ２．溶接規準図

注）ｔ：材厚 Ｄ：開先深さ θ：開先角度 Ｇ：ルート間隔 Ｒ：ルート面（フェイス）
Ｓ：サイズ（脚長） Ｓ’：補強隅肉溶接サイズ ｆ：余盛（単位㎜）

### （１）スミ肉溶接 ：Ｗ１

隅肉溶接のサイズ 単位（㎜）

| t | 2.3 | 3.2 | 4 | 4.5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| s | 3 | | 4 | | 6 | | 7 | 8 | 9 | 10 | | 11 | | 12 | |
| t | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 | 26 | 28 | 30 | 32 | 36 | 40 |
| s | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 22 | 24 | | | |

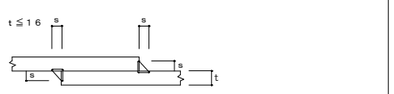
●但し片面溶接の場合はＳ＝ｔとする
●ｔはｔ１，ｔ２の小なる方とする

●軸力が加わる場合のＳは母材と同厚とすることが望ましい
●ｆ≦（１＋０．１ｓ）かつ４㎜

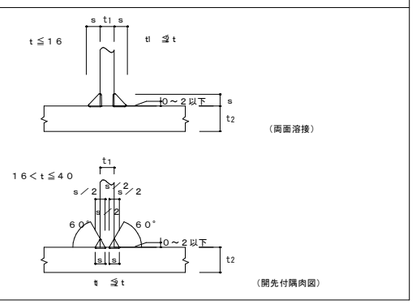
（注）隅肉溶接の最小有効長さは隅肉のサイズの１０倍以上かつ４０㎜以上とする。
ただし、有効長さはビードの始点及びクレータを除いた部分の長さとする

Ｌ：隅肉溶接の長さ
Ｓ：隅肉溶接のサイズ
Ｌe：有効長さ
Ｌ’≧Ｓ’

Ｗ１

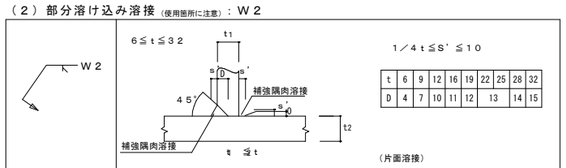



Ｗ１




### （２）部分溶け込み溶接（使用箇所に注意）：Ｗ２

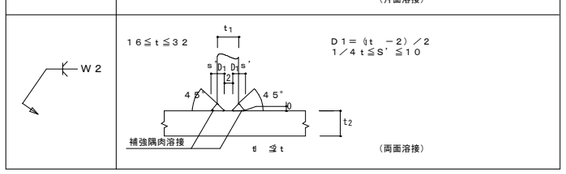
Ｗ２




| t | 6 | 9 | 12 | 16 | 19 | 22 | 25 | 28 | 32 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| D | 4 | 7 | 10 | 11 | 12 | 13 | 14 | 15 | |

１／４ｔ≦Ｓ’≦１０

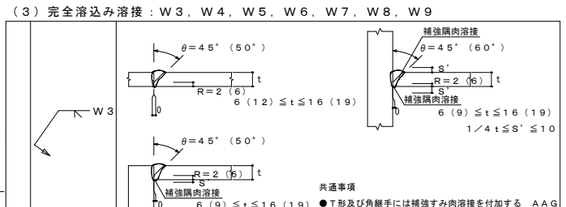
Ｗ２




Ｄ１＝（t －２）／２
１／４ｔ≦Ｓ’≦１０

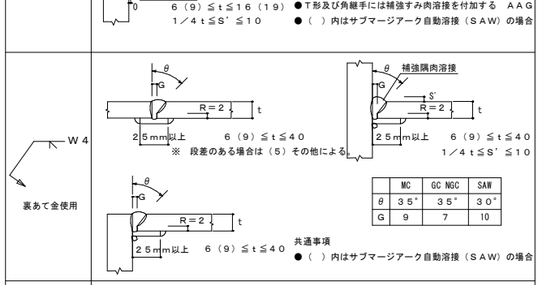
### （３）完全溶込み溶接：Ｗ３，Ｗ４，Ｗ５，Ｗ６，Ｗ７，Ｗ８，Ｗ９

Ｗ３




共通事項
●Ｔ形及び角継手には補強すみ肉溶接を付加する ＡＡＧ
●（ ）内はサブマージアーク自動溶接（ＳＡＷ）の場合

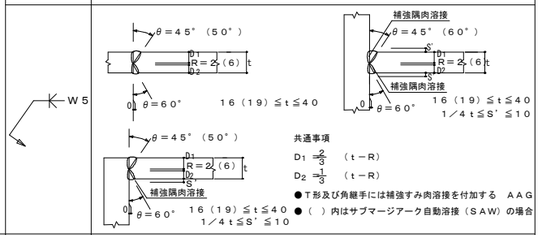
Ｗ４




| | MC | GC NGC | SAW |
|---|---|---|---|
| θ | ３５° | ３５° | ３０° |
| G | ９ | ７ | １０ |

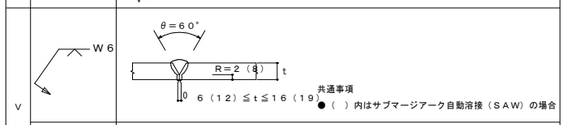
共通事項
●（ ）内はサブマージアーク自動溶接（ＳＡＷ）の場合

Ｗ５



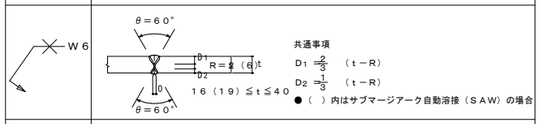

共通事項
Ｄ１＝２／３（ｔ－Ｒ）
Ｄ２＝１／３（ｔ－Ｒ）
●Ｔ形及び角継手には補強すみ肉溶接を付加する ＡＡＧ
●（ ）内はサブマージアーク自動溶接（ＳＡＷ）の場合

Ｗ６



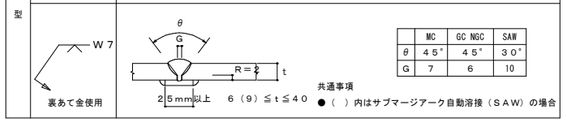

共通事項
●（ ）内はサブマージアーク自動溶接（ＳＡＷ）の場合

Ｗ６




共通事項
Ｄ１＝２／３（ｔ－Ｒ）
Ｄ２＝１／３（ｔ－Ｒ）
●（ ）内はサブマージアーク自動溶接（ＳＡＷ）の場合

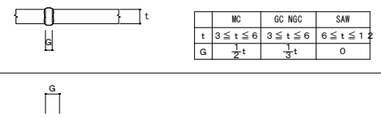
Ｗ７




| | MC | GC NGC | SAW |
|---|---|---|---|
| θ | ４５° | ４５° | ３０° |
| G | ７ | ６ | １０ |

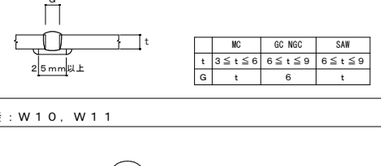
共通事項
●（ ）内はサブマージアーク自動溶接（ＳＡＷ）の場合

Ｗ８




| | MC | GC NGC | SAW |
|---|---|---|---|
| t | ３≦t≦６ | ３≦t≦６ | ６≦t≦１２ |
| G | $\frac{1}{2}$t | $\frac{1}{3}$t | ０ |

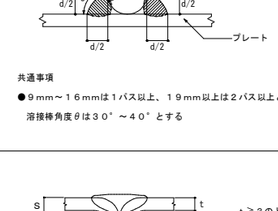
Ｗ９




| | MC | GC NGC | SAW |
|---|---|---|---|
| t | ３≦t≦６ | ６≦t≦９ | ６≦t≦９ |
| G | t | ６ | t |

### （４）フレアー溶接：Ｗ１０，Ｗ１１

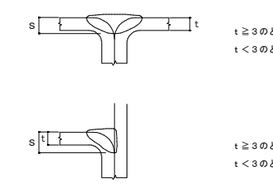
Ｗ１０




丸鋼等

共通事項
●９㎜～１６㎜は１パス以上、１９㎜以上は２パス以上とする
溶接棒角度θは３０°～４０°とする

Ｗ１１



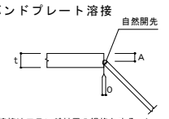

Ｗ１１

軽量形鋼等

共通事項
●溶接工法は原則としてＭＣ、ＧＣ、ＮＧＣとする

### （５）その他

バンドプレート溶接

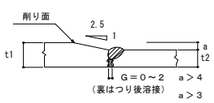



（溶接棒はフランジ材用の規格とする。）

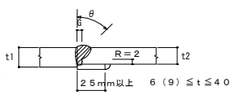
共通事項
●溶接工法は原則としてＭＣ、ＧＣ、ＮＧＣとする

溶接板の段差

ｔ１－ｔ２＞１０㎜




ｔ１－ｔ２≦１０㎜



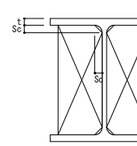

●θ，ＧはＷ４に準ずる

断続隅肉溶接の長さ

単位（㎜）

| 板厚 | 溶接の長さ（Ｌ） | |
|---|---|---|
| | 手溶接、半自動溶接 | 自動溶接 |
| ｔ≦３．２ | ３０程度 | ４０程度 |
| ３．２＜ｔ＜２５ | ４０程度 | ５０程度 |
| ２５≦ｔ | ５０程度 | ７０程度 |

スニプカット




単位（㎜）

| t | 6 | 9 | 12 | 16以上 |
|---|---|---|---|---|
| Sc | 10 | 12 | 14 | 15 |

令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

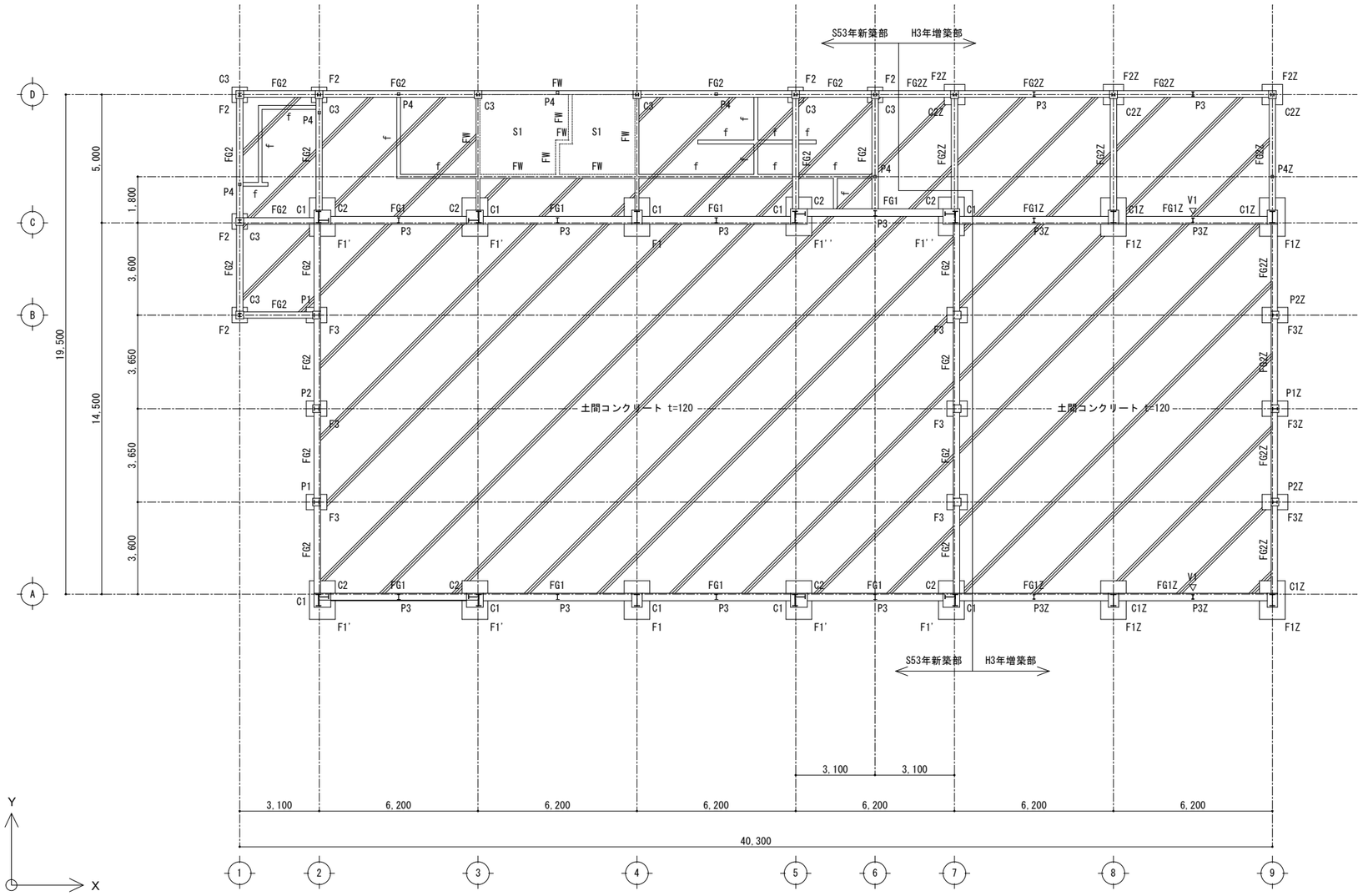
図面名 溶接基準図

縮尺 S=1:NON(A3版 50%縮小)

図面種別 S

図面番号 ０１

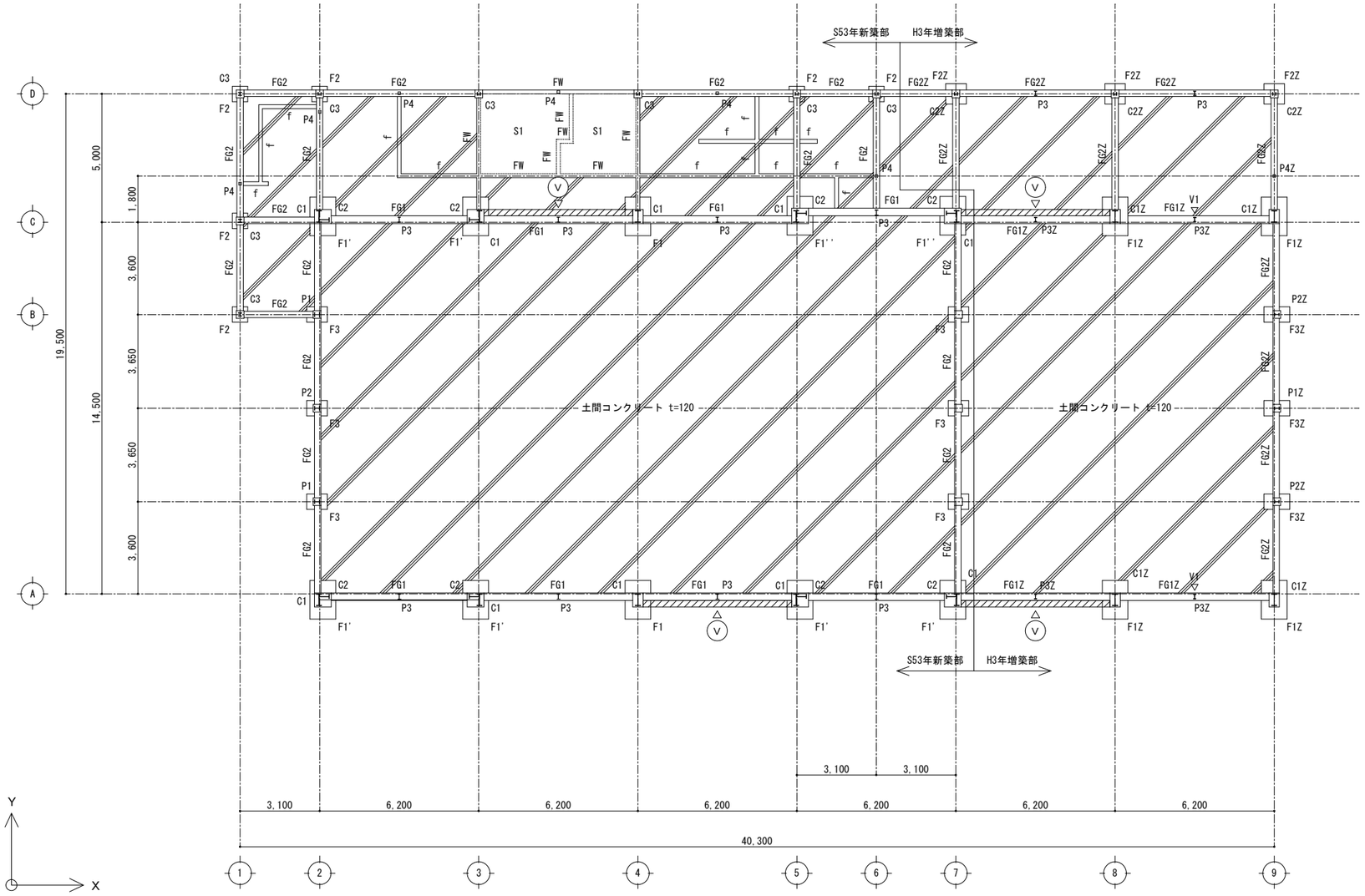
改修前




基礎・基礎梁伏図　1:100

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 基礎・基礎梁伏図【改修前】 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 02 |

改修後




基礎・基礎梁伏図　1:100

補強特記事項

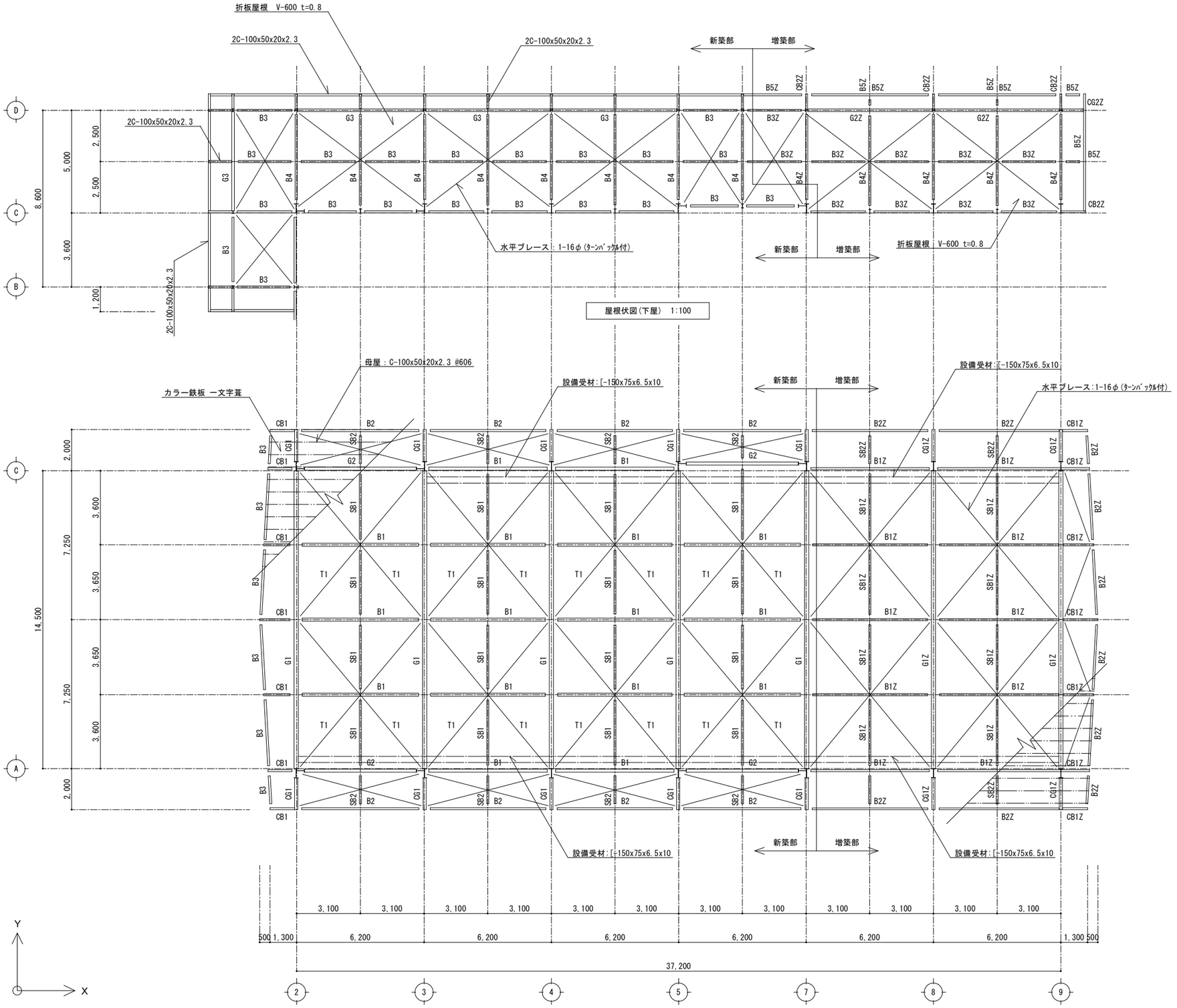
1．(V) 印は枠付き鉄骨ブレース補強位置を示す。

L-75x75x6（縦枠材 [-200x90x8x13.5）：４箇所

2．▨ 印は基礎梁側面増打ちを示す。

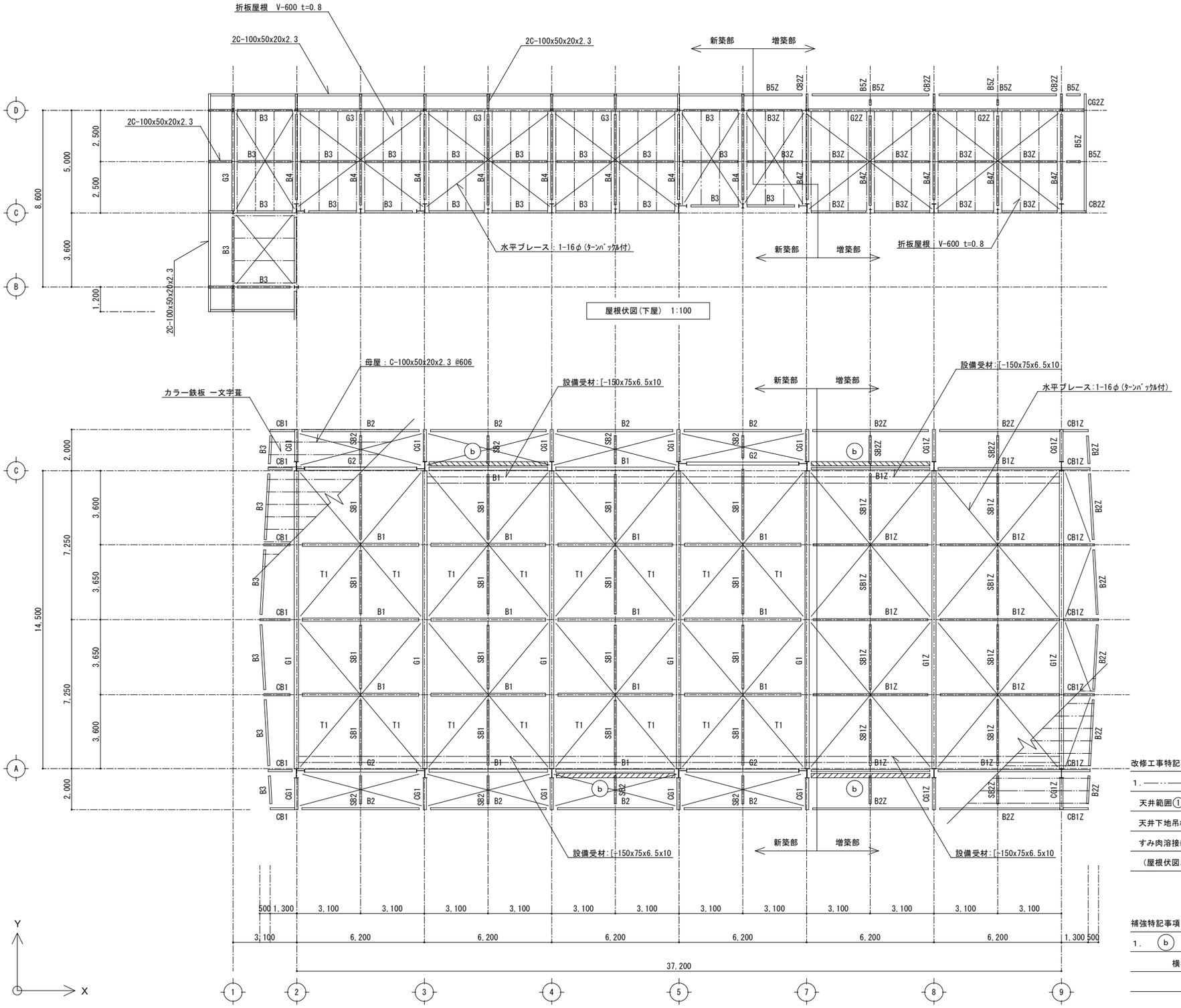
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 基礎・基礎梁伏図【改修後】 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 ０３ |

改修前




| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 屋根伏図【改修前】 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 04 |

改修後




改修工事特記事項

1．——·——印は、C-60*30*10*2.3を示す。

天井範囲①～②、Ⓑ～Ⓓ間及び②～⑨、Ⓒ～Ⓓ間

天井下地吊ﾎﾞﾙﾄ用ﾁｬﾝﾈﾙ新設とする。新設ﾁｬﾝﾈﾙの固定は、各G梁、B梁に

すみ肉溶接にて固定する。　受ｱﾝｸﾞﾙは、L-50*50*6、長さ100mmとする。

（屋根伏図、下屋）

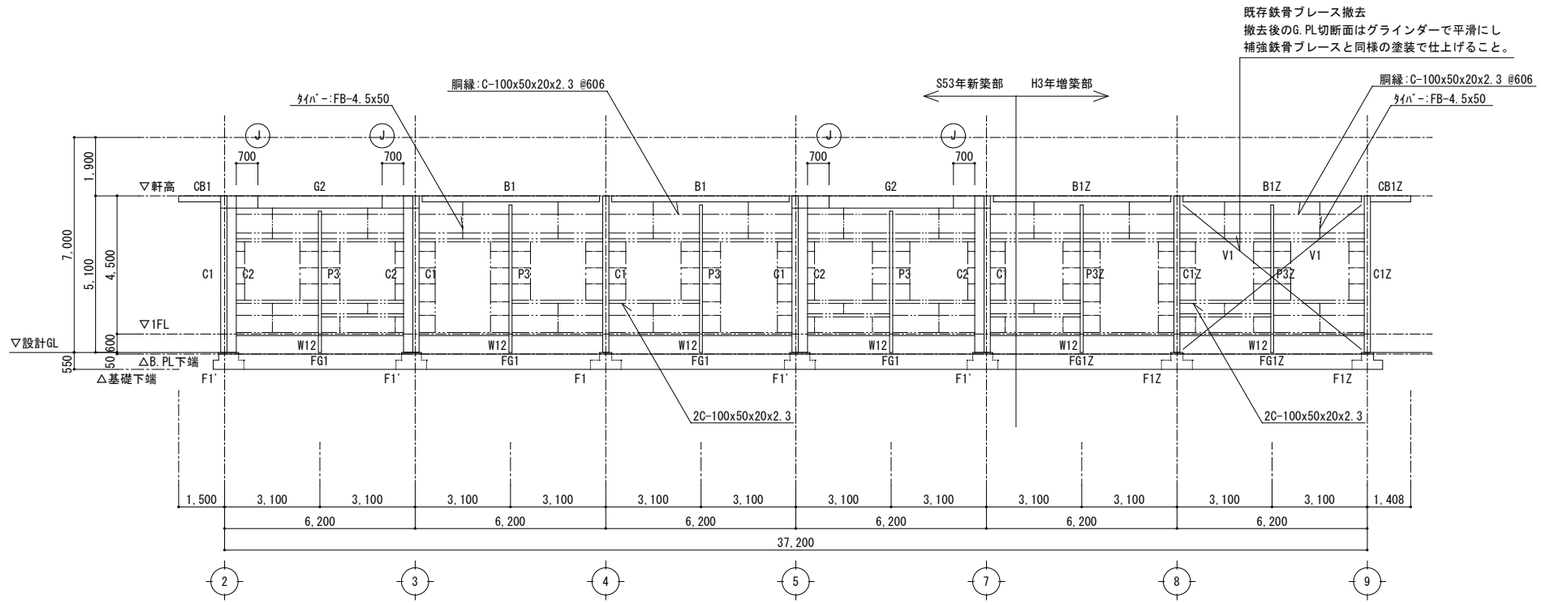
補強特記事項

1．　ⓑ　印は枠付き鉄骨ブレース横枠材を示す。

横枠材 [-200x90x8x13.5：　4箇所

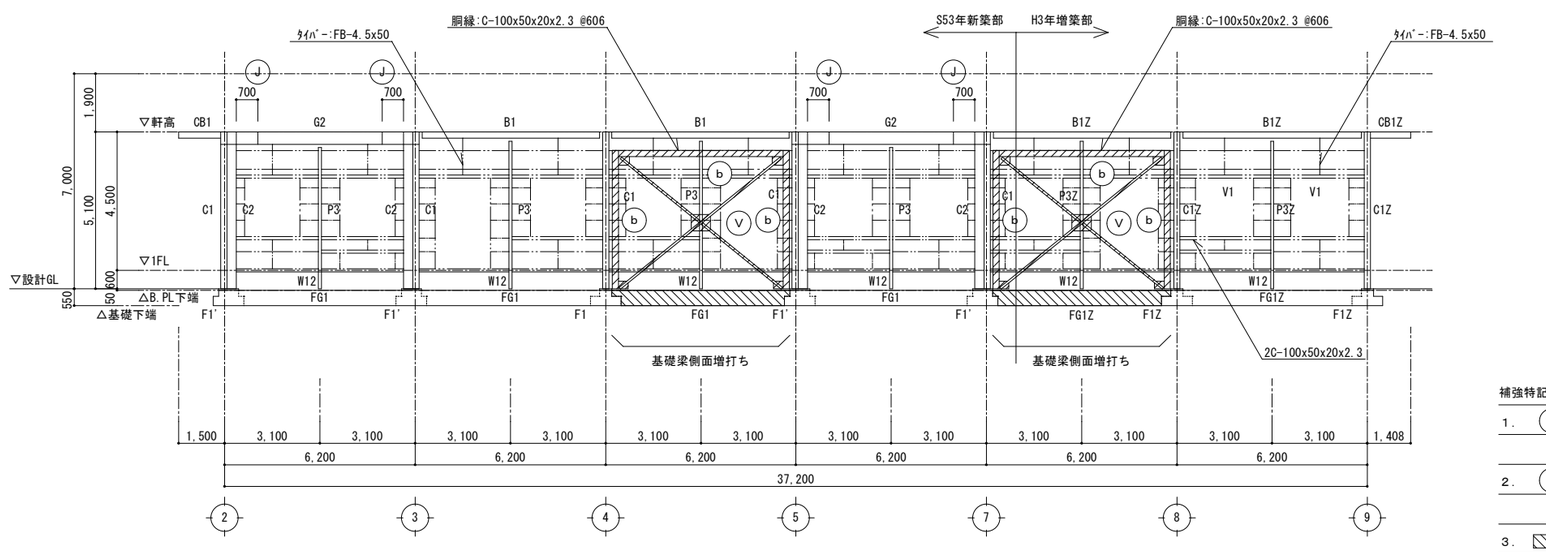
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 屋根伏図【改修後】 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 05 |

改修前




A通り軸組図　1:100

改修後



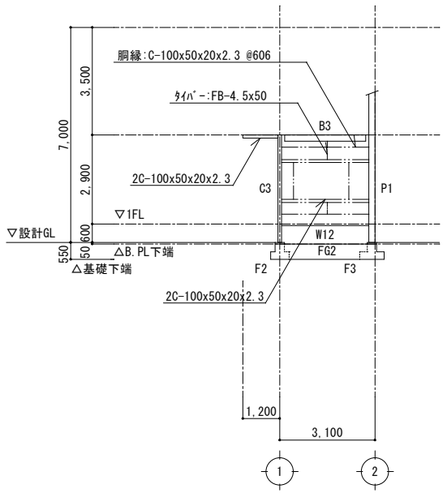

A通り軸組図　1:100

補強特記事項

1. (V) 印は枠付き鉄骨ブレース補強位置を示す。
   L-75x75x6　：２箇所
2. (b) 印は鉄骨ブレース補強枠材を示す。
   [-200x90x8x13.5　：６箇所
3. ▨ 印は基礎梁側面増打ちを示す。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 軸組図(1)【改修前・改修後】 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 ０６ |

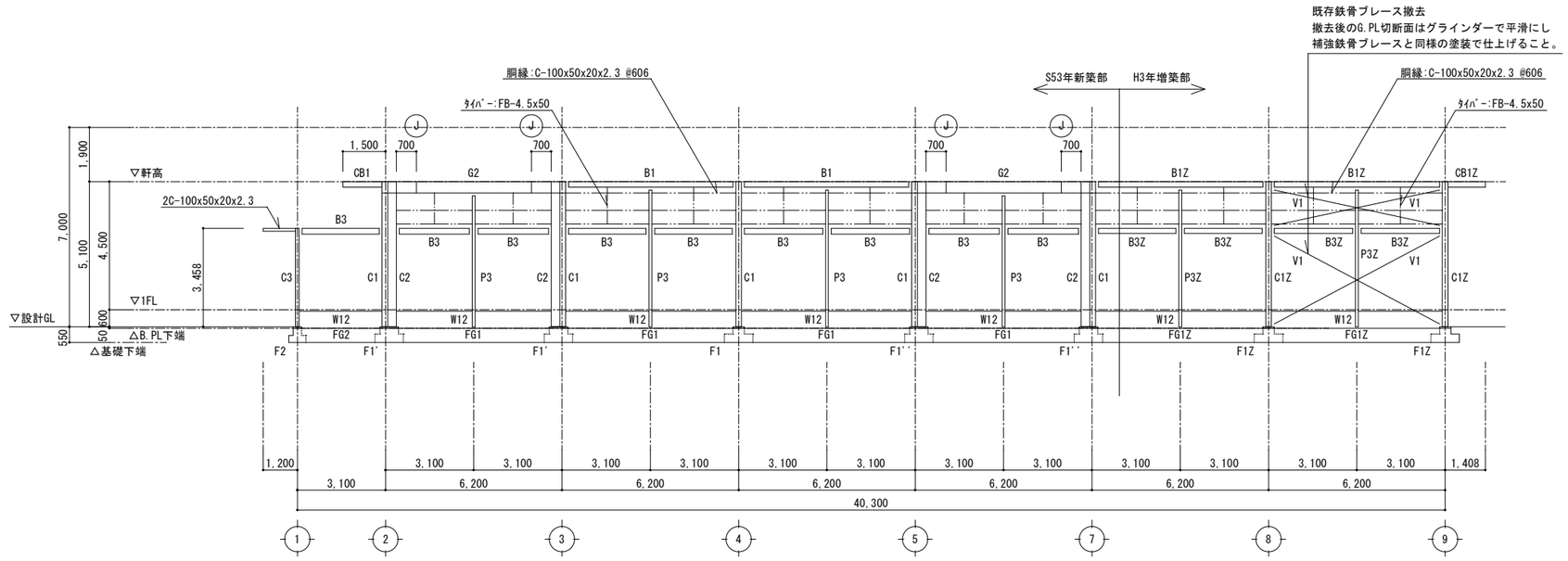
改修前




B通り軸組図　1:100

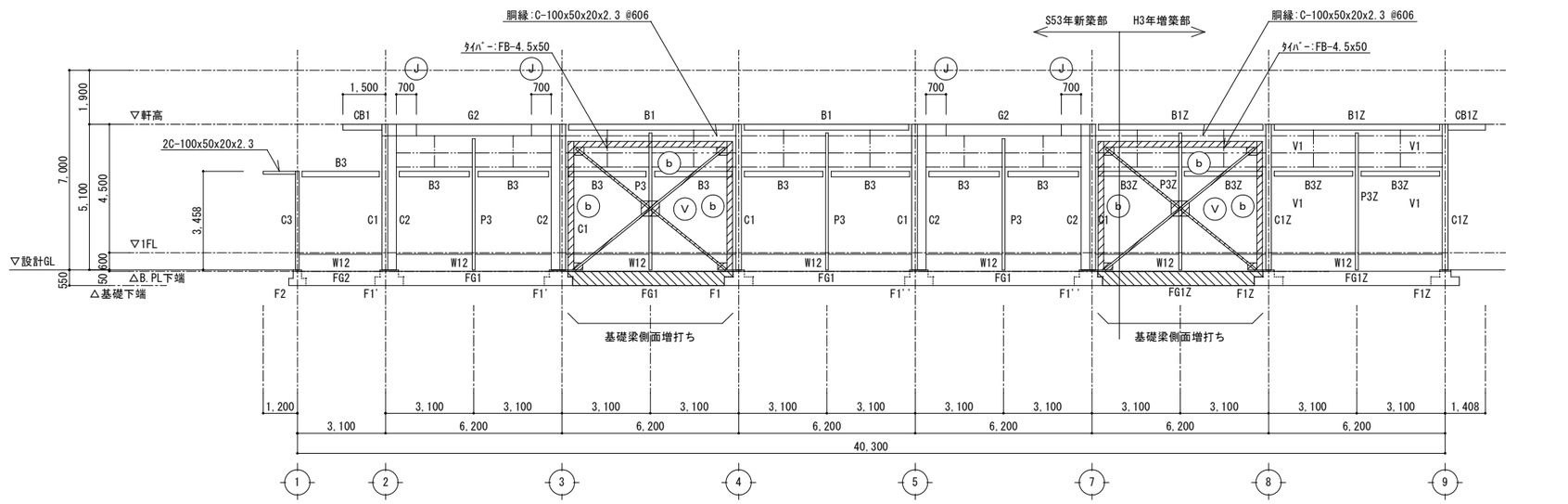
(S53年新築)

（改修なし）




C通り軸組図　1:100

改修後

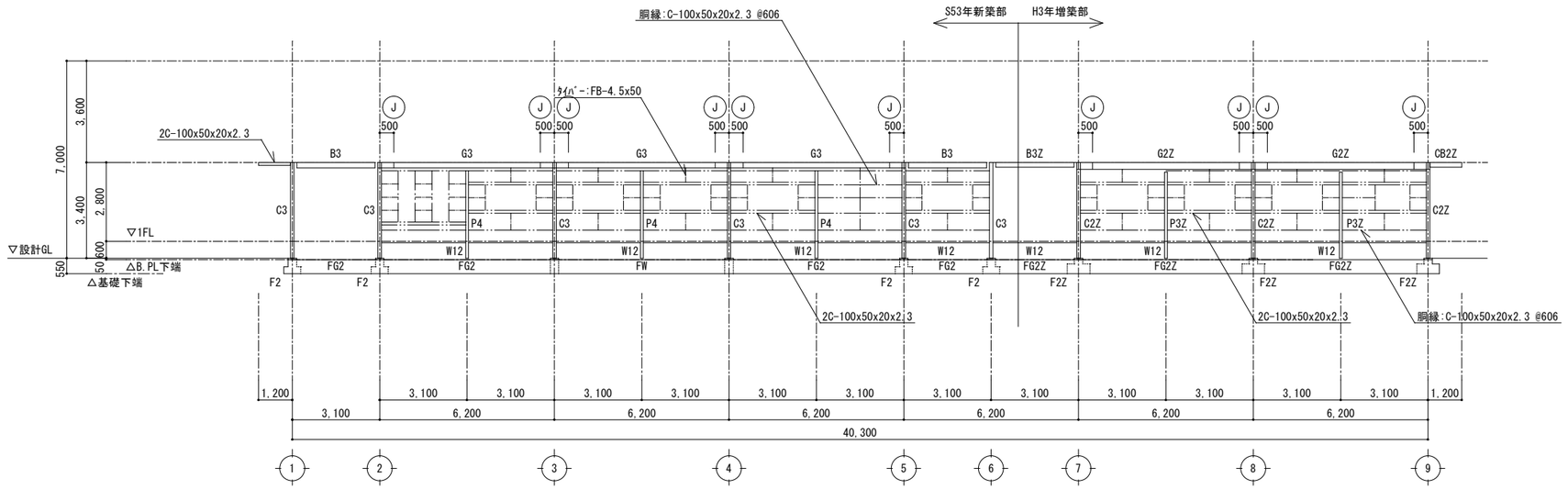



C通り軸組図　1:100

補強特記事項

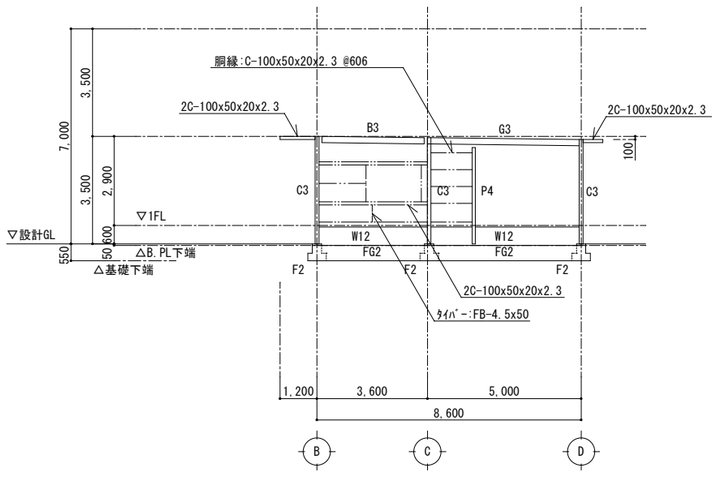
1. (V) 印は枠付き鉄骨ブレース補強位置を示す。
   L-75x75x6　：　2箇所
2. (b) 印は鉄骨ブレース補強枠材を示す。
   [-200x90x8x13.5　：　6箇所
3. ▨ 印は基礎梁側面増打ちを示す。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 軸組図(2)【改修前・改修後】 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 07 |




D通り軸組図　1:100

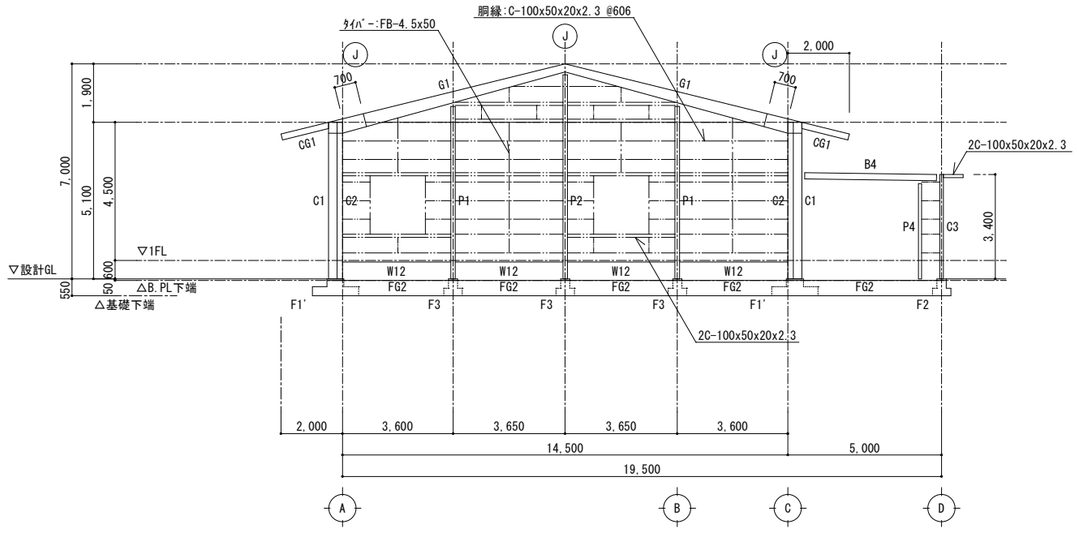
（改修なし）




1通り軸組図　1:100

(S53年新築)

（改修なし）

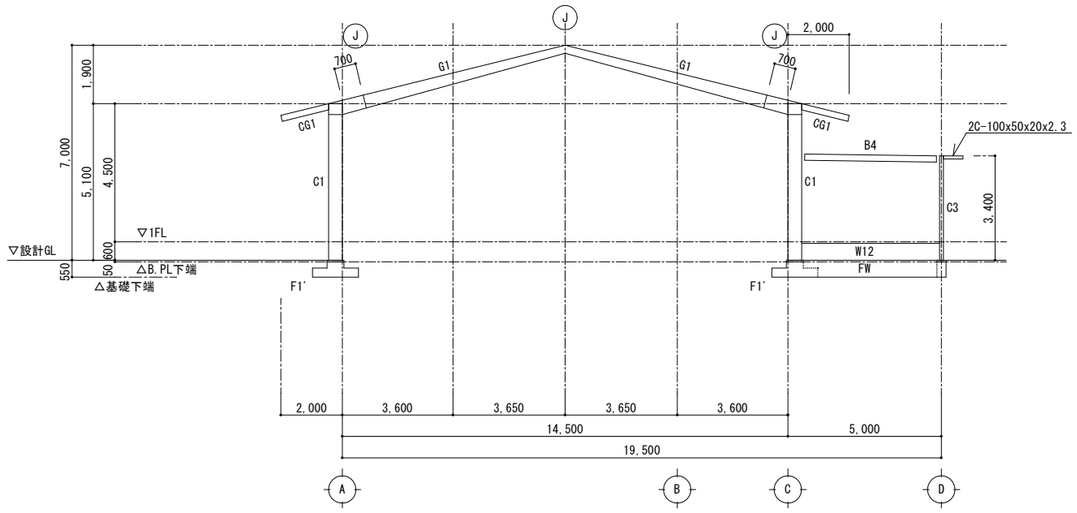



2通り軸組図　1:100

(S53年新築)

（改修なし）

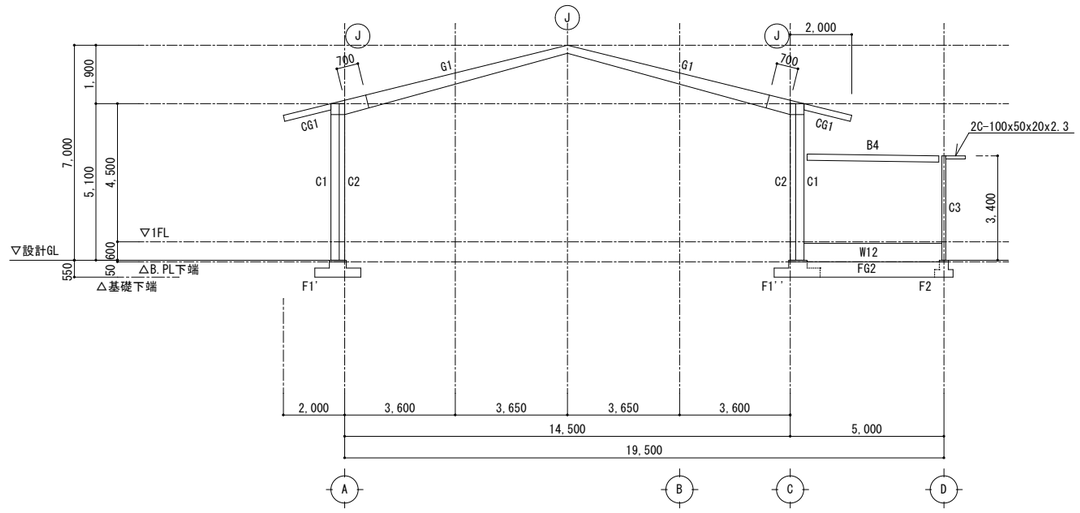
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 軸組図(3)【改修前】 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 08 |




3・4通り軸組図　1:100

(S53年新築)

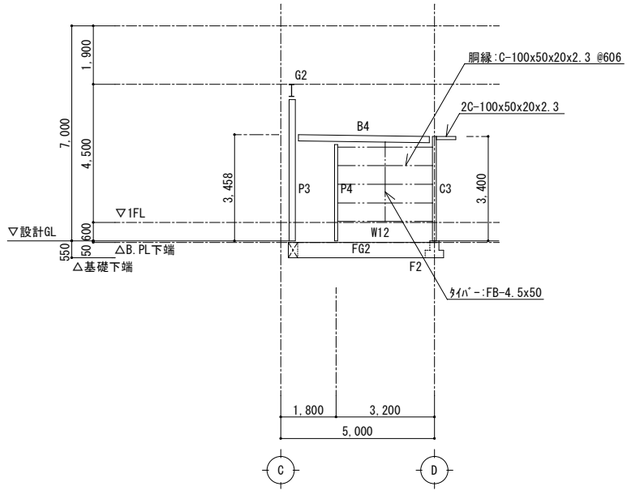
(改修なし)




5通り軸組図　1:100

(S53年新築)

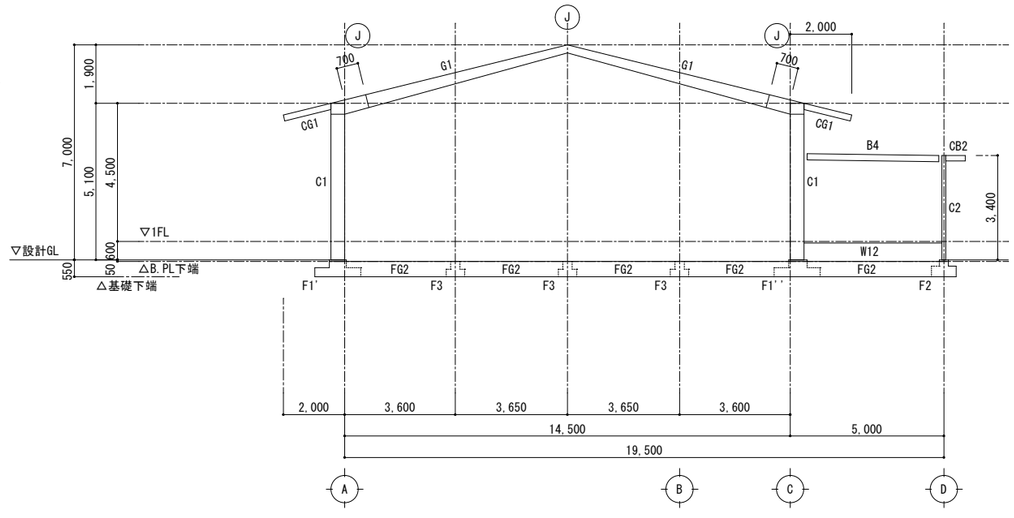
(改修なし)




6通り軸組図　1:100

(S53年新築)

(改修なし)



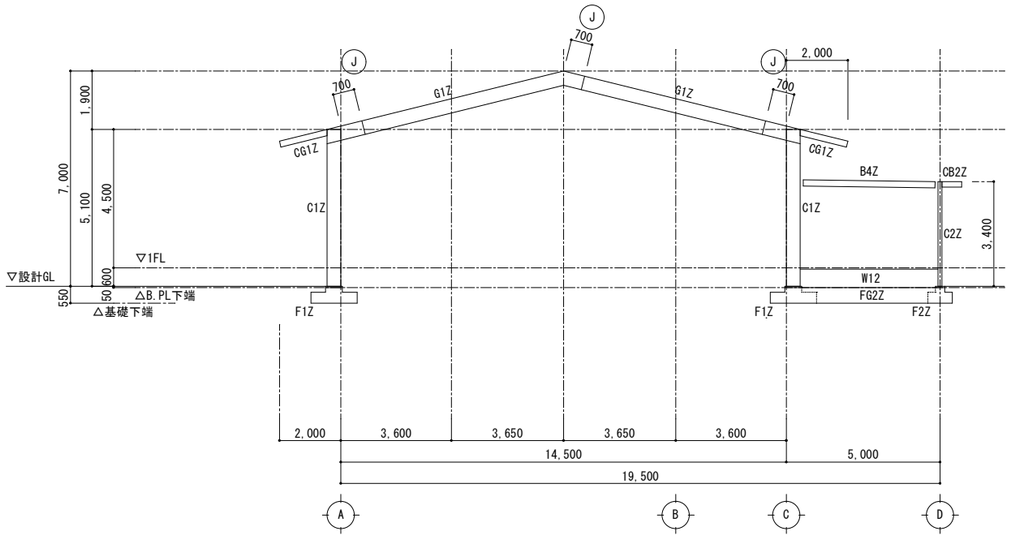

7通り軸組図　1:100

(S53年新築)

(改修なし)

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 軸組図(4)【改修前】 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 09 |

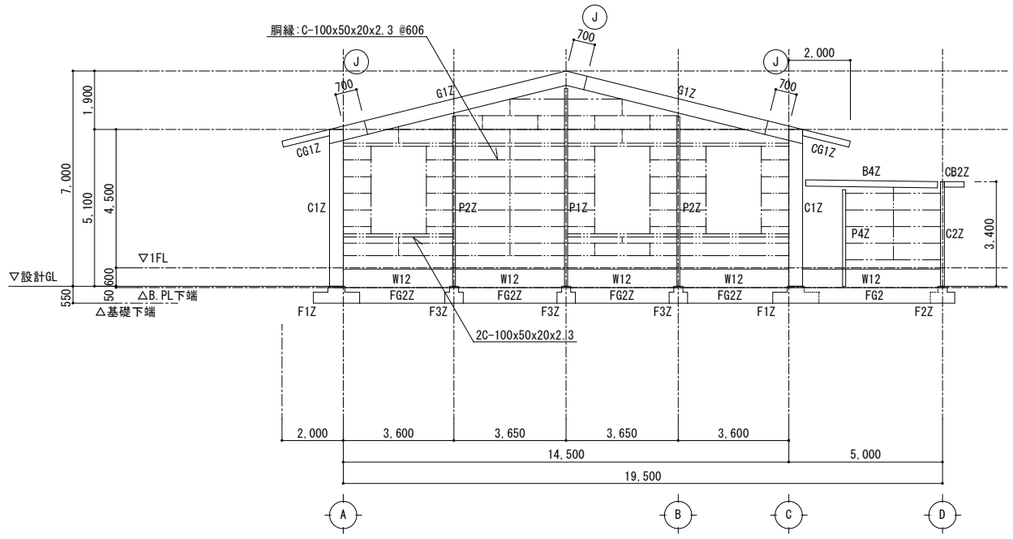
改修前




8通り軸組図　1:100

(H3年新築)

（改修なし）

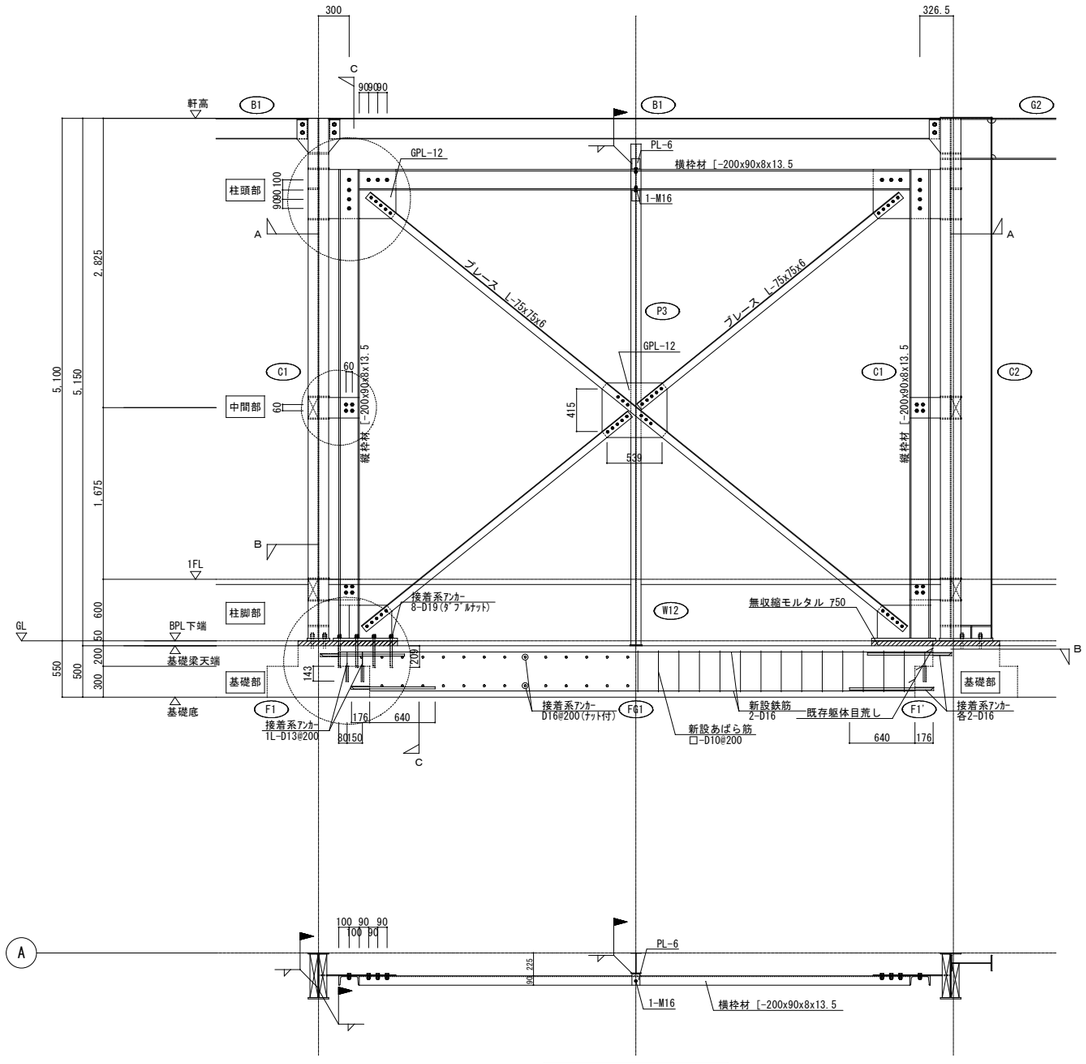



9通り軸組図　1:100

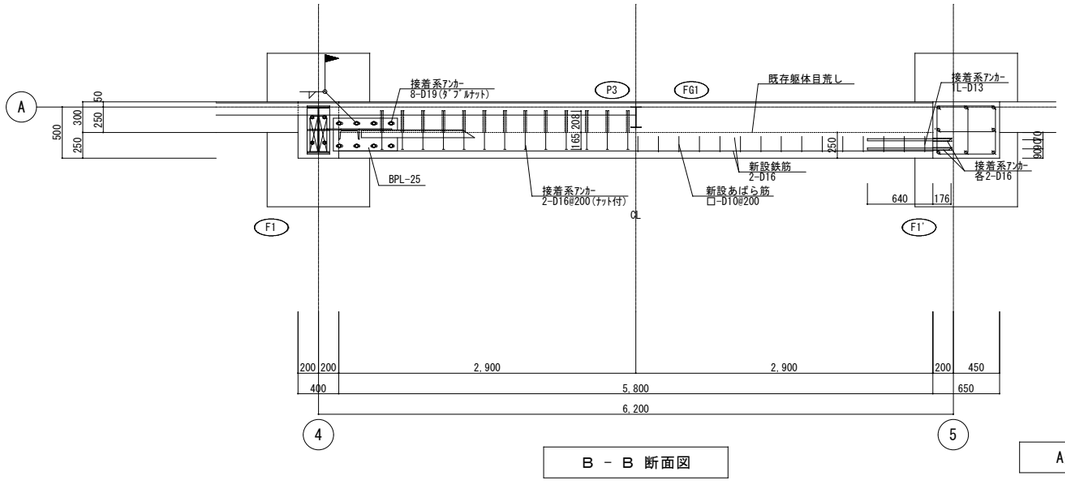
(H3年新築)

（改修なし）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 軸組図(5)【改修前】 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 １０ |



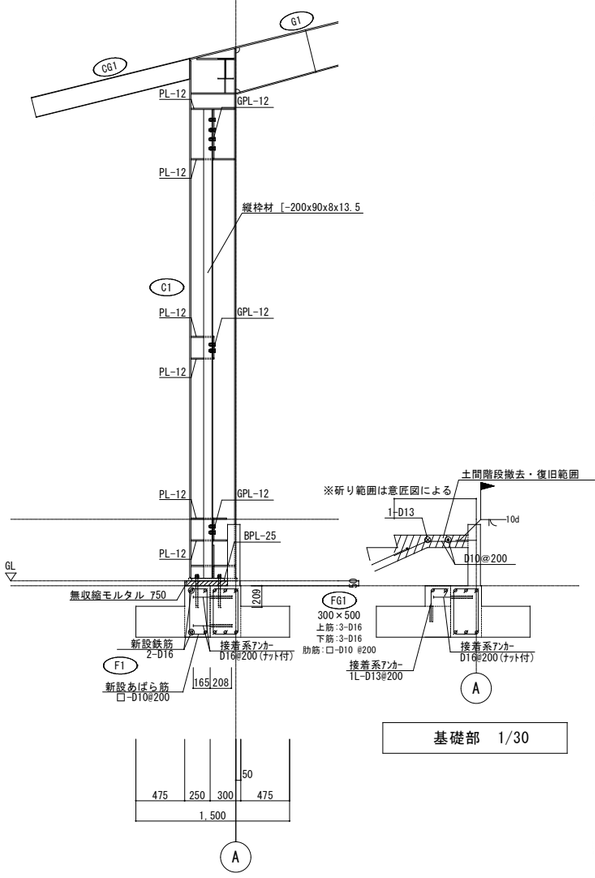

A － A 断面図







B － B 断面図

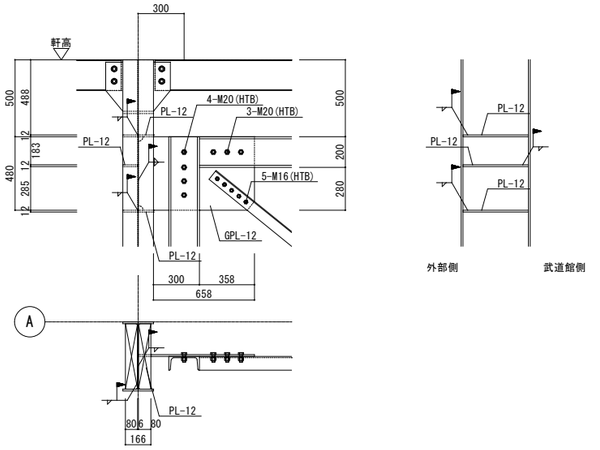



C － C 断面図

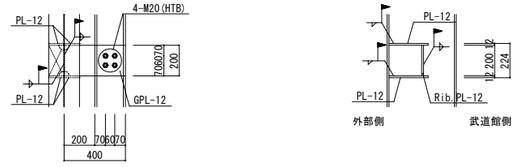
特記事項
1. 施工に先立ち、既存躯体を実測のこと。
   地中梁天端を確認のこと。
2. 地中梁増打ち部は、目荒しのこと。
3. 新設鉄骨部材は、SS400とする。
4. コンクリート強度は、Fc=21N/mm²とする。
5. 無収縮モルタルはFm=30N/mm²以上とする。
6. H.T.B　F10Tとする。

A通り4～5間ブレース補強詳細図　S=1/30

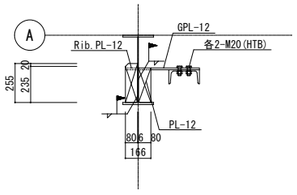
## 柱頭接合部　1/20



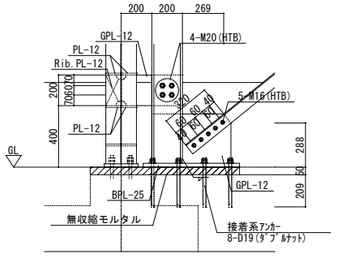

## 中間部接合部　1/20

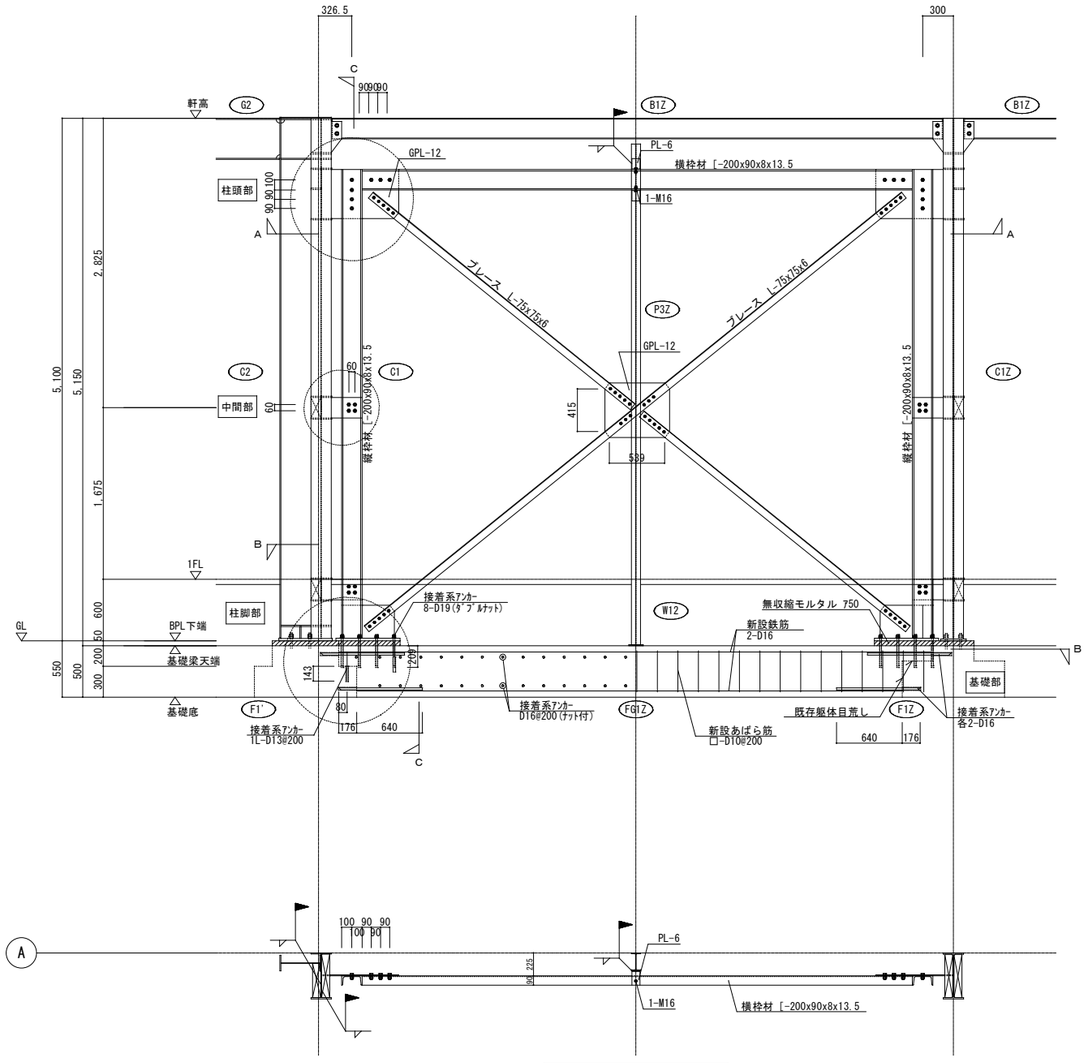



## 基礎部　1/30

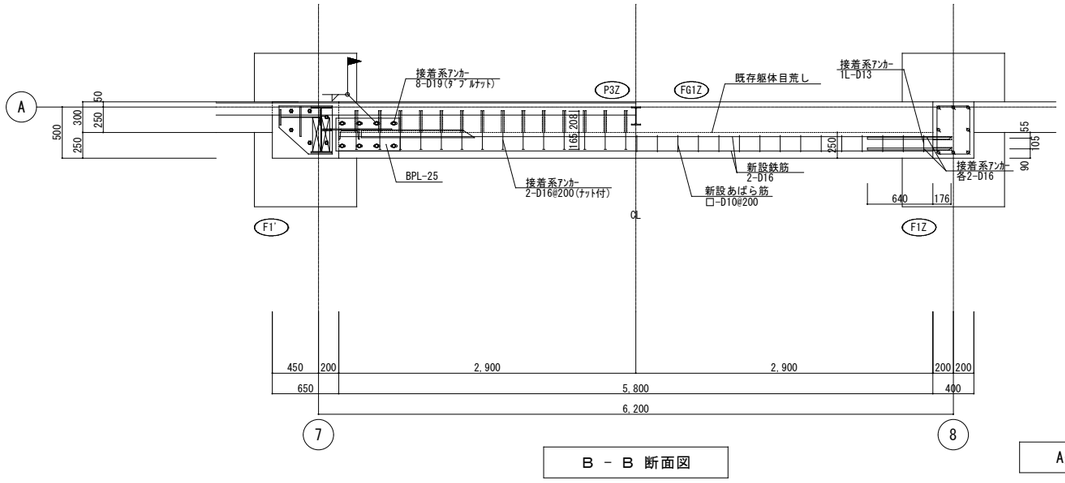



## 柱脚部接合部　1/20

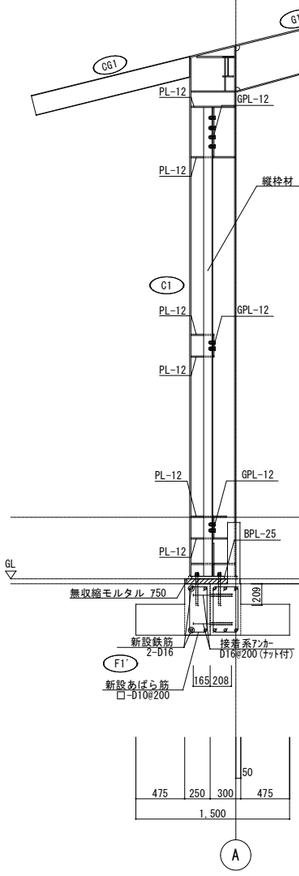

200
200
269
GPL-12
4-M20(HTB)
PL-12
Rib.PL-12
5-M16(HTB)
200
70
60
70
60
60
60




A － A 断面図

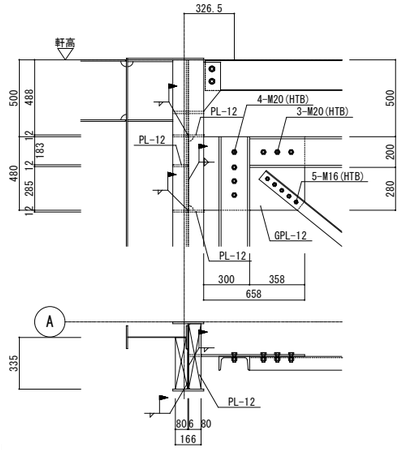


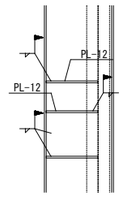

B － B 断面図



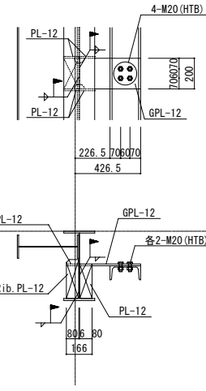

C － C 断面図

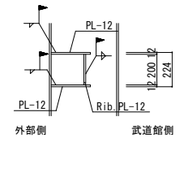
柱頭接合部　1/20




中間部接合部　1/20

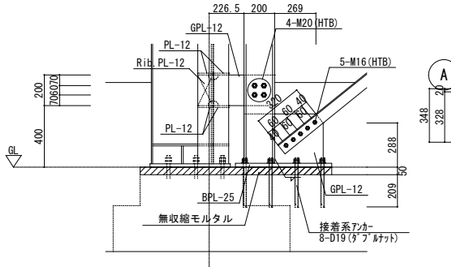


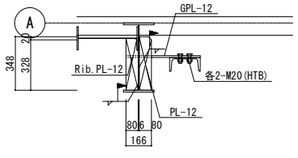



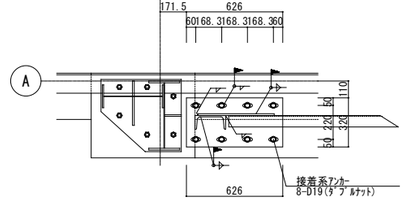

基礎部　1/30




柱脚部接合部　1/20



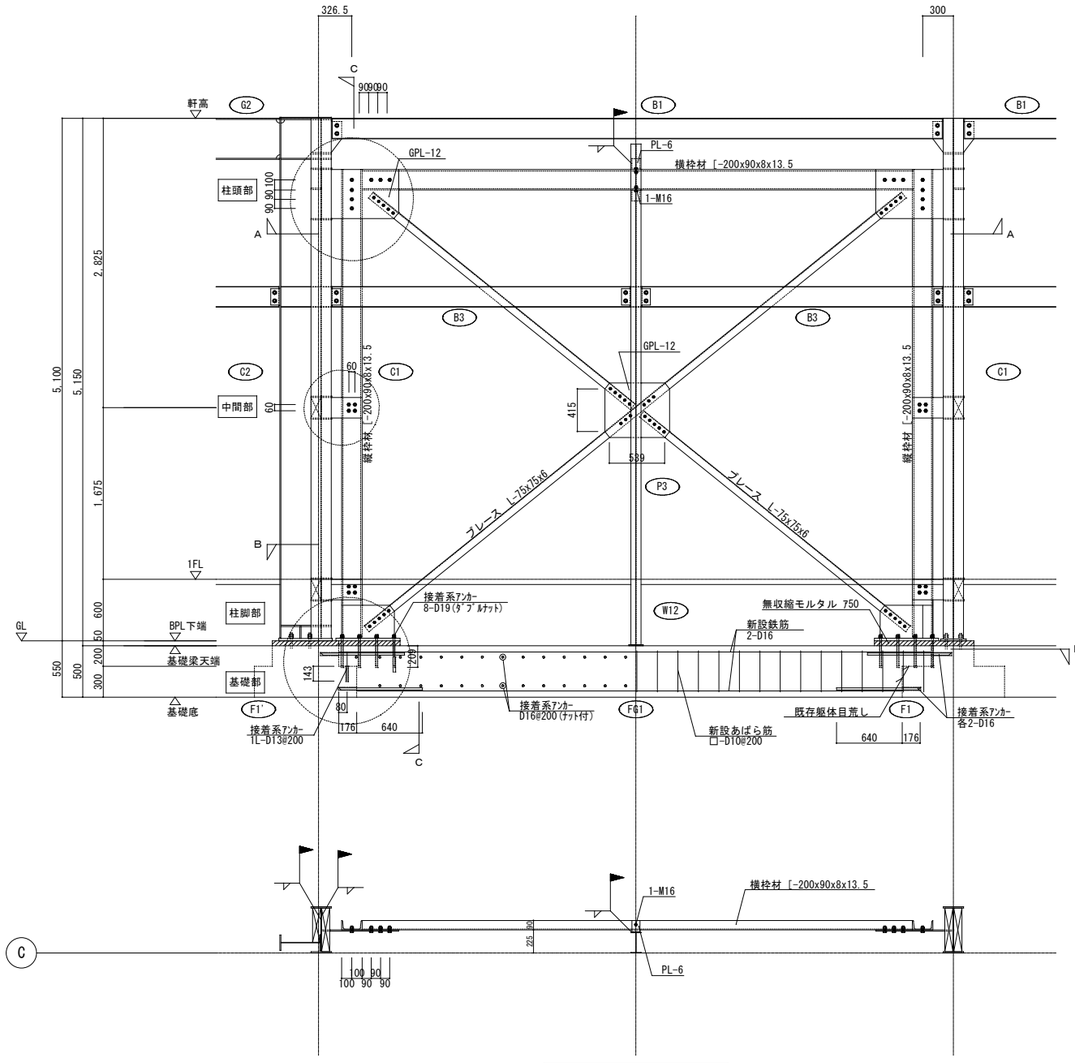



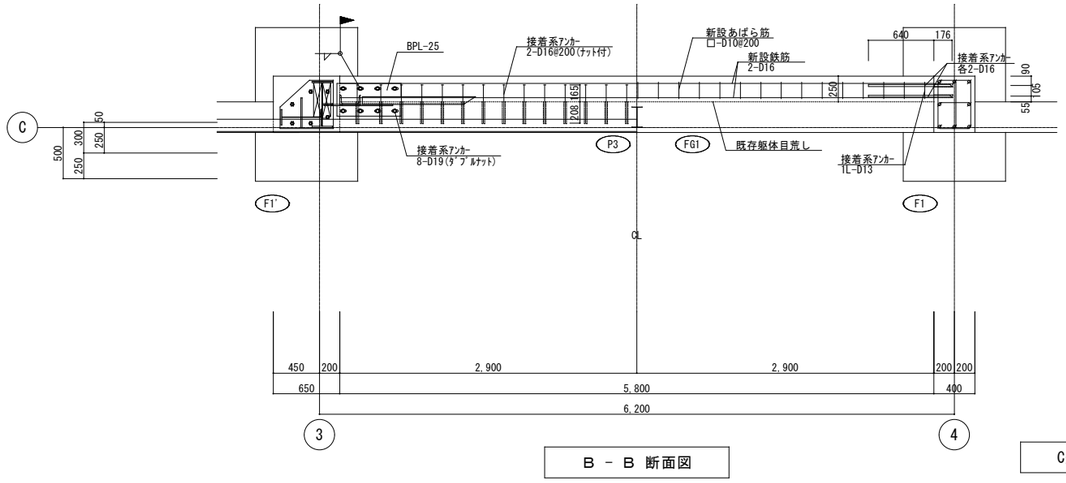

特記事項
1. 施工に先立ち、既存躯体を実測のこと。
   地中梁天端を確認のこと。
2. 地中梁増打ち部は、目荒しのこと。
3. 新設鉄骨部材は、SS400とする。
4. コンクリート強度は、Fc=21N/mm²とする。
5. 無収縮モルタルはFm=30N/mm²以上とする。
6. H.T.B　F10Tとする。

A通り7～8間ブレース補強詳細図　S=1/30

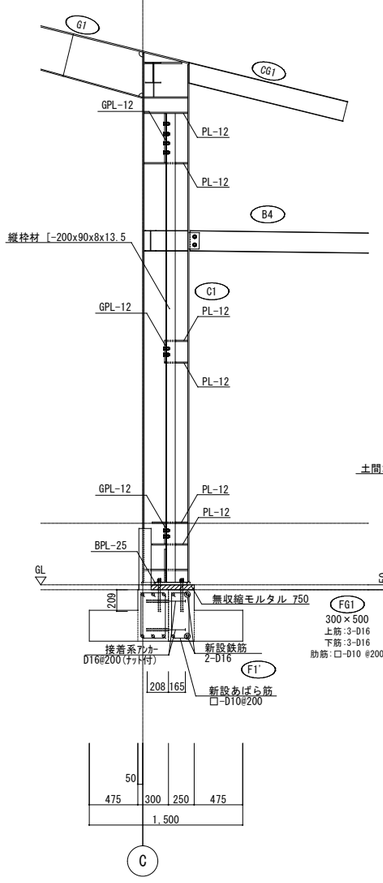
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 A通り7～8間ブレース補強詳細図 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:30,20(A3版 50%縮小) | 図面番号 12 |



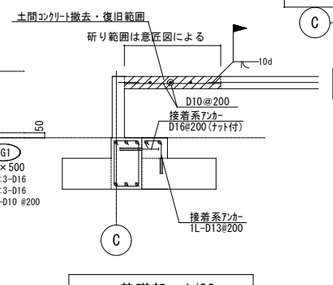

A － A 断面図




B － B 断面図

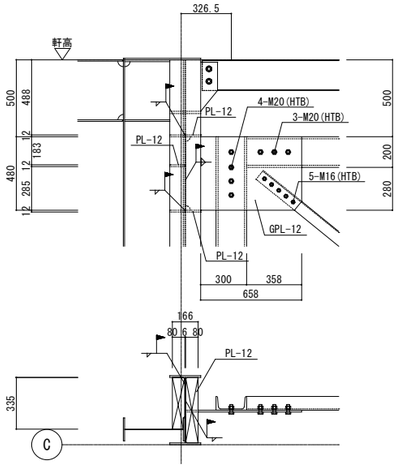


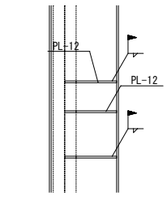

C － C 断面図



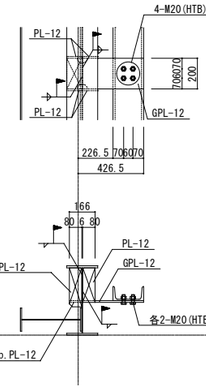

基礎部 1/30

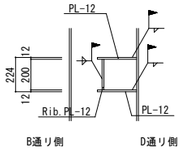
柱頭接合部 1/20



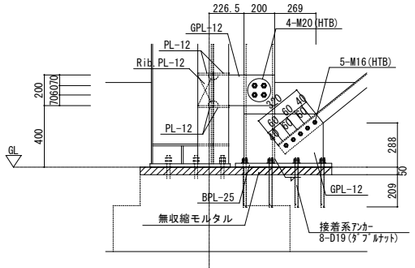



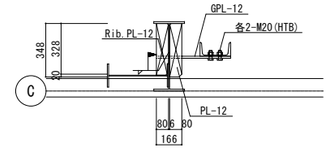

中間部接合部 1/20

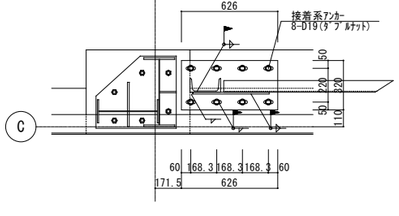



柱脚部接合部 1/20



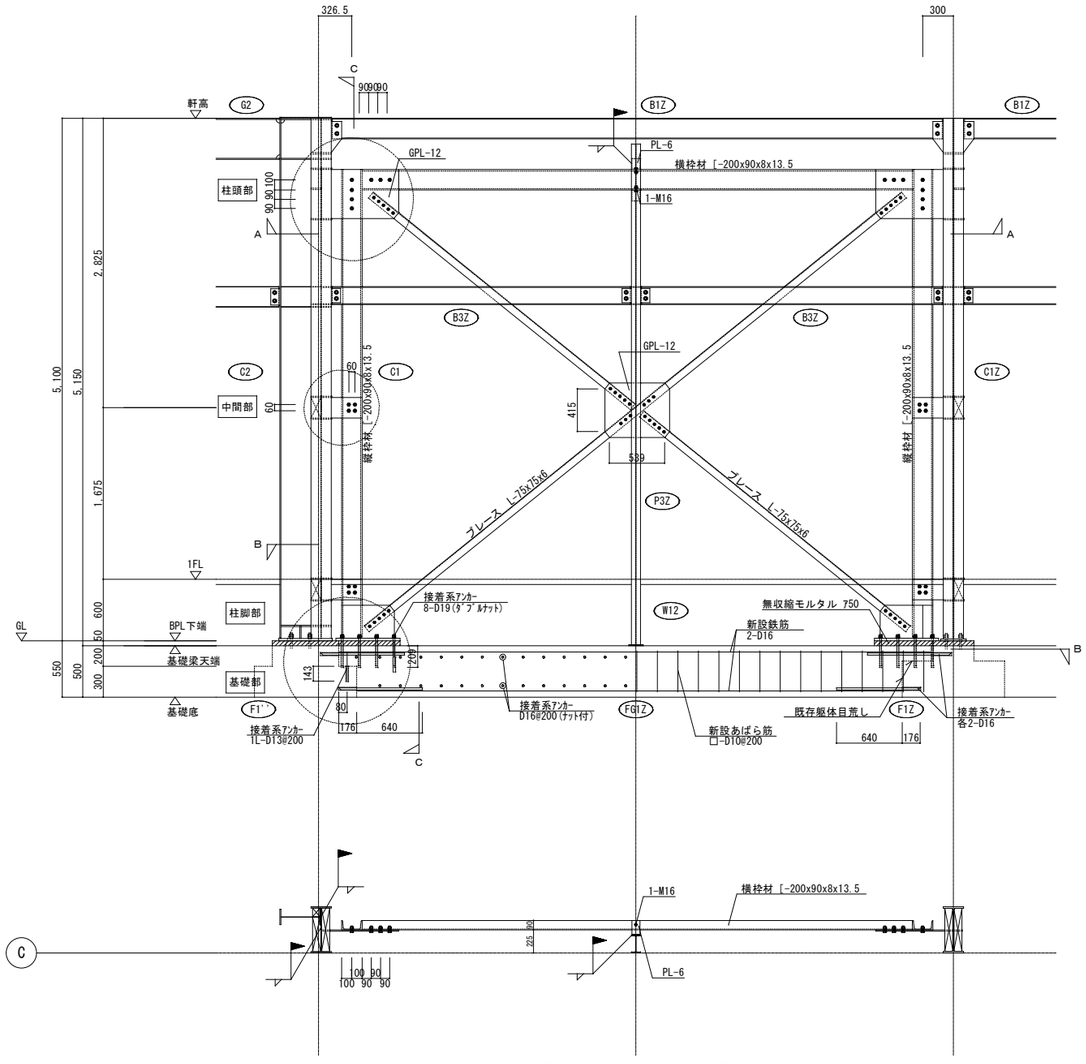



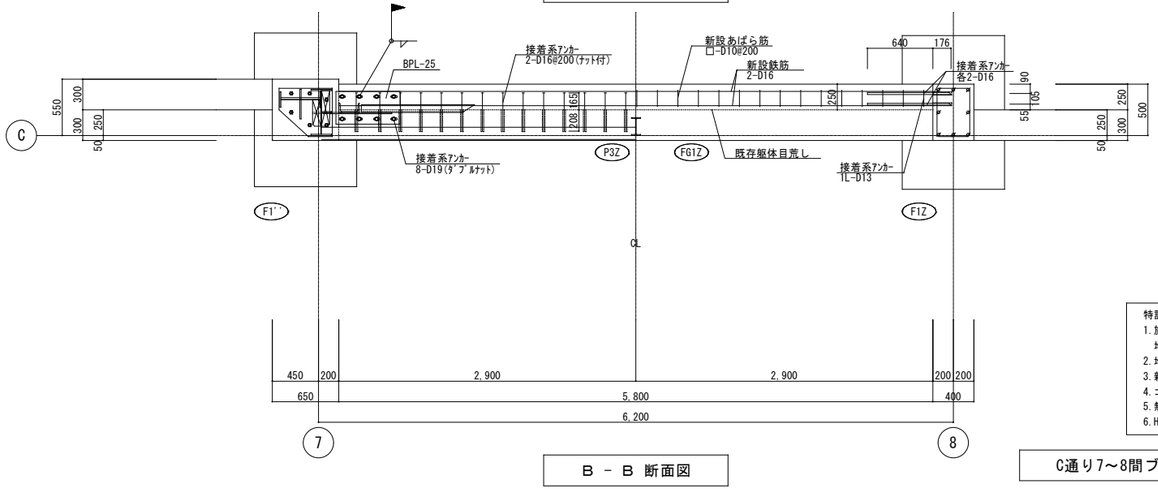

特記事項
1. 施工に先立ち、既存躯体を実測のこと。
   地中梁天端を確認のこと。
2. 地中梁増打ち部は、目荒しのこと。
3. 新設鉄骨部材は、SS400とする。
4. コンクリート強度は、Fc=21N/mm²とする。
5. 無収縮モルタルはFm=30N/mm²以上とする。
6. H.T.B　F10Tとする。

C通り3～4間ブレース補強詳細図 S=1/30

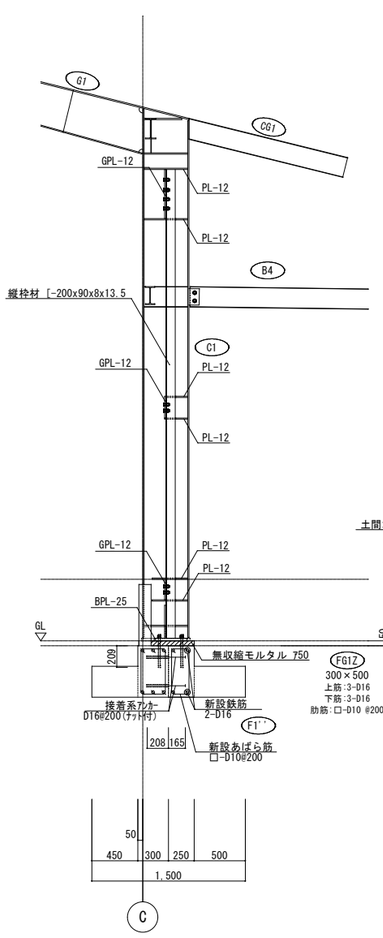
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 C通り3～4間ブレース補強詳細図 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:30,20(A3版 50%縮小) | 図面番号 13 |



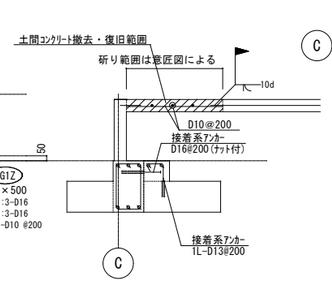

A － A 断面図




B － B 断面図

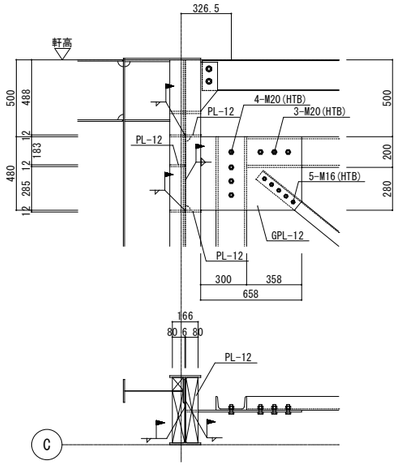


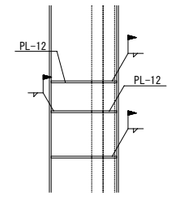

C － C 断面図



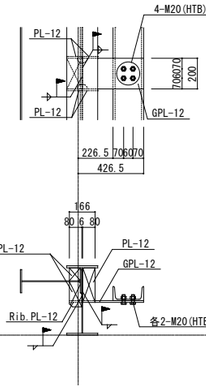

基礎部 1/30

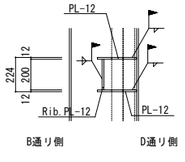
柱頭接合部 1/20



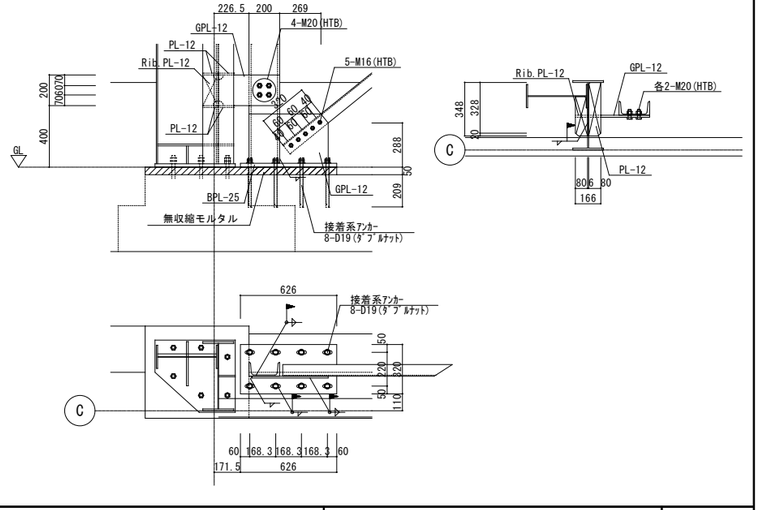




中間部接合部 1/20




柱脚部接合部 1/20




特記事項
1. 施工に先立ち、既存躯体を実測のこと。
   地中梁天端を確認のこと。
2. 地中梁増打ち部は、目荒しのこと。
3. 新設鉄骨部材は、SS400とする。
4. コンクリート強度は、Fc=21N/mm²とする。
5. 無収縮モルタルはFm=30N/mm²以上とする。
6. H.T.B F10Tとする。

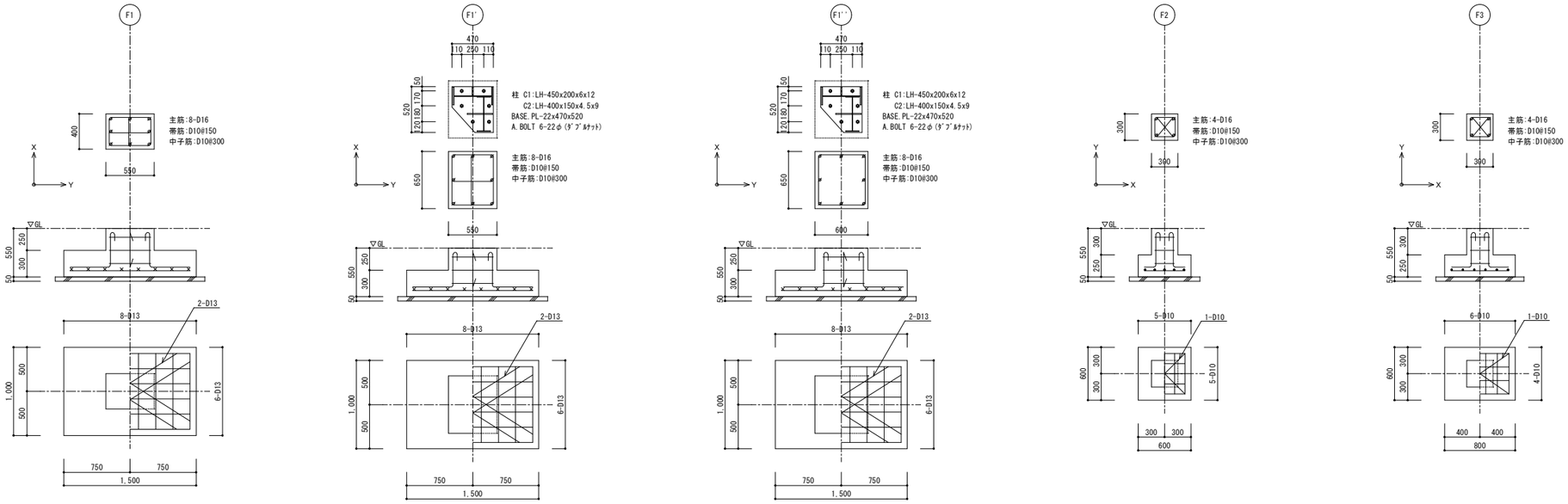
C通り7～8間ブレース補強詳細図 S=1/30

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 C通り7～8間ブレース補強詳細図 | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:30,20(A3版 50%縮小) | 図面番号 14 |

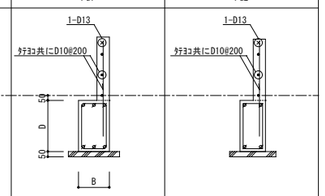
参考図

## 基礎リスト(S53年新築部) 1:30

| 鉄筋記号 | |
|---|---|
| | 異形 |
| • | D10 |
| × | D13 |
| # | D16 |

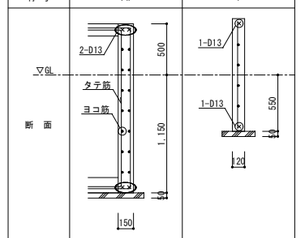



## 基礎梁リスト(S53年新築部) 1:30

| 符 号 | FG1 | FG2 |
|---|---|---|
| 断 面 |  |  |
| B × D | 300 x 500 | 250 x 500 |
| 上端筋 | 3-D16 | 2-D16 |
| 下端筋 | 3-D16 | 2-D16 |
| ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ | □ - D10 @ 200 | □ - D10 @ 200 |
| 腹 筋 | — | — |



## 壁リスト(S53年新築部) 1:30

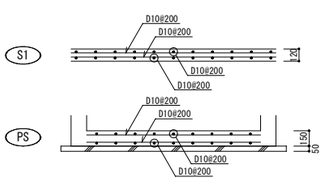
| 符 号 | FW | f |
|---|---|---|
| 断 面 |  |  |
| タテ筋 | D10@200(ダブル) | D10@200(シングル) |
| ヨコ筋 | D10@200(ダブル) | D10@200(シングル) |

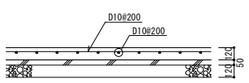


## 鉄骨リスト(S53年新築部)

| 符 号 | | サイズ |
|---|---|---|
| G1 | | LH - 250~450 x 200 x 6 x 12 |
| G2 | | LH - 400 x 150 x 4.5 x 9 |
| G3 | | LH - 200 x 125 x 3.2 x 6 |
| CG1 | | LH - 200 x 150 x 3.2 x 4.5 |
| | | |
| B1 | | LH - 200 x 150 x 3.2 x 6 |
| B2 | | LH - 200 x 100 x 3.2 x 4.5 |
| B3 | | LH - 200 x 100 x 3.2 x 4.5 |
| B4 | | LH - 200 x 100 x 3.2 x 4.5 |
| SB1 | | LH - 150 x 100 x 3.2 x 4.5 |
| SB2 | | 2Cs - 100 x 50 x 20 x 2.3 |
| | | |
| CB1 | | 2[s - 200 x 50 x 3.2 |
| | | |
| C1,C2 (組み立て柱) | C1 | LH - 450 x 200 x 6 x 12 |
| | C2 | LH - 400 x 150 x 4.5 x 9 |
| C3 | | H - 125 x 125 x 6.5 x 9 |
| P1 | | LH - 200 x 150 x 3.2 x 4.5 |
| P2 | | LH - 200 x 150 x 3.2 x 6 |
| P3 | | LH - 200 x 100 x 3.2 x 4.5 |
| P4 | | LH - 200 x 100 x 3.2 x 4.5 |
| | | |
| 母屋 | | C - 100 x 50 x 20 x 2.3 @606 |
| 胴縁 | | C - 100 x 50 x 20 x 2.3 |
| 胴縁(ｻｯｼ廻り) | | 2Cs - 100 x 50 x 20 x 2.3 |
| | | |
| T1 | | 19φ(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付) |
| | | |

## スラブリスト(S53年新築部) 1:30



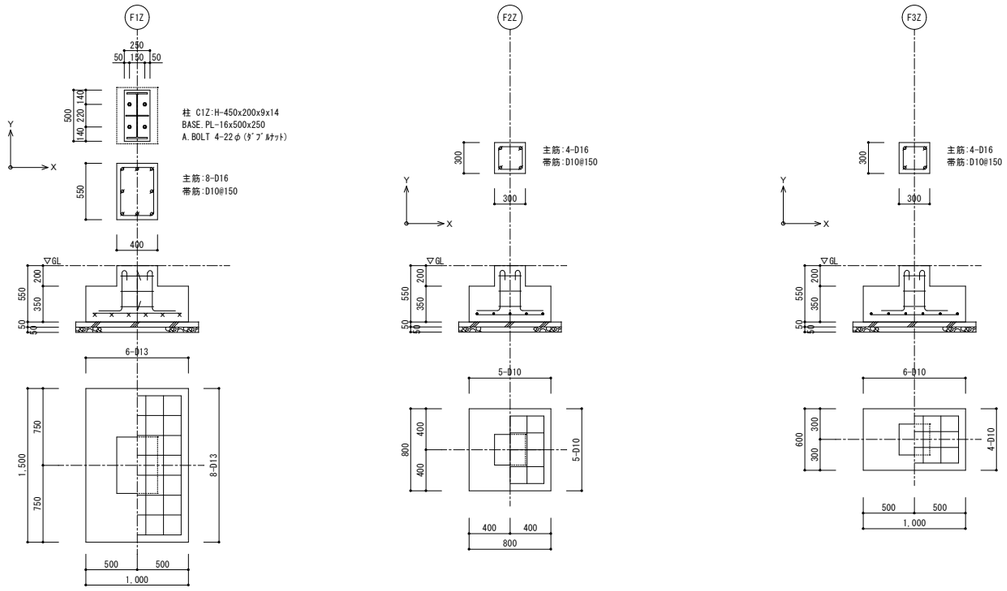

土間コンクリート配筋図

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 部材リスト(昭和53年新築部) | 図面種別 S |
| | | | | 縮尺 S=1:30(A3版 50%縮小) | 図面番号 15 |

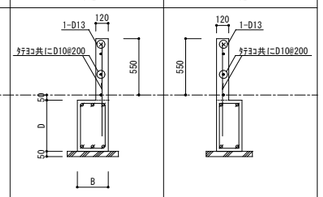
参考図

## 基礎リスト(H3年増築部) 1:30

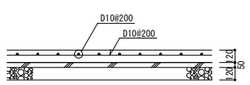
| 鉄筋記号 | |
|---|---|
| | 異形 |
| • | D10 |
| × | D13 |
| # | D16 |




## 基礎梁リスト(H3年増築部) 1:30

| 符 号 | FG1Z | FG2 |
|---|---|---|
| 断 面 |  |  |
| B × D | 300 x 500 | 250 x 500 |
| 上端筋 | 3-D16 | 2-D16 |
| 下端筋 | 3-D16 | 2-D16 |
| ｽﾀｰﾗｯﾌﾟ | □ - D10 @ 200 | □ - D10 @ 200 |
| 腹 筋 | — | — |






土間コンクリート配筋図

## 鉄骨リスト(H3年増築部)

| 符 号 | サイズ |
|---|---|
| G1Z | H - 450 x 200 x 9 x 14 |
| G2Z | H - 250 x 125 x 6 x 9 |
| CG1Z | H - 194 x 150 x 6 x 9 |
| CG2Z | H - 125 x 125 x 6.5 x 9 |
| | |
| B1Z | H - 200 x 100 x 5.5 x 8 |
| B2Z | H - 175 x 90 x 5 x 8 |
| B3Z | H - 175 x 90 x 5 x 8 |
| B4Z | H - 200 x 100 x 5.5 x 8 |
| B5Z | H - 175 x 90 x 5 x 8 |
| SB1Z | H - 175 x 90 x 5 x 8 |
| SB2Z | 2Cs - 100 x 50 x 20 x 2.3 |
| | |
| C1Z | H - 450 x 200 x 9 x 14 |
| C2Z | H - 125 x 125 x 6.5 x 9 |
| | |
| P1Z | H - 200 x 100 x 5.5 x 8 |
| P2Z | H - 175 x 90 x 5 x 8 |
| P3Z | H - 175 x 90 x 5 x 8 |
| P4Z | □ - 100 x 100 x 3.2 |
| | |
| 母屋 | C - 100 x 50 x 20 x 2.3 @606 |
| 胴縁 | C - 100 x 50 x 20 x 2.3 |
| 胴縁(ｻｯｼ廻り) | 2Cs - 100 x 50 x 20 x 2.3 |
| | |
| 水平ブレース | 16φ(ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ付) |
| | |
| V1 | FB-9x75 |
| V2 | FB-6x75 |

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 部材リスト(平成3年増築部) |
| | | | | 縮尺 S=1:30(A3版 50%縮小) |
| | | | | 図面種別 S |
| | | | | 図面番号 16 |

# 電気設備改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

1．工事名　令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事

2．工事場所　宮城郡七ヶ浜町吉田浜字野山5-9

3．建物概要

| 建物名称 | 構造 | 階数 | 延べ面積(㎡) | 建築面積(㎡) | 消防法施行令別表第一による用途区分 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・武道館 | S造 | 1階 | 建築図による。 | 建築図による。 | 建築図による。 | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

4．工事種目（○印のついたものを適用する。）

| 工事種目＼建物別及び屋外 | 工事種別 | | | | 屋外 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・電灯設備 | 一式 | | | | | |
| ・動力設備 | | | | | | |
| ・電熱設備 | | | | | | |
| ・雷保護設備 | | | | | | |
| ・受変電設備 | | | | | | |
| ・電力貯蔵設備 | | | | | | |
| ・発電設備 | | | | | | |
| ・構内情報通信網設備 | | | | | | |
| ・構内交換設備 | | | | | | |
| ・情報表示設備 | | | | | | |
| ・映像・音響設備 | | | | | | |
| ・拡声設備 | 一式 | | | | | |
| ・誘導支援設備 | 一式 | | | | | |
| ・テレビ共同受信設備 | 一式 | | | | | |
| ・監視カメラ設備 | | | | | | |
| ・駐車場管制設備 | | | | | | |
| ・防犯・入退室管理設備 | | | | | | |
| ・自動火災報知設備 | 一式 | | | | | |
| ・中央監視制御設備 | | | | | | |
| ・構内配電線路 | | | | | | 外灯設備を含む |
| ・構内通信線路 | | | | | | |
| ・テレビ電波障害防除 | | | | | | |
| ・その他工事 | 別紙仕様書による | | | | | |

5．指定部分　※ なし　・ あり（工　期：令和　年　月　日）（対象部分：　）

6．概成工期　※ なし　・ あり（工事工期より　日前）

Ⅱ．特記仕様書

1．一般事項

（1）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は、すべて国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編、令和４年版）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編、令和４年版）、国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編、令和４年版）」による。

（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事特記仕様書を適用する。なお、機械設備工事の特記仕様書は（　／　）図、建築工事の特記仕様書は（　／　）図による。

2．特記事項

（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。

（2）特記事項は、○印のついたものを適用する。○印の付かない場合は、※印のついたものを適用する。

○印と◎印の付いた場合は、共に適用するものとする。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ① 適用基準等 | ※ 建設工事執行規則（昭和３９年３月宮城県規則第９号）<br>※ 宮城県建設工事元請・下請関係適正化要綱（最新版）<br>※ 営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和５年版）<br>及び土木工事写真撮影ガイドブック<電気設備工事編>　（国土交通省大臣官房官庁営繕部監修　令和５年版） |
| | ② 機材等 | ※ 本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受けるものとする。<br>※ 本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては、「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し、揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。<br>※ 使用する材料のホルムアルデヒド仕様は、日本産業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品、壁装材料協会規格適合品または同等品、化学物質等製品安全データシート等にホルムリン不使用が明示されたものとする。 |
| | ③ 機材の品質・性能証明 | 本工事着手前に機器製作図を提出し、監督職員の承諾を受ける。<br>また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」（(一社)公共建築協会）によって所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は、評価書の写しを監督職員に提出するものとする。 |
| | ④ 保険 | 本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を、本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し、写しを監督職員に提出する。 |
| | ⑤ 雇用 | 本工事は、公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努める。 |
| | ⑥ 施工計画書・施工図等 | 工事の着手に先立ち、工事の総合的な計画をまとめた施工計画書を作成し、監督職員に提出する。<br>工事の施工に先立ち、工種別施工要領書及び施工図等を作成し、監督職員の承諾を受ける。 |
| | ⑦ 手続き | 工事の着手、施工及び完成において、官公署その他関係機関への必要な諸手続き等は監督職員と協議の上、受注者が遅滞なく処理する。なお、当該手続きに係る費用は受注者の負担とする。 |
| | ⑧ 施工条件 | 別添の施工条件明示書による。 |
| | ⑨ 工事の一時中止 | 工事請負契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、工事の続行に備え中止期間中における工事現場の管理計画書を提出すること。本計画書には、中止時点における工事の出来高、搬入材料及び建設機械器具等の調書、中止期間中の休制及び工事現場の維持管理に関すること を記載すること。 |
| | ⑩ 工事実績情報の登録（CORINS） | 請負額が500万円以上の場合は、工事実績情報を登録する。<br>受注時、変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け、登録手続きを行い、工事カルテの受領証を、監督職員に提出のこと。 |
| | ⑪ 事故報告 | 施工中に事故が発生した場合は、直ちに監督職員に通報するとともに、「事故報告書」を別に指示する期日までに監督職員に提出する。 |
| | ⑫ 電気保安技術者 | 電気工作物に係る工事においては、電気保安技術者を置くものとする。 |
| | ⑬ 工事用電力、水、他 | 本工事に必要な工事用電力、水などの費用は引渡までずべて受注者の負担とする。 |
| | ⑭ 工事用仮設物 | 構内につくることが　※ できる　・ できない |
| | ⑮ 監督職員事務所 | ※ 設けない　・ 設ける（　号・・・建築工事） |
| | ⑯ 足場、さん橋類 | ○ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。　・ 本工事で設置する。<br>なお、枠組足場を設ける場合は、「手すり先行工法等に関するガイドライン」（厚生労働省平成21年4月改訂）によるものとし、二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。 |
| | ⑰ 工事表示板 | ※ 設置する　設置枚数　1枚<br>営繕工事における工事及びコスト表示要領（平成14年2月6日宮城県土木部営繕課・設備室制定）により設置する。<br>・ 設置しない |
| | ⑱ 工事用通路 | ※ 指定しない ・指定する（図示） |
| | ⑲ 発生材の処理等 | 発生材の処理<br>・ 引渡しを要するもの（　）<br>・ 特別管理産業廃棄物（　・ PCB使用機器　・　）<br>受入施設名・所在地　：<br>・ 現場において再利用を図るもの（　）<br>・ 再資源化を図るもの |

| 種類 | 受入施設名 | 所在地（km） | 備考 |
|---|---|---|---|
| ○ 混合廃棄物 | 矢本クリーンセンター | 東松島市大塩字天神堂(27.2) | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |
| | | | |

・ その他安定型廃棄物（　）<br>受入施設名・所在地　：<br>・ その他管理型廃棄物（　）<br>受入施設名・所在地　：<br>PCBを含有する機器等については飛散、流出がないように適切な場所に保管し、工事完了後監督職員に引き渡す。

| | | |
|---|---|---|
| | ⑳ 残土処理 | ※ 構内指示の場所に散き均し　・ 構内指示の場所に堆積　・ 構外搬出 |
| | ㉑ 耐震施工 | 耐震施工における設備機器の固定は、「建築設備耐震設計・施工指針 2014年版」（(独)建築研究所監修）による。<br>本工事の施設分類は（　・ 特定の施設　・ 一般の施設 ）で地域係数は１とし、設計用標準水平震度は下表のとおりとする。なお、（ ）内の数値は防震支持の機器の場合に適用する。 |

| 設計用標準震度 | 特定の施設 | | 一般の施設 | |
|---|---|---|---|---|
| 設置場所 | 重要機器 | 一般機器 | 重要機器 | 一般機器 |
| 上層階、屋上及び塔屋 | 2.0 (2.0) | 1.5 (2.0) | 1.5 (2.0) | 1.0 (1.5) |
| 中間階 | 1.5 (1.5) | 1.0 (1.5) | 1.0 (1.5) | 0.6 (1.0) |
| 一階及び地下層 | 1.0 (1.0) | 0.6 (1.0) | 0.6 (1.0) | 0.4 (0.6) |

重要機器類
・ 配電盤　・ 発電装置　・ UPS装置　・ 直流電源装置
・ 交換機　・ 受信機（自立型）　・ 中央監視装置　・ 情報通信ラック
重量が１００kg以下の軽量な機器（標準仕様書の適用を受けるものは除く）においても、耐震を考慮し、据付等を行うものとするが、前記指針の方法によらなくてもよい。

| | | |
|---|---|---|
| | 22. 風圧加重 | ※ 風速６０m／ｓ　・　m／ｓ<br>・ 雷保護設備受雷部　・ 照明ポール・基礎　・ テレビ共同受信装置アンテナ・アンテナマスト |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ㉓ 他工事との工事区分 | 他工事との工事区分は図面に特記なき場合、「各工事の工事区分表」による。 |
| | ㉔ 保温、結露防止 | 外部に面する壁、天井でＦＰ板（スタイロホーム等）打込み箇所に取付ける位置ボックスなどは、保温、結露防止処理を行う。 |
| | ㉕ 電線類 | 本工事では環境配慮の観点から、原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。 |
| | ㉖ 合成樹脂製可とう管 | 合成樹脂製可とう管は、ＰＦ管（一重管）とし、温度による分類はタイプ−25とする。 |
| | ㉗ 二種金属製可とう管 | 露出箇所　○ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし<br>いんぺい箇所　・ ビニル被覆あり　・ ビニル被覆なし |
| | ㉘ 電線本数、管路など | 分電盤、制御盤、端子盤などの２次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督職員の承諾を受け寸変更してもさしつかえない。 |
| | ㉙ インサート | 鋼鈑製とする。なお、床版で保温板打込み部分は、断熱材用インサート（亜鉛めっき製品）を使用する。 |
| | ㉚ 呼び線 | 長さ１m以上の通線しない電線管には、１、２mm以上のビニル被覆鉄線を通線する。 |
| | ㉛ フラッシュプレート | 図面に特記なき場合、（ ※ 金属製（ステンレス・新金属も含む）　・ 樹脂製 ）とする。 |
| | ㉜ フロアプレート・ベース | ※ 水平高低調節付（空転防止リング付）　・ 銅合金製　・ アルミ合金製 |
| | ㉝ ハンドホール蓋 | 県章およびチェーン（ステンレス製）付のものとする。 |
| | ㉞ 支持金物、固定金物 | 屋外の機器及び配管に使用する支持金物（ボルト類）はステンレス製とし、屋外機器のアンカーボルトのナットには、ナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。<br>また、振動をともなう機器の支持金物のナットは、ダブルナットとする。 |
| | ㉟ あと施工アンカー | 施工方法　・ 接着系　（ ※ 有機系　・ 接着剤 ）<br>・ 金属拡張系　（ ※ 本体打込式　・　）<br>性能・施工確認　※ 行わない　・ 行う |
| | ㊱ 接地極の種別・表示等 | 接地極は図面に特記なき場合、下表による。なお、EBの長さは１，５００mmとする。<br>ただし、Ｄ＝１０径１，０００mm、Ｗ＝３０径１，２００mmとする。<br>装柱機器及び屋外灯用接地極の埋設標は不要とする。 |

| 接地の種別 | 記号 | 接地抵抗値 | 接地極の規格、数量 |
|---|---|---|---|
| ・ 雷保護設備用接地 | ELA | Ω以下 | ＥＰ×２ |
| ・ 雷保護設備用接地 | ELA | Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×　連ー　組 |
| ・ 共同接地 | EA・ED・ELH | 10Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連ー２組 |
| ・ 共同接地 | EA・EC・ED | 10Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連ー２組 |
| ・ Ａ種 | EA | 10Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連ー２組 |
| ・ Ｂ種 | EB | Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×２ |
| ・ Ｃ種 | EC | 10Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連ー２組 |
| ○ Ｄ種 | ED | 100Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１ |
| ・ | | | |
| ・ 構内交換機（端幡）用 | Et | Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連ー　組 |
| ・ 本配線盤の保安装置 | EAt | 10Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連ー２組 |
| ・ 電話引込ロの保安器 | EDt | 10Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１ |
| ・ 拡声増幅器 | EDa | 100Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１ |
| ・ 防犯装置用 | ES | Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連ー　組 |
| ・ | | | |
| ・ 測定用 | Eo | ―――― | ＥＢ(Ｄ＝10又はW＝30)×１ |
| ・ 避雷器用（低圧用） | ELL | 10Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連ー２組 |
| ・ 避雷器用（高圧用） | ELH | 10Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×３連ー２組 |
| ・ 避雷器用（モデム用） | EMD | 100Ω以下 | ＥＢ(Ｄ＝14又はW＝40)×１ |
| ・ 構造体接地 | | | 建築構造体利用（通信用も含む） |

| | | |
|---|---|---|
| | ㊲ 総合調整 | 各機器の個別運転後に総合調整を行い、報告書を提出すること。<br>・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 照明装置　・ 構内交換設備　・ |
| | ㊳ 塗装工事 | 下記部位に使用する外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。<br>※ 屋外　※ 屋室　・ |
| | ㊴ 山留め | 切取り面にその恐所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き、掘削の深さが1.5mを超える場合には、山留めを行うものとする。 |
| | ㊵ 舗装工事 | 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（建築工事編）２２章（舗装工事）及び建築工事整理指針（下巻）２２章（舗装工事）による。 |
| | ㊶ はつり | 既存コンクリート床、壁などの配管貫通は、原則としてダイヤモンドカッターによる。 |
| | ㊷ 再使用機器 | 再使用する機器は、現場内で清掃、絶縁抵抗測定のうえ、取り付ける。 |
| | ㊸ 撤去後の補修等 | 機器撤去後の天井、壁及び床等の補修は、既存仕上げと同等とする。なお、施工に際し、既存設備及び施設に損傷を及ぼした場合は、原状に復旧する。 |
| | ㊹ アスベスト | アスベストについては、労働安全衛生法（石綿障害予防規則）・廃棄物処理法等に則り、事前調査を実施し、調査結果を整理のうえ、監督職員へ報告すること<br>アスベスト使用状況（　）<br>PCB（変圧器、コンデンサ、安定器等）、鉛・カドミウム（鉛蓄電池、小形二次電池等）、水銀、放射性物質（イオン化式感知器等）の有害物質の含有を搬出前に確認し、監督職員に報告書を提出するとともに、その処理方法を監督職員と協議し、関係法令に基づき適正に取り扱うこと。 |
| | ㊺ 有害物質の取り扱い | |

| | | |
|---|---|---|
| 電灯設備 | ① 工事範囲 | ○ 配管　○ 配線　○ 分電盤類　○ 機器類 |
| | ② 電気方式 | ○ 幹線　単相３線式　１００／２００Ｖ　５０Ｈｚ<br>○ 分岐　単相３線式　１００／２００Ｖ<br>○ 分岐　単相２線式　１００Ｖ<br>幹線　○ 金属管配線　○ ケーブル配線 |
| | ③ 施工方法 | 分岐　電灯　○ 合成樹脂管配線　○ 金属管配線　○ ケーブル配線　・ その他（　）<br>コンセント　○ 合成樹脂管配線　○ 金属管配線　・ フロアダクト配線　・ その他（　）<br>屋外露出　・ 合成樹脂管配線　○ 金属管配線　・ ケーブル配線<br>ボックス　○ 合成樹脂製　○ 金属製 |
| | ④ 照明器具 | ＬＥＤ　○ 一体型　・ 直管型(JEL801)　・ 直管型(JEL802)　○ ダウンライト　・ その他 |
| | ⑤ 防災用照明器具 | ○ 非常用照明器具　（ ※ 電池内蔵形　・ 電源別置形 ）<br>○ 誘導灯　（ ※ ＬＥＤ誘導灯　・ 誘導標識 ） |
| | ⑥ 照度測定 | 照度測定は、原則、本工事範囲全て行うものとするが、これにより難い場合は監督職員との協議による。 |
| | ⑦ ハイテンションアウトレット | ※ 鋼合金製　・ アルミ製<br>※ 飛び出し形　・ 外部固定形 |
| | ⑧ 人感センサプレート | 照明の人感センサ制御を行う部屋には、注意プレートを設置する。 |
| | ⑨ 予備配管 | 埋込部分電盤からの立上り予備配管は、予備の配線用遮断器が４個以下の場合は（ＰＦ２２）を１本、５個以上の場合は（ＰＦ２２）を２本以上、天井裏まで立上げる。<br>梁下に配管・配線スペースのない梁には、１スパンにＶＥ（３６）２本を予備スリーブとして埋込む。 |
| 動力設備 | １．工事範囲 | ・ 配管　・ 配線　・ 制御盤類 |
| | ２．電気方式 | ・ 幹線　三相３線式　２００Ｖ　５０Ｈｚ<br>・ 分岐　三相３線式　２００Ｖ |
| | ３．施工方法 | 幹線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線　・ その他<br>分岐　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ その他<br>屋外露出　・ 合成樹脂管配線　・ 金属管配線　・ ケーブル配線<br>ボックス　・ 合成樹脂製　・ 金属製 |
| | ４．警報盤 | ※ 壁掛形（電源装置　※ 内蔵　・ 別置 ）・ |
| | ５．電磁開閉器用押釦（遠方操作用） | ※ 埋込連用形配線器具　・ |
| | ６．機器への接続 | 電動機などへの接続は本工事とする。 |
| | ７．電動機等の接地 | 図示以外は金属管接地とする。 |
| | ８．進相用コンデンサ | 各負荷ごとに適合するコンデンサを取り付ける。 |
| | ９．電気自動車用充電装置 | ・ 機器類　・<br>・ 普通充電装置　電圧　相　Ｖ　・ 屋外型　・ 屋内型<br>・ 急速充電装置　直流電圧　Ｖ |
| 電灯設備 | １．電気方式 | 幹線　相　線式　Ｖ　５０Ｈｚ<br>分岐　相　線式　Ｖ |
| | ２．施工場所及び面積 | ・　（　㎡）　・　（　㎡） |

| | | |
|---|---|---|
| 雷保護設備 | １．工事範囲 | ・ 受雷部　・ 引下げ導線　・ 接地極埋設 |
| | ２．受雷部 | ・ 突針　・ 棟上導体　・ 笠木（別途）など |
| | ３．避雷導線 | ・ 引下げ導線　・ 構造体利用 |
| | ４．接地極 | ※ 接地極埋設　・ 構造体利用（測定時期　回数　） |
| | ５．測定用補助接地極 | ・ 設置 |
| 受変電設備 | １．工事範囲 | ・ 機器類　・ |
| | ２．電気方式 | ・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ<br>・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ　・ 低圧　単相３線式　１００Ｖ／２００Ｖ |
| | ３．引込ケーブル | ・ ＥＭ−ＣＥＴ３８°　・ ＥＭ−ＣＥＴ６０°<br>・ ＥＭ−ＣＥ３８°−３Ｃ　・ ＥＭ−ＣＥ６０°−３Ｃ　・ |
| | ４．配電盤 | ・ 屋内形　・ 屋外形（防塵処理及び結露対策を施す）<br>・ キュービクル式配電盤　・ 高圧開閉器配電盤　・　・ |
| | ５．主遮断装置 | ※ 限流ヒューズ及び高圧負荷開閉器（ＰＦ−Ｓ）　・ 高圧交流遮断器（ＣＢ）<br>定格遮断電流　ｋＡ |
| | ６．高圧機器類 | ・ 油入式　・ モールド<br>・ 手動　・ 電動　・ 電磁 |
| | ７．変圧器 | ・ 単相変圧器　ｋＶＡ　・ 三相変圧器　ｋＶＡ<br>（油入式：JIS Ｃ4304-2013適合品 乾式：JIS Ｃ4306-2013適合品） |
| | ８．進相用コンデンサ | ※ 低圧　・ 高圧<br>・ 油入式　・ モールド　・ ガス式 |
| | ９．リアクトル | ・ ６％　・ １３％<br>・ 油入式　・ モールド |
| | 10．自動力率制御装置 | ※ メーターリレー形　・ 静止形 |
| | 11．測定用補助接地極 | ・ 設置 |
| 電力貯蔵設備 | １．直流電源装置 | ※ 非常用照明器具電源、受変電設備制御電源供用　・ 受変電設備制御専用　・ 非常用照明器具専用<br>蓄電池　・ 鉛蓄電池（ ・ ＨＳ　ＣＳ　・ ＭＳＥ　・ 長寿命形ＭＳＥ　・　）<br>・ アルカリ蓄電池（ ・ ＡＨ ・ ＡＭＨ　・　）<br>・ リチウムイオン電池 |
| | ２．交流無停電電源装置 | 用途（　）<br>容量　ｋＶＡ<br>蓄電池　・ 鉛蓄電池（ ・ ＨＳ　ＣＳ　・ ＭＳＥ　・ 長寿命形ＭＳＥ　・　）<br>・ アルカリ蓄電池（ ・ ＡＨ ・ ＡＭＨ　・　）<br>・ リチウムイオン蓄電池 |
| 発電設備 | １．工事範囲 | ・ 機器類　・ |
| | ２．形式 | ・ 簡易形　・ キュービクル式　・ オープン形　・<br>・ 屋内形　・ 屋外形 |
| | ３．発電機 | 電気方式　相　線式　５０Ｈｚ　電圧　Ｖ　定格出力　ｋＶＡ　運転時間　時間 |
| | ４．原動機 | 種類　・ ディーゼル　・ ガスタービン　・<br>定格出力　ｋＷ以上（　ＰＳ以上）<br>始動方式　※ 電気式　・ 空気式<br>冷却方式　・ ラジエータ式　・ 水冷循環式 |
| | ５．燃料 | 種類　・ 軽油　・ 灯油　・ Ａ重油<br>燃料小出槽　Ｌ<br>主貯油槽　・ なし　・ あり（ ・ 別途　・ 本工事：　） |
| | ６．太陽光発電装置 | 太陽電池アレイ公称出力　ｋＷ<br>パワーコンディショナ　相　線式　定格電圧　Ｖ　定格出力　ｋＷ<br>自立運転　・ 有　・ 無<br>蓄電池　・ 有（定格容量　ｋＷｈ）　・ 無 |
| | ７．系統連系 | ・ 有　・ 無 |
| 構内交換設備 | ① 工事範囲 | ○ 交換機　・ 電話機　・ 配線（ ・ 全部　・ 端子盤以降 ） |
| | ② 電話交換機 | 形式　・ ボタン電話装置　・ デジタルＰＢＸ　・ ＩＰ−ＰＢＸ　・ＶｏＩＰサーバ<br>回線数　局線　／　回線　内線　／　回線 |
| | ③ 電話機への配線 | 電話機１台につき、下記のものを見込む。<br>・ ＥＭ−ＴＩＥＦ０．６５−２Ｃ（ ・ ２０ｍ ・ ）<br>・ ＥＭ−ＥＢＴＯ．４−２Ｐ（ ・ ２０ｍ ・ ）<br>・ ワイヤープロテクタ　（樹脂製　外形寸法約２０×８）１．５ｍ |
| | ４．ローテンションアウトレット（電甲形） | ※ 一般電話用　個（ ・ 納入する　・ 取り付ける ）<br>※ 鋼合金製　・ アルミ製 |
| | ５．保安器用接地 | ※ 本工事　・ 別途工事 |
| 通信・情報設備 | ① 工事範囲図及び施工方法 | |

| 項目 | 工事範囲 配管 | 配線 | 機器類 | 施工方法 合成樹脂管配線 | 金属管配線 | ケーブル配線 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| ・ 構内情報通信網 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ 情報表示 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ 映像・音響 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ○ 拡声 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ○ 誘導支援 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| ・ テレビ共同受信 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ テレビ電波障害防除設備 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ 監視カメラ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ 駐車場管制設備 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |
| ・ 防犯・入退室管理 | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ | ・ |

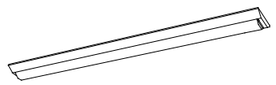
| | | |
|---|---|---|
| | ② 構内情報通信網設備 | 種類　・ １０ＢＡＳＥ−Ｔ　・ １００ＢＡＳＥ−ＴＸ　・ １０００ＢＡＳＥ−Ｔ<br>・ １０ＧＢＡＳＥ−ＳＲ　・ |
| | ③ 情報表示設備 | ・ 親時計　回線（ ※ 壁掛形　・ 自立形 ）<br>・ 子時計（ ・ 電子式チャイム組込　・ プログラムタイマ組込 ） |
| | ④ 映像・音響設備 | ・ 増幅器　Ｗ<br>・ ＶＴＲ（ ・ ＤＶＤ　・ ＢＤ　・ Ｓ−ＶＨＳ　・　）<br>・ プロジェクタ（ ※ 前面投射式　・ 背面投射式 ）<br>・ 音響設備（ ・ ＣＤ　・ オーディオレコーダー　・　・　） |
| | ⑤ 拡声設備 | ・ 一般放送用　・ 非常放送兼用<br>・ 増幅器　Ｗ（ ※ 卓上形　・ キャビネットラック形） |
| | ⑥ 誘導支援設備 | ・ インターホン　○ トイレ等呼出装置　・ 音声誘導装置 |
| | ⑦ テレビ共同受信設備 | ・ テレビアンテナ（ ・ ＡＵ−　・ ＣＳＢＳＡ−　・ ＣＳＡ−　） |
| | | ・ 地上波アンテナマスト（ ※ 壁面取付形　・ 自立形 ）<br>・ ＢＳアンテナマスト（ ・ 壁面取付形　・ 自立形 ） |
| | | ・ 電界強度測定及び受信調査（ ※ 全チャンネル ） |
| | ⑧ テレビ電波障害防除設備 | ・ 事前調査　・ 機器類 |
| | ⑨ 監視カメラ設備 | ・ 白黒方式　※ カラー方式<br>・ 伝送方式（ ・ アナログ　・ ネットワーク ） |
| | ⑩ 駐車場管制設備 | ・ 管制盤　・ 検知器（ ・ 光線式　・ ループコイル式）<br>・ 信号灯・警報灯　・ 発券機　・ カーゲート　・ カードリーダー |
| | 11．防犯・入退室管理設備 | ・ 接地工事（ ※ 本工事　・ 別途 ） |
| 火災報知設備 | ① 工事範囲 | ○ 配管　○ 配線　○ 機器類 |
| | ② 火災報知装置 | ・ 壁掛形　・ 自立形<br>○ 受信機　型　級　回線（　アドレス）<br>・ 複合盤　型　級　回線（火報　回線、自動閉鎖　回線、ガス漏れ　回線）<br>・ 副受信機　型　級　回線<br>○ 機器収容箱　○ 専用形（ ○ 埋込形　・ 露出形 ）　・ 屋内消火栓箱に組込み<br>○ 感知器類　型用　総数　７個（ ・ 自動試験機能付 ） |
| | ③ 非常警報装置 | ○ 非常ベル（自動式サイレンを含む）　・ 非常放送装置 |
| | ④ 自動閉鎖装置 | ・ 連動制御器<br>・ 自動閉鎖装置（ ・ 防火戸用　・ 防煙ダンパ用　・ 防火シャッター用 ）<br>・ 感知器 |
| | ⑤ ガス漏れ火災警報装置 | ・ 受信機　回線（ ・ 都市ガス用　・ 液化石油ガス用）<br>・ 単独（ ・ 壁掛形　・ 自立形 ）　・ 火災受信機などとの複合盤<br>・ 検知器<br>・ 併設　・ 連動<br>・ 定格電圧　（ ・ ＡＣ１００Ｖ　・ ＤＣ２４Ｖ ）<br>・ ガス検知出力信号（ ・ 有電圧出力方式　・ 無電圧接点方式 ） |
| | ⑥ 消火器類 | ・ 消火器　種別　・　数量　本<br>・ 消火器収納箱　仕様　・　材質　・　数量　面 |
| | ⑦ その他 | ・ 消防設備の変更が生じるため、着工時造もに消防署へ行き変更等の手続きについて聞き取り調査を行い、結果を監督員へ報告し滞りなく工事を進捗すること。<br>・ 案側電柱に掛かる高圧電線の部分について保護管を取付けること。 |

| | | |
|---|---|---|
| 中央監視制御設備 | １．工事範囲 | ・ 配管　・ 配線　・ 機器類 |
| | ２．監視制御対象設備 | ・ 動力設備　・ 受変電設備　・ 発電設備　・ 火災報知設備 |
| | ３．表示操作盤 | ・ 壁掛形　・ 自立形<br>組込み機器　・　・<br>・　・ |
| | ４．監視制御装置 | 構成機器　・ グラフィックパネル　・内照式液晶ディスプレイ　・ 操作卓<br>・ 監視操作装置　・ 信号処理装置　・ 伝送装置　・ 分散処理装置<br>・ 中央処理装置　・ 補助記憶装置　・ 記録装置　・ 電源装置<br>・ 帳票用印字装置　（ ・ インクジェット式　・ 写真式 ） |
| 構内配電線路 | ① 工事範囲 | ○ 管路　○ 配線　・ 機器類 |
| | ② 電気方式 | ・ 高圧　三相３線式　６ｋＶ　５０Ｈｚ<br>・ 低圧　三相３線式　２００Ｖ<br>○ 低圧　単相３線式　１００／２００Ｖ<br>・ 低圧　単相２線式　１００Ｖ |
| | ③ 布設方法 | ※ 地中埋設式（ ○ ＦＥＰ　・ ＧＬＴ　・ 厚鋼電線管 ）　・ 架空線式 |
| | ④ 柱上機器 | ・ 高圧負荷開閉器　※ 一般用　・ 耐重塩じん用<br>※ 地絡継電器付き（※ 方向性　・ 無方向性） |
| | | ・ 避雷器　※ 一般用　・ 耐塩用 |
| | | ・ 高圧カットアウト，がいしなど　※ 一般用　・ 耐塩用 |
| | ⑤ 高圧ケーブルの端末処理 | 屋外側　※ 一般用　・ 耐塩用<br>※ 処理者銘板取付（屋内外共、線名、作業日、氏名を表示） |
| | ⑥ その他 | 東北電力（株）外線工事基準（架空線編）に準ずる。 |
| | ７．外灯設備 | ・ 定格電圧　Ｖ　Ｗ |
| | ８．沈下対策 | 地中線路及びハンドホール等沈下が考慮される場合は、沈下対策を施す。（　） |
| | ⑨ 標識シート | ・ 高圧ケーブル　○ 低圧ケーブル |
| | 10．予備配管 | 屋外キュービクルから第１ハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ１００：１本）を設ける。<br>分電盤、動力盤から建物へのハンドホールまでの予備配管（ＦＥＰ８０：２本）を設ける。 |
| 構内通信線路 | ① 工事範囲 | ○ 管路　○ 配線 |
| | ② 用途 | ・ 電話用　○ 時計、拡声用　○ 火災報知用 |
| | ③ 施工方法 | ※ 地中埋設式（ ○ ＦＥＰ　・ ＧＬＴ　・ 厚鋼電線管）　○ 架空線式 |
| | ④ 標識シート | ※ 弱電用 |

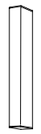
表２「機器取付高さ」　図面に特記なき場合は下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員と協議する。

| | 電力設備 名称 | 測点 | 取付高（mm） | | 通信設備 名称 | 測点 | 取付高（mm） |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 取引用計器 | 地上〜受中心 | 約 1,800 | | 引込線望の高 | 地上〜引込点 | |
| 電 | 引込開閉器 | 床上〜中心 | 1,800〜2,200 | 電 | 集合保安器箱 | 天井下〜上端 | 200 |
| 力 | 分電盤 | 床上〜中心 | 1,500（上端1,900以下） | 話 | 端子盤（扉下、室内） | 床上〜下端 | 300 |
| 共 | | | | | 〃（ＥＰＳなど） | 床上〜中心 | 1,500 |
| 通 | | | | | 壁付アウトレット（一　般） | 床上〜中心 | 300 |
| | | | | | 〃（和　室） | | 150〜200 |
| | スイッチ（一　般） | 床上〜中心 | 1,300 | 時 | 壁掛形視時計 | 床上〜中心 | 1,500（上端2,000以下） |
| | 〃（和　室） | 〃 | 1,200 | 計 | 子時計 | 〃 | 2,300 |
| | コンセント（一　般） | 〃 | 300 | ・ | 壁掛形スピーカ | 〃 | 2,300 |
| | 〃（和　室） | 〃 | 150〜200 | 拡 | 壁付アッテネータ | 〃 | 1,300 |
| | 〃（台　上） | 台上〜中心 | 100 | 声 | 壁付インターホン（一　般） | 床上〜中心 | 1,300 |
| | 〃（ファン用） | 床上〜下端 | ファン下端 | ・ | 〃（身体障害者） | 〃 | 1,300 |
| | 〃（厨　房） | 床上〜中心 | 800〜1,000 | 通 | 壁付アウトレット（一　般） | 〃 | 300 |
| | 〃（車　庫） | 〃 | 1,300 | 信 | 〃（和　室） | 〃 | 150〜200 |
| | 〃（機械室） | 〃 | 500〜1,000 | 設 | 機器収容箱 | 天井下〜上端 | 200 |
| | 〃（土　間） | 〃 | 800〜1,300 | 備 | 直列ユニット（一　般） | 床上〜中心 | 300 |
| | プラケット（一　般） | 床上〜中心 | 2,100〜2,300 | | 〃（和　室） | 〃 | 200 |
| 灯 | 〃（誘　場） | 〃 | 2,000〜2,500 | 警 | 表示盤 | 床上〜中心 | 2,300 |
| | 〃（鏡　上） | 鏡上端〜中心 | 150 | 火 | 壁付発信機 | 〃 | 1,300 |
| | 避難口誘導灯 | 床上〜下端 | 1,500以上 | 報 | ・ベル，ブザー，チャイム | 〃 | 2,300 |
| | 廊下通路誘導灯 | 床上〜上端 | 1,000以下 | 表 | 壁付押しボタン（一　般） | 床上〜中心 | 1,300 |
| | | | | 示 | 〃（身体障害者玄関） | 〃 | 900 |
| | | | | 等 | | | |
| 動 | 壁掛形制御盤 | 床上〜中心 | 1,500（上端2,000以下） | | 受信機 | 床上〜中心 | 800〜1,500 |
| 力 | 開閉器箱 | 〃 | 1,500 | | 副受信機 | 〃 | 800〜1,500 |
| | 電磁開閉器用ボタン | 〃 | 1,300 | 火 | 機器収容箱 | 〃 | 800〜1,500 |
| 災 | 非常ボタン（便所用） | 床上〜中心 | 400，900 | 災 | 発信機 | 〃 | 800〜1,500 |
| 身 | 壁付インターホン（親機） | 〃 | 1,300 | 報 | 表示灯 | 床上〜中心 | 2,100 |
| 障 | 〃（玄関子機） | 〃 | 1,100 | 知 | ベル | 〃 | 2,300 |
| 者 | 廊下表示灯（復旧ボタン付） | 〃 | 1,300 | 設 | 廊下表示灯 | 床上〜上端 | 250 |
| 用 | 身障表示ランプ | 〃 | 1,500 | 備 | 都市ガス用検知器（軽質） | 天井〜上端 | 150 |
| | スイッチ | 〃 |

| | | |
|---|---|---|
| A37 | 公共施設型番（LSS9−4−37） | 25VA |
| A48 | 公共施設型番（LSS9−4−48） | 35VA |



| | | |
|---|---|---|
| B06W | 公共施設型番（LBF3MP／RP−2−06） | 10VA |



| | | |
|---|---|---|
| C43 | iDシリーズ直付型40形　反射笠付型　単体 | 60VA |

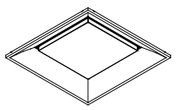
※ガード付・パイプ吊

一般タイプ、10000lmタイプ
消費電力56W、定格出力型、電圧100～242V
本体：鋼板（白色粉体塗装）
ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白）
光源寿命40000時間（光束維持率85%）
昼白色（5000K）、Ra83
電源装置はライトバー側に内蔵

参考型番：パナソニック　直付XLX409KENJLE9＋FK41534

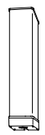
| | | |
|---|---|---|
| D05 | 公共施設型番（LRS1−05） | 5VA |
| D08 | 公共施設型番（LRS1−08） | 10VA |
| D13 | 公共施設型番（LRS1−13） | 15VA |
| D08W | 公共施設型番（LRS1RP−08） | 10VA |

| | | |
|---|---|---|
| E41 | 公共施設型番（LRS15−4−41） | 35VA |



| | | |
|---|---|---|
| F01W | LEDウォールライト 20形 | 15VA |

※センサー付



防雨型、ひと（熱線）センサ・EEセンサ付（ON／OFF型）
器具光束14701m、消費電力14．9W、電圧100～242V
5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%）
本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白）
壁直付型

参考型番：パナソニック　NNFS21812CLE9

| | | |
|---|---|---|
| G01 | LEDキッチンライト | 15VA |

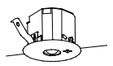
昼白色（5000K）、Ra83
器具光束11001m、消費電力12W、電圧100V
天井直付型・壁直付型
スイッチ付、拡散タイプ、両面化粧タイプ
カバー：プラスチック（乳白）
W=580　H=65　出しろ64

参考型番：パナソニック　LGB85037LE1

| | | |
|---|---|---|
| aBL | 誘導灯：公共施設型番（SH1−FSF20−BL） | |
| aBLK | 誘導灯：公共施設型番（SH1−FBF20−BL） | |

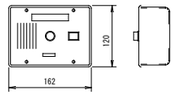
| | | |
|---|---|---|
| bBL | 通路誘導灯：公共施設型番（ST1−FSF23−BL） | |

| | | |
|---|---|---|
| c2 | 非常灯：公共施設型番（K1−LRS11−2） | |



| 器具取付高さ | | 2.1m | 2.4m | 2.6m | 3.0m | 4.0m |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 単体配置 | A1 | 4.2 | 4.6 | 4.7 | 4.9 | 3.3 |
| 直線配置 | A2 | 9.3 | 10.2 | 10.8 | 11.9 | 12.9 |
| 四角配置 | A4 | 7.4 | 8.2 | 8.7 | 9.6 | 11.7 |

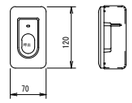
## 埋込形表示器




| | |
|---|---|
| 電源電圧 | DC12V（電源アダプタから供給） |
| 形　状 | 埋込形（3個用スイッチボックス） |
| 材　質 | ステンレス |
| 窓　数 | 1窓 |
| 表示方式 | 断続ブザー音と表示窓点灯 |

（参考型番：アイホンCN−1A34／A）

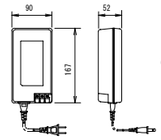
## 呼出ボタン（引きひも付）




| | |
|---|---|
| 形　状 | 壁埋込型 |
| 材　質 | 自己消火性樹脂 |

（参考型番：アイホンNBR−7HWA）

## PS　電源アダプター




（＊）天井内に木板取付。

| | |
|---|---|
| 電源電圧 | AC100V 50/60Hz |
| 入力容量 | 75VA |
| 出力電圧 | DC12V |
| 出力電流 | 2.5A |
| 形　状 | 据置・壁取付（専用金具）両用 |
| 材　質 | 難燃性樹脂 |

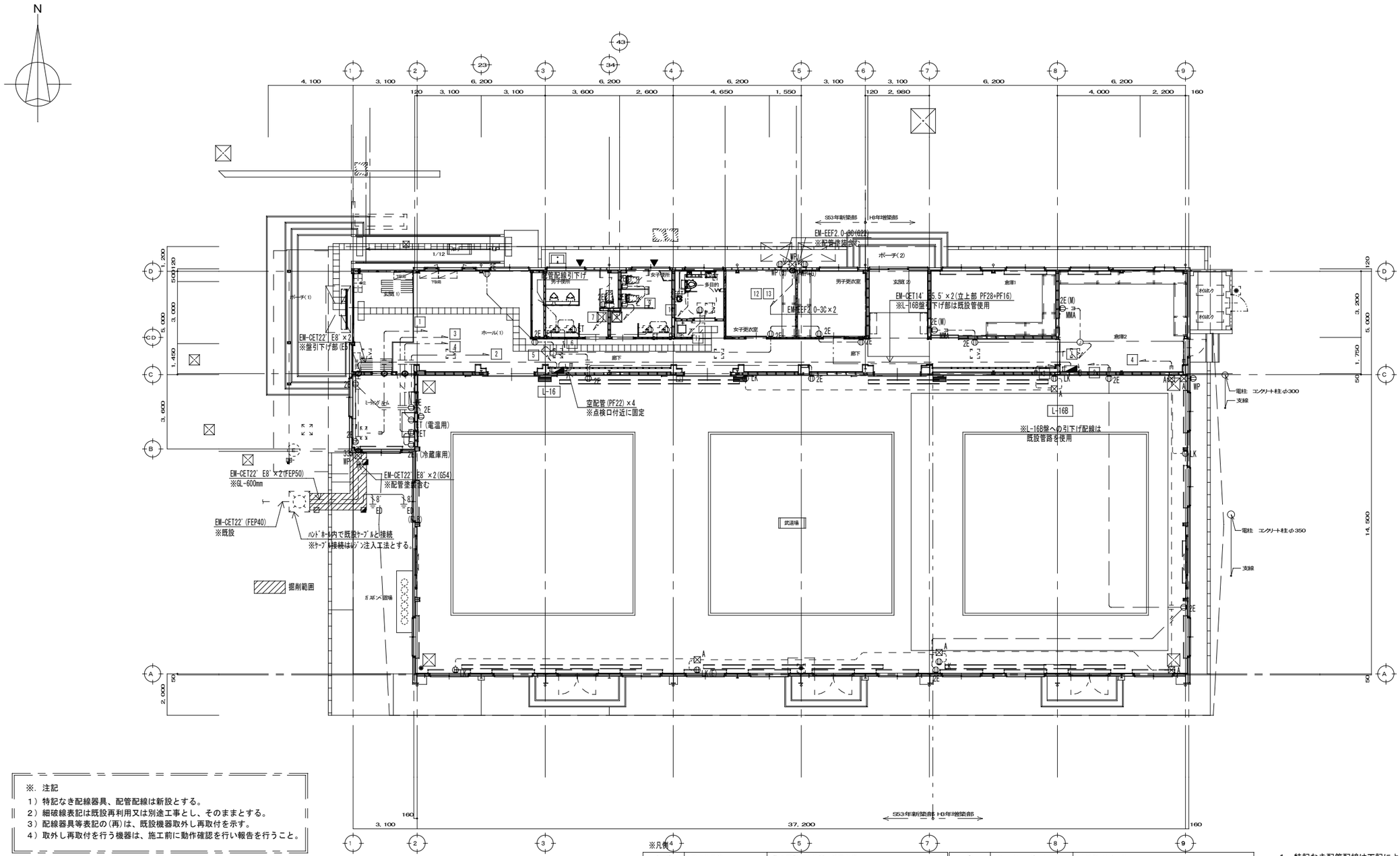
（参考型番：アイホンPS−1225A）

電灯分電盤負荷表

| 盤名称 | 結線 | 回路番号 | 分岐開閉器 M:MCCB・E:ELCB | 負荷容量[VA] 照明 | 空調・換気 | コンセント | その他 | 付属機器 | 負荷名称 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | Ⓐ | M2P1E20AT | 30 | | | | 赤ｷｬｯﾌﾟ | 誘導灯 |
| L−16 | | | MCCB3P 50/50A | | | | 4,020 | | 分電盤（L−16B） |
| 電灯分電盤 | | Ⓑ | M2P1E20AT | 30 | | | | 赤ｷｬｯﾌﾟ | 非常照明 |
| 鋼板製埋込型 | | ① | M2P1E20AT | 720 | | 100 | | | 武道場・神棚 |
| （壁掛型） | | ② | M2P1E20AT | 720 | | | | | 武道場 |
| 標準色 | | ③ | E2P1E20AT | 735 | 600 | | | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ・ﾎｰﾙ・ｷﾞｰﾁ(1)・各便所、更衣室・廊下 |
| 1φ3W | | | | | | | | | ｽﾍﾟｰｽ |
| (100/200V) | | 1 | M2P1E20AT | | | 500 | | | ｵｲﾙﾋｰﾀｰ制御盤 |
| 主幹 MCCB 3P | | 2 | M2P1E20AT | | | 400 | | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ・武道場 |
| 100/100AT | | 3 | E2P1E20AT | | | 1,200 | | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ(ｷｯﾁﾝ・冷蔵庫) |
| | | 4 | E2P1E20AT | | | 1,100 | | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ(電気温水器) |
| 20,145VA | | 5 | M2P1E20AT | | | 700 | | | 廊下・男女更衣室・武道場 |
| 100.725A | | 6 | E2P1E20AT | | | 400 | | | 男子便所電気温水器 |
| | | 7 | E2P1E20AT | | | 1,400 | | | 男子便所温水便座 |
| | | 8 | E2P1E20AT | | | 1,400 | | | 女子便所温水便座 |
| | | 9 | E2P1E20AT | | | 1,400 | | | 女子便所温水便座 |
| | | 10 | E2P1E20AT | | | 1,500 | | | 多目的便所温水便座 |
| | | 11 | M2P1E20AT | | | 100 | | | 多目的便所緊急押釦 |
| | | 12 | E2P1E20AT | | | 800 | | | 自販機 |
| | | 13 | E2P1E20AT | | | 800 | | | 自販機 |
| | | 14 | M2P1E20AT | | | | 500 | | 予備 |
| | | 15 | M2P1E20AT | | | | 500 | | 予備 |
| | | 16 | E2P1E20AT | | | | 500 | | 予備 |
| | | | 計 | 2,225 | 600 | 11,800 | 5,520 | | |
| L−16B | | ① | E2P1E20AT | 720 | | | | | 武道場 |
| 電灯分電盤 | | ② | M2P1E20AT | 200 | 200 | | | | 倉庫1・倉庫2 |
| 鋼板製埋込型 | | 1 | M2P1E20AT | | | 400 | | | 倉庫1・倉庫2・廊下・外部 |
| （函体再利用） | | 2 | M2P1E20AT | | | 300 | | | 武道場 |
| （内部のみ更新） | | 3 | M2P1E20AT | | | | 400 | | ｵｲﾙﾋｰﾀｰ |
| 1φ3W | | 4 | M2P1E20AT | | | | 800 | | ｵｲﾙﾋｰﾀｰ |
| (100/200V) | | 5 | E2P1E20AT | | | | 500 | | 予備 |
| 主幹 MCCB 3P | | 6 | M2P1E20AT | | | | 500 | | 予備 |
| 50/50AT | | | | | | | | | ｽﾍﾟｰｽ |
| | | | | | | | | | ｽﾍﾟｰｽ |
| 4,020VA | | | | | | | | | |
| 20.10A | | | 計 | 920 | 200 | 700 | 2200 | | |

| | | | |
|---|---|---|---|
| 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 | 照明器具他機器姿図・盤図 【改修後】 | 図面種別 E |
| | 縮尺 | S=N:S(A3版 50%縮小) | 図面番号 02 |

改修後




※. 注記
1）特記なき配線器具、配管配線は新設とする。
2）細破線表記は既設再利用又は別途工事とし、そのままとする。
3）配線器具等表記の(再)は、既設機器取外し再取付を示す。
4）取外し再取付を行う機器は、施工前に動作確認を行い報告を行うこと。

※凡例

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 電灯分電盤 | 撤去更新　※仕様は盤図参照 | ② | ジョイントボックス | 中浅型（ｶﾊﾞｰ付） |
| B | 電灯分電盤 | 内部のみ更新(固体再利用) ※仕様は盤図参照 | A | プルボックス | 鋼鈑製・接地端子付（200×200×100）　※塗装含む |
| | 輻射暖房制御盤 | ※別途工事 | WP | プルボックス | SUS製・防水型・接地端子付（200×200×100） |
| ET | 埋込コンセント | 2P15A×1（接地端子付）金属ﾌﾟﾚｰﾄ | abc WP | プルボックス | SUS製・防水型・接地端子付（a00×b00×c00） |
| 2ET | 埋込コンセント | 2P15A×2（接地端子付）金属ﾌﾟﾚｰﾄ | | 壁貫通斫り | 貫通ｻｲｽﾞ：50φ又は傍記 |
| 2E | 埋込コンセント | 2P15A×2（接地極付）金属ﾌﾟﾚｰﾄ | | 埋設表 | 鉄製 |
| 2EET | 埋込コンセント | 2P15A×1（接地極・接地端子付）金属ﾌﾟﾚｰﾄ | | 埋設表 | ｺﾝｸﾘｰﾄ製 |
| LK | 埋込コンセント | 2P15A×1（抜止・接地極付）金属ﾌﾟﾚｰﾄ　※スイッチボックス(E19一方出)に取付 | | 接地極（D種） | ＥＢ（14φ×1.5m）-1組　※接地埋設標取付 |
| WP | 防水コンセント | 2P15A×2（接地極・接地端子付） | | ハンドホール | ※既存 |
| F | 露出コンセント | 2P15A×1　※木板に取付 | | | |
| | ジャンクションボックス | 金属ｶﾊﾞｰﾌﾟﾚｰﾄのみ更新 | | | |

※配線器具に追記(M)は第一種金属線ぴ用スイッチボックスに取付とする。
※配線器具に追記(G)はスイッチボックス(G22一方出)に取付とする。

1．特記なき配管配線は下記による。

| | | |
|---|---|---|
| – — – | EM-IE2.0×3(1E) | (E19) |
| —— —— | EM-IE2.0×3(1E) | (既設埋設配管使用) |
| —— – —— | EM-EEF2.0-3C(1E) | (保護管 ※PF22) |
| —— – – e – | EM-EEF2.0-3C(1E) | (配管部 E25又は傍記)（保護管 ※PF22) |
| —— – – e —— | EM-EEF2.0-3C(1E) | (配管部は既設) |
| 8' | EM-IE8' ※接地線 | (VE16) |

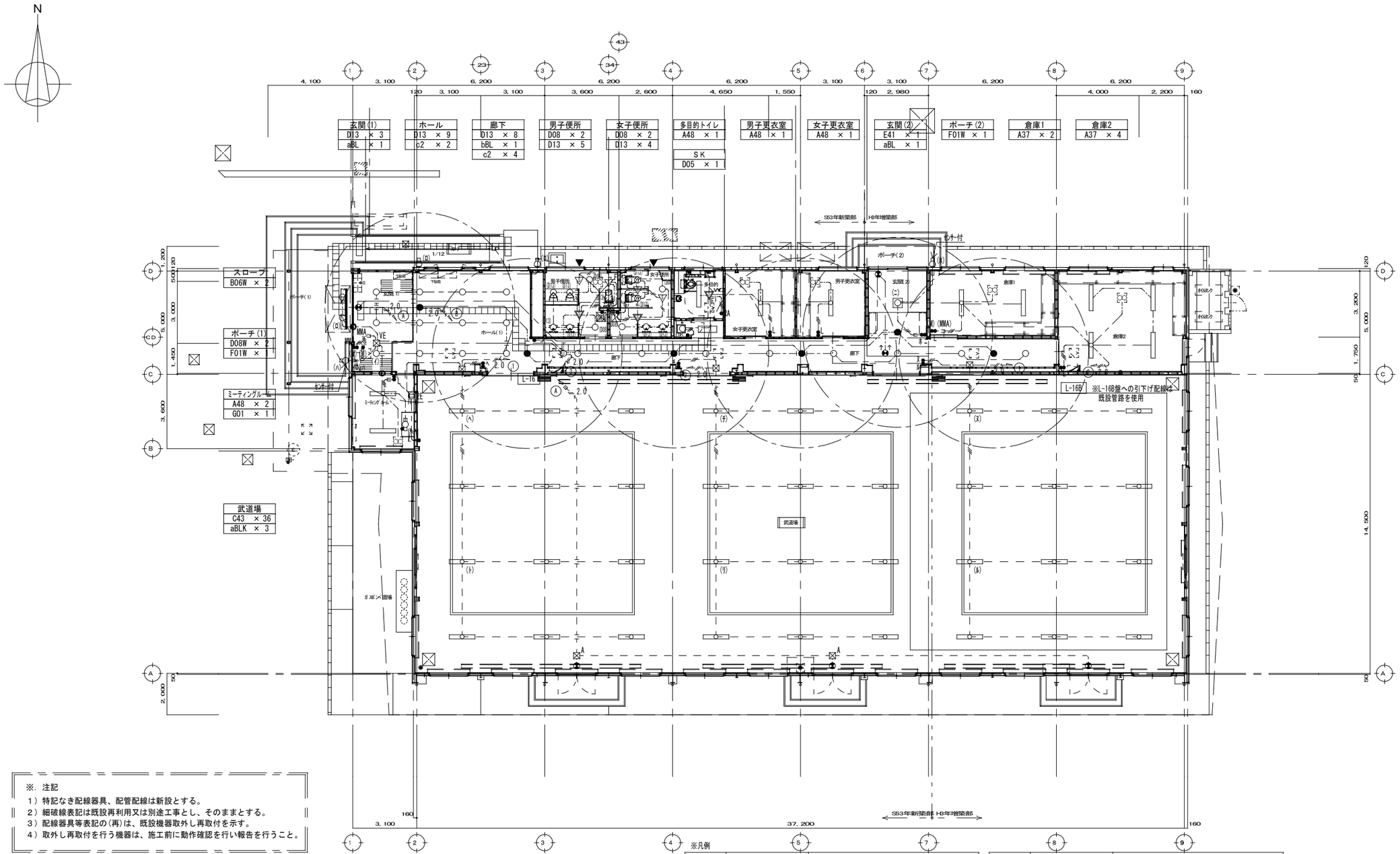
2．ケーブル配線において壁内の引下げ及び立上げ配線は、
保護管(※部分)を敷設すること。

3．露出部分の電線管及びボックス類は塗装（指定色）を行うこと。

平面図　S=1:100

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 幹線・コンセント設備 平面図【改修後】 | 図面種別 E |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 03 |

改修後




※. 注記
1）特記なき配線器具、配管配線は新設とする。
2）細破線表記は既設再利用又は別途工事とし、そのままとする。
3）配線器具等表記の(再)は、既設機器取外し再取付を示す。
4）取外し再取付を行う機器は、施工前に動作確認を行い報告を行うこと。

※凡例

| | | |
|---|---|---|
| | 照明器具 | 姿図参照 |
| | 照明器具 | 姿図参照 |
| | 照明器具 | 姿図参照 |
| | 照明器具 | 姿図参照 |
| | 非常照明器具 | 姿図参照 |
| | 避難口誘導灯 | 姿図参照 ※追記(R)はﾘﾆｭｰｱﾙﾌﾟﾚｰﾄ付 |
| | 通路誘導灯 | 姿図参照 |
| | 埋込スイッチ | 1P15A×1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| | 埋込スイッチ | 1P15A×2 金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| | 埋込スイッチ | 1P15A×3 金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| L | 埋込スイッチ | 1P L 15A 金属ﾌﾟﾚｰﾄ ※確認表示灯付 |
| RA | 埋込スイッチ | 自動手動切替ｽｲｯﾁ×1 H=1,800mm |
| 2RA | 埋込スイッチ | 自動手動切替ｽｲｯﾁ×2 H=1,800mm |

※配線器具に追記(M)は第一種金属線ぴ用スイッチボックスに取付とする。

| | | |
|---|---|---|
| | 人感センサー（親機） | 参考品番：ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ電工 WTK2401K |
| F | 人感センサー（親機） | 換気扇遅れ機能付 参考品番：ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ電工 WTK2604 |
| | 人感センサー（子機） | 参考品番：ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ電工 WTK2910K |
| F | 人感センサー（子機） | 換気扇遅れ機能付 参考品番：ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ電工 WTK29318 |
| 2E | 埋込コンセント | 2P15A×2（接地極付）金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| | ジョイントボックス | 中浅型（ｶﾊﾞｰ付） |
| | プルボックス | 鋼鈑製・接地端子付（200×200×100） |
| A | プルボックス | 鋼鈑製・接地端子付（200×200×100） ※塗装含む |
| VE | プルボックス | VE製（200×200×200） |
| | 壁貫通斫り | 貫通ｻｲｽﾞ：50φ又は傍記 |
| | 換気扇 | 天井付 ※機械設備工事 |

平面図 S=1:100

1．特記なき配管配線は下記による。

| | | |
|---|---|---|
| 2.0 | EM-EEF2.0-3C(1E) | (保護管 ※PF22) |
| | EM-EEF1.6-2C | (保護管 ※PF16) |
| | EM-EEF1.6-3C | (保護管 ※PF22) |
| | EM-EEF1.6-3C(1E) | (保護管 ※PF22) |
| | EM-EEF1.6-2C+2C | (保護管 ※PF22) |
| | EM-EEF1.6-2C+2C(1E) | (保護管 ※PF22) |
| | EM-1E1.6×2 | (E19) |
| | EM-1E1.6×3(1E) | (E19) |
| | EM-1E1.6×4(1E) | (E19) |
| 2.0 | EM-EEF2.0-3C(1E) | (配管部 E25又は傍記)（保護管 ※PF22) |
| | EM-EEF1.6-3C | (配管部 E25又は傍記)（保護管 ※PF22) |
| | EM-EEF1.6-3C(1E) | (配管部は既設配管使用) |

2．ケーブル配線において壁内の引下げ及び立上げ配線は、保護管(※部分)を敷設すること。

3．露出部分の電線管及びボックス類は塗装（指定色）を行うこと。

4．配管部表記の(MMA)は第一種金属線ぴ(A型)を使用すること。

令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

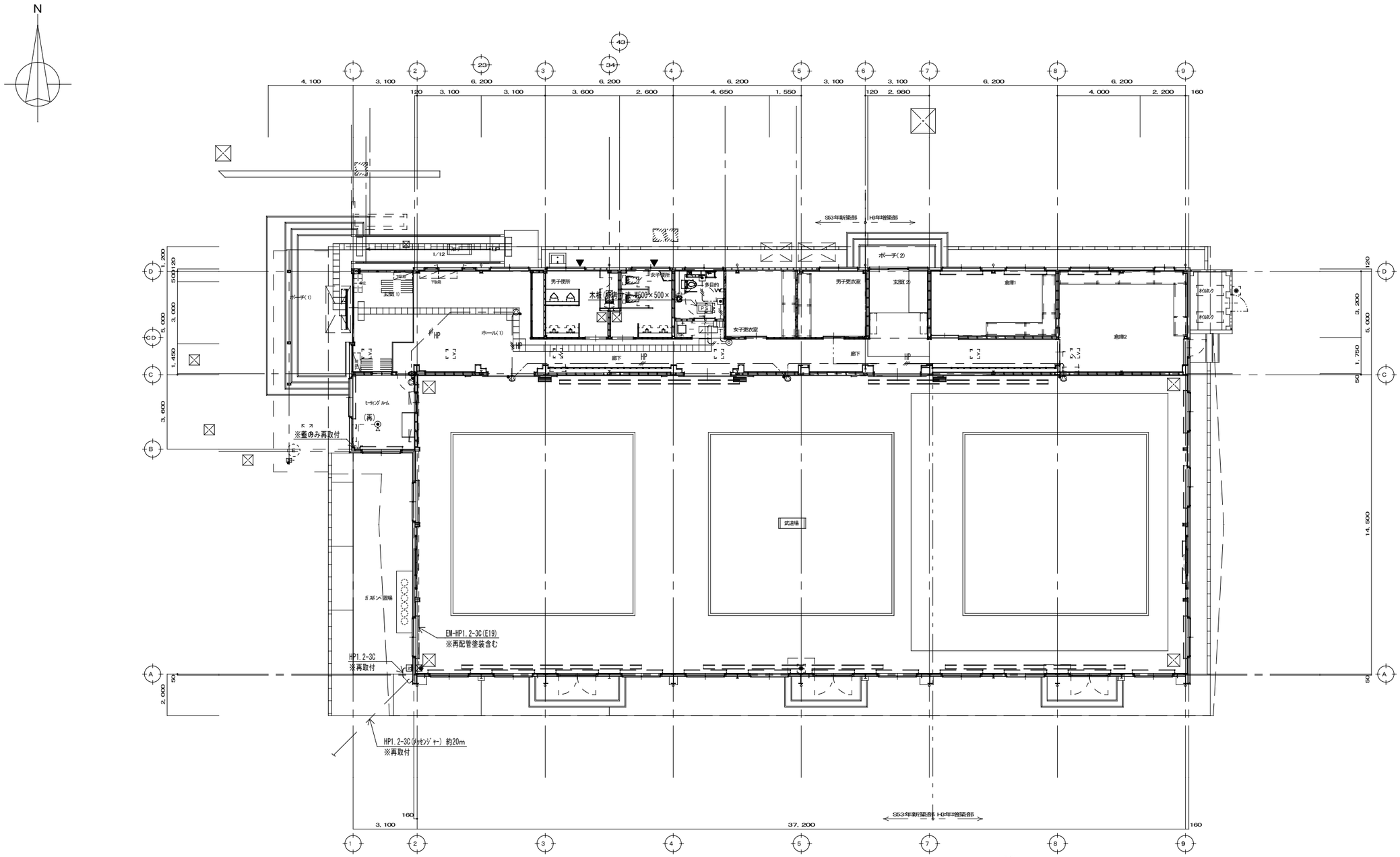
図面名 電灯設備 平面図 【改修後】

縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小)

図面種別 E

図面番号 04

改修後




平面図　　S=1:100

※. 注記
1）特記なき配線器具、配管配線は新設とする。
2）細破線表記は既設再利用又は別途工事とし、そのままとする。
3）配線器具等表記の(再)は、既設機器取外し再取付を示す。
4）取外し再取付を行う機器は、施工前に動作確認を行い報告を行うこと。

※凡例

| | | |
|---|---|---|
| 101 | 保安器盤 | ※既設再利用 |
| | 電話用ノズルプレート | 床用　※取外し再取付 |
| | 天井埋込型スピーカー | SC4Hi-1(3)V3 ※ATT有 |
| | 壁掛型スピーカー | SW1Hi-1(3)V3 ※ATT有 |
| | 埋込形表示器 | 1窓　　参考品番：ﾅｲｽ CN-1A34/A |
| | 廊下表示灯 | 埋込型　参考品番：ﾅｲｽ NBR-4B |
| | 呼出ボタン（引きひも付） | 埋込型　参考品番：ﾅｲｽ NBR-7HWA |
| PS | 電源アダプター | |
| | プルボックス | 鋼鈑製（200×200×100）※塗装含む |
| | 入線プレート | 防雨型 |
| | 引込フック | |
| | 壁貫通斫り | ※傍記なき場合は50φとする。 |
| | | |
| | | |

1．特記なき配管配線は下記による。

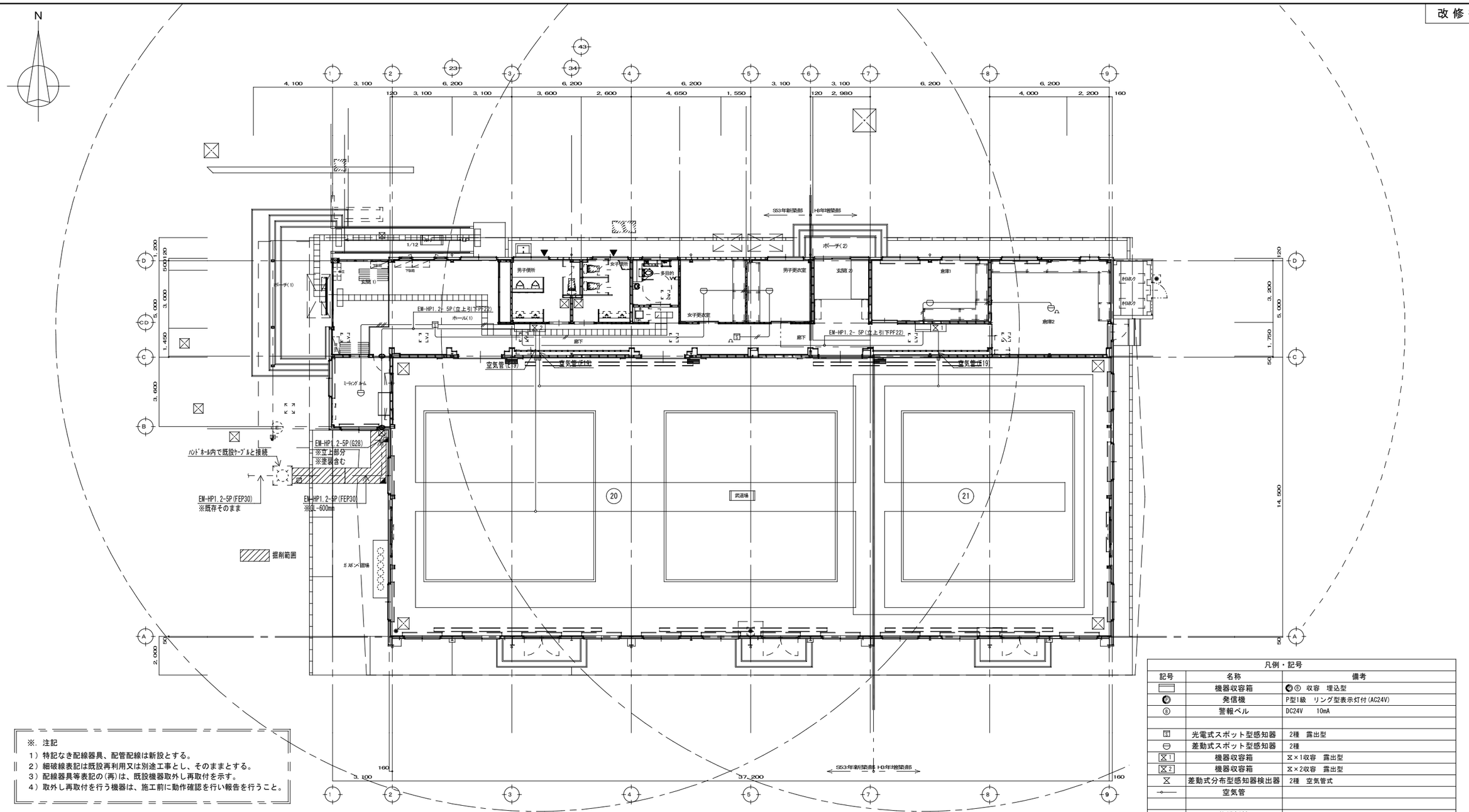
HP
EM-HP1.2-3C　（保護管 ※PF16）
EM-AE1.2-2C　（保護管 ※PF16）
EM-AE1.2-3C　（保護管 ※PF16）

2．ケーブル配線において壁内の引下げ及び立上げ配線は、保護管(※部分)を敷設すること。

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 弱電設備 平面図 【改修後】 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) |

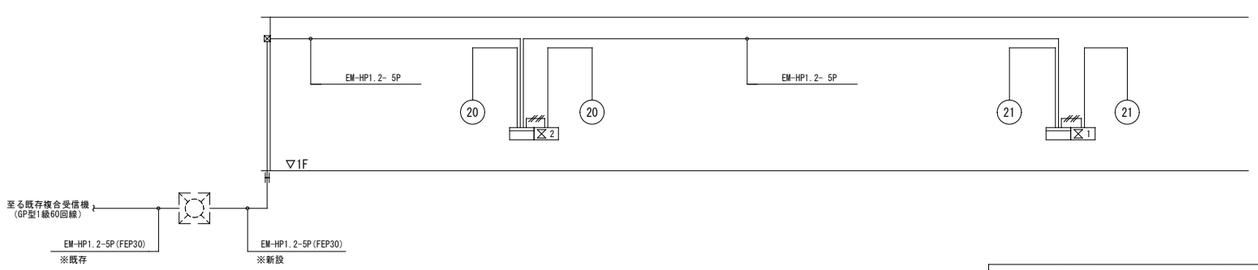
| 図面種別 |
|---|
| E |
| 図面番号 |
| 05 |

改修後




※. 注記

1）特記なき配線器具、配管配線は新設とする。
2）細破線表記は既設再利用又は別途工事とし、そのままとする。
3）配線器具等表記の(再)は、既設機器取外し再取付を示す。
4）取外し再取付を行う機器は、施工前に動作確認を行い報告を行うこと。




平面図　S=1:100

凡例・記号

| 記号 | 名称 | 備考 |
|---|---|---|
| | 機器収容箱 | P E 収容　埋込型 |
| P | 発信機 | P型1級　リング型表示灯付(AC24V) |
| B | 警報ベル | DC24V　10mA |
| | | |
| S | 光電式スポット型感知器 | 2種　露出型 |
| | 差動式スポット型感知器 | 2種 |
| 1 | 機器収容箱 | 2×1収容　露出型 |
| 2 | 機器収容箱 | 2×2収容　露出型 |
| | 差動式分布型感知器検出器 | 2種　空気管式 |
| | 空気管 | |
| | | |
| | 終端抵抗 | |
| | 警戒区域境界線 | |
| No | 警戒区域番号 | |
| | | |
| | 配管配線 | 天井隠ぺい |
| | 配管配線 | ケーブルころがし |
| | 配管配線 | 既設 |
| | ブルボックス | SS200×200×100WP-SUS |
| | ハンドホール | 既設 |
| | 埋設表 | 鉄製 |
| | 埋設表 | ｺﾝｸﾘｰﾄ製 |

注記

1. 特記なきは下記とする。（二重天井内ケーブルころがし）
EM-AE0.9-2C(PF16)　EM-AE0.9-4C(PF16)

2. 警報ベルは、一斉鳴動方式とする。

令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

図面名　火災報知設備 平面図　【改修後】

縮尺　S=1:100(A3版 50%縮小)

図面種別　E

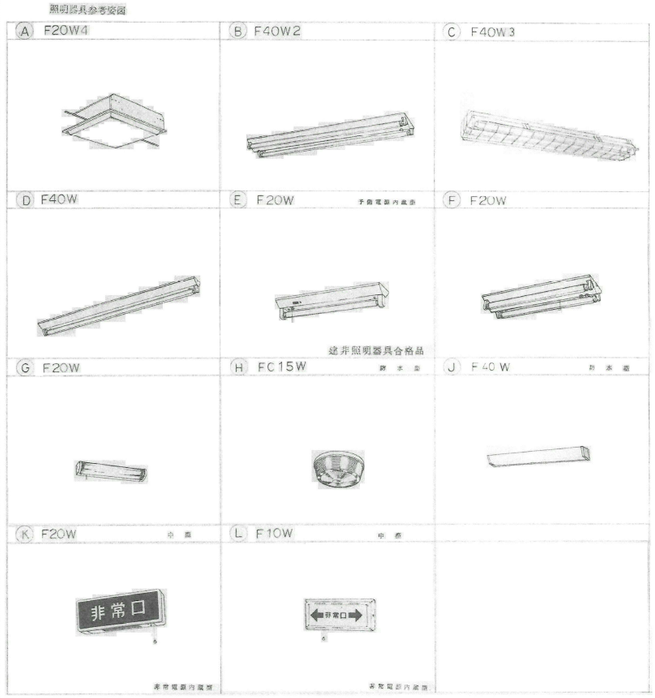
図面番号　06

改修前

## 既存棟

照明器具参考姿図

| | | |
|---|---|---|
| (A) F20W4 | (B) F40W2 | (C) F40W3 |
| (D) F40W | (E) F20W 予備電源内蔵形 | (F) F20W |
| (G) F20W | (H) FC15W 防 水 型 | (J) F40W 防 水 型 |
| (K) F20W 中 形 | (L) F10W 中 形 | |

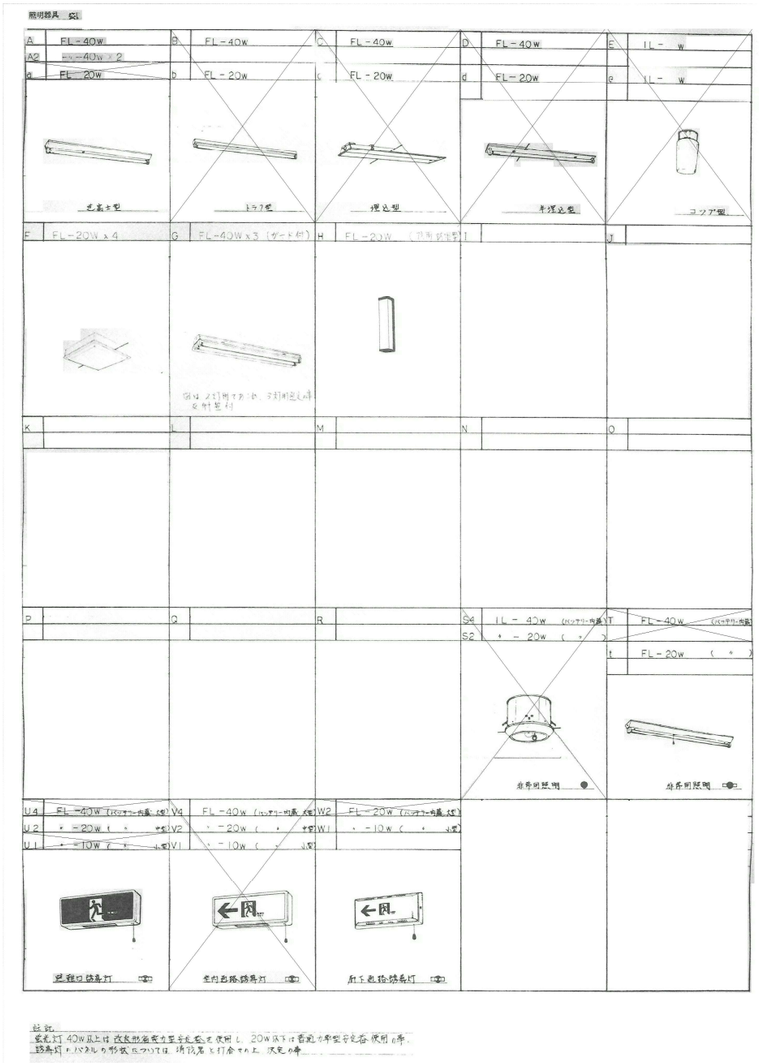



誘導灯兼用形

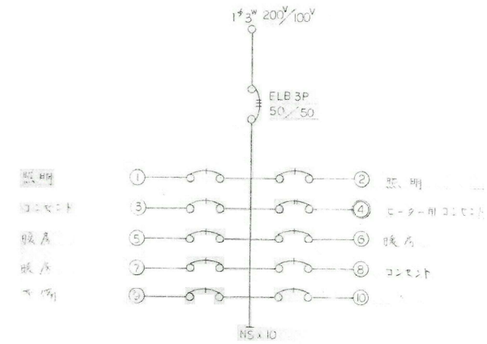
○ 照明器具電圧記入なき時全て100Vとする

○ F40W以上はラピッド高力率とする

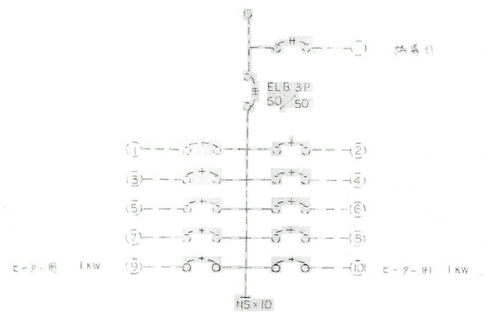
## 増築棟




設計
蛍光灯40W以上は改良形省電力型安定器を使用し、20W以下は省エネ形安定器使用の事。
誘導灯・パネルの形状については、特記等と打合せた。次更の事。



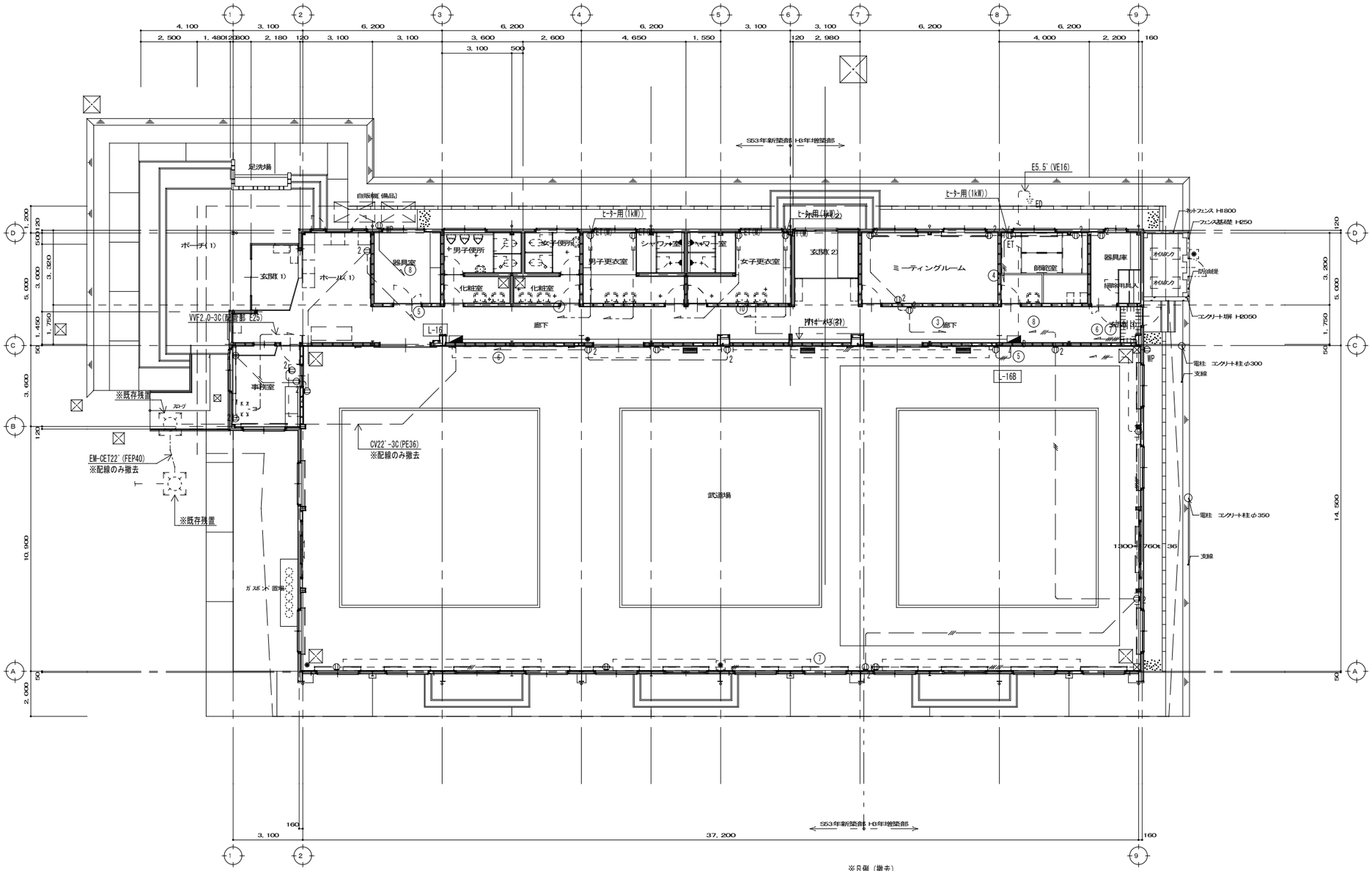

動設分電盤 L-1F B 新設




既設分電盤 L-1C

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 照明器具姿図・盤図 【改修前】 | 図面種別 E |
| | | | | 縮尺 S=N:S(A3版 50%縮小) | 図面番号 07 |

改修前




※凡例（撤去）

| | | |
|---|---|---|
| | 電灯分電盤 | 撤去更新　※仕様は盤図参照 |
| $_B$ | 電灯分電盤 | 内部のみ撤去（函体は残置）※仕様は盤図参照 |
| | 輻射暖房制御盤 | ※別途工事 |
| | 埋込コンセント | 2P15A×1　金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| $_2$ | 埋込コンセント | 2P15A×2　金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| $_{ET}$ | 埋込コンセント | 2P15A×1（接地端子付）　金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| $_{WP}$ | 防水コンセント | 2P15A×2（接地端子付） |
| | プルボックス | SS200×200×200 |
| | ハンドホール | H2-9（900×900×900） |
| | 接地極 | ※既設残置 |
| | | |

※配線器具に追記(M)は第一種金属線び用スイッチボックスに取付とする。

1．特記なき配管配線は下記による。
（撤去）

- IV2.0×2（19）※隠ぺい配管
- IV2.0×3（19）※隠ぺい配管
- IV2.0×6（25）※隠ぺい配管
- IV2.0×2（19）※露出配管
- IV2.0×3（19）※露出配管
- IV2.0×6（25）※露出配管
- IV2.0×2（19）※床隠ぺい配管
- IV2.0×3（19）※床隠ぺい配管
- VVF2.0-3C （配管部MMA）

2．床隠ぺい部や撤去を行わない天井・壁の埋設配管配線は、配線のみ撤去とする。

※．注記
1）特記なき配線器具、配管配線は撤去とする。
2）細破線表記は既設再利用又は別途工事とし、そのままとする。
3）施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
4）天井解体箇所の再使用を行う配管・ケーブルは、配管・ケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
5）施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
6）配線器具等表記の(再)は、既設機器取外し再取付を示す。
7）取外し再取付を行う機器は、施工前に動作確認を行い報告を行うこと。

N

平面図　　S=1:100

令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図

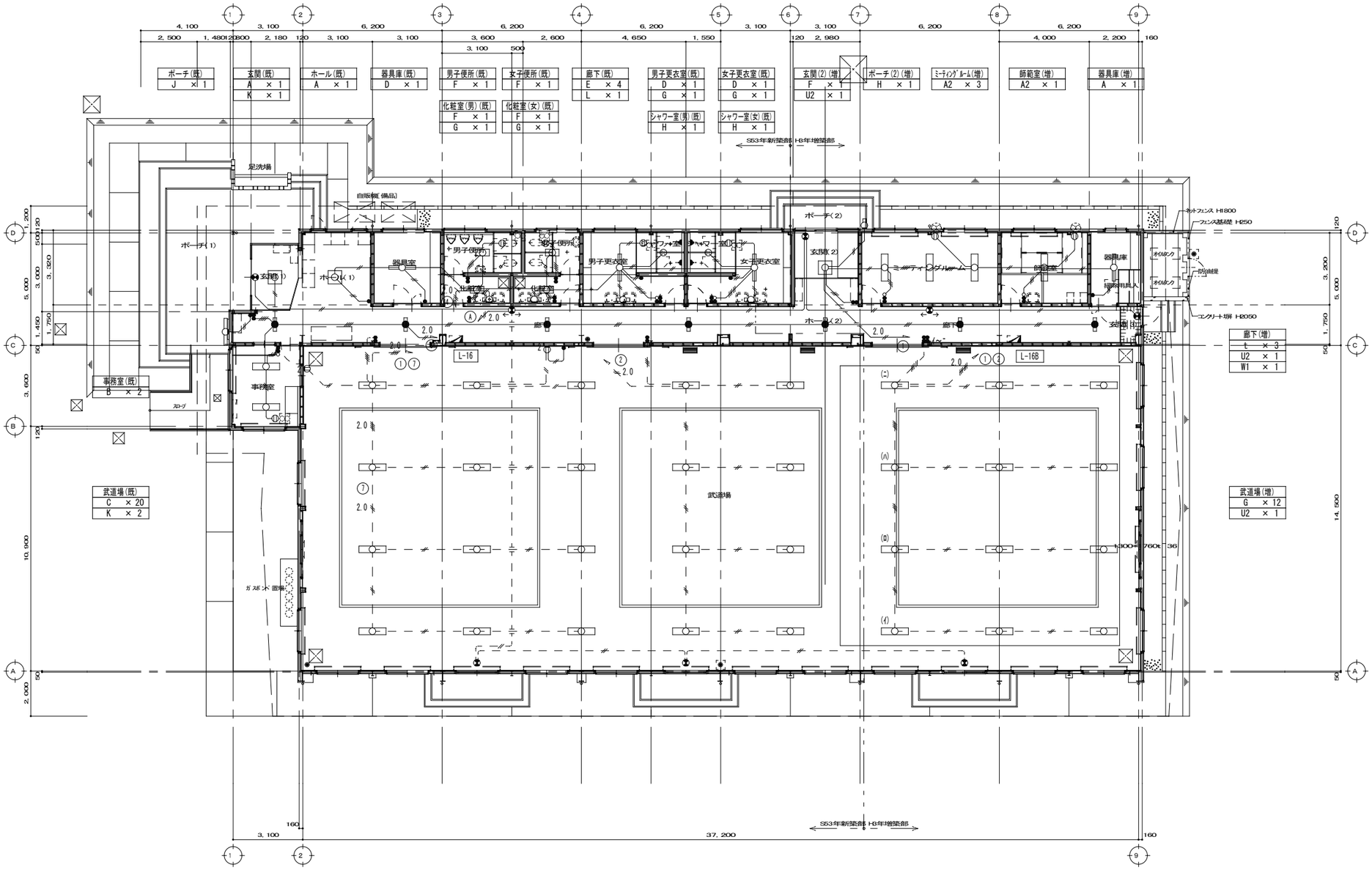
図面名：幹線・コンセント設備 平面図【改修前】

縮尺：S=1:100(A3版 50%縮小)

図面種別：E

図面番号：08

改修前




※. 注記

1）特記なき配線器具、配管配線は撤去とする。
2）細破線表記は既設再利用又は別途工事とし、そのままとする。
3）施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
4）天井解体箇所の再使用を行う配管・ケーブルは、配管・ケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
5）施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
6）配線器具等表記の(再)は、既設機器取外し再取付を示す。
7）取外し再取付を行う機器は、施工前に動作確認を行い報告を行うこと。

※凡例（撤去）

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 電灯分電盤 | | ● | 埋込スイッチ | 1P15A×1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| | 照明器具 | 姿図参照 | ● | 埋込スイッチ | 1P15A×2 金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| | 照明器具 | 姿図参照 | ● | 埋込スイッチ | 1P15A×3 金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| | 照明器具 | 姿図参照 | ● | 埋込スイッチ | 1P15A×4 金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| | 照明器具 | 姿図参照 | ○ | パイロットスイッチ | |
| | 照明器具 | 姿図参照 | ⊕ | 埋込コンセント | 2P15A×1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| | 照明器具 | 姿図参照 | ⊕2 | 埋込コンセント | 2P15A×2 金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| | 照明器具 | 姿図参照 | ⊕ | 埋込コンセント(天井付) | 2P15A×1 金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| | 非常灯兼用照明器具 | 姿図参照 | | 換気扇 | 壁付 ※機械設備工事 |
| | 避難口誘導灯 | 姿図参照 | | 換気扇 | 天井付 ※機械設備工事 |
| | 通路誘導灯 | 姿図参照 | | | |

1．特記なき配管配線は下記による。
（撤去）

| | | | |
|---|---|---|---|
| 2.0 | IV2.0×2 (19) ※隠ぺい配管 | 2.0 | IV2.0×2 (19) ※露出配管 |
| 2.0 | IV2.0×4 (25) ※隠ぺい配管 | 2.0 | IV2.0×4 (25) ※露出配管 |
| 2.0 | IV2.0×6 (25) ※隠ぺい配管 | 2.0 | IV2.0×6 (25) ※露出配管 |
| | IV1.6×2 (19) ※隠ぺい配管 | | IV1.6×2 (19) ※露出配管 |
| | IV1.6×3 (19) ※隠ぺい配管 | | IV1.6×3 (19) ※露出配管 |
| | IV1.6×4 (19) ※隠ぺい配管 | | IV1.6×4 (19) ※露出配管 |
| | IV1.6×5 (25) ※隠ぺい配管 | | IV1.6×5 (25) ※露出配管 |

2．床隠ぺい部や撤去を行わない天井・壁の埋設配管配線は、配線のみ撤去とする。

平面図 S=1:100

令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図

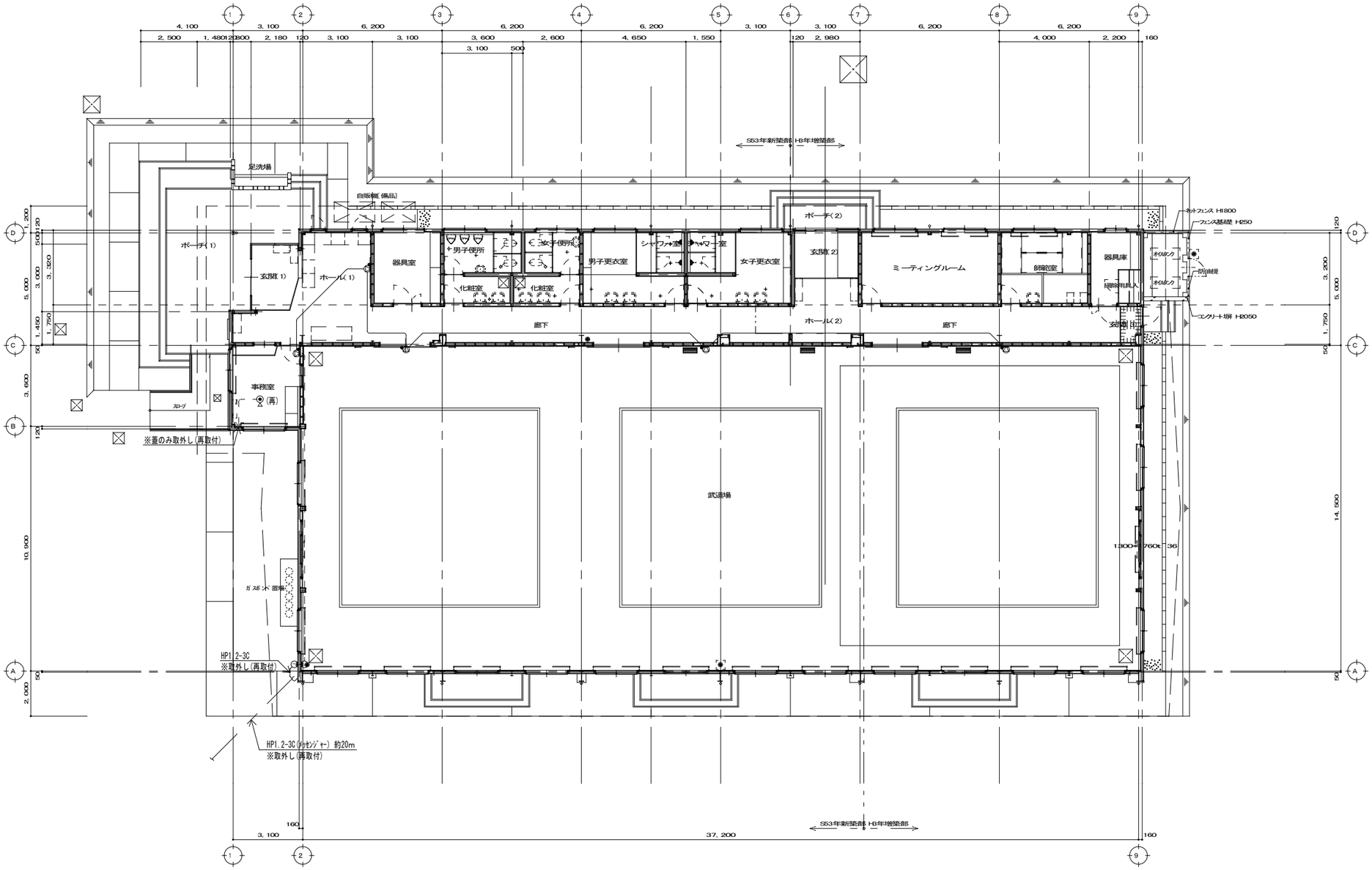
図面名 電灯設備 平面図 【改修前】

縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小)

図面種別 E

図面番号 09

改修前




※. 注記

1）特記なき配線器具、配管配線は撤去とする。
2）細破線表記は既設再利用又は別途工事とし、そのままとする。
3）施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
4）天井解体箇所の再使用を行う配管・ケーブルは、配管・ケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
5）施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
6）配線器具等表記の(再)は、既設機器取外し再取付を示す。
7）取外し再取付を行う機器は、施工前に動作確認を行い報告を行うこと。

※凡例（撤去）

| | | |
|---|---|---|
| IOT | 保安器盤 | ※既設再利用 |
| | 電話用ノズルプレート | 床用 ※取外し再取付 |
| | 壁掛型スピーカー | ATT有 |
| | ジョイントボックス | 壁付 (19)ー方出 |
| | 引込フック | |
| | | |
| | | |

1．特記なき配管配線は下記による。
（撤去）

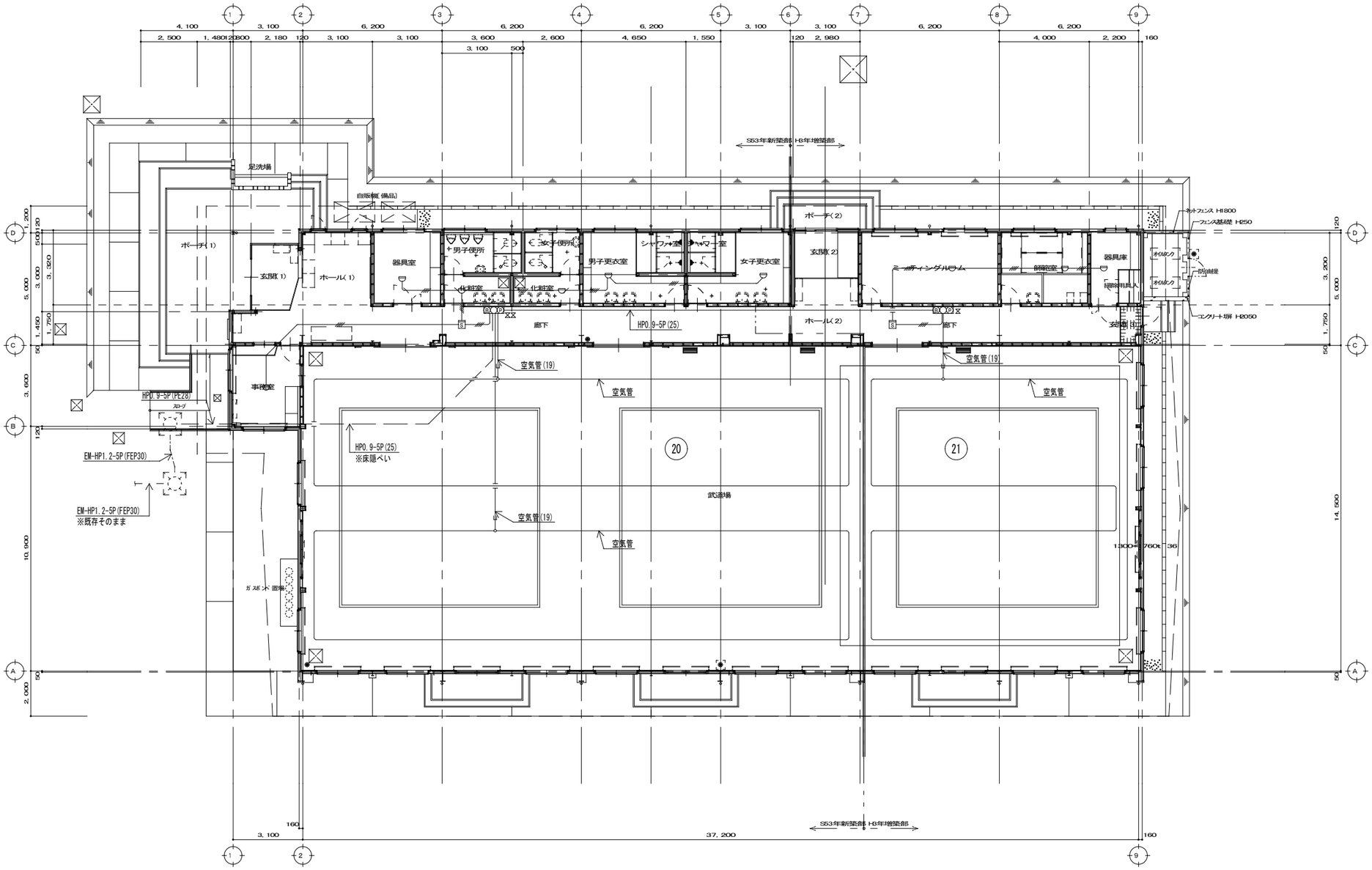
———— HP1.2-3C (E19) ※隠ぺい配管
– — – HP1.2-3C (E19) ※露出配管

2．床隠ぺい部や撤去を行わない天井・壁の埋設配管配線は、配線のみ撤去とする。

平面図 S=1:100

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 弱電設備 平面図 【改修前】 | 図面種別 E |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 10 |

改修前




N

※. 注記
1）特記なき配線器具、配管配線は撤去とする。
2）細破線表記は既設再利用又は別途工事とし、そのままとする。
3）施工前・施工後に原則として全回路の絶縁測定試験を行うこと。
4）天井解体箇所の再使用を行う配管・ケーブルは、配管・ケーブルが落下しない様に吊ボルト等に支持すること。
5）施工前に、既存の状況を入念に調査・確認し、施工を行うこと。
6）配線器具等表記の(再)は、既設機器取外し再取付を示す。
7）取外し再取付を行う機器は、施工前に動作確認を行い報告を行うこと。

※凡例（撤去）

| | | |
|---|---|---|
| P□Bxx | 総合盤（P型1級） | 埋込型 |
| P□Bx | 総合盤（P型1級） | 埋込型 |
| Ⓟ | 発信機 | 1級 |
| ○ | 表示灯 | |
| Ⓑ | ベル | |
| ⧖ | 差動式分布型感知器 | |
| ◒ | 差動式スポット感知器 | 2種 |
| S | 煙感知器 | 2種 |
| ═══ | 警戒区域 | |
| | | |

1．特記なき配管配線は下記による。
（撤去）
── // ── AE0.9-2C （19）※隠ぺい配管
── /// ── AE0.9-4C （19）※隠ぺい配管

2．床隠ぺい部や撤去を行わない天井・壁の埋設配管配線は、配線のみ撤去とする。

平面図　S=1:100

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 火災報知設備 平面図 【改修前】 | 図面種別 E |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 11 |

# 構内配電線路図【改修後】 S=1：200

※凡例

| | | |
|---|---|---|
| ■ | 地中埋設標 | コンクリート製 |
| ▨ | 地中埋設標 | 鉄製 |
| | | |

プルボックス 400×400×300(SUS・WP)

屋外キュービクル
【改修】

H1-9-R8K-60

| | |
|---|---|
| P-14 | EM-CET60 E8×2(FEP50) |
| P-15 | EM-CET38 E8×2(FEP50) |

根切り、埋戻し、アスファルト撤去（W＝６００）は電気工事
アスファルト復旧は建築工事

| | |
|---|---|
| P-14 | EM-CET60 E8×2(FEP50) |

P-16A

P-16B

| | |
|---|---|
| P-15 | EM-CET38 E8×2(FEP50) |

根切り、埋戻し、コンクリート撤去（W＝５００）は電気工事
コンクリート復旧は建築工事

隣地境界線

(③勤労青少年ﾎｰﾑ棟)
(S54.2.5 竣工)

(車椅子用駐車場)

(駐車場)

(受水槽置き場)

((⑥武道館)
(S53.10.13 第107号)

((⑦室内ｹﾞｰﾄﾎﾞｰﾙ場)
(H6.4竣工 第109号)

(②働く婦人の家棟)
(S53.3.10 竣工)

(中庭)

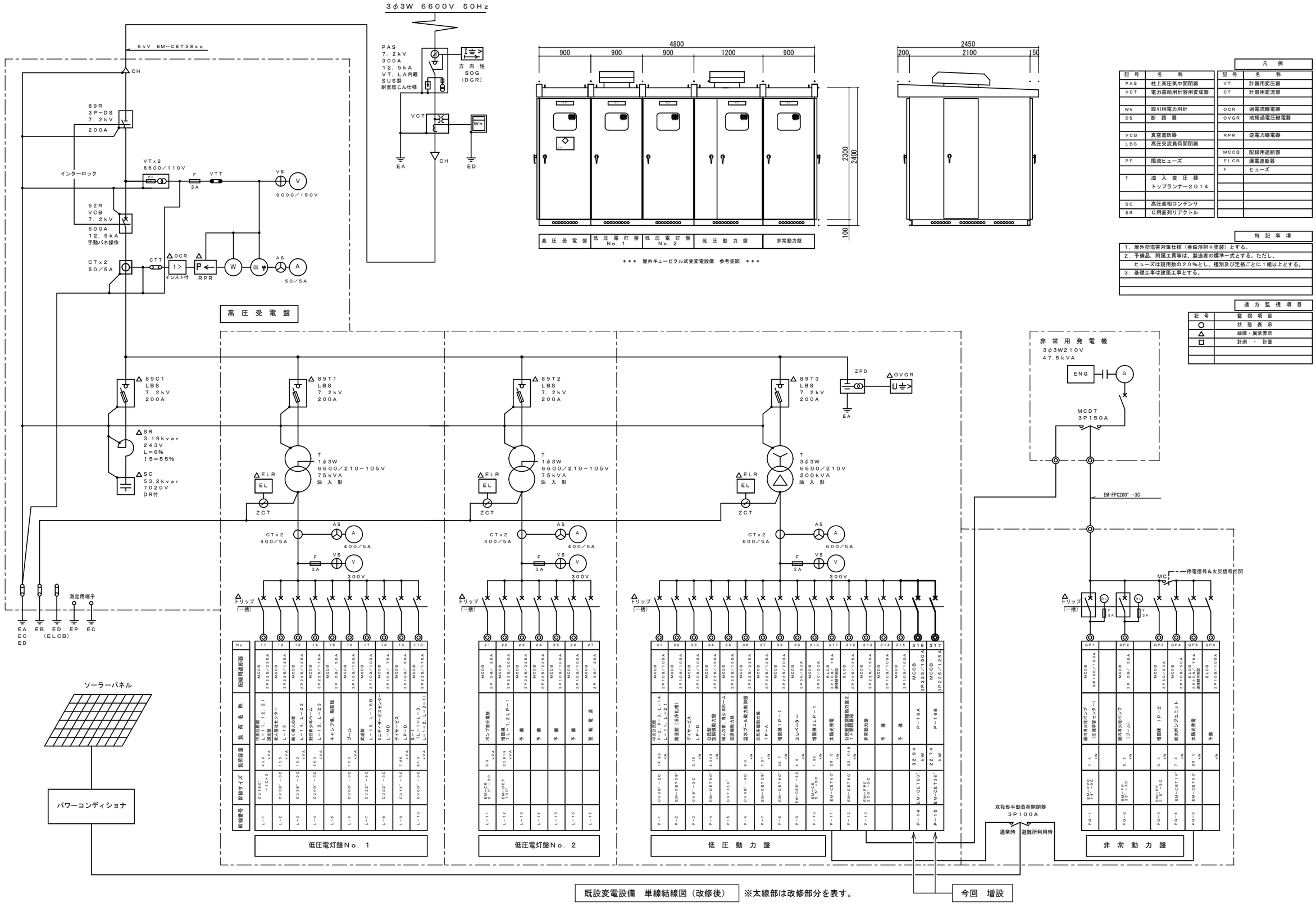
((①中央公民館棟)
(S52.9.8 仙東第7号)

(玄関ﾎﾟｰﾁ)

((④老人福祉センター)
(S53.3.10 竣工)

((⑧ｸﾗﾌﾞﾊｳｽ)
(H6.4竣工)

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | | 図面名 | 空調他改修 構内配電線路図【改修後】 | 図面種別 | E |
| | | 縮尺 | S=1:200(A3版 50%縮小) | 図面番号 | 12 |




凡例

| 記号 | 名称 | 記号 | 名称 |
|---|---|---|---|
| PAS | 柱上高圧気中開閉器 | VT | 計器用変圧器 |
| VCT | 電力需給用計器用変成器 | CT | 計器用変流器 |
| | | | |
| Wh | 取引用電力用計 | OCR | 過電流継電器 |
| DS | 断路器 | OVGR | 地絡過電圧継電器 |
| | | | |
| VCB | 真空遮断器 | RPR | 逆電力継電器 |
| LBS | 高圧交流負荷開閉器 | | |
| | | MCCB | 配線用遮断器 |
| PF | 限流ヒューズ | ELCB | 漏電遮断器 |
| | | F | ヒューズ |
| T | 油入変圧器 トップランナー２０１４ | | |
| | | | |
| SC | 高圧進相コンデンサ | | |
| SR | C用直列リアクトル | | |

特記事項

1．屋外型塩害対策仕様（亜鉛溶射＋塗装）とする。
2．予備品、附属工具等は、製造者の標準一式とする。ただし、ヒューズは現用数の２０％とし、種別及び定格ごとに１組以上とする。
3．基礎工事は建築工事とする。

遠方監視項目

| 記号 | 監視項目 |
|---|---|
| ○ | 状態表示 |
| △ | 故障・異常表示 |
| □ | 計測・計量 |

既設変電設備　単線結線図（改修後）　※太線部は改修部分を表す。

今回　増設

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度　七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 空調他改修　受変電設備図　単線結線図・盤姿図 【改修後】 | 図面種別 E |
| | | | | 縮尺 S=N:S(A3版 50%縮小) | 図面番号 13 |

# 動力分電盤負荷表【新設】

| 盤名称 | 結線 | 回路番号 | 分岐開閉器 M:MCCB･E:ELCB | 負荷容量［ｋＷ］ 空調 | 衛生 | | | 付属機器 | 負荷名称 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| P-16A<br>動力分電盤<br>鋼板製露出型<br><br>亜鉛溶射＋塗装<br>標準色<br>3φ3W<br>(200V)<br>主幹 MCCB 3P<br>225/150AT<br><br>32.94kW | EF ML | | | | | | | | |
| | | | E 3P40AT | 7.58 | | | | | ＰＡＣ－０１ |
| | | | E 3P40AT | 7.58 | | | | | ＰＡＣ－０１ |
| | | | E 3P40AT | 7.58 | | | | | ＰＡＣ－０１ |
| | | | E 3P40AT | | 10.2 | | | | 電気温水器 |
| | | | 計 | 22.74 | 10.2 | | | | |
| P-16B<br>動力分電盤<br>鋼板製露出型<br><br>亜鉛溶射＋塗装<br>標準色<br>3φ3W<br>(200V)<br>主幹 MCCB 3P<br>225/125AT<br><br>22.74kW | EF ML | | | | | | | | |
| | | | E 3P40AT | 7.58 | | | | | ＰＡＣ－０１ |
| | | | E 3P40AT | 7.58 | | | | | ＰＡＣ－０１ |
| | | | E 3P40AT | 7.58 | | | | | ＰＡＣ－０１ |
| | | | 計 | 22.74 | | | | | |

# 電灯分電盤負荷表【既設】

| 盤名称 | 結線 | 回路番号 | 分岐開閉器 M:MCCB･E:ELCB | 負荷容量[VA] 照明 | 空調・換気 | コンセント | その他 | 付属機器 | 負荷名称 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | ④ | M2P1E20AT | 30 | | | | 赤ｷｬｯﾌﾟ | 誘導灯 |
| L-16<br>電灯分電盤<br>鋼板製埋込型<br>(壁掛型)<br>標準色<br>1φ3W<br>(100/200V)<br>主幹 MCCB 3P<br>100/100AT<br><br>20.843VA<br>104.215A | | | MCCB3P 50/50A | | | | 4,020 | | 分電盤（L-16B） |
| | | ⑧ | M2P1E20AT | 30 | | | | 赤ｷｬｯﾌﾟ | 非常照明 |
| | | ① | M2P1E20AT | 720 | | 100 | | | 武道場・神棚 |
| | | ② | M2P1E20AT | 720 | | | | | 武道場 |
| | | ③ | E2P1E20AT | 735 | 600 | | | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ・ﾎｰﾙ・ｷﾞｰﾁ(1)・各便所、更衣室・廊下 |
| | | | | | | | | | ｽﾍﾟｰｽ |
| | | 1 | M2P1E20AT | | | 500 | | | ｵｲﾙﾋｰﾀｰ制御盤 |
| | | 2 | M2P1E20AT | | | 400 | | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ・武道場 |
| | | 3 | E2P1E20AT | | | 1,200 | | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ(ｷｯﾁﾝ・冷蔵庫) |
| | | 4 | E2P1E20AT | | | 1,100 | | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ(電気温水器) |
| | | 5 | M2P1E20AT | | | 700 | | | 廊下・男女更衣室・武道場 |
| | | 6 | E2P1E20AT | | | 400 | | | 男子便所電気温水器 |
| | | 7 | E2P1E20AT | | | 1,400 | | | 男子便所温水便座 |
| | | 8 | E2P1E20AT | | | 1,400 | | | 女子便所温水便座 |
| | | 9 | E2P1E20AT | | | 1,400 | | | 女子便所温水便座 |
| | | 10 | E2P1E20AT | | | 1,500 | | | 多目的便所温水便座 |
| | | 11 | M2P1E20AT | | | 100 | | | 多目的便所緊急押釦 |
| | | 12 | E2P1E20AT | | | 800 | | | 自販機 |
| | | 13 | E2P1E20AT | | | 800 | | | 自販機 |
| | | 14 | E2P1E20AT | | 660 | | | | 予備 ➡ ＲＡＣ－０１ |
| | | 15 | E2P1E20AT | | 660 | | | | 予備 ➡ ＲＡＣ－０１ |
| | | 16 | E2P1E20AT | | 660 | | | | 予備 ➡ ＲＡＣ－０１ |
| | | 17 | E2P1E20AT | | 218 | | | | サーキュレーター |
| | | | 計 | 2,225 | 2,798 | 11,800 | 4,020 | | |
| L-16B<br>電灯分電盤<br>鋼板製埋込型<br>(函体再利用)<br>(内部のみ更新)<br>1φ3W<br>(100/200V)<br>主幹 MCCB 3P<br>50/50AT<br><br>3,629VA<br>18.145A | | ① | E2P1E20AT | 720 | | | | | 武道場 |
| | | ② | M2P1E20AT | 200 | 200 | | | | 倉庫1・倉庫2 |
| | | 1 | M2P1E20AT | | | 400 | | | 倉庫1・倉庫2・廊下・外部 |
| | | 2 | M2P1E20AT | | | 300 | | | 武道場 |
| | | 3 | M2P1E20AT | | | | 400 | | ｵｲﾙﾋｰﾀｰ |
| | | 4 | M2P1E20AT | | | | 800 | | ｵｲﾙﾋｰﾀｰ |
| | | 5 | E2P1E20AT | | 109 | | | | 予備 ➡ サーキュレーター |
| | | 6 | M2P1E20AT | | | | 500 | | 予備 |
| | | | | | | | | | ｽﾍﾟｰｽ |
| | | | | | | | | | ｽﾍﾟｰｽ |
| | | | 計 | 920 | 309 | 700 | 1700 | | |

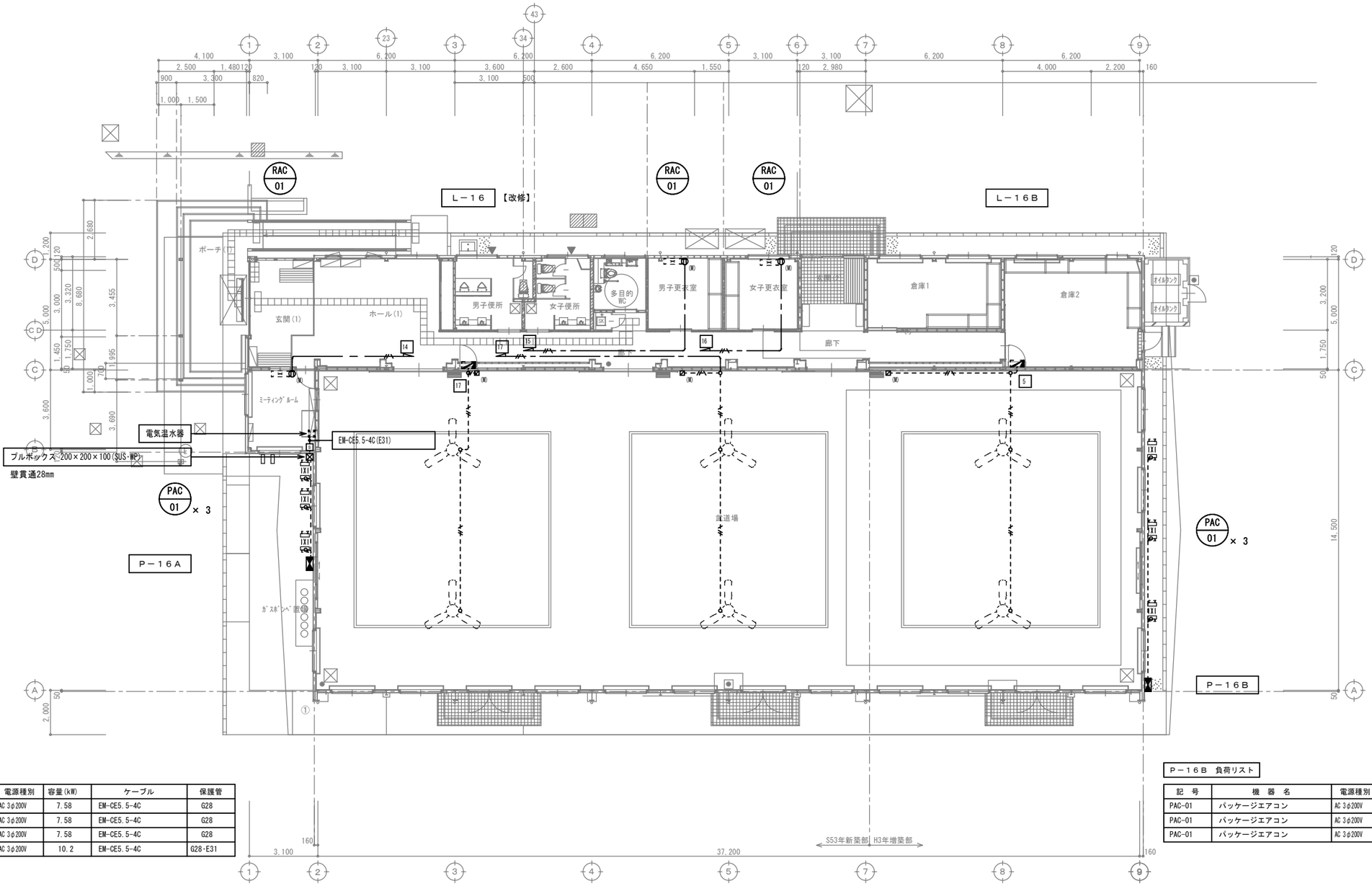
【改修内容】

➡ ELCB2P20A(新設) MCCB1P15A(撤去)

➡ ELCB2P20A(新設) MCCB1P15A(撤去)

➡ ELCB2P20A(新設)

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度　七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名<br>空調他改修　分電盤結線図<br>【改修後】<br>縮尺　S=N:S(A3版 50%縮小) | 図面種別<br>E<br>図面番号<br>14 |




P－16A 負荷リスト

| 記 号 | 機 器 名 | 電源種別 | 容量(kW) | ケーブル | 保護管 |
|---|---|---|---|---|---|
| PAC-01 | パッケージエアコン | AC 3φ200V | 7.58 | EM-CE5.5-4C | G28 |
| PAC-01 | パッケージエアコン | AC 3φ200V | 7.58 | EM-CE5.5-4C | G28 |
| PAC-01 | パッケージエアコン | AC 3φ200V | 7.58 | EM-CE5.5-4C | G28 |
| B | 電気温水器 | AC 3φ200V | 10.2 | EM-CE5.5-4C | G28・E31 |

P－16B 負荷リスト

| 記 号 | 機 器 名 | 電源種別 | 容量(kW) | ケーブル | 保護管 |
|---|---|---|---|---|---|
| PAC-01 | パッケージエアコン | AC 3φ200V | 7.58 | EM-CE5.5-4C | G28 |
| PAC-01 | パッケージエアコン | AC 3φ200V | 7.58 | EM-CE5.5-4C | G28 |
| PAC-01 | パッケージエアコン | AC 3φ200V | 7.58 | EM-CE5.5-4C | G28 |

N

動力設備 平面図【改修後】 S=1：100

※凡例

| | | |
|---|---|---|
| B | 開閉器箱 | MCCB 3P 50AF/NT |
| ⓤ | 埋込コンセント | 2P15A×1（接地極付）金属ﾌﾟﾚｰﾄ |
| ◪ | 換気扇スイッチ | 機械設備 支給品取付 |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |
| | | |

※配線器具に追記(M)は第一種金属線ぴ用スイッチボックスに取付とする。

1．特記なき配管配線は下記による。
EM-EEF2.0-3C(1E) （保護管 ※PF22）
EM-IE1.6×3(1E) （E19）

2．ケーブル配線において壁内の引下げ及び立上げ配線は、保護管(※部分)を敷設すること。

3．露出部分の電線管及びボックス類は塗装（指定色）を行うこと。

4．配管部表記の(MMA)は第一種金属線ぴ(A型)を使用すること。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 空調他改修 動力設備 平面図【改修後】 | 図面種別 E |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 15 |

# 機械設備改修工事特記仕様書

Ⅰ．工事概要

１．工事名称　令和7年度　七が浜武道館耐震化工事及び大規模改修工事
２．工事場所　七ヶ浜町吉田浜字野山５－９
３．建物概要

| 建物名称 | 構造 | 階数 | 延床面積（㎡） | 建築面積（㎡） | 消防法施行令別表第一による用途区分 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 武道場 | S造 | 1 | 760 | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |
| | | | | | | |

４．工事種目（⊙印のついたものを適用する。）

| 工事種目＼建設別及び屋外 | 工事種別 武道場 | | | | 屋外 |
|---|---|---|---|---|---|
| ⊙空調設備 | 改修一式 | | | | |
| ⊙暖房設備 | 改修一式 | | | | |
| ⊙換気設備 | 改修一式 | | | | |
| ・排煙設備 | | | | | |
| ・自動制御設備 | | | | | |
| ⊙衛生器具設備 | 改修一式 | | | | |
| ⊙給水設備 | 改修一式 | | | | |
| ⊙排水設備 | 改修一式 | | | | |
| ⊙給湯設備 | 改修一式 | | | | |
| ・消火設備 | | | | | |
| ・厨房機器設備 | | | | | |
| ⊙ガス設備 | 改修一式 | | | | |
| ・さく井設備 | | | | | |
| ・浄化槽設備 | | | | | |
| ・昇降機設備 | | | | | |
| ・その他工事 | | | | | |

５．指定部分　※なし　・あり　（工期：令和　年　月　日）（対象部分：　）
６．概成工期　※なし　・あり　（工事工期より　　日前）
７．設備概要　（⊙ 印のついたものは，主要方式を示す）

| 方式 | 設備概要 | |
|---|---|---|
| 空気調和方式等 | ⊙空気調和 | ・全空気方式　⊙パッケージ方式 |
| | ・温風暖房 | ・全空気方式　・ファンコンベクター，ダクト併用方式 |
| | ⊙直接暖房 | ・温水暖房　⊙遠赤外線ヒーター |
| 自動制御方式 | ・電気式　・電子式　・デジタル式　・空気式　・中央監視制御 | |
| 給水方式 | ・水道直結方式　⊙高置タンク方式　・タンクレスブースター方式 | |
| 排水方式 | 建物内の汚水及び雑排水（⊙分流式　・合流式）<br>建物外の汚水及び雑排水（・分流式　⊙合流式）<br>放流先　汚水（⊙下水道直放流　・浄化槽）<br>雑排水（⊙下水道直放流　・浄化槽　・側溝　・別途桝） | |
| 給湯方式 | ⊙局所式　・中央式 | |
| 消火設備方式 | ・屋内消火栓（・湿式　・乾式）・連結送水管　・屋外消火栓<br>・スプリンクラー（・湿式　・乾式）・不活性ガス消火　・泡消化<br>・粉末消火　・連結散水　・フード等用簡易自動消火　・消火器 | |
| ガス設備方式 | ・都市ガス　種別（　）　kJ／m3（N）（供給圧力　Pa）　・液化石油ガス | |

Ⅱ．特記仕様書

１．一般事項　（１）特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて「国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編，令和４年版），公共建築改修工事標準仕様書（機械設備工事編，令和４年版）」（以下「標準仕様書」という。），同部設備・環境課監修の「公共建築設備工事標準図（機械設備工事編，令和４年版）」（以下「標準図」という。）による。
（２）電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお，電気設備工事の工事仕様書は（　／　）図，建築工事の工事仕様書は（　／　）図による。

２．特記事項　（１）項目は番号に⊙印のついたものを適用する。
（２）特記事項は，⊙印のついたものを適用する。⊙印の付かない場合は，※印の付いたものを適用する。⊙印と⊗印の付いた場合は，共に適用するものとする。

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ①．適用基準等 | ⊙営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房庁営繕部監修令和４年度版）<br>⊙建設工事執行規則（昭和39年3月宮城県規則第9号）<br>⊙宮城県建設工事元請・下請適正化要綱（最新版）<br>⊙・営繕工事写真撮影要領（国土交通省大臣官房庁営繕部監修令和４年度版）及び工事写真撮影ガイドブック＜機械設備工事編＞（国土交通省大臣官房庁営繕部監修令和４年版） |
| | ②．機材等 | ※本工事に使用する機材等は，設計図書に規定するもの，またはこれらと同等のものとする。ただし，これらと同等のものとする場合は，監督職員の承諾を受けるものとする。<br>※本工事に使用する材料の選定及び施工に当たっては，「県有施設のシックハウスマニュアル」に留意し，揮発性有機化合物の放散による健康への影響に配慮する。<br>※使用する材料のホルムアルデヒド仕様は，日本産業規格及び日本農林規格のＦ☆☆☆☆規格品，壁装材料協会規格適合品または同等品，化学物質等製品安全データシート等にホルマリン不使用が明示されたものとする。 |
| | ③．機材の品質・性能証明 | 本工事着手前に機器製作図を提出し，監督職員の承諾を受ける。<br>また，設備機材は，設計図書に定める品質及び性能を有することの証明資料又は外部機関等が発行する資料等の写しを監督職員に提出して，承諾を受ける。なお，標準仕様書に規定される製作図，試験成績表等を含む。 |
| | ④．保険 | 本工事着手前に工事目的物及び工事材料等を，本工事完了後引渡し期日まで火災保険及びその他の保険に付し，写しを監督職員に提出のこと。 |
| | ⑤．雇用 | 本工事は，公共職業安定所の紹介する者の雇い入れに努めること。 |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ⑥．施工計画書および施工図等 | 工事の着手に先立ち，工事の総合的な計画をまとめた総合施工計画書を作成し，監督職員に提出する。工事の施工に先立ち，工種別施工要領書および施工図等を作成し，監督職員の承諾を受ける。また，県が実施する「公共事業環境マネジメントシステム」の対象工事においては，環境配慮計画（実施）書を作成し，監督職員に提出する。 |
| | ⑦．工事実績情報の登録（ＣＯＲＩＮＳ） | 請負額が500万円以上の場合は，工事実績情報を登録する。<br>受注時，変更時及び完成時にあらかじめ監督職員の確認を受け，登録手続きを行い，工事カルテの受領証を監督職員に提出のこと。 |
| | ⑧．手続 | 工事の着手，施工，完成にあたり，関係官公署その他の関係機関への必要な届出手続等を遅滞なく行う。なお，当該手続きに係わる費用は，受注者の負担とする。 |
| | ⑨．事故報告 | 施工中に事故が発生した場合には，直ちに監督職員に通報するとともに，別に指示する「事故報告書」を指示する期日までに監督職員に提出する。 |
| | 10．電気保安技術者 | ※配置する　・配置しない |
| | 11．技能士の適用 | 本工事に下記の当該職種別技能士（・1級　・2級）を適用させる。<br>（資格証の写しを提出する）<br>・配管（配管工事）・建築板金（ダクト製作及び取付け）<br>・熱絶縁施工（保温工事）・冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び調整） |
| | ⑫．足場等 | ⊙別契約の関係請負者が定置したものは無償で使用できる。・本工事で設置枠組足場を設ける場合は，「手すり先行工法等に関するガイドライン（厚生労働省平成21年4月改訂）」によるものとし，二段手すり及び幅木の機能を有するものでなければならない。 |
| | ⑬．監督職員事務所 | ⊗設けない　・設ける（　号・・・建築工事仕様書） |
| | ⑭．工事用電力，水，その他 | 本工事に必要な工事用電力，水，及び諸手続等の費用はすべて引渡まで受注者の負担とする。 |
| | ⑮．工事用仮設物 | 構内に作ることが　※できる　・できない |
| | ⑯．残土処理 | ・構外搬出　⊗構内指示の場所に敷き均し　・構内指示の場所にたい積<br>建設発生土を場外へ搬出する場合<br>１建設発生土現場管理者(複数可)を選任し，施工計画書に記載し，提出する。<br>２ダンプトラック等管理表を，工事着手前に監督員に提出する。<br>３建設発生土搬出等管理表を，搬出を行う日毎に作成し，1週間毎の集計表を監督職員に提出する。<br>４建設発生土は受入地において，搬出先土量を伝票により管理するとともに搬出先の土量を確認する。 |
| | ⑰．発生材の処理 | （１）建設リサイクル法の規定に基づく通知義務等の該当<br>⊙なし　・あり（　）<br>（２）冷媒回収費用は（・本工事　・別途工事）<br>冷媒の回収にあたっては，「特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律（フロン回収破壊法）」に従って行い，監督職員に第一種フロン類回収業者登録通知書の写し，フロン類回収証明書を提出する。<br>ただし，家庭等のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは，法に従ってリサイクル（フロン類の回収を含む）を行い，監督職員に，特定家庭用機器廃棄物管理票（家電リサイクル券の写しを提出する。<br>（３）引渡しを要するもの　※なし　・あり（　）<br>（４）廃棄物は，「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等の関係法令を遵守し，場外搬出の上，適切に処分する。<br>（ア）特別管理産業廃棄物<br>※なし　・あり（　）<br>（イ）特定建設資材廃棄物の再資源化等を行う施設<br>⊙コンクリート（　宮城りんかいアスコン　）<br>・コンクリート及び鉄から成る建設資材（　）<br>・木材（　）<br>・アスファルトコンクリート（　）<br>（ウ）その他発生材の処分を行う施設<br>⊙コンクリートガラ等の安定型の産業廃棄物（　矢本ｸﾘｰﾝｾﾝﾀｰ　）<br>・木くず等の管理型の産業廃棄物（　）<br>※アスベストについては，労働安全衛生法（石綿障害予防規則）に則り，事前調査を実施し，調査結果を整理のうえ，監督職員へ報告すること<br>建設リサイクル法<br>・対象工事<br>落札が決定した業者は，分別解体等省令で定める様式第1号別表1～3のうち当該工事に該当する別表及び工程表を作成し，契約締結前に，契約担当者等に説明書を提出するものとする。また，特定建設資材廃棄物の再資源化等が完了したときは，建設リサイクル法第18条に基づいて書面により報告すること。<br>⊙対象外工事 |
| | ⑱．総合試運転調整等 | ※本工事において下記の項目の総合試運転調整等を行い，報告書を提出する。<br>総合試運転調整等の項目<br>・風量調整　⊙水量調整　・室内外空気の温湿度測定<br>・室内気流及びじんあいの測定　・騒音の測定　・初期運転状態の記録<br>⊙末端水栓の水質測定　・浄化槽放流水質の測定<br>・機器の絶縁抵抗の測定　・水圧調整<br>測定箇所は，監督職員の指示による。 |
| | ⑲．容量等の表示 | （１）機器類の能力，容量等は指示された数値以上とする。<br>（２）電動機出力，燃料消費量及び圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。 |
| | ⑳．耐震措置 | 機器，配管，ダクト等は耐震を考慮し堅固に据え付け，取付け又は支持を行う。<br>耐震措置の計算及び施工方法は，次に揚げる事項以外すべて建築設備耐震設計・施工指針（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立法人建築研究所監修　２０１４年版）による |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ㉑．弁等のサイズ | 特記されていない弁等のサイズは，機器付属品を除き接続配管のサイズと同じとする。 |
| | 22．電線類 | 本工事では環境配慮の観点から，原則としてＥＭケーブルを使用するものとする。なお，電気設備工事編標準仕様書第6編通信・情報設備工事による。 |
| | 23．溶接部の非破壊検査 | 対象配管系統　・冷温水　・冷却水　・消火（水用）　・油　・ガス<br>検査の種類　・浸透探傷検査（ＰＴ）又は磁粉探傷検査（ＭＴ）<br>・放射線浸透検査（ＲＴ） |
| | ㉔．はつり | 既存のコンクリート部の床，壁の配管貫通部等の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。 |
| | ㉕．支持及び固定 | （１）標準仕様書以外の天吊り機器の支持は，標準仕様書第3編1.1.13（ｂ）に準ずる。<br>（２）横走り主ダクト・主管の振れ止めは端部も行うこと。 |
| | ㉖．支持金物・固定金具 | （１）ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナット及び屋外の配管・ダクトに使用する支持金物はステンレス製（SUS304）とし，ポンプ・屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ（樹脂製）を取り付ける。<br>（２）振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。<br>（３）冷水及び冷温水管の吊バンド等の支持部は，合成樹脂製の支持受けを使用する。 |
| | ㉗．埋戻し土・盛土 | 図面に特記のない場合は下記によるほか標準仕様書第2編による。ただし，各工事種目で別に指定されたものは除く。<br>⊙根切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）<br>・山砂の類 |
| | ㉘．地中埋設標及び埋設表示用テープ | 地中埋設標及び埋設用テープは，下記により屋外埋設部分に布設する。<br>なお，地中埋設標の設置場所は図示によるほか，屋外埋設管の分岐及び曲がり部に設置する。<br>①給水管　⊙地中埋設標　⊙埋設用表示テープ<br>（２）ガス管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ<br>（３）油　管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ<br>（４）消火管　・地中埋設標　・埋設用表示テープ |
| | ㉙．保温 | ・主機械室は下記の室とし，他は各階機械室とする。<br>主機械室：<br>・ダクトの保温の外装は下記による。<br>内装は（・ロックウール　⊙グラスウール） |

| | | |
|---|---|---|
| 屋内露出 | 倉庫・書庫 | ・アルミガラスクロス　・ |
| | 各階機械室 | ・アルミガラスクロス　・ |
| | 主機械室 | ・アルミガラスクロス　・ |
| | 居室・廊下等 | ・カラー亜鉛鉄板　・ |
| 屋内隠ぺい，ＰＳ内 | | ・アルミガラスクロス |
| 屋外露出，多湿箇所（　） | | ・ステンレス鋼板 |

⊙配管の保湿の外装は下記による。
内装は（・ロックウール　⊙グラスウール　⊙ポリスチレンフォーム）

| | | |
|---|---|---|
| 屋内露出 | 倉庫・書庫 | ・アルミガラスクロス　・ |
| | 各階機械室 | ・アルミガラスクロス　・ |
| | 主機械室 | ・アルミガラスクロス　・ |
| | 居室・廊下等 | ・合成樹脂製カバー　・ |
| 屋内隠ぺい，ＰＳ内 | | ⊙アルミガラスクロス |
| 暗渠（　） | | ⊙着色アルミガラスクロス　・ |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ㉚．塗装 | （１）下記部位に使用する，外面めっき電線管の露出配管には塗装を施す。<br>※屋外露出　※居室<br>（２）保温を行わない居室・便所・給湯室及び屋外の露出配管（鋼管）には塗装を行う。 |
| | ㉛．防食処理 | 土中埋設の鋼管（ステンレス鋼管及び外面被覆鋼管は除く）及び金属製継手類（砲金製弁・継手を含む）にはペトロタム系防食テープ及びプラスチックテープによる防食処理を行う。（埋設配管は原則として，防食処理不要の管材とする。） |
| | ㉜．山留め | 切取り面にその箇所の土質に見合った勾配を保って掘削できる場合を除き，掘削の深さが1.5ｍを超える場合には，山留めを行うものとする。 |
| | 33．舗装工事 | 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の建築工事標準仕様書22章（舗装工事）による。 |
| | ㉞．他工事との取り合い | 図面に特記なき場合は，表「工事区分表」による。 |
| | ㉟．再使用品の清掃 | 再使用する機器類は現場内で可能な洗剤による水洗等の清掃を行う。 |
| | ㊱．火気の使用 | 建物内での火気の使用は原則として行わない。 |
| | 37．室内空気中の化学物質の濃度測定 | 室内空気中のホルムアルデヒド，トルエン，キシレン，エチルベンゼン，スチレンの濃度を測定し，監督職員に報告すること。測定はパッシブ型採取機器により行う。<br>測定対象室（　），測定箇所数（　） |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 一般共通事項 | ㊳．施工調査 | ⊙下記によるほか，改修標準仕様書第1編1.5.1及び1.5.2による。<br>・施工計画調査　⊙事前調査<br>調査項目（RC内埋設物調査）　調査範囲（はつり実施部）<br>調査方法（X線撮影） |
| | 39．アスベスト | アスベストについては，労働安全衛生法（石綿障害予防規則）<br>・廃棄物処理法等に則り処理を行うこと。<br>アスベスト使用状況（　） |
| | ㊵．あと施工アンカー | （１）あと施工アンカー　※接着系アンカー　（接着剤は有機系とする）<br>※金属拡張系アンカー（※本体打込み式）<br>（２）試験等　性能確認試験　※行わない　・行う<br>施工確認　・行わない　※行う |
| | ㊶．既設インサート及びアンカーボルト | 既設インサート及びアンカーボルトを　⊗使用しない　・使用する |
| | 42．宮城県ﾘｻｲｸﾙ製品利用促進について | ・認定品利用対策工事として次の認定製品を使用すること。<br>（使用製品名：　使用場所：　）<br>※認定製品使用対象外工事だが，利用の促進に努めること。 |
| | 43．施工条件 | 別添の施工条件明示書による。 |
| | 44．三相誘導電動機 | 省エネ法の特定機器の対象となる機器はJIS C 4034-30:2011のIE3（プレミアム効率）に相当する機器を導入すること。 |
| 仮設工事 | ①．工事用電力、水、その他 | 本工事に必要な工事用電力、水などの費用、及び官公署等への諸手続きなどの費用は、請負者の負担とする。<br>既設コンセントの使用　※不可　・可<br>既設給水栓の使用　※不可　・可 |
| | ２．養生 | 養生範囲（　）<br>養生方法（　） |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 空気調和・冷暖房設備 | ①．設計温湿度 | |

| | 外気 | | 屋内（調整目標値） | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | 一般系統 | | | | コンピューター室系統 | |
| | 温度(DB) | 湿度(RH) | 温度(DB) | 湿度(RH) | 温度(DB) | 湿度(RH) | 温度(DB) | 湿度(RH) |
| 夏期 | 32.9 ℃ | 59 % | 26.0 ℃ | 50 % | — ℃ | — % | — ℃ | — % |
| 冬季 | -2.0 ℃ | 69 % | 22.0 ℃ | 40 % | -17.0 ℃ | 25.7 % | — ℃ | — % |

| 章 | 項目 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 空気調和・冷暖房設備 | ２．ばい煙濃度計 | 取付箇所は図示による。 |
| | ３．煙突 | ※別途　・本工事（鋼板厚　㎜、高さ　ｍ以上） |
| | ４．煙道 | ※煙道径300mm以下は鋼板厚3.2mm,300mmを超えるものは4.5mmとする。<br>・図示による。<br>（煙道径が400mmを超えるものには，掃除口に蝶番を取り付ける。） |
| | ⑤．ダクトの区分 | 低圧とする（高圧１及び高圧２の部位は図示による。） |
| | ６．長方形ダクトの工法 | ・アングルフランジ工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライド） |
| | ７．風量測定口 | 取付け場所は図示による。取付面は監督職員の指示による。 |
| | ８．チャンバ | （１）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。<br>（２）空気調和機に取付けるサプライチャンバー及びレタンチャンバーで消音内貼りしたチャンバーには，点検口を設ける。なお点検口の大きさは図示による。<br>（３）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びホッパーは雨水の滞留のないように施工する。 |
| | ９．防煙ダンパ | （１）復帰方式　※遠隔式（電気式（定格入力DC24V,0.7A以下）<br>（２）復帰動作　※順送り |
| | ⑩．配管材料 | （１）冷温水管　※配管用炭素鋼鋼管（白）　・<br>（２）冷却水管　※配管用炭素鋼鋼管（白）　・<br>（３）蒸気管（給気管）　※配管用炭素鋼鋼管（黒）　・<br>（還水管）　※圧力配管用炭素鋼鋼管（Sch40）　・<br>（４）油管，油用通気管（一般）　⊗配管用炭素鋼鋼管（黒）　・<br>（土中）　※ポリエチレン被覆鋼管<br>（５）膨張管，空気抜き管，膨張タンクよりボイラ等への給水管　※配管用炭素鋼鋼管（白）　・<br>（６）空調用排水管　※硬質塩ビ管（カラーVP）⊙保温機能付ドレン管<br>（７）冷媒管　※断熱材被覆銅管　・銅管　・ |
| | ⑪．弁類 | ⊗ JIS又はJV5K　・JIS又はJV10K<br>ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 |
| | ⑫．鋼管用伸縮管継手 | ※　ベローズ形　・　スリーブ形 |
| | 13．温度計 | ※標準仕様書，標準図による他，図示した箇所に取り付ける。<br>（配管用はＬ形，ダクト用は円形）<br>・空気調和機，温風暖房機まわりの給気ダクト，還気ダクト及び外気ダクト<br>・冷温水ヘッダー（往）及び冷温水ヘッダーの各還り管<br>・パッケージ形空気調和機の冷却水及び温水の出入口 |
| | 14．瞬間流量計 | ※着脱可能形（※全数　・図示による）<br>着脱可能形の場合，その指示部<br>（・40A用　個　・100A用　個　・250A用　個）を付属する。<br>・固定形（止水コック付）　・測定用タッピング（32mmピトー管流量計用） |
| | 15．オイルタンク | （１）オイルタンク本体は図示による。<br>（２）遠隔油用指示計　※取付ける　・取付けない<br>（３）計量尺は，青銅製，黄銅製又はアルミ製とし，100リットル実測目盛刻印とする。計量口は錠付とする。 |
| | 16．積算油量計 | 図示の箇所に取付ける（熱源機器等）。 |
| | 17．注油口及び指示ボックス | 標準図（機材　6　）による。<br>・単独形　・共用形（・ローリーアース付） |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 機械設備<br>改修工事特記仕様書（１） | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:NON(A3版 50%縮小) | 図面番号 01 |

## 空気調和・冷房・暖房設備

| | | |
|---|---|---|
| 18. | 消音内貼り | （１）施工箇所は図示による。<br>（２）内貼りチャンバー類の寸法表示は，外形寸法とする。<br>（３）吹出口に接続するチャンバーの消音内貼りは別図による。 |
| ⑲. | 保　温 | （１）建物内の空気抜き管の保温は空気抜き弁までとし（空気抜き弁も含む），仕様は冷温水管の項による。<br>（２）屋外露出配管の保温は，給水設備の項による。<br>（３）外気取り入れダクト及びチャンバーボックスの保温<br>※要（全熱交換器の給気ダクトを含む）　・不要<br>（４）排気ダクトの外壁開放部より1m程度保温する。（チャンバーボックスを含む）<br>（５）冷媒管（断熱材被覆銅管）の保温外装<br>屋内露出部　⊙保温化粧ケース（樹脂製）　・外装なし　・<br>屋外　⊙保温化粧ケース（樹脂製）　・<br>（６）高圧蒸気管及びヘッダーの保温厚は　　mmとする。 |
| 20. | 電気工事の範囲 | （１）地震感知器の配管配線　※別途　・本工事<br>（２）防煙ダンパと連動制御器迄の配管配線及び連動制御盤から煙感知器迄の配線配管は　※別途　・本工事 |
| ㉑. | 塗装 | （１）屋内露出裸ダクトの塗装（居室を除く）は　　※行わない　・行う<br>（２）屋内露出油配管の塗装（居室は除く）は　　・行わない　⊙行う |

## 換気設備

| | | |
|---|---|---|
| ①. | 準拠事項 | ［空気調和　・冷房　・暖房設備］の当該事項に準ずる。<br>⊙５　・６　・７　・９　・１８　⊙１９　・２１ |
| ２. | 開放形湯沸器排気フード | ※別途　・本工事　・既設 |
| ３. | 厨房用排気ダクト | ※亜鉛鉄板　・ステンレス鋼版（SUS304）（板厚は高圧ダクトによる） |
| ４. | 厨房用排気ダクト工法 | ※アングルフランジ工法　・コーナーボルト工法（共板フランジ又はスライドオンフランジ） |
| ５. | 厨房用排気フード | （１）フード周囲の天幕（フード面から天井面まで）<br>※取り付ける　・取り付けない<br>（２）フードコック　※取り付ける　・取り付けない<br>（３）材質（天幕とも）※ステンレス鋼板（SUS430又はSUS304） |
| ６. | 多湿箇所の排気ダクト | 次の系統のダクトのシールは，標準図（施工45,46）のＮシール＋Ａシール＋Ｂシールとし，水抜き管を設ける。<br>（　　） |

## 衛生器具設備

| | | |
|---|---|---|
| ①. | 大便器洗浄弁 | ⊙洗浄タンク方式　・洗浄弁方式（不凍結節水弁付） |
| ②. | 便器洗浄用タンク | ⊗手洗なし　・手洗付 |
| ③. | 小便器自動洗浄 | 個別感知方式とする。（・小便器一体型　⊙小便器分離型） |
| ④. | 器具付属水栓 | 固定こま式（節水こま式）とする。 |
| ⑤. | 自動水栓 | ⊙電源供給方式（⊙AC100V）・乾電池　・自己給電 |
| ⑥. | 温水洗浄便座加熱方式 | ⊙瞬間式　・貯湯式 |
| ７. | 大便器耐火カバー | 設ける（ピット内を除く） |

## 給水設備

| | | |
|---|---|---|
| １. | 量水器 | （１）親メーター　※措用　・買取り（隔測メーター　・有　・無）<br>（２）子メーター　※買取り（隔測メーター　・有　・無） |
| ２. | 量水器桝 | （１）親メーター用　※水道事業者の指定品　・標準図（機材57）<br>（２）子メーター用　※標準図（機材57）　・水道事業者の指定品 |
| ③. | 配管材料 | （１）一般用<br>⊙ステンレス鋼管（SUS304）<br>・塩ビライニング鋼管（・VA　・VB）<br>・ポリ粉体鋼管（・PA　・PB）<br>・<br>（２）土間配管用（厨房，浴室等のシンダー内含む）<br>・ステンレス鋼管（SUS316）<br>・塩ビライニング鋼管（VD）<br>・ポリ粉体ライニング鋼管（PD）<br>・<br>（３）屋外土中用<br>・ステンレス鋼管（SUS316）<br>・塩ビライニング鋼管（VD）<br>・ポリ粉体鋼管（PD）<br>・水道用硬質ポリ塩化ビニル管（VP）<br>⊙　〃　（HIVP）<br>・ポリエチレン管<br>・水道用ゴム輪形硬質ポリ塩化ビニル管 |
| ４. | 不凍水栓柱 | 化粧ケーシング（・アルミ合金製　・合成樹脂製） |
| ⑤. | 弁　類 | （１）水道直結部分　⊗JIS又はJV10K　・水道事業所の規定による　　K<br>（２）その他の部分　⊗JIS又はJV5K　・JIS又はJV10K<br>ステンレス鋼管に取り付ける弁類は、ステンレス製とする。 |
| ⑥. | 給水栓 | （１）屋内（※一般水栓　・耐寒水栓）湯沸室，台所，厨房用水栓は泡沫式とする<br>（２）屋外（※耐寒水栓　・一般水栓）耐寒水栓はJWWAの認証品とする。 |
| ⑦. | 埋設深さ | （１）一般敷地内（0.6m以上）　（２）敷地内車両道路（　　m以上）<br>（３）公道部分（※水道事業者及び道路管理者規定による） |
| ８. | 保　温 | （１）量水器桝内の保温を行う。<br>（２）屋外露出配管（弁フランジを含む）は，標準仕様書第２編（表2.3.6 e2・(ハ)）とし厚さは呼び径25mm以下は50mm，32mm以上は40mmとする。 |
| ⑨. | 埋設弁開閉用ハンドル | 本工事に　※含む（水道事業者管理用以外の弁操作用）　・含まない |

## 給水設備

| | | |
|---|---|---|
| 10. | 水道加入金等 | 水道加入金　・要（・本工事　・別途　）　・不要　・その他（　　） |
| ⑪. | ステンレス管の接合方法 | （１）呼び径60SU以下　SAS322（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合<br>（２）呼び径75SU以上<br>・溶接接合　・ハウジング形管継手による接合　・フランジ接合 |
| ⑫. | その他 | 給水管の最小口径は20mmとする。ただし，器具接続部分を除く。 |

## 排水設備

| | | |
|---|---|---|
| ①. | 配管材料 | （１）屋内汚水管　（２）屋内雑排水管<br>・排水用塩ビライニング鋼管　・配管用炭素鋼鋼管（白）<br>・鉛管　・排水用塩ビライニング鋼管<br>⊙硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　⊙硬質ポリ塩化ビニル管（VP）<br>（３）屋外土中汚水，雑排水管　（４）土間配管用<br>⊙硬質ポリ塩化ビニル管（VP）　・排水用塩ビライニング鋼管<br>・硬質ポリ塩化ビニル管（VU）　⊙硬質ポリ塩化ビニル管（VP）<br>・排水用リサイクル硬質ポリ塩化ビニル管（REP-VU）<br>（５）通気管　（６）ポンプアップ排水管<br>・配管用炭素鋼鋼管（白）　・ポリ粉体鋼管（PD）<br>⊙硬質ポリ塩化ビニル管（VP）<br>台所流し等の床上露出部分の排水管は、硬質ポリ塩化ビニル管でもよい。 |
| ２. | 排水桝 | （１）材料　・ＲＣ　⊙硬質塩化ビニル　・ポリプロピレン　・SC<br>（２）ふた　⊙鋳鉄製 ⊙MHA　・MHB　・T8A）　・樹脂製<br>※県マーク，流体名入りおよび樹脂製ふたは原則としてSUSチェーン付<br>（３）規格<br>・日本下水道協会（JSWAS）　・プラスチック・マスマンホール協会（PMMS）<br>・市町村別基準（・有　・無） |
| ３. | グリース阻集器 | ・FRP製（　Ｌ）　・SUS製（　Ｌ）　詳細は図示。 |
| ４. | 満水試験継手 | 図示の箇所に取付け，満水試験を行うこと。 |
| ⑤. | 試　験 | ⊙衛生器具などの取付完了後，排水試験又は通水試験を行う。<br>・衛生器具などの取付完了後，煙試験を行う。 |
| ６. | 放流負担金等 | ・不要　・要（・別途工事　・本工事） |
| ７. | 基礎材 | ※再生クラッシャーラン |

## 給湯設備

| | | |
|---|---|---|
| ①. | 配管材料 | ⊙ステンレス鋼管（SUS304）・耐熱性ライニング鋼管　・銅管　・被覆銅管<br>・保温付被覆銅管<br>＜膨張管及び補給水タンクよりボイラー等への補給水管を含む。＞ |
| ２. | 弁　類 | 給水設備の当該事項による。 |
| ３. | 湯沸器の排気筒 | 厚さ０．５mm以上のステンレス鋼板製とする。 |
| ４. | 保　温 | 湯沸器の給排気筒（二重管）のいんぺい部保温を行う。標準仕様書第２編３．１．５表２．３．５の（ｈ・(ｲ)・Ｘ） |
| ５. | ステンレス管の接合方法 | （１）呼び径60SU以下　SAS322（一般配管用ステンレス鋼管の管継手性能基準）を満足した継手による接合<br>（２）呼び径75SU以上　・溶接接合　・ハウジング形管継手による接合<br>・フランジ接合 |

## ガス設備

| | | |
|---|---|---|
| ①. | 配管材料 | （１）一般　（２）地中埋設部<br>※配管用炭素鋼鋼管（白）　※ポリエチレン被覆鋼管<br>・ガス事業者の規定による　・ガス事業者の規定による<br>⊙硬質塩化ビニル被覆鋼管　・ガス用ポリエチレン管<br>・　・ |
| ２. | 都市ガス | （１）ガスメーター<br>親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事<br>（２）引込み負担金　・不要　・要（・別途工事　・本工事） |
| ３. | 液化石油ガス | （１）ガスボンベ　※借用　・買い取り（・10kg　・20kg　・50kg　本 ）<br>（２）ガスメーター　親メーターはガス事業者の設置，子メーターは本工事とする。<br>（３）集合装置　・標準図（施工72）による（　本組）<br>（４）転倒防止等　・標準図（施工73）[・(ａ)　・(ｂ)]<br>・ボルト，チェーン等はＳＵＳ製とする。<br>・容器固定具をGL+300に追加設置する。 |
| ４. | ガス漏れ警報器 | 図示の場所に取付ける（　・分離形　・一体形　）　・別途電気工事<br>外部出力端子　（　・あり　・なし） |
| ５. | 埋設深さ | （１）一般敷地内（　m以上）（２）敷地内車両道路（　m以上）<br>（３）公道（ガス供給事業者及び道路管理者規定による） |
| ６. | その他 | 配管工事は，原則としてガス供給事業者の責任施工とする。<br>供給事業者名（　　） |

表１「完成書類」　本工事終了後下記の書類を提出すること。

| 名　称 | 完　成　書　類 | 部数 |
|---|---|---|
| １ 完成調書 | 営繕工事完成引渡要領（令和３年４月１日版） | １部 |
| ２ 完成図書 | Ａ４版：黒表紙金文字製本<br>（機器完成図，取扱説明書と合本可。ただし、厚さが80mmを越える場合は分冊とする。） | １部 |
| ３ 完成図（縮小） | 白焼縮小製本<br>Ａ３版二つ折り<br>うち１部は設備課保管 | ２部 |
| ４ 完成図・施工図 | JWW又はDXF形式CADデータ及びPDF形式 | ＣＤ<br>２枚 |
| ５ 機器完成図<br>①機器別完成図<br>②機材材質証明書<br>③機材検査成績書<br>④工場試験成績書<br>⑤工場立会検査成績書<br>⑥現場据付試験成績書<br>⑦総合試運転成績書 | Ａ４版：黒表紙金文字製本<br>（２　完成図書と合本可） | １部 |
| ６ 取扱説明書<br>①保守に関する案内書<br>②機器別取扱説明書<br>③緊急連絡先一覧<br>④各種保証書 | Ａ４版：黒表紙金文字製本<br>（２　完成図書と合本可）<br>⑤完成図書電子データ<br>10 工事に関する承諾<br>確認書 | １部 |
| ７ 管理の手引き<br>①工事概要書<br>②機器完成図<br>③機器別取扱説明書<br>④保守に関する案内書<br>⑤緊急連絡先一覧表 | Ａ４版：チューブ式ファイル | |
| ８ 工事写真<br>①施工写真<br>②完成写真 | <br>Ａ４版：チューブ式ファイル<br>（着手前，施工状況，完成の各写真）<br>Ａ４版：ペーパーファイル<br>完成届に添付 | １部 |
| ９ 工事に関する書類<br>①施工計画書<br>②施工要領書<br>③承諾書・確認書<br>④協議書<br>⑤打合せ議事録<br>⑥工事週報又は日報<br>⑦安全に関する書類<br>⑧廃棄物管理票の写し | Ａ４版：チューブ式ファイル | １部 |

注記：機器及びシステム参考図について
本図面中で，機器又はシステムの品質・グレードを規定する目的で，対象品の寸法形状，諸元及びシステム構成等を参考図として記載している。これらのものについては，その品質・性能が図面と同等品もしくはそれ以上のものを使用するものとする。

| | | | |
|---|---|---|---|
| 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 | 機械設備<br>改修工事特記仕様書（２） | 図面種別 M |
| | 縮尺 | S=1:NON(A3版 50%縮小) | 図面番号 02 |

既存

## ■空調設備機器表【取外し・再取付】

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 相 φ | 電源 電圧 V | 電源 容量 kW | 起動方式 | 設置場所 | 基礎 コンクリート | 基礎 防振材 | 備考 [参考型番] |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| OT-1 | ｵｲﾙﾀﾝｸ | 405L | 2 | | | | | 屋外 | | | |
| | | 1260*740*1855H 77kg | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| OL-1 | ｵｲﾙｷｬﾘｰ | | 1 | 1 | 100 | 0.075 | | 武道場 | | | [OC-801：工技研] |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| OH-1 | ｵｲﾙﾋｰﾀｰ | 8820*400*500 174kg(二分割) | 5 | 1 | 100 | 0.15 | | 武道場 | | | [OVCH-25UP3-88(R)：日精ｵｰﾊﾞﾙ] |
| | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

（特記）

1．上記機器及び付属品すべての取外し・再取付一式を行う。

2．機器取外し前及び再取付後に運転状況を確認し、監督員へ報告すること。

改修前

## ■換気設備機器表【撤去】

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 相 φ | 電源 電圧 V | 電源 容量 kW | 起動方式 | 設置場所 | 基礎 コンクリート | 基礎 防振材 | 備考 [参考型番] |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| F-1 | 天井埋込換気扇 | | 5 | 1 | 100 | | | 男子･女子便所 | | | |
| | | 参考寸法：□450*300H | | | | | | 男子･女子更衣室 | | | |
| | | | | | | | | 事務室 | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| PF-1 | ﾊﾟｲﾌﾟﾌｧﾝ | φ100*150L | 2 | | | | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ | | | |
| | | | | | | | | 師範室 | | | |
| | | | | | | | | | | | |

（特記）

1．上記機器及び付属品すべての撤去一式を行う。

改修後

## ■空調設備機器表【新設】

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 相 φ | 電源 電圧 V | 電源 容量 kW | 起動方式 | 設置場所 | 基礎 コンクリート | 基礎 防振材 | 備考 [参考型番] |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| PAC-01 | パッケージエアコン | 室外機：床置（ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ） | 6 | | | | | 1F 屋外 | | | [SDRH160BB：ﾀﾞｲｷﾝ] |
| | | 室内機：天吊形（高天井対応） | | | | | 消費電力 | 武道場 | | | 基礎：ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ基礎 |
| | | 冷房能力： 14.0kW | | | | | 4.56 | | | | 参考重量：屋外機 125kg W940×D320×1430H |
| | | 暖房能力： 16.0kW | | | | | 4.53 | | | | 参考重量：室内機 40kg W1590×D690×235H |
| | | Ｃｏｍｐ | | 3 | 200 | 3.07 | | | | | (R：9.5*15.9 R32 D：20) |
| | | （外） ｆａｎ | | | | 0.292×2 | | | | | 屋外機用架台：H=500（溶融亜鉛ﾒｯｷ） |
| | | （内） ｆａｎ | | | | 0.15 | | | | | 室内機：ﾌｨﾙﾀｰ昇降機能付き |
| | | ﾜｲﾔｰﾄﾞﾘﾓｺﾝ | | | | | | | | | 屋外機転倒防止 |
| | | 他付属品一式 | | | | | | | | | |
| | | 寒冷地仕様 重耐塩害仕様 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| RAC-01 | ルームエアコン | 室外機：床置（ｲﾝﾊﾞｰﾀｰ） | | | | | | 1F 屋外 | | | [S255ATDS-W：ﾀﾞｲｷﾝ] |
| | | 室内機：壁掛 | 1 | | | | 消費電力 | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ | | | 基礎：ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ基礎 |
| | | 冷房能力： 2.5kW | 1 | | | | 540W | 男子更衣室 | | | 参考重量：屋外機 40kg W795×D300×610H |
| | | 暖房能力： 2.8kW | 1 | | | | 660W | 女子更衣室 | | | 参考重量：室内機 11kg W798×D370×295H |
| | | Ｃｏｍｐ | | 1 | 100 | 0.75 | | | | | (R：6.4*9.5 R32 D16) |
| | | （外） ｆａｎ | | | | 0.26 | | | | | 屋外機用架台：H=500（溶融亜鉛ﾒｯｷ） |
| | | （内） ｆａｎ | | | | 0.34 | | | | | 屋外機転倒防止 |
| | | ﾜｲﾔﾚｽﾘﾓｺﾝ 他付属品一式 | | | | | | | | | |
| | | 寒冷地仕様 重耐塩害仕様 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| RF-01 | サーキュレーター | 天井扇 | 6 | 1 | 100 | 0.044 | | 武道場 | | | [C-140YB：三菱電機] |
| | | 直径140ｃｍ | | | | | | | | | |
| | | 速度調節器 他付属品一式 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

## ■換気設備機器表【新設】

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 相 φ | 電源 電圧 V | 電源 容量 kW | 起動方式 | 設置場所 | 基礎 コンクリート | 基礎 防振材 | 備考 [参考型番] |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| EF-1 | 天井埋込換気扇 | 低騒音形 | 1 | 1 | 100 | 0.026 | | 男子便所 | | | [VD-20ZC12：三菱電機] |
| | | 150φ*270m3/h*40Pa | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| EF-2 | 天井埋込換気扇 | 低騒音形 | 1 | 1 | 100 | 0.044 | | 女子便所 | | | [VD-18ZC12：三菱電機] |
| | | 150φ*230m3/h*40Pa | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| EF-3 | 天井埋込換気扇 | 低騒音形 | 1 | 1 | 100 | 0.02 | | 多目的便所 | | | [VD-15ZPC12：三菱電機] |
| | | 100φ*160m3/h*40Pa | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| EF-4 | 天井埋込換気扇 | 低騒音形 | 2 | 1 | 100 | 0.014 | | 男子･女子更衣室 | | | [VD-15ZC12：三菱電機] |
| | | 100φ*140m3/h*40Pa | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| EF-5 | 天井埋込換気扇 | 低騒音形 | 1 | 1 | 100 | 0.074 | | 倉庫２ | | | [VD-23ZB12：三菱電機] |
| | | 150φ*380m3/h*40Pa | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| EF-6 | 天井埋込換気扇 | 低騒音形 | 1 | 1 | 100 | 0.044 | | 倉庫１ | | | [VD-18ZC12：三菱電機] |
| | | 150φ*240m3/h*40Pa | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| EF-7 | 天井埋込換気扇 | 低騒音形 | 1 | 1 | 100 | 0.014 | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ | | | [VD-15ZC12：三菱電機] |
| | | 100φ*120m3/h*40Pa | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

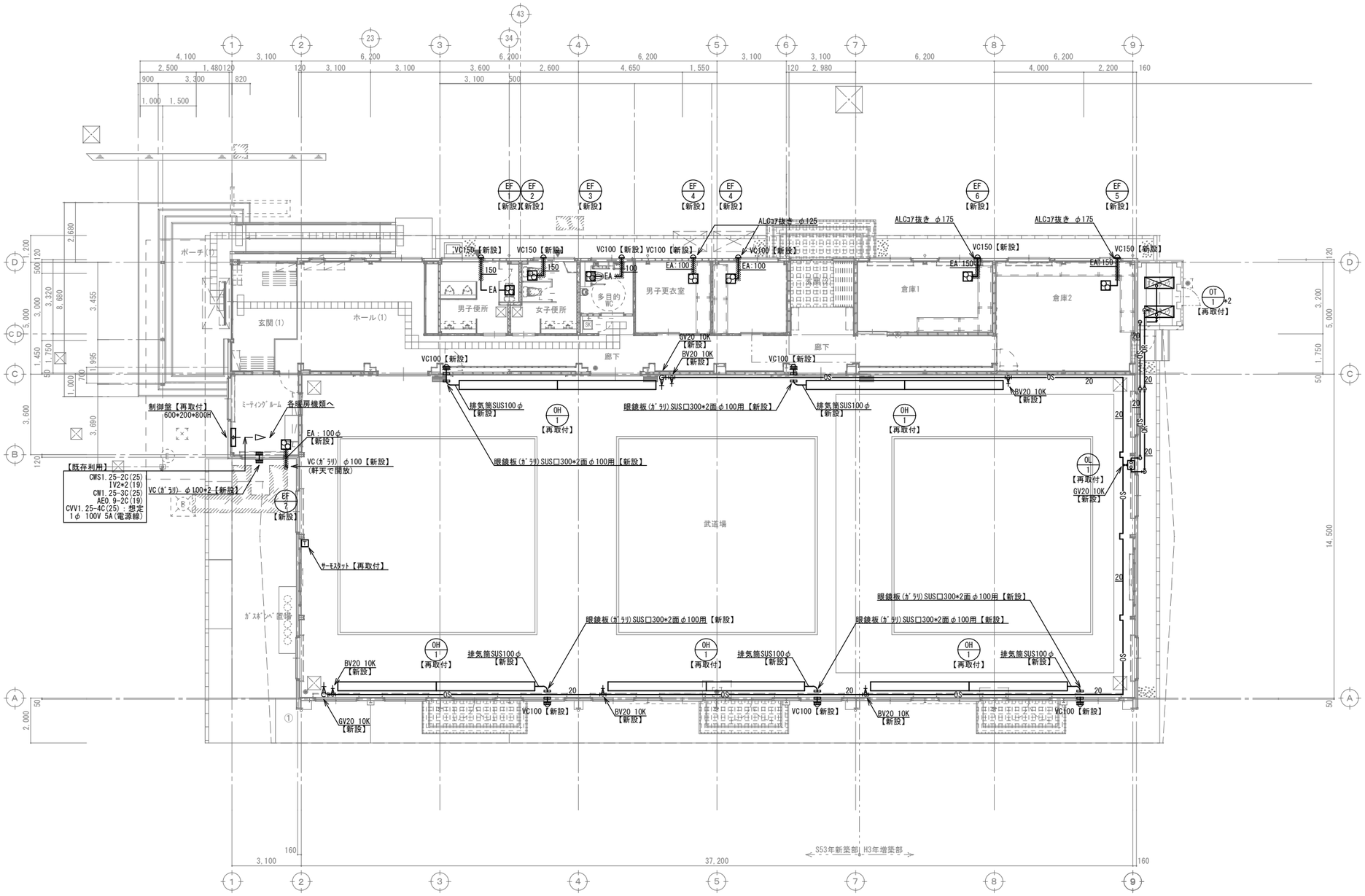
（特記）

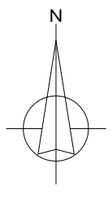
1．上記機器及び付属品すべての新設一式を行う。

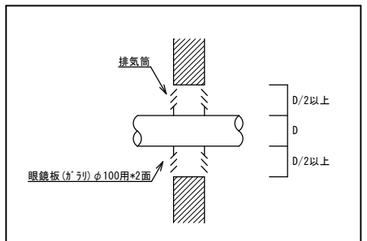
## ■換気風量表

| 階 | 室名 | 面積 Af ㎡ | 天井高 H m | 容積 Q ㎥ | 機械排煙対象面積 ㎡ | V=nQ n 回/h | V=nQ V ㎥/h | 建築基準法 V=20(30)Af/N N ㎡/人 | Af/N 人 | V ㎥/h | 設計風量 SA ㎥/h | RA ㎥/h | OA ㎥/h | EA ㎥/h | n 回/h | 対象機器 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 1 | 男子便所 | 11.19 | 2.40 | 26.86 | | 10.0 | 268.6 | | | | | | | 270 | 10.1 | EF-1 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 女子便所 | 9.27 | 2.40 | 22.25 | | 10.0 | 222.5 | | | | | | | 230 | 10.3 | EF-2 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 多目的WC | 6.25 | 2.40 | 15.00 | | 10.0 | 150.0 | | | | | | | 160 | 10.7 | EF-3 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 倉庫1 | 19.8 | 2.40 | 47.52 | | 5.0 | 237.6 | | | | | | | 240 | 5.1 | EF-6 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 倉庫2 | 31.0 | 2.40 | 74.40 | | 5.0 | 372.0 | | | | | | | 380 | 5.1 | EF-5 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 男子更衣室 | 11.4 | 2.40 | 27.36 | | 5.0 | 136.8 | | | | | | | 140 | 5.1 | EF-4 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 女子更衣室 | 11.4 | 2.40 | 27.36 | | 5.0 | 136.8 | | | | | | | 140 | 5.1 | EF-4 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | ミーティングルーム | 11.4 | 2.40 | 27.36 | | | | 3 | 3.8 | 76 | | | | 120 | 4.4 | EF-7 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 空調換気設備 機器表 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1：NON(A3版 50%縮小) | 図面番号 03 |




排気筒貫通処理参考図

空調換気設備 平面図【改修後】 S=1：100

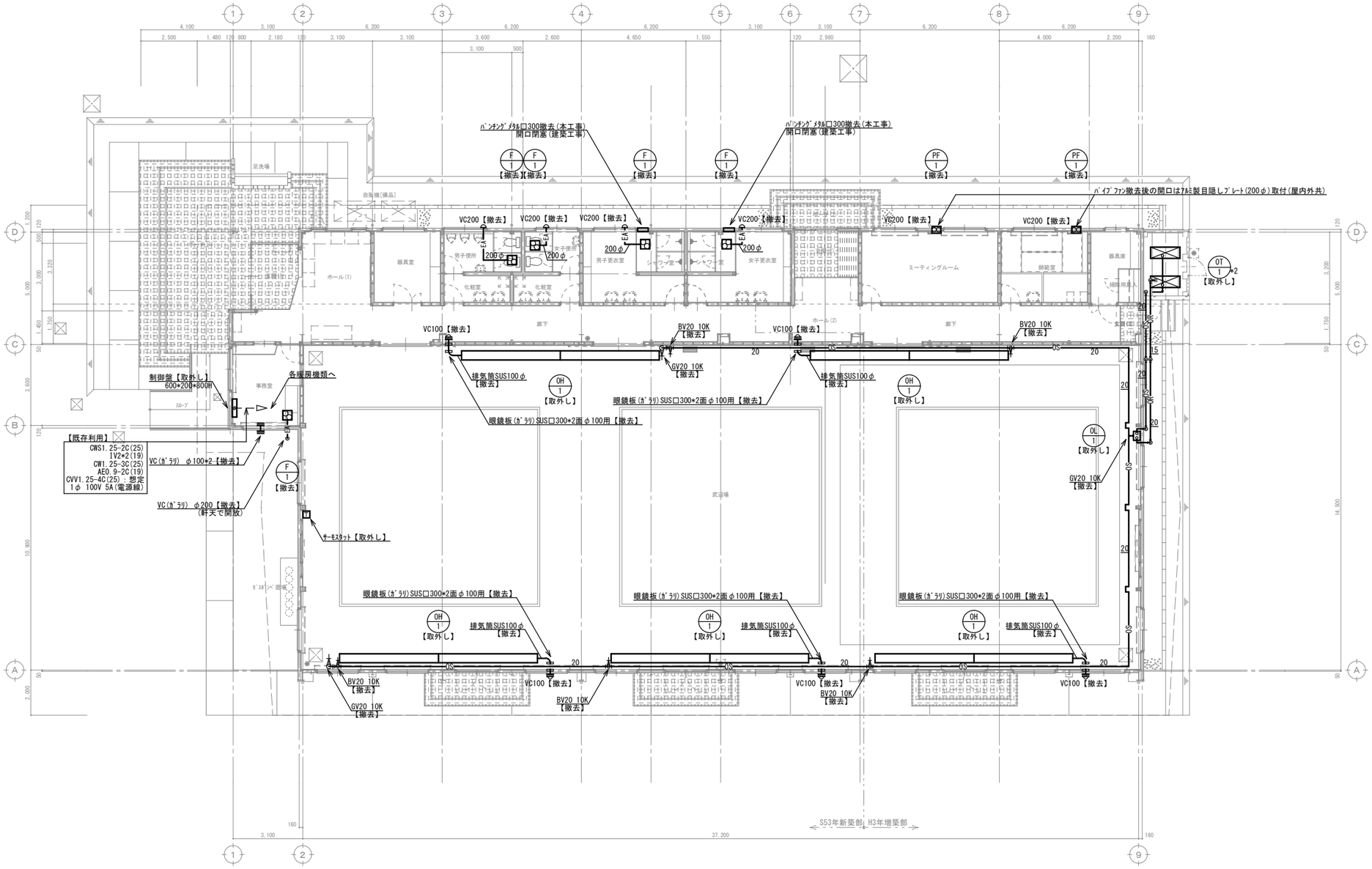
■記号凡例

| 記 号 | 名 称 | 管 種 |
|---|---|---|
| —— EA —— | 排気ﾀﾞｸﾄ | ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ(亜鉛鉄板) |
| —— OS —— ** | 給油管 | 配管用炭素鋼鋼管(黒)+指定色塗装 |
| —— OR —— ** | 給油管(返り) | 配管用炭素鋼鋼管(黒)+指定色塗装 |
| ////// | 保温範囲を示す。 | |

（特記）

1. 凡例に従い図中の配管の新設一式を行う。
2. 機器の詳細については別紙機器表を参照。
3. 一般換気ﾀﾞｸﾄには外壁から1.0mまでGW25mm巻断熱処理を行うこと。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 空調換気設備 平面図（１）【改修後】 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 04 |




N

空調換気設備 平面図【改修前】 S=1:100

■記号凡例

| 記号 | 名称 | 管種 |
|---|---|---|
| EA | 排気ダクト | スパイラルダクト(亜鉛鉄板) |
| OS | 給油管 | 配管用炭素鋼鋼管(黒) |
| OR | 給油管(返り) | 鋼管+配管用炭素鋼鋼管 |

(特記)

1. 凡例に従い図中のダクト・配管の撤去・処分一式を行う。
2. OH-1用制御配線は既存利用とし、工事中は配線をまとめて養生しておくこと。
3. ダクトと貫通口の隙間は穴埋め処理を行うこと。
4. 図中配管は参考とし、現況と異なる場合は既存を優先する。
5. 機器の詳細については別紙機器表を参照。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和7年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 空調換気設備 平面図 【改修前】 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 05 |

改修前

## ■給排水衛生設備機器表【撤去】

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 相 φ | 電源 電圧 V | 電源 容量 kW | 起動方式 | 設置場所 | 基礎 コンクリート | 基礎 防振材 | 備考 [参考型番] |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| GB-1 | ｶﾞｽ給湯器 | 屋内型FF 16号 | 2 | | | | | 男子･女子更衣室 | | | |
| | | 参考寸法：480*300*850H | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

（特記）

1．上記機器及び付属品すべての撤去一式を行う。

## ■給排水衛生設備器具表【撤去】

| 名称 | 参考型番 | 仕様･付属品等 (参考型番) | 合計 | 事務室 | 男子便所 | 女子便所 | 男子更衣室 | 女子更衣室 | 師範室 | 屋外 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 洋風大便器 | | ﾛｰﾀﾝｸ式 床置 暖房便座 紙巻器 | 4 | | 2 | 2 | | | | | |
| | | 参考寸法：(LT)380*230*480H、360*630*380H | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 小便器 | | 押釦式ﾌﾗｯｼｭﾊﾞﾙﾌﾞ 床置 大形 | 3 | | 3 | | | | | | |
| | | 参考寸法：380*200*910H | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 洗面器 | | 壁掛 単水栓 化粧鏡(460*600) 化粧棚(450*100*20H) | 9 | | 2 | 2 | 2 | 2 | 1 | | |
| | | 参考寸法：500*380*130H | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| ｼｬﾜｰ水栓 | | ﾊﾝﾄﾞﾙ式 | 4 | | | | 2 | 2 | | | |
| | | | | | | | | | | | |
| 単水栓 | | 13A ｷｰ式 | 3 | | | | | | | 3 | |
| | | | | | | | | | | | |
| 自在水栓 | | ﾊﾝﾄﾞﾙ式 | 1 | 1 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

（特記）

1．上記器具表の器具、及び付属品の撤去一式を行う。

改修後

## ■給排水衛生設備機器表【新設】

| 記号 | 名称 | 仕様 | 台数 | 電源 相 φ | 電源 電圧 V | 電源 容量 kW | 起動方式 | 設置場所 | 基礎 コンクリート | 基礎 防振材 | 備考 [参考型番] |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| EH-1 | 電気温水器 | 壁掛 瞬間式 5.8号相当 | 1 | 3 | 200 | 10.2 | | ﾐｰﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ | | | [EIWX3102A0：ｲﾄﾐｯｸ] |
| | | 配管ｶﾊﾞｰ ｸﾞﾛﾒｯﾄｶﾊﾞｰ 固定ねじ | | | | | | | | | |
| | | 安全弁 逆止弁他付属品一式 | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | |

（特記）

1．上記機器及び付属品すべての撤去一式を行う。

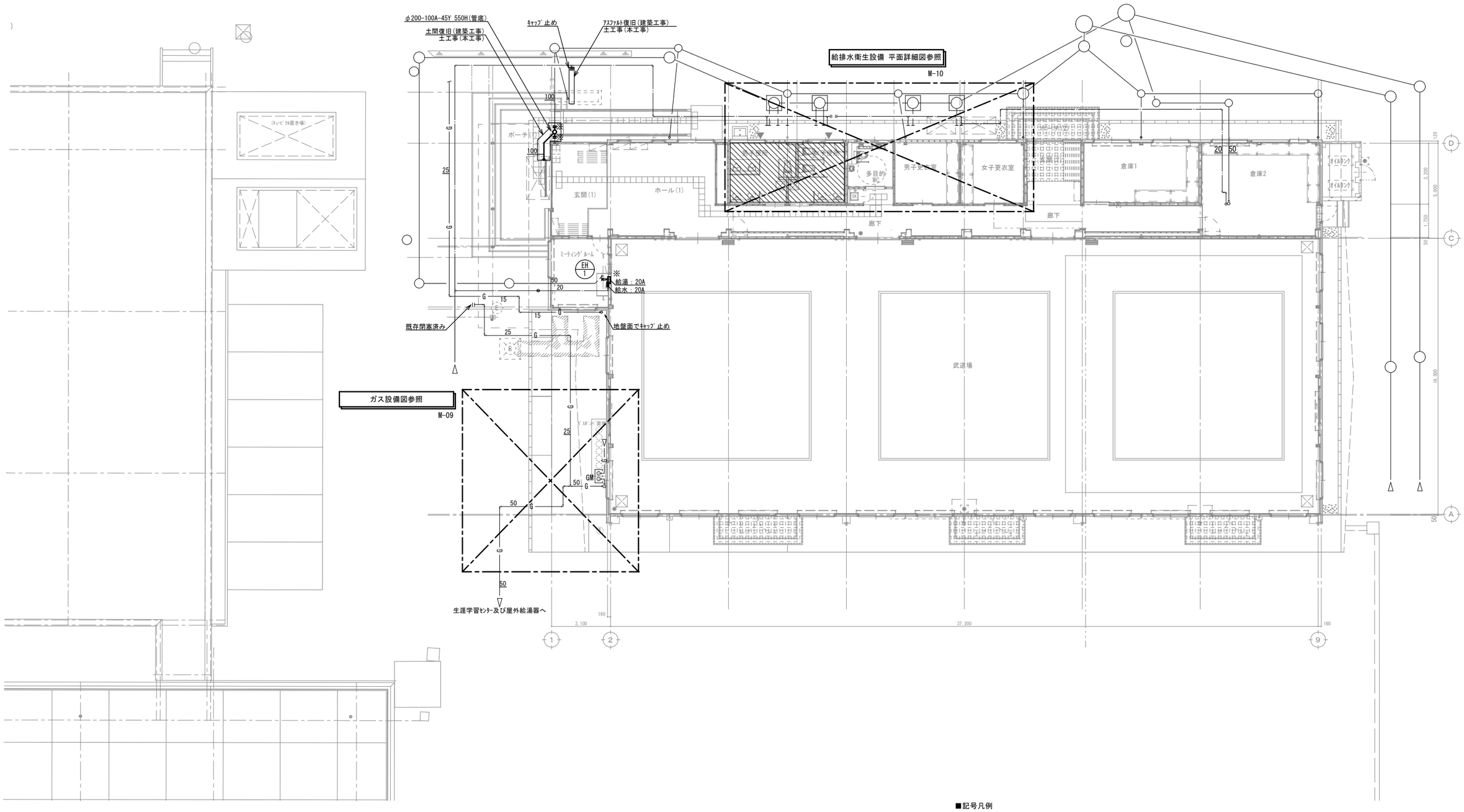
## ■給排水衛生設備器具表【新設】

| 名称 | 参考型番 JIS TOTO | 参考型番 JIS (LIXIL) | 仕様･付属品等 (参考型番) | 合計 | ミーティングルーム | 男子便所 | 女子便所 | 多目的便所 | SK | | 屋外 | 備考 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 洋風大便器 | C1200S | | ﾛｰﾀﾝｸ式 (床置 床排水 床給水 ﾘﾓﾃﾞﾙ対応 掃除口なし) | 3 | | 1 | 2 | | | | | 露出給水管には凍結防止ﾋｰﾀｰ巻き |
| | | | 洗浄便座 (瞬間式1300W 蓋あり 便器洗浄(ﾀｯﾁｽｲｯﾁ･ｴｺﾘﾓｺﾝ)) 棚付二連紙巻器 他付属品一式 | | | | | | | | | を行うこと。 |
| | CS597BMS+SH596BAYR | | TCF5830AUS YH701 | | | | | | | | | |
| | | BC-P20H+DT-PA250HCH | (CW-PC120DNE CWA-113) CF-63HST | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 小便器 | U520 | | ｾﾝｻｰ一体形(AC100V) 壁掛 大形 他付属品一式 | 2 | | 2 | | | | | | |
| | UFS900JS | UA-A12AP | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 洗面器 | — | | ｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰなし 自動水栓(AC100V ﾜﾝﾌﾟｯｼｭなし) 化粧鏡(450*600) 他付属品一式 | 4 | | 2 | 2 | | | | | |
| (ｾﾙﾌﾘﾐﾝｸﾞ式) | L350CM | | TENA40A YM4560F | | | | | | | | | |
| | | L-2150ANC-H | AM-300CV1 KF-4560A | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| ｺﾝﾊﾟｸﾄﾄｲﾚﾊﾟｯｸ | — | | 大便器のみ(床置壁排水 ﾛｰﾀﾝｸ式) 洗浄便座(瞬間式1300W 蓋なし 便器洗浄(ﾀｯﾁｽｲｯﾁ)) | 1 | | | | 1 | | | | 露出給水管には凍結防止ﾋｰﾀｰ巻き |
| | | | 背もたれ 手すり 手洗器 洗面器(水石鹸入れなし) 他付属品一式 | | | | | | | | | を行うこと。 |
| | UADAY01R1C2ANN1 | | TCF5840AUPS | | | | | | | | | |
| | | PTWC-GC103R1A1ANN | (CW-PC12-CK-UR-TU CWA-112) | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 掃除用流し | S210 | | 壁給水 壁排水 ﾚﾊﾞｰﾊﾝﾄﾞﾙ式横水栓 ﾘﾑｶﾊﾞｰ ｱﾝｸﾞﾙ形止水栓 ﾊﾞｯｸﾊﾝｶﾞｰ 壁排水金具 他付属品一式 | 1 | | | | | 1 | | | |
| | SK22A | | TK22 T23AEQ20C TN114 T9R T37PGEP | | | | | | | | | |
| | | S-202A | LF-7KRZ-14 SF-202 SF-10E SF-20PA-P | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 単水栓 | — | | 13A ｷｰ式 | 3 | | 1 | 1 | | | 1 | | |
| | T200CSNR13 | LF-7RG-13 | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |
| 台付ｼﾝｸﾞﾙ混合水栓 | — | | 吐水切替ﾀｲﾌﾟ | 1 | 1 | | | | | | | |
| | TKS05304J | SF-WM420SYX | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | |

（特記）

1．上記器具表の器具、及び付属品の新設一式を行う。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 給排水衛生設備 機器表・器具表 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:NON(A3版 50%縮小) | 図面番号 06 |



給排水衛生設備 平面図【改修後】 S=1：100

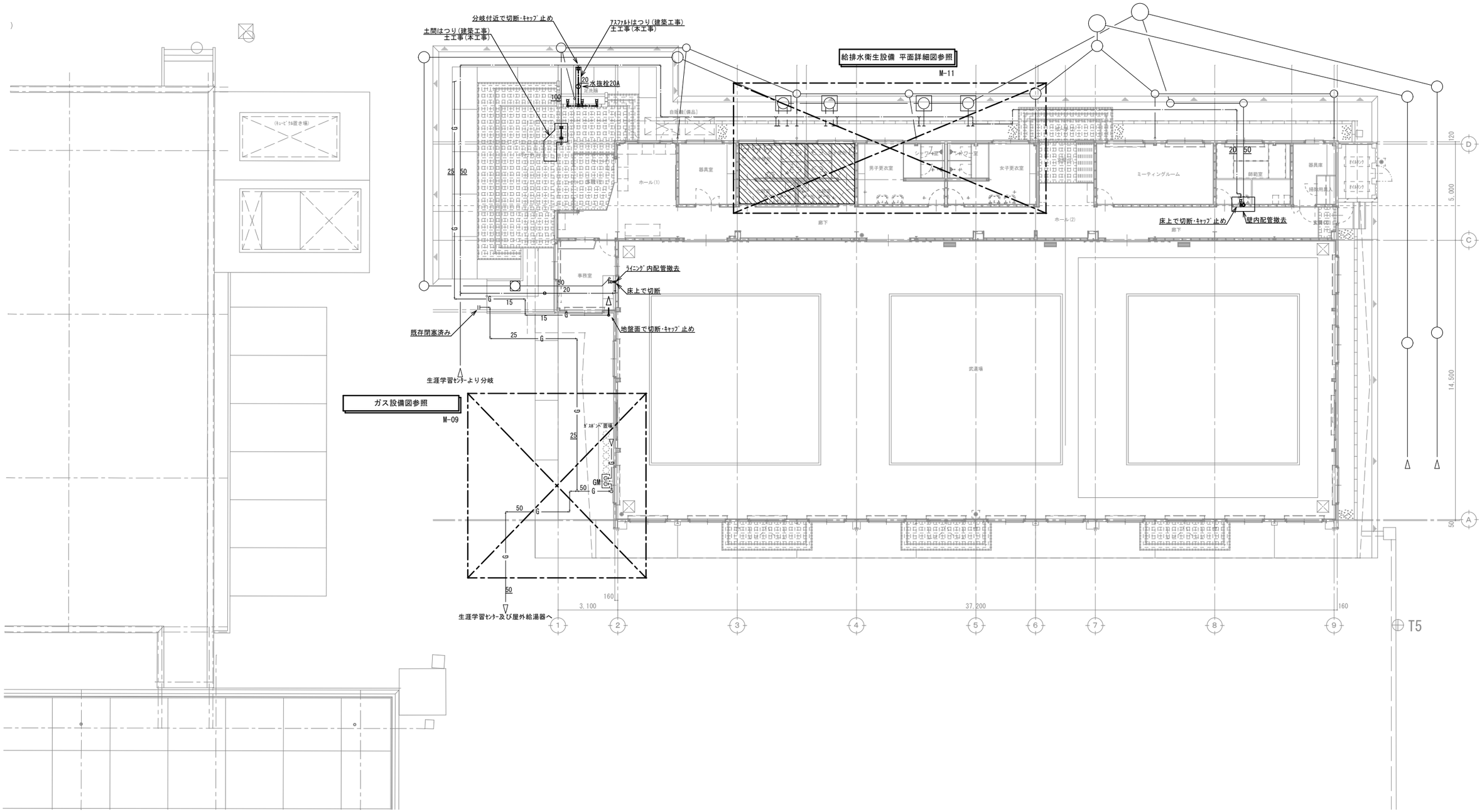
■記号凡例

| 記　号 | 名　称 | 管　種 |
|---|---|---|
| ―・― | 給水管 | 耐衝撃性塩ﾋﾞ管(HIVP)：屋外埋設<br>塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(VB)：屋内 |
| ――― | 排水管(雑排水) | 塩ﾋﾞ管(VP)：屋外 |
| ―G― | ガス管 | 亜鉛鍍鋼管：露出<br>ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(PE)：埋設 |

：配管接続位置を示す
既設配管：細線
配管新設：太線
：ピット部分を示す

（特記）
1. 凡例に従い図中の配管の新設一式を行う。
2. 器具の詳細については別紙器具表を参照。
3. ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄ復旧は建築工事とし、土工事は本工事とする。
4. 特記なき配管は見下げ（埋設配管）とする。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 給排水衛生設備 配置図 【改修後】 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 07 |




N

給排水衛生設備 平面図【改修前】 S=1：100

■記号凡例

| 記 号 | 名 称 | 管 種 |
|---|---|---|
| ―・―・― | 給水管 | 耐衝撃性塩ﾋﾞ管(HIVP)：屋外埋設 |
| ―――― | 排水管(雑排水) | 塩ﾋﾞ管(VP)：屋外 |
| ―G― | ガス管 | 亜鉛鍍鋼管：露出<br>ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(PE)：埋設 |

：配管切断位置を示す

既設配管：細線

配管新設：太線

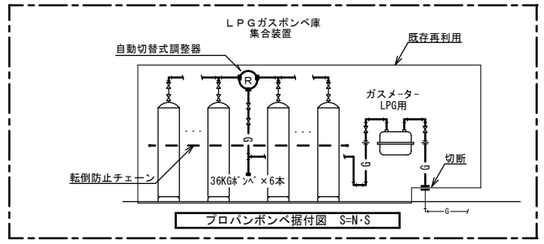
：ピット部分を示す

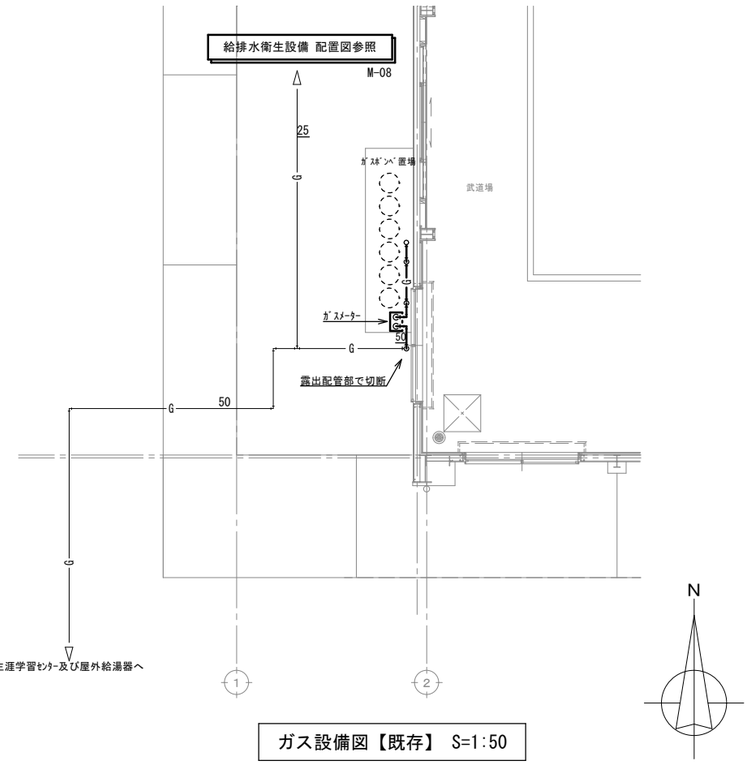
（特記）

1. 凡例に従い図中の配管の撤去・処分一式を行う。
2. 図中配管は参考とし、現況と異なる場合は既存を優先する。
3. 器具の詳細については別紙器具表を参照。
4. 配管撤去に伴い発生する不要な穴は、モルタル等で埋め戻すこと。
5. 未使用となる給水管はﾒｲﾝ管付近で切断・ｷｬｯﾌﾟ止めを行い死水域ができないようにすること。
6. ｱｽﾌｧﾙﾄ・ｺﾝｸﾘｰﾄはつりは建築工事とし、土工事は本工事とする。
7. 特記なき配管は見下げ（埋設配管）とする。
8. ｶﾞｽ管の撤去は系統(供給元)を確認後、施設運営に影響しない様に注意して行うこと。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 給排水衛生設備 配置図 【改修前】 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 08 |

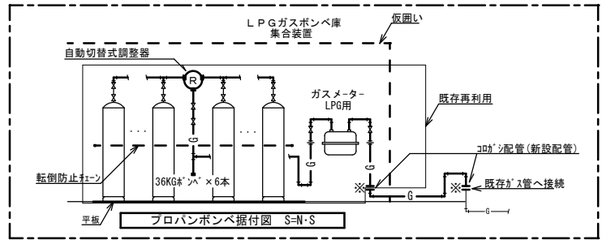
既存

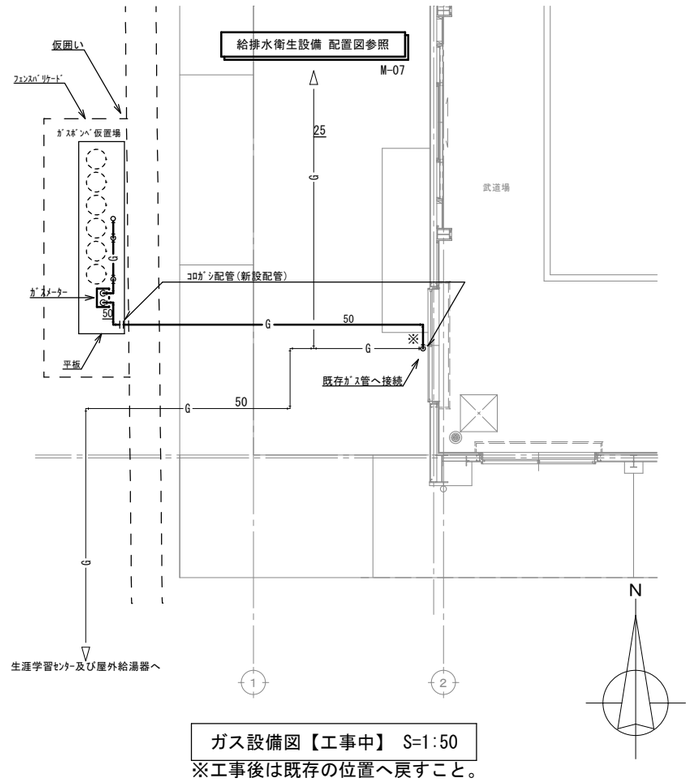



ガス設備図【既存】 S=1:50

工事中




ガス設備図【工事中】 S=1:50

※工事後は既存の位置へ戻すこと。

■記号凡例

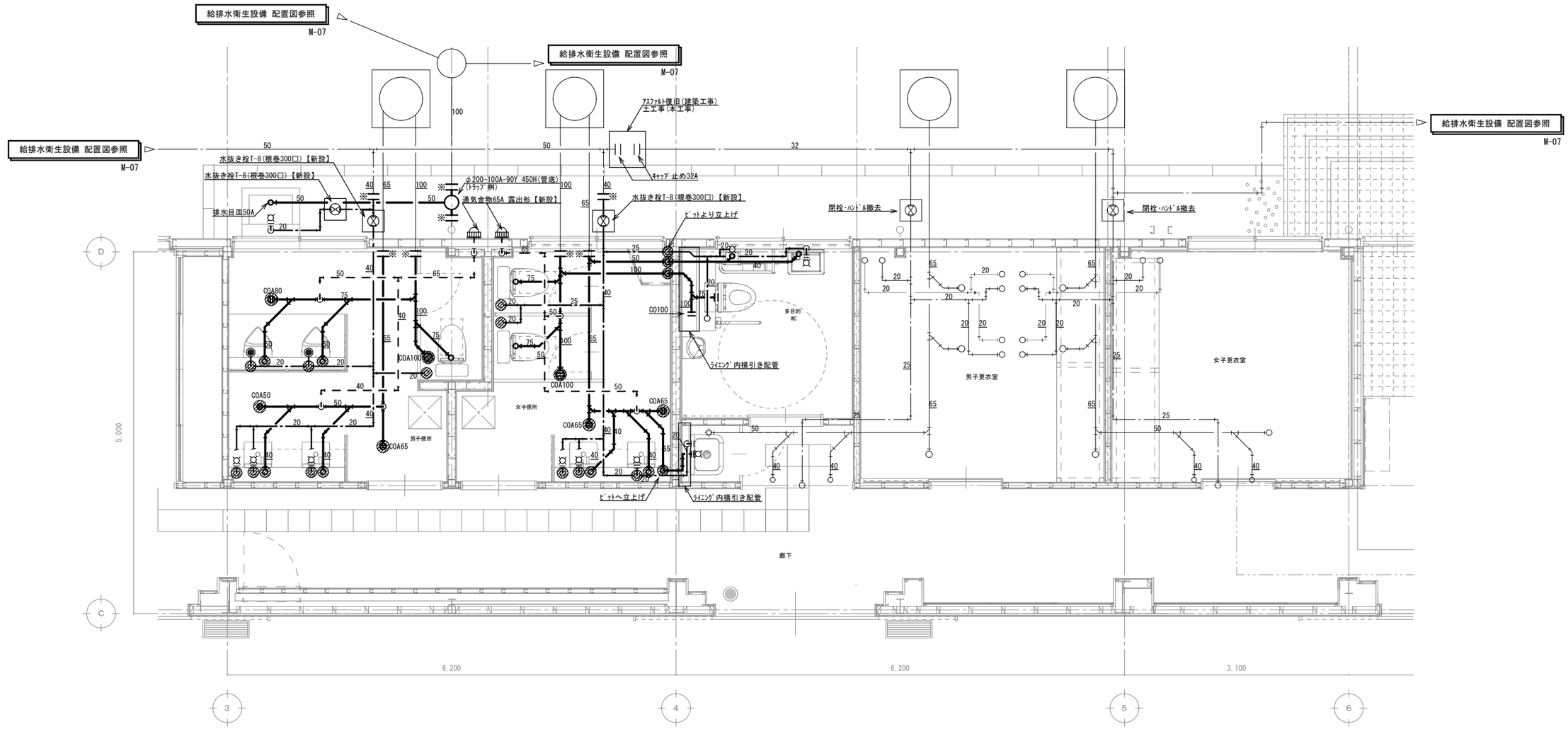
| 記　号 | 名　称 | 管　種 |
|---|---|---|
| ——G—— | ガス管 | 塩化ﾋﾞﾆﾙ被覆鋼管：露出<br>ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管(PE)：埋設 |

（特記）

1.露出ｺﾛｶﾞｼ配管は破損しないよう養生を行うこと。

2.図中配管は参考とし、現況と異なる場合は既存を優先する。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 ガス設備図 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:50(A3版 50%縮小) | 図面番号 09 |




| 管種 | 管径 | 貫通径 | 数量 | | 数量合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 男子 | 女子 | |
| 給水管 | 40φ以下 | 75φ | 6 | 6 | 12 |
| 排水管 | 40φ以下 | 75φ | 2 | 2 | 4 |
| | 50～65φ | 100φ | 4 | 4 | 8 |
| | 75φ | 125φ | 1 | — | 1 |
| | 100φ | 150φ | 1 | 2 | 3 |

1. コンクリート厚：200mm程度とする。
2. ▨ ：機械はつり補修を示す。

■記号凡例

| 記号 | 名称 | 管種 |
|---|---|---|
| ——・—— | 給水管 | 塩ビライニング鋼管(VB)：屋内(ピット・隠蔽)<br>耐衝撃性塩ビ管(HIVP)：屋外埋設 |
| ———— | 排水管(雑排水) | 塩ビ管(VP) |
| – – – | 通気管 | 塩ビ管(VP) |

：配管接続位置を示す
※ 既設配管：細線
配管新設：太線

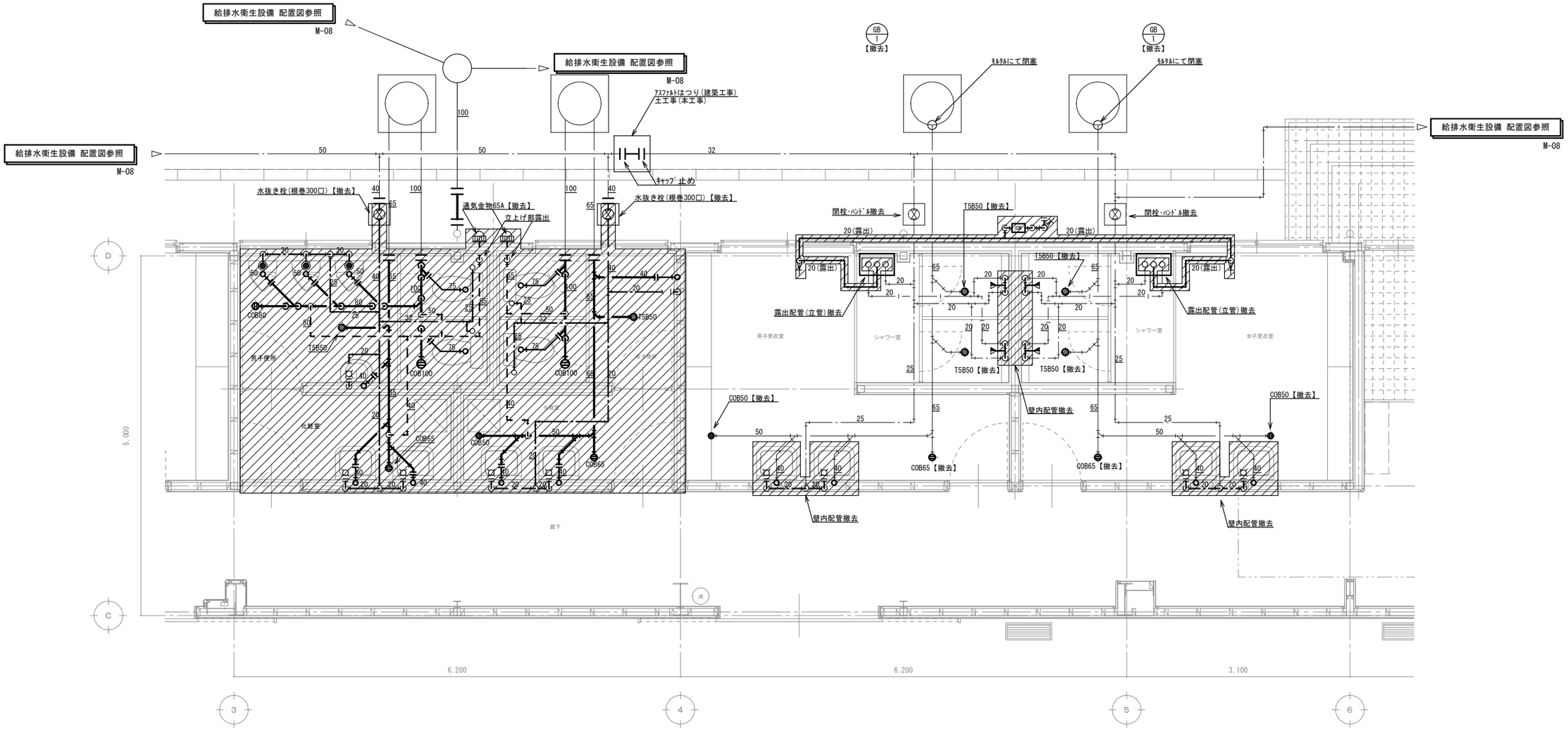
(特記)

【共通】
1. 凡例に従い図中の配管の新設一式を行う。
2. 器具の詳細については別紙器具表を参照。

【便所(男女)】
1. 配管貫通部は原則既存再利用とし、新たな梁貫通は行わないこと。
2. 再利用する排水配管は内部洗浄を行うこと。
3. 貫通部の止水処理を行うこと。
4. コア抜きの際はX線調査を行い、監督員へ確認を行うこと。
5. 水抜栓のハンドル部は蓋面から-100mm以内の位置になるようにすること。
6. 大便器の露出給水管には凍結防止ヒーター巻きを行うこと。
7. 特記なき配管は見下げ(ピット内配管)とする。

給排水衛生設備 平面詳細図【改修後】 S=1：30

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事 設計図 | 図面名 給排水衛生設備 平面詳細図 【改修後】 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:30(A3版 50%縮小) | 図面番号 10 |




N

給排水衛生設備 平面詳細図【改修前】 S=1：30

■記号凡例

| 記　号 | 名　称 | 管　種 |
|---|---|---|
| ——・—— | 給水管 | 塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管(VB)：屋内(ﾋﾟｯﾄ・隠蔽)<br>耐衝撃性塩ﾋﾞ管(HIVP)：屋外埋設 |
| ———— | 排水管(雑排水) | 亜鉛鍍鋼管：屋内<br>塩ﾋﾞ管(VP)：屋外 |
| ——⊖—⊖—— | 排水管(汚水) | 鋳鉄管(CIP) |
| ——‖—○—— | 排水管(雑排水・汚水) | 排水用鉛管(LP)：ﾋﾟｯﾄ内器具接続部 |
| — — — — | 通気管 | 亜鉛鍍鋼管(白) |
| ——I—— | 給湯管 | 被覆銅管 |
| ——G—— | ガス管 | 亜鉛鍍鋼管(白) |

：配管切断位置を示す

既設配管：細線

配管新設：太線

：配管類撤去エリアを示す

（特記）

【共通】

1. 凡例に従い図中の配管の撤去・処分一式を行う。
2. 図中配管は参考とし、現況と異なる場合は既存を優先する。
3. 器具の詳細については別紙器具表を参照。

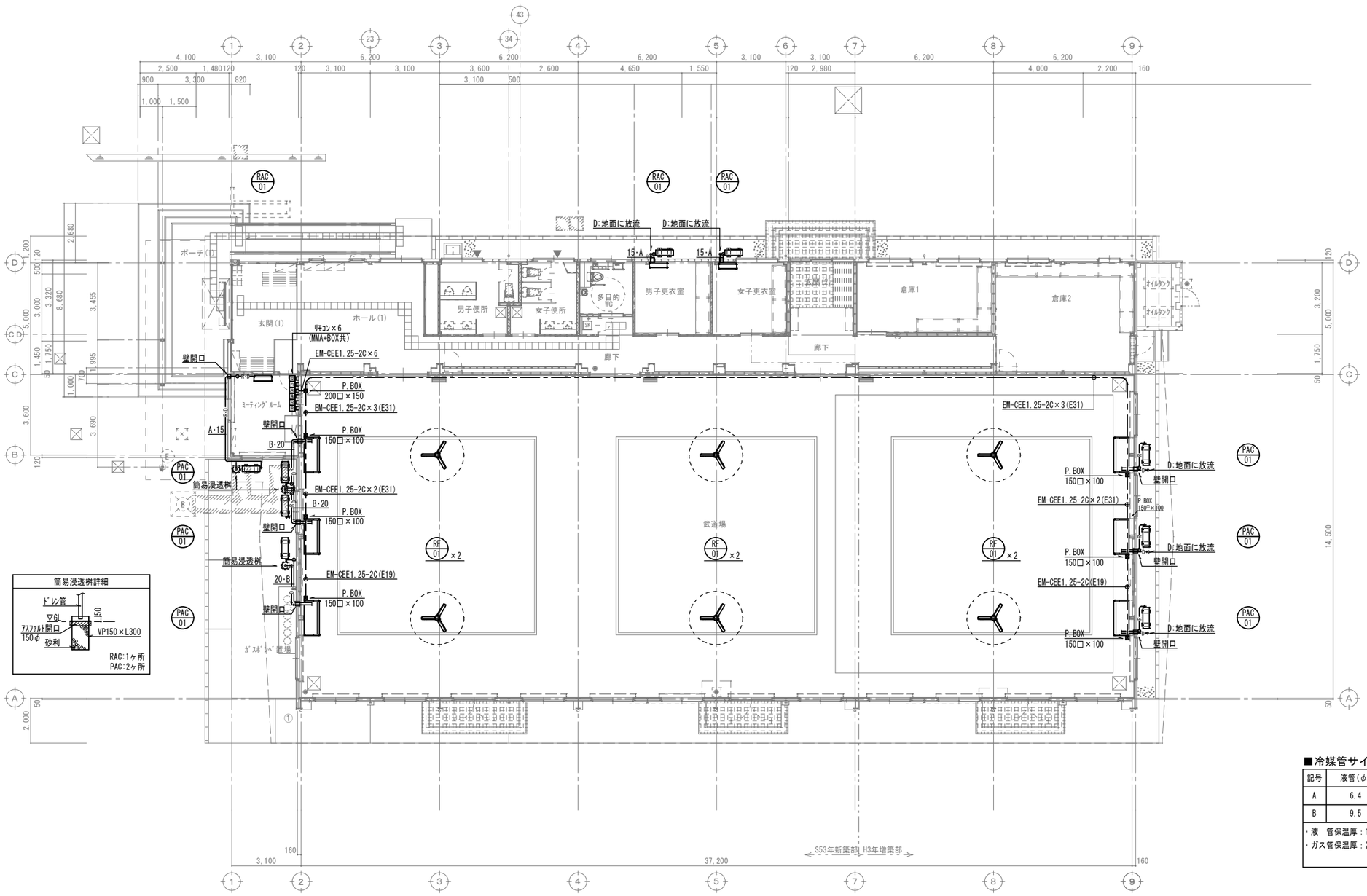
【便所(男女)】

1. 床埋込金物類はスラブ下で配管切断+ｷｬｯﾌﾟ止めとし、残置とする。
   床上の仕上げは撤去し、モルタル等で埋め戻すこと。
2. 配管撤去に伴い発生する不要な穴は、モルタル等で埋め戻すこと。
3. 特記なき配管は見下げ（ﾋﾟｯﾄ内配管）とする。

【更衣室・ｼｬﾜｰ室(男女)】

1. 床埋込金物類は床上の仕上げを撤去しｷｬｯﾌﾟ止めとする。
2. 埋設配管は残置とする。
3. 露出配管は床上で切断し、配管撤去後は残置配管の端部のｷｬｯﾌﾟ止めを行うこと。
4. 特記なき配管は見下げ（埋設配管）とする。

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 給排水衛生設備 平面詳細図 【改修前】 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:30(A3版 50%縮小) | 図面番号 11 |




簡易浸透桝詳細




■冷媒管サイズ表（参考）

| 記号 | 液管(φ) | ガス管(φ) |
|---|---|---|
| A | 6.4 | 9.5 |
| B | 9.5 | 15.9 |

・液　管保温厚：10mmとする
・ガス管保温厚：20mmとする

■配管リスト・器具凡例

| 記　号 | 名　称 | 配 管 種 別 |
|---|---|---|
| ——R—— | 冷媒管 | 冷媒用被覆銅管 |
| | | 外装(屋内・外)：樹脂製保温化粧ｶﾊﾞｰ |
| ——D—— | ドレン管 | 内部：保温機能付空調用ドレン管 |
| | | 外部：硬質塩ビ管(カラーVP) |
| ー－ーー－ー | リモコン線 | EM-CEE1.25-2C |
| | | 屋内露出部：MMA |
| R | エアコン用リモコン(個別) | |
| ☼ | 簡易浸透桝 | |

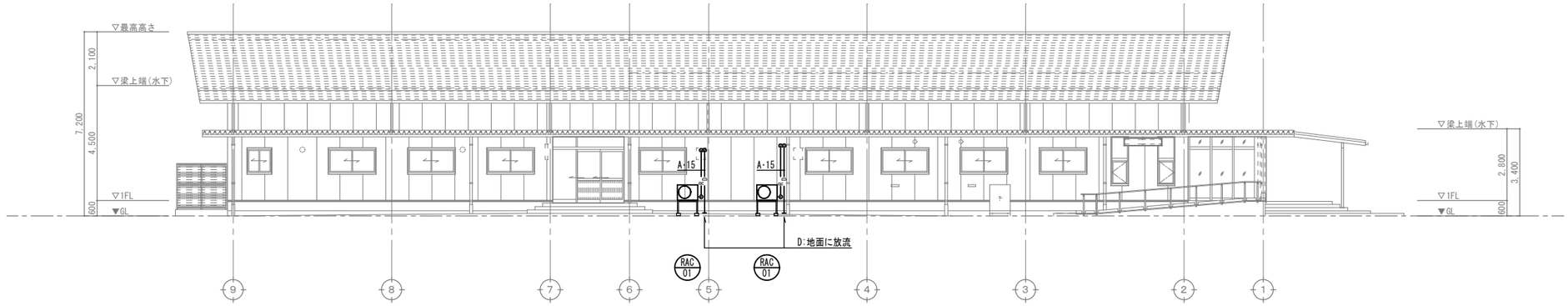
※ﾘﾓｺﾝ線の屋内露出部(MMA)は間仕切り内配管が可能な場合はPF16へ読み替える

N

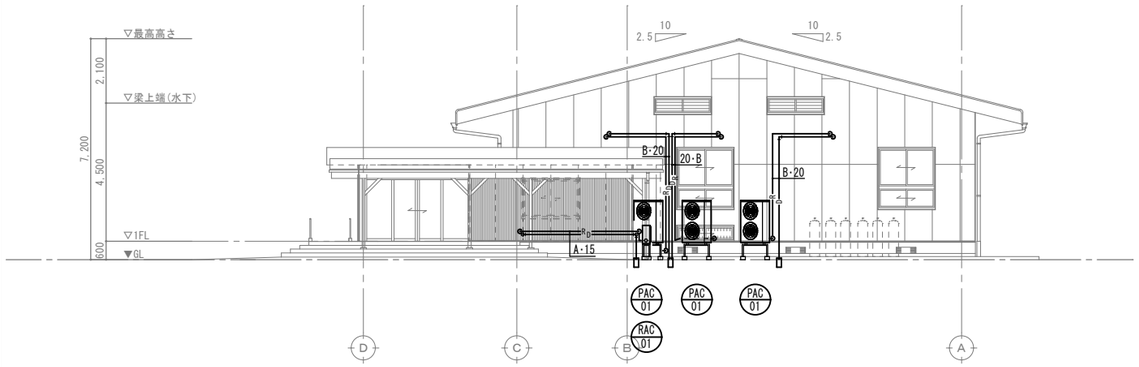
空調換気設備 平面図（２）【改修後】 S=1：100

■特記事項
※PAC-01室内機(6台)は建築で作成する壁ﾌﾞﾗｹｯﾄに取付けるため、選定した機器により調整を行うこと。

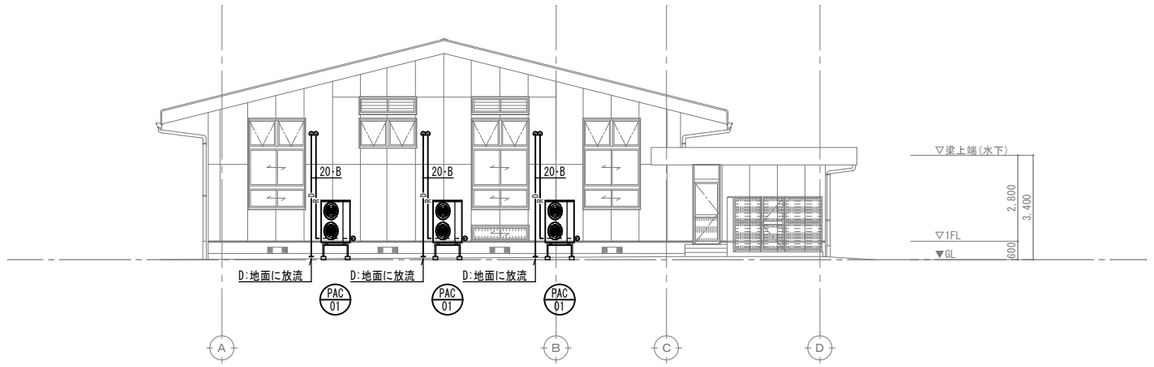
| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 空調換気設備 平面図（２）【改修後】 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:100(A3版 50%縮小) | 図面番号 12 |



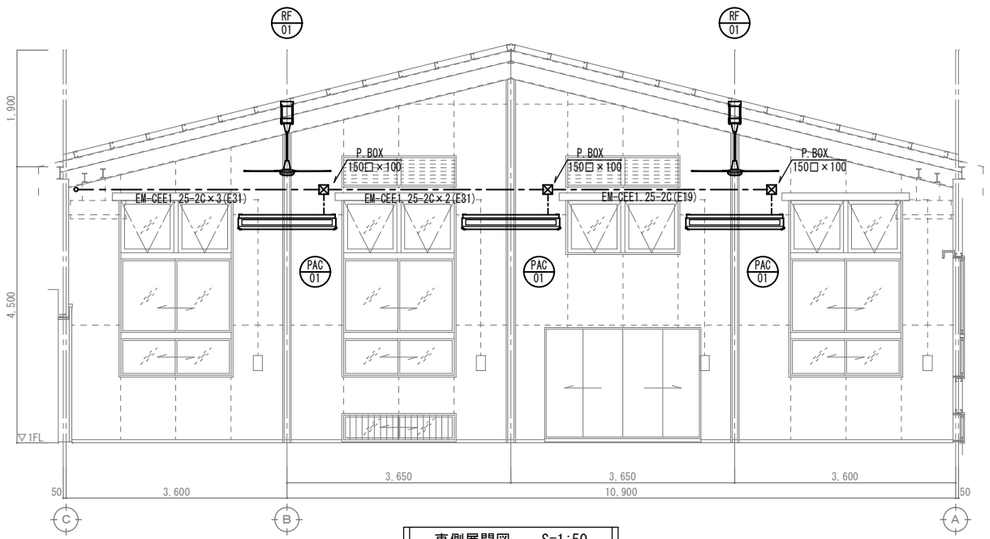

北側立面図　S=1:100



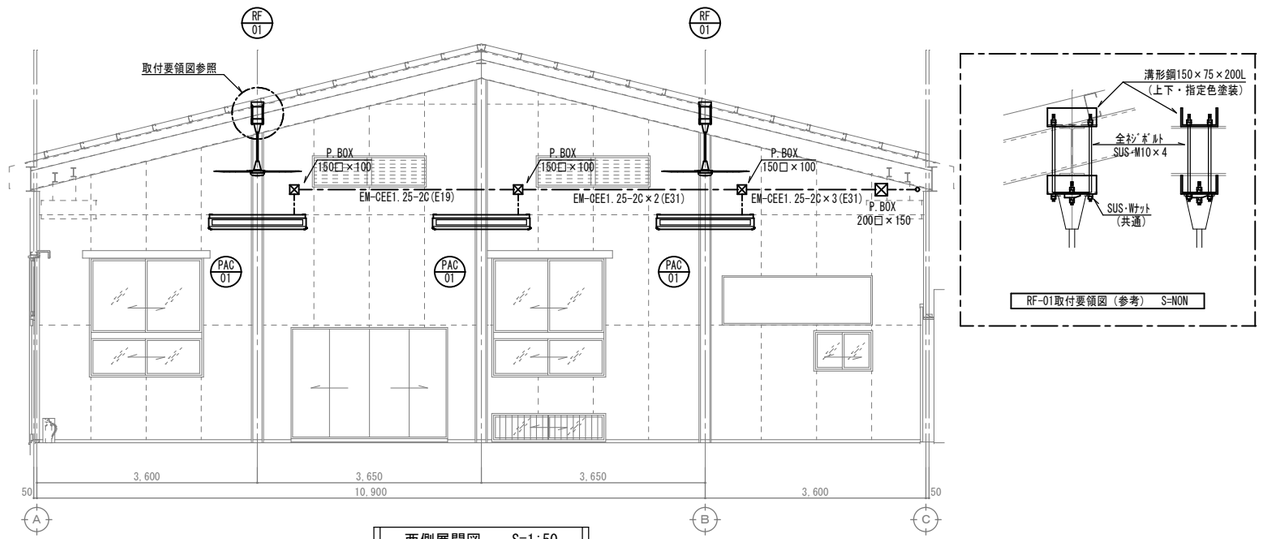

西側立面図　S=1:100




東側立面図　S=1:100




東側展開図　S=1:50




西側展開図　S=1:50

RF-01取付要領図（参考）　S=NON

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 令和７年度 七ヶ浜町武道館耐震化工事及び大規模改修工事　設計図 | 図面名 空調換気設備 立面図・展開図 【改修後】 | 図面種別 M |
| | | | | 縮尺 S=1:100・50(A3版 50%縮小) | 図面番号 13 |